

科目名	医療社会学		学年学期	1年後期	単位数	2	ナパリング	NA15001	研究室	W-03
担当者	福島 智子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
医療を対象とする社会的観点から、組織構造・役割関係・価値体系・儀礼・行動システムに関する理解を深めます。保健・医療を取り巻く諸問題を、文化・社会的視点から考察します。										
学修到達目標										
人間の生命や身体に深くかかわる保健・医療が、社会学ではどのようにとらえられているかを学びながら、「社会学」的な発想ができる柔軟性を養うこと。										
授業の進め方										
医療社会学の中心的概念を学び、とくに行動変容理論については実習を含め、本講義で扱います。また、職場における健康増進への組織的ならびに個人的取組強化に、個人の行動変容がどのように影響するかを考察します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	社会学とは何か	医療を対象とする社会学の視座について概説します。					配布プリントの要点をまとめる(4時間)。			
2	文化現象としての医療	医療を「文化」として捉えるとはどのようなことかを説明します。					配布プリントの要点をまとめる(4時間)。			
3	病者と患者	病者と患者の違いについて、医療社会学の概念である「病気行動」と「病人役割」について学びます。					教科書(2-4頁)・配布プリントの復習(4時間)			
4	医師 患者関係	医師-患者関係の歴史の変遷と今日的課題について概説します。					小テストに向け、教科書(2-10頁)の復習をする(4時間)。			
5	医療施設	病院の成立から在宅ケアまでの歴史について学びます。					事前配布資料を読み、下調べをする(4時間)。			
6	医療制度	医療制度の違いについて、国別に概説します。					事前配布資料を読み、下調べをする(4時間)。			
7	スティグマ(烙印)	ラベリング理論(逸脱の社会学)を概説します。					小テストに向け、教科書(22-29頁)を復習する(4時間)。			
8	精神医療(1)	精神医療の歴史について学びます。					配布プリントの要点をまとめる(4時間)。			
9	精神医療(2)	精神医療の具体的事例について、イタリアの精神医療を取り上げます。					授業中に提示する課題をする(4時間)。			
10	医療社会学と生命倫理学	医療社会学と生命倫理学の関係について説明します。					小テストに向け、これまでの講義内容を復習する(4時間)。			
11	医療化論:総論	医療化論に関する全体的な概説をします。					教科書(64-67頁)・配布プリントの復習をする(4時間)。			
12	医療化論:各論(1)	医療化の具体的事例として子どもの医療化について概説します。					配布プリントの要点をまとめる(4時間)。			
13	医療化論:各論(2)	医療化と脱医療化の具体的事例として同性愛について概説します。					配布プリントの要点をまとめる(4時間)。			
14	専門職と感情労働	保健医療領域における行動変容理論について学びます。					小テストに向け、これまでの講義内容を復習する(4時間)。			
15	まとめ	講義全体のまとめ					総復習(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「よくわかる医療社会学」黒田浩一郎・中川輝彦編(ミネルヴァ書房) ISBN:978-4-623-05821-1(生協で購入してください。)					出席レポート:15% 小テスト:25% 定期試験:60% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考能力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「医療社会学を学ぶ人のために」進藤雄三・黒田浩一郎編(世界思想社) 「現代医療の社会学」黒田浩一郎編(世界思想社)					社会学は言葉の定義に非常に厳格な学問です。最初は難しく感じるかもしれませんが、分からないときには積極的に質問してください。					

科目名	栄養情報処理		学年学期	1年後期	単位数	2	ナパリング	NA15002	研究室	N-04
担当者	弘田 量二		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日4限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本授業は実際に栄養士業務で使えるMicrosoft Word, Excel, Power Pointについて学習し、栄養計算ソフトを用い、パソコン上で栄養価計算を行い、そのデータを帳票できることを目的としています。そのため、Microsoft Word, Excel, Power Pointや栄養計算ソフトの基本操作ができることを目標とします。										
学修到達目標										
栄養士業務において、コンピュータはその業務を遂行する上で必要不可欠で、栄養計算等に使用していくことで、複雑な処理を正確で迅速に行うことが学習のねらいとなります。具体的にはMicrosoft Word, Excel, Power Pointや栄養計算ソフトの基本操作ができることが目標です。										
授業の進め方										
本講義は教員が提示する課題を各受講者がパソコンを用いて解決し、その結果を電子メールを用いて教員に報告するという学生参加型の授業形態で行います。各自がパソコンを用いて課題を解決することを中心に行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	栄養調査のやり方、人を対象にした研究には、倫理審査・同意書・研究計画書を作成し、研究機関の倫理審査委員会の承認を得る必要があります。その手続きの流れや概念を学習します。				配布資料を熟読してください。(4時間)				
2	文献の検索方法	インターネットを使った文献の検索方法(PubMed)や論文の読み方について学習します。				配布資料を熟読してください。(4時間)				
3	Microsoft Wordの基礎	栄養情報処理で使われるMicrosoft Wordの基本操作について学びます。具体的な文章記入例を挙げながら学習していきます。				配布資料を熟読してください。(4時間)				
4	Microsoft Wordの応用	栄養情報処理で使われるMicrosoft Wordの応用操作について学びます。具体的な文章記入を学修し、独力でレポート作成ができるようになります。				配布資料を熟読してください。(4時間)				
5	Excelの基礎	栄養情報処理で使われるMicrosoft Excelの基本操作について学びます。具体的な情報処理例を挙げながら学習していきます。				配布資料を熟読してください。(4時間)				
6	Excelの応用	栄養情報処理で使われるMicrosoft Excelの応用操作について学びます。具体的な情報処理例を挙げながら、データ入力および基本的な集計操作を学習します。				配布資料を熟読してください。(4時間)				
7	Power Pointの基礎	栄養情報処理で使われるMicrosoft PowerPointの基本操作について学びます。具体的な情報処理例を挙げながら学習していきます。				配布資料を熟読してください。(4時間)				
8	Power Pointの応用	栄養情報処理で使われるMicrosoft PowerPointの応用操作について学びます。具体的な情報処理例を挙げながら、プレゼン資料の作成を学習していきます。				配布資料を熟読してください。(4時間)				
9	「エクセル栄養君」(1)	栄養情報処理で使われる「Excel栄養君」の基本操作(1)について学びます。具体的な情報処理例を挙げながら学習していきます。				プリントを事前に読み、「Excel栄養君」の基本操作に関する課題を作成してください。				
10	「エクセル栄養君」(2)	栄養情報処理で使われる「Excel栄養君」の基本操作(2)について学びます。具体的な情報処理例を挙げながら学習していきます。				プリントを事前に読み、「Excel栄養君」の基本操作に関する課題を作成してください。				
11	「エクセル栄養君」(3)	栄養情報処理で使われる「Excel栄養君」の応用操作(1)について学びます。各自の食物摂取状況を入力しデータの出力と保存を学修します。				プリントを事前に読み、「Excel栄養君」の基本操作に関する課題を作成してください。				
12	「エクセル栄養君」(4)	栄養情報処理で使われる「Excel栄養君」の応用操作(2)について学びます。各自の食物摂取状況を入力しデータの出力と保存を学修します。				プリントを事前に読み、「Excel栄養君」の基本操作に関する課題を作成してください。				
13	食物摂取頻度調査基本操作	栄養情報処理で使われる「Excel栄養君」を使って、各家庭の食事を例にして食物摂取頻度調査を行います。				プリントを事前に読み、「Excel栄養君」の基本操作に関する課題を作成してください。				
14	食物摂取頻度調査発表(1)	実際の栄養情報処理を学修するために家族の栄養を調査し、分析したものをMicrosoft Power point を用いてプレゼンテーションのスキルを学びます。また、発表と資料の提出をします。				事前にプレゼンテーションスキルを学修しておいてください。(4時間)				
15	食物摂取頻度調査発表(2)	実際の栄養情報処理を学修するために家族の栄養を調査し、分析したものをMicrosoft Power point を用いてプレゼンテーションのスキルを学びます。他者の発表にコメントを行います。				事前にプレゼンテーションスキルを学修しておいてください。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
プリントの配布を持って、テキストに代えます。				課題：80% 受講態度：20% 受講態度：栄養士業務として将来必須となるスキルであることを意識し、実習の目的に沿って作業に積極的に参加する。 S：授業内容を高度に理解し栄養情報処理(課題)を実施できる。 A：授業内容を理解し、やや難しい課題に取り組むことができる。 B：授業内容のおおよそを理解し、課題を自力でできる。 C：マニュアル等を参照し、基本操作を完了できる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「公衆栄養学実習」金田雅代・郡俊之・酒井徹・山本茂著(講談社サイエンティフィック) ISBN: 978-4-06-155355-2 その他、講義の中で随時紹介します。				毎回パソコン教室で演習を行います。特に、復習に力を注いで下さい。						

科目名	栄養統計学		学年学期	2年前期	単位数	2	ナパ [®] リング	NA25003	研究室	非常勤
担当者	五十嵐 久人		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
統計学の基礎を学ぶと共に、栄養学や医療分野に必要とされる統計解析上の応用的・実践的な知識や技術を修得し、今後の栄養学実験や栄養業務分野の研究に反映させる能力を養います。										
学修到達目標										
栄養学で必要とされる統計学の基礎を習得できる。										
授業の進め方										
配布資料を中心に講義を行います。授業計画は以下の15回です。適宜、演習問題や課題を出しながら進めていきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンスと統計学の概要	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価方法について説明する。また、統計学とはどのようなものかを学修します。				事前にシラバスを読み、確認事項を整理しておく。授業後は学修内容を整理する(4時間)。				
2	研究デザインと統計	様々な研究デザインの特徴と統計学との関係を学修します。				配布・指定された資料や参考書を読むこと。授業後は学修内容を整理する(4時間)。				
3	データの型	量的データ、質的データの違いとその表し方を学修します。				配布・指定された資料や参考書を読むこと。授業後は学修内容を整理する(4時間)。				
4	データの集計と代表値	データを集計・集約して表す方法を学修します。				配布・指定された資料や参考書を読むこと。授業後は学修内容を整理する(4時間)。				
5	2変量の記述統計	2変量のデータの関係や相関、回帰について学修します。				配布・指定された資料や参考書を読むこと。授業後は学修内容を整理する(4時間)。				
6	母集団の分布と標本データ	推測統計の基本的な考えとして、母集団の分布と標本データの関係を学修します。				配布・指定された資料や参考書を読むこと。授業後は学修内容を整理する(4時間)。				
7	仮説の設定と検定の基本	統計的な仮説検定の原理と手順の基本を学修します。				配布・指定された資料や参考書を読むこと。授業後は学修内容を整理する(4時間)。				
8	仮説の検定と検定(差の分析)	標本同士の比較から母集団に差があるかを検定する原理と手順を学修します。				配布・指定された資料や参考書を読むこと。授業後は学修内容を整理する(4時間)。				
9	仮説の検定(ノンパラメトリックなデータの分析)	ノンパラメトリックなデータを検定する原理と手順を学修します。				配布・指定された資料や参考書を読むこと。授業後は学修内容を整理する(4時間)。				
10	データ解析演習	統計解析ソフトを使用したデータ解析の方法を学修します。				配布・指定された資料や参考書を読むこと。授業後は学修内容を整理する(4時間)。				
11	データ解析演習	統計解析ソフトを使用したデータ解析の方法を学修します。				配布・指定された資料や参考書を読むこと。授業後は学修内容を整理する(4時間)。				
12	データ解析演習	統計解析ソフトを使用したデータ解析の方法を学修します。				配布・指定された資料や参考書を読むこと。授業後は学修内容を整理する(4時間)。				
13	データ解析演習	統計解析ソフトを使用したデータ解析の方法を学修します。				配布・指定された資料や参考書を読むこと。授業後は学修内容を整理する(4時間)。				
14	スクリーニング	スクリーニングの意義と有効性について学修します。				配布・指定された資料や参考書を読むこと。授業後は学修内容を整理する(4時間)。				
15	統計学と研究の質	統計学の理論と実際の調査研究とのギャップを学修します。				配布・指定された資料や参考書を読むこと。授業後は学修内容を整理する(4時間)。				
テキスト				成績評価の方法・基準						
講義資料については適宜印刷・配布します。				レポート:30% 小テスト:70% 小テストは授業の進行に応じ、2回程度を予定。<成績の評価基準>S:授業内容を高度に理解し、批判的思考に基づく探求姿勢で課題に取り組み、応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢で課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同程度の問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
初回の授業時に紹介します。				配布資料の予習と復習を行ってください。質問については、遠慮無く授業中に積極的に行ってください。						

科目名	公衆衛生学		学年学期	2年前期	単位数	2	ナバ'リング	NA25004	研究室	N-04
担当者	弘田 量二		必修選択	必修	科目種別	講義	ワイスア-	火曜日4限		
関連資格	管理栄養士、栄養士、HACCP管理者、栄養教一				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
公衆衛生学Iでは、社会や環境との関連において特に健康と疾病を集団の事象としてとらえ、個人はもとより集団レベルにおける疾病の予防と健康の保持・増進を図るためにはどうするかを学びます。人間集団の健康状態を把握するために国内外における保健統計、健康水準の定義と意義、人口問題か、健康指標に及ぼす意味などを理解します。各個人の健康に関わる生活習慣や社会組織機構との関わりから健康と社会について学修します。										
学修到達目標										
管理栄養士国家試験の受験資格、栄養士取得、栄養教諭資格の取得を目指します。これら資格取得のために必須要件となる健康と疾病を基盤とする公衆衛生学に関する知識と理解の養成を目的とします。公衆衛生学はその学修領域は広範で複雑であることから、日常時から社会問題についても関心を持ち極力身近な学問と認識して、能力を養うことを目標とします。										
授業の進め方										
健康と疾病との関係について、その予防対策を考慮した上で、年ごとに変化する関連統計情報や社会的報道等を資料として、身近な学問としての公衆衛生学を展開していきます。配布資料およびプロジェクターを用いた授業を進めていきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス・健康とは何か	授業概要、学修到達目標、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明、質問します。公衆衛生学の概念として、健康の概念、公衆衛生の概念、定義を学習します。				事前にシラバスを読み、確認事項を整理しておく。授業後は履修事項をとりまとめる。(4時間)				
2	食生活と疾病	糖尿病・高血圧などは、乱れた生活習慣に起因すると考えられており、さらにがんも食生活を改善することである程度予防できると考えられています。どのような食生活が疾病予防に望ましいのか、学習します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
3	食の提供者の役割	主に学校や病院で献立を考えたり、患者さんの栄養指導や栄養管理を行う、管理栄養士にとって食の提供とはどんな意味があるのだろうか。食の提供者の役割を学習します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
4	健康作り対策	健康作り政策の変遷、健康増進法、健康日本21(第二次)、健康管理の進め方とその方法について学びます。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
5	保健機能食品制度(トクホ)のはなし	生理学的機能や生物学的活動に影響を与える保健機能成分を含み、疾病リスクの軽減が期待できると表示できる制度について学習します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
6	心の健康作り	社会生活の変化に伴って仕事や生活に強い不安や悩みを持つ労働者が増えてきました。健康的な生活を営むための心の健康作りについて学習します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
7	小テストの実施と解説、質疑応答	第1回から6回までの授業の理解度をテストで確認し解説します。学生の主体的な授業参加を促すため質疑応答を随時受け付けて進めます。				配付資料とテキストをもとにテスト対策や質問を準備してくる。(4時間)				
8	太るカラクリ	肥満は、高血圧や糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病を引き起こす原因となります。さらに動脈硬化、心筋梗塞や狭心症などのリスクを高めます。どうして肥満になるのかについて学習します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
9	ダイエット比較_糖質制限vs脂抜き	最近、糖質制限ダイエットが効率が良いと注目されているがどうしてだろうか、学習します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
10	統計資料	健康、疾病、行動に関わる統計資料の中から、人口動態統計(国勢調査)、人口動態統計、生命表、平均寿命などについて学習します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
11	環境保健	疾病のひきがねとなる環境要因にはどのようなものがあり、健康的・文化的な生活をおくるためにはどのようにしたらいいのかが学習します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
12	食塩と高血圧	食塩の取り過ぎは高血圧の原因になります。健康寿命を延ばす食事に求められるものについて学習します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
13	食事の役割	私達は何のために食事をするのだろうか。食事の一次機能、二次機能、三次機能について学習します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
14	中毒(加熱してもアウトなもの)	食に関わる職業とする者は決して食中毒を起こしてはなりません。加熱しても中毒を起こすものについて学習します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
15	全体のまとめ、国試関連	授業の総括として、これまでの内容の要点を復習し、質疑応答を行います。管理栄養士国家試験の必須科目としての公衆衛生学Iを概観します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
講義に応じたプリントをその都度配布します。			定期試験：70% 小テスト：20% 受講態度：10% 受講態度：各種資格取得に必要な科目であることから、受講態度としては能動的で真摯であり、努力して、一定以上の試験成績を得ることを評価します。 評価：S：公衆衛生活動を非常によく理解し、私達、有資格者が果たす役割を俯瞰的に論じられる。A：公衆衛生活動を活動をよく理解し、私達が果たす役割を論じられる。B：公衆衛生活動をおおむね理解し、私達が果たす役割を論じられる。C：公衆衛生活動を60%程度理解し、私達が果たす役割を論じられる。							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「管理栄養士の国家試験の要点」 ISBN：978-4-8058-5390-0 「佐々木敏の栄養データはこう読む!」 ISBN：978-4789554428 疫学的なデータをもとにした食物やその摂取の仕方についての解説本			健康寿命の延伸には、どのような取り組みが考えられるだろうか。健康の根幹である、食に関わる者として常に考えて言って欲しい課題です。							

科目名	公衆衛生学		学年学期	2年後期	単位数	2	ナパ`リング	NA25005	研究室	N-04
担当者	弘田 量二		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-	火曜日4限		
関連資格	管理栄養士、栄養士、食品衛生、HACCP管理者、栄養教一				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
「公衆衛生学」では、公衆衛生Iの内容を深め、社会や環境が人間の健康にどのように関わるか、人間の健康を保持増進するために社会や環境はどうあるべきかなどを、社会・環境と健康の関係について毎日の身近な事例を通じて理解してきます。社会や環境が人間の健康をどう規定し影響を及ぼすのか、あるいは人間の健康を保持増進するために社会や環境はどうあるべきかなどについて学習します。										
学修到達目標										
管理栄養士国家試験の受験資格、栄養士取得、栄養教諭資格の取得を目指します。これら資格取得のために必須要件となる健康と疾病を基盤とする公衆衛生学に関する知識と理解の養成を目的とします。公衆衛生学はその学修領域は広範で複雑であることから、日常時から社会問題についても関心を持ち極力身近な学問と認識して、能力を養うことを目標とします。										
授業の進め方										
健康と疾病との関係について、その予防対策を考慮した上で、年ごとに変化する関連統計情報や社会的報道等を資料として、身近な学問としての公衆衛生学を展開していきます。配布資料およびプロジェクターを用いた授業を進めていきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	衛生害虫駆除	食品にかかわる者として、職場環境(調理場・加工場・ホールなど)の衛生状態はどのように清潔かつ衛生的であるべきか、学習していきます。				事前にシラバスを読み、確認事項を整理しておく。授業後は履修事項をとりまとめる。(4時間)				
2	難病保健	現在の医療では治療法がなく慢性的に不都合な障害が一生続く難病があります。現状を知るとともに、彼らに対してどのような接したらよいのだろうか、学習します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
3	感染症対策	感染症には様々な感染方法があります。また、感染初期にはいかなる検査法を駆使しても見つからないウィンドウ期が存在します。食品を扱う者は、どのように病原体を広めないようにするか、学習します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
4	産業保健	私たち労働者は、職場において労働安全衛生法により健康や職場災害から守られています。どのようにして守られているのか、学習します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
5	環境と健康(水道)	私たちは、環境の影響を受けて生活しており、影響は健康に良いことも悪いことも存在します。その中で水道の果たす役割にはどのようなものがあるのか、学習します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
6	食中毒予防	食品を扱うものにとって、起こしてはいけない事故に食中毒があります。どのようにして安全な食材を得、また調理すればよいのか、公衆衛生的な立場から学習します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
7	小テストの実施と解説、質疑応答	第1回から6回までの授業の理解度をテストで確認し解説します。学生の主体的な授業参加を促すため質疑応答を随時受け付けて進めます。				配付資料とテキストをもとにテスト対策や質問を準備してくる。(4時間)				
8	生活習慣病予防	肥満は、高血圧や糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病を引き起こす原因となります。さらに動脈硬化、心筋梗塞や狭心症などのリスクを高めます。どのようにして生活習慣病を予防すればよいのか学習します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
9	伝統的な食事の役割	そもそも食べるということは地域や伝統に根差した行為であり物差しである。そのことを忘れてしまったために現代人は生活習慣病におちいりやすくなってしまったのではないだろうかということを学習します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
10	衛生統計	健康、疾病、行動に関わる統計資料の中から、人口動態統計(国勢調査)、人口動態統計、生命表、平均寿命などを通じて日本人の衛生環境について学習します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
11	海外に於ける栄養状態	海外における栄養状態を知ることにより、日本人の食生活とどのように異なるのか、生活習慣病予防のヒントを学習します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
12	がん予防	がんは生活習慣病の一種ととらえられている。どのような食事習慣や運動習慣をすれば、健康寿命を延ばすことにつながるのか、学習します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
13	健康格差を考える	寿命が短いことは、自己の責任のみだろうか。所得や住んでいる地域によって寿命が異なることが明らかになっているがその理由はなんだろうか?社会疫学の観点から学習します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
14	機能的食品	特保に代表される食品は、食の三次機能に注目した商品です。どのような成分にどのような機能があるのか、それはどのような実験で明らかにされたのだろうか、学習します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
15	全体のまとめ、国試関連	授業の総括として、これまでの内容の要点を復習し、質疑応答を行います。管理栄養士国家試験の必須科目としての公衆衛生学IIを概観します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
講義に応じたプリントをその都度配布します。		定期試験：70% 小テスト：20% 受講態度：10% 受講態度：各種資格取得に必要な科目であることから、受講態度としては能動的で真摯であり、努力して、一定以上の試験成績を得ることを評価します。 評価：S：公衆衛生活動を非常によく理解し、私達、有資格者が果たす役割を俯瞰的に論じられる。A：公衆衛生活動を活動をよく理解し、私達が果たす役割を論じられる。B：公衆衛生活動をおおむね理解し、私達が果たす役割を論じられる。C：公衆衛生活動を60%程度理解し、私達が果たす役割を論じられる。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「管理栄養士の国家試験の要点」栄養セントラル学院編著 ISBN：978-4-8058-5390-0 「健康格差」NHKスペシャル取材班著 ISBN：978-4-06-288452-5		健康寿命の延伸には、どのような取り組みが考えられるだろうか。健康の根幹である、食に関わる者として常に考えて言って欲しい課題です。								

科目名	社会福祉概論			学年学期	2年後期	単位数	2	ナパ'リング	NA25006	研究室	非常勤
担当者	丸山 順子・合津 千香・福田 明・武村 淳司			必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格	管理栄養士、栄養士、栄教一					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）						
		A	B	C							
授業概要											
社会福祉の基本知識を体系的に学習することに加え、専門家として関わる保健、医療、介護システム等を含め講義範囲とします。社会福祉について基本的な考え方、制度やしくみ、サービスなどを学ぶとともに、生活者としての利用者理解を深めることを目的とします。											
学修到達目標											
1 生活する上で社会福祉はどのように関与しているか、基本的な考え方や原理・原則を述べることができます。2 社会福祉を構成する制度の体系、サービス、法体系、そのもとで展開される具体的な援助活動を説明できます。3 社会福祉の近接領域との連携の重要性について説明できます。4 生活者の視点で対象者の抱える課題を捉えることができます。											
授業の進め方											
講義では、基本的な概念や理論を踏まえた上で、具体的な実践事例を取り上げて、その意義を学生とともに考えていきます。また、福祉現場の方の話や視聴覚教材なども活用します。基本的には講義形式とします。											
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	授業ガイダンス（社会福祉とは）	「社会福祉」をどのように捉えるかについて、様々な角度から学びを深め、本講義における社会福祉の概念を理解します。					事前にテキスト（P2-25）を通読し、講義内で指示するテーマをまとめ事後学修とします。（4時間）				
2	社会保障制度と社会福祉	わが国における社会保障制度（社会福祉制度、社会保険、公的扶助）の体系や実施体制・組織を理解します。					事前にテキスト（P26-40）を通読し、講義内で指示するテーマをまとめ事後学修とします。（4時間）				
3	子ども家庭福祉	子どもを取り巻く社会状況（問題）および、子どもの育ちを保障する様々な施策について理解します。					事前にテキスト（P41-56）を通読し、講義内で指示するテーマをまとめ事後学修とします。（4時間）				
4	障がい者福祉	障がい者福祉について、理念や基本的な考え方、障害の捉え方、障害者総合支援法などの福祉サービスについて理解します。					事前にテキスト（P57-70）を通読し、講義内で指示するテーマをまとめ事後学修とします。（4時間）				
5	高齢者福祉	わが国の高齢者を取り巻く社会状況を理解したうえで、高齢者を支援する制度・政策を理解します。					事前にテキスト（P71-82）を通読し、講義内で指示するテーマをまとめ事後学修とします。（4時間）				
6	介護保険制度と専門職の役割	介護保険制度について学びます。利用者を支援するため、様々な専門職がチームとなるため、それぞれの専門職の役割を理解します。					事前にテキスト（P83-99）を通読し、講義内で指示するテーマをまとめ事後学修とします。（4時間）				
7	低所得者福祉	低所得者に対する福祉制度を学びます。現在の格差社会において、大きな社会問題とされている「貧困」との関連についても理解します。					事前にテキスト（P100-113）を通読し、講義内で指示するテーマをまとめ事後学修とします（4時間）				
8	地域福祉	地域福祉という、子どもや高齢者などの対象者別の福祉ではなく、地域そのものを基盤とした福祉について理解します。					事前にテキスト（P114-127）を通読し、講義内で指示するテーマをまとめ事後学修とします（4時間）				
9	医療福祉	医療的ニーズを抱える人々が安心して治療を受けられるように支援し、生活者としての自立を目的としている医療福祉の関わり方について理解します。					事前にテキスト（P128-139）を通読し、講義内で指示するテーマをまとめ事後学修とします（4時間）				
10	精神保健福祉	精神障がい者について、歴史的背景から定義や取り巻く社会状況について理解します。加えて自殺対策や認知症対策について学びます。					事前にテキスト（P140-153）を通読し、講義内で指示するテーマをまとめ事後学修とします（4時間）				
11	社会福祉施設の役割	わが国の社会福祉施設の役割について、戦後の歴史をふまえ、収容保護から生活の場としての質の向上が求められてきた背景を理解します。					事前にテキスト（P156-166）を通読し、講義内で指示するテーマをまとめ事後学修とします（4時間）				
12	社会福祉を担う人々	社会福祉を担う人々について、福祉専門職に加え、他領域の専門職が関わっていることを理解します。また、民生委員やボランティア、地域住民も社会福祉を支えている人々の理解をします。					事前にテキスト（P167-176）を通読し、講義内で指示するテーマをまとめ事後学修とします（4時間）				
13	社会福祉の相談援助（ソーシャルワーク）	社会福祉の相談援助について、目的と対象、利用者に対する態度、展開プロセスについて理解します。					事前にテキスト（P177-188）を通読し、講義内で指示するテーマをまとめ事後学修とします（4時間）				
14	医療ソーシャルワーカーと多職種連携	医療ソーシャルワーカーと多職種連携について、実践事例を用いて理解します。テキストの事例に加えて、事例を用いてグループワークを行います。					事前にテキスト（P189-197）を通読し、講義内で指示するテーマをまとめ事後学修とします（4時間）				
15	まとめ（コメディカルへの期待）	講義のまとめとして、現代の社会福祉の諸問題振り返り、コメディカルスタッフに期待する役割について理解します。					事前にテキスト（P198-205）を通読し、講義内で指示するテーマをまとめ事後学修とします（4時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準							
「コメディカルのための社会福祉概論（第3版）」鬼崎 信好著本郷秀和編（講談社） ISBN:978-4-06-156315-5（生協で購入してください。）				定期試験：60％ 出席レポート：40％ S：授業内容を高度に理解し、生活者の課題を講義内容から思考し説明することができます。 A：授業内容理解し、生活者の課題を講義内容から説明することができます。 B：授業内容をおおよそ理解し、福祉制度の原理原則を説明できます。 C：授業に参加し、課題を抱える利用者が活用できる福祉サービス（講義内容で学んだ）を選択するための知識を取得しています。							
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）							
「認知症の人の心身と食のケア」長嶋紀一著（第一出版） ISBN:978-4-8041-1252-7 その人らしく最後まで生きるため、食が心身のケアである実践例が書かれています。				4名の教員で、毎回、テーマをもって講義を行います。社会福祉のしくみを理解すると共に、支援を受けている利用者理解を深め、栄養指導等の意義や関わり方、専門職としてのやりがい認識できることを願います。							

科目名	労働と法		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナパリング	NB35007	研究室	非常勤
担当者	松田 清		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>学生諸君も卒業すればほとんどが労働者となります。労働をして生計を立てていくことは現代社会にあって人間として当然のことでしょう。この講義では労働に関する法を勉強します。諸君の将来(現在も?)にとって重要な事柄を扱う講義です。また、この講義は資格取得のためにも設置されています。したがって、おろそかな勉強では不十分であることを覚悟してください。最低限のリーガルマインド(法的思考力)とリーガルノレッジ(法的知識)の修得を目指します。</p>										
学修到達目標										
<p>細かい知識の丸暗記は必要ありませんが、なぜ、民法の雇用の規定のほかに、労働法があるのか、労働法特有の考え方を、しっかり理解することを目標とします。</p>										
授業の進め方										
<p>基本的に、テキストに沿って進めていきます。一般法である民法との比較という視点も交えながら、労働法特有の考え方を学んでいきます。また「生」の現実を知ってもらえるように、時には裁判例も紹介します。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	はじめに	労働法とは 労働法はなぜ生まれたのか、なぜ必要なのかについて講義します。				事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当ページをしっかりと読み込むこと。(4時間)				
2	労働法の登場人物	労働者 使用者 労働組合について講義します。				事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当ページをしっかりと読み込むこと。(4時間)				
3	労働法の法源	労働契約、労働法規、判例法理等について講義します。				事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当ページをしっかりと読み込むこと。(4時間)				
4	採用・採用内定・試用・人事異動	採用の自由と例外 採用内定とは 試用期間の意義 配転 出向 転籍について講義します。				事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当ページをしっかりと読み込むこと。(4時間)				
5	懲戒 労働契約の終了	企業秩序と懲戒処分 懲戒事由 解雇 期間の定めのある労働契約の期間満了について講義します。				事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当ページをしっかりと読み込むこと。(4時間)				
6	労働条件の変更 非正社員の労働契約	労働条件変更の方法 就業規則の変更 労働協約の改訂 有期契約労働者 パートタイム労働者 派遣労働者について講義します。				事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当ページをしっかりと読み込むこと。(4時間)				
7	雇用平等 男女雇用機会均等法	均等待遇の原則 男女同一賃金の原則 男女雇用機会均等法の立法の経緯とその後の改正 性別による差別の禁止について講義します。				事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当ページをしっかりと読み込むこと。(4時間)				
8	労働者の人権擁護 賃金	労働憲章 労働協約に関する規制 賃金とは 休業手当 最低賃金について講義します。				事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当ページをしっかりと読み込むこと。(4時間)				
9	労働時間その1	法定労働時間、三六協定等について講義します。				事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当ページをしっかりと読み込むこと。(4時間)				
10	労働時間その2	労基法上の労働時間 変形労働時間制 フレックスタイム制 裁量労働について講義します。				事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当ページをしっかりと読み込むこと。(4時間)				
11	休暇・休業	年次有給休暇 育児・介護休業について講義します。				事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当ページをしっかりと読み込むこと。(4時間)				
12	労災補償	労災保険 いわゆる労災民訴について講義します。				事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当ページをしっかりと読み込むこと。(4時間)				
13	労働組合その1	団結権 団体交渉権 労働協約締結権について講義します。				事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当ページをしっかりと読み込むこと。(4時間)				
14	労働組合その2	団体交渉権 不当労働行為救済制度について講義します。				事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当ページをしっかりと読み込むこと。(4時間)				
15	まとめ	まとめ(効果測定含む)				事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当ページをしっかりと読み込むこと。(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準					
「ブレップ労働法(最新版)」森戸英幸著(弘文堂) ISBN:978-4-335-31325-7(生協で購入してください。)					定期試験:90% レポート:10%					
知って役立つ労働法(厚生労働省HPよりダウンロード)					S 課題に意欲的に取り組み、授業内容をすべて理解して、正しく文章で表現することができる。					
					A 授業で学んだことを理解し、文章で表現することができる。					
					B 授業で学んだことを概ね理解し、文章で表現することができる。					
					C 最低限押さえてほしい事項(授業で指示します)について、理解し表現できる。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
なし					原則として事前学修は必要ありませんが、事後学修に努めてください。					

科目名	衛生管理学		学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナパ`リ`ン`グ	NA35008	研究室	N-04
担当者	弘田 量二		必修選択	選択	科目種別	講義	オ`ィ`ス`ア`ー	火曜日4限		
関連資格	食品衛生、HACCP管理者				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>本授業は、作業・労働従事におけるこれら要因が及ぼす身体面ならびに精神面への作用とその対策と管理について学び、労働従事者の健康障害の予防と健康の保持増進に寄与することの出来る人材の養成を目的とします。労働安全衛生法等を基盤として職域の健康管理体制や健康影響について、作業環境管理、健康診断、作業関連疾患、労働災害などについて学修します。また、食物の安全と健康障害について、どについて学修します。また、食物の安全と健康障害について、リスク分析の視点から食品衛生管理について講義します。</p>										
学修到達目標										
<p>任用資格としての食品衛生管理者ならびに食品衛生監視員資格の取得を目指します。これら資格取得のために必須要件となる労働安全衛生管理全般に関する知識と理解を深めることを目的とします。その上で、食品衛生管理に特化した法的、事例的事項について学び、資格取得後の実務において有効となる知識と能力を身につけることを目標とします。</p>										
授業の進め方										
<p>様々な産業分野と食品分野における作業上の衛生管理や健康管理のあり方とその実状について、労働安全衛生の法的基盤や物理的、化学的ならびに生物学的な有害因子の影響を理解するために、多様な配布資料およびプロジェクターを用いた授業を展開します。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス・健康とは何か	授業概要、学修到達目標、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明、質問します。公衆衛生学の概念として、健康の概念、公衆衛生の概念、定義を学修します。				事前にシラバスを読み、確認事項を整理しておく。授業後は履修事項をとりまとめる。(4時間)				
2	労働安全衛生法	労働安全衛生法における産業医や衛生管理者の役割、労働者の健康を損なう有害業務から守る仕組み(関係法規)について学修します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
3	有害業務の健康障害	作業環境における有害因子の種類や、健康障害の発生機序と典型的な症状、作業環境測定法、労働衛生の三管理、について学修します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
4	衛生管理体制と労働者の健康管理	安全衛生委員会、健康診断、医師による面接等、労働安全衛生法・労働基準法に従った職場環境の衛生管理体制や労働者の健康管理について学修します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
5	健康作り対策	健康作り政策の変遷、健康増進法、健康日本21(第二次)、健康管理の進め方とその方法について学びます。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
6	心の健康作り	社会生活の変化に伴って仕事や生活に強い不安や悩みを持つ労働者が増えてきた。健康的な生活を営むための心の健康作りについて学修します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
7	小テストの実施と解説、質疑応答。	第1回から6回までの授業の理解度をテストで確認し解説します。学生の主体的な授業参加を促すため質疑応答を随時受け付けて進めます。				配付資料とテキストをもとにテスト対策や質問を準備してくる。(4時間)				
8	生活習慣病予防	肥満は、高血圧や糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病を引き起こす原因となります。さらに動脈硬化、心筋梗塞や狭心症などのリスクを高めます。どうして肥満になるのかについて学習します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
9	健康格差を考える	寿命が短かった時、その人の自己責任といえるだろうか。所得や住んでいる地域によって寿命が異なるのはなぜだろうか。社会疫学の観点から学習します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
10	統計資料	健康、疾病、行動に関わる統計資料の中から、人口動態統計(国勢調査)、人口動態統計、生命表、平均寿命などについて学習します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
11	環境保健	疾病のひきがねとなる環境要因にはどのようなものがあり、健康的・文化的な生活をおくるためにはどのようにしたらいいのかを学習します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
12	食塩と高血圧	食塩の取り過ぎは高血圧の原因になる。健康寿命を延ばす食事に求められるものについて学習します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
13	食事の役割	私達は何のために食事をするのだろうか。食事の一次機能、二次機能、三次機能について学習します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
14	喫煙問題	喫煙の害にはどのようなものがあるのだろうか。健康日本21(第二次)においてもCOPDの認知度を80%に向上させることが数値目標として掲げられている。喫煙の害にはどのようなものがあるのか、学修します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
15	全体のまとめ、国試関連	授業の総括として、これまでの内容の要点を復習し、質疑応答を行います。各種資格試験の必須科目としての衛生管理学を概観します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
講義に応じたプリントをその都度配布します。		<p>定期試験：80% 小テスト：10% 受講態度：10%</p> <p>受講態度：衛生管理者取得等に必要科目であることから、受講態度としては能動的で真摯であり、努力して、一定以上の試験成績を得ることを評価します。評価：S：衛生管理活動を非常によく理解し、衛生管理者等が果たす役割を俯瞰的に論じられる。A：衛生管理活動をよく理解し、衛生管理者等が果たす役割を論じられる。B：衛生管理活動をおおむね理解し、衛生管理者等が果たす役割を論じられる。C：衛生管理活動を60%程度理解し、衛生管理者等が果たす役割を論じられる。</p>								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
<p>「シンプル衛生公衆衛生学」鈴木庄亮著 ISBN：978-4-524-25553-5 「衛生管理者試験問題集」(中央労働災害防止協会) ISBN：978-4-8059-1494-6</p>		<p>働きやすい職場環境を提供することは、企業にとって義務です。安全に働ける職場環境作りに必要な法律や仕組みをよく知り、改善を通して労働意欲を高めてまいりましょう。</p>								

科目名	労働安全衛生法		学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナパリング	NB35009	研究室	非常勤
担当者	松田 裕成		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスワ-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本講義では、まず日本の法体系の中での労働法体系の位置づけや性格について講義し、次に労働法体系の中での労働安全衛生法の位置づけや性格、労働安全衛生法と労働基準法など関連する法律との関係について解説します。その上で、労働安全衛生法の具体的内容について説明しながら、労働安全衛生法が働く人や働く場所にどのように関わっているのかが理解できるようにします。										
学修到達目標										
細かな知識の丸暗記は必要ありませんが、労働安全衛生法の大枠をつかみ、この法律の目的をしっかりと理解できるようにすることを目標とします。										
授業の進め方										
講義は指定したテキストをを用います。法律科目なので法律用語や専門用語が頻繁に出てきますが、講義の中ではそれらの意味や定義はテキストに示されたものを用います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	法体系を理解する	法体系の中の労働法 労働法体系の中の労働安全について講義します。				事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。(4時間)				
2	事業場と業種	業種は事業場単位で個別に 事業者と労働者 事業者の責務と労働者の責務について講義します。				事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。(4時間)				
3	労働災害防止計画	政府が作る基本対策 計画の公表と変更 中高年齢労働者の安全対策について講義します。				事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。(4時間)				
4	安全衛生管理体制その1	全体像 衛生管理者 安全管理者 産業医について講義します。				事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。(4時間)				
5	安全衛生管理体制その2	作業主任者の選任 下請混在事業場での安全管理体制 安全委員会等について講義します。				事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。(4時間)				
6	労働者の危険と健康障害を防止するために	事業者がすべきこと 建設業における救護措置について講義します。				事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。(4時間)				
7	機械等及び有害物に関する規制	危険な作業をする機械等に関する規制 有害物質に関する規制 有害物質の譲渡、提供について講義します。				事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。(4時間)				
8	派遣労働者の安全衛生	派遣労働者の安全衛生はどうなっているのか 派遣元・派遣先の責任について講義します。				事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。(4時間)				
9	安全衛生教育	安全衛生教育の目的 能力向上教育 教育の時間と費用について講義します。				事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。(4時間)				
10	健康の保持増進のための措置	健康診断は会社の義務か 健康診断の時間と費用 自発的健康診断 職場のメンタルヘルスケアについて講義します。				事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。(4時間)				
11	快適な職場環境の形成のための措置	快適な職場とは 職場環境推進計画の認定制度 VDTの作業時間と作業管理について講義します。				事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。(4時間)				
12	安全衛生管理計画等	安全衛生改善計画の作成 労働安全コンサルタントと労働衛生コンサルタント 厚生労働大臣などへの届出について講義します。				事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。(4時間)				
13	事業者の責任等	事業者の四重責任 違反行為に対する罰則 安全配慮義務について講義します。				事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。(4時間)				
14	近年の法制度改革	法改正のあった部分を、フォローします。				事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。(4時間)				
15	まとめ	全体をもう一度見直し、法体系をつかみます。				事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「ここからはじまる早わかり労働安全衛生法」近藤恵子 小林浩志 中山寛之著(東洋経済新報社) ISBN:978-4-492-27058-5(生協で購入してください。)				定期試験:80% レポート:20% S課題に意欲的に取り組み、授業内容をすべて理解して、正しく文章で表現することができる。A 授業で学んだことを理解し、正しく文章で表現することができる。B 授業で学んだことを概ね理解し、文章で表現することができる。C 最低限押さえてほしい事項(授業で指示します)について、理解し表現できる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
なし				健康栄養学科の学生諸君にとって、将来の職場の安全衛生は、密接にかかわる事柄です。快適な環境の中で働くことを考える人は是非受講して下さい。						

科目名	解剖学			学年学期	1年前期	単位数	2	ナバリング	NA15010	研究室	S-03
担当者	進藤 政臣・川久保 雅友			必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日1限、金曜日1限		
関連資格	管理栄養士、栄養士、食品衛生、健康食品管理士、栄教一					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）						
		A	B	C							
授業概要											
健康と病気を考える上では、人体の構造を先ず知る必要があります。そこで、人体の肉眼的なレベルから顕微鏡的なレベルまでの構造、およびそれに関連した機能を学びます。人体の全体像から入り、それを構成している各器官系の基本的な構造を学び、さらに器官を構成する組織や細胞についても学びます。また、ヒトが如何にして作られ発育するか（発生学）についても、その概要を学びます。											
学修到達目標											
各臓器や器官についての構造とそれに関連した機能の概要を理解した上で、知らない人に対して説明できるようになることが到達目標となります。											
授業の進め方											
座学による講義形式で授業を行います。教科書に沿って内容を説明しますが、理解をしやすいように、必要に応じてプリントなども使用します。											
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	解剖学とは、器官とその系統、組織とその分類1	解剖学とはどういう科目か、器官・器官系、組織・細胞、上皮組織について講義します					教科書p.1~7を予習しておいてください。（4時間）				
2	組織とその分類2	支持組織、筋組織について講義します					教科書p.7~14を予習しておいてください。小テストの復習と知識の整理をしてください。（4時間）				
3	組織とその分類3	神経組織について講義します					教科書p.14~18を予習しておいてください。小テストの復習と知識の整理をしてください（4時間）				
4	人体の名称と方向、骨格系総論1	人体の外形と構成、からだの方向用語、体部の形態に関する名称、骨格系とは何か、骨のかたち等について講義します					教科書p.19~28を予習しておいてください。小テストの復習と知識の整理をしてください（4時間）				
5	骨格系総論2	骨の構造、骨の発生と成長、骨の連結について講義します					教科書p.29~34を予習しておいてください。小テストの復習と知識の整理をしてください（4時間）				
6	骨格系総論3、筋系総論	関節、筋のかたちと構造、筋のはたらきについて講義します					教科書p.35~37、73~78を予習することと、小テストの復習と知識の整理をしてください（4時間）				
7	脈管系総論1	血管、心臓について講義します					教科書p.103~113を予習し、小テストの復習と知識の整理をしてください（4時間）				
8	脈管系総論2	刺激伝導系、心臓の血管、肺循環と体循環、胎生循環について講義します					教科書p.113~119、134~135の予習、小テストの復習と知識の整理をしてください（4時間）				
9	脈管系総論3	リンパ系、脾臓について講義します					教科書p.135~144を予習し、小テストの復習と知識の整理をしてください（4時間）				
10	脈管系総論4、消化器系1	胸腺、血液、血球、造血組織、消化管粘膜・腺について講義します					教科書p.144~149、151~154の予習、小テストの復習と知識の整理をしてください（4時間）				
11	消化器系2	口腔、歯、口蓋、舌、唾液腺について講義します					教科書p.154~164を予習し、小テストの復習と知識の整理をしてください（4時間）				
12	消化器系3	咽頭、食道、胃について講義します					教科書p.165~177を予習し、小テストの復習と知識の整理をしてください（4時間）				
13	消化器系4	十二指腸、空腸、回腸について講義します					教科書p.177~183を予習し、小テストの復習と知識の整理をしてください（4時間）				
14	消化器系5	大腸、肝臓の構造について講義します					教科書p.183~187を予習し、小テストの復習と知識の整理をしてください（4時間）				
15	消化器系6	肝臓の機能、胆嚢、膵臓について講義します					教科書p.187~193を予習し、小テストの復習と知識の整理をしてください（4時間）				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「入門人体解剖学 第5版」藤田恒夫著（南江堂） ISBN:978-4-524-24237-5（生協で購入してください。） 必要に応じてプリント資料を配付します。					定期試験：80% 小テスト：20% S：各臓器の形態と構造、機能について充分理解している、A：各臓器の形態と構造については理解している、B：上記について8割程度理解している、C：上記について6割程度は理解している。試験の難易度は管理栄養士国家試験とほぼ同じレベルを想定						
参考書					履修上の注意（学生へのメッセージ）						
「日本人体解剖学 上巻、下巻」金子丑之助ほか著（南山堂） 「組織学」伊藤 隆ほか著（南山堂）					予習、復習を十分に行い、正しく理解する努力をしてください。他の科目学修の基礎になります。分からない時は、必ず質問してください。質問は授業中・受講票への記載・オフィスアワーを利用してください。						

科目名	解剖学 (含実習)		学年学期	1年後期	単位数	3	ナパリング	NA15011	研究室	S-03
担当者	進藤 政臣・川久保 雅友		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日1限、金曜日1限		
関連資格	管理栄養士、栄養士、食品衛生、健康食品管理士、栄教一				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
前期の解剖学 に続いて、その他の系や器官について学び、その後、人体全体のモデルや器官モデルを使って、人体の構造を立体的に把握します。										
学修到達目標										
講義・実習を通じて、各臓器や器官についての構造と機能の概要を理解することが到達目標となります。										
授業の進め方										
座学形式で講義を行います。 教科書により各器官について詳細に説明し、人体全体及び臓器モデルを学びます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	呼吸器系1	呼吸器系の概要、鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管支について講義し、一部模型を用いた実習を行います				教科書p.195～204を予習しておいてください(5時間)				
2	呼吸器系2	肺について講義し、一部模型を用いた実習を行います				教科書p.204～211の予習、小テストの復習、知識の整理してください(5時間)				
3	泌尿器系、生殖器系1	腎臓、尿管、膀胱、精巣、精巣上体について講義し、一部模型を用いた実習を行います				教科書p.213～224の予習、小テストの復習、知識の整理してください(5時間)				
4	生殖器系2	精管、前立腺、陰茎、精子、卵巣、卵管、子宮について講義し、一部模型を用いた実習を行います				教科書p.224～233の予習、小テストの復習、知識の整理してください(5時間)				
5	生殖器系3、腹膜	胎盤、膈、外陰部、臍側腹膜、壁側腹膜、腹膜腔について講義し、一部模型を用いた実習を行います				教科書p.233～239の予習、小テストの復習、知識の整理してください(5時間)				
6	内分泌系	下垂体、松果体、甲状腺、上皮小体、副腎、膵臓について講義し、一部模型を用いた実習を行います				教科書p.241～252の予習、小テストの復習、知識の整理してください(5時間)				
7	神経系1	神経系の構成と分類について講義し、一部模型を用いた実習を行います				教科書p.253～256の予習、小テストの復習、知識の整理してください(5時間)				
8	神経系2	脊髄、延髄、橋について講義し、一部模型を用いた実習を行います				教科書p.256～261の予習、小テストの復習、知識の整理してください(5時間)				
9	神経系3	小脳、中脳、間脳(視床と視床下部)について講義し、一部模型を用いた実習を行います				教科書p.261～266の予習、小テストの復習、知識の整理してください(5時間)				
10	神経系4	大脳皮質と機能局在、大脳基底核について講義し、一部模型を用いた実習を行います				教科書p.266～273の予習、小テストの復習、知識の整理してください(5時間)				
11	神経系5	脳の血管、脳室について講義し、一部模型を用いた実習を行います				教科書p.273～279の予習、小テストの復習、知識の整理してください(5時間)				
12	神経系6	脳脊髄膜、脳脊髄液、脳神経 について講義し、一部模型を用いた実習を行います				教科書p.279～286の予習、小テストの復習、知識の整理してください(5時間)				
13	神経系7	脳神経 ～ について講義し、一部模型を用いた実習を行います				教科書p.286～293の予習、小テストの復習、知識の整理してください(5時間)				
14	神経系8	脊髄神経(分布と走行、主な脊髄神経)について講義し、一部模型を用いた実習を行います				教科書p.293～299の予習、小テストの復習、知識の整理してください(5時間)				
15	神経系9	自律神経(交感神経、副交感神経、腸管神経系)について講義し、一部模型を用いた実習を行います				教科書p.300～305の予習、小テストの復習、知識の整理してください(5時間)				
16	神経系10	伝導路(反射路、求心性伝導路、遠心性伝導路)について講義し、一部模型を用いた実習を行います				教科書p.305～312の予習、小テストの復習、知識の整理してください(5時間)				
17	感覚器系1	視覚器(眼球、付属器)について講義し、一部模型を用いた実習を行います				教科書p.313～320の予習、小テストの復習、知識の整理してください(5時間)				
18	感覚器系2	平衡聴覚器(外耳、中耳、内耳)、皮膚について講義し、一部模型を用いた実習を行います				教科書p.321～332の予習、小テストの復習、知識の整理してください(5時間)				

授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。			
回	テーマ	内容	事前事後学修
19	発生学1	受精から着床まで、発生第2週と第3週、内胚葉、外胚葉、中胚葉、栄養膜、神経溝・神経管について講義します	教科書p.333～340の予習，小テストの復習，知識の整理してください（5時間）
20	発生学2	各臓器の発達（発生第4～8週）、胚、胎児、胎生3月～出生について講義します	教科書p.340～350の予習，小テストの復習，知識の整理してください（5時間）
21	骨格系各論1	あたまの骨（脳頭蓋、頭蓋底、顔面頭蓋）について講義し，一部模型を用いた実習を行います	教科書p.37～46の予習，小テストの復習，知識の整理してください（5時間）
22	骨格系各論2	鼻腔と副鼻腔、脊柱（頸椎、胸椎、腰椎、仙椎）、肋骨、胸骨について講義し，一部模型を用いた実習を行います	教科書p.46～57の予習，小テストの復習，知識の整理してください（5時間）
23	骨格系各論3	上肢（上肢帯，自由上肢）の骨格、骨盤について講義し，一部模型を用いた実習を行います	教科書p.57～67の予習，小テストの復習，知識の整理してください（5時間）
24	骨格系各論4	自由下肢の骨格、股関節と膝関節について講義し，一部模型を用いた実習を行います	教科書p.67～72を予習の予習，小テストの復習，知識の整理してください（5時間）
25	筋系各論1	あたまの筋、くびの筋、胸腹部の筋について講義し，一部模型を用いた実習を行います	教科書p.78～92の予習，小テストの復習，知識の整理してください（5時間）
26	筋系各論2	上肢の筋、下肢の筋について講義し，一部模型を用いた実習を行います	教科書p.93～102の予習，小テストの復習，知識の整理してください（5時間）
27	脈管系各論1	動脈系について講義し，一部模型を用いた実習を行います	教科書p.119～127の予習，小テストの復習，知識の整理してください（5時間）
28	脈管系各論2	静脈系について講義し，一部模型を用いた実習を行います	教科書p.127～133の予習，小テストの復習，知識の整理してください（5時間）
29	まとめと質疑1	前回までの全体のまとめと，全体を通じた質疑を行います	これまでの履修した部分を復習し，理解しにくいところを整理しておいてください（5時間）
30	まとめと質疑2	前回に引き続き，これまでの全体のまとめと，全体を通じた質疑を行います	これまでの履修した部分を復習し，理解しにくいところを整理しておいてください（5時間）
テキスト		成績評価の方法・基準	
「入門人体解剖学 第5版」藤田恒夫著（南江堂） ISBN:978-4-524-24237-5（生協で購入してください。）		定期試験：80% 小テスト：20% S：各臓器の形態と構造，機能について充分理解している，A：各臓器の形態と構造についてほぼ理解している，B：上記について8割程度理解している，C：上記について6割程度は理解している．試験の難易度は管理栄養士国家試験とほぼ同じレベルを想定	
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）	
「日本人体解剖学 上巻、下巻」金子丑之助ほか著（南山堂） 「組織学」伊藤 隆ほか著（南山堂）		解剖学 の講義と同様です。実習に当たっては、教科書の図譜を十分観察するほか、人体模型の観察を徹底してください。質問は遠慮なくしてください。質問は授業中・受講票への記載・オフィスアワーを利用してください。	

科目名	医学概論			学年学期	1年後期	単位数	2	ナパ [®] リング	NA15012	研究室	S-03
担当者	進藤 政臣			必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日1限、金曜日1限		
関連資格	管理栄養士、栄養士、食品衛生、健康食品管理士、栄教一					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）						
		A	B	C							
授業概要											
<p>人の健康づくりに携わる職種は、医学や医療と密接な関係があります。したがって、医学や医療の正しい知識や現状を学ぶことにより、健康の増進や疾病の予防をいかにするかを知ることが目的です。</p> <p>医学は、人の健康と疾病について学ぶ学問であり、この講義では、医学の定義、構成分野、発達の歴史、さらに健康や疾病の基礎的知識を学びます。その上で、倫理上の点も含めて、今日の医療の課題や問題点も学びます。</p>											
学修到達目標											
医学や医療体制、疾病、医療倫理、患者の権利、チーム医療、労働者医療、災害医療など全般についての概要を理解できることを到達目標とします。											
授業の進め方											
原則的には座学の講義形式で進めます。基本的な事項については、教科書に沿って説明します。問題点については個人個人の考え方を発表しあって、より妥当な考え方に到達するように努めます。必要に応じてプリントも配布します。											
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	医学の歴史	医学概論とは何か、医学史を学ぶ意義、古代から現在までの医学の流れ、日本における医学の発展、について講義します					教科書p.1～14を予習しておいてください（4時間）				
2	病気とその治療・予防	健康の定義、病気の分類、医療の目的と治療法、療養施設等、について講義します					教科書p.15～23を予習しておいてください（4時間）				
3	患者の診察と検査	病歴聴取、診察法、検査の種類と意義等、について講義します					教科書p.24～36を予習しておいてください（4時間）				
4	社会保障と医療保険	社会保障の概念と制度の成立・基盤、社会保険の種類、保健医療制度、他国の医療制度等、について講義します					教科書p.37～47を予習しておいてください（4時間）				
5	日本の医療の現状と国民の意識	日本の医療の現状、国民の健康意識・受療行動、他国との比較、予防医療など、について講義します					教科書p.48～61を予習しておいてください（4時間）				
6	わが国の医療の問題点と対策	医師不足、無医地区、救急医療、国の制度改革等、について講義します					教科書p.62～73を予習しておいてください（4時間）				
7	生活習慣病、健康日本21、産業保健	生活習慣病の概念、健康日本21の成果と課題、特定健診と保健指導、産業保健等、について講義します					教科書p.74～89を予習しておいてください（4時間）				
8	高齢者医療、健康長寿と介護保険	健康長寿の現状、地域保健と老化防止、介護保険の概要と課題、について講義します					教科書p.99～113を予習しておいてください（4時間）				
9	リハビリテーション	リハビリテーションの概念の変遷、身体障害者、ノーマリゼーション、リハビリテーションの種類等、について講義します					教科書p.114～128を予習しておいてください（4時間）				
10	医療職の役割とチーム医療	医療従事者の種類と業務、医療の現状とチーム医療の重要性等、について講義します					教科書p.129～145を予習しておいてください（4時間）				
11	医療安全	医療事故・前事故事象の概念、事故の原因と対処、院内感染予防、医療安全対策、安全管理体制、について講義します					教科書p.146～154を予習しておいてください（4時間）				
12	災害医療、心身発達	災害医療の概要、過去の災害での教訓、災害医療体制、トリアージ、テロリズム、心身の発達、母子保健、学校保健等、について講義します					教科書p.90～98、155～169を予習しておいてください（4時間）				
13	医の倫理、患者の権利1	医療の倫理的側面、自己決定権、生殖医療等、について講義します					教科書p.170～178を予習しておいてください（4時間）				
14	医の倫理、患者の権利2	遺伝子診断、脳死、臓器移植、緩和ケア、終末期医療、について講義します					教科書p.179～187を予習しておいてください（4時間）				
15	国際医療協力、医学研究	国際医療協力の概要、ODA、JICA、NGO、医学研究の倫理的原則、ヘルシンキ宣言、疫学研究、EBM、臨床研究等、について講義します					教科書p.188～208を予習しておいてください（4時間）				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「現代医学概論 第2版」柳澤信夫著（医歯薬出版） ISBN:978-4-263-73164-2（生協で購入してください。） 必要に応じてプリント資料を配付します。					定期試験：100% S：医学・医療の歩みと、日本の医療の特徴、種々の歴史的・社会的・経済的・倫理的・医療的課題を十分に理解している、A：上記をほぼ理解している、B：上記を8割程度は理解している、C：6割程度は理解している。試験の難易度は管理栄養士国家試験とほぼ同じレベルを想定						
参考書					履修上の注意（学生へのメッセージ）						
「医学概論」北村論著（中外医学社） 「医学概論」日野原重明著（医学書院）					医学史や現代医学の概要、医療体制を知ることにより、わが国の医療の概要を理解し、疾病の予防を自ら考えてください。医学概論は教科書を通読することが大切です。講義前には是非教科書を読んでおいてください。						

科目名	生理学		学年学期	2年前期	単位数	2	ナバ'リング	NA25013	研究室	S-24
担当者	河野 史倫		必修選択	必修	科目種別	講義	オイスア-	月曜日5限		
関連資格	管理栄養士、栄養士、食品衛生、健康食品管理士、HACCP管理者、栄教一				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
健康とはどんな状態か?病気になる時、体の中ではいったい何が起きているのか?それらを理解するためには、人間の体の正常な機能を知っておく必要があります。本科目では、血液や心循環、筋収縮、神経伝達、内分泌、免疫、呼吸、消化・吸収など、身体機能の仕組みについて幅広く講義を行います。運動や食習慣による健康づくりについて科学的に考えるための基盤となる知識を習得するのが目的です。										
学修到達目標										
ヒトの各身体機能について、それぞれの主な仕組みを説明できるようになることが目標です。										
授業の進め方										
講義は指定のテキストに沿って進めていきます。必要な部分は、テキストにはない写真やデータも参考にしながら、よりイメージしやすくなるように解説していきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	血液	血液組成と血液の機能、貧血について、テキストとスライドを使って解説します。				テキストの第2章を読み、全体の内容を把握しておくこと。授業ノートをまとめ直す。(4時間)				
2	免疫	免疫反応とは何か?生体の防御機構とその害について、配布資料とスライドを使って解説します。				授業後は授業ノートを再度まとめ直す。(4時間)				
3	循環器1	心臓の仕組みと心電図の見方について、テキストとスライドを使って解説します。				テキストの第3章(p37まで)を読み全体の内容を把握しておくこと。(4時間)				
4	循環器2	血管と血圧調節の仕組みについて、テキストとスライドを使って解説します。				テキストの第3章(後半)を読み全体の内容を把握しておくこと。ノートをまとめ直す。(4時間)				
5	呼吸	肺の構造と酸素取り込み、肺活量とは何か?について、テキストとスライドを使って解説します。				テキストの第4章を読み全体の内容を把握しておくこと。ノートをまとめ直す。(4時間)				
6	消化・吸収	各消化器官で水分や栄養がどのように吸収されるのか、テキストとスライドを使って解説します。				テキストの第5章を読み全体の内容を把握しておくこと。ノートをまとめ直す。(4時間)				
7	腎機能と尿	腎臓の作りと尿の生成、利尿作用について、テキストとスライドを使って解説します。				テキストの第6章を読み全体の内容を把握しておくこと。ノートをまとめ直す。(4時間)				
8	前半のまとめ	第1回~第7回までの講義内容に関する試験を実施し、解答と解説を行います。				授業前半の内容をまとめ、理解しておくこと。(4時間)				
9	代謝	全身の代謝量を知る方法について、テキストとスライドを使って解説します。				テキストの第7章を読み全体の内容を把握しておくこと。ノートをまとめ直す。(4時間)				
10	体温調節	熱の産生と放散、発汗のメカニズムについて、テキストとスライドを使って解説します。				テキストの第8章を読み全体の内容を把握しておくこと。ノートをまとめ直す。(4時間)				
11	骨格筋	筋肉の種類と収縮の仕組みについて、テキストとスライドを使って解説します。				テキストの第11章を読み全体の内容を把握しておくこと。ノートをまとめ直す。(4時間)				
12	神経伝達	神経細胞の作りと神経伝達の仕組みについて、テキストとスライドを使って解説します。				テキストの第12章を読み全体の内容を把握しておくこと。ノートをまとめ直す。(4時間)				
13	自律神経	交換神経と副交感神経、体の機能を維持するための様々な反射について、テキストとスライドを使って解説します。				テキストの第13章を読み全体の内容を把握しておくこと。ノートをまとめ直す。(4時間)				
14	脳機能	部位と役割、記憶、睡眠、情動が起こるメカニズムについて、テキストとスライドを使って解説します。				テキストの第14章を読み全体の内容を把握しておくこと。ノートをまとめ直す。(4時間)				
15	感覚器	視覚、聴覚、平衡感覚の仕組みについて、テキストとスライドを使って解説します。				テキストの第15章を読み全体の内容を把握しておくこと。ノートをまとめ直す。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「やさしい生理学」彼末一之、能勢博編(南江堂) ISBN:978-4-524-25417-0(生協で購入してください。) 第7版に改訂されたので注意すること				小テスト:30% 定期試験:70% S:各種生理機能について深く理解しているだけでなく、それらの知識を活用し実際に生体内で起こる事象についての確かな説明および考察ができる。A:授業内容を細部まで理解し、毎時間のまとめの内容以外の問題も解ける。B:毎時間のまとめの内容を完全に理解し、問われ方が変わっても正解できる。C:毎時間のまとめの内容を理解し、それらに関する試験問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
必要な場合は、プリントなどで配布します。				単に専門用語を覚えるだけではなく、自分の体に日頃起こることをイメージしながら講義を聞いてください。用語よりも"仕組み"全体を理解しようとすることで、より理解しやすくなります。						

科目名	生化学		学年学期	2年前期	単位数	2	ナパ [®] リング	NA25014	研究室	S-01
担当者	山田 一哉		必修選択	必修	科目種別	講義	ワイズア-	月曜日1限		
関連資格	管理栄養士、栄養士、食品衛生、健康食品管理士、HACCP管理者、栄教一				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>生体を構成する物質の構造や機能を化学の言葉を用いて理解する学問が生化学です。基礎化学や基礎生物学で得られた知識をもとに、生命現象に関わる主要物質の代謝や、エネルギー代謝ならびに内分泌系および神経系による調節機構について紹介し、生体の恒常性の維持、いわゆるホメオスタシスに関する分子基盤について理解します。また、その破綻がどのような疾病に結びつくかについても紹介します。</p>										
学修到達目標										
<p>糖質・脂質・たんぱく質・核酸など主要生体物質の代謝とその調節について深く理解し、他人に説明できるようになることや、生理学・分子生物学・基礎栄養学・分子栄養学・臨床栄養学等の関連分野の理解に必要な考え方や学問的知識の基盤を形成できるようになることを目的とします。</p>										
授業の進め方										
<p>基本的にはプリントと教科書を用いて座学形式で授業を進めます。課題として、演習問題を10回分課します。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	細胞の構造と生体構成成分	生体を構成する基本単位である細胞について、細胞内小器官の構造と機能について学びます。また、生体を構成している成分についても学びます。				教科書のp15-p24を読んでおくこと。講義後、p25の問題を解くこと。(4時間)				
2	酵素とビタミン・ミネラル	生体内の化学反応は、すべてタンパク質の触媒分子である酵素により行われています。酵素の性質と反応速度論について学ぶとともに、酵素活性に影響を与えるビタミンとミネラルについても学びます。				教科書のp63-p75を読んでおくこと。講義後、演習問題1を提出すること。(4時間)				
3	糖質代謝 糖質代謝総論、解糖	糖質代謝の全体像について学びます。消化・吸収後の血中から細胞内へのグルコースの取り込み機構とすべての生物に共通のグルコース代謝経路である解糖系について学びます。				教科書のp111-p117を読んでおくこと。講義後、演習問題2を提出すること。(4時間)				
4	生体エネルギー クエン酸回路と酸化的リン酸化	解糖系により生じたピルビン酸がミトコンドリアに入りクエン酸回路と電子伝達系での酸化的リン酸化により水とCO ₂ とエネルギーに変換されるしくみを学びます。				教科書の第9章と第10章を読んでおくこと。講義後、演習問題3を提出すること。(4時間)				
5	糖質代謝 グリコーゲン代謝	グルコースの貯蔵型であるグリコーゲンの合成と分解について学びます。				教科書のp122-p124を読んでおくこと。講義後、演習問題4を提出すること。(4時間)				
6	糖質代謝 グリコーゲン代謝の調節、ペントースリン酸経路、ウロン酸経路	グリコーゲン代謝のホルモンによる調節と、グルコースの他の代謝経路として、ペントースリン酸経路やウロン酸合成経路についても学びます。				教科書の第10章の該当部分を読んでおくこと。講義後、演習問題5を提出すること。(4時間)				
7	糖質代謝 糖新生、その他のヘキソースの代謝、糖質代謝異常症	血糖を維持するための乳酸やアミノ酸からのグルコース合成系である糖新生とホルモンによる解糖系と糖新生系の調節について学びます。フルクトースやガラクトースの代謝や糖代謝異常症も学びます。				教科書の第10章の該当部分を読んでおくこと。講義後、演習問題6を提出すること。(4時間)				
8	脂質代謝 リポタンパク質、トリグリセリド代謝	血中での脂質の存在様式と組織間での輸送経路ならびにトリグリセリド代謝の概略について学びます。				教科書のp143-p147を読んでおくこと。講義後、演習問題7を提出すること。(4時間)				
9	脂質代謝 脂肪酸代謝・エイコサノイド代謝	グルコースからの脂肪酸合成と鎖長伸長反応・不飽和化、ミトコンドリアでの分解系(酸化)について学びます。また、エイコサノイドの代謝も学びます。				教科書の第11章(p147-p152, p158-p159)を読んでおくこと。(4時間)				
10	脂質代謝 ケトン体代謝	ケトン体とは何か、肝臓でのケトン体合成と筋肉でのケトン体分解について学びます。				教科書のp152-p154を読んでおくこと。講義後、演習問題8を提出すること。(4時間)				
11	脂質代謝 コレステロール代謝、脂質代謝異常症	コレステロールの合成反応とコレステロールからの胆汁酸・ステロイド合成について学びます。脂質代謝異常症についても学びます。				p154-p162を読んでおくこと。事後にはp165-p166の問題をすること。(4時間)				
12	ホルモンによる糖質・脂質代謝の調節	糖質・脂質代謝とその調節について全体的に復習します。ホルモンによる相互の調節関係について統合的に理解できるようにします。				教科書の第9章-第11章を復習しておくこと。講義後、演習問題1-8を見直すこと。(4時間)				
13	タンパク質・アミノ酸代謝 窒素平衡、タンパク質の分解、アミノ酸代謝	体タンパク質の代謝回転と分解機構、アミノ基転移反応について学びます。				教科書の第12章(p167-p174)を読んでおくこと。(4時間)				
14	タンパク質・アミノ酸代謝 尿素サイクル、非必須アミノ酸の合成、代謝異常	尿素サイクルによるアンモニアの解毒、アミノ酸誘導体の生理活性物質について学んだあと、アミノ酸代謝異常症も学びます。				教科書のp174-p189を読んでおくこと。講義後、演習問題9を提出すること。(4時間)				
15	ヌクレオチド代謝、代謝異常症	ヌクレオチドとは何か、プリン・ピリミジンヌクレオチドの代謝とヌクレオチド代謝異常症について学びます。				教科書のp191-p200を読んでおくこと。講義後演習問題10を提出すること。(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
「管理栄養士養成課程 化学・生化学」大村正史・本三保子・山田一哉編(理工図書) ISBN:9784844607861(生協で購入してください。)		定期試験:95% 課題:5% 試験60-69点でC。試験70-79点でB。試験80-95点でA。演習課題をすべて期限内に提出したうえで試験90点以上でS。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「カラーイラストで学ぶ 集中講義 生化学」鈴木敬一郎・本家孝一・大河原知水・藤原範子編(メジカルビュー社) ISBN:9784758300872 代謝の調節や相互関係、臨床医学との関連について、Q&A形式で書かれています。		物質代謝の生理学的役割、調節のメカニズム、さらに代謝の相互関係や位置づけを、複合的に理解し、一つのストーリーとして人に説明できるようになることを意識して講義に臨んでください。								

科目名	微生物学			学年学期	2年前期	単位数	2	ナバリング	NA25015	研究室	S-12
担当者	木藤 伸夫			必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日2限、水曜日3限		
関連資格	管理栄養士、食品衛生、健康食品管理士、HACCP管理者					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）						
		A	B	C							
授業概要											
感染症の原因となる様々な微生物について学習します。また、細菌が産生する、下痢や嘔吐、発熱の原因となる毒素や、微生物由来成分についての知識を身につけます。さらに、病原体や毒素などの外来の異物を非自己として認識し、それを排除する免疫のメカニズムについても学習します。食に関する微生物を主に取り上げたいと思いますが、管理栄養士国家試験には食に直接関係の無い感染症や免疫に関する問題が出題されるので、そのような問題にも対応できるような講義を行います。											
学修到達目標											
食を扱う場合、食材の腐敗、食中毒の発生は極力避けなくてはなりません。いずれも細菌や真菌(カビ)、ウイルスなどの微生物が原因となります。これらの微生物はどこにいるのか、どのような条件で増えるのか、病気の原因となるものは何かを学習し、将来管理栄養士として働く場合に最低限必要とされる専門知識を身につけることが目標です。											
授業の進め方											
教科書にそって解説します。最近では新聞やテレビなどのマスコミで感染症の流行が取り上げられることが多いため、そのような感染症なども取り上げて解説します。講義のテーマに関連する国家試験問題などを中心に、各講義時間に小テストを行います。											
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	微生物学の歴史	人類と微生物の共存や戦いの歴史について学びます。					教科書の1～10ページを読んでおく（4時間）				
2	微生物学の基礎 1	微生物にはどのような種類があるかを学び、それらの違いを整理して理解します。					教科書の11～20ページを予習し、返却された小テストを復習する（4時間）				
3	微生物学の基礎 2	微生物の生理と代謝を学び、微生物の増え方について理解を深めます。					教科書の21～34ページを予習し、返却された前回の小テストで間違えた部分を復習する（4時間）				
4	食品微生物学 1	自然界や食品中にどのような微生物が存在するかを知り、食品をどのように取り扱ったときに腐敗や食中毒の原因となるか理解します。					教科書の37～53ページを予習し、返却された前回の小テストで間違えた部分を復習する（4時間）				
5	食品微生物学 2	発酵食品を例に、微生物を利用した食品製造について学び、人に役立つ微生物がいることを理解します。					教科書の54～67ページを読んで予習し、前回の小テストで間違えた部分を復習する（4時間）				
6	病原微生物学 1	微生物が起こす感染症(感染機構)について学ぶ。まずは細菌感染症の種類や原因菌について整理します。					教科書71～99ページを読んで講義に出席し、前回の小テストで間違えた部分を復習する（4時間）				
7	病原微生物学 2	細菌以外の微生物（真菌、ウイルス、寄生虫など）による感染症の種類や、それらの感染経路について学び、理解を深めます。					教科書の100～117ページを予習し、返却された前回の小テストで間違えた部分を復習する（4時間）				
8	病原微生物学 3	感染症の治療法(抗生物質と化学療法)について学び、近年問題となっている新興感染症、再興感染症との関連についても理解を深めます。					教科書の118～138ページを予習し、返却された前回の小テストで間違えた部分を復習する（4時間）				
9	滅菌と消毒	滅菌法、消毒法を学び、微生物を死滅、あるいは増殖させない方法を知ります。					教科書の141～146ページを予習し、返却された前回の小テストで間違えた部分を復習する（4時間）				
10	免疫学 1	免疫反応に関わる分子（抗原と抗体）、免疫に関わる細胞（免疫系の構成と免疫応答）について学び、人体の感染防御機構について理解します。					教科書の147～152ページを予習し、返却された前回の小テストで間違えた部分を復習する（4時間）				
11	免疫学 2	免疫応答と、免疫を利用した病気の予防法(予防接種、血清療法および免疫グロブリン療法)について学びます。					教科書の153～161ページを予習し、返却された前回の小テストで間違えた部分を復習する（4時間）				
12	免疫学 3	免疫不全、アレルギー、自己免疫などを学び、免疫が体に不都合に働く場合があることを知ります。					教科書の162～170ページを予習し、返却された前回の小テストで間違えた部分を復習する（4時間）				
13	微生物のバイオテクノロジー 1	微生物を利用した技術（バイオテクノロジーの歴史と物質生産）について学びます。					教科書の171～181ページを予習し、返却された前回の小テストで間違えた部分を復習する（4時間）				
14	微生物のバイオテクノロジー 2	微生物を利用した技術の応用（遺伝子組み換え作物、環境浄化）について学びます。					教科書の182～186ページを予習し、返却された前回の小テストで間違えた部分を復習する（4時間）				
15	講義のまとめ	これまで行った小テストの解説を行って講義の要点を整理し、理解が不足していると思われる点について重点的に復習します。					これまでの小テストを復習し、不明な点は解説を聞く。それでも理解できない点は質問する（4時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準							
「微生物学(第3版)」小林秀光・白石淳編(化学同人) ISBN:978-4-7598-1239-8(生協で購入してください。)				定期試験：100% 病原微生物の種類と構造、それらが関係する感染症を説明できればC、微生物の性質を理解し食中毒などの感染症を防ぐにはどのような処理や薬剤が有効か説明できればB、微生物が体内に侵入した時の免疫応答を説明できればA、微生物に関する基礎知識をもとに、発酵食品、食品の腐敗と保存、食物アレルギーなどの複合的な現象を説明できればS。							
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）							
「微生物の狩人」ポール・ド・クライフ著秋元寿恵夫 訳編(岩波文庫(岩波書店)) 「微生物vs.人類」加藤延夫著(講談社現代新書1771)				新聞/ラジオ/テレビ等で話題になっている感染関連ニュース(食中毒を含む)に注目し、常に情報収集をしながら講義に臨んで下さい。タイムリーな話題を講義で取り上げて解説します。							

科目名	病理学			学年学期	2年前期	単位数	2	ナバリング	NA25016	研究室	S-16
担当者	江原 孝史			必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日2限		
関連資格	管理栄養士、食品衛生、健康食品管理士、HACCP管理者					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）						
		A	B	C							
授業概要											
病理学は、病気の原因や本態を追究する学問であり、病気に関わるあらゆる学問の基礎になります。人の体には、細胞の変化によってがんや糖尿病、高血圧、炎症などさまざまな病気がおこります。これらの病変の基礎を学びます。											
学修到達目標											
がん、アレルギー、炎症、高血圧などの原因とメカニズムについての知識を持ち説明できる。さらにアレルギー、炎症、高血圧などでおこる臓器の肉眼的な変化と細胞レベルでの変化、がん細胞の特徴とがんの進展について説明できる。											
授業の進め方											
講義と顕微鏡実習で進めます。また過去の管理栄養士国家試験問題を実際に解きながら、知識の定着を促します。											
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	病理学とは	病気の原因（外因、内因）、疾病の分類について学びます。					自分が過去に罹った病気について原因、特徴を調べる。（4時間）				
2	細胞障害	細胞の構造、細胞小器官の変化と異常について学びます。					細胞の基本的構造を調べる。（4時間）				
3	代謝異常	タンパク質、核酸、脂質、糖質、無機質、色素代謝異常について学びます。					教科書26-41ページを読んでくる。ビリルビンと黄疸の関係について調べる。（4時間）				
4	進行性病変	再生と創傷治癒、肥大、過形成、化生、異形成について学びます。					教科書42-47ページを読んでくる。肥大はどんな臓器におこるか調べる。（4時間）				
5	先天異常	先天性疾患、遺伝性疾患（顕性遺伝、潜性遺伝、伴性潜性遺伝）について学びます。					教科書14-25ページを読んでくる。色盲について調べる。（4時間）				
6	病理検査	組織学的検査、電子顕微鏡、免疫組織学的検査、病理解剖について学びます。					臓器の固定法、プレパラートの作成法を学ぶ。（4時間）				
7	循環障害(1)	充血、うっ血、出血の種類、ショックの分類、虚血とおこりやすい臓器について学びます。					教科書48-59ページを読んでくる。出血の種類とそれぞれの特徴について調べる。（4時間）				
8	循環障害(2)	血栓とその運命、塞栓の定義とその種類、梗塞、浮腫の原因について学びます。					浮腫（むくみ）のチェックの方法と浮腫の原因を学ぶ。4時間				
9	感染症	細菌、ウイルス、真菌、寄生虫による疾患について学びます。					教科書76-79ページを読んでくる。新興感染症について調べる。4時間				
10	炎症	炎症とは、炎症の3徴、急性炎症、慢性炎症について学びます。					教科書60-65ページを読んでくる。肺炎の起炎菌について調べる。4時間				
11	腫瘍	腫瘍の定義、良性腫瘍と悪性腫瘍の違いについて学びます。					教科書80-87ページを読んでくる。良性腫瘍について調べる。4時間				
12	悪性腫瘍(1)	がんと肉腫の違い、がんの生物学、がん細胞の特徴について学びます。					教科書88-91ページを読んでくる。がんの種類について調べる。（4時間）				
13	悪性腫瘍(2)	日本人に多いがんについて、がんの予防、診断、治療について学びます。					教科書92-97ページを読んでくる。がんの診断の過程を調べる。（4時間）				
14	免疫と免疫疾患	免疫のメカニズム、免疫疾患（自己免疫疾患）について学びます。					教科書66-70ページを読んでくる。自己免疫疾患について調べる。（4時間）				
15	移植	拒絶反応とGVHD（移植片対宿主病）、日和見感染、免疫抑制、免疫不全について学びます。					教科書74-75ページを読んでくる。日和見感染について調べる。（4時間）				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「図解ワンポイント病理学」岡田英吉著（サイオ出版） ISBN:978-4-907176-47-1					定期試験：80% レポート：20% S：授業内容を高度に理解し、実習に積極的に取り組みかつ質問し、実習課題の内容が特に優れ、定期試験も90点以上。A：授業内容をよく理解し、実習に積極的に取り組みかつ質問し、実習課題の内容が優れ、定期試験が80点以上。B：授業内容を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、実習課題の評価が良く定期試験が70点以上。C：授業の内容を理解し、与えられた課題に取り組み、実習課題の評価が可定期試験が60点以上。						
参考書					履修上の注意（学生へのメッセージ）						
「はじめの一步の病理学」深山 正久編（羊土社） ISBN：978-4-7581					各臓器の病理学的知識は、臨床医学各論のところでも学びますが、参考書などで自学自習をするよう心がけてください。						

科目名	生理学実習		学年学期	2年後期	単位数	1	ナパ'リング	NA25017	研究室	S-24
担当者	河野 史倫		必修選択	必修	科目種別	実習	オフィスアワー	月曜日4限		
関連資格	管理栄養士、栄養士、食品衛生、栄教一				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>「血液を循環させる」、「組織で栄養を使う」、「体の状態を維持する」、「筋肉を動かす」と言った、ヒトが持つ基礎的な生理機能を測定・評価します。普段無意識に行われているカラダの機能には、必ずそれを支える仕組みが存在します。それらを実際に計測し、「データ」という客観的な情報として取り扱う考え方を養い、レポートや口頭発表による実験結果の報告方法について学びます。</p>										
学修到達目標										
<p>各種身体機能の測定方法を知り、それぞれの情報が持つ意味を理解することが基本的な目標です。さらに、異なる環境にさらされた時に、どのようなメカニズムで身体機能が変化するのか、実験結果を基に考察できるようになることが最終的な目標です。</p>										
授業の進め方										
少人数のグループに分けて実習を実施します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	授業の進め方、レポート作成方法についての説明と班分けを行います。				「生理学」テキストの、次回実習に関係する部分を読んでおくこと。(1時間)				
2	血液	血液の組成を調べる実習を行います。				「生理学」テキストの、次回実習に関係する部分を読む。レポートをまとめること。(1時間)				
3	循環	心電図を測定する実習を行います。				「生理学」テキストの、次回実習に関係する部分を読む。レポートをまとめること。(1時間)				
4	組織化学	各臓器の標本を作成し、顕微鏡で観察を行います。				「生理学」テキストの、次回実習に関係する部分を読む。レポートをまとめること。(1時間)				
5	尿(1)	水分補給後の尿生成量を測定する実習を行います。				「生理学」テキストの、次回実習に関係する部分を読む。レポートをまとめること。(1時間)				
6	尿(2)	発汗の尿生成量を測定する実習を行います。				「生理学」テキストの、次回実習に関係する部分を読む。レポートをまとめること。(1時間)				
7	尿(3)	発汗の尿生成量を測定する実習を行います。				「生理学」テキストの、次回実習に関係する部分を読む。レポートをまとめること。(1時間)				
8	筋電図	骨格筋の電気的な活動を記録し、姿勢制御や筋力発揮との関係を調べる実習を行います。				「生理学」テキストの、次回実習に関係する部分を読む。レポートをまとめること。(1時間)				
9	筋疲労	最大随意筋力を測定する実習を行います。				「生理学」テキストの、次回実習に関係する部分を読む。レポートをまとめること。(1時間)				
10	酸素消費(1)	漸増負荷運動を行い、呼気ガス組成や心拍数、乳酸値を測定します。				「生理学」テキストの、次回実習に関係する部分を読む。レポートをまとめること。(1時間)				
11	酸素消費(2)	低酸素環境で漸増負荷運動を行い、呼気ガス組成や心拍数、乳酸値を測定します。				「生理学」テキストの、次回実習に関係する部分を読む。レポートをまとめること。(1時間)				
12	酸素消費(3)	栄養条件を変え漸増負荷運動を行い、呼気ガス組成や心拍数、乳酸値を測定します。				「生理学」テキストの、次回実習に関係する部分を読む。レポートをまとめること。(1時間)				
13	発表(1)	各班ごとに割り当てられたテーマについて口頭発表を行い、得られたデータに対してクラス全体で討論します。				レポートの修正点をよく調べ、レポートの内容をスライドにまとめる。(1時間)				
14	発表(2)	各班ごとに割り当てられたテーマについて口頭発表を行い、得られたデータに対してクラス全体で討論します。				レポートの修正点をよく調べ、レポートの内容をスライドにまとめる。(1時間)				
15	発表(3)	各班ごとに割り当てられたテーマについて口頭発表を行い、得られたデータに対してクラス全体で討論します。				レポートの修正点をよく調べ、レポートの内容をスライドにまとめる。(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
必要に応じてプリントを配布します。				<p>レポート：80% 課題：20%</p> <p>S：実験結果を分かりやすく図示でき、得られたデータに対して引用情報等を用いて的確に考察ができる。A：実験結果を分かりやすく図示し、それらを考察できる。B：実験結果を分かりやすく図示できる。C：課題レポートを提出し、内容に不備がない。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「やさしい生理学」彼末一之、能勢博編(南江堂) ISBN: 978-4-524-25417-0				測定データが何を意味するのか、常に考えながら実習に臨んでください。						

科目名	生化学実験	学年学期	2年後期	単位数	1	ナパ'リング	NA25018	研究室	S-01
担当者	山田 一哉	必修選択	必修	科目種別	実験	オフィスアワー	月曜日1限		
関連資格	管理栄養士、栄養士、食品衛生、HACCP管理者、栄教一			履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
		A	B	C					
授業概要									
生理的状態および病的状態のラットから血液や組織を採取し、血液に含まれるグルコースおよび各種脂質の量を測定します。組織から酵素を抽出し、解糖系・糖新生系酵素の活性を測定します。また、酵素タンパク質を電気泳動により分離して、解糖系酵素の抗体を用いたウエスタンブロッティングを行い、酵素活性の変動が酵素タンパク質量の変化によるかどうかを解析します。さらに、組織から total RNA を調製し、リアルタイム PCR 法を用いて、解糖系酵素遺伝子の発現量を定量します。									
学修到達目標									
生化学の講義で学んだ生体物質や代謝酵素等を、実際に「モノ」として扱うことにより、講義で得られた知識を実験に裏打ちされた確かな知識へと昇華することを目指します。									
授業の進め方									
実験は、生理学実習室にてグループ単位で行います。グループで実験を行うことでチームの一員としての役割を果たし、1つ1つの実験を正確に行うことで確かな実験技術を習得し、レポート作成を行うことで科学的な思考の確立を目指します。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	実験ガイダンスと動物実験について	本実験の目的と到達目標について説明します。本実験は動物実験を含むため、動物実験を行う上での注意点や意義についても説明します。				動物実験の3Rについて理解を深めること。(1時間)			
2	実験動物からの試料の採取と保存	絶食ラットと再摂食ラットおよび糖尿病ラットとインスリン治療ラットを解剖して、血清と肝臓・脾臓を採取して凍結保存します。				プロトコルを読んで手順を理解しておくこと。原理を理解しておくこと。(1時間)			
3	血液成分の測定(血糖量の測定)	絶食ラットと再摂食ラットおよび糖尿病ラットとインスリン治療ラットの血中のグルコース濃度(血糖量)をムタローゼ・グルコースオキシダーゼ法を用いて測定します。				プロトコルを読んで手順を理解しておくこと。本日の結果と考察をまとめておくこと。(1時間)			
4	血液成分の測定(血中トリグリセリド量の測定)	絶食ラットと再摂食ラットおよび糖尿病ラットとインスリン治療ラットの血中のトリグリセリド濃度を測定します。				プロトコルを読んで手順を理解しておくこと。本日の結果と考察をまとめておくこと。(1時間)			
5	血液成分の測定(血中遊離脂肪酸量の測定)	絶食ラットと再摂食ラットおよび糖尿病ラットとインスリン治療ラットの血中の遊離脂肪酸濃度を測定します。				プロトコルを読んで手順を理解しておくこと。本日の結果と考察をまとめておくこと。(1時間)			
6	酵素の抽出とタンパク質定量	肝臓と脾臓から解糖系酵素ピルビン酸キナーゼや糖新生系酵素セリン脱水素酵素を含む細胞質画分を抽出して、Bradford法を用いてタンパク質量を定量します。				プロトコルを読んで手順を理解しておくこと。本日の結果と考察をまとめておくこと。(1時間)			
7	酵素活性の測定(ピルビン酸キナーゼ)	肝臓や脾臓由来の試料を用いて、解糖系酵素のピルビン酸キナーゼ活性を測定します。				プロトコルを読んで手順を理解しておくこと。本日の結果と考察をまとめておくこと。(1時間)			
8	酵素活性の測定(セリン脱水素酵素)	肝臓や脾臓由来の試料を用いて、糖新生系酵素のセリン脱水素酵素活性を測定します。				プロトコルを読んで手順を理解しておくこと。本日の結果と考察をまとめておくこと。(1時間)			
9	タンパク質のポリアクリルアミドゲル電気泳動	酵素抽出液を SDS-ポリアクリルアミドゲル電気泳動(SDS-PAGE)にかけてタンパク質を分離します。				プロトコルを読んで手順を理解しておくこと。本日の結果と考察をまとめておくこと。(1時間)			
10	ウエスタンブロッティング	特異抗体を用いた化学発光法により、ピルビン酸キナーゼアイソザイム(M型およびL型)を検出します。				プロトコルを読んで手順を理解しておくこと。本日の結果と考察をまとめておくこと。(1時間)			
11	total RNA の分離・精製・定量	ラットの肝臓、脾臓から、total RNA を分離・精製して、定量します。				プロトコルを読んで手順を理解しておくこと。本日の結果と考察をまとめておくこと。(1時間)			
12	逆転写反応、PCR法	total RNA から cDNA を合成し、対象の遺伝子を PCR 法により増幅します。				プロトコルを読んで手順を理解しておくこと。本日の結果と考察をまとめておくこと。(1時間)			
13	DNA のアガロースゲル電気泳動	前回実験で増幅された PCR 産物をアガロースゲル電気泳動にかけて確認します。				プロトコルを読んで手順を理解しておくこと。本日の結果と考察をまとめておくこと。(1時間)			
14	リアルタイム PCR 法を用いた遺伝子発現の定量	L-PK, M-PK, 36B4 mRNA 量をリアルタイムPCR法を用いて定量します。				プロトコルを読んで手順を理解しておくこと。本日の結果と考察をまとめておくこと。(1時間)			
15	まとめ	講義で学んだことと実験で行ったことを対比させながら、糖質・脂質代謝とホルモンによる調節について復習し、理解を深めます。				生化学のノートを見直して、全体像を理解すること。(1時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
1回目にプロトコルを配布します。		受講態度：60% レポート：40% 受講態度とは、実験に対する取り組み態度を指す。実験に参加した程度でレポートが50%できるとC。積極的に参加しレポートが60%できるとB。積極的に参加しレポートが80%できるとA。積極的に参加したうえで、レポートがほぼ満点だとS。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「特になし」		実験器具や試薬は使い方を誤れば危険なこともあるため、実験中は集中して行ってください。動物の命を犠牲にして行うため、真摯な態度で行ってください。							

科目名	分子生物学	学年学期	2年後期	単位数	2	ナパ'リング	NA25019	研究室	S-01
担当者	山田 一哉	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日1限		
関連資格	食品衛生				履修条件				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
		A	B	C					
授業概要									
生命現象を分子のレベルで理解しようとするのが、分子生物学です。近年の組み換えDNA技術の進歩により、分子生物学は非常に速いスピードで発展しています。また、医療や食品にも応用されるなど、数多くの関連分野への広がりを示しており、皆さんの今後の日常生活にも様々な場面で深く関与すると思われます。本講義では、特に遺伝子発現の基本的制御とホルモンや神経伝達物質などのシグナルによる発現調節メカニズムの面から詳しく紹介します。									
学修到達目標									
本講義では、分子生物学が明らかにした基本的概念・専門用語の定義・方法論を他人に説明できるようになるまで理解することを目的とします。									
授業の進め方									
基本的にはプリントと教科書を用いて座学形式で授業を進めます。課題として、演習問題を9回分課します。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	ゲノムの構造	ゲノムとは何か?その構造は?について学びます。				教科書のp250-p252を読んでおくこと。講義後、演習問題1を提出すること。(4時間)			
2	DNA の複製と修復	遺伝子の本体である DNA の精緻な複製のメカニズムについて学びます。				教科書の第17章を読んでおくこと。講義後、演習問題2を提出すること。(4時間)			
3	遺伝子の転写と RNA プロセシング	遺伝子発現の最初の段階である DNA から RNA への遺伝情報の転写と mRNA への成熟過程のメカニズムを学びます。				教科書のp254-p257を読んでおくこと。講義後、演習問題3を提出すること。(4時間)			
4	転写促進機構	原核生物での遺伝子の転写制御機構をオペロン説をモデルとして学びます。				教科書の第17章(p261-p262)を読んでおいてください。(4時間)			
5	転写促進機構	真核生物での遺伝子の転写促進機構について時期・組織特異的発現メカニズムの観点から学びます。				教科書の第17章の該当部分を読んでおくこと。(4時間)			
6	転写抑制機構	真核生物での遺伝子の転写抑制機構について、DNA メチル化やヒストン脱アセチル化の面から学びます。				教科書の第17章を読んでおくこと。講義後、演習問題4を提出すること。(4時間)			
7	翻訳	mRNA に写し取られた遺伝情報から、生命の表現型であるタンパク質がどのようにして作られるかについて学びます。				教科書のp257-p260を読んでおくこと。講義後、演習問題5を提出すること。(4時間)			
8	細胞内情報伝達機構総論	細胞同士の間で行われる環境情報分子による伝達メカニズムの全体像について学びます。				教科書のp222-p224を読んでおくこと。講義後、演習問題6を提出すること。(4時間)			
9	受容体からのシグナル伝達経路	G蛋白質共役型受容体からの 3 量体 G タンパク質を介した情報伝達について学びます。				教科書のp226-p227を繰り返し読んでおくこと。(4時間)			
10	受容体からのシグナル伝達経路	チロシンキナーゼ関連受容体のもつチロシンキナーゼ活性を介した情報伝達経路について学びます。				教科書のp228-p229を読んでおくこと。講義後、演習問題7を提出すること。(4時間)			
11	ホルモンの作用機序	ホルモン作用の階層的フィードバック調節と細胞外シグナル分子による遺伝子の転写調節について学びます。				教科書のp230を繰り返し読んでおくこと。(4時間)			
12	ステロイドホルモンとその受容体	ステロイドホルモンによる遺伝子の転写調節機構について学びます。				教科書のp261-p262を読んでおくこと。講義後、演習問題8を提出すること。(4時間)			
13	栄養素による遺伝子発現の制御	グルコースやコレステロールによる遺伝子の転写調節機構について学びます。				教科書の第17章の該当部分を読んでおくこと。(4時間)			
14	栄養素による遺伝子発現の制御	脂溶性ビタミンによる遺伝子の転写調節機構やミネラルによる転写後調節機構について学びます。				教科書の第17章を読んでおくこと。講義後、演習問題9を提出すること。(4時間)			
15	遺伝子多型、先天性代謝異常症、ゲノムインプリンティング	遺伝子変異と体質や疾患との関わりやエピジェネティックな変化が遺伝子発現にもたらす影響について学びます。				教科書の第17章(p270-p273)を読んでおくこと。(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
「管理栄養士養成課程 化学・生化学」大村正史・本三保子・山田一哉編(理工図書) ISBN:978484607861(生協で購入してください。)(生化学で使用した教科書と同じです)		定期試験:95% 課題:5% 試験60-69点でC。試験70-79点でB。試験80-95点でA。演習課題をすべて期限内に提出したうえで試験90点以上でS。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「Essential細胞生物学原書第4版」中村桂子、松原謙一編(南江堂) ISBN:9784524261994		管理栄養士養成課程の必修単位ではありませんが、国家試験範囲の内容を含むため、積極的に履修してください。							

科目名	臨床医学各論			学年学期	3年前期	単位数	2	ナパリング	NA35020	研究室	S-03
担当者	進藤 政臣			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日1限、金曜日1限		
関連資格	管理栄養士、食品衛生、健康食品管理士					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
チーム医療の一員として臨床栄養学の実践活動を行う上で必要な、各種疾患の原因・病理所見・症状・臨床検査所見・診断・治療方法などを学びます。臨床医学各論で取り上げる疾患は、食事療法が重要なものが多く、その病態を正しく理解しておくことが必要です。したがって、臨床医学各論の内容に沿った各種疾患の知識を学ぶことになります。											
学修到達目標											
到達目標は、各疾患についての原因、病態、症候、検査所見、治療の概要を理解し、知らない人に対してその内容を説明できることです。											
授業の進め方											
座学による講義形式で行います。 臨床医学各論の内容に合わせて、各疾患の知識を教科書に沿って説明します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	診療の流れ、疾病の成り立ち	診療の流れ、症状と徴候、疾病の種類・原因・診断等の概要について講義します					教科書p.1~3を予習しておいてください(4時間)				
2	疾病診断の概要1	診察法、バイタルサイン、全身症候について講義します					教科書p.5~10を予習しておいてください。小テストを復習・整理してください(4時間)				
3	疾病診断の概要2	局所症候、検査の種類と意義・限界等について講義します					教科書p.10~17を予習しておいてください。小テストの復習・整理をしてください(4時間)				
4	疾病治療の概要	治療法の概説、終末医療、EBM等について講義します					教科書p.18~23を予習しておいてください。小テストの復習・整理をしてください(4時間)				
5	栄養障害	飢餓、蛋白質・エネルギー栄養障害、悪液質、ビタミン欠乏症と過剰症について講義します					教科書p.24~36を予習しておいてください。小テストの復習・整理をしてください(4時間)				
6	肥満と代謝疾患1	肥満、メタボリック症候群について講義します					教科書p.37~44を予習しておいてください。小テストの復習・整理をしてください(4時間)				
7	肥満と代謝疾患2	糖尿病について概念、病態、分類、症状、合併症について講義します					教科書p.45~52を予習しておいてください。小テストの復習・整理をしてください(4時間)				
8	肥満と代謝疾患3	糖尿病の診断、治療、脂質異常症について講義します					教科書p.52~63を予習しておいてください。小テストの復習・整理をしてください(4時間)				
9	肥満と代謝疾患4	高尿酸血症、痛風、先天代謝異常について講義します					教科書p.64~68を予習しておいてください。小テストの復習・整理をしてください(4時間)				
10	消化器疾患1	嚥下障害、口腔・食道・胃・十二指腸の疾患について講義します					教科書p.69~75を予習しておいてください。小テストの復習・整理をしてください(4時間)				
11	消化器疾患2	たんぱく漏出性胃腸症、炎症性腸疾患、過敏性大腸炎、下痢・便秘症について講義します					教科書p.75~82を予習しておいてください。小テストの復習・整理をしてください(4時間)				
12	消化器疾患3	急性・慢性肝炎、肝硬変、脂肪肝、NASHについて講義します					教科書p.82~90を予習しておいてください。小テストの復習・整理をしてください(4時間)				
13	消化器疾患4	胆石症、胆嚢炎、膵炎、消化器系の悪性腫瘍について講義します					教科書p.90~100を予習しておいてください。小テストの復習・整理をしてください(4時間)				
14	循環器疾患1	虚血・うっ血、血栓・塞栓、動脈硬化について講義します					教科書p.101~109を予習しておいてください。小テストの復習・整理をしてください(4時間)				
15	循環器疾患2	血圧、狭心症、心筋梗塞、不整脈、心不全について講義します					教科書p.109~121を予習しておいてください。小テストの復習・整理をしてください(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「疾病の成り立ち：臨床医学(第3版)」津田博子、他著田中 明、加藤昌彦編(建帛社) ISBN:978-4-7679-0549-5 C3047(生協で購入してください。)必要に応じてプリント資料を配付します。					定期試験：90% 小テスト：10% S:各臓器の構造と機能、症候や検査値の意義、各臓器の疾患について十分に理解している、A:上記についてほぼ理解している、B:上記について8割程度理解している、C:上記について6割程度は理解している。試験の難易度は管理栄養士国家試験とほぼ同じレベルを想定						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「スタンダード栄養・食物シリーズ4『疾病の成り立ち 臓器別の病気』」近藤和雄ほか編(東京化学同人) ISBN:978-4-8079-1436-4					臨床栄養学各論や栄養学実習とオムニバス形式で講義が行われます。疾患、栄養、実践と一連の流れを理解してください。質問は授業中・受講票への記載・オフィスアワーを利用してください。						

科目名	臨床医学各論			学年学期	3年後期	単位数	2	ナバ'リング	NA35021	研究室	S-03
担当者	進藤 政臣			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日1限、金曜日1限		
関連資格	管理栄養士、健康食品管理士					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
臨床医学各論 に続いて、各種疾患の原因・病理所見・症状・臨床検査所見・診断・治療方法などを学びます。各論 と同様に、臨床医学各論 で取り上げる疾患も、食事療法が重要なものが多く、その病態を正しく理解しておく必要があります。したがって、臨床医学各論の内容に沿った各種疾患の知識を学ぶ事になります。											
学修到達目標											
到達目標は、各疾患についての原因、病態、症候、検査所見、治療の概要を理解した上で、他人に説明できることことです。											
授業の進め方											
座学の型式で講義します。 臨床医学各論の内容に合わせて、各疾患の知識を教科書に沿って説明します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	腎・尿路系疾患1	糸球体腎炎、ネフローゼ、腎不全について講義します					教科書p.122～129を予習しておいでください(4時間)				
2	腎・尿路系疾患2	糖尿病性腎症、慢性腎疾患について講義します					教科書p.129～132を予習しておいでください。小テストを復習・整理してください(4時間)				
3	腎・尿路系疾患3	尿路結石・透析・酸塩基平衡について講義します					教科書p.133～136を予習しておいでください。小テストを復習・整理してください(4時間)				
4	内分泌疾患	内分泌疾患の総論・病態、甲状腺・副腎の機能亢進症・低下症等について講義します					教科書p.137～144を予習しておいでください。小テストを復習・整理してください(4時間)				
5	神経疾患	神経症候の特徴、脳血管障害、パーキンソン病、認知症について講義します					教科書p.145～150を予習しておいでください。小テストを復習・整理してください(4時間)				
6	呼吸器疾患	慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、肺炎、肺癌について講義します					教科書p.151～157を予習しておいでください。小テストを復習・整理してください(4時間)				
7	運動器疾患	骨粗鬆症、骨軟化症、変形性関節症、サルコペニア、廃用症候群、ロコモティブシンドローム、フレイルティについて講義します					教科書p.158～165を予習しておいでください。小テストを復習・整理してください(4時間)				
8	生殖器疾患	妊娠高血圧症候群、子宮癌、乳癌、前立腺癌について講義します					教科書p.166～170を予習しておいでください。小テストを復習・整理してください(4時間)				
9	血液系疾患	貧血の概要、種々の貧血、出血性疾患、白血病、悪性リンパ腫について講義します					教科書p.171～177を予習しておいでください。小テストを復習・整理してください(4時間)				
10	免疫・アレルギー疾患	食物アレルギー、膠原病・自己免疫疾患、免疫不全について講義します					教科書p.178～184を予習しておいでください。小テストを復習・整理してください(4時間)				
11	感染症	病原体と感染症(総論)、性感染症、日和見感染、院内感染、抗菌剤、薬剤耐性菌等について講義します					教科書p.185～189を予習しておいでください。小テストを復習・整理してください(4時間)				
12	周術期医療(手術と合併症)	手術に伴う全身の変化、胃全摘の術式、胃全摘後合併症等について講義します					参考図書p.210～214を読んでおいでください。小テストを復習・整理してください(4時間)				
13	クリティカルケア	サイトカインの種類と役割、SIRS、侵襲期の代謝変動等について講義します					参考図書p.215～221を読んでおいでください。小テストを復習・整理してください(4時間)				
14	小児疾患	発育・発達についての総論、代表的な小児疾患について講義します					プリント資料を配付します。復習をしてください。小テストを復習・整理してください(4時間)				
15	摂食障害	摂食障害の概念、神経性食欲不振症・過食症、種々の嚥下障害等について講義します					プリント資料を配付します。復習をしてください。小テストを復習・整理してください(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「疾病の成り立ち：臨床医学(第3版)」津田博子、他著田中 明、加藤昌彦編(建帛社) ISBN:978-4-7679-0549-5 C3047(生協で購入してください。)必要に応じてプリント資料を配布します。					定期試験：90% 小テスト：10% S: 各臓器の構造と機能、症候や検査値の意義、各臓器の疾患について十分に理解している、A: 上記についてほぼ理解している、B: 上記について8割程度理解している、C: 上記について6割程度は理解している。試験の難易度は管理栄養士国家試験とほぼ同じレベルを想定						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「スタンダード栄養・食物シリーズ4『疾病の成り立ち 臓器別の病気』」近藤和雄ほか編(東京化学同人) ISBN: 978-4-8079-1436-4					臨床栄養学各論、栄養学実習はオムニバス形式で講義が行われます。疾患、栄養、実践と一連の流れを理解してください。質問は授業中・受講票への記載・オフィスアワーを利用してください。						

科目名	食生活論	学年学期	1年前期	単位数	2	ナパ'リング	NC15022	研究室	S-02
担当者	廣田 直子	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	水曜日3限		
関連資格	フードスペシャリスト、栄養教一			履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
		A	B	C					
授業概要									
人々の価値観やライフスタイルが多様化してきている現状を踏まえ、人間生活の基盤となる食の問題について、食という営みも多面性を理解し、総合的に考えていく力を培います。具体的には、栄養士・管理栄養士、栄養教諭、フードスペシャリストといった食・栄養のプロフェッショナルの資格取得に関する導入教育的な学習を組み入れるとともに、食の機能と役割、食生活の変遷、食生活と文化、食と健康、地域と食生活などについて学修します。									
学修到達目標									
知識：食を人間の生きる力の伸展や社会のあり方に結びつけて考え、これからの時代に適合した望ましい食生活のあり方を考察するための基礎力を修得します。食・栄養のプロフェッショナルの資格に関連する多くの専門科目に共通する基礎的事項を修得します。 能力：食生活指導の専門家としてのスタンスを確立します。									
授業の進め方									
基本的には、テキストや配布資料などをもとに講義形式で進めますが、各自の自主的研究や地元の「食」に関心を持って多様な実践を進めている学外講師などとのディスカッション、アウトキャンパススタディなどを盛り込みながら、多様な学習形態で進めます。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	食・栄養のプロフェッショナルに求められるもの	人々の価値観やライフスタイルが多様化してきている現在、食・栄養のプロフェッショナルに求められるものは何か、その役割を担うための学修について考えます。				テキスト2-12頁に目を通し質問事項の把握(2時間)、事後にはレポートのまとめ(2時間)			
2	食の機能と役割、食生活の変遷	栄養的な側面だけではなく、広い観点で食の機能と役割について考えます。また、食のあり方を伝える立場として、現状に至るまでの食生活の変遷について理解します。				テキスト58-67頁を読む(2時間)、事後には授業で扱ったデータの年次推移の再確認(2時間)			
3	食と健康 1: 健康的な食べ方とは	健康の維持増進の観点から策定されている日本人の食事摂取基準の概要を理解します。あわせて、食品群の考え方について理解し、対象者に合わせて活用できるようにします。				テキスト14-17頁を読み質問事項を把握する(2時間)、事後には学修要点のまとめ(2時間)			
4	食と健康 2: 食品成分表の概要説明(1)	食品成分表に関する基本的事項(食品群、エネルギー、主要栄養素等)について理解を深めます。				テキスト18-19、26-35頁を読む(1時間)、事後には配布プリントの課題に取り組む(3時間)			
5	食と健康 3: 食品成分表の概要説明(2)	食品成分の微量栄養素等について理解を深め、前回の講義内容とも合わせて、献立の栄養価を計算し、評価できるようにします。				テキスト36-44頁を読む(1時間)、事後は配布プリントの課題に取り組む(3時間)			
6	食事様式、食生活と文化	献立作成力を高めるために、日本食を中心として様々な食事様式について学びます。また、食生活に関わる文化についても考察します。				テキスト68-76頁を読む(1時間)、学修内容を踏まえアウトキャンパスのテーマを設定する(3時			
7	地域と食生活 1: 地産地消、食生活と環境	食・栄養のプロフェッショナルとして、地産地消を進める上で考えておくべきことについて、食生活と環境という視点も含めて理解を深め、考察します。				事前事後に、今回の学習テーマに関する情報収集、アウトキャンパススタディの準備(4時間)			
8	地域と食生活 2: アウトキャンパススタディ(1)	アウトキャンパススタディとして、地域の農家を訪問して、農業生産者がめざしていること、消費者に伝えたいと思っていることなどについて地域の取り組み事例から学びます。				事前事後に、今回の学習テーマに関する情報を整理し、レポート課題をまとめる(4時間)			
9	地域と食生活 3: アウトキャンパススタディ(2)	アウトキャンパススタディとして、地域で地産地消を進めているシェフのレストランを訪問し、講話と料理の試食を通して、食・栄養のプロフェッショナルとしてめざしたいことについて考察します。				事前事後に、今回の学習テーマに関する情報を整理し、レポート課題をまとめる(4時間)			
10	食と健康 1: 献立作成とその評価: 食品構成、栄養比率等	アウトキャンパススタディでの学びを活かして、栄養価以外の視点も重視した献立作成について学修します。また、食品構成の考え方、献立評価のための栄養比率等について理解します。				事前に食品成分表の活用方法を復習(3時間)、事後には確認テストに取り組む(1時間)			
11	食と健康 2: 食事バランスガイドについて	献立作成及びその評価に用いる食事バランスガイドに関する理解を深め、活用方法を学修します。				事前に食事バランスガイドに関する情報収集(2時間)、事後には確認テストに取り組む(2時間)			
12	食生活と文化 1: 食事のマナー、テーブルコーディネート	食事様式ごとのマナーについて、基本的事項を理解し、日常生活で活用できるようにします。また、食事を提供する際のテーブルコーディネートについて考えます。				事前に食事マナー等に関する情報収集(2時間)、事後はレポート課題のまとめ(2時間)			
13	食生活と文化 2: 郷土食等	地域で郷土食等を伝えようとしている学外講師等を招き、その活動を知ること、それを食・栄養に関するプロフェッショナルとしてどのように具現化していくかについて考えます。				事前に配布する資料に目を通す(1時間)、事後はレポート課題をまとめる(3時間)			
14	これからの食生活	現在、日本において進められている健康施策と食事とのかわりについて、食物へのアクセスと情報へのアクセスという食環境づくりの視点で考察します。				事前に自分の周りにおける情報や取組について考える(2時間)、事後には要点をまとめる(2時間)			
15	講義全体のまとめ	これまでの講義を振り返り、学修した事項を確認します。				事前にこれまでの内容に関する質問事項を確認(2時間)、事後は講義全体を振り返る(3.5時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
「めざせ! 栄養士・管理栄養士 ナビゲーション」小野章史編(第一出版) ISBN: 978-4-8041-1291-6 (生協で購入してください。) 「日本食品成分表2018 七訂 本表編」医歯薬出版編(医歯薬出版) ISBN: 978-4-263-70723-4 (生協で購入してください。)		定期試験: 80% レポート: 20% S: 到達達成目標の達成を目指し各回の授業内容をすべて理解し、探究姿勢をもって課題に取り組み適切にまとめることができる。A: 到達達成目標を意識し、各回の授業内容を理解して課題に取り組みまとめることができる。B: 到達達成目標を意識し、各回の授業内容を概ね理解して課題に取り組み一定レベルのまとめができる。C: 到達達成目標を理解して授業に臨み、各回の授業内容を概ね理解して課題に取り組み最低限のまとめができる。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
適宜、紹介します。		食品成分表等について解説するため、各種資格取得をめざす学生には強く履修を勧めます。アウトキャンパススタディは土曜日に実施する予定です。使いやすい電卓は必須アイテムです。							

科目名	食品学実験	学年学期	1年前期	単位数	1	ナパ [®] リング	NA15023	研究室	S-06	
担当者	矢内 和博	必修選択	必修	科目種別	実験	オイスア [®]	月曜日4限			
関連資格	管理栄養士、食品衛生、フードス [®] チャリスト、HACCP管理者			履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
	A	B	C							
授業概要										
食品を構成する各成分はその品質を決定する重要な要因であり、また食基本的な食品成分の定性・定量法の習得は食品を評価する上で不可欠です。よって、本実験では、食品の基礎的な分析方法を習得するとともに、原料や製造方法による食品の加工特性の違いについて理解を深めることを目的とします。食品中の主要成分である水分、脂肪、タンパク質、ビタミン類の分析法について習得します。また、食品の安全性・毒性の評価法を習得し、さらに実験の後半では実際に食品を作り、習得した分析方法を用いて評価します。										
学修到達目標										
食品は単一な成分から構成されているものではありません。よって、食品の成分分析をするときに、目的となる成分のみをどのように分離抽出するか、その原理はどのようなものかを理論的に考えられるように訓練します。よって、食品分析の基礎、器具、機器の基本的な使い方を徹底的に習得してもらいます。										
授業の進め方										
指定したテキストとプリントに従い、グループに分かれて実験を行います。また、アウトキャンパススタディを1回実施します。実験終了後にレポートを作成し、1週間以内に提出します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	実験ガイダンス	15回の授業内容について説明します。実験を行う意義、心構え、危険性について講義するとともに、食品成分表との関連についても説明します。					実験プロトコルを配布します。次の授業内容について予習してきてもらいます。(1時間)			
2	器具、装置の説明	理化学実験室および精密機器室内の設備、機器、備品等について説明します。また、実験を通して使用する器具の名前や使用方法について説明します。さらに、これらを使った簡単な実験を行います。					習得した項目についてレポートにまとめます。(1時間)			
3	試料の処理、試薬の調整	実験を通じ、使用する試料(大豆)の処理方法を習得します。また、液体試薬の調整や粉末試料の分包を行います。試薬の調整は危険を伴いますので、試薬の特性について十分に説明してから作業を行います。					大豆について各自事前に調べ、習得した項目についてレポートにまとめます。(1時間)			
4	アウトキャンパススタディの実施	食品の加工演習として、そば打ち体験を実施します。蕎麦は麺に加工することは食品学的には問題が多くあります。その理由、麺への加工特性を向上させる手法の学習と加工技術の習得を目的とします。					蕎麦について各自事前に調べ、習得した項目についてレポートにまとめます。(1時間)			
5	水分の測定	食品中の水分の測定方法を取得します。試料は大豆とします。食品の水分含量が食品の保存や加工、分析に大きく影響します。その理由について説明します。					習得した項目についてレポートにまとめます。(1時間)			
6	糖の測定	糖にも多くの種類、味の性質の違いがあります。甘さの指標としての糖含量について、市販されている果物を使って分析を実施します。					習得した項目についてレポートにまとめます。(1時間)			
7	有機酸の測定(総有機酸)	食品中の有機酸の分析方法を修得します。本実験では食酢の酸度を測定します。本実験では、滴定という操作が重要になります。滴定の方法を十分に習得してもらいます。					習得した項目についてレポートにまとめます。(1時間)			
8	灰分の分析	食品中の灰分について説明します。実験では、大豆中のカルシウムの定量を行う最終目的としますが、その前段として大豆中の灰分の定量を行います。					習得した項目についてレポートにまとめます。(1時間)			
9	カルシウムの測定	食品中のカルシウムの分析について実験します。前回、大豆の灰分を定量した試料を用いて、その前処理から機器による分析を行います。原子吸光法を用い、大型の測定機器を用いた分析を行います。					習得した項目についてレポートにまとめます。(1時間)			
10	ルチンの測定	蕎麦の機能性成分であるルチン分析します。本実験は2回に渡って行います。今回は、蕎麦からルチンを抽出しますが、食品から成分を抽出する方法、考え方について習得してもらいます。					習得した項目についてレポートにまとめます。(1時間)			
11	ルチンの測定	蕎麦の機能性成分であるルチン分析します。2回目は、抽出液中のルチンを高速液体クロマトグラフィーという分析機器を用いて分析します。機器の測定原理、分析方法について習得してもらいます。					習得した項目についてレポートにまとめます。この回が終了後にレポートを提出します。(1時間)			
12	脂質の測定	食品中の脂質の定量法について習得します。試料は大豆と蕎麦を用います。それぞれ抽出方法が異なるため、その測定原理について説明します。1回目はそれぞれの試料から脂質を抽出します。					習得した項目についてレポートにまとめます。(1時間)			
13	脂質の測定	1回目の実験で抽出された状態から、定量が行えるまでの処理を行います。それぞれの食品中の脂質の色や状態を観察します。分析を通じ、食品中の脂質の役割や食品への加工について説明します。					習得した項目についてレポートにまとめます。この回が終了後にレポートを提出します。(1時間)			
14	タンパク質の測定	大豆中のタンパク質の定量を行う。一般的に行われるケルダール法の測定原理、試料の処理、分析方法について習得します。また、簡単な装置の作成を行います。					大きな危険が伴う実験ですので、教科書やプロトコルをよく読んでください。(1時間)			
15	タンパク質の測定	大豆中のタンパク質の定量を行う。1回目で作成した試料を用いて分析を行う。今までに使用してきた器具、機器を多く使うので、この時点で基本的な使用法が習得できていることが望ましい。					習得した項目についてレポートにまとめます。この回が終了後にレポートを提出します。(1時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
「健康を考えた食品学実験」渡辺達夫ほか編(アイ・ケイコーポレーション) ISBN:978-4-87492-218-7(生協で購入してください。)		レポート:50% 定期試験:50% 試験の成績を50点以上を合格とし、レポート点を加算し素点として評価します。よって、定期試験の点数が50点未満はDとなります。その他は、合計した素点の通りA,B,C評価とします。成績上位数名をSとする場合があります。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「新版食品学実験書」菅原龍幸・青柳康夫編(建帛社) 「改訂食品学実験ノート」飯屋園璋著(建帛社) 「日本食品標準成分表2015年版(7訂)分析マニュアル・解説」(中央法規)		食品の基本的な成分の分析法および器具、機器の扱い方を取得することを目的とします。実験の基礎知識および技術を習得し、食品成分表に掲載される数値を詳細に把握し、献立作成の栄養計算等に役立つようにします。								

科目名	調理学実習		学年学期	1年前期	単位数	1	ナパ'リング	NA15024	研究室	非常勤
担当者	宮本 由香・石原 三妃		必修選択	必修	科目種別	実習	ワイズワ-			
関連資格	管理栄養士、栄養士、食品衛生、フードスペシャリスト、HACCP管理者、栄養一				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
調理に際し、どうしても食べ物がおいしくなるかを科学的な観点から理解することを目的とします。調理操作や条件と食物の性状との関わりを理解するため、調理における条件の違い(温度、時間、力、添加物の成分など)が食べ物の性状に及ぼす影響について実習を実験を通して検討しながら調理の基礎を学びます。併せて基本的な加工法についても実習します。調理に関する基本的な知識を習得できることが目標です。										
学修到達目標										
食材に適した調理方法を選択でき、ならびに、調理施設での衛生管理や健康維持増進につながる美味しい食事の提供および料理の考案ができるようになることが目標です。										
授業の進め方										
数名を1グループとして共同で授業を行います。 実験開始前に講義とデモンストレーションを行います。実習後、試食、片付けを行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	調理学実験の概要と諸注意	調理学実験の概要、学習目標、授業の進め方、評価の方法について説明します。調理実習室にて調理実習室の使用法、使用上の留意事項を確認します。				実習着(上下、帽子、シューズ)を確認し、当日持参できるように用意をすること(1時間)。				
2	食品の計量	計量スプーンや秤などの計量器具を用いて食材の計量実習をする。正しい使い方の修得と、食材による計量の留意点や適した計量器の選択、測り手による誤差、量に対する感覚の差を実習を通して学びます。				実験プリントを読み作業の確認をする。実験データの確認をし、レポートを作成する(1時間)				
3	小麦粉の調理性 グルテンの性質(手打ちうどん)	小麦粉の種類について学びます。薄力粉、強力粉を使用しグルテンの抽出実験をします。中力粉を使用し、手打ちうどんを実習します。				実験プリントを読み作業の確認をする。実験データの確認をし、レポートを作成する(1時間)				
4	小麦粉の調理性 小麦粉の膨化(発酵パン)	強力粉、ドライイーストを用い、発酵パンを実習します。発酵に影響する添加物、グルテンの発達に影響する条件について学びます。				実験プリントを読み作業の確認をする。実験データの確認をし、レポートを作成する(1時間)				
5	乳・乳製品の加工 ヨーグルト・カッテージチーズ	身近な牛乳の加工品として、カッテージチーズの実習と、乳酸発酵ヨーグルトの実習をします。乳たんぱく質の変性、乳酸発酵の原理を学びます。				実験プリントを読み作業の確認をする。実験データの確認をし、レポートを作成する(1時間)				
6	大豆の加工 木綿豆腐	国産大豆を使用し、木綿豆腐を加工実習します。大豆たんぱく質の性質を学びます。				実験プリントを読み作業の確認をする。実験データの確認をし、レポートを作成する(1時間)				
7	砂糖の調理性 糖蔵(ジャム)、果実中のペクチン質のゲル	国産無農薬の夏みかんを使ったマーマレードの加工実習をします。果実中のペクチン質を抽出する過程や糖蔵のための条件を学びます。				実験プリントを読み作業の確認をする。実験データの確認をし、レポートを作成する(1時間)				
8	砂糖の調理性 結晶性(加熱温度による状態の変化)	フォンダン、糖衣、キャラメル、飴がけなど、砂糖溶液の加熱による製品を実習します。加熱温度や添加物による製品への影響を学びます。				実験プリントを読み作業の確認をする。実験データの確認をし、レポートを作成する(1時間)				
9	野菜の調理性 色調変化	調理条件を変化させ、野菜の色素の変化や安定性の違いを実験し、おいしく調理する条件を学びます。				実験プリントを読み作業の確認をする。実験データの確認をし、レポートを作成する(1時間)				
10	鶏卵の調理性 鮮度鑑別、熱凝固性	新鮮卵、貯蔵卵の鮮度鑑別実験から、それぞれの特徴を学びます。卵の熱凝固性について条件をかえたゆで卵に調理し、保存の環境や加熱時間等の違いを理解します。				実験プリントを読み作業の確認をする。実験データの確認をし、レポートを作成する(1時間)				
11	鶏卵の調理性 起泡性、乳化性	卵白のメレンゲの立ちやすさと壊れにくさに対する添加物の影響を実験します。マヨネーズの実習を通して卵黄の乳化性を理解します。				実験プリントを読み作業の確認をする。実験データの確認をし、レポートを作成する(1時間)				
12	抽出素材の調理性 寒天・ゼラチン・カラギーナンの特性	寒天・ゼラチン・カラギーナンを使用ゲルの物性の特徴や添加物の影響を、機械測定と目視や触感、試食による官能評価を通して理解します。				実験プリントを読み作業の確認をする。実験データの確認をし、レポートを作成する(1時間)				
13	揚げ物に関する実験	揚げ油の温度の目安、揚げる材料の量、揚げる材料の形状と吸油率、材料の性質と吸油率を、天ぷらの実習を通して学びます。				実験プリントを読み作業の確認をする。実験データの確認をし、レポートを作成する(1時間)				
14	だし汁の風味と調味	素材別のだしの特徴を実習と試食による官能評価で理解します。また、好ましい塩分濃度や温度による味の感じ方の違いを実習します。				実験プリントを読み作業の確認をする。実験データの確認をし、レポートを作成する(1時間)				
15	おいしさの評価とまとめ	果汁を使わずに調整するジュースの実習過程を通して、おいしさに関係する五感の働きを学びます。また、15回の実験実習についてのポイントの確認、復習をし、後期の調理学実習への予習を促します。				実験プリントを読み作業の確認をする。実験データの確認をし、レポートを作成する(1時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
(別途、指示します。)		レポート:40% 定期試験:40% 受講態度:20%								
		S:授業内容を高度に理解し安全な実習に配慮でき、調理操作理を応用し新たな調理を生み出せる。A:授業内容を理解し積極的に取り組み、調理操作の原理や食材の性質を相互に結びつけることができる。B:授業内容のおおよそが理解でき、調理操作の原理や食材の性質を安全な操作で確認できる。C:授業の内容が60%程度理解し安全に調理操作や食材の性質を確認でき安全な作業ができる。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「健康と調理のサイエンス」品川弘子・川染節江・大越ひろ著(学文社) 「NEW 調理と理論」山崎清子著(同文社) 「Nブックス 調理科学第4版」石原三妃他著森高初恵編著(建帛社)		グループによる共同作業であり、効率よく、なおかつ安全に作業を進めるため、役割分担など相談し、事故防止のために十分予習をして臨んでください。実習内容の理解を深めるため、必ず復習しレポート作成してください。								

科目名	調理学実習		学年学期	1年後期	単位数	1	ナパ'リング	NA15025	研究室	S-07
担当者	石原 三妃		必修選択	必修	科目種別	実習	オイスア-	月曜日1限		
関連資格	管理栄養士、栄養士、フードスペシャリスト、フードコーディネーター、HACCP管理者、栄教一				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
調理学実習 で学んだことを踏まえて、さらに基礎的な調理技術を習得し、食品、調理器具の取り扱いを学びます。調理を実践する中で食品の科学的な変化を理解し、おいしい食事を作れるようになることを目的とします。基本的なだしの取り方、炊飯から、煮物、焼き物、蒸し物、揚げ物、炒め物等加熱調理操作、和え物等、非加熱調理操作を網羅するよう実習し、併せて季節の食材を使い、食材についての知識を得ることを目標とします。										
学修到達目標										
基礎的な調理技術、食材の知識について学び、自らの食事を整えることができるようになることを目標とします。後期の授業であるので、特に秋、冬の食材の使用法について習得することを目標とします。										
授業の進め方										
数名で班を作り、1回の授業で1食になるよう調理をします。はじめにデモンストレーションを行い、授業の要点を説明します。デモンストレーション終了後に各班に分かれて調理、試食、片づけを行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	授業概要、学習目標、授業の進め方、レポートの書き方、評価の仕方について説明します。				調理学実習 で学んだ内容について復習する。(1時間)				
2	日本料理の基礎 だしの取り方	炊飯と	炊飯、みそ汁、だし巻き卵、青菜のお浸しの調理を行います。			手順、材料を記録し、事前に学習する。事後は栄養価計算他レポートを作成する。(1時間)				
3	日本料理の基礎	日常食	栗ご飯、炒り鶏、つみれ汁、わらび餅の調理を行います。			手順、材料を記録紙に記入、事前に学習する。事後は栄養価計算他レポートを作成する。(1時間)				
4	日本料理の基礎 の使用	圧力鍋	玄米飯、サバの味噌煮、のっぺい汁、酢の物、果汁かんの調理を行います。			手順、材料を記録紙に記入、事前に学習する。事後は栄養価計算他レポートを作成する。(1時間)				
5	西洋料理の基礎 の調理	乳製品	マカロニグラタン、サラダ、ブラマンジェ、コーンクリームスープを調理します。			手順、材料を記録紙に記入、事前に学習する。事後は栄養価計算他レポートを作成する。(1時間)				
6	西洋料理の基礎 調理	挽肉の	ハンバーグステーキ、人参のグラッセ、ポテトフライ、コンソメスープ、パウンドケーキを調理します。			手順、材料を記録紙に記入、事前に学習する。事後は栄養価計算他レポートを作成する。(1時間)				
7	日本料理の基礎	寿司	巻き寿司、いなり寿司、土瓶蒸し、寒天寄せを調理します。			手順、材料を記録紙に記入、事前に学習する。事後は栄養価計算他レポートを作成する。(1時間)				
8	日本料理の基礎 応食	秋の供	しめじご飯、茶碗蒸し、竜田揚げ、菊花蕪の甘酢漬、どらやきを調理します。			手順、材料を記録紙に記入、事前に学習する。事後は栄養価計算他レポートを作成する。(1時間)				
9	中国料理の基礎 調理	米粉の	麻婆豆腐、大根と貝柱のスープ、揚げ春巻、米粉のケーキを調理します。			手順、材料を記録紙に記入、事前に学習する。事後は栄養価計算他レポートを作成する。(1時間)				
10	中国料理の基礎	魚の姿	清蒸魚、キュウリの辛味漬、炒飯、アーモンドクッキーを調理します。			手順、材料を記録紙に記入、事前に学習する。事後は栄養価計算他レポートを作成する。(1時間)				
11	行事食	クリスマスメニュー	チキンソテー、ワルドルフサラダ、ミネストローネ、パイナップルフロマージュを調理します。			手順、材料を記録紙に記入、事前に学習する。事後は栄養価計算他レポートを作成する。(1時間)				
12	行事食	正月料理	おせち料理、雑煮を調理します。			手順、材料を記録紙に記入、事前に学習する。事後は栄養価計算他レポートを作成する。(1時間)				
13	茶道と懐石	茶菓子を調理し、茶道と懐石についての講義、実習を行います。				手順、材料を記録紙に記入、事前に学習する。事後は栄養価計算他レポートを作成する。(1時間)				
14	抽出素材の調理	寒天を中心としたゲル化剤、増粘剤についての特別講義、試食を行います。				テーマについてのレポートを作成する。(1時間)				
15	まとめ	授業の総括を行い、調理器具設備等の扱いを学びます。				これまでのレポートを復習しておく(1時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
「明日の健康と調理」三輪里子監修著飯田文子、藤井恵子編(アイ・ケイコーポレーション) ISBN:978-4-87492-315-3(生協で購入してください。) 三輪里子監修 「食品成分表」(医歯薬出版) ISBN:ISBN978-4-263-70723-4(生協で購入してください。) 香川芳子監修			受講態度:30% レポート:30% 定期試験:40% 望ましい受講態度・・・事前学習を行い、実習の目的を理解し、積極的に且つ協力的に、作品を完成させること。成績評価の基準・・・S:実習・レポートに積極的に取り組み、定期試験で極めて優れた作品を提出できる。A:実習・レポートに積極的に取り組み、定期試験で優れた作品を提出できる。B:実習・レポートに積極的に取り組み、必要な技術知識を習得し、定期試験で基準を満たす内容の作品を提出できる。C:レポートを提出し、試験課題の基準に合う作品を提出できる。							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「調理のためのベーシックデータ」松本伸子 監修編(女子栄養大学出版部) ISBN:978-4789503174 「映像で学ぶ 調理の基礎とサイエンス」 ISBN:978-4-906514-86-1			実習科目であるので欠席しないで下さい。火気、刃物の扱いには注意して、器具は衛生的に取り扱い、各自身だしなみは清潔に。意欲を持って取り組み、授業外でも日常的に調理をするよう心がけてください。							

科目名	食品学総論	学年学期	1年後期	単位数	2	ナパリング	NA15026	研究室	S-10
担当者	高木 勝広	必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日3限		
関連資格	管理栄養士、栄養士、食品衛生、HACCP管理者、栄教一			履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）				
		A	B	C					
授業概要									
<p>食物を構成する食品には、タンパク質、脂質、炭水化物、無機質、ビタミンなど生きていくために必要な成分が含まれています。各成分の基本的性質や加熱、光などによる成分の変化および、それぞれの化学構造、理化学的性質などを学びます。さらに食品と関連のある色、味、香りなど、食品を総合的に理解することにより、将来栄養士に就く者としての幅広い知識を養います。</p>									
学修到達目標									
<p>主要な食品成分の定義や基本的性質・化学変化等を化学構造などから化学的に理解すること、さらに色・味・香りなどの嗜好成分の化学的性質を学び、食品を総合的に理解することです。食品成分の化学的特性と機能性等について論理的に説明できるようになることが最終目標です。</p>									
授業の進め方									
<p>教科書を基本に、重要点をパワーポイント（PP）を使って講義します。講義資料としてPP原稿を配布するので、重要点の理解を中心に講義を進めます。理解を深めてもらいたい内容については、DVD等の視聴覚教材も活用します。</p>									
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	人間と食品	食の歴史の変遷を解説した後、食品のもつべき特性、食品成分等について学びます。				事前に教科書P1～P13までを読む。教科書等を用い、授業内容を復習してください。（4時間）			
2	食品中の水分	食品の多くは生物体を原料としており、食品の味や物性、加工や貯蔵などに水は重要な役割を有しています。ここでは、水の基本的性質（構造と性質）、食品における水の性質等について学びます。				事前に教科書P32～P37までを読む。教科書等を用い授業内容を復習してください。（4時間）			
3	炭水化物 糖質（単糖・オリゴ糖）の化学	単糖の定義、単糖類の分類、単糖類の構造と化学的性質、単糖類の誘導体等について講述します。さらに、オリゴ糖（主に二糖類）の種類と性質、グリコシド結合等についても学びます。				事前に教科書P37～P47までを読む。教科書等を用い授業内容を復習してください。（4時間）			
4	炭水化物 多糖の化学と機能性	多糖類の分類（単純多糖と複合多糖）、多糖類の構造（結合様式）と化学的性質、糖質の機能性等について学びます。				事前に教科書P47～P49までを読む。教科書等を用い授業内容を復習してください。（4時間）			
5	炭水化物 食物繊維の化学と機能性	食物繊維の分類（不溶性食物繊維と水溶性食物繊維）、食物繊維の構造（結合様式）、食物繊維の機能性等について学びます。				事前に教科書P49～P55までを読む。教科書等を用い授業内容を復習してください。（4時間）			
6	脂質 脂質の化学と機能性	脂質の定義、脂質の分類、脂肪酸の構造と化学的性質、単純脂質・複合脂質・誘導脂質の化学構造と性質、機能性等について講述します。				事前に教科書P55～P65までを読む。教科書等を用い授業内容を復習してください。（4時間）			
7	脂質 油脂の性質	油脂の物理化学的性質は、脂肪酸組成や脂質の構造等の要因によって決まります。ここでは油脂の全体的な性質を把握するために従来から用いられてきたけん化・ヨウ素化等を中心に学びます。				事前に教科書P65～P72までを読む。教科書等を用い授業内容を復習してください。（4時間）			
8	タンパク質 アミノ酸・ペプチドの化学	タンパク質の構成単位はアミノ酸です。ここでは、まずはじめにアミノ酸の定義、アミノ酸の種類、アミノ酸の構造と化学的性質等について学びます。さらにペプチドとペプチド結合等について解説します。				事前に教科書P73～P77までを読む。教科書等を用い授業内容を復習してください。（4時間）			
9	タンパク質 タンパク質の化学	タンパク質の構造（一次～四次構造）、タンパク質の種類と一般的性質、タンパク質の変性等について学びます。				事前に教科書P78～P81までを読む。教科書等を用い授業内容を復習してください。（4時間）			
10	タンパク質 タンパク質の機能性	生体内の反応を触媒するタンパク質を酵素といい、多くの酵素が食品の生産・加工などに広く利用されています。ここでは、酵素の特性、酵素の種類、食品への応用（固定化酵素等）について学びます。				事前に教科書P82～P94までを読む。教科書等を用い授業内容を復習してください。（4時間）			
11	無機質の化学と機能性	微量食品成分である無機質は、生物が健全な生活を営むうえで重要な栄養成分の一つです。ここでは各種無機質の化学と機能性について学びます。				事前に教科書P94～P98までを読む。教科書等を用い授業内容を復習してください。（4時間）			
12	ビタミン 脂溶性ビタミンの化学と機能性	ビタミンの分類（脂溶性と水溶性ビタミン）、脂溶性ビタミン（A、D、E、K）の構造と化学的性質、脂溶性ビタミンの機能性等について学びます。				事前に教科書P98～P104までを読む。教科書等を用い授業内容を復習してください。（4時間）			
13	ビタミン 水溶性ビタミンの化学と機能性	水溶性ビタミン（B群、C）の構造と化学的性質、水溶性ビタミンの機能性等について学びます。				事前に教科書P104～P111を読む。教科書等を用い、授業内容を復習してください。（4時間）			
14	食品の嗜好成分 色素成分	食品の色や味、香りはヒトの嗜好を満足させるうえで大きな役割を担っています。ここでは、食品の色素成分の化学的特徴や変色の仕組み等について学びます。				事前に教科書P112～P119を読む。教科書等を用い、授業内容を復習してください。（4時間）			
15	食品の嗜好成分 呈味成分・香りの化学	呈味成分は、ヒトの嗜好を決定する要因の中で最も重要な因子です。ここでは、甘味を中心に、甘味の分類（糖・糖アルコール類、アミノ酸等）と化学構造、特性等について講述します。				事前に教科書P120～P130を読む。教科書等を用い、授業内容を復習してください。（4時間）			
テキスト		成績評価の方法・基準							
「Nブックス 新版 食品学 [第2版]」菅原龍幸、青柳康夫著（建帛社） ISBN: 4-7679-0581-5（生協で購入してください。）		<p>小テスト：20％ 定期試験：80％ S: 難しい応用問題が解ける。A: やや難しい応用問題が解ける。B: 標準レベルの応用問題が解ける。C: 授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。</p>							
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）							
「管理栄養士講座 食品学」辻英明、五十嵐脩著（建帛社） ISBN: 4-7679-0457-9 「管理栄養士国家試験受験講座 食べ物と健康」 ISBN: 4-8041-1229-9		食品学総論は食品学各論等とも関連し、それらを学ぶ上で必要な基礎知識を含んでいます。質問がある場合は、オフィスアワー等を利用してください。講義計画に記載された「事前事後学修」を行い、講義に臨むようにしてください。							

科目名	食品学各論		学年学期	1年後期	単位数	2	ナパ'リング	NA15027	研究室	S-06
担当者	矢内 和博		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-	金曜日1限		
関連資格	管理栄養士、栄養士、食品衛生、フードスペシャリスト、フードコーディネーター、HACCP管理者、栄養士				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>食品の摂取は、ヒトの生命維持・健康増進および疾病改善において非常に重要です。それ故、ヒトに提供される食品は栄養に富み、安全であることは元より、嗜好性、アメニティー性も重要な要素となります。よって、食品学の習得は、食品・栄養を学ぶ上でもっとも基礎となる学問と位置づけられます。本講義では、食品に対する関心を深めると共に基礎的な知識の習得を目的とします。本講義では、日常食品を十分に理解する事に重点を置き、講義します。</p>										
学修到達目標										
<p>管理栄養士国家試験の中で、出題数の多い分野である重要な科目です。覚える量も非常に多いです。しかし、1年後期の授業のため、4年生まで勉強する機会も少なくなるのが現状です。本講義は、教科書を中心に必要事項を徹底的に記録し、参考書としても使えるように利用していきます。また、国家試験で過去に出題された問題を資料としながら、どのように学習を進めていくかも指導します。</p>										
授業の進め方										
テキストを使用した講義形式で行います。また、パワーポイントやビデオ等の教材も使用します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス 本講義のねらい、概要、テキスト等について	授業の進め方、教科書の紹介、管理栄養士国家試験における食品学各論の重要性について解説します。				授業内容をノートに記録できるようにまとめてください。(4時間)				
2	食品学・・・食品と食物、成分、分類、消費と供給	食品を学ぶ背景について広く解説します。				授業中に話した内容をノートにまとめてください。(4時間)				
3	食品成分表	食品成分表の使用方法について解説します。				授業中に話した内容をノートにまとめてください。(4時間)				
4	穀類	食品中で最も重要と考える穀類について解説します。また、解説を通じたの項目についての進め方を把握してもらいます。				重要事項を教科書に書き込むこと、授業中に話した内容をノートにまとめてください。(4時間)				
5	イモ類、豆類	イモ類、豆類およびそれらの加工品について解説します。				重要事項を教科書に書き込むこと、授業中に話した内容をノートにまとめてください。(4時間)				
6	果実類、キノコ類、海藻類	果実類、キノコ類、海藻類およびそれらの加工品について解説します。				重要事項を教科書に書き込むこと、授業中に話した内容をノートにまとめてください。(4時間)				
7	食肉類	食肉類(牛、豚、鶏、その他)について解説します。				重要事項を教科書に書き込むこと、授業中に話した内容をノートにまとめてください。(4時間)				
8	乳類	乳および乳製品について解説します。				重要事項を教科書に書き込むこと、授業中に話した内容をノートにまとめてください。(4時間)				
9	卵類	卵およびその成分、加工特性について解説します。				重要事項を教科書に書き込むこと、授業中に話した内容をノートにまとめてください。(4時間)				
10	魚介類	魚類、その身の変化および鮮度について解説します。				重要事項を教科書に書き込むこと、授業中に話した内容をノートにまとめてください。(4時間)				
11	食用油脂	油脂の化学的性質および油脂の加工方法等について解説します。				重要事項を教科書に書き込むこと、授業中に話した内容をノートにまとめてください。(4時間)				
12	甘味料、調味料	甘味料、調味料について解説します。また、人工物と天然物との違いや無添加の表示についても解説します。				重要事項を教科書に書き込むこと、授業中に話した内容をノートにまとめてください。(4時間)				
13	香辛料、嗜好飲料、アルコール	より嗜好性の高い食品の需要や、体に及ぼす影響や効果についても解説します。また、それらの製造方法は管理栄養士国家試験にも出題されているので、実践的な講義も行います。				重要事項を教科書に書き込むこと、授業中に話した内容をノートにまとめてください。(4時間)				
14	長野県産食品	長野県で生産されている、農、水産、畜産、林産の食品について解説します。				重要事項を教科書に書き込むこと、授業中に話した内容をノートにまとめてください。(4時間)				
15	まとめ(管理栄養士国家試験対策を含む)	15回のまとめと管理栄養士国家試験対策を行います。				ノート、教科書の書き込みチェックをしてください。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「食べ物と健康 食品学各論・食品加工学[演習問題付]」谷口亜樹子著(光生館) ISBN:978-4-332-04063-7(生協で購入してください。)				定期試験:85% 出席レポート:15% 定期試験の成績のみで判定します。よって、Aは80~100、Bは70~79点、Cは60~69点、60点未満をD評価とします。成績上位数名にSを付ける場合があります。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「新訂原色食品図鑑」(建帛社) 「食品学」(東京化学同人) 「食品学」五十嵐脩編(建帛社)				本科目は食品に関わる上で必要不可欠であり、また管理栄養士として幅広い習得が不可欠です。調理、給食、食育等において幅広い知識と高度な調理技術により、管理栄養士としてのスキル向上につながります。						

科目名	食品衛生学	学年学期	1年後期	単位数	2	ナパリング	NA15028	研究室	S-10
担当者	高木 勝広	必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日3限		
関連資格	管理栄養士、栄養士、食品衛生、フードスペシャリスト、フードコーディネーター、健康食品管理士、HACCP管理者、栄教一	履修条件							
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度（読替科目）						
	A	B	C						
授業概要									
私たちは毎日の食事の中で適切な栄養摂取により、健康を維持しています。したがって、食事は栄養の供給源であると同時に安全性の高いことが何よりも重要です。本講座では「食品の安全性」という視点から、食中毒、食品添加物、食品衛生行政、HACCP等、食品衛生に関する広範囲な事項について学びます。そのなかで「食品の安全性」の重要性を認識し、安全性確保および衛生管理の方法について習得することを目的とします。									
学修到達目標									
食品衛生に関する広範囲な事項（食品衛生行政と関連法規、食の安全性を脅かす危害因子等）の知識習得とともに、それらについて論理的に説明できるようになること、さらにHACCPといった食品衛生管理の方法について説明できるようになることを目指します。食品衛生に関する知識をベースに、食品の安全性を脅かす危害分析を自身の力で行えることが最終目標です。									
授業の進め方									
教科書を基本に、重要点をパワーポイント（PP）を使って講義します。講義資料としてPP原稿を配布するので、重要点の理解を中心に講義を進めます。理解を深めてもらいたい内容については、DVD等の視聴覚教材も活用します。									
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	食品衛生の概念と定義	食品の安全性を揺るがした事例をいくつか紹介しながら、食品の安全性の重要性を認識してもらいます。食の安全とは何か、食品衛生学とはどのような学問なのか、さらに食品衛生の定義について講述します。				事前に教科書P1～P6までを読む。教科書等を用い授業内容を復習してください。（4時間）			
2	食品衛生行政と関連法規	食品衛生の対象と範囲、リスク分析、食品衛生関係法規、食品衛生行政の役割と組織、食品衛生監視員と食品衛生管理者、コーデックス等について講述します。				事前に教科書P7～P19までを読む。教科書等を用い授業内容を復習してください。（4時間）			
3	食品衛生と微生物	食品の変質や食中毒の発症を理解するためには、微生物の基礎的な事柄を学習しなければなりません。微生物の種類、細菌の構造と増殖、真菌やウイルス等について学びます。				事前に教科書P23～P35までを読む。教科書等を用い、授業内容を復習してください。（4時間）			
4	食品の変質とその防止	食品の変質（腐敗・変敗）と機序について講述します。また、腐敗の判定法（化学的試験・微生物学的試験・官能試験等）、脂質の変敗の判定法について説明した後、食品の変質防止法等についても触れます。				事前に教科書P133～P144を読む。教科書等を用い、授業内容を復習してください。（4時間）			
5	食中毒 食中毒の概要と発生状況	食中毒の概念（定義）、食中毒原因物質による分類、そして日本の食中毒統計（年次推移・病因物質・原因施設・発生季節）を解説し、日本における食中毒の発生状況等について学びます。				事前に教科書P37～P45までを読む。教科書等を用い授業内容を復習してください。（4時間）			
6	食中毒 細菌性食中毒（サルモネラ食中毒他）	細菌性食中毒の各論として食中毒原因細菌別に講述します。サルモネラ属菌、腸炎ピブリオ、病原大腸菌、カンピロバクターで、細菌の分布と性質・原因食品・症状・予防等について学びます。				事前に教科書P45～P55までを読む。教科書等を用い、授業内容を復習してください。（4時間）			
7	食中毒 細菌性食中毒（黄色ブドウ球菌食中毒他）	黄色ブドウ球菌、セレウス菌、ボツリヌス菌、ウェルシュ菌、ナグビリオ、リステリア菌等で、細菌の分布と性質・原因食品・症状・予防等について学びます。				事前に教科書P55～P64までを読む。教科書等を用い、授業内容を復習してください。（4時間）			
8	食中毒 ウィルス性食中毒（ノロウイルス他）	ウィルス性食中毒（主にノロウイルス）の病原性、症状、原因食品、予防等について学びます。				事前に教科書P64～P66までを読む。教科書等を用い、授業内容を復習してください。（4時間）			
9	食中毒 自然毒食中毒、化学性食中毒	自然毒食中毒の発生状況について解説した後、動物性自然毒や植物性自然毒について、毒の化学構造や性質、症状、予防法等について学習します。化学性食中毒ではアレルギー様食中毒について学びます。				事前に教科書P66～P82までを読む。教科書等を用い授業内容を復習してください。（4時間）			
10	食品と寄生虫疾患	食中毒以外の食品媒介感染症を学習します。特に寄生虫症について、寄生虫の分布と生活史、性質、病原性と症状、感染経路の特徴を関連づけて学びます。				事前に教科書P95～P106を読む。教科書等を用い、授業内容を復習してください。（4時間）			
11	有害物質による食品汚染 カビ毒	食品汚染物質であるカビ毒（マイコトキシン）について学びます。カビ毒の種類、産生カビ、主な汚染食品、毒性、法規制等について講述します。				事前に教科書P108～P111を読む。教科書等を用い、授業内容を復習してください。（4時間）			
12	有害物質による食品汚染 残留農薬等	農薬の種類と人体への残留性を学んだ後、食品における残留農薬基準について、ポジティブリスト制度を中心に講述します。他に内分泌攪乱化学物質、ダイオキシン類、PCB等の有害性についても学びます。				事前に教科書P111～P113を読む。教科書等を用い、授業内容を復習してください。（4時間）			
13	食品添加物の概念、食品の表示	食品添加物の役割・分類、食品添加物の安全性試験と評価、一日摂取許容量（ADI）の設定、食品添加物の指定基準、使用基準、表示基準等について学びます。				事前に教科書P147～P158を読む。教科書等を用い、授業内容を復習してください。（4時間）			
14	食品添加物の種類とその用途	主要な食品添加物（保存料、甘味料、酸化防止剤、着色料、発色剤など）の物質名、用途名、表示法等を学びます。				事前に教科書P158～P169を読む。教科書等を用い、授業内容を復習してください。（4時間）			
15	食品衛生の管理と対策	食品の安全を確保する手段としてのHACCPシステムの考え方、構築等について講述します。またISO22000についても学びます。				事前に教科書P185～P193を読む。教科書等を用い、授業内容を復習してください。（4時間）			
テキスト		成績評価の方法・基準							
「管理栄養と生命科学シリーズ 食品衛生の科学」熊田薫他編著（理工図書） ISBN:4-8446-0771-7（生協で購入してください。） 「新訂 原色食品衛生図鑑」細貝祐太郎他編（建帛社） ISBN:4-7679-6122-4（生協で購入してください。）		小テスト：20％ 定期試験：80％ S:難しい応用問題が解ける。A:やや難しい応用問題が解ける。B:標準レベルの応用問題が解ける。C:授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。							
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）							
「管理栄養士講座 食品衛生学」太田房雄、西島基弘著（建帛社） ISBN:4-7679-0373-6 「カカ管理栄養士講座食べ物と健康 食品衛生学」 ISBN:4-8041-1282-4		最近の話題も紹介しながら、興味を持って受講してもらえよう心がけます。質問がある場合はオフィスアワー等を利用してください。講義計画に記載された「事前事後学修」を行ってから、講義に臨むようにしてください。							

科目名	食品化学実験			学年学期	1年後期	単位数	1	ナパリング	NA15029	研究室	非常勤
担当者	近藤 君夫			必修選択	必修	科目種別	実験	オフィスアワー			
関連資格	管理栄養士、食品衛生、HACCP管理者					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
食品は、生物であるヒトの生命維持に不可欠な栄養素の源です。何がどれくらい必要であるかは、食品成分の分析に裏打ちされ明らかにされてきました。食品化学実験では、代表的な栄養素の分析及びコメ品種の判定やアレルギーの分析を取上げ、実験を通して食品について総合的に考えるとともに、食品成分表に掲載される数値の意味について理解を深めることを目的とします。											
学修到達目標											
基本的な実験操作を習得し、正しい結果が得られるようにする。反応原理を理解し、分析値から含有量を計算し、考察する。											
授業の進め方											
栄養成分等の分析法を解説し、班ごとに実験を行い、授業項目ごとに目的、方法、結果、考察等をレポートにまとめ提出します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	はじめに	全体の計画を説明します。また、化学的なはかり方について学びます。					化学的濃度の表示の仕方について予習復習をする。(1時間)				
2	実験操作の基礎	化学実験に用いられる単位、濃度の単位、試薬の調製法、標定と力価について学びます。					レポート作成(1時間)				
3	食塩	モール法による食塩の定量法について学び、実験を行って試料の食塩量を計算します。					レポート作成(1時間)				
4	ビタミンC(基礎)	滴定法によるビタミンCの定量法について学び、実験を行って試料中のビタミンC含有量を算出します。次回の実験計画を立案します。					実験計画に従い試料を準備します。(1時間)				
5	ビタミンC(応用)	第4回で修得した滴定技術を活用し、応用実験により研究的に課題を解決します。					レポート作成(1時間)				
6	薄層クロマトグラフィー	クロマトグラフィーの原理を学び、緑色野菜に含まれる色素を分析します。					レポート作成(1時間)				
7	米の品種判別1	コメからDNAを抽出し、PCR法によりDNAを増幅させます。					PCR法について予習しておく(1時間)				
8	米の品種判別2	PCR産物のアガロースゲル電気泳動を行い、泳動パターンから品種の判定を行います。					レポート作成(2時間)				
9	ブドウ糖	酵素を用いたブドウ糖の比色分析法の原理を学び、検量線を作成し、試料に含まれるブドウ糖を測定します。					レポート作成(1時間)				
10	食物繊維1	試料を酵素処理し消化性画分を分解します。溶剤処理により水溶性食物繊維を回収します。					レポートは次回とあわせ提出(1時間)				
11	食物繊維2	乾燥させた食物繊維の恒量を測定し、食物繊維量を算出します。					レポート作成(1時間)				
12	油脂1	食用油の酸価分析法について学び、実験を行って試料の酸価を算出します。					レポートは次回とあわせ提出(1時間)				
13	油脂2	食用油の過酸化物質分析法について学び、実験を行って試料の過酸化物質量を算出します。					レポート作成(1時間)				
14	アレルギー分析	イムノクロマトグラフィーを利用したそばのアレルギー分析法について学び、実験を行いそばアレルギーの有無を判定します。					レポート作成(1時間)				
15	まとめ	取組んだ各実験項目を復習し、化学的単位や濃度の計算法について、事例課題に取組み、理解を深めます。					計算法の復習および分析法の原理等の復習。(1時間)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
プリント資料を配付します。						受講態度：35% レポート：35% 定期試験：30% 受講態度は、積極性、協調性、冷静さの視点から、レポートは、基本的事項の記入の確認と、考察力および関連事項等を調査する能力から、定期試験では、取扱った分析手法について理解度を評価し、総合点100~90をS、89~80をA、79~70をB、69~60をCとします。					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「健康を考えた食品学実験」和泉秀彦他著渡辺達夫、森光康次郎編(アイ・ケイコーポレーション) ISBN: 978-4-87492-218-7						予習して、実験には積極的に協力して取り組み、結果は必ず記録することを身につけるようにしてください。結果を食品成分表の記載値と比較したり、文献等を調べ、レポートに取りまとめることにより、理解を深めてください。					

科目名	調理学			学年学期	1年後期	単位数	2	ナパ'リング	NA15030	研究室	S-07
担当者	石原 三妃			必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-	月曜日1限		
関連資格	管理栄養士、栄養士、フードスペシャリスト、栄養士					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
本講義は、将来の栄養士管理栄養士として、栄養的に優れているだけではなく、嗜好的にも優れた食事を提供できるよう、調理に必要な理論を習得することを目的とします。おいしさも含めた調理の科学について、基本的な事項を理解することを目標とします。調理とおいしさの関係、食品素材の調理による変化、調理操作、調理器具、食の文化などについて、最新の情報を交えながら論じます。素材や操作、器具の扱いなどが複合的に影響して、食事が成り立つことを学びます。											
学修到達目標											
調理を「科学的」に理解し、素材の特性を生かし、調製することができる考察力や、それに基づく基礎的な知識が身についている。さらに、対象者や食材、調理設備により、適切な調理を行うことができる判断能力が身についている。											
授業の進め方											
教科書を用いて各回のテーマに沿って講義を行います。教科書の内容に加えて、並行して開講されている調理学実習を具体例として、食材の変化や、操作・器具の特徴についてポイントを解説します。必要に応じてプリントを配布します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	食べ物の機能	食べ物には安全性、栄養性、嗜好性、生体調節性などの基本的特性があります。それぞれの特性について解説します。					テキストP1～5までを事前に読む(4時間)				
2	食べ物と環境	食に関係する地球の環境問題について解説します。					テキストP5～8までを事前に読む(4時間)				
3	嗜好性の要因	おいしさを感じるしくみについて学びながら、人間と食べ物のおいしさとのかわりについて解説します。					テキストP9～27までを事前に読む(4時間)				
4	おいしさの評価方法	主観の評価、客観の評価それぞれの手法について概説します。					テキストP28～33までを事前に読む(4時間)				
5	調理操作の基礎	食品の調理操作の変化についての基礎理論について解説します。					テキストP35～42までを事前に読む(4時間)				
6	調理操作の基礎	食品の調理操作の変化についての基礎理論について解説します。					テキストP42～50までを事前に読む(4時間)				
7	調理操作の種類	それぞれの調理操作とそれによって起こる科学的な変化について解説します。					テキストP51～72までを事前に読む(4時間)				
8	食事設計	食事設計に関する基本的な知識について解説します。					テキストP73～105までを事前に読む(4時間)				
9	食品成分の調理機能	炭水化物、たんぱく質、脂質それぞれの特徴について解説します。					テキストP107～113までを事前に読む(4時間)				
10	植物性食品の調理機能	穀類、雑穀の特徴と、調理性について解説します。					テキストP114～126までを事前に読む(4時間)				
11	植物性食品の調理機能	イモ類、豆類、野菜類、果実類の特徴と調理性について解説します。					テキストP127～148までを事前に読む(4時間)				
12	動物性食品の調理機能	食肉類の特徴と調理性について解説します。					テキストP148～154までを事前に読む(4時間)				
13	動物性食品の調理機能	魚介類、卵類、乳製品の特徴と調理性について解説します。					テキストP155～168までを事前に読む(4時間)				
14	抽出食品素材	でんぷん、多糖類、などの抽出食品素材についての特徴と調理性について解説します。					テキストP168～180までを事前に読む(4時間)				
15	調味料・香辛料・嗜好品	調味料・香辛料・嗜好品の調理特性と調理上の効果について解説します。					テキストP181～189までを事前に読む(4時間)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
「Nブックス 調理科学(第4版)」森高初恵 佐藤恵美子 編著(建帛社) ISBN:978-4-7679-0583-9(生協で購入してください。)						受講態度:20% 定期試験:80% 望ましい受講態度とは・・・事前学習を行ったうえで、授業に臨み、重要な内容をノートに記載する。また、真摯な態度で授業に出ること。 成績評価の基準・・・S:授業内容を高度に理解し、実践に基づいた応用的な問題が解ける。A:授業内容を理解し、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、試験問題の70%程度が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解している。					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「21世紀の調理学 1～7」川端晶子編著(建帛社) 「NEW 調理と理論」山崎清子 他著(同文書院)						実際の調理に必要な理論です。真面目に取り組むことを望みます。					

科目名	食品衛生学実験		学年学期	2年前期	単位数	1	ナパ [®] リング	NA25031	研究室	S-10
担当者	高木 勝広		必修選択	必修	科目種別	実験	オフィスアワー	月曜日3限		
関連資格	管理栄養士、栄養士、食品衛生、フードスペシャリスト、健康食品管理士、HACCP管理者、栄養士				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
様々な理化学試験や検査等を実際に行い、食品衛生学で習得した知識を確固たるものとします。また、食品の衛生微生物検査における基礎的な手技を修得するとともに、その意義や原理を学びます。さらに、化学性食中毒の原因物質、食品添加物、農薬などを取り扱い、各物質の検出原理および手法を修得し、食品の衛生的監視のセンスを養うことを目的とします。										
学修到達目標										
殺菌消毒の意義を理解し、確実に実践できるようになること、また食品衛生細菌（大腸菌、黄色ブドウ球菌等）の分離の原理を理解し、実際の検査に応用できるようになることです。各種食品添加物、残留農薬、砒素等の分析方法を身につけ、実践面に応用できることです。										
授業の進め方										
実験は、4～5人程度の班単位となります。実験を開始する前に毎回、実験の意義や注意点を説明します。さらに実験項目ごとにレポートの提出があります。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス：実験の概要説明と一般的諸注意	食品衛生学実験で行う実験内容の概要を説明した後、実験の心構え、一般的諸注意事項を説明します。さらにレポートの書き方、器具の洗浄方法等を実践を交えて説明します。				事前にテキストを読んで臨んでください。復習して次回の実験に備えてください。（1時間）				
2	衛生細菌試験 空中落下菌と手指の衛生検査	衛生的環境管理の指標である空中落下菌の測定を行います。また、手指の衛生検査を手形培地とルミテスターと用いて行います。				事前にテキストを読んでください。実験後にはレポートを提出してください。（2時間）				
3	衛生細菌試験 一般細菌数（生菌数）の測定	学生に試料を用意してもらい、試料中に含まれる一般細菌数を測定します。				事前にテキストを読んでください。実験後にはレポートを提出してください。（2時間）				
4	衛生細菌試験 大腸菌群の分離（定量試験）	学生に試料を用意してもらい、試料中に大腸菌群がいるかどうかを、選択培地（デゾ培地）を用いて行います。				事前にテキストを読んでください。実験後にはレポートを提出してください。（2時間）				
5	衛生細菌試験 大腸菌群の分離（定性試験）	教員側で試料を用意し、大腸菌群の定性試験を行います。実験は、定性試験用の選択培地（BGLB培地・EMB培地）を用いて行います。				事前にテキストを読んでください。実験後にはレポートを提出してください。（2時間）				
6	衛生細菌試験 黄色ブドウ球菌の定性試験	手指、傷口などを試料とし、選択培地（卵黄加マンニット食塩寒天培地）を用いて、黄色ブドウ球菌の定性試験を行います。				事前にテキストを読んでください。実験後にはレポートを提出してください。（2時間）				
7	衛生細菌試験 有孢子細菌の分離	納豆を試料とし、芽胞の耐熱性を利用した淘汰培養法により、有孢子細菌の分離を行います。				事前にテキストを読んでください。実験後にはレポートを提出してください。（2時間）				
8	衛生細菌試験 細菌の形態観察 グラム染色法	大腸菌（グラム陰性菌）と黄色ブドウ球菌（グラム陽性菌）をグラム染色し、光学顕微鏡にて形態観察を行います。				事前にテキストを読んでください。実験後にはレポートを提出してください。（2時間）				
9	食品添加物 合成着色料の検出	毛糸染色法にて、食品から合成着色料を抽出し、薄層クロマトグラフィーにて合成着色料の同定を行います。				事前にテキストを読んでください。実験後にはレポートを提出してください。（2時間）				
10	残留農薬の検出試験	固相抽出法を用いて、試料から農薬の抽出を行います。				事前にテキストを読んで臨んでください。（2時間）				
11	残留農薬の検出試験	ガスクロマトグラフ質量分析計（GCMS）を用いて、農薬の分析を行います。				事前にテキストを読んでください。実験後にはレポートを提出してください。（2時間）				
12	砒素の定量試験	試料（乾燥ひじき）を、湿式分解法（硫酸-硝酸-過酸化水素水、200℃で2時間）にて前処理します。				事前にテキストを読んで臨んでください。（2時間）				
13	砒素の定量試験	原子吸光光度計にて砒素の分析をおこないます。				事前にテキストを読んでください。実験後にはレポートを提出してください。（2時間）				
14	肉類の鮮度測定	肉類は水分含量が高く、細菌汚染を受けやすい食材であるため、取り扱いや保存等の注意が必要です。ここでは魚を試料にし、腐敗以前の状態を知る方法である、K値（鮮度判定恒数）測定を行います。				事前にテキストを読んでください。実験後にはレポートを提出してください。（2時間）				
15	PCR法を利用した品種推定	試料からDNAを抽出し、種特異的なプライマーを混ぜ、ポリメラーゼ連鎖反応（PCR）を行います。アガロースゲル電気泳動により判定します。				事前にテキストを読んでください。実験後にはレポートを提出してください。（2時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「新訂 原色食品衛生図鑑」細貝祐太郎他編（建帛社） ISBN:4-7679-6122-4 他にプリントを配付します。				レポート：40% 定期試験：40% 受講態度：20% S:レポートおよび定期試験共に要求された程度を越えて優秀で、問題意識をもって主体的に実験に取り組む。A:レポートおよび定期試験共に優秀で、主体的に実験に取り組む。B:レポート、定期試験が共に要求を満たす成績で、実験態度では特に問題が見あたらない。C:レポート、定期試験、実験態度を総合して、単位修得を認める合格最低ラインである。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
「食品衛生検査指針（理化学編2005）」（社団法人日本食品衛生協会） ISBN:4-8892-5003-9 厚生労働省監修 「食品衛生検査指針（微生物編2004）」（社団法人日本食品衛生協会）				劇毒物など危険なものを扱うので、十分に説明を聞き理解して実験に臨むことが必要です。講義計画に該当する内容を配布テキストから探し、事前に読んでおいてください。質問がある場合は、オフィスアワー等を利用してください。						

科目名	応用調理学実習		学年学期	2年前期	単位数	1	ナパ'リング	NA25032	研究室	S-07
担当者	石原 三妃・宮本 由香		必修選択	必修	科目種別	実習	オフィスア-	月曜日1限		
関連資格	管理栄養士、栄養士、フードスペシャリスト、フードコーディネーター、栄教一				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
調理学実習、調理学で学んだことを踏まえ、さらに調理についての知識と技術を習得することを目的とします。食材を、より嗜好性高く調理するための下ごしらえや、工夫などを紹介しながら、多くの食材、調理操作を学びます。日本料理を中心としますが、長野県の特産であるジビエについて学ぶ機会を持ちます。食の専門家として地域で活躍する基礎的な力を身につけることを目指します。										
学修到達目標										
幅広い知識を持って調理を行えるようになることを目標とします。最終的には、第三者に提供できる料理を調理することができるようになることを目標とします。前期科目であるので、特に、春夏の食材の使い方を習得することを目標とします。										
授業の進め方										
数名で班を作り、実習します。外部から特別講師を招いて講習を行うこともあります。はじめにデモンストレーションを行い、授業の要点を説明します。デモンストレーション終了後に各班に分かれて調理、試食、片づけを行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	授業の概要、授業の進め方、レポートの書き方、評価方法などについて説明します。				献立作成のレポートを作成する。(1時間)				
2	日本料理 春の供応食	メバルの煮付け、たけのこの土佐煮 豆ご飯 ハマグリ吸い物 桜餅を調理します。				手順、材料を記録紙に記入、事前に学習する。事後は栄養価計算他レポートを作成する。(1時間)				
3	西洋料理	サンドイッチ ポルトガル風トマトサラダ カスタードプリンを調理します。				手順、材料を記録紙に記入、事前に学習する。事後は栄養価計算他レポートを作成する。(1時間)				
4	中国料理	中国粥 白玉揚げ団子 ひき肉レタス包み ナスの和え物を調理します。				手順、材料を記録紙に記入、事前に学習する。事後は栄養価計算他レポートを作成する。(1時間)				
5	エスニック料理	チキンカレー、ターメリックライス、生春巻き、スパイスミルクティーを調理します。				手順、材料を記録紙に記入、事前に学習する。事後は栄養価計算他レポートを作成する。(1時間)				
6	中国料理	担担麺、アスパラガスと鶏の炒め物、いかとセロリの和え物、冰糖銀耳を調理します。				手順、材料を記録紙に記入、事前に学習する。事後は栄養価計算他レポートを作成する。(1時間)				
7	日本料理 もち米の調理 葛粉の調理	オクラのとろろ汁、えび変わり揚げ、ゴマ豆腐、赤飯を調理します。				手順、材料を記録紙に記入、事前に学習する。事後は栄養価計算他レポートを作成する。(1時間)				
8	郷土料理	長野県を中心とした郷土料理を調理します。				手順、材料を記録紙に記入、事前に学習する。事後は栄養価計算他レポートを作成する。(1時間)				
9	食肉の調理	ジビエを含む食肉の調理と文化について講義形式で授業を行います。				ジビエについてのレポートを作成する。(1時間)				
10	課題 松花堂弁当	班ごとに松花堂弁当献立作成を行います。				松花堂弁当についてレポートを作成し、献立内容について検討しておく。(1時間)				
11	課題 松花堂弁当	松花堂弁当試作を行います。				手順、材料を記録紙に記入、事前に学習する。事後は栄養価計算他レポートを作成する。(1時間)				
12	課題 松花堂弁当	松花堂弁当を作成し、学内の先生方に試食していただきます。				手順、材料を記録紙に記入、事前に学習する。事後は栄養価計算他レポートを作成する。(1時間)				
13	特別講義 ジビエ料理	シカ肉の解体を行います。				事前に作成したレポートを復習しておく。(1時間)				
14	特別講義 ジビエ料理	ジビエを用いた調理を行います。				手順、材料を記録紙に記入、事前に学習する。事後は栄養価計算他レポートを作成する。(1時間)				
15	西洋料理 西洋料理の供応	ビーフシチュー、シュークリーム、にんじんサラダ、レモンスカッシュを調理します。				手順、材料を記録紙に記入、事前に学習する。事後は栄養価計算他レポートを作成する。(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「明日の健康と調理」三輪里子監修著飯田文子、藤井恵子編(アイ・ケイコーポレーション) ISBN:978-4-87492-315-3 「七訂食品成分表2017」香川芳子著(女子栄養大学出版部) ISBN:9784789510165(生協で購入してください。) 明日の健康と調理は「調理学実習」で用いたテキストを継続して使用するため再度購入の必要はありません。				受講態度:30% 課題:30% 定期試験:40% 受講態度とは・実習の目的に沿って作業に積極的に参加し、班員と協力しながら作品を作り上げていくこと。評価基準:S:実習・レポートに積極的且つ自主的に取り組み定期試験で応用的な内容について解ける。A:実習・レポートに積極的に取り組み定期試験で応用的な内容について8割程度解ける。B:実習に積極的に取り組み、レポートを完成させ、定期試験を7割程度解ける。C:レポートを提出し、定期試験を6割程度解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「調理のためのベーシックデータ」(女子栄養大学出版部) ISBN:978-4789503174 「映像で学ぶ 調理の基礎とサイエンス」松崎政三、藤井恵子、寺本あい著				実習科目であるので欠席はしないようにしてください。火気、刃物の扱いには注意して実習してください。一つ一つの操作に意味があることを意識して実習するように心がけましょう。						

科目名	食品機能論	学年学期	3年前期	単位数	2	ナパ'リング	NA35033	研究室	S-06
担当者	矢内 和博	必修選択	必修	科目種別	講義	オイスア-	月曜日4限		
関連資格	管理栄養士、栄養士、フードスペシャリスト、健康食品管理士、栄養士			履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
		A	B	C					
授業概要									
健康食品ブームの中、いわゆる体にいい食品またはその成分に関する正しい知識を持つことが必要な時代です。食品に含まれる成分は、消化・吸収を経て生体に何らかの作用をしますが、そこに関わる生理機能について解説します。近年、生活習慣病がクローズアップされており、それ故に健康食品産業の市場は拡大しています。しかし、正しい商品の知識と使用方法の認識を持って利用されていないのが現状と思われる。本講義では、基本的な食品成分の機能性、さらに市場規模が拡大する特定保健用食品について解説します。									
学修到達目標									
管理栄養士国家試験においても出題される可能性が高い分野です。過去出題された本科目における問題に重点をおいて習得することはもとより、ただ単に暗記するだけでなく、食品が摂取されてから効果を発揮するまでのプロセスをしっかりと把握できるような知識を身に付けてもらうことを目標とします。									
授業の進め方									
講義形式で行い、テキストを中心にプリント、論文紹介、スライドなどを用いて解説します。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	授業ガイダンス	授業全体の説明、教科書の紹介、進め方、定期テストの説明をします。				次回の講義に向けて、ノートの準備をしてください。(4時間)			
2	食品機能学とは	食品機能学について講義します。身近に存在する機能性食品、または普段利用している食品の中に含まれる機能性成分について解説します。				講義で話した事柄をしっかりとノートに記載できるように努力してください。(4時間)			
3	抗酸化(活性酸素除去)機能およびそれを有する食品	病気の原因の大部分を占める活性酸素が、どのように発生し、体のどこに障害を及ぼすか、またそれに対する体の対応と抗酸化作用のある食品について解説します。				講義で話した事柄をしっかりとノートに記載できるように努力してください。(4時間)			
4	消化吸収促進機能およびそれを有する食品	食べ物の消化吸収について再度解説するとともに、食品成分が消化吸収にどのような係わりをするか解説します。				講義で話した事柄をしっかりとノートに記載できるように努力してください。(4時間)			
5	難消化、吸収阻害と微生物活性機能とそれらを有する食品	健康に寄与する観点から、食品の消化吸収に効果をもたらす食品成分について解説します。また、微生物を利用した加工食品の機能性について解説します。				講義で話した事柄をしっかりとノートに記載できるように努力してください。(4時間)			
6	脂質関連代謝機能とそれを有する食品-1	脂質は、栄養素としての役割だけでなく、体内で代謝され生体調整に大きく関わっています。ここでは、食品中の脂質の種類、基本的な構造、脂質の消化吸収について解説します。				講義で話した事柄をしっかりとノートに記載できるように努力してください。(4時間)			
7	脂質関連代謝機能とそれを有する食品-2	消化吸収された脂質が発現する機能性について解説します。				講義で話した事柄をしっかりとノートに記載できるように努力してください。(4時間)			
8	酵素阻害機能とそれを有する食品	食品の消化吸収に関与する酵素群は、国家試験においても必出項目です。体内における消化吸収にかかわる器官とそこに関与する酵素について解説します。また、酵素活性に影響を及ぼす食品も解説します。				講義で話した事柄をしっかりとノートに記載できるように努力してください。(4時間)			
9	免疫系におよぼす機能	食品成分は、消化吸収のみならず、免疫系にも大きく栄養するものがあります。食品成分が免疫系に及ぼす影響について解説します。				講義で話した事柄をしっかりとノートに記載できるように努力してください。(4時間)			
10	神経系におよぼす機能	食品成分が神経系に及ぼす影響について解説します。ヒトの体は自律神経系によって調整されています。食品成分がポジティブに関与する例を挙げ、またその効果を期待する市販される食品も紹介します。				講義で話した事柄をしっかりとノートに記載できるように努力してください。(4時間)			
11	ストレス、抗ストレス、ストレス緩和に関する機能と食品	近年、よく聞くようになったストレスとは何か?また、ストレスが体に及ぼす影響とそれを緩和する食品成分や商品について解説します。				講義で話した事柄をしっかりとノートに記載できるように努力してください。(4時間)			
12	機能性食品(保健機能食品等)の制度	6000億円を終える特定保健用食品の市場を前に、国家試験においても本項目は必出事項となっています。トクホを含めた機能性食品の制度等について解説します。				講義で話した事柄をしっかりとノートに記載できるように努力してください。(4時間)			
13	生活習慣病と食品の機能性について	生活習慣病の増加を背景に機能性食品の需要が高まっているのが現実です。ドラッグストアにおける販売においては、商品と機能性の関連を的確に説明することが重要です。本テーマについてまとめを行います。				講義で話した事柄をしっかりとノートに記載できるように努力してください。(4時間)			
14	長野県地場産品が有する機能性と商品化について考える	多種多様な食品が栽培、生産される長野県の未来について、機能性を追求する食品の発掘と商品化について解説し、全員でディスカッションします。				講義で話した事柄をしっかりとノートに記載できるように努力してください。(4時間)			
15	まとめとテスト対策	15回の授業のまとめとテスト対策を行います。今までの講義でとったノートが取れているか、重要項目がしっかりとマークされているかを確認します。				講義で話した事柄をしっかりとノートに記載できるように努力してください。(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
「食品機能学」青柳康夫編(建帛社) ISBN: :978-4-7679-0362-0(生協で購入してください。)		定期試験: 85% 出席レポート: 15% テストの結果を重視します。60点以上を評価の対象とします。よって60点未満はDとします。A,B,Cに関しては規定通り評価しますが、成績上位数をSとします。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「健康と長寿への挑戦」木苗直秀編(南山堂) 「食品の科学」上野川修一 田之倉優編(東京同人科学)		食品の機能性は人の健康の維持増進に対して特に重要となってきました。保健機能食品としての市場も拡大しています。管理栄養士として、食品の栄養素がどのような機能性を発揮するかを習得することは必要不可欠です。							

科目名	食品微生物学(含実験)		学年学期	3年前期	単位数	2	ナパリング	NA35034	研究室	S-10
担当者	高木 勝広		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日3限		
関連資格	食品衛生、HACCP管理者				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本講義では、発酵食品の製造や食品の変質に関与するカビの種類と形態、微生物制御を行なう上で重要な微生物の増殖と環境要因、食品の腐敗・変敗の原因微生物とその作用、酒・味噌・チーズ等発酵食品製造における微生物の役割などについて解説します。また、アミノ酸発酵・核酸発酵・抗生物質の生産・酵素生産の発酵生産法の原理を学ぶことにより、発酵生産や自然環境の保持などに微生物学的に取り組み力をつけていきます。										
学修到達目標										
発酵食品の製造に関わる微生物を挙げ、その特徴について説明できること、また微生物を利用して製造される食品を挙げて、その生産方法や発酵原理(微生物の役割)等を説明できることです。さらに、遺伝子操作による有用物質の生産について、その原理と応用について説明できることが目標です。										
授業の進め方										
教科書を基本に、重要点をパワーポイントに纏めて講義を行います。理解を深めてもらいたい内容については、DVD等の視聴覚教材も活用します。また、数回実験室にて微生物実験を行い、実験項目ごとにレポートの提出があります。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	はじめに：食品と微生物との関わり	微生物の分類学上の位置を示した後、人類における食品と微生物との関わりについて講述します。				事前に教科書P1～P33までを読む。教科書等を使って授業内容を復習してください。(4時間)				
2	微生物の種類・生理・代謝	微生物の種類を説明した後、食品微生物学として関連の深い細菌や真菌(カビや酵母)を中心に基本的な性質について学びます。				事前に教科書P35～P76までを読む。教科書等を使って復習してください。(4時間)				
3	微生物実験 真菌の形態観察	前の講義で学んだ真菌(麹菌・酵母)の形態観察を行う。				前回の講義を復習して実験に臨んでください。実験後はレポートを提出してください。(4時間)				
4	食品中の微生物相	食品は動植物由来なので、それぞれが特徴的な微生物相を形成しています。穀類、野菜と果実、食肉、乳製品、水産食品等の微生物相について講述します。				事前に教科書P127～P143を読む。教科書等を使って授業内容を復習してください。(4時間)				
5	食品の悪変と保蔵	食品の悪変について解説した後、悪変の原因となる微生物と要因等について講述します。また、食品の悪変を防ぐための食品の保蔵方法と原理について学びます。				事前に教科書P145～P187を読む。教科書等を使って授業内容を復習してください。(4時間)				
6	微生物の利用 発酵食品：アルコール飲料	麹と麦芽の種類と役割について解説した後、清酒、ビール、ワイン等のアルコール飲料の製造と酵母等の微生物の役割について講述します。				事前に教科書P189～P208を読む。教科書等を使って授業内容を復習してください。(4時間)				
7	微生物の利用 発酵食品：調味料	調味食品の歴史と種類等について解説した後、味噌、醤油、食酢等の調味食品の製造と各種微生物の役割について講述します。				事前に教科書P208～P214を読む。教科書等を使って授業内容を復習してください。(4時間)				
8	微生物の利用 発酵食品：乳製品等	発酵乳や乳酸菌飲料の歴史と種類等について解説した後、ヨーグルトの製造と乳酸菌の役割について講述します。				事前に教科書P214～P218を読む。教科書等を使って授業内容を復習してください。(4時間)				
9	微生物実験 乳酸菌の純粋分離と生菌数の測定	前の講義で学んだ内容を実験を通して確認します。ここでは、ヨーグルトを試料に、乳酸菌の分離と生菌数の測定を行います。				前回の講義を復習して実験に臨んでください。実験後はレポートを提出してください。(4時間)				
10	微生物の利用 アミノ酸発酵・核酸発酵等	アミノ酸発酵・核酸発酵の歴史を説明した後、目的物質を産生(蓄積)させる発酵原理について学びます。				事前に教科書P219～P230を読む。教科書等を使って授業内容を復習してください。(4時間)				
11	微生物の利用 微生物酵素の利用	酵素を利用した原料加工や物質生産技術を概説した後、微生物酵素をつかった有用物質の生産原理(バイオリアクター等)について講述します。				事前に教科書P241～P248を読む。教科書等を使って授業内容を復習してください。(4時間)				
12	微生物実験 微生物酵素の分離と利用(応用)	前の講義で学んだ内容を受け、自然界からアミラーゼ産生菌の検索(スクリーニング)します。				前回の講義を復習して実験に臨んでください。実験後はレポートを提出してください。(4時間)				
13	遺伝子操作とタンパク質工学	遺伝子操作による有用物質の生産とその有用性を説明した後、遺伝子組換えの原理と応用について講述します。				事前に教科書P249～P264を読む。教科書等を使って授業内容を復習してください。(4時間)				
14	微生物実験 DNA実験(1)	前の講義で学んだ、遺伝子操作を実際に行う実験です。具体的には、麹菌のアミラーゼ遺伝子をパン酵母に導入します。				前回の講義を復習して実験に臨んでください。実験後はレポートを提出してください。(4時間)				
15	微生物実験 DNA実験(2)	組換えDNA実験(1)の続きで、パン酵母が、麹菌のアミラーゼを産生することができるようになったかどうかをヨウ素デンプン反応を利用して確認します。				前回の講義を復習して実験に臨んでください。実験後はレポートを提出してください。(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
「食品微生物学(改訂版)」木村光著(培風館) ISBN:4-563-03862-5(生協で購入してください。)		レポート：30% 定期試験：60% 受講態度：10% S:レポートおよび定期試験共に要求された程度を越えて優秀で、問題意識をもって主体的に実験に取り組む。A:レポートおよび定期試験共に優秀で、主体的に実験に取り組む。B:レポート、定期試験が共に要求を満たす成績で、実験態度では特に問題が見あたらない。C:レポート、定期試験、実験態度を総合して、単位修得を認める合格最低ラインである。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「食品微生物学」高見伸治、西瀬弘、大塚暢幸、長澤治子、土居幸雄著(建帛社) ISBN:4-7679-0228-2 「微生物学実験書 基礎と応用」小崎道雄、谷村和八郎著(建帛社)		食品微生物学(含実験)を履修する学生は微生物学を修得しておくことが望ましい。質問がある場合は、オフィスアワー等を利用してください。講義計画に記載された「事前事後学修」を行ってから、講義に臨むようにしてください。								

科目名	食品の官能評価・鑑別法	学年学期	3年後期	単位数	1	ナパ'リング	NA35035	研究室	S-06	
担当者	矢内 和博	必修選択	選択	科目種別	実習	ウイズア-	金曜日1限			
関連資格	管理栄養士、フードスペシャリスト、HACCP管理者			履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度(読替科目)								
		A	B	C						
授業概要										
我々を取り巻く食環境は非常に多彩であり、またグローバル化が進んでいます。故に、日本古来の食品であっても、その原材料を輸入に依存する割合も高いのが現状です。また、食品は食品衛生上安全であることはもとより、美味しいことが重要視されるので、食品の品質を適切に鑑別・評価することが重要です。本演習では食品を官能的また物理化学的に評価する手法(統計的処理を含む)を習得するとともに、種々の食品の鑑別を通して食品に対する知識を深める事を目的とします。										
学修到達目標										
官能評価の演習を通じ、さまざまなパターンにおける食品の評価方法を習得することを目的とします。また、食品学各論のおさらいを含め、食品を正しく評価するための知識を学び、管理栄養士国家試験に備えます。										
授業の進め方										
数人のグループに分かれて行い、テキストとプリントに従って演習を行います。演習終了後にレポートを作成し、1週間以内に提出することを課します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス:本講義のねらい、概要、テキスト等について	食べ物を評価することは、普段の生活においても自然と行われていることですが、何気なく選んだ食品は、実はどのようにして選ばれたかを15回にわたって解説します。					次回実施する事項について、教科書を読んで来るようにして下さい。(1時間)			
2	官能評価とは:概要、官能検査の基本と手法	食品を評価する手法として、官能評価というものがあります。さまざまなシチュエーションやほしい情報によって、方法を変えて評価します。官能評価全般について解説します。					次回から官能評価の演習を開始します。教科書をよく読んできてください。(1時間)			
3	官能評価の手法(2つの試料間の差の鑑別方法)	2つの試料の味の強さの違いを見分ける方法と、2つの試料のどちらを好むかを選択する方法とその結果を統計解析して結論を導く演習を行います。					教科書をよく読んで、演習の流れをつかんでください。(1時間)			
4	3点鑑別試験法	3点鑑別試験法の演習を行います。試料はトマトジュースを用います。2種類のトマトジュースの違いを鑑別できるかを判断する官能評価です。					教科書をよく読んで、演習の流れをつかんでください。(1時間)			
5	スピアマンの順位相関係数	濃度の違う5種類の食塩水の濃度の違いを正しく判断できるかをみる官能評価です。濃度の濃い順に並べてもらいます。					教科書をよく読んで、演習の流れをつかんでください。(1時間)			
6	Newell&MacFrlaneの検定表を用いる検定	数種類の試料に順位をつけたとき、特定の2試料の間に差があるかどうかをみる場合に用いられる官能評価です。試料間の差を簡便に判定することができます。					教科書をよく読んで、演習の流れをつかんでください。(1時間)			
7	ケンドールの一致性	5つの銘柄のオレンジジュースに好みの順位を付けたとき、その結果がパネル間の嗜好として有意に一致しているかをみる官能評価です。パネルは5~6名で行います。					教科書をよく読んで、演習の流れをつかんでください。(1時間)			
8	評点法	3種類の試料についてみだ目の良さ、テクスチャーの良さなどの性情を質問するとともに総合的な良さに評点を付ける官能評価です。試料は食パン、パネルは6名で行います。					教科書をよく読んで、演習の流れをつかんでください。(1時間)			
9	食品の化学的評価法	食品を化学的に評価する手法、機器について解説します。管理栄養士国家試験の範囲にかかわるので、過去に出題された問題も提示しながら進めます。					事前に教科書をよく読んでくるようにしてください。ノートはしっかり取ってください。(1時間)			
10	食品の物理的評価法	食品を物理的に評価する手法、機器について解説します。管理栄養士国家試験の範囲にかかわるので、過去に出題された問題も提示しながら進めます。					事前に教科書をよく読んでくるようにしてください。ノートはしっかり取ってください。(1時間)			
11	アウトキャンパススタディ	松本大学近郊で生産されている農畜産物の現場を見学に行きます。また、作業体験も実施します。					生産現場での体験、生産者の思いを聞いた率直な感想をレポートにまとめてください。(1時間)			
12	個別食品の鑑別(穀類、マメ類、野菜・キノコ類)	食品学各論のおさらいにもなります。理栄養士国家試験の範囲にかかわるので、過去に出題された問題も提示しながら進めます。食品学各論の教科書も使用します。					事前に教科書をよく読んでくるようにしてください。ノートはしっかり取ってください。(1時間)			
13	個別食品の鑑別(畜肉、卵、乳製品)	食品学各論のおさらいにもなります。理栄養士国家試験の範囲にかかわるので、過去に出題された問題も提示しながら進めます。食品学各論の教科書も使用します。					事前に教科書をよく読んでくるようにしてください。ノートはしっかり取ってください。(1時間)			
14	個別食品の鑑別(魚介類、海藻類)	食品学各論のおさらいにもなります。理栄養士国家試験の範囲にかかわるので、過去に出題された問題も提示しながら進めます。食品学各論の教科書も使用します。					事前に教科書をよく読んでくるようにしてください。ノートはしっかり取ってください。(1時間)			
15	個別食品の鑑別(飲料、インスタント食品)	食品学各論のおさらいにもなります。理栄養士国家試験の範囲にかかわるので、過去に出題された問題も提示しながら進めます。食品学各論の教科書も使用します。また、試験対策について解説します。					事前に教科書をよく読んでくるようにしてください。ノートはしっかり取ってください。(1時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
「新版 食品の官能評価・鑑別演習」日本フードスペシャリスト協会編(建帛社) ISBN:978-4-7679-0367-5 (生協で購入してください。)		出席レポート:15% レポート:45% 定期試験:40% テストの結果を重視します。40点以上を評価の対象とします。よって40点未満はDとします。その上で出席とレポートの評価を加味し規定通りにA,B,Cの評価としますが、成績上位数名をSとします。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「おいしさの表現辞典」川端晶子、淵上匠子編(東京堂出版) ISBN:4-490-10694-7		生活の中でより良い食品を選択する方法を学び、安心安全な食品を選択する知識を持つことは栄養士として非常に重要です。多くの食品に触れ、より実践的な内容に行きます。演習前の予習をしっかりと行って臨んでください。								

科目名	基礎化学（無機）		学年学期	1年前期	単位数	2	ナバリング	NL16001	研究室	S-12
担当者	木藤 伸夫		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスカー	水曜日2限、水曜日3限		
関連資格	食品衛生、HACCP管理者				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
ヒトはじっとしている時でも運動している時でも、体の中でエネルギーを作り出して使っています。食べ物を材料にしてこのエネルギーを作り出すのは、体の中のいろいろな細胞で起こっている化学反応です。薪を燃やすたき火も、食べたものからエネルギーを作る反応も、化学の目で見ると同じような反応です。この講義では、毎日の生活に関わる化学物質や化学反応に目を向け、「化学」の目でさまざまな現象を理解できるようになることを目的とし、そのための基礎となる無機化学を中心に学習します。										
学修到達目標										
物質を構成する原子や分子の構造を学習し、化学反応を理解してその反応式が正しく書けるようになることが目標です。講義の終了時には元素の周期表を使いこなせるようになりますようにしましょう。										
授業の進め方										
教科書と配布資料を使って講義を行います。毎時間小テストを行います。高校時代化学を勉強しなかった人、化学が苦手だった人は参考図書にあげた二つの教科書を読むのが良いでしょう。講義の中でも参考図書の内容を紹介します。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ		内容				事前事後学修			
1	物質の構成粒子と物質の分類		物質を構成する基本的な粒子、原子の構造を学びます。さらに、原子が結合してできる分子や、電子を得たり失ってできるイオンなど化学の基礎を学習します。				教科書の第1章を予習してから講義に出席してください（2時間）			
2	原子量、分子量、物質質量		原子の相対質量を理解し、化学反応を考える基礎となる分子量、式量が使いこなせるようになりますように。また、モル濃度計算も抵抗なくできるようになることが目標です。				教科書の9～18ページの予習と、返却された小テストの復習（4時間）			
3	化学反応式		いろいろな化学反応式が書けるように練習問題を解きます。また、化学反応式に基づき、反応前後の物質質量の計算ができるようになることが目標です。				教科書の18～22ページの予習と、返却された小テストの復習（4時間）			
4	原子の性質と周期律		原子の構造、特に電子配置に関わる電子殻と元素による電子配置の違いについて学習し、周期表と電子配置の関係を理解します。				教科書第3章の予習と、返却された小テストの復習（4時間）			
5	さまざまな化学結合		化学結合（イオン結合、共有結合、金属結合）がどのようにして形成されているか、電子の配置から理解できるようにします。				教科書第4章の予習と、返却された小テストの復習（4時間）			
6	共有結合と分子		共有結合により形成される分子の構造と、その構造がどのようにして形成されるか学習します。				教科書第5章の予習と、返却された小テストの復習（4時間）			
7	分子の極性と分子間に働く力		分子内に生じる電荷の偏りによって、分子、あるいは分子間にどのような力が働くのか、その力は物質の性質にどのように影響を与えるのか学習します。				教科書第6章の予習と、返却された小テストの復習（4時間）			
8	確認テストと解説		第1～6章までの理解度を、筆記試験で確認します。				教科書や小テストで、第1～6章を復習する（6時間）			
9	化学平衡		化学平衡という考え方を理解し、平衡定数を計算できるようになること、また、平衡移動についても説明できるようになることを目標とします。				教科書第7章の予習と、返却された中間テストの復習（4時間）			
10	酸塩基反応		酸・塩基の定義を学び、強酸・弱酸、強塩基・弱塩基を正しく理解する。また、中和反応とその結果生成する塩の性質についての理解を深めます。				教科書第8章の予習と、返却された中間テストの復習（4時間）			
11	酸塩基平衡と水素イオン濃度		水のイオン積、水素イオン濃度とpHの関係を理解し、モル濃度から水溶液のpHを求められるようになることが目標です。				教科書第9章の予習と、返却された中間テストの復習（4時間）			
12	酸化還元反応		酸化還元反応を電子の動きから理解します。また、金属のイオン化傾向を学習し、電池で電気が流れる原理を説明できるようになります。				教科書第10章の予習と、返却された中間テストの復習（4時間）			
13	基礎化学実験	水素イオン濃度の測定	pHメーターの原理と使い方を学び、様々な溶液のpHを測定する実験実習です。				事前に配布する資料を読み、教科書の8、9章を復習しておきましょう（4時間）			
14	基礎化学実験	緩衝液・中和反応	中和滴定を行い、緩衝作用とはどのようなものかを実感する実験実習です。				事前に配布する資料を読み、教科書の8、9章を復習しておきましょう（4時間）			
15	まとめ		これまでの講義と実習の要点をまとめます。十分に理解できていない点を再確認しましょう。				教科書や小テストを復習し、十分に理解していない点がどこか調べておく（4時間）			
テキスト			成績評価の方法・基準							
「<基礎固め> 化学、第2版」小島一光著（化学同人） ISBN: 978-4-7598-1537-5（生協で購入してください。）			定期試験：100% 化学の基本となる周期表の情報を理解し、原子、分子の基本構造と、いくつかの化学結合の違いを正確に説明できればC、化学反応式を書くことができ、化学平衡の説明ができればB、さらに酸塩基反応や緩衝作用を説明できればA、酸化還元反応を化学反応の基本である電子の移動から説明できればS。							
参考書			履修上の注意（学生へのメッセージ）							
「化学、入門編」日本化学会科学教育協議会「グル・ブ・化学の本21」編（化学同人） ISBN: 978-4-7598-109-2 「フイット 理科教科書、化学」Suvi Aspholm著 ISBN: 978-4-7598-1545-0			化学の基礎をしっかり身につけ、今まであやふやだったところをはっきりさせます。朝起きてから夜寝るまでのいろいろな場面で、どのような化学反応が起きているか考えてみてください。料理は最も身近な化学実験です。							

科目名	基礎栄養学	学年学期	1年後期	単位数	2	ナバ [®] リング	NA16002	研究室	S-08	
担当者	沖嶋 直子	必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日3限			
関連資格	管理栄養士、栄養士、食品衛生、フードコーディネーター、HACCP管理者、栄教一			履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
2年次以降で履修する応用栄養学、臨床栄養学等の応用系科目を履修するために必要とされる基本的な栄養学の知識を身につけることが目的です。										
学修到達目標										
五大栄養素の構造および機能、栄養素の消化吸収と代謝の初歩、食欲の調節、エネルギー代謝、水と電解質の代謝、遺伝子と栄養の初歩までを理解できる事が到達目標です。										
授業の進め方										
全て座学で行います。事前学習は不要ですが、復習は毎回配布する復習プリントを講義日から数日間の記憶が新しいうちに指示された通りに学習して下さい。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	栄養、栄養素とは	栄養、栄養素という言葉の定義、五大栄養素について学びます。					復習プリントを履修後数日中に学習して下さい。（4時間）			
2	糖質の栄養	糖質の構造と分類について学びます。					復習プリントを履修後数日中に学習して下さい。（4時間）			
3	糖質の栄養 ・ 脂質の栄養	糖質の機能、脂質の構造と分類について学びます。					復習プリントを履修後数日中に学習して下さい。（4時間）			
4	脂質の栄養 ・ タンパク質の栄養	脂質の機能、アミノ酸～タンパク質の構造と分類について学びます。					復習プリントを履修後数日中に学習して下さい。（4時間）			
5	タンパク質の栄養	タンパク質の機能について学びます。					復習プリントを履修後数日中に学習して下さい。（4時間）			
6	無機質の栄養	無機質の構造、分類、機能について学びます。					復習プリントを履修後数日中に学習して下さい。（4時間）			
7	ビタミンの栄養	無機質の構造、分類、機能について学びます。					復習プリントを履修後数日中に学習して下さい。（4時間）			
8	栄養素の消化吸収	消化の分類、消化酵素による栄養素の消化、消化管ホルモンについて学びます。					復習プリントを履修後数日中に学習して下さい。（4時間）			
9	栄養素の消化吸収 ・ 栄養素の代謝	栄養素別吸収と体内循環、糖質の体内での代謝について学びます。					復習プリントを履修後数日中に学習して下さい。（4時間）			
10	栄養素の代謝	脂質、タンパク質の体内での代謝について学びます。					復習プリントを履修後数日中に学習して下さい。（4時間）			
11	水分・電解質の代謝	水分の体内分布と1日の代謝、電解質による体内のpH調節、水分量調節について学びます。					復習プリントを履修後数日中に学習して下さい。（4時間）			
12	エネルギー代謝	体内でのエネルギー産生、ATP、基礎代謝、活動によるエネルギー代謝について学びます。					復習プリントを履修後数日中に学習して下さい。（4時間）			
13	食物繊維と難消化性多糖	食物繊維と難消化性多糖の構造と機能について学びます。					復習プリントを履修後数日中に学習して下さい。（4時間）			
14	食欲と摂食の調節	食欲と空腹の違い、脳やホルモンによる摂食調節機構について学びます。					復習プリントを履修後数日中に学習して下さい。（4時間）			
15	遺伝子と栄養	儉約遺伝子仮説、栄養素と遺伝子の関係について学びます。					復習プリントを履修後数日中に学習して下さい。（4時間）			
テキスト		成績評価の方法・基準								
「栄養科学イラストレイテッド 基礎栄養学」田地陽一編（羊土社） ISBN:9784758108744（生協で購入してください。）		定期試験：100% 管理栄養士として勤務可能な知識レベルにある者をA、そのうち特に優秀な者をS、栄養士として勤務できる知識レベルにある者をB、栄養士としても知識が不足している者をC、知識量が不足していて、栄養士としての勤務も困難である者をDとします。								
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）								
「栄養科学イラストレイテッド演習版 基礎栄養学ノート」田地陽一編（羊土社） ISBN：9784758108898 「健康・栄養科学シリーズ 基礎栄養学 改定第4版」奥恒行・柴田克己編		各項目終了時に復習プリントを配布します。配布直後の講義の記憶があるうちに、指示された方法に則りすみやかに復習してください。それが出来ずに試験前にまとめて学習した学生の多くは、再履修となっています。								

科目名	基礎化学（有機）		学年学期	1年後期	単位数	2	ナパリング	NL16003	研究室	S-08
担当者	沖嶋 直子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日3限		
関連資格	食品衛生、HACCP管理者				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
ヒトの体の成り立ちや機能、栄養・食品・医療を学ぶ上で必要とされる有機化合物について構造、性質、命名について理解する事を目的としています。										
学修到達目標										
特に健康栄養学科の学生においては物質の名称と構造、性質が重要となりますので、名称を見聞きして構造やそれに派生する性質が理解できる事、逆に構造から名称をつける事ができるようになる事を目標としています。										
授業の進め方										
13回は座学の講義、2回は実験を行います。実験は12月～1月を予定していますが、講義日程の関係で変更する可能性があります。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	有機化学の基礎	有機化学とは？、有機化合物の分類法について学びます。				高校までの化学を復習しておく事。（4時間）				
2	有機化学の基礎	鎖式炭化水素の構造と命名法について学びます。				当日学んだ内容の復習をして下さい。（4時間）				
3	有機化学の基礎	環式炭化水素の構造と命名法について学びます。				当日学んだ内容の復習をして下さい。（4時間）				
4	応用有機化学	糖質の分類について学びます。				基礎栄養学および食品学総論（糖質）の復習をして下さい。（4時間）				
5	応用有機化学	糖質の構造について学びます。				基礎栄養学および食品学総論（糖質）の復習をして下さい。（4時間）				
6	応用有機化学	脂質の分類について学びます。				基礎栄養学および食品学総論（脂質）の復習をして下さい。（4時間）				
7	応用有機化学	単純脂質の構造について学びます。				基礎栄養学および食品学総論（脂質）の復習をして下さい。（4時間）				
8	応用有機化学	複合脂質の構造について学びます。				基礎栄養学および食品学総論（脂質）の復習をして下さい。（4時間）				
9	応用有機化学	アミノ酸の構造と分類について学びます。				基礎栄養学および食品学総論（タンパク質）の復習をして下さい。（4時間）				
10	応用有機化学	ペプチド、タンパク質の構造と分類について学びます。				基礎栄養学および食品学総論（タンパク質）の復習をして下さい（4時間）。				
11	応用有機化学	核酸の構造について学びます。				当日学んだ内容の復習をして下さい。（4時間）				
12	応用有機化学	核酸の分類について学びます。				当日学んだ内容の復習をして下さい。（4時間）				
13	実験	脂質のケン化について（石鹸作り）学びます。				第6～8回の復習をして下さい。（4時間）				
14	実験	甘味を示す化合物の構造と呈味について学びます。				第4、5回の復習をして下さい。（4時間）				
15	まとめ	第1～14回のまとめ				第1～14回までを復習し、わからない事を明確化しておく事（4時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「栄養科学シリーズNEXT 基礎有機化学」高橋吉孝・辻英明編（講談社サイエンティフィック） ISBN:9784061553576（生協で購入してください。）				定期試験：90% 受講態度：10% 受講態度は、2回行う実験に積極的に参加しているか、実験レポートの提出期限が守られたかで判断します。実験に特に積極的に参加した者をS、積極的に参加した者をA、実験操作を見ていただけなど消極的だったものをB、特に消極的だった者をC、レポート提出が遅れたり、調べるべき内容が不足していた者をDとします。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
「大学への橋渡し 有機化学」宮本真敏・斉藤正治著（化学同人） ISBN：978-4-7598-1021-9 「ブルース 有機化学概説」Paula Y. Bruice著（化学同人） ISBN：978-4-				この科目は基礎化学（無機）履修済みを前提として講義を行います。基礎栄養学と連動して講義を行っていますので、可能な限り1年後期に受講する事を勧めます。						

科目名	基礎栄養学実験		学年学期	2年前期	単位数	1	ナバリング	NA26004	研究室	S-08
担当者	沖嶋 直子		必修選択	必修	科目種別	実験	オフィスアワー	水曜日3限		
関連資格	管理栄養士、栄養士、食品衛生、栄教一				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
五大栄養素の構造や機能を、実験を通して理解することを目的としています。										
学修到達目標										
基本的な実験器具を正しく使用できる事、実験を行う上での正しい振る舞い(身なり、実験態度、レポートのまとめ方)が出来る事、適切な参考文献を検索、引用できる事、科学的に正しい考え方ができる事を到達目標としています。										
授業の進め方										
1回目は実験の心得として、実験室での安全管理と試薬の濃度計算を学びます。2回目以降は4~5名で班を作り、テーマに沿った実験を行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	実験を行う上での心得・試薬濃度計算法	安全に実験を行う上での身なりや振る舞い、試薬の濃度計算(モル濃度、規定、%)について学びます。				時間内に濃度計算の課題が出来なかった人は、事後学習でマスターする事。(1時間以上)				
2	試薬調製	第3回以降に使用する、用事調製でない試薬を分担して作ります。				事前学習として、濃度計算が出来るようにしておく事。(1時間以上)				
3	唾液アミラーゼの活性度測定	唾液アミラーゼの活性度を、ヨウ素デンプン反応の色の变化で調べます。				事前学習は基礎栄養学(糖質の消化)、事後学習はレポート作成。(1時間以上)				
4	パン酵母を用いた呼吸実験	パン酵母を検体として、糖質代謝を実験的に観察します。				事前学習は基礎栄養学(糖質の代謝)、事後学習はレポート作成。(1時間以上)				
5	摂取した糖質源の違いによる血糖値の変動	同じエネルギー量の米、小麦、イモを食べたときの、血糖値の変化を調べます。				事前学習は基礎栄養学(血糖値の調節)、事後学習はレポート作成。(1時間以上)				
6	タンパク質実験	タンパク質の熱変性を卵白を用いて、等電点沈殿をカゼインを用いて調べます。				事前学習は基礎栄養学(タンパク質の性質)、事後学習はレポート作成。(1時間以上)				
7	タンパク質実験	調理形態によるタンパク質の消化を、加熱卵白と生卵白で比較します。				事前学習は基礎栄養学(タンパク質の性質)、事後学習はレポート作成。(1時間以上)				
8	脂質実験	Holch法を用いて、動物肝臓から脂質を抽出します。				事前学習は基礎栄養学(脂質の性質)、事後学習はレポート作成。(1時間以上)				
9	脂質実験	第8回に抽出した脂質を、定量キットを用いて定量します。				事前学習は基礎栄養学(脂質の性質)、事後学習はレポート作成。(1時間以上)				
10	膵クレアチンによるIn vitro消化実験	膵抽出物である膵クレアチンによる、糖質の消化をヨウ素デンプン反応、フェーリング反応にて観察します。				事前学習は基礎栄養学(糖質の消化)、事後学習はレポート作成。(1時間以上)				
11	膵クレアチンによるIn vitro消化実験	膵抽出物である膵クレアチンによる、脂質、タンパク質の消化を観察します。(乳脂肪の消化、ゼラチンの消化)				事前学習は基礎栄養学(脂質、タンパク質の消化)、事後学習はレポート作成。(1時間以上)				
12	各種ビタミンの定性	ドリンク剤を試料として、ビタミンB1,B2,Cの定性を行います。				事前学習は基礎栄養学(ビタミン)、事後学習はレポート作成。(1時間以上)				
13	血清鉄の定量・食事内容による尿成分の違い 事前説明	動物血清を用いて血清鉄の定量を行います。次週実施する尿成分実験について事前説明(食事内容など)を行います。				事前学習は基礎栄養学(無機質)、事後学習はレポート作成。(1時間以上)				
14	食事内容による尿成分の違い	尿検査を実施します。				事前学習は基礎栄養学(タンパク質の代謝)、事後学習はレポート作成。(1時間以上)				
15	実験手技のまとめ	第14回まで実施した実験手法について、特に実験器具の取り扱いについて復習します。				第14回までの実験操作について復習しておく事。(1時間以上)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
(講義にて配布します。)必要な資料は第1回目に配布します。				レポート:90% 受講態度:10% 受講態度は、遅刻、身なり、実験の参加の様子で判断します。レポート、受講態度とも、特に良かった者をS、良かった者をA、数回注意した者をB、頻回注意した者をC、頻回注意しても改善できなかった者をDとします。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「イラスト栄養生化学実験」柏原秀孝ほか著(東京教学社) ISBN:4-8082-6019-0 C3047 「基礎化学実験安全オリエンテーション(DVD付)」山口和也・山本仁著(東				過去の成績の解析から、基礎栄養学の成績不振者に対し受講制限をかけます。拙くても自力でレポートを書く姿勢を評価します。コピーやレポート販売サイトの使用が発覚したら、その時点で0点とし、再履修とします。						

科目名	分子栄養学		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナパ'リング	NA36005	研究室	S-08
担当者	沖嶋 直子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
近年研究の進捗が著しい分子生物学で用いられている技術が栄養や食品の分野でどのように利用されているかについて学ぶ事、そこから自分なりの考えを持ち、それを卒業後、社会に出てから公私にわたって活かしてゆける事を目的としています。										
学修到達目標										
栄養や医療に関わる諸問題を解決できるようになるため、科学的に正しい情報を収集し、その情報をもとに自分なりの判断や選択ができるようになる事、さらに、一般の人々に対して科学的に正しい情報を伝達できるようになる事が到達目標です。										
授業の進め方										
前半数回で分子生物学の復習を行い、後半ではその技術が栄養学や医療の分野でどのように利用されているかを座学ならびに実験を通して学びます。それを踏まえてグループワークを行い、自分の考えをまとめると共に他の受講生の考えにも触れてもらいます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	分子生物学の基礎	DNAとRNA、タンパク質について学びます。				分子生物学で学んだ内容を復習しておいて下さい。(4時間)				
2	分子生物学の基礎	分子生物学的研究手法について~PCRとその応用について学びます。				分子生物学で学んだ内容を復習しておいて下さい。(4時間)				
3	分子生物学の基礎	分子生物学的研究手法について~DNAアレイ、siRNAなどについて学びます。				分子生物学で学んだ内容を復習しておいて下さい。(4時間)				
4	分子生物学の基礎	ヒトゲノム計画について学びます。				分子生物学で学んだ内容を復習しておいて下さい。(4時間)				
5	分子生物学の基礎	遺伝子多型と疾患、栄養について学びます。				基礎栄養学(遺伝子と栄養)を復習しておいて下さい。(4時間)				
6	分子生物学の栄養学への応用 遺伝子組換え農作物	遺伝子組換え農作物とそれを利用した食品(原理)について学びます。				食品衛生学(遺伝子組換え食品)を復習しておいて下さい。(4時間)				
7	分子生物学の栄養学への応用 遺伝子組換え農作物	遺伝子組換え農作物とそれを利用した食品(応用)について学びます。				第6回の講義の復習(4時間)				
8	グループワーク	遺伝子組換え農作物とそれを利用した食品について、まとめと討論を行います。				第6、7回の講義の復習をしておいて下さい。(4時間)				
9	グループワーク	遺伝子組換え農作物とそれを利用した食品について、討論と発表を行います。				第8回で討論不足のグループは討論を時間外で行う事。発表準備もしておく事。(4時間)				
10	分子生物学の栄養学への応用 栄養と遺伝子	生活習慣病と遺伝子と栄養(肥満と遺伝子多型)について学びます。				第5回および基礎栄養学(遺伝子と栄養)を復習しておいて下さい。(4時間)				
11	分子生物学の栄養学への応用 栄養と遺伝子	生活習慣病と遺伝子と栄養(栄養素の利用と遺伝子多型)について学びます。				第5回および10回の復習をしておいて下さい。(4時間)				
12	分子生物学の栄養学への応用 栄養と遺伝子	生活習慣病と遺伝子と栄養 ALDH一塩基多型実験を行います。				第5回、10回、11回の復習をしておいて下さい。(4時間)				
13	グループワーク	生活習慣病と遺伝子と栄養について、まとめと討論を行います。				第5回、10~12回の復習をしておいて下さい。(4時間)				
14	グループワーク	生活習慣病と遺伝子と栄養について、討論と発表を行います。				第13回で討論不足のグループは討論を時間外で行う事。発表準備もしておく事。(4時間)				
15	まとめ	これまでの講義のまとめと総括を行います。				第1~14回の復習をしてきて下さい。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「栄養科学シリーズNEXT 分子栄養学」沖嶋直子、山田一哉他著宮本賢一他編(講談社)(別途、指示します。)平成30年4月頃には出版予定ですが、遅れた場合は別途指示します。上記のテキストの他、パワーポイント資料やプリント等を用いて講義します。				定期試験:80% 受講態度:20% 受講態度は、グループワークでの積極性で判断します。自主的に司会や発表者になるなど、特に積極的に行っていた者をS、積極的に参加していた者をA、討論に参加できていた者をB、あまり自分の意見を述べられていなかった者をC、全く自分の意見を述べられていなかった者をDとします。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「バイオ食品 社会的受容にむけて」日本国際生命科学協会編(建帛社) ISBN:4-7679-6057-6 C3077 大谷明、栗飯原景昭監修 「遺伝子工学」近藤昭彦、柴崎誠司(編著)著(化学同人) ISBN:978-4-				この講義は、分子生物学を履修済みかつ理解している事が前提です。そうでない学生は受講登録前に必ず相談して下さい。						

科目名	応用栄養学		学年学期	2年前期	単位数	2	ナパ'リング	NA26006	研究室	S-05
担当者	長谷川 尋之		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-	水曜日1限		
関連資格	管理栄養士				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
栄養ケアマネジメント、食事摂取基準論の理解にはじまり、生体の環境やストレスに対する適応について、栄養管理の基礎となるエネルギーや栄養の生理学的意義や科学的根拠の基本的知識と活用について学びます。										
学修到達目標										
栄養ケアマネジメント、食事摂取基準のエネルギー、各栄養素の必要量や科学的根拠を理解することです。また、ストレス適応の特徴を理解し、学んだことを論理的に説明できることです。										
授業の進め方										
基本的に教科書とパワーポイントスライドを用いて講義を進めます。また必要に応じてプリント配布を行います。演習形式や学習内容の確認テストを行うこともあります。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション、栄養管理の概念	授業ガイダンス(本講義の狙い、進め方)を行います。栄養ケア・マネジメント、栄養ケアプロセスについて学びます。				1章1を予習し、講義内容を復習します。(4時間)				
2	栄養管理の進め方・考え方1	栄養スクリーニング、栄養評価、栄養診断、栄養介入、栄養モニタリングと評価、アウトカム管理システムの考え方を学びます。				1章、2章を予習し、講義内容を復習します。(4時間)				
3	栄養管理の進め方・考え方2	栄養スクリーニング、栄養評価、栄養診断、栄養介入、栄養モニタリングと評価、アウトカム管理システムの進め方を学びます。				1章、2章を予習し、講義内容を復習します。(4時間)				
4	栄養環境への適応と栄養必要量の科学的根拠1	代謝の基本的概念、摂食後、飢餓時の栄養代謝、栄養素必要量の算出方法について学びます。				3章、4章を予習し、講義内容を復習します。(4時間)				
5	栄養環境への適応と栄養必要量の科学的根拠2	代謝の基本的概念、摂食後、飢餓時の栄養代謝、栄養素必要量の算出方法について学びます。				3章、4章を予習し、講義内容を復習します。(4時間)				
6	食事摂取基準1	食事摂取基準の意義、算定、活用の基礎理論を学びます。				5章を予習し、食事摂取基準2015年版の各論を復習します。(4時間)				
7	食事摂取基準2	食事摂取基準の意義、算定、活用の基礎理論を学びます。				5章を予習し、食事摂取基準2015年版の各論を復習します。(4時間)				
8	成長、発達、加齢1	成長と発達、加齢に伴う栄養について学びます。				6章を予習し、講義内容を復習します。(4時間)				
9	成長、発達、加齢2	成長と発達、加齢に伴う栄養について学びます。				6章を予習し、講義内容を復習します。(4時間)				
10	生体リズムと栄養1	生体リズム、内分泌と代謝リズム、生活リズムと生体リズムについて学びます。				14章を予習し、講義内容を復習します。(4時間)				
11	生体リズムと栄養2	生体リズム、内分泌と代謝リズム、生活リズムと生体リズムについて学びます。				14章を予習し、講義内容を復習します。(4時間)				
12	運動、スポーツと栄養1	運動時の生体応答とエネルギー代謝、健康づくりのための身体活動、運動、競技者の栄養について学びます。				15章を予習し、講義内容を復習します。(4時間)				
13	運動、スポーツと栄養2	運動時の生体応答とエネルギー代謝、健康づくりのための身体活動、運動、競技者の栄養について学びます。				15章を予習し、講義内容を復習します。(4時間)				
14	ストレス、環境と栄養(温度、気圧、重力)1	ストレス、ストレスに対する生体の反応、ストレスと病気、ストレスに対する細胞レベルの反応、酸化ストレス、ストレスと栄養、環境変化と栄養について学びます。				16章、17章、18章、19章を予習し、講義内容を復習します。(4時間)				
15	ストレス、環境と栄養(温度、気圧、重力)2	ストレス、ストレスに対する生体の反応、ストレスと病気、ストレスに対する細胞レベルの反応、酸化ストレス、ストレスと栄養、環境変化と栄養について学びます。				16章、17章、18章、19章を予習し、講義内容を復習します。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「栄養科学シリーズNEXT 応用栄養学」木戸康博、小倉嘉夫、中坊幸弘編(講談社) ISBN:978-4-06-155380-4(生協で購入してください。) 応用栄養学と共通				定期試験:90%、受講態度:10% 受講態度は、受講票での積極的な質問と授業中の発言を得点化して評価し、定期試験と総合的に評価します。60点以上でC評価、70点以上でB評価、80点以上でA評価とし、概ね95点以上でS評価とします。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「日本人の食事摂取基準2015年版」養田明、佐々木敏編(第一出版) ISBN:978-4-8041-1312-8 食事摂取基準論で使用します。				最適な栄養ケアを行うためには、各ライフステージの特性と課題を理解する必要があり、応用栄養学は基礎と実践を繋げる重要な分野です。学習内容を積極的に予習、復習し、理解を深めていきましょう。						

科目名	応用栄養学		学年学期	2年後期	単位数	2	ナバ [®] リング	NA26007	研究室	S-05
担当者	長谷川 尋之		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日1限		
関連資格	管理栄養士、栄養士、食品衛生、フードスペシャリスト、栄養士				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
栄養ケアマネジメント、食事摂取基準論の理解に加えて、各ライフステージの身体的・生理的特徴、栄養管理の基礎となるエネルギーや栄養素の摂り方やその科学的根拠について学びます。										
学修到達目標										
栄養ケアマネジメント、食事摂取基準のエネルギー、各栄養素の必要量や科学的根拠を理解することです。また、各ライフステージの特性を理解し、食事摂取基準を論理的に運用できることです。										
授業の進め方										
基本的に教科書とパワーポイントスライドを用いて講義を進めます。また必要に応じてプリント配布を行います。演習形式や学習内容の確認テストを行うこともあります。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	妊娠期、授乳期の栄養1	妊娠期、授乳期の身体状況の変化について学びます。				7章を予習し、講義内容を復習します。（4時間）				
2	妊娠期、授乳期の栄養2	妊娠期、授乳期の栄養状態の評価、判定と栄養管理を学びます。				7章を予習し、講義内容を復習します。（4時間）				
3	乳児期の栄養1	身体状況の変化、乳児期の健康障害、栄養状態の評価と判定について学びます。				8章を予習し、講義内容を復習します。（4時間）				
4	乳児期の栄養2	食事摂取基準、栄養管理について学びます。				8章を予習し、講義内容を復習します。（4時間）				
5	幼児期の栄養1	身体状況、栄養状態の変化、栄養状態の評価と判定について学びます。				9章を予習し、講義内容を復習します。（4時間）				
6	幼児期の栄養2	栄養素必要量と摂取安全域の考え方、栄養管理について学びます。				9章を予習し、講義内容を復習します。（4時間）				
7	学童期の栄養1	身体状況、栄養状態の変化、栄養状態の評価と判定について学びます。				10章を予習し、講義内容を復習します。（4時間）				
8	学童期の栄養2	栄養素必要量と摂取安全域の考え方、栄養管理を学びます。				10章を予習し、講義内容を復習します。（4時間）				
9	思春期の栄養1	身体状況、栄養状態の変化、栄養状態の評価と判定を学びます。				11章を予習し、講義内容を復習します。（4時間）				
10	思春期の栄養2	栄養素必要量と摂取安全域の考え方、栄養管理について学びます。				11章を予習し、講義内容を復習します。（4時間）				
11	成人期、更年期の栄養1	身体状況、栄養状態の変化、栄養状態の評価と判定について学びます。				12章を予習し、講義内容を復習します。（4時間）				
12	成人期、更年期の栄養2	栄養素必要量と安全域の考え方、生活習慣病のリスク、栄養管理について学びます。				12章を予習し、講義内容を復習します。（4時間）				
13	高齢期の栄養1	身体状況、栄養状態の変化、栄養状態の評価と判定について学びます。				13章を予習し、講義内容を復習します。（4時間）				
14	高齢期の栄養2	食事摂取基準と摂取安全域の考え方、栄養管理について学びます。				13章を予習し、講義内容を復習します。（4時間）				
15	総括、備蓄の考え方	備蓄の考え方、応用栄養学 を含む）を振り返り、国家試験の解き方を学びます。				20章、これまでの講義を振り返り、自分の課題を見つけます。（4時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「栄養科学シリーズNEXT 応用栄養学」木戸康博、小倉嘉夫、中坊幸弘編（講談社） ISBN:978-4-06-155380-4（生協で購入してください。） 応用栄養学と共通				定期試験：90%、受講態度：10% 受講態度は、受講票での積極的な質問と授業中の発言を得点化して評価し、定期試験と総合的に評価します。60点以上でC評価、70点以上でB評価、80点以上でA評価とし、概ね95点以上でS評価とします。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
「日本人の食事摂取基準2015年版」菱田明、佐々木敏編（第一出版） ISBN：948-4-8041-1312-8 食事摂取基準論で使用します。				最適な栄養ケアを行うためには、各ライフステージの特性と課題を理解する必要があります。応用栄養学は基礎と実践を繋げる重要な分野です。学習内容を積極的に予習、復習し、理解を深めていきましょう。						

科目名	食事摂取基準論			学年学期	2年後期	単位数	2	ナパ [®] リング	NB26008	研究室	S-04
担当者	平田 治美			必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	金曜日3限		
関連資格	管理栄養士、栄養士、栄養教諭					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）						
		A	B	C							
授業概要											
食事摂取基準は、栄養業務におけるわが国で唯一の包括的なガイドラインであり、栄養教育や給食管理を行う基本となる資料です。本講義では、策定の基本的概念や数値の科学的根拠、利用にあたっての基本的な考え方、実践、運用について学びます。											
学修到達目標											
栄養管理、栄養教育等の実践現場において個人および集団を対象として食事摂取基準を基に栄養、食事管理ができることを目指します。食事摂取基準の基本的な概念や活用方法を理解することを目指します。											
授業の進め方											
基本的に教科書とパワーポイントスライドを用いて講義を進めます。また必要に応じてプリント配布を行います。演習形式や学習内容の確認テストを行うこともあります。											
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション、「日本人の食事摂取基準2015年版」の概要	授業ガイダンス（本講義の狙い、進め方）を行います。「日本人の食事摂取基準」の概要、改定のポイント、策定の方針や特徴について学びます。					巻末オリジナル資料2-21を予習し、講義内容を復習する。（4時間）				
2	策定方針と策定の基本的事項	対象とする個人並びに集団の範囲、エネルギー及び栄養素、指標の目的と種類と概要、対象者の特性やライフステージ別の留意点について学びます。					総論1章、2章を予習し、講義内容を復習する。（4時間）				
3	策定の留意事項	食事並びに栄養素の指標の概念や特徴、調査研究の取り扱い、値の丸め方について学びます。					総論の3章を予習し、講義内容を復習する。（4時間）				
4	活用に関する基本的事項1	食事摂取基準の活用とPDCAサイクル、食事調査の概要とアセスメントのための食事調査方法について学びます。					総論4章並びに食事調査方法について予習し、講義内容を復習する。（4時間）				
5	活用に関する基本的事項2	指標別にみた活用上の留意点、アセスメント並びに評価に関する留意点を学び、食事摂取基準の活用方法を解説します。					総論4章を予習し、講義内容を復習する。（4時間）				
6	エネルギー	エネルギーの概念、エネルギーの評価からわかること、体重管理、重症化予防、エネルギーの必要量について学びます。					各論1-1を予習し、講義内容を復習する。（4時間）				
7	たんぱく質、総脂質等	たんぱく質並びに脂質の基準値の基本的事項と要点、最終的な数値について学びます。					1-2、1-3を予習し、講義内容を復習する。（4時間）				
8	炭水化物、エネルギー産生栄養素バランス	炭水化物、エネルギー産生栄養素バランスの基準値の基本的事項と要点、最終的な数値について学びます。					1-4、1-5を予習し、講義内容を復習する。（4時間）				
9	脂溶性ビタミン	4種類の脂溶性ビタミンの基準値の基本的事項と要点、最終的な数値について学びます。					1-6 (1) 脂溶性ビタミンを予習し、講義内容を復習する。（4時間）				
10	水溶性ビタミン	9種類の水溶性ビタミンの基準値の基本的事項と要点、最終的な数値について学びます。					1-6 (2) 水溶性ビタミンを予習し、講義内容を復習する。（4時間）				
11	多量ミネラル	5種類の多量ミネラルの基準値の基本的事項と要点、最終的な数値について学びます。					1-7 (1) 多量ミネラルを予習し、講義内容を復習する。（4時間）				
12	微量ミネラル、水	8種類の微量ミネラルの基準値の基本的事項と要点、最終的な数値について学びます。水の基本的事項と算定について学びます。					1-7 (2) 微量ミネラル、参考の水を予習し、講義内容を復習する。（4時間）				
13	対象特性別（妊産婦、授乳婦、乳児、小児）	妊産婦・授乳婦、乳児、小児の特性や基本的事項、最終的な数値、今後の課題について学びます。					参考資料1-1、1-2を予習し、講義内容を復習する。（4時間）				
14	対象特性別（高齢者）	高齢者の特性や基本的事項、最終的な数値、今後の課題について学びます。高齢者における健康と栄養の関連について学びます。					参考資料1-3を予習し、講義内容を復習する。（4時間）				
15	生活習慣病とエネルギー、栄養素との関連、総括	生活習慣病の発症予防と重症化予防の基本的な事項と関連の深いエネルギー、栄養素について学びます。全体を通じて活用方法についてまとめます。					参考資料2を予習し、講義内容を復習する。（4時間）				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「日本人の食事摂取基準（2015年版）」 菱田明、佐々木敏 監修編（第一出版） ISBN:978-4-8041-1312-8					定期試験：90% 受講態度：10% 受講態度は、授業への積極的な発言及び取り組みで評価します。S:授業内容を高度に理解し、わからないことを積極的に探求し、課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、授業でのわからないことを探求し、課題に取り組み、やや難しい問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に着実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、授業で行った例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書					履修上の注意（学生へのメッセージ）						
必要に応じて適宜紹介します。					基礎栄養学等の基礎学問分野の理解が必要となります。これまでの講義を十分に復習して講義に臨んでください。今後の実践分野での基盤となりますので、積極的に不明な点をなくす癖をつけましょう。						

科目名	応用栄養学実習		学年学期	3年前期	単位数	1	ナバリング	NA36009	研究室	S-05
担当者	長谷川 尋之		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日1限		
関連資格	管理栄養士、栄養士、食品衛生、栄養教一				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
スクリーニング、栄養状態のアセスメント、栄養ケア計画、実施、モニタリング、フィードバックの一連の栄養マネジメントを学んだのち、ライフステージ別に特性を踏まえた献立の立案や実施、資料作成を実践的に学びます。										
学修到達目標										
ライフステージごとの特徴とそれぞれの食事摂取基準に対応した個人及び集団の栄養管理を理解を目指します。また、ライフステージごとの適切な栄養状態の評価、献立作成、調理方法を習得し、管理栄養士としての実務能力を身につけることです。										
授業の進め方										
プリント等を適宜利用し、個人及びグループに分かれて実習、演習を中心とした参加型の学習形態とします。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション、リスクスクリーニング	授業ガイダンス(本講義の狙い、進め方)を行います。栄養リスクスクリーニング演習を行います。				講義までに応用栄養学で学んだ栄養ケアマネジメントを予習します。(1時間)				
2	栄養アセスメント1	身体計測、エネルギー消費量の推定を行います。生化学検査、臨床検査の評価を行います。				健康診断の結果(生化学、臨床検査)などがあれば準備します。講義内容をまとめます。(1時間)				
3	栄養アセスメント2	食事摂取量の算出と食事調査方法のまとめ、栄養アセスメント演習を行います。				実習までに1日分の食事記録と料理写真を撮影し、栄養アセスメントを作成します。(1時間)				
4	個人及び集団における栄養管理	グループで個人の栄養管理計画の立案及び集団の栄養管理計画、社員食堂向けの献立作成を行います。				健康成人の社員食堂を対象とした献立作成ができるように料理の候補を準備します。(1時間)				
5	妊娠期、授乳期の栄養管理1	妊娠期及び授乳期の特性と留意点について学び、栄養管理計画及び献立作成を行います。				妊婦を対象とした献立作成ができるように料理の候補を準備します。(1時間)				
6	妊娠期、授乳期の栄養管理2	前回立てた献立の調理を行い、妊婦向けのレシピ提案資料を作成します。				料理を事前に試作し、レシピ提案資料を完成させます。(1時間)				
7	乳児期の栄養管理1	乳児期の特性と留意点について学び、離乳期ごとに合わせた栄養管理計画、献立作成を行います。				乳児を対象とした献立作成ができるように料理の候補を準備します。(1時間)				
8	乳児期の栄養管理2	調乳実習と前回立てた献立の離乳食を調理を行います。				料理を事前に試作し、献立の修正を行い完成させます。(1時間)				
9	幼児、学童、思春期の栄養管理1	幼児期、学童期、思春期の特性と留意点について学び、学童期の集団の栄養管理計画の作成を行います。				集団の栄養管理計画の作成について予習し、講義内容を復習します。(1時間)				
10	幼児、学童、思春期の栄養管理2	アレルギーの特性とアレルギー対応の留意点について学び、アレルギー対応のおやつ献立作成、資料作成を行います。				アレルギー対応を対象とした献立作成ができるように料理の候補を準備します。(1時間)				
11	成人期、更年期の栄養管理	成人期、更年期の特性と留意点について学び、グループで健康教室の計画、立案を行い、内容の発表を行います。				成人期の健康課題について復習し、健康教室のテーマを決めます。(1時間)				
12	高齢期の栄養管理1	高齢期の特性と留意点について学び、嚥下機能が低下した高齢者を対象とする栄養管理計画、献立作成を行います。				嚥下機能が低下した高齢者を対象の献立作成ができるように料理の候補を準備します。(1時間)				
13	高齢期の栄養管理2	前回立てた献立の調理を行い、官能検査、嗜好調査を行います。介助をする場合の食べ方について学びます。				料理を事前に試作し、調理実習、調査の結果をまとめます。(1時間)				
14	運動時の栄養管理	エネルギー代謝量の測定もしくは体力測定を行います。得られたデータを元に運動処方計画を計画します。				健康づくりのための身体活動基準を予習し、講義内容をまとめます。(1時間)				
15	特殊環境における栄養管理	災害時に役立つバッククッキング(家庭版真空調理法)を行います。				バッククッキングについて調べておく。実習内容をまとめる。(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「日本食品成分表2018 七訂」医歯薬出版編(医歯薬出版株式会社) ISBN:978-4-263-70723-4(生協で購入してください。)その他の食品成分表でも可。				受講態度:25% 課題:25% レポート:50% 受講態度はグループでの検討や資料作成などへの貢献度、積極的な実習参加を得点化し、課題、レポートを併せて総合評価で100点満点の評価をします。評価結果で60点以上をC評価、70点以上をB評価、80点以上をA評価、概ね95点以上をS評価とします。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「栄養科学シリーズNEXT 応用栄養学」木戸康博、小倉嘉夫、中坊幸弘著(講談社) ISBN:978-4-06-155380-4 応用栄養学、応用栄養学と共通				応用栄養学及びを履修してください。応用栄養学で学んだ理論を実践形式で学び、管理栄養士としての実務能力を養いましょう。						

科目名	スポーツ栄養学		学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナパリング	NA36010	研究室	S-05
担当者	長谷川 尋之		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ	水曜日1限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
スポーツ栄養学を科学的根拠に基づき、基礎から応用まで幅広く学びます。スポーツ現場の現状と課題、それぞれの目標や状況に合わせた食事をどのように考えるか、競技特性に応じた適切な食事選択について解説します。										
学修到達目標										
スポーツ現場や健康増進現場の現状と課題を理解し、運動栄養学を活用した多領域からの栄養サポートを実践できるようにすることです。										
授業の進め方										
基本的に教科書とパワーポイントスライドを用いて講義を進めます。また必要に応じてプリント配布を行います。演習形式や学習内容の確認テストを行うこともあります。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション、スポーツ現場	授業ガイダンス(本講義の狙い、進め方)を行います。管理栄養士が関係するスポーツ現場の現状と課題について学びます。				自分自身が関心のあるスポーツや健康増進の現場について情報収集をします。(4時間)				
2	運動とトレーニングにおけるエネルギー代謝	エネルギーの定義、エネルギーバランス、エネルギー代謝を活用したスポーツの分類について学びます。				1章、2章1~3を予習し、講義内容を復習します。(4時間)				
3	エネルギー消費量の評価とエネルギーバランス	エネルギー消費量の測定原理、測定方法を学びます。また、簡易な測定方法を用いて競技者の例題や自分のエネルギー消費量を算出します。				2章4~6を予習し、講義内容について復習します。(4時間)				
4	スポーツ選手の身体組成	身体組成の測定モデル、測定方法について学びます。実際のデータや情報を元に課題や活用方法、目標設定について学びます。				3章を予習、講義内容について復習します。自分の体重、身体組成の確認します。(4時間)				
5	トレーニング後、試合後のリカバリー	リカバリーの原則、リカバリーに関係する栄養素、成分の適切な摂取方法について学びます。				4章を予習、講義内容を復習します。リカバリーに適した食品や献立を検討します。(4時間)				
6	試合前の食事	食環境の情報収集の手順や内容、実際、試合の時間に合わせた食事管理、グリコーゲンローディングについて学びます。				5章を予習、講義内容を復習します。糖質補給に適した食品や献立を検討します。(4時間)				
7	スポーツ選手のたんぱく質、アミノ酸摂取	アミノ酸の生理的効果とパフォーマンスへの影響を学びます。プロテイン摂取の現状と問題点、使用方法についてグループワークをします。				6章を予習、講義内容を復習します。市販のアミノ酸、プロテイン製品情報を確認します。(4時間)				
8	スポーツ選手の骨の健康と栄養摂取	競技別にみる選手の骨の特徴と骨の健康に対する運動の影響と問題点について学びます。				7章を予習、講義内容について復習します。骨粗鬆症予防に適した食品を検討します。(4時間)				
9	スポーツ選手の貧血予防と栄養摂取	スポーツ貧血とは、スポーツ貧血の予防と栄養摂取、競技力への影響について学びます。				8章を予習、講義内容を復習します。貧血予防に適した食品を検討します。(4時間)				
10	ビタミン、抗酸化物質と運動	エネルギー代謝と抗酸化作用に関わるビタミンについて学びます。				9章を予習、講義内容を復習します。抗酸化成分が豊富な食品を検討します。(4時間)				
11	水分補給	水分補給の意義と正しい水分補給の方法、体温調節、暑熱適応について学びます。				10章を予習、講義内容を復習します。市販のスポーツドリンクの情報収集をします。(4時間)				
12	スポーツ選手のウエイトコントロール	エネルギーバランスと体重変化、減量と増量の現状と課題について学びます。				11章を予習、講義内容を復習します。低・高エネルギーな食品、献立を検討します。(4時間)				
13	サプリメントとエルゴジェニックエイド	サプリメントの目的別分類、利用の実態、ドーピング問題、健康食品について学びます。				12章を予習、講義内容を復習します。健康食品の内容と分類について情報収集をします。(4時間)				
14	ジュニア及び女性選手の栄養摂取	発育、発達を考慮した栄養管理、女性の身体的特徴を考慮した栄養管理、女子選手の三主徴について学びます。				13章を予習し、講義内容を復習します。(4時間)				
15	スポーツ選手の栄養教育、食事管理	トレーニング計画やスケジュールに合わせた栄養教育、食事管理の方法、留意点について学びます。				14章、15章について予習し、講義内容を復習します。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「体育・スポーツ指導者と学生のためのスポーツ栄養学」樋口満・田口素子 編著(市村出版) ISBN:978-4-902109-32-0(生協で購入してください。)				定期試験:90% 受講態度:10% 受講態度は、受講票での積極的な質問と授業中の発言を得点化して評価し、定期試験と総合的に評価します。60点以上でC評価、70点以上でB評価、80点以上でA評価とし、概ね95点以上でS評価とします。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「親子で学ぶスポーツ栄養学」柳沢香絵、岡村浩嗣 編著(八千代出版) ISBN:978-4-8429-1615-6 なし				栄養学的な用語だけでなく、運動に関する専門用語が増えてきます。単に食事や栄養管理について理解するのではなく、多領域の理解を深めるためにわからないことを残さないように積極的に質問をしましょう。						

科目名	スポーツ栄養マネジメント演習		学年学期	3・4年後期	単位数	1	ナパリング	NA36011	研究室	S-05
担当者	長谷川 尋之		必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー	水曜日1限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
スポーツ栄養マネジメントの原則と実際を学びます。実際に得られたデータを用いて競技力の向上や健康の増進、記録向上を目指したスポーツ栄養マネジメントの一連の流れを解説します。										
学修到達目標										
多様な専門知識を複合的に活用し、個人や団体の課題抽出、目標設定を行い栄養補給、栄養教育、行動計画の立案、知識のアウトプットができるようになることを目指します。また、コミュニケーション能力を高め、他職種の専門家と連携ができるようになることです。										
授業の進め方										
基本的にパワーポイントスライドを用いて講義を進めた後、演習を行います。必要に応じてプリント等を配布します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション、スポーツ栄養マネジメント	授業ガイダンス(本講義の狙い、進め方)を行います。スポーツ栄養マネジメントの概要と一連の流れを学びます。				栄養学・マネジメントについて予習し、スポーツ栄養マネジメントについて復習します。(1時間)				
2	競技を知る	様々な競技について調査し、競技特性を学びます。調査した内容についてプレゼンテーションを行い発信力を養います。				事前に与えられた競技の情報を収集し、発表後の情報を加えて競技についてまとめます。(1時間)				
3	スクリーニング、アセスメント	スポーツ栄養マネジメントにおけるスクリーニング、アセスメントについて学びます。実際の選手データを基にアセスメント内容を検討します。				アセスメント項目を調べておき、アセスメントで用いる手法を復習します。(1時間)				
4	アセスメントの実施1	食事調査、栄養調査の実際を学び、食事記録を用いた栄養価計算を行います。				事前に3日分の食事記録と写真撮影を行い、演習後は測定データを評価します。(1時間)				
5	アセスメントの実施2	身体計測、簡易な体力測定について学び、身体計測、簡易な体力測定を行います。				体力測定について予習し、演習後は測定データを評価します。(1時間)				
6	アセスメントの実施3	エネルギー収支について学び、自分の生活活動記録を用いて1日のエネルギー消費量を算出します。				エネルギー消費量の算出方法を予習し、演習後は測定データを評価します。(1時間)				
7	課題抽出と目標設定	からだ作り期の特性について学び、実際のデータを基にグループワークを行い課題抽出と目標設定について検討します。				体重管理について予習し、演習内容について復習します。(1時間)				
8	栄養補給計画と献立作成	からだ作り期の目標に対して、グループで栄養補給計画を検討し献立作成を行います。				からだ作りに適した料理の候補持参します。献立作成した料理を実際に作ります。(1時間)				
9	栄養教育と資料作成	からだ作り期の目標に対して、グループで栄養教育計画を検討し資料作成(レシピ提案)を行います。				献立作成した料理より提案したい料理の候補を決めておき、レシピを完成させます。(1時間)				
10	課題抽出と目標設定2	試合期の特性について学び、実際のデータを基にグループワークを行い課題抽出と目標設定について検討します。				試合前、当日、後の食事について予習し、演習内容について復習します。(1時間)				
11	栄養補給計画と献立作成2	試合期の目標に対して、グループで栄養補給計画を検討し献立作成を行います。				試合前に適した料理の候補持参し、献立作成した料理を実際に作ります。(1時間)				
12	栄養教育と資料作成2	試合期の目標に対して、グループで栄養教育計画を検討し資料作成(集団指導用プレゼンテーション)を行います。				事前にプレゼンテーションの流れを検討し、事後はプレゼンテーションを完成させます。(1時間)				
13	栄養教育の実践	作成したプレゼンテーションの発表をします。聴講して質疑応答に対応する力を養います。				事前にプレゼンテーションを練習します。質疑応答の内容について復習します。(1時間)				
14	モニタリングとマネジメント評価	スポーツ栄養マネジメントにおけるモニタリング、マネジメント評価について学びます。実際の選手データを基にモニタリングを行います。				PDCAサイクルについて予習し、演習内容を復習します。(1時間)				
15	総括、スポーツ栄養現場の実際	スポーツ栄養マネジメントの復習を行い、実際のスポーツ栄養現場での活用事例、スポーツ現場と管理栄養士の役割について学びます。				スポーツ栄養マネジメントについて復習します。(1時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
なし		受講態度：30% 課題：30% レポート：40% 受講態度はグループでの検討や資料作成などへの貢献度、積極的な実習参加を 得点化し、課題、レポートを併せて総合評価で100点満点の評価をします。評価 結果で60点以上をC評価、70点以上をB評価、80点以上をA評価、概ね95点以上を S評価とします。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「健康づくりと競技力向上のためのスポーツ栄養マネジメント」鈴木志保子著(日本医療企画) ISBN: 978-4-89041-973-9 「親子で学ぶスポーツ栄養学」柳沢香絵、岡村浩嗣 編著(八千代出版)		スポーツ栄養サポートでは栄養学だけでなく、運動生理学、生化学のほか、栄養教育など多岐にわたる専門知識が必要となります。これまで学んだ点の知識を線として繋げていけるように復習しておきましょう。								

科目名	基礎カウンセリング演習		学年学期	2年前期	単位数	2	ナパリング	NA26012	研究室	W-19
担当者	矢崎 久・森川 真悠子		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日2限、火曜日3限、木曜日2限、木曜日3限		
関連資格	管理栄養士				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
講師2名によるオムニバス形式の講義です。講義前半部分はクライアント理解の助けとなるいくつかの心理アセスメントについて、その理論と実際を学びます。後半部分では主要なカウンセリング理論と技法を演習を交えて学びます。										
学修到達目標										
管理栄養士にとって、健康面に問題を抱える患者(クライアント)に対して、数値から疾病の危険性や更なる悪化の可能性をしめすだけでなく、よりよい健康行動の獲得に資するための一助としてのカウンセリングについて、いくつかの理論と技法の実際を学修することを目標とします。										
授業の進め方										
講義前半部分[こころの理解]は森川が、後半部分[カウンセリングの基礎]は矢崎が担当します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	こころの理解 1	履修ガイダンス,学ぶ姿勢を知るために講義時間内に課すレポート作成について説明します				事前:テキスト講読(4時間)				
2	こころの理解 2	ストレスの概念,内分泌,自律神経・免疫系のストレス反応について学びます				事前:テキスト予習(2時間) 事後:テキストおよびノートを用いた復習とまとめ(2時間)				
3	こころの理解 3	寒冷・運動・精神性ストレス負荷によるストレス反応を測定します				事前:テキスト予習(2時間) 事後:測定結果まとめ(2時間)				
4	こころの理解 4	精神性ストレスによる生体指標の変化を測定します				事前:テキスト予習(2時間) 事後:測定結果まとめ(2時間)				
5	こころの理解 5	精神性ストレスの測定および評価をおこないます				事前:テキスト予習(2時間) 事後:評価結果まとめ(2時間)				
6	こころの理解 6	質問紙を使った精神性ストレス評価について学びます				事前:テキスト予習(2時間) 事後:評価結果まとめ(2時間)				
7	こころの理解 7	交流分析理論とエゴグラム検査法を学びます				事前:テキスト予習(2時間) 事後:検査結果まとめ(2時間)				
8	カウンセリングの基礎 1	心理的発達の障害と精神疾患の基礎,カウンセリングの適用範囲を学びます				事前:テキスト予習(2時間) 事後:テキスト再読、ノートまとめ(2時間)				
9	カウンセリングの基礎 2	心理的発達の障害(統合失調症,気分障害)について学びます				事前:テキスト予習(2時間) 事後:テキスト再読、ノートまとめ(2時間)				
10	カウンセリングの基礎 3	精神疾患(神経症性障害,ストレス関連障害,身体表現性障害,生理的障害)について学びます				事前:テキスト予習(2時間) 事後:テキスト再読、ノートまとめ(2時間)				
11	カウンセリングの基礎 4	精神疾患(パーソナリティ障害,心理的発達の障害ほか)について学びます				事前:テキスト予習(2時間) 事後:テキスト再読、ノートまとめ(2時間)				
12	カウンセリングの基礎 5	カウンセリングの理論と技法(来談者中心療法)を学びます				事前:テキスト予習(2時間) 事後:テキスト再読、ノートまとめ(2時間)				
13	カウンセリングの基礎 6	カウンセリングの理論と技法(来談者中心療法)を学びます				事前:事前配布プリントによる予習(2時間)事後:プリント再読、ノートまとめ(2時間)				
14	カウンセリングの基礎 7	カウンセリングの実際(来談者中心療法演習)を学びます				事前:事前配布プリントによる予習(2時間)事後:プリント再読、演習振り返り(2時間)				
15	カウンセリングの基礎 8	カウンセリングの実際(認知行動療法)を学びます				事前:事前配布プリントによる予習(2時間)事後:プリント再読、演習全体まとめ(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「臨床心理学入門」岩壁茂・福島哲夫・伊東絵美著(有斐閣) ISBN:978-4-641-22003-4(生協で購入してください。)				レポート:50% 定期試験:50% レポートおよび課題提出と記述内容を総合して成績を判定します。 成績評価基準 「S」:ストレスの概念と測定方法ならびに心理的発達と諸課題を理解し カウンセリング理論と技法を遺漏なく理解している。 「A」: " ほぼ理解している。 「B」: " 理解している。 「C」: " おおよそわかる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
なし				心身両面に配慮できる専門職を目指してください。						

科目名	栄養教育論			学年学期	2年後期	単位数	2	ナパ [®] リング	NB26013	研究室	S-02
担当者	廣田 直子			必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日3限		
関連資格	管理栄養士、栄養士、フードスペシャリスト、栄養士					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）							
		A	B	C							
授業概要											
健康増進や疾病予防・治療のためには、食生活上の問題点を把握してそれを改善し、よりよい行動の継続を図らなければなりません。本講義では、「栄養教育に関する基礎的知識」、「食行動変容に関わる行動科学理論」、「食環境等に関する情報収集と分析」、「対象者のアセスメントとそれに基づいた栄養教育プログラムの作成」などについて学びます。											
学修到達目標											
知識：人々の食生活改善をサポートしていくために必要となる知識の基礎的な部分について修得すること。 能力：同学期に開講される給食管理実習での栄養教育実践の応用力の修得。 具体的到達目標：3年前期科目の栄養教育実習に必要な最低限度の実践基礎知識の修得と行動科学理論の概要に関して理解すること。											
授業の進め方											
基本的には、テキストを用いて進めますが、適宜配布資料等も用意します。また、演習形式による実践的学習もとり入れ、授業を進めます。											
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	栄養教育の重要性に関する理解	ヘルスプロモーションについて学ぶとともに、栄養教育の目的・目標、栄養教育の対象と機会について学修します。					事前にテキスト3-13頁を読み（1時間）、事後には確認テストを含め、要点をまとめる（3時間）				
2	栄養教育のための実践基礎知識1 食事摂取基準、食品構成と献立作成	給食管理実習での栄養教育を念頭において、給食提供を通じた栄養教育のために不可欠な基礎知識について確認し、より深く理解します。					事前にこれまでの科目で学修した内容について復習（3時間）、事後は要点のまとめ（1時間）				
3	栄養教育のための実践基礎知識2 食生活指針と食事バランスガイド等	健康づくりのための食生活指針について学びます。また、食事バランスガイドについて給食提供場面で応用できるよう、演習も含めて学修します。					事前に各種指針とテキスト81頁の確認と復習（3時間）、事後は要点のまとめ（1時間）				
4	栄養教育のための実践基礎知識2 各種指針と食品等に関する表示	健康づくりのための身体活動指針、休養指針、睡眠指針について学びます。また、食品表示法と特別用途食品、外食料理栄養成分表示などについて学修します。					事前にテキスト167-173頁を読む（1時間）、事後は確認テストも含め、要点のまとめ（3時間）				
5	栄養教育の方法 教材の選択と作成、コミュニケーションスキル等	栄養教育における教材の必要性、教材の種類や特徴について理解し、教材を作成する場合の留意点について学びます。また、栄養教育を実施する上で必要となるコミュニケーションスキル等について学修します。					事前にテキスト109-110頁、117-119頁を読む（2時間）、事後には要点のまとめ（2時間）				
6	栄養教育の方法 教育形態別の特性と相互の関連	栄養教育にあたっての学習形態の種類についてそれぞれの特性を理解するとともに、個別学習と集団学習、その組み合わせなどについて相互関連を理解し、学習形態を選択できるようにします。					事前にテキスト111-119頁を読む（2時間）、事後は確認テストも含めた要点のまとめ（2時間）				
7	食生活の変遷・疾病構造の変化と現在の栄養教育	疾病構造の変化に着目して、日本の食生活の変遷について考察します。その変遷に伴ってこれまでどのような観点で栄養教育が進められたのかを知り、現在の栄養教育のあり方について考えます。					事前に配布する資料に目を通して（2時間）、事後はレポート課題のまとめ（3時間）				
8	行動科学理論と栄養教育	栄養教育において行動科学理論が適用されるようになった背景、および適切な行動を獲得するための学習理論の概要について学修します。					事前にテキスト28-31頁を読む（2時間）、事後は確認テストも含め要点のまとめ（2時間）				
9	個人の行動変容に関する行動科学理論と栄養教育	オペラント学習理論、ヘルスピーリーフモデル、トランスセオレティカルモデル、計画的行動理論について学修します。					事前にテキスト32-37頁を読む（1時間）、事後には確認テストも含め要点のまとめ（3時間）				
10	個人間の関係に着目した行動科学理論と栄養教育、行動変容技法	社会的認知理論、ソーシャルネットワーク・ソーシャルサポートについて学修します。合わせて、適切な行動変容技法について学び、栄養教育への適用について考えます。					事前にはテキスト37-39頁を読む（1時間）、事後には確認テストも含め要点のまとめ（3時間）				
11	集団や社会の行動変容に関する理論	プリシード・プロシードモデル、コミュニティオーガニゼーション、ソーシャルマーケティング、イノベーション普及理論などについて学修します。					事前にテキスト39-54頁を読む（1時間）、事後は確認テストも含め要点のまとめ（3時間）				
12	組織づくり、地域づくりへの展開	組織づくり、地域づくりという観点で、自助集団、グループダイナミクス、エンパワメント、ソーシャルキャピタルなどについて学修します。					事前にテキスト65-72頁を読む（1時間）、事後は確認テストも含め、要点のまとめ（3時間）				
13	ポピュレーションアプローチとしての食環境づくり	栄養教育という観点から、食環境の概念、食物へのアクセス、情報へのアクセス、食環境整備に関連した法律・制度・施策等について学修します。合わせて栄養教育の国際的動向についても理解を深めます。					事前にテキスト73-83頁を読む（2時間）、事後は確認テストも含め要点のまとめ（2時間）				
14	栄養教育マネジメントの基礎	栄養教育マネジメントの枠組みについてPDCAサイクルと栄養ケアプロセスに基づいて考え、それを実施するためのファーストステップであるアセスメント方法について学修します。					事前にテキスト84-95頁で質問事項を把握（2時間）、事後は確認テストも含め要点のまとめ（2時間）				
15	全体のまとめ	これまでに学んできたことを振り返り、理解できていない点を確認し、質疑応答などを通して理解を深めます。					事前にこれまでの内容を復習し質問事項等を把握（3時間）、事後は全体の要点の再度確認（3時間）				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「新版ヘルス21 栄養教育・栄養指導論」辻とみ子、堀田千津子編（医歯薬出版） ISBN:978-4-263-70718-0（生協で購入してください。）					小テスト：10％ 定期試験：90％ S:到達目標の達成を目指し各回の授業内容をすべて理解し、探究姿勢をもって課題に取り組み適切にまとめることができる。A:到達目標を意識し、各回の授業内容を理解して課題に取り組みまとめることができる。B:到達目標を意識し、各回の授業内容を概ね理解して課題に取り組み一定レベルのまとめができる。C:到達目標を理解して授業に臨み、各回の授業内容を概ね理解して課題に取り組み最低限のまとめができる。						
参考書					履修上の注意（学生へのメッセージ）						
「エッセンシャル栄養教育論第3版」春木敏、廣田直子ほか 著春木敏編（医歯薬出版） ISBN：978-4-263-70623-7					受講に向けては、授業以外の日常生活の中でも、食生活への関心を高め、さまざまな活動を通して異世代の人々と積極的にコミュニケーションをとる機会を増やしてください。						

科目名	栄養教育論		学年学期	3年前期	単位数	2	ナパ'リング	NB36014	研究室	S-02
担当者	廣田 直子		必修選択	必修	科目種別	講義	ワイスア-	水曜日3限		
関連資格	管理栄養士、栄養士、栄養教一				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>栄養・健康教育の対象者は、身体的・精神的・社会的に様々な状況のもとで食生活を営んでいます。この講義では、2年後期の「栄養教育論」で学んだ基礎的な内容を踏まえて、ライフステージ別・ライフスタイル別に、対象者のアセスメント方法、栄養教育の目標設定、対象者に合わせた効果的な学習形態や教材の選択、教育活動の評価方法など、栄養教育のあり方について実践的に学びます。また、個別教育と集団教育などの教育形態別に、グループ学習などを組み合わせて学習していきます。</p>										
学修到達目標										
<p>知識：各ライフステージ、ライフスタイル、健康・疾病状況等に応じた効果的な栄養教育のあり方について理解すること。 能力：実践的な栄養教育プログラムの作成能力と実践力、管理栄養士に求められる栄養教育プランニング能力、マネジメント能力を培うこと。</p>										
授業の進め方										
<p>基本的にはテキストを用いた講義形式で進めますが、適宜配布資料等も用意します。また、栄養教育実習とも関連付けながら、特別講師による講義やグループ学習形式による実践的学習もとり入れて授業を進めます。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	栄養教育マネジメントにおける栄養アセスメントほか	これまで履修した科目の学修内容に基づいて、PDCAサイクルによる栄養教育マネジメントの枠組みを理解し、特に、プランニングに先立って実施する栄養アセスメントの種類や方法について学修します。				事前にテキスト83-91頁を読む(2時間) 事後には確認テストも含めた要点のまとめ(2時間)				
2	栄養教育マネジメント1 目標設定の考え方、プログラムの作成	短期・中期・長期目標の設定、また、学習目標・行動目標・環境目標・結果目標の考え方を理解し、栄養教育プログラムの作成にあたって必要となる要素について学修します。				事前にテキスト91-110頁を読む(2時間)、事後には確認テストも含めた要点のまとめ(2時間)				
3	栄養教育マネジメント2 評価方法と栄養教育指導案の作成	評価デザイン、及び、企画評価、プロセス評価、影響評価、結果評価、経済評価などの考え方を理解し、前回の学修も踏まえた上で、栄養教育指導案の作成方法について学修します。				事前にテキスト121-137頁にて質問事項を把握(3時間)、事後は確認テストの見直し(1時間)				
4	栄養カウンセリングの実際、コーチングの活用	学外講師を招き、栄養教育の現場において実施されている栄養カウンセリングについて理解を深め、コーチングスキルも含めて、対象者とのよりよりコミュニケーションのあり方について学修します。				事前にテキスト49-59頁にて質問事項を把握(2時間)、事後は、レポート課題に取り組む(2時間)				
5	ヘルスプロモーションにおける教育アプローチと環境アプローチ	栄養教育を広くとらえ、地域住民の健康づくりを進めるための教育アプローチと環境アプローチについて、実践事例に基づいたプランニングについて学修します。				事前に自分の周りで実施されている取組を把握(2時間)、事後はレポート課題のまとめ(2時間)				
6	妊娠期・授乳期における栄養・健康教育	妊娠期・授乳期の栄養特性・健康課題を理解し、このライフステージに適した教材等を知った上で、実際にプログラムを作成し、それについてプレゼンテーションできるよう学修を進めます。				事前に応用栄養学の学修内容を復習(2時間)、事後は自分のプログラムのブラッシュアップ(2時間)				
7	幼児期における栄養・健康教育	幼児期の栄養特性・健康課題を理解し、このライフステージに適した教材等を知った上で、食育の視点も含めたプログラムを作成し、それについてプレゼンテーションできるよう学修を進めます。				事前に応用栄養学の学修内容を復習(2時間)、事後は自分のプログラムのブラッシュアップ(2時間)				
8	学童期・思春期における栄養・健康教育	学童期・思春期の栄養特性・健康課題を理解し、このライフステージに適した教材等を知った上で、学校における栄養教育プログラムを作成し、それについてプレゼンテーションできるよう学修を進めます。				事前に応用栄養学の学修内容を復習(2時間)、事後は自分のプログラムのブラッシュアップ(2時間)				
9	女性のライフステージを通じた栄養・健康教育	ライフステージに応じた女性の健康づくりのための教育プログラムを進めている学外講師を招き、題材の扱い方や教育内容・手法について学び、世代をつなぐ栄養教育の重要性について学修します。				事前に配布資料を読む(1時間)、事後はレポート課題のまとめ(3時間)				
10	成人期における栄養・健康教育と特定保健指導	成人期の栄養・教育のプランニングについて、特定保健指導を中心として、その特性を踏まえて栄養教育プログラムを作成し、それについてプレゼンテーションできるよう学修を進めます。				事前に応用栄養学の学修内容を復習(2時間)、事後は自分のプログラムのブラッシュアップ(2時間)				
11	高齢期における栄養・健康教育、障害者への栄養・健康教育	高齢期および障害者の栄養特性・健康課題を理解し、特に低栄養対策に主眼をおいた栄養教育のあり方について理解を深めた上で、実際にプログラムを作成し、プレゼンテーションできるよう学修を進めます。				事前に応用栄養学の学修内容を復習(2時間)、事後は自分のプログラムのブラッシュアップ(2時間)				
12	アスリートへの栄養教育	アスリート特有の栄養特性・健康課題について理解し、個人または集団を対象としたプログラムを作成し、それについてプレゼンテーションできるよう学修を進めます。				事前に応用栄養学の学修内容を復習(2時間)、事後は自分のプログラムのブラッシュアップ(2時間)				
13	地域住民を対象とした栄養・健康教育実践のプランニング	栄養教育実習で実施する地域住民を対象とした「おいでよ 松大健康教室」のプランニングを行います。それについてプレゼンテーションできるように学修を進めます。				事前に配布資料を読む(1時間)、事後は自分のプランのブラッシュアップを図る(3時間)				
14	疾病状況に応じた栄養教育の進め方	疾病を有する人を対象とした栄養教育の進め方に関する基本的事項を理解し、個別教育、集団教育の進め方について学修します。				事前に関連科目の内容を復習(2時間)、事後は今後につなげられるよう要点をまとめる(2時間)				
15	疾病状況に応じた栄養教育の実際、全体のまとめ	疾病(肥満、糖尿病、高血圧、脂質異常症など)を有する人を対象として栄養教育のプランニングを行います。また、講義全体の学修内容を振り返ります。				講義ノートなどを見直し、疑問点を明らかにする(2時間)、事後には全般的な復習(3時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
「エッセンシャル 栄養教育論 第3版」春木敏、廣田直子 ほか 著春木敏編(医歯薬出版) ISBN:978-4-263-70623-7(生協で購入してください。)		レポート:10% 定期試験:80% 小テスト:10%								
「栄養教育論」で用いたテキストを継続して使用します。		S:到達達成目標の達成を目指し各回の授業内容をすべて理解し、探究姿勢をもって課題に取り組み適切にまとめることができる。A:到達達成目標を意識し、各回の授業内容を理解して課題に取り組みまとめることができる。B:到達達成目標を意識し、各回の授業内容を概ね理解して課題に取り組み一定レベルのまとめができる。C:到達達成目標を理解して授業に臨み、各回の授業内容を概ね理解して課題に取り組み最低限のまとめができる。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「実践に役立つ栄養指導事例集」井川聡子、斎藤トシ子、廣田直子編(理工図書) ISBN:978-4-8446-0870-7		2年後期に開講される「栄養教育論」を踏まえて学習を進めますので、基本的事項を復習しておいてください。また、「応用栄養学」、「応用栄養学実習」などとも関連つけて学習のまとめをしてください。								

科目名	栄養教育実習		学年学期	3年前期	単位数	1	ナパリング	NB36015	研究室	S-02
担当者	廣田 直子		必修選択	必修	科目種別	実習	オイスア-	水曜日3限		
関連資格	管理栄養士、栄養士、栄養教一				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
この授業では、栄養教育プログラムの作成・実施・評価について実習形式で学びます。個別教育形態においては、行動科学に基づいたプランニングやカウンセリングテクニックを用いた学びに重点をおき、集団教育形態では、集団の特性をいかした教育手法、効果的なプレゼンテーション、教材の考案と選択・作成能力を修得することに力点を置いて学びます。また、地域における健康づくりや食育を推進するための食環境づくりについても実践を通して学びます。										
学修到達目標										
知識：栄養教育マネジメントサイクルに沿ってプランニングするため、また人々に対してよりよい行動変容ならびにその継続をサポートするための知識とスキルの修得。 能力：栄養教育の実践に必要な知識やスキルを実際の栄養教育実践に活かすことができる能力、成果を評価する能力の修得。										
授業の進め方										
テキストと、独自に作成した課題プリント等を用いて授業を進めます。個別の活動のほかに、グループ学習やディスカッションを多く取り入れます。また、学外講師による講義・実習や地域住民の参加を得て実施する健康講座の運営等を通して実践的に学びます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	対象者の実態把握をどのように行うか 1 栄養・食事調査、嗜好調査等	栄養教育マネジメントに不可欠な食物摂取状況に関する各種調査法についての理解を深めるため、自分の食事を例として質問紙による調査を実施します。また、食習慣や嗜好に関する調査を設計してみます。				各科目で学習した食事調査について復習(30分)、事後にはレポート課題に取り組み(1時間)				
2	対象者の実態把握をどのように行うか 2 食事・生活状況・身体状況調査	24時間思い出し法を実施する際の面接者に求められる資質を理解した上で、ロールプレイなどを用いて調査スキルを学修します。また、生活・身体状況のアセスメント方法について実測法も含めて、学修します。				事前に、この調査法の特徴を把握する(30分)、事後にはレポート課題に取り組み(1時間)				
3	栄養アセスメントに基づいたプランニング、不特定多数人を対象とした栄養教育	栄養アセスメントに基づいた栄養教育のプランニングについて学修します。合わせて不特定多数人を対象とした栄養教育の特色について考え、食育に関するポスター作製を通して、実践的に学修します。				事前に、食育に関して伝えたい内容を考える(30分)、事後にはまとめの課題に取り組み(30分)				
4	栄養教育の評価をどう行うか：プランニングの重要性と統計手法を用いた評価	栄養教育における評価を踏まえたプランニングの重要性について理解を深めるとともに、得られたデータの評価に必要な統計手法について、実際のデータをもとにして学修します。				事前に栄養教育の評価方法について復習(30分)、事後にはレポート課題に取り組み(1時間)				
5	傷病者を対象とした栄養カウンセリングの実際	学外講師として、病院での個別栄養指導経験がある管理栄養士を迎え、傷病者に対する栄養カウンセリングの実際について、ロールプレイも含めて実践的に学修します。				事前に講義で学修した栄養カウンセリングの復習(30分)、事後にはレポートのまとめ(30分)				
6	栄養教育におけるグループカウンセリング(ロールプレイ)	前回実施した栄養カウンセリングに関する学修内容を踏まえ、グループダイナミクスの活用につながるグループカウンセリングの効果的な実施方法について、ロールプレイにより学修します。				事前にグループダイナミクスについて復習(30分)、事後にはレポート課題のまとめ(30分)				
7	保健指導における食生活指導と運動指導	実際に特定保健指導業務を行っている管理栄養士と健康運動指導士を学外講師として迎え、食事にに関する指導の実際について学ぶとともに、運動指導の実際と指導の際の留意点について学修します。				事前に特定保健指導について復習(30分)、事後には学んだ内容をレポートにまとめる(30分)				
8	集団栄養教育のプランニング：グループワーク(枠組みの構築)	提示した対象者に対する集団栄養教育のプランニングについて、グループ内でブレインストーミング方式で検討し時系列の枠組みを作成します。さらに、その中の1回分の内容について検討します。				事前に栄養教育プログラムの復習とプランニング(1時間)、事後はプランの改善(30分)				
9	集団栄養教育のプランニング：グループワーク(詳細内容の設計)	前回作成した集団栄養教育のプランについて、グループ内でバズセッションを用いてディスカッションし、1回分の学習指導案を作成します。合わせて使用する教材についての検討を進めます。				事前に自分の指導案の作成(1時間)、事後には自分の指導案の改善(30分)				
10	集団栄養教育のプランニング：グループ案の発表と討議、栄養教育実践案の決定	各自が作成した指導案をもとにして、グループの指導案を作成します。その後、プレゼンテーションを行い、全体でディスカッションし、集団栄養教育のプランニングに関する学修のまとめとします。				事前に各自でプレゼンテーション内容を考える(30分)、事後にはレポートのまとめ(30分)				
11	ライフステージ・ライフスタイル別栄養教育実践の準備 1 教材の作成	各グループでプランニングするライフステージ・ライフスタイル別と、個別・集団の教育形態を決めた上で、栄養教育実践の指導案の作成と教材計画についてディスカッションし、教材を作成します。				事前に自分が作成したいプランを決め、構想を練る(1時間)事後にはレポートのまとめ(30分)				
12	ライフステージ・ライフスタイル別栄養教育実践の準備 2 模擬実践	前回に引き続き、教材の作成等を進めます。その後、グループごとにロールプレイで模擬講座を実施し、プランの概要を伝えます。全体のディスカッションにより各プランのブラッシュアップを図ります。				時間外に教材作成を進める(1時間)、事後には各グループの内容に関する評価のまとめ(30分)				
13	ライフステージ・ライフスタイル別栄養教育の実践演習 1 準備～実践	本実習のまとめとして、A・Bクラス合同で地域住民を対象とした「おいでよ 松大健康教室」を運営します。自分たちが設定した各ブースでの実践を共有して学修を進めます。				時間外に準備を進め、事前事後の学習を通し講座運営に必要な知識とスキルを高める(1時間)				
14	ライフステージ・ライフスタイル別栄養教育の実践演習 2 実践～評価	地域住民を対象とした「おいでよ 松大健康教室」の参加者の様子の観察と講座アンケートからプロセス評価を行うとともに、各ブースの運営等に関する評価を共有し、全体としての学修につなげます。				運営した講座について、各自で企画評価、プロセス評価をまとめ、レポートを作成する(1.5時間)				
15	全体のまとめ	本実習で扱った内容を振り返り、自分が修得した知識とスキルについてバズセッションを行ってグループ内でまとめた後、全体会で発表し、学修内容を確認します。				事前事後に、この実習で取り組んできた内容を振り返り、自己評価を行う(30分)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
「実践に役立つ 栄養指導事例集」井川聡子、斎藤ト子、廣田直子編(理工図書) ISBN:978-4-8446-0870-7(生協で購入してください。)			定期試験：25% 出席レポート：25% 課題：50% S:到達達成目標の達成を目指し探究姿勢をもってグループ学習に取り組み、授業内容をすべて理解し、課題を適切にまとめることができる。A:到達達成目標を意識し、積極的にグループ学習に取り組み、授業課題をまとめることができる。B:到達達成目標を意識し、各回の授業内容を理解して課題に取り組み、まとめることができる。C:到達達成目標を理解して授業に臨み、各回の授業内容を概ね理解して課題に取り組み、まとめることができる。							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「エッセンシャル 栄養教育論 第3版」春木敏、廣田直子 ほか著春木敏編(医歯薬出版) ISBN:978-4-263-70623-7 「栄養教育論」で用いたテキストです。授業で使用するので持参してください。			既習の専門科目を総合して考える必要があり復習は不可欠です。データ整理やプレゼンテーション等では情報処理関係能力も求められます。学外講師による実習や学外者対象の栄養教育実践は通常の時間帯外で行う可能性があります。							

科目名	栄養教諭論		学年学期	3年前期	単位数	1	ナパ`リ`ン`グ	NC36016	研究室	非常勤
担当者	岩根 美系子		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格	栄教一				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
<p>栄養教諭の社会的使命、役割、職務内容や可能性について学びます。これらをもとに、学校や地域社会の特色を生かし、管理栄養士の専門性と教育に関する資質を併せ持つ「栄養教諭」としての基本を身につけることをねらいとします。</p> <p>栄養教諭として、児童・生徒に正しい食生活を指導し、生活習慣病の予防の必要性を理解させ、心身共に健全に成長するように教育を行う視点や、食文化、環境と食生活、家庭と食生活の関係について取り上げます。</p>										
学修到達目標										
<p>学校給食の歴史を学び、栄養教諭制度の設立について、21世紀の教育・食に関する指導、食育全般について理解を深め、子ども達が心身共に健やかな成長ができる為に生きた教材としての給食作りに取り組むことができる。</p>										
授業の進め方										
最初は講義形式で授業を進めます。自ら考えて実践できる力を養うためにも必要に応じてグループ討議を行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	栄養教育論は何を学ぶ学問なのか理解する	<p>栄養教諭の制度と役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養教諭制度創設の趣旨と意義 ・ 栄養教諭の使命、役割、職務内容 				教科書を読んで学校給食の歴史から栄養教諭創設の流れを復習する(3時間)				
2	学習指導要領の改定による基本的な主旨がわかる	<p>食に関する指導の基礎的知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの発育・発達と教育 ・ 食に関する指導の計画・実施・評価 				発達段階に応じた食に関する指導について復習する(3時間)				
3	食育基本法の改定の主旨を理解する	<p>児童及び生徒の栄養に関する現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童・生徒の食生活の実態 				食育推進計画の重点課題について復習する(3時間)				
4	学校給食法の改定のポイントを理解する	<p>食文化の変遷と学校教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本人の食生活と学校給食 ・ 地場産物の活用と郷土食 				食育が教育の一環として明記され目標が食育の視点から4つから7つになったことを復習する(4時間)				
5	栄養教諭の職務について給食の管理と食に関する指導を理解する	<p>学校給食の実際</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校給食の意義、役割 ・ 給食における個別対応 <p>・ 給食の栄養管理</p>				職務について給食の管理と食に関する指導(1口別指導含)の一体化について復習する(4時間)				
6	献立の生きた教材化の為に食に関する指導について理解する	<p>食に関する指導計画(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「食に関する指導」のねらい ・ 食に関する指導に係る全体的計画の立て方 				教科のない食育について、各教科と連携して行う為、全体計画の必要性について復習する(4時間)				
7	全体計画を作成してみよう	<p>食に関する指導計画(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食に関する指導に係る全体的計画立案演習 				規模や施設、人数を想定し実際に作成してみる(4時間)				
8	栄養教諭の職務について理解できた	まとめ				栄養教諭の社会的使命について再確認する(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
<p>「三訂 栄養教諭論 [第3版] - 理論と実際 - 」(建帛社) ISBN:978-4-7679-2108-2 (生協で購入してください。)</p> <p>「食に関する指導参考資料」(東山書房) ISBN:978-4827814927 (生協で購入してください。)</p> <p>プリント配布</p>		<p>評価は、出席回数を充足していることを条件とし、試験、授業内で作成したレポート・課題への取り組み、討議への参加等を総合的に判定します。</p> <p>S:なぜ学校に栄養教諭が創設されたか理解し、児童生徒への食育を行う為、給食の管理と食に関する指導の一本化に取り組める A:栄養教諭の職務内容を理解し、学校・地域・家庭との連携した食育が理解できる B:児童生徒に正しい食生活習慣を身につけさせる為、生きた教材としての給食作りができる C:学校給食の歴史を学び、児童生徒への食育の必要性が理解できる</p>								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
講義時に指示をします。		一部視聴覚教材を使用し、内容をレポートで確認することがあります。口頭で述べたこときちんとならんとノートにとるようにしてください。								

科目名	学校栄養教育論		学年学期	3年前期	単位数	1	ナパリング	NC36017	研究室	非常勤	
担当者	岩根 美系子		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-				
関連資格	栄教一				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C						
授業概要											
<p>栄養教諭は、児童・生徒に対する食の指導を担う専門職として、発育成長期にある幼児、および、児童・生徒の健康や栄養に関わる課題を正しく捉え、その改善に向けて食の指導のあり方を考える能力の修得が必要です。この講義では、幼児、及び、児童・生徒の栄養における課題について、身体の健康という側面だけではなく、心の健康状況や社会とのかかわりという視点を含めて理解することをねらいとします。</p>											
学修到達目標											
<p>子ども時代に健康につながる嗜好や食習慣をつくることで、生涯の健康を得られることがわかり、栄養教諭は学校、家庭、地域をつなぐコーディネーターとしての重要な使命があることを理解できる。</p>											
授業の進め方											
<p>最初は講義形式で授業を進めます。栄養に関する課題をより深く理解し、自ら考えて、食の指導の実践につなげる力を養うためにも、必要に応じてグループ討議を取り入れます。</p>											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	幼児期の食育の目標について理解する	幼児期の栄養上の課題と幼児期までに修得したい基本的な食習慣					めざす子ども像につなげる食育を復習する(3時間)				
2	食べる意欲を育てる食育について学ぶ	幼児期の課題改善に向けた働きかけのあり方(グループワークと発表)					子どもの嗜好の仕組みとその発達を理解しまとめる(3時間)				
3	人間の育ちの基礎は食育であることを学ぶ	児童・生徒における現状の健康課題と食生活					人づくりの基本は、知育徳育体育の基礎にある食育をきちんとすることにあることを復習する(3時間)				
4	国民健康栄養調査の結果から、健康課題を読みとる	国民の健康課題と児童・生徒の健康課題との係り					国民健康栄養調査の推移より児童・生徒の健康課題の係りをまとめる(4時間)				
5	保護者へのアプローチの仕方について学ぶ	児童・生徒の栄養上の課題と学校・家庭における食の指導					学校と家庭の連携の大切さをまとめる(4時間)				
6	幼児期からの食育を通して基本的な生活習慣を身につけることの大切さを学ぶ	児童・生徒の栄養課題改善を考えた食の指導が国民の食生活に及ぼす影響					おいしい食事の作れる親になる為には、どのような支援が必要かまとめる(4時間)				
7	学校・家庭・地域一体となって食育の推進を図る	幼児、児童・生徒の栄養課題を地域において考えていくためには(グループワークとディスカッション)					学校・家庭・地域が互いに情報交換を行い一体となって推進することを復習する(4時間)				
8	栄養教育は一人では推進できないことを理解する	まとめ					食の専門家としてコーディネートの重要性をまとめる(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準									
<p>「三訂 栄養教諭論 [第3版] - 理論と実際 - 」(建帛社) ISBN:978-4-7679-2108-2 (生協で購入してください。)</p> <p>「食に関する指導参考資料」(東山書房) ISBN:978-4827814927 (生協で購入してください。)</p> <p>学習指導要領解説書、小・中学校教科書、プリント配布</p>		<p>評価は、出席回数を充足していることを条件とし、課題に沿って作成した「学習指導案」レポート・課題への取組み、討議への参加、筆記試験等を総合的に判定します。S:子どもの成長過程を理解し心身共に健全な成長ができるよう、食の専門家・コーディネーターとしての働きが理解できる A:食の指導の実践には、学校・家庭・地域をつなぐコーディネーターとしての重要な使命を理解する B:生涯の健康につながる嗜好や食習慣について広く理解を求める為の努力ができる C:子どもの成長期における健康や栄養に関する課題が理解できる</p>									
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)									
講義時に指示をします。		一部視聴覚教材を使用し、内容をレポートで確認することがあります。口頭で述べたこともきちんとノートにとるようにしてください。									

科目名	食教育指導法			学年学期	3年後期	単位数	2	ナパリング	NC36018	研究室	非常勤
担当者	廣田 直子・岩根 美系子			必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-	水曜日3限		
関連資格	栄教一					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
<p>栄養教諭論、学校栄養教育論をふまえ、小・中学校等における食に関する指導を演習することにより、教材研究や学習指導案の作成等をより実際に理解することをねらいとします。</p> <p>グループ別に、児童、生徒や地域の実態を可能な範囲で把握し、これに即した学習指導案を計画し、実際に食に関する模擬授業を実施します。また、よりよい指導ができるよう工夫や改善点について討議をし、模擬授業を改善していきます。</p>											
学習到達目標											
児童・生徒の実態把握による課題が設定でき、教科書、学習指導要領解説書を理解し、課題解決の為の指導案が作成でき、教材としての給食を使って実際に授業することができる。											
授業の進め方											
主にグループによる演習とします。(人数による)											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	学校教育の仕組みについて理解する	オリエンテーション 前期で学んだ栄養教諭の誕生について復習、使命役割、職務内容から学校教育の中での仕組みを学ぶ					食に関する指導の重要性について復習し、教育者としての資質を理解する(4時間)				
2	学校における食に関する指導の位置付けについて学習指導要領から理解する	食に関する指導の位置付けについて、全体計画の重要性、実態把握の大切さ、食育の視点、学習指導要領を読む					全体計画により年間の指導内容や活動が示されていることを理解する(4時間)				
3	教科における食に関する指導について関わりから理解できる	家庭分野(小)家庭科(中)技術家庭科)、保健領域(小)保育科(中)保健体育科)、その他の教科との関わり(全教科)					基本的な食に関する指導と食育の取り組みについて理解する(4時間)				
4	教科外の教育活動における食に関する指導についての関わりが理解できる	道徳、特別活動(学級活動)の時間における食に関する指導、総合的な学習の時間等					教科における食に関する指導と教科外における食に関する指導の違いを復習しまとめる(4時間)				
5	1単位時間の学習指導案の作成方法を理解する	実習の手引きや学習指導要領の解説書から、標準的な指導案を使って学習する					指導案の成り立ちについて理解を深める(4時間)				
6	自分の設定した課題についてどの教科で解決するか決定できる	グループワークにて(演習について、教科、題材選定)1単位の授業の進め方、演習方法					教科書と学習指導要領を読み指導案を完成させる(4時間)				
7	指導案に添って模擬授業ができる	模擬授業の実施(1) Aグループ グループ別に模擬授業の実践練習をし、討議・検討する。					模擬授業についての研究会でもらった意見を元に指導案の修正を行い、検討してみる(4時間)				
8	指導案に添って模擬授業ができる	模擬授業の実施(2) Bグループ グループ別に模擬授業の実践練習をし、討議・検討する。					模擬授業についての研究会でもらった意見を元に指導案の修正を行い、検討してみる(4時間)				
9	指導案に添って模擬授業ができる	模擬授業の実施(3) Cグループ グループ別に模擬授業の実践練習をし、討議・検討する。					模擬授業についての研究会でもらった意見を元に指導案の修正を行い、検討してみる(4時間)				
10	指導案に添って模擬授業ができる	模擬授業の実施(4) Dグループ グループ別に模擬授業の実践練習をし、討議・検討する。					模擬授業についての研究会でもらった意見を元に指導案の修正を行い、検討してみる(4時間)				
11	指導案に添って模擬授業ができる	模擬授業の実施(5) Eグループ グループ別に模擬授業の実践練習をし、討議・検討する。					模擬授業についての研究会でもらった意見を元に指導案の修正を行い、検討してみる(4時間)				
12	指導案に添って模擬授業ができる	模擬授業の実施(6) Fグループ グループ別に模擬授業の実践練習をし、討議・検討する。					模擬授業についての研究会でもらった意見を元に指導案の修正を行い、検討してみる(4時間)				
13	指導案に添って模擬授業ができる	模擬授業の実施(7) Gグループ グループ別に模擬授業の実践練習をし、討議・検討する。					模擬授業についての研究会でもらった意見を元に指導案の修正を行い、検討してみる(4時間)				
14	指導案に添って模擬授業ができる	模擬授業の実施(8) Hグループ グループ別に模擬授業の実践練習をし、討議・検討する。					模擬授業についての研究会でもらった意見を元に指導案の修正を行い、検討してみる(4時間)				
15	学校、家庭、地域との連携の大切さと、個別的な相談指導の大切さを理解する	まとめ ・栄養教諭の重要な職務について ・提出レポートの確認					提出レポートの確認をし落ちのないように作成する(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
<p>「三訂 栄養教諭論 [第3版] - 理論と実際 -」(建帛社) ISBN:978-4-7679-2108-2 (生協で購入してください。)</p> <p>「食に関する指導参考資料」(東山書房) ISBN:978-4827814927 (生協で購入してください。)</p> <p>学習指導要領解説書、小・中学校教科書、プリント配布</p>					<p>評価は、出席回数を充足していることを条件とし、授業内で作成したレポート・課題への取組み、グループ発表・討議への参加等を総合的に判定します。</p> <p>S:実態把握による課題が満足でき、課題解決の為に、教科書・学習指導要領を理解し、指導案が作成でき、給食を使って授業ができる A:課題設定でき、教科書にそった指導案が作成でき、教職を使って授業ができる B:課題設定でき、指導案を作成し給食を使って授業ができる C:実態把握による課題が設定でき、指導案が作成できる</p>						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
講義時に指示をします。					各自が課題意識をもって授業に臨み、問題解決に向けて積極的に授業に参加してください。						

科目名	臨床栄養学総論			学年学期	3年前期	単位数	2	ナパ'リング	NB36019	研究室	S-11
担当者	藤岡 由美子			必修選択	必修	科目種別	講義	オイスア-	火曜日2限		
関連資格	管理栄養士、栄養士、健康食品管理士、栄教一					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
<p>疾病・身体状況に対応した栄養補給法、食事と医薬品の相互作用、臨床症候と栄養障害の評価、臨床における客観的栄養評価と栄養診断、傷病者の栄養ケアプロセスについて学習します。</p>											
学修到達目標											
<p>医療・介護・福祉における栄養管理について学び、対象者の栄養管理を関連職種と連携して行うことができるようになることを目指します。</p>											
授業の進め方											
<p>疾病・身体状況に対応した栄養補給法、食事と医薬品の相互作用、臨床症候と栄養障害の評価、臨床における客観的栄養評価と栄養診断の基本事項について講義した後、管理栄養士国家試験問題による演習で知識を定着させます。</p>											
<p>授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。</p>											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	臨床栄養の概念	意義と目的、ノーマリゼーション、QOLについて学習します。					過去問題の予習復習(4時間)				
2	医療・介護保険制度	医療・介護制度の基本について学習します。					過去問題の予習復習(4時間)				
3	医療福祉介護と臨床栄養	クリニカルパス・リスクマネジメント・インフォームドコンセントについて学習します。					過去問題の予習復習(4時間)				
4	アセスメントの意義と方法	スクリーニング、傷病者・要支援・介護者への栄養アセスメントについて学習します。					過去問題の予習復習(4時間)				
5	傷病者の栄養アセスメント	問診・臨床診査、臨床検査、身体計測、食事調査について学習します。					過去問題の予習復習(4時間)				
6	栄養ケアの目標設定と計画	目標設定と栄養投与量の算定について学習します。					過去問題の予習復習(4時間)				
7	栄養ケアの目標設定と計画	栄養補給法の選択と他職種との連携について学習します。					過去問題の予習復習(4時間)				
8	栄養食事療法と栄養補給法	経口栄養法(一般・特別食)の目的、種類、実施について学習します。					過去問題の予習復習(4時間)				
9	栄養食事療法と栄養補給法	経腸栄養法(一般・特別食)の目的、種類、実施について学習します。					過去問題の予習復習(4時間)				
10	栄養食事療法と栄養補給法	経静脈栄養法の目的、種類、実施について学習します。					過去問題の予習復習(4時間)				
11	教育・モニタリングと再評価	傷病者への栄養教育、症状や栄養状態のモニタリングについて学習します。					過去問題の予習復習(4時間)				
12	薬と栄養・食事の相互作用	栄養・食品が医薬品に及ぼす影響について学習します。					過去問題の予習復習(4時間)				
13	薬と栄養・食事の相互作用	医薬品が栄養・食事に及ぼす影響について学習します。					過去問題の予習復習(4時間)				
14	栄養ケアの記録	問題志向型診療記録(POMR)と栄養ケアプロセスの記録方法(PES等)を比較します。					過去問題の予習復習(4時間)				
15	総括	定期試験の解説の後、講義のまとめを行います。					試験対策(4時間以上)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
<p>「ステップアップ栄養健康科学シリーズ12 臨床栄養学」藤岡由美子他著 東山幸恵編(化学同人) ISBN:978-4-7598-1902-1(生協で購入してください。) 開講後に指示します。 「Clinical Nutrition Textbook」藤岡由美子著藤岡由美子編(成進社印刷)(講義にて配布します。)</p>						<p>小テスト:50% 定期試験:50% S:到達目標に掲げられた各基本事項について90%以上説明できる A:到達目標に掲げられた各基本事項について80%以上説明できる B:到達目標に掲げられた各基本事項について70%以上説明できる C:到達目標に掲げられた各基本事項について60%以上説明できる</p>					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
<p>「国際標準化のための栄養ケアプロセス用語マニュアル」日本栄養士会著(第一出版) ISBN:978-4-8041-1270-1</p>						<p>毎回小テストを行いますので全回出席を前提としています。体調管理も学びだとして心掛けてください。最終週にテストを行い、試験期間に授業の総括を行います。</p>					

科目名	臨床栄養学各論			学年学期	3年前期	単位数	2	ナパリング	NB36020	研究室	S-11	
担当者	藤岡 由美子			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日2限			
関連資格	管理栄養士					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C								
授業概要												
臨床医学各論 で学ぶ疾患・病態時の栄養ケアプロセス (Nutritional Care System: NCP) について学びます。栄養ケアプロセスとは、国際的に標準化された栄養管理システムで「栄養アセスメント」、「栄養診断」、「栄養介入」、「栄養モニタリングと評価」の4段階で構成され、何れもコード番号が付与された標準用語 (International Dietetics & Nutritional Terminology: IDNT) で記録します。												
学修到達目標												
疾患・病態時の体内代謝、生理学的・病理学的所見に基づいて栄養管理の必要性を理解し、栄養ケアプロセスについて説明できることを目指します。												
授業の進め方												
栄養・代謝・内分泌系、消化器系、循環器系疾患の栄養ケアプロセスにおける栄養管理の基本事項と栄養ケアプロセスについて講義をした後、管理栄養士国家試験問題による演習で知識を定着させます。												
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。												
回	テーマ	内容						事前事後学修				
1	栄養ケアプロセス1	栄養ケアプロセスの概要を学習します。						ケーススタディ(4時間)				
2	栄養ケアプロセス2	栄養ケアプロセスの各段階(栄養アセスメント、栄養診断、栄養介入、評価とモニタリング)を学習します。						ケーススタディ(4時間)				
3	患者講演会	炎症性腸疾患の病態及び栄養・食事療法を学習します。						課題レポート作成(4時間)				
4	特別講演会	運動療法におけるコーチングを実技を通して学習します。						課題レポート作成(4時間)				
5	栄養障害	エネルギータンパク質栄養障害、ビタミン・ミネラル欠乏症・過剰症の栄養ケアプロセスを学習します。						過去問題の予習復習(4時間)				
6	代謝系疾患	肥満、メタボリック・シンドロームの栄養ケアプロセスを学習します。						過去問題の予習復習(4時間)				
7	代謝系疾患	糖尿病の栄養ケアプロセスを学習します。						過去問題の予習復習(4時間)				
8	代謝系疾患	脂質異常症の栄養ケアプロセスを学習します。						過去問題の予習復習(4時間)				
9	代謝系疾患・消化器疾患	高尿酸血症・痛風～胃食道逆流症の栄養ケアプロセスを学習します。						過去問題の予習復習(4時間)				
10	消化器疾患	胃・十二指腸潰瘍～炎症性腸疾患の栄養ケアプロセスを学習します。						過去問題の予習復習(4時間)				
11	消化器疾患	肝臓疾患の栄養ケアプロセスを学習します。						過去問題の予習復習(4時間)				
12	消化器疾患	胆嚢・膵臓疾患の栄養ケアプロセスを学習します。						過去問題の予習復習(4時間)				
13	循環器疾患	虚血～動脈硬化・高血圧の栄養ケアプロセスを学習します。						過去問題の予習復習(4時間)				
14	循環器疾患	狭心症～心不全の栄養ケアプロセスを学習します。						過去問題の予習復習(4時間)				
15	総括	定期試験の解説の後、講義のまとめを行います。						試験対策(4時間以上)				
テキスト						成績評価の方法・基準						
「ステップアップ栄養・健康科学シリーズ12 臨床栄養学」藤岡由美子他著 東山幸恵編(化学同人)(生協で購入してください。) 「Clinical Nutrition Textbook」藤岡由美子著藤岡由美子編(成進社印刷)(別途、指示します。)						小テスト: 50% 定期試験: 50% S: 各疾患の栄養ケアプロセスを90%以上説明できる A: 各疾患の栄養ケアプロセスを80%以上説明できる B: 各疾患の栄養ケアプロセスを70%以上説明できる C: 各疾患の栄養ケアプロセスを60%以上説明できる						
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「糖尿病食事療法のための食品交換表 第7版」日本糖尿病学会著日本糖尿病学会編(文光堂) ISBN: 978-4-8306-6046-7						毎回小テストを行いますので全回出席を基本としています。体調管理も学びだとして心掛けて下さい。最終週にテストを行い、試験期間に授業の総括を行います。						

科目名	臨床栄養学実習			学年学期	3年前期	単位数	1	ナパリング	NB36021	研究室	S-11
担当者	藤岡 由美子			必修選択	必修	科目種別	実習	オフィスアワー	火曜日2限		
関連資格	管理栄養士、栄養士、栄養教一					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）						
		A	B	C							
授業概要											
臨床栄養学総論 で学ぶ栄養ケアプロセスについて、臨床栄養学各論 で学ぶ疾患ごとに実習します。											
学修到達目標											
病態や症例における栄養評価・栄養診断に基づく栄養補給計画を作成し、計画に応じた食事が調整できることを目指します。											
授業の進め方											
栄養・代謝・内分泌系、消化器系、循環器系疾患における栄養補給計画のための献立作成、調理実習、臨床検査、症例検討等を行います。											
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	スケジュール確認、白衣試着、入院から食事提供までを学習します。					実習書の予習復習（1時間）				
2	食事計画：献立作成	常食の献立作成を行います。					献立作成（1時間）				
3	食事計画：献立作成	常食から形態別コントロール食（軟食）へ献立を展開します。					献立作成（1時間）				
4	食事計画：調理実習	形態別モデル献立の調理実習を行います。					レシピ試作（1時間）				
5	食事計画：献立作成	形態別コントロール食の献立を修整します。					献立作成（1時間）				
6	糖尿病：食事計画	糖尿病食事療養のための食品交換表の使い方を学習します。					食事記録（1時間）				
7	糖尿病：調理実習	糖尿病モデル献立の調理実習を行います。					レシピ試作（1時間）				
8	糖尿病：献立作成	糖尿病食（エネルギーコントロール食）の献立に展開します。					献立作成（1時間）				
9	糖尿病：臨床検査	経口糖負荷試験、尿検査、食事記録の栄養価計算を行います。					栄養価計算（1時間）				
10	糖尿病：栄養評価	糖尿病食事療養のための食品交換表と栄養成分表の値を比較します。					栄養価計算（1時間）				
11	肝・胆・膵疾患：栄養計画	症例検討から栄養計画を立案します。					実習書の予習復習（1時間）				
12	肝・胆・膵疾患：献立作成	肝臓・胆嚢・膵臓疾患の献立作成を行います。					献立作成（1時間）				
13	循環器疾患：心肺蘇生法	心肺蘇生法、AED（自動体外式除細動器）の使用方法を学習します。					講義の復習（1時間）				
14	臨床検査、献立作成	血圧、動脈硬化の検査、塩分コントロール食の献立作成を行います。					献立作成（1時間）				
15	総括：試験、課題	試験の解説の後、課題の総括を行います。					試験対策（1時間以上）				
テキスト						成績評価の方法・基準					
「わかりやすい疾患別栄養ケア・マネジメント - 献立から指導まで - 」藤岡由美子他著江上いず他編（学建書院） ISBN:978-4-7624-0885-4（生協で購入してください。） 「糖尿病食事療法のための食品交換表第7版」日本糖尿病学会著日本糖尿病学会編（文光堂） ISBN:978-4-8306-6046-7（生協で購入してください。） 「Clinical Nutrition Workbook」藤岡由美子著藤岡由美子編（成進社印刷）						課題：50%、定期試験：50% S：病態時の栄養補給計画に応じた食事の調整が90%以上できる A：病態時の栄養補給計画に応じた食事の調整が80%以上できる B：病態時の栄養補給計画に応じた食事の調整が70%以上できる C：病態時の栄養補給計画に応じた食事の調整が60%以上できる					
参考書						履修上の注意（学生へのメッセージ）					
なし						全出席を基本としています。体調管理も学びだと心得てください。課題の提出は締め切りを厳守してください。最終週にテストを行い、試験期間に授業の総括を行います。					

科目名	臨床栄養学総論			学年学期	3年後期	単位数	2	ナバリノ	NB36022	研究室	S-11
担当者	藤岡 由美子			必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ	火曜日2限		
関連資格	管理栄養士					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
<p>疾病・身体状況に対応した栄養補給法、食事と医薬品の相互作用、臨床症候と栄養障害の評価、臨床における客観的栄養評価と栄養診断、傷病者の栄養ケアプロセスについての理解を深めるため、症例・事例にもとづく講義と演習を行います。</p>											
学修到達目標											
<p>提示された症例・事例について、栄養管理に必要な情報収集とその理由、栄養評価、栄養診断、栄養介入、栄養モニタリング・評価(判定)、関連職種との連携について説明できることを目指します。</p>											
授業の進め方											
<p>疾病・身体状況に対応した栄養補給法、食事と医薬品の相互作用、臨床症候と栄養障害の評価、臨床における客観的栄養評価と栄養診断、傷病者の栄養ケアプロセスについての講義の後、症例検討(ケーススタディ)による演習を行い知識を定着させます。</p>											
<p>授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。</p>											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	臨地実習報告会、実習課題の説明、自己評価票の記入を行います。					自己評価票の記入(4時間)				
2	栄養管理計画書	栄養管理計画書を作成します。					課題の準備・まとめ(4時間)				
3	栄養指導実施記録	問題志向型診療記録による栄養ケアプロセスの記録を行います。					課題の準備・まとめ(4時間)				
4	ケーススタディ	主観的包括的評価(SGA)及び客観的栄養評価(ODA)を行います。					課題の準備・まとめ(4時間)				
5	ケーススタディ	栄養アセスメント・プランニング・モニタリングを行います。					課題の準備・まとめ(4時間)				
6	ケーススタディ	危機管理(事故・災害時対策)について学習します。					課題の準備・まとめ(4時間)				
7	栄養ケアプロセス	脳血管障害を併発した型糖尿病患者の栄養ケアプロセスを学習します。					課題の準備・まとめ(4時間)				
8	栄養ケアプロセス	肝硬変の栄養ケアプロセスを学習します。					課題の準備・まとめ(4時間)				
9	栄養ケアプロセス	クローン病の栄養ケアプロセスを学習します。					課題の準備・まとめ(4時間)				
10	栄養ケアプロセス	慢性閉塞性呼吸不全(COPD)の栄養ケアプロセスを学習します。					課題の準備・まとめ(4時間)				
11	栄養ケアプロセス	術前化学療法時の栄養ケアプロセスを学習します。					課題の準備・まとめ(4時間)				
12	栄養ケアプロセス	ダイビング症候群の栄養ケアプロセスを学習します。					課題の準備・まとめ(4時間)				
13	管理栄養士の使命と役割	災害時の避難所運営(HUG)における管理栄養士の役割を演習します。					課題の準備・まとめ(4時間)				
14	管理栄養士の使命と役割	管理栄養士のドキュメンタリーや映像作品を視聴します。					課題の準備・まとめ(4時間)				
15	総括	定期試験の解説の後、講義のまとめを行います。					試験対策(4時間以上)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
<p>「ステップアップ栄養・健康科学シリーズ12 臨床栄養学」藤岡由美子他著 東山幸恵編(化学同人) ISBN:978-4-7598-1902-1(生協で購入してください。)</p> <p>「Clinical Nutrition Textbook」藤岡由美子著藤岡由美子編(成進社印刷)(講義にて配布します。)</p>						<p>課題:50% 定期試験:50%</p> <p>S:提示された症例の栄養ケアプロセスを90%以上説明できる。</p> <p>A:提示された症例の栄養ケアプロセスを80%以上説明できる。</p> <p>B:提示された症例の栄養ケアプロセスを70%以上説明できる。</p> <p>C:提示された症例の栄養ケアプロセスを60%以上説明できる。</p>					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
<p>「国際標準化のための栄養ケアプロセス用語マニュアル」日本栄養士会著(第一出版) ISBN:978-4-8041-1270-1</p>						<p>毎回課題の評価を行いますので全回出席を基本としています。体調管理も学びだとして心掛けてください。最終週にテストを行い、試験期間に授業の総括を行います。</p>					

科目名	臨床栄養学各論			学年学期	3年後期	単位数	2	ナバリング	NB36023	研究室	S-11
担当者	藤岡 由美子			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日2限		
関連資格	管理栄養士					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
臨床医学各論 で学ぶ疾患・病態時の栄養ケアプロセス(Nutritional Care System:NCP)について学びます。栄養ケアプロセスとは、国際的に標準化された栄養管理システムで「栄養アセスメント」、「栄養診断」、「栄養介入」、「栄養モニタリングと評価」の4段階で構成され、何れもコード番号が付与された標準用語(International Dietetics & Nutritional Terminology:IDNT)で記録します。											
学修到達目標											
疾患・病態時の体内代謝、生理学的・病理学的所見に基づいて栄養管理の必要性を理解し、栄養ケアプロセスについて説明できることを目指します。											
授業の進め方											
腎臓、内分泌、神経、呼吸器、運動器、血液、免疫・アレルギー、小児、生殖器、老年期の各疾患、感染症、周術期・クリティカルケアにおける栄養管理の基本事項と栄養ケアプロセスについて講義をした後、管理栄養士国家試験問題による演習で知識を定着させます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	腎疾患	糸球体腎炎・ネフローゼ症候群・腎不全の栄養ケアプロセスを学習します。					過去問題の予習復習(4時間)				
2	腎疾患	糖尿病性腎症・慢性腎臓病の栄養ケアプロセスを学習します。					過去問題の予習復習(4時間)				
3	腎・尿路系疾患	人工透析・腹膜透析・尿路結石の栄養ケアプロセスを学習します。					過去問題の予習復習(4時間)				
4	内分泌疾患	甲状腺機能亢進症～先天性代謝異常の栄養ケアプロセスを学習します。					過去問題の予習復習(4時間)				
5	脳・神経疾患	脳出血・脳梗塞の栄養ケアプロセスを学習します。					過去問題の予習復習(4時間)				
6	摂食障害	神経性食欲不振症～摂食機能障害の栄養ケアプロセスを学習します。					過去問題の予習復習(4時間)				
7	呼吸器疾患	慢性閉塞性肺疾患(COPD)の栄養ケアプロセスを学習します。					過去問題の予習復習(4時間)				
8	血液疾患	貧血・出血性疾患の栄養ケアプロセスを学習します。					過去問題の予習復習(4時間)				
9	運動器疾患	骨粗鬆症～ロコモティブシンドロームの栄養ケアプロセスを学習します。					過去問題の予習復習(4時間)				
10	免疫・アレルギー疾患	食物アレルギー～免疫不全の栄養ケアプロセスを学習します。					過去問題の予習復習(4時間)				
11	感染症・悪性腫瘍	病原微生物～癌(緩和ケア)の栄養ケアプロセスを学習します。					過去問題の予習復習(4時間)				
12	周術期・クリティカルケア	ダンピング症候群・外傷・熱傷の栄養ケアプロセスを学習します。					過去問題の予習復習(4時間)				
13	乳幼児・小児疾患	小児肥満・糖尿病・腎臓病の栄養ケアプロセスを学習します。					過去問題の予習復習(4時間)				
14	生殖器疾患・老年症候群	妊娠糖尿病～フレイルティの栄養ケアプロセスを学習します。					過去問題の予習復習(4時間)				
15	総括	定期試験の解説の後、講義のまとめを行います。					試験対策(4時間以上)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
「ステップアップ栄養・健康科学シリーズ12 臨床栄養学」藤岡由美子他著 東山幸恵他編(化学同人) ISBN:978-4-7598-1902-1(生協で購入してください。) 「Clinical Nutrition Textbook」藤岡由美子著藤岡由美子編(成進社印刷)(講義にて配布します。)						小テスト:50% 定期試験:50% S:各疾患の栄養ケアプロセスを90%以上説明できる A:各疾患の栄養ケアプロセスを80%以上説明できる B:各疾患の栄養ケアプロセスを70%以上説明できる C:各疾患の栄養ケアプロセスを60%以上説明できる					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「腎臓病食品交換表第9版治療食の基準」黒川清著中尾俊之他編(医歯薬出版) 978-4-263-70674-9						毎回小テストを行いますので全回出席を基本としています。体調管理も学びだとして心掛けて下さい。最終週にテストを行い、試験期間に授業の総括を行います。					

科目名	臨床栄養学実習		学年学期	3年後期	単位数	1	ナパ'リング	NB36024	研究室	S-11
担当者	藤岡 由美子		必修選択	選択	科目種別	実習	オイスアワ	火曜日2限		
関連資格	管理栄養士				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
臨床栄養学総論 で学んだ栄養管理(ケア)プロセスについて、臨床栄養学各論 で学ぶ疾患ごとに実習します。										
学修到達目標										
病態や症例における栄養評価・栄養診断に基づく栄養補給計画を作成し、計画に応じた食事が調整できることを目指します。										
授業の進め方										
臨床栄養学各論 で扱った腎臓、内分泌、神経、呼吸器、運動器、血液、免疫・アレルギー、小児、生殖器、老年期の各疾患、感染症、周術期・クリティカルケアにおける栄養補給計画のための献立作成、調理実習、臨床検査、症例検討等を行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	オリエンテーション	24時間蓄尿検査の説明、臨地実習の準備(希望調査、自己紹介書)を行います。					蓄尿、食事調査(1時間)			
2	腎疾患: 食事計画	腎臓病食品交換表の使い方、調理実習の準備(発注書)を説明します。					自己紹介書作成(1時間)			
3	腎疾患: 調理実習	腎臓病の特殊食品を利用したモデル献立の調理実習を行います。					レシピ試作(1時間)			
4	腎疾患: 栄養評価	腎臓病食品交換表による栄養計算、24時間蓄尿結果の分析を行います。					栄養価計算(1時間)			
5	腎疾患・脳血管障害	腎不全の献立作成、摂食機能障害の食事介助					献立作成(1時間)			
6	腎疾患・摂食障害	糖尿病性腎症の献立作成、POMSと唾液アミラーゼ測定を行います。					献立作成(1時間)			
7	腎疾患・呼吸器疾患	人工透析の献立作成、呼吸機能検査を行います。					献立作成(1時間)			
8	血液疾患: 臨床検査	貧血検査、食物アレルギー除去食の献立作成を行います。					献立作成(1時間)			
9	運動器疾患: 臨床検査	骨密度の測定、ロコモティブシンドローム・テストを行います。					ロコモ25、ロコトレ(1時間)			
10	アレルギー疾患: 調理実習	食物アレルギー除去食(モデル献立)の調理実習を行います。					レシピ試作(1時間)			
11	アレルギー疾患: 治療	アドレナリン自己注射薬の講習を行います。					講義レポート作成(1時間)			
12	摂食機能障害: 調理実習	嚥下調整食(モデル献立)の調理実習、刻み食、ムース食の試食を行います。					レシピ試作(1時間)			
13	摂食機能障害: 臨床検査	嚥下機能検査、リハビリテーション(構音機能訓練、嚥下食の試食)を行います。					講義の復習(1時間)			
14	総括: 調理実習	栄養成分別コントロール食の調理実習を行います。					レシピ試作(1時間)			
15	総括: 試験、課題	試験、課題の総括、臨地実習キックオフを行います。					試験対策(1時間以上)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「わかりやすい疾患別栄養ケア・マネジメント-献立から指導まで-」藤岡由美子他著江上いず他編(学建書院) ISBN:978-4-7624-0885-4(生協で購入してください。) 「腎臓病食品交換表第9版治療食の基準」黒川清著中尾俊之他編(医歯薬出版) ISBN:978-4-263-70674-9(生協で購入してください。) 「Clinical Nutrition Workbook」藤岡由美子他著藤岡由美子編(成進社印刷)(講義にて配布します。)					課題:50% 定期試験:50% S:病態時の栄養補給計画に応じた食事の調整が90%以上できる A:病態時の栄養補給計画に応じた食事の調整が80%以上できる B:病態時の栄養補給計画に応じた食事の調整が70%以上できる C:病態時の栄養補給計画に応じた食事の調整が60%以上できる					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
なし					全出席を基本としています。体調管理も学びだと心得てください。課題の提出は締め切りを厳守してください。最終週にテストを行い、試験期間に授業を行います。					

科目名	公衆栄養学		学年学期	3年前期	単位数	2	ナパ'リング	NC36025	研究室	S-04
担当者	平田 治美		必修選択	必修	科目種別	講義	ワイスワ-	月曜日5限		
関連資格	管理栄養士、栄養士、食品衛生、栄養教一				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
公衆栄養学の目的や概念を理解し、国や地域、職域、学校、諸外国等で行われている公衆栄養活動の現状と課題について学びます。国や地域(県、市町村、地区など)、職域、学校等における健康・栄養問題とその要因、対象者(対象集団)のニーズを把握し、地域社会や組織がその課題を解決するため設定した目標を達成できるよう、より効果的・効率的な公衆栄養プログラムを計画・実施・評価するマネジメントに必要な基礎知識、理論と手法を学びます。										
学修到達目標										
「公衆栄養学」、「公衆栄養活動」について学ぶことで、地域社会の中で健康・栄養・食生活の改善のために様々な立場で様々な取り組みが行われていること、その活動は重要であり、身近であることを理解し、取り組むことが必要であると思うようになる。										
授業の進め方										
基本的にはテキスト及び配布資料を使用して、パワーポイントスライドで講義をすすめます。学習単位ごとに確認問題を提供します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	公衆栄養学とは、歴史と概念	公衆栄養の意義、目的、我が国の公衆栄養活動の歴史、求められる公衆栄養活動について学びます。				指定テキストの第1章を事前に読み、公衆栄養の概念や活動について予習しておく。(4時間)				
2	我が国の健康・栄養問題	我が国の公衆栄養活動の歴史とともに、管理栄養士・栄養士養成制度、その根拠法となる栄養法について学びます。				教科書第3章1,2を事前に読んでおくこと。配布資料を見直し、復習。(4時間)				
3	我が国の健康・栄養問題	我が国の健康・栄養問題の現状と課題について学びます。公衆栄養活動に求められる食環境について、現在に至るまでの変遷を学びます。				教科書第2章3,4を事前に読んでおくこと。授業配付資料の見直し、教科書で復習。(4時間)				
4	我が国の健康・栄養問題	少子化と長寿社会の現状における栄養・健康問題について、国民生活基礎調査などのデータを基に学びます。				教科書第2章1,2を事前に読んでおくこと。小テストに向け、配付資料等見直し、復習。(4時間)				
5	我が国の栄養政策	我が国の健康づくり対策の根拠法となる「健康増進法」について学びます。				教科書第1章2とp.270~271を事前に読んでおくこと。配布資料を見直し、復習。(4時間)				
6	我が国の栄養政策	わが国の健康づくり政策の概念と歴史的変遷を通し、公衆栄養全体計画と事業計画の展開について学びます。				教科書第3章5を事前に読んでおくこと。配布資料を見直し、復習。(4時間)				
7	我が国の栄養政策	国民健康・栄養調査の目的と沿革、内容、調査方法、最新の調査結果について学びます。				厚生省HP国民健康・栄養調査のH27,28年報告書を事前に読み、不明な点を整理する。(4時間)				
8	我が国の栄養政策	国民健康・栄養調査の調査結果と活用について学びます。				配布資料を事前に読んで予習しておくこと。授業配付資料等を見直し復習。(4時間)				
9	健康・栄養問題の現状と課題と栄養政策	国民健康・栄養調査結果の変遷より、食事や食生活の変化を学びます。				教科書第2章3,4を事前に読んでおくこと。授業配付資料を見直し復習。(4時間)				
10	健康・栄養問題の現状と課題と栄養政策	食環境の観点より、食環境の変化を食品生産、流通およびフードバランスシートより学びます。				教科書第2章5を事前に読んでおくこと。授業配布資料を見直し復習。(4時間)				
11	諸外国における健康・栄養問題の現状と課題	諸外国の健康・栄養問題現状(先進諸国、開発途上国)と栄養政策及び国際的な栄養行政組織について学びます。				教科書第2章6、第3章6を事前に読んでおくこと。配布資料を見直し復習。(4時間)				
12	栄養疫学	栄養疫学の概要について学びます。				教科書第5章1,2を事前に読んでおくこと。配布資料を見直し、復習。(4時間)				
13	栄養疫学	栄養疫学の研究例を基に、EBNとする研究論文の方法と結果を中心に読み方を学びます。				配布資料を事前に読んでおくこと。配布資料を見直し、理解を整理すること。(4時間)				
14	栄養疫学	曝露情報としての食事摂取量を推定する調査の方法、要因間の分析と評価について学びます。				教科書第5章3を事前に読んでおくこと。配布資料を見直し、復習。(4時間)				
15	栄養疫学	健康・疾病と食事摂取・栄養素等との関連について学びます。				教科書第4章4,5、第5章4と配布資料を事前に読んでおくこと。配布資料を見直し、復習。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「管理栄養士課程「栄養管理と生命科学シリーズ」公衆栄養学の科学」大和田浩子/中山健夫著(理工図書) ISBN:978-4-8446-0790-8C33340(生協で購入してください。) 公衆栄養学でも使用します。				定期試験:90% 受講態度:10% 受講態度は、授業への積極的な発言及び取り組みで評価します。 S:授業内容を高度に理解し、わからないことを積極的に探求し、課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、授業でのわからないことを探求し、課題に取り組み、やや難しい問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に着実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、授業で行った例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「「わかりやすいEBNと栄養疫学」」佐々木敏著(同文書院) ISBN:978-4-8103-1316-1 他、必要に応じて適宜紹介します。				公衆栄養学は実践的な科目です。集団の健康・栄養改善のために、実際に社会の中でどんな取り組みが行われているのか、日頃から新聞・専門雑誌などを通して関心を持ってみるようお願いします。						

科目名	公衆栄養学		学年学期	3年後期	単位数	2	ナパ'リング	NC36026	研究室	S-04
担当者	平田 治美		必修選択	選択	科目種別	講義	ウイズア-	金曜日3限		
関連資格	管理栄養士、食品衛生				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
国や地域、職域、学校等における健康・栄養問題とその規定要因、対象者(対象集団)のニーズの把握、地域社会や組織の目標設定、目標を達成するためのより効果的・効率的な公衆栄養プログラムを計画・実施・評価するためのマネジメントに必要な基礎知識、理論と手法を学び、実際の取り組み事例も学びます。加えて、栄養疫学的手法を理解し、「健康・疾病」と「栄養素・食品摂取」との関連を学びます。										
学修到達目標										
公衆栄養活動をすすめるために必要な栄養疫学が理解と活用を身につけ、公衆栄養マネジメントのプロセスに沿って、その活動を組み立てることができるようになる。										
授業の進め方										
基本的にはテキスト及び配布資料を使用して、パワーポイントスライドで講義をすすめます。学習単位ごとに確認問題を提供します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	健康・栄養政策指針とツール	健康づくり政策実施に関連する食生活指針、運動指針、睡眠指針、食事バランスガイド等について学びます。				教科書第3章4を事前に読んでおくこと。配布資料を見直し、復習する。(4時間)				
2	公衆栄養学マネジメント	公衆栄養学マネジメントの考え方・プロセスについて学びます。				教科書第6章を事前に読んでおくこと。配布資料を見直し、復習する。(4時間)				
3	公衆栄養学マネジメント	公衆栄養学アセスメントの目的と方法について、食事摂取基準の地域集団への活用および質問調査の方法・活用まで学びます。				教科書第7章を事前に読んでおくこと。配布資料を見直し、復習する。(4時間)				
4	公衆栄養学マネジメント	公衆栄養学プログラムの目標設定について学びます。				教科書第8章を事前に読んでおくこと。配布資料を見直し、復習する。(4時間)				
5	公衆栄養マネジメント	公衆栄養学プログラムの計画について学びます。				教科書第9章を事前に読んでおくこと。配布資料を見直し、復習する。(4時間)				
6	公衆栄養マネジメント	公衆栄養プログラムの実施の概要について学びます。				教科書第10章を事前に読んでおくこと。配布資料を見直し、復習する。(4時間)				
7	公衆栄養マネジメント	食育基本法と国や県、地域における食育基本計画について学びます。				教科書第12章1を事前に読んでおくこと。配布資料を見直し、復習する。(4時間)				
8	公衆栄養マネジメント	根拠法となる「高齢者の医療の確保に関する法律」より、地域や職域における一次予防政策である特定健診・特定保健指導について学びます。				教科書第12章3を事前に読んでおくこと。配布資料を見直し、復習する。(4時間)				
9	公衆栄養マネジメント	公衆栄養プログラムの評価について学びます。				教科書第11章を事前に読んでおくこと。配布資料を見直し、復習する。(4時間)				
10	地域公衆栄養活動	わが国の公衆栄養全体計画と事業計画への展開について「健康日本21(二次)」を学びます。				教科書、参考資料を事前に読んでおくこと。配布資料を見直し、復習する。(4時間)				
11	地域公衆栄養活動	長野県の栄養・食生活の現状と課題、これからの対策について学びます。長野県健康増進課食育・栄養係課長補佐から直接講義をいただきます。				長野県HP健康増進から県栄養調査、食育活動を読み、予習する。授業配付資料を復習する。(4時間)				
12	地域公衆栄養活動	保健所の栄養・食生活の現状と課題、これからの対策について学びます。県保健福祉事務所管理栄養士から直接講義をいただきます。				事前に行政栄養士の業務指針、長野県内の配置を調べる。授業配付資料を見直し、復習。(4時間)				
13	地域公衆栄養活動	市町村の栄養・食生活の現状と課題、これからの対策について学びます。松本市健康づくり課管理栄養士から直接講義をいただきます。				松本市HPの公衆栄養活動を調べる。11、12、13回授業配付資料を見直し、違いを整理(4時間)				
14	地域公衆栄養活動	健康と栄養の情報収集と発信、これからの公衆栄養活動への期待、行政栄養士の活動について、国民健康・栄養調査の最新結果から考えます。				国民健康・栄養調査HPの最新結果を予習。公衆栄養活動の課題と取り組みを各自整理する。(4時間)				
15	地域公衆栄養活動まとめ	県及び市町村における公衆栄養活動の違いを理解し、行政栄養士の活動の姿や、地域における様々な公衆栄養活動について学びを深めます。				教科書第10章、行政栄養士の業務指針、外部講師の講義と併せて理解を深める。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「管理栄養士養成課程「栄養管理と生命科学シリーズ」公衆栄養の科学」大和田浩子/中山健夫著(理工図書) ISBN:978-4-8446-0790-8C3340(生協で購入してください。) 公衆栄養学 で使用したテキストです。				定期試験:80% レポート:20% S:授業内容を高度に理解し、わからないことを積極的に探求し、課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、授業でのわからないことを探求し、題に取り組み、やや難しい問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に着実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、授業で行った例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「公衆栄養学」田中平三、徳留信寛、伊達ちぐさ編(南江堂) ISBN:978-4-524-26166-6 他、必要に応じて適宜紹介します。				日頃から新聞・専門雑誌などを読んで関心を持ち、集団の健康・栄養改善のために、地域・社会でどんな取り組みが行われているのか、栄養情報が正しい情報であるかなど意識して取り組んで下さい。						

科目名	公衆栄養学実習		学年学期	3年後期	単位数	1	ナパリング	NC36027	研究室	S-04
担当者	平田 治美		必修選択	選択	科目種別	実習	ワイスア-	金曜日3限		
関連資格	管理栄養士、食品衛生				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要										
公衆栄養マネジメントの考え方や手法を理解し、必要に応じてデータを収集・分析・活用しながら、公衆栄養プログラムの計画・実施・評価をするための基礎的な手法を学びます。前半では「健康・栄養・食生活アセスメント」として、食事調査の実施、データ処理、結果のまとめ、評価までを実際に体験します。後半では「自治体における栄養改善事業の策定」を体験します。										
学修到達目標										
公衆栄養マネジメントの考え方や手法を理解し、必要に応じてデータを収集・分析・活用しながら、公衆栄養プログラムの計画・実施・評価をするための基礎的な力を身につけることを目指します。										
授業の進め方										
「公衆栄養学」と並行して進めます。教科書やプリント等を適宜利用しながら、基本的にグループに分かれて実習を行います。グループ演習後、ディスカッション・発表などを行う参加型の学習形態とします。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	実習の概要説明を行います。食事摂取量調査実施のため「食物摂取状況調査票」について配布し、調査実施期日、記入方法などについて説明します。				事前にシラバスを読んでおく。決められた3日間の食物摂取量調査を実施します。(1時間)				
2	健康・栄養・食生活アセスメント	実施してきた食物摂取状況調査票3日間の記入の確認をし、2人がペアとなり、お互いにその記入内容について聞き取り確認をします。調査票に記入された料理の分解について学び、実習します。				自分の食事摂取量調査の記録確認。料理の分解法を復習し、確実にできるようにする。(1時間)				
3	健康・栄養・食生活アセスメント	食物摂取状況調査票から摂取食品名及び重量を確定し、エクセル栄養君へ入力できるようにしていきます。食生活・生活習慣調査を実施し、回答を集計用のエクセル表へ入力を始めます。				重量測定した食事調査記録のエクセル栄養君への入力を終了して行く。(1時間)				
4	健康・栄養・食生活アセスメント	食生活・生活習慣調査の回答の集計表へ入力します。食物摂取状況についてエクセル栄養君から個人結果を出力し、アセスメントを行います。食事摂取基準2015の活用の仕方を学びます。				事前に食事摂取基準2015の集団への活用部分を復習。個人結果へアドバイス記入する。(1時間)				
5	健康・栄養・食生活アセスメント	食生活・生活習慣調査の集計方法を実習します。3年生全体の食事摂取量調査データを集団食事調査として分析、アセスメントするためのデータチェックを進めます。				エクセルソフトを活用した集計を復習し、グラフを2つ作成し、課題提出とする。(1時間)				
6	健康・栄養・食生活アセスメント	グループごと3年生の食事摂取量調査データの分析を行い、その分析結果をまとめた結果説明資料を作成します。				事前に食事摂取基準の集団への活用を再度復習する。グループで協力して分析を進める。(1時間)				
7	健康・栄養・食生活アセスメント	グループでの3年生の食事摂取量調査結果説明資料の作成、発表準備を行います。				グループ内で協力して分析し、説明資料作成、発表準備を進める。(1時間)				
8	健康・栄養・食生活アセスメント	3年生食事摂取量調査結果をグループごと、プレゼンテーションします。				グループ協力して説明資料の作成、発表原稿を作成し、発表に備える。(1時間)				
9	役立つ情報源、情報検索方法演習	保健に関する情報の検索方法について長野県及び周辺県を例に実習します。栄養改善事業策定演習の準備として、グループごと長野県内の市町村を選定し、その市町村の保健データの収集を開始します。				様々な情報の検索方法について、PCを使い地域診断ができるように復習しておく。(1時間)				
10	栄養改善事業策定	選定した市町村の保健データの収集、現在実施されている事業等について収集し、地域診断を行います。地域診断より健康課題を選定し、対象とする年代を選定します。				市町村の保健データ等の収集をグループで協力して進め、グループ内で共有しておく。(1時間)				
11	栄養改善事業策定	選定した課題について、プリシード・プロシードモデルを用いて関連要因を整理します。				プリシード・プロシードモデルを公衆栄養学教科書で復習。要因分析の方法を復習。(1時間)				
12	栄養改善事業策定	選定した課題を改善するための方策(教育アプローチ、環境アプローチ)について、グループで検討を進め、事業企画案の作成を開始します。				改善事業の案を提案できるよう検討。事業の要領等グループで分担して作成をすすめる。(1時間)				
13	栄養改善事業策定	検討された改善のための事業案の評価方法について検討し、具体的に表記する。				公衆栄養学の事業評価方法を復習し、企画した事業の評価方法を検討。発表準備(1時間)				
14	栄養改善事業策定	事業案のプレゼンテーション資料の作成を行い、グループ発表の準備をします。				グループ発表に向けて、資料作り発表PP作成に積極的に協力する。(1時間)				
15	栄養改善事業策定	グループごと検討された事業案について、プレゼンテーションを行います。				グループ発表に向けて役割分担し、スムーズに発表ができるように準備して行く。(1時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
「公衆栄養学実習」井上浩一、川野因、本田栄子編(建帛社) ISBN:978-4-7679-0468-9(生協で購入してください。)		課題:80% 受講態度:20% 受講態度:グループ活動への貢献度をみていきます。 S:公衆栄養活動をよく理解し、実習課題、グループ活動・発表に意欲的に取り組み、リーダーの役割を果たしている。 A:公衆栄養活動を理解し、実習課題、グループ活動・発表に積極的に取り組んでいる。 B:公衆栄養活動をおおよそ理解し、実習課題、グループ活動・発表に積極的に取り組んでいる。 C:公衆栄養活動について60%程度理解し、実習課題、グループ活動・発表に協力的に取り組んでいる。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「調理のためのベーシックデータ」(女子栄養大学出版) 「食品80キロカロリーガイドブック」(女子栄養大学出版) 「毎日の食事のカロリーガイド」(女子栄養大学出版)		PCを使用して検索や計算等を行うことが多くなります。グループに1台のノートPCの配置はありますが、自分のPCの使用が可能な学生は持参してください。グループ活動への積極的参加を望みます。								

科目名	給食計画論		学年学期	2年前期	単位数	1	ナパ`リング	NB26028	研究室	S-09
担当者	成瀬 祐子		必修選択	必修	科目種別	講義	オイスア-	月曜日1限		
関連資格	管理栄養士、栄養士、栄教一				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
わが国の健康・栄養・食生活の変化に伴う給食の役割と関係法規の変遷を知り、給食を運営するための業務の種類、それを実施するために必要な知識・技能を学習します。さらに、特定多数人に継続的に食事を提供する給食の運営計画、運営するための業務内容、施設・設備、諸経費、人材等と栄養・食事計画と献立の位置づけ、給食献立の作成に必要な技能などを学習します。										
学修到達目標										
給食の関連法規の理解、給食を運営するために必要な運営計画、業務内容、施設・設備、諸経費、人材、栄養・食事計画と献立の位置づけ等を理解することを目標とします。										
授業の進め方										
教科書を中心に講義を行います。必要に応じて資料を配布します。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	給食の概念	給食施設の意義・役割、給食の種類と特徴、給食の関連法規、給食施設における管理栄養士・栄養士の配置について講義します。				教科書を予習する。関連法規や管理栄養士・栄養士の配置について復習する。（4時間）				
2	給食の運営とマネジメント	給食運営業務の流れ、給食の運営とマネジメントについて講義します。				教科書を予習する。給食運営の流れやマネジメントの方法について復習する。（4時間）				
3	栄養・食事管理	栄養・食事管理とその評価、食事環境の整備について講義します。				教科書を予習する。栄養・食事管理、食事環境の整備について復習する。（4時間）				
4	献立管理	献立計画、献立について、各施設の献立、献立の評価について講義します。				教科書を予習する。献立計画、献立の意義等について復習する。（4時間）				
5	生産管理	給食における生産管理、大量調理の品質管理について講義します。				教科書を予習する。生産管理、品質管理について復習する。（4時間）				
6	品質管理	品質の概念、給食における品質管理、品質の評価について講義します。				教科書を予習する。給食における品質管理について復習する。（4時間）				
7	食材管理	給食における食材管理、発注・検収、食材費の評価について講義します。				教科書を予習する。食材管理、発注・検収、食材費評価について復習する。（4時間）				
8	衛生・安全管理	衛生・安全管理とその関連法規、評価、事故発生時の対応について講義します。				教科書を予習する。衛生安全管理、関連法規、事故発生時の対応を復習する。（4時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「管理栄養士養成テキストブック 給食経営管理論」片山直美 原正美著（柗みらい） ISBN:978-4-86015-439-4（生協で購入してください。）				定期試験：100% S:授業の内容を高度に理解するとともに、そこから発展して考えることができる。A:授業の内容を理解し、自分の言葉で説明できる。B:授業の内容をおおよそ理解できている。C:授業の内容の60%程度を理解できている。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
「日本人の食事摂取基準（2015年版）」（第一出版） ISBN：978-4-8041-1312-8 「食品成分表」（女子栄養大学出版部） ISBN：978-4-7895-1008-0				専門基礎科目の理解を基に講義します。他教科の復習もしっかりしておいてください。						

科目名	給食実務論		学年学期	2年前期	単位数	1	ナパ [®] リング	NB26029	研究室	S-09
担当者	成瀬 祐子		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日1限		
関連資格	管理栄養士、栄養士、栄養士一				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
給食運営業務の流れに沿って、演習形式で、栄養・食事計画、献立、その他給食運営に必要な帳票の作成を行いながら、給食運営に関わるために必要な知識・技術を習得します。										
学修到達目標										
栄養・食事計画の立案、献立作成、その他給食運営に必要な帳票の作成ができるようになることを目標とします。										
授業の進め方										
教科書とプリントを用いて、演習形式で授業を進めていきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	栄養計画の立案	対象者のアセスメントをもとに、栄養計画(給食と栄養目標量、栄養教育)を立案します。				給食と栄養目標量の作成の仕方、給食における栄養教育について復習する。(4時間)				
2	献立作成	献立の立て方の講義の後、実際に献立作成を行います。				立てた献立を実際に調理し、味や彩、量を確認する。(6時間)				
3	食品構成表の作成	食品構成表を作成します。				食品構成表の作成方法を復習する。構成表を用いた献立作成の準備をする。(4時間)				
4	食品構成表を用いた献立作成	食品構成表を用いた献立作成の方法および複数日の献立を作成するときの考え方の講義の後、実際に複数日の献立を構成表を用いて作成します。				立てた献立を実際に調理し、味や彩、量を確認する。(6時間)				
5	作業指示書、作業工程表の作成	作業指示書、作業工程表の作成方法の講義の後、各自の立てた献立を用いて作業指示書、作業工程表を作成します。				作業指示書、作業工程表を作成するポイントを復習する。(4時間)				
6	衛生・安全指示書の作成	衛生・安全指示書の作成方法の講義の後、各自の立てた献立を用いて衛生・安全指示書を作成します。				衛生・安全指示書を成するポイントを復習する。(3時間)				
7	発注書、日計表の作成	発注書、日計表の作成方法の講義の後、各自の立てた献立を用いて発注書および日計表を作成します。				献立に使用する食材の価格を調査する。発注書、日計表を作成するポイントを復習する。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「管理栄養士養成テキストブック 給食経営管理論」片山直美、原正美著(株みらい) ISBN:978-4-86015-439-4(生協で購入してください。) 「給食計画論」と同じテキストです 「給食のための基礎からの献立作成 大量調理の基本から評価まで」上地洋子・片山直美 他著(建帛社) ISBN:978-4-7679-0570-9(生協で購入してください。)				課題:100% S:給食実務および関連業務について高度に理解し、給食運営の計画が立てられる。また、帳票等の作成も問題なくできる。A:給食実務および関連業務について理解し、給食運営の計画が立てられる。また、帳票等の作成ができる。B:給食実務および関連業務についておおそ理解し、給食運営の計画が立てられる。帳票等の作成ができる。C:給食実務および関連業務について、60%程度理解し、給食運営の計画が何とか立てられる。帳票等の作成が何とかできる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「日本人の食事摂取基準(2015年版)」(第一出版) ISBN:978-4-8041-1312-8 「食品成分表」(女子栄養大学出版部) ISBN:978-4-7895-1008-0				専門基礎科目および給食計画論の理解をもとに授業を進めます。しっかりと復習をしたうえで受講してください。						

科目名	給食管理実習		学年学期	2年後期	単位数	1	ナパ'リング	NB26030	研究室	S-09
担当者	成瀬 祐子		必修選択	必修	科目種別	実習	オフィスア-	木曜日5限		
関連資格	管理栄養士、栄養士、フードコーディネーター、栄養教一				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
給食の運営に関する各管理業務を体験することにより、熟知した基礎的な知識・技術を総合し、応用力ならびに給食を運営管理できる能力を修得することを目的としています。給与栄養目標量および喫食者の嗜好をふまえた献立を立案します。そしてその献立を実際に130食提供する過程を通して、衛生管理、生産(調理)管理、サービス管理を実習します。また、食事の品質を高めるための調査・実測等も行い、「計画 実施 供食 評価」の一連の業務を実習します。										
学修到達目標										
給与栄養目標量および喫食者の嗜好などをふまえ給食の条件に応じた食品構成の立案、献立の作成ができること、給食の提供を計画・実施・評価ができること、設備条件および献立に応じたCCPの設定と管理ができることが目標です。										
授業の進め方										
給食の効果的な運営管理を行うために必要な大量調理に関する基礎知識を学習し、実際に130人分の給食の献立作成、調理、提供を行います。各回3コマ連続開講、1回あたり270分の実習です。本実習では、実習食費として約3000円が必要となります。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション、献立、各種帳票の作成	衛生・安全管理に基づいた給食管理実習室の使い方や、実習の進め方についてオリエンテーションを行います。その後、グループに分かれて各グループが提供する献立および各種帳票の作成を行います。				給食計画・実務論、特に衛生管理や献立作成を復習し、献立作成の準備をしてくる。(4時間)				
2	給食提供準備(1)	モデル献立を50食分調理することを通して、大量調理施設における生産管理、衛生・安全管理等を学び、大量調理機器の扱い方も学びます。				モデル献立の作業工程を、作業時間や衛生管理も含めしっかりとイメージしてくる。(1時間)				
3	給食提供準備(2)	グループ献立を試作することを通して、本作時の生産管理、運営管理、衛生・安全管理の検討を行います。				グループ献立を試作し、味等だけでなく、作業工程等もしっかりと確認してくる。(2時間)				
4	給食提供(1)	給食における栄養士業務を学びます。給食提供(1)~(6)は、各グループの役割を週ごとにローテーションするので、学ぶ順番はグループにより異なります。				給食提供の際栄養士がすべき内容を把握してくる。提供後は、課題を整理する。(2時間)				
5	給食提供(2)	実際に給食を提供することを通して、給食における作業管理を学びます。				提供献立の作業工程を、作業時間や衛生管理も含めしっかりとイメージしてくる。(1時間)				
6	給食提供(3)	実際に給食を提供することを通して、給食における衛生管理を学びます。				提供献立の作業工程をしっかりと確認するとともに、当日の各自の課題を決めてくる。(1時間)				
7	給食提供(4)	実際に給食を提供することを通して、給食に関する施設・設備管理を学びます。				提供献立の作業工程をしっかりと確認するとともに、当日の各自の課題を決めてくる。(1時間)				
8	給食提供(5)	給食を通して行う栄養教育を学びます。				提供献立に関する内容、さらにそこから栄養教育に発展させる内容について予習する。(1時間)				
9	給食提供(6)	帳票作成とその意義を学びます。				各種帳票の作成方法について予習する。(1時間)				
10	実習全体のまとめ、プレゼンテーション	各グループで本実習を通して学んだこと、次への課題等をまとめ、パワーポイントを使用して発表します。				本実習を通して学んだこと、次の実習に向けての課題等をまとめ、発表の準備を行う(2時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「給食マネジメント実習(第2版)」(医歯薬出版) ISBN:978-4-263-70728-9(生協で購入してください。)				受講態度:40% 課題:40% 定期試験:20% S:喫食対象に応じた献立作成がスムーズにでき、自分で工夫することもできる。給食運営および管理をよく理解し、自ら率先して運営することができる。 A:喫食対象に応じた献立作成がスムーズにでき、給食運営および管理を理解し、自ら運営することができる。B:喫食対象に応じた献立作成ができ、給食運営および管理を理解し、運営することができる。C:喫食対象に応じた献立作成が何とかでき、多少の助けがあれば給食を運営することができる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「大量調理」(学建書院) ISBN:978-4-7624-0872-4 「給食経営管理論」三好恵子、山部秀子、平澤マキ著(第一出版) ISBN:978-4-8041-1316-6				大量調理を行うためには、自主性、責任感、コミュニケーション能力が必要となります。本実習を通して、それらの能力も身に着けるよう積極的に取り組んでください。						

科目名	給食経営管理論			学年学期	2年後期	単位数	2	ナバリング	NB26031	研究室	S-09
担当者	成瀬 祐子			必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-	木曜日5限		
関連資格	管理栄養士、栄養士、栄養士一					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
給食には、特定多数の人々の健康状態および栄養状態の改善・維持・向上、QOLの向上を目標とした栄養・食事管理を効率的かつ効果的に継続していくことが求められています。これらを実施していくためのシステムおよびマネジメントについて、経営管理の理論に基づき学修してきます。											
学修到達目標											
特定多数の人々の健康状態および栄養状態の改善・維持・向上、QOLの向上を目標とした栄養・食事管理を効率的かつ効果的に継続して実施していくためのシステムおよびマネジメントについて、経営管理の理論に基づき理解することを目標とします。											
授業の進め方											
教科書を中心に講義を行います。必要に応じて資料を配布します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	施設・設備管理	給食施設・設備の基準と関連法規、機器、レイアウト、作業動線について講義します。					教科書を予習する。施設・設備の基準や関連法規について復習する。(4時間)				
2	経営管理(1)	経営管理の意義・目的、機能と展開について講義します。					教科書を予習する。経営管理の意義・目的、機能と展開について復習する。(4時間)				
3	経営管理(2)	経営組織、経営資源、経営戦略について講義します。					教科書を予習する。経営組織、経営資源、経営戦略について復習する。(4時間)				
4	マーケティング	マーケティングの意義・目的、機能、戦略、給食経営における活用について講義します。					教科書を予習する。マーケティングおよび給食経営への活用について復習する。(4時間)				
5	顧客管理	顧客管理の意義・目的、給食における顧客サービス、顧客満足度の把握と評価・意義について講義します。					教科書を予習する。顧客管理について復習する。(4時間)				
6	人事・労務管理	人事・労務管理の意義・目的、人事・労務管理の範囲、人材育成について講義します。					教科書を予習する。人事・労務管理について復習する。(4時間)				
7	給食運営の委託	委託給食の目的、形態および方法、関連法規について講義します。					教科書を予習する。委託給食の目的、形態、関連法規について復習する。(4時間)				
8	生産管理	給食における生産統制、新調理システムについて講義します。					教科書を予習する。給食における生産統制、新調理システムについて復習する。(4時間)				
9	原価管理	原価管理の意義・目的、給食における原価・会計管理、原価管理の評価について講義します。					教科書を予習する。給食における原価管理について復習する。(4時間)				
10	危機管理	危機管理の目的、災害・事故の種類と影響、危機管理対策について講義します。					教科書を予習する。給食における危機管理について復習する。(4時間)				
11	事務・情報管理	事務・情報管理の意義・目的、給食業務と事務・情報管理、事務・情報管理のIT化について講義します。					教科書を予習する。給食における事務・情報管理について復習する。(4時間)				
12	各種給食施設の運営の特徴(1)児童福祉施設、学校	児童福祉施設および学校給食の特徴、関連法規、運営・経営管理について講義します。					教科書を予習する。児童福祉施設および学校給食について復習する。(4時間)				
13	各種給食施設の運営の特徴(2)事業所、高齢者・介護施設	事業所および高齢者・介護施設給食の特徴、関連法規、運営・経営管理について講義します。					教科書を予習する。事業所および高齢者・介護施設給食について復習する。(4時間)				
14	各種給食施設の運営の特徴(3)医療施設、障害者福祉施設	医療施設および障害者福祉施設給食の特徴、関連法規、運営・経営管理について講義します。					教科書を予習する。医療施設および障害者福祉施設給食について復習する。(4時間)				
15	外食産業と給食のこれから	外食産業と給食のこれからの課題および管理栄養士の役割について講義します。					外食産業と給食の課題を分析し、解決方法を考える。(4時間)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
「管理栄養士養成テキストブック 給食経営管理論」片山直美、原正美著(柗みらい) ISBN:978-4-86015-439-4(生協で購入してください。)前期科目「給食計画論」と同じテキストです。 「給食のための基礎からの献立作成 大量調理の基本から評価まで」上地洋子・片山直美 他著(建帛社) ISBN:978-4-7679-0570-9(生協で購入してください。)前期科目「給食実務論」と同じテキストです。						出席レポート:10% 定期試験:90% S:授業の内容を高度に理解するとともに、そこから発展して考えることができる。A:授業の内容を理解し、自分の言葉で説明できる。B:授業の内容をおおよそ理解できている。C:授業の内容の60%程度を理解できている。					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「日本人の食事摂取基準(2015年版)」(第一出版) ISBN:978-4-8041-1312-8 「食品成分表」(女子栄養大学出版部) ISBN:978-4-7895-1008-0						前期科目の「給食計画論」「給食実務論」をよく復習したうえで受講するようにしてください。					

科目名	給食経営管理実習		学年学期	3年前期	単位数	1	ナパ`リング	NB36032	研究室	S-09
担当者	成瀬 祐子		必修選択	必修	科目種別	実習	オイスア-	月曜日1限		
関連資格	管理栄養士、栄養士、HACCP管理者、栄教一				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
給食管理実習等で学んだことをもとに、各施設を想定した給食提供を通じて、給食を経営管理の視点から学びます。管理栄養士が給食経営管理の分野で専門性を発揮するために必要な知識と技術を習得することを目的としています。各施設を想定した給食を提供することを通して、各施設に応じた食事の提供や生産管理の方法を実習し、さらに、組織・人事・労務管理、施設・設備管理、会計・原価管理についても学んでいきます。										
学修到達目標										
給食施設の種類の給食経営管理の特徴を理解し、運営計画を立てることができること、施設の種類による栄養・食事管理の特徴を理解し、食事を提供することができること、複数の食種の生産管理と品質管理ができること、施設における組織・人事・労務管理、施設・設備管理、会計・原価管理について理解することが目標です。										
授業の進め方										
各施設の給食を立案し実際に調理、提供することを通して、施設に合わせた給食の運営や、複数の献立の生産・品質管理、経営管理の方法を学びます。各回3コマ連続開講、1回あたり270分です。本実習では、実習食費として約5000円が必要となります。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション、献立作成	実習の進め方についてオリエンテーションを行います。その後、グループに分かれて、各グループが提供する献立作成を行います。				実習室の使い方、衛生管理、各施設の特徴について復習、献立作成の準備をしてくる。(4時間)				
2	給食提供準備(1)	献立、各種帳票、栄養指導媒体作成を行います。				各種帳票の意義や書き方について復習してくる(1時間)				
3	給食提供準備(2)	グループ献立の試作を行い、運営・経営管理の視点から献立の検討を行います。				グループ献立の試作を通して、味等だけでなく作業工程等もしっかりと確認してくる。(2時間)				
4	給食提供(1)事業所給食	給食における管理栄養士業務を学ぶ。給食提供(1)~(6)は、各グループの役割を週ごとにローテーションするので、学ぶ内容の順番はグループにより異なります。				提供献立の作業工程と、管理栄養士がすべき業務内容をしっかりと把握してくる。(2時間)				
5	給食提供(2)高齢者施設給食	実際に給食を提供することを通して、給食の運営管理を学びます。				提供献立の作業工程を、作業時間や衛生管理も含めしっかりとイメージしてくる。(1時間)				
6	給食提供(3)学校給食	実際に給食を提供することを通して、給食の経営管理を学びます。				提供献立の作業工程をイメージするとともに、提供にかかるコストについて考えてくる。(1時間)				
7	給食提供(4)病院給食	給食の運営全般に係る衛生管理を包括的に学びます。				提供献立の作業工程をイメージするとともに、衛生管理についてまとめてくる。(1時間)				
8	給食提供(5)保育所給食	給食を通して行う対象者に合わせた栄養教育を学びます。				提供献立の内容、さらにそこから栄養教育に発展させる内容について予習してくる。(1時間)				
9	給食提供(6)事業所給食	帳票作成とその意義、活用方法を学びます。				給食の経営管理に必要なことを復習してくる。(1時間)				
10	実習全体のまとめ、プレゼンテーション	各グループで本実習を通して学んだこと、次への課題等をまとめ、パワーポイントを使用して発表します。				本実習を通して学んだこと、次の実習に向けての課題等をまとめてくる。(2時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「給食マネジメント実習(第2版)」(医歯薬出版) ISBN:978-4-263-70728-9 2年後期科目「給食管理実習」と同じテキストです。				受講態度:40% 課題:40% 定期試験:20% S:施設に応じた献立作成がスムーズにでき、工夫することもできる。経営管理をよく理解し、自ら率先して運営計画を立て、運営することができる。A:施設に応じた献立作成がスムーズにでき、経営管理を理解し、自ら運営計画を立て、運営することができる。B:施設に応じた献立作成ができ、経営管理を理解し、運営計画を立て、運営することができる。C:施設に応じた献立作成が何とかでき、多少の助けがあれば運営計画を立て、運営することができる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「大量調理」(学建書院) ISBN:978-4-7624-0872-4 「施設別給食献立集」(建帛社) ISBN:978-4-7679-0349-1 「給食のための基礎からの献立作成」(建帛社) ISBN:978-4-7679-0570-9				大量調理を行うためには、自主性、責任感、コミュニケーション能力が必要となります。本実習を通して、それらの能力も身に着けるよう積極的に取り組んでください。						

科目名	臨地実習（給食の運営）		学年学期	3年前期	単位数	1	ナパリング	NB36033	研究室	S-09
担当者	成瀬 祐子		必修選択	必修	科目種別	実習	オイスカー	月曜日1限		
関連資格	管理栄養士、栄養士、栄教一				履修条件	履修の手引きに明記されている「臨地実習」のために修得しておかなければならない				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学生年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
実際に給食を提供している施設での実習を通して、それまで学内で学んだ知識や技術を統合し、給食運営の一連の業務の実践的な知識と技術の習得を目指します。										
学修到達目標										
献立作成から栄養・食事管理、提供までの一連の業務に必要な知識と技術を習得する、衛生管理が実際の給食施設でどのように実施されているか理解する、給食運営を行うための施設・設備管理および作業領域について理解する、施設の給食が、対象者の特性に応じて実施され、給食の運営に際して考慮すべき点が多岐にわたっていることを理解することが目標です。										
授業の進め方										
実際に給食を提供している事業所、福祉施設、学校給食センター等の施設で、実際の業務を体験しながら学びます。実習教科担当教員との連携・調整体制を保った上で、施設の管理栄養士が直接指導を行います。実習期間中は教員による巡視指導もあります。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	施設の栄養計画（1）	実習施設の栄養計画がどのように行われているかを、見学・体験する中で学んでいきます。				実習施設や喫食者の特徴をよく理解してから臨む。（1時間）				
2	施設の栄養計画（2）	実習施設で行われている栄養計画について見学・体験したことをまとめ、学びを深めていきます。				実習施設や喫食者の特徴をよく理解してから臨む。（1時間）				
3	食材管理、調理、作業管理（1）	実習施設の厨房での業務を見学・体験する中で、特に食材管理について学んでいきます。				食材管理、調理、作業管理について復習しておく。（1時間）				
4	食材管理、調理、作業管理（2）	実習施設の厨房での業務を見学・体験する中で、特に調理作業について学んでいきます。				食材管理、調理、作業管理について復習しておく。（1時間）				
5	食材管理、調理、作業管理（3）	実習施設の厨房での作業を見学・体験する中で、特に作業管理について学んでいきます。				食材管理、調理、作業管理について復習しておく。（1時間）				
6	献立作成（1）	実習施設の見学・体験を通して、実習施設で提供する献立にはどのような工夫や配慮が必要かを学びます。				献立作成の準備を行う。（30分）				
7	献立作成（2）	実習施設に沿った献立を作成します。				作成した献立の試作を行う。（1.5時間）				
8	献立作成（3）	作成した献立を実習施設の管理栄養士に評価していただき、実際に施設で提供できるような献立に修正していきます。				修正した献立の試作を行う。（1時間）				
9	衛生・危機管理（1）	実習施設の厨房での作業を見学・体験する中で、厨房での衛生・危機管理がどのように行われているかを学んでいきます。				衛生・危機管理についてよく復習してから臨む。（1時間）				
10	衛生・危機管理（2）	実習施設全体の衛生・危機管理がどのように行われているかを、見学・体験する中で学んでいきます。				衛生・危機管理についてよく復習してから臨む。（1時間）				
11	衛生・危機管理（3）	実習施設の衛生・危機管理が確実に、なお効率よく行われるための工夫を、見学・体験をする中で学んでいきます。				衛生・危機管理についてよく復習してから臨む。（1時間）				
12	帳票管理	実習施設の帳票管理がどのように行われているかを、見学・体験をする中で学んでいきます。				帳票管理についてよく復習してから臨む。（1時間）				
13	給食の評価方法	残食調査、嗜好調査など、実習施設の給食の評価がどのように行われているかを、見学・体験する中で学んでいきます。				給食の評価方法についてよく復習してから臨む。（1時間）				
14	給食の個別対応	実習施設ではどのように個別対応が行われているかを、見学・体験する中で学んでいきます。				給食の個別対応について復習してから臨む。（1時間）				
15	他職種との連携	実習施設の管理栄養士・栄養士がどのように他職種と連携して対象者の栄養管理および給食提供を行っているかを見学し、学びます。				実習施設の他職種について予習する。（1時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準						
事前指導時に紹介します。				受講態度：30% 課題：70% S:実習施設の特徴をよく理解し、給食運営について多角的に理解できた。実習期間中常に積極的に学ぼうとする姿勢が見られた。A:実習施設の特徴をよく理解し、給食運営について理解できた。実習期間中常に積極的に学ぼうとする姿勢が見られた。B:実習施設の特徴を理解し、給食運営について理解できた。実習期間中常に学ぼうとする姿勢が見られた。C:実習施設の特徴を理解し、給食運営についておおそ理解できた。実習期間中は学ぶ姿勢が見られた。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
「臨地・郊外実習の実際」（（社）日本栄養士会（社）全国栄養士養成所） ISBN：なし（（社）日本栄養士会より購入できます） 「臨地・郊外実習のてびき」（化学同人） ISBN：978-4-7598-1041-7				臨地実習は実習施設により日程や学ぶ内容が異なります。各自で臨地実習計画を作成し、担当教員との連携を密に保ってください。臨地実習の事前事後指導を必ず受講してください。						

科目名	臨地実習（給食経営管理論・臨床栄養学）		学年学期	4年前期	単位数	2	ナパリング	NB46034	研究室	S-11
担当者	藤岡 由美子・成瀬 祐子		必修選択	選択	科目種別	実習	オフィスアワー	火曜日2限		
関連資格	管理栄養士			履修条件	履修の手引きに明記されている「臨地実習」のために修得しておかなければ					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
臨地実習は、学内の講義、実験・実習・演習で習得した成果を社会で活かす実践トレーニングの第一歩です。管理栄養士が活躍する現場で実際に業務や関連職種と協働する機会を体験します。										
学修到達目標										
1.管理栄養士の職務、社会的役割および責任に関して報告書を作成し説明できる、2.管理栄養士の職務に基づいて自らの課題やその改善点等を文書で提案できる、3.管理栄養士と関連職種との相互関係を職務内容と関連付けて考察できる、4.管理栄養士の職務や専門性について発表を行い討議できる、5.発表会や討議を通じて、考え方や知識の幅を広げることができることを目指します。										
授業の進め方										
学内事前学習では、共通学習事項（管理栄養士の使命や役割、関連職種との関わり～業務日誌、報告書等の基本事項）を演習する。学内事後学習では、実習施設ごとの個人面談とガイダンス形式の報告会を開催する。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容						事前事後学修		
1	事前学習：共通学習事項1	管理栄養士の使命や役割、協働する関連職種との関わりを学習します。						課題のまとめ（1時間）		
2	事前学習：共通学習事項2	協働する関連職種を例挙し、それぞれの役割を学習します。						課題のまとめ（1時間）		
3	事前学習：共通学習事項3	対象者の基本的権利、インフォームド・コンセント、個人情報の保護（守秘義務）を学習します。						課題のまとめ（1時間）		
4	事前学習：共通学習事項4	対象者の接遇に際し配慮しなければならない注意点を学習します。						課題のまとめ（1時間）		
5	事前学習：共通学習事項5	社会人として適切な身だしなみ、言葉遣いや礼儀について学習します。						課題のまとめ（1時間）		
6	事前学習：共通学習事項6	HACCPシステム等に基づく大量調理の理論と実際に食事が提供されるまでの一連のプロセスを理解し、対象者の特性に応じた献立作成について学習します。						課題のまとめ（1時間）		
7	事前学習：共通学習事項7	業務日誌・報告書作成等の基本事項について理解します。						課題のまとめ（1時間）		
8	臨地実習：臨床栄養1	経口栄養、経管栄養、経静脈栄養（末梢補給・中心静脈補給）の適応症例、使用される代表的な栄養剤等に関する基本事項を学習します。						日誌と課題のまとめ（1時間）		
9	臨地実習：臨床栄養2	術前・術後或いは慢性疾患における栄養管理の基本事項を学習します。						日誌と課題のまとめ（1時間）		
10	臨地実習：臨床栄養3	患者の栄養評価・栄養診断の特徴・意義について学習します。						日誌と課題のまとめ（1時間）		
11	臨地実習：臨床栄養4	チーム医療における関連職種、および管理栄養士の役割を学習します。						日誌と課題のまとめ（1時間）		
12	臨地実習：臨床栄養5	入院患者および外来患者の栄養指導データベース作成、POSによる栄養指導記録の作成の基礎を学習します。						日誌と課題のまとめ（1時間）		
13	臨地実習：臨床栄養6	代表的な栄養・代謝・内分泌疾患、消化器疾患、循環器疾患、腎・尿路系疾患について食事療法の基本事項をふまえた献立を作成します。						日誌と課題のまとめ（1時間）		
14	臨地実習：臨床栄養7	栄養管理に関わる基本的臨床検査データの読み取りを学習します。						日誌と課題のまとめ（1時間）		
15	臨地実習：臨床栄養8	医療施設における治療食の意義・役割を学習します。						日誌と課題のまとめ（1時間）		
16	臨地実習：臨床栄養9	対象者の心身の特徴に基づいた食事介助の基本を学習します。						日誌と課題のまとめ（1時間）		
17	臨地実習：給食経営管理1	利用者の状況に対応した給食サービスの意義・役割を学習します。						日誌と課題のまとめ（1時間）		
18	臨地実習：給食経営管理2	調理従事者への衛生教育の重要性について学習します。						日誌と課題のまとめ（1時間）		

授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。			
回	テーマ	内容	事前事後学修
19	臨地実習：給食経営管理3	組織・人事・労務管理について学習します。	日誌と課題のまとめ（1時間）
20	臨地実習：給食経営管理4	施設・設備管理について学習します。	日誌と課題のまとめ（1時間）
21	臨地実習：給食経営管理5	食材管理、生産管理について学習します。	日誌と課題のまとめ（1時間）
22	臨地実習：給食経営管理6	会計・原価管理について学習します。	日誌と課題のまとめ（1時間）
23	臨地実習：給食経営管理7	利用者の状況に応じた献立作成、調理、盛りつけを行います。	日誌と課題のまとめ（1時間）
24	事後学習1	実習施設毎に個人面談を行います。	課題のまとめ（1時間）
25	事後学習2	管理栄養士の職務、社会的役割及び責任に関する報告書を作成します。	課題のまとめ（1時間）
26	事後学習3	管理栄養士の職務に基づいた自らの課題や改善点を提案します。	課題のまとめ（1時間）
27	事後学習4	管理栄養士と関連職種との相互関係を考察します。	課題のまとめ（1時間）
28	事後学習5：報告会準備	管理栄養士の職務や専門性について発表や討議する準備を行います。	発表準備（1時間）
29	事後学習6：報告会	報告会での発表や討議を通して、考え方や知識の幅を拡張します。	発表準備（1時間）
30	事後学習7：総括	臨地実習後の課題を設定し、問題点や解決方法を文書化します。	実習ノートのまとめ（1時間）
テキスト		成績評価の方法・基準	
「臨地実習ノート」藤岡由美子他著藤岡由美子他編（松本大学）（講義にて配布します。） 「わかりやすい疾患別栄養ケア・マネジメント 献立から指導まで」藤岡由美子他著（学建書院） ISBN:978-4-7624-0885-4（生協で購入してください。）		課題：100% S：自らの課題やその改善点を文書で提案でき発表や討議が90%以上できる A：自らの課題やその改善点を文書で提案でき発表や討議が80%以上できる B：自らの課題やその改善点を文書で提案でき発表や討議が70%以上できる C：自らの課題やその改善点を文書で提案でき発表や討議が60%以上できる	
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）	
「糖尿病食事療法のための食品交換表第7版」日本糖尿病学会著日本糖尿病学会編（文光堂） ISBN：978-4-8306-6046-7 「腎臓病交換表第9版治療食の基準」黒川清著中尾俊之他編（医歯薬出版）		事前事後指導では、到達目標の各項目についての主観的評価（自己評価）と客観的評価（確認テスト）を行います。	

科目名	臨地実習 (公衆栄養学)		学年学期	4年後期	単位数	1	ナパリング	NB46035	研究室	S-04
担当者	平田 治美		必修選択	選択	科目種別	実習	オフィスアワー	金曜日3限		
関連資格	管理栄養士				履修条件	履修の手引きに明記されている「臨地実習」のために修得しておかなければならない				
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要										
地域保健・栄養活動の要となる県保健福祉事務所(保健所)や市町村保健センター等において、地域住民の健康の保持増進のために実施されているポピュレーションアプローチやハイリスクアプローチの実践について学びます。また、各種法令や地域のニーズに基づき多様な栄養改善事業が実施されていることを学ぶとともに、様々な職種との連携、人的資源の開発・育成の実践について体験的に学びます。										
学修到達目標										
県保健福祉事務所(保健所)及び市町村での実際の公衆栄養活動を体験的に学ぶことで、地域における栄養改善事業の計画・実施・評価の総合的なマネジメント能力を習得します。										
授業の進め方										
学内での公衆栄養学及び実習の授業及び事前指導を基に、保健所、市町村保健センター等において、実際の業務を体験しながら学びます。担当教員と連携・調整の上、実習先管理栄養士からの指導を受けます。実習終了後は実習内容の共有のため報告会を行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	事前指導 オリエンテーション、心構え	実習先を決定し、臨地実習の目的、内容、実習前の事前学修、心構え、書類等について説明します。実習先の保健所(保健福祉事務所)、市町村行政栄養士の業務の違いを理解できるように説明します。				事前にシラバスの確認、行政栄養士業務指針を読み、実習先の業務の理解を進めておく。(1時間)				
2	事前指導 実習先について	自己紹介書を完成します。実習先の地域診断を行い、個人の実習課題の設定を行います。				事前に自己紹介書を下書きし、実習先の地域診断を行う。個人課題シートを完成。(1時間)				
3	事前指導 地域診断	実習先の地域診断結果はグループで共有し、完成し、グループ課題の設定をします。実習先との事前打ち合わせ日程の調整、行き方、持ち物等の確認をします。				事前に地域診断を完成。グループ課題、事前準備等グループ内で確実に確認し合う。(1時間)				
4	事前指導 事前準備の確認	実習課題シートの作成を確認します。実習先に応じた準備(検便など)について確認します。事後指導、報告会について説明します。				実習課題シートの完成、準備事項を各自確認する。グループごと日程等を最終確認する。(1時間)				
5	事前指導 事前打ち合わせ	実習先に出かけ、実習施設の管理栄養士と事前打ち合わせを行います。				事前打合せの確認を確実に進行。打合せ後、内容を教員に報告、課題の準備を開始する。(1時間)				
6	事前指導	直前ガイダンスとして、心構え、必要な書類、服装、髪型、態度などについて最終確認を行います。				実習ノートのシートの記入作成を完了し、グループ課題の取組みを協力してすすめる。(1時間)				
7	実習 実習日1日	実習先オリエンテーション、実習先保健福祉事務所の概要、県行政栄養士の業務について学びます。				体調等を整えて臨むこと。実習終了後、1日を振り返り、わからないことは調べる。(1時間)				
8	実習 実習日2日	保健福祉事務所管内の市町村の概要と市町村行政栄養士の活動について学びます。設定した個人課題、グループ課題の解決について、保健福祉事務所管理栄養士と相談して、取り組みを開始します。				実習内容を確認して臨むこと。実習終了後、1日を振り返り、わからないことは調べる。(1時間)				
9	実習 実習日3日	保健福祉事務所管内市町村へ出向き、市町村管理栄養士の業務について、具体的事業(乳児健診、教室など)の見学等を通して学びます。				実習内容を確認して臨むこと。実習終了後、1日を振り返り、わからないことは調べる。(1時間)				
10	実習 実習4日	保健福祉事務所管内市町村へ出向き、市町村管理栄養士の業務について、具体的事業(乳児健診、教室など)の見学等を通して学びます。				実習内容を確認して臨むこと。実習終了後、1日を振り返り、わからないことは調べる。(1時間)				
11	実習 実習5日	保健福祉事務所開催の研修会(特定給食施設従事者研修会、食生活改善推進員育成研修など)開催の準備を経験し、研修会に参加し、管理栄養士の業務の実践を学びます。実習のまとめをします。				最終日提出書類に不備がないように準備する。実習終了後、実習日程・内容を整理する。(1時間)				
12	事後指導	報告会開催、実習ノート等のまとめについて、スケジュールを説明します。報告会での報告内容について実習先ごとに決め、報告会に向けての準備を始めます。				グループで報告したい事業をまとめて提出。報告内容決定後、協力して準備開始する。(1時間)				
13	事後指導 報告会準備1	報告会発表の内容、発表用スライドについて、教員と相談、調整をします。報告会準備について実行委員を決め、報告会運営の役割を決めます。				グループごと協力して報告内容を整理。教員と相談調整後、報告用スライド作成を開始。(1時間)				
14	事後指導 報告会準備2	報告会発表用スライドの作成、発表原稿の作成をすすめ、発表の模擬練習をします。報告会抄録へのスライドを完成させます。				グループでスライド、報告原稿を協力して作成する。報告会抄録スライドを期日に提出。(1時間)				
15	事後指導 報告会	報告会当日、実行委員の運営により、実習グループごとプレゼンテーションを行います。実習先指導管理栄養士の参加を得て、助言をいただきます。				グループの報告の練習等報告会準備へ施的に協力。報告会后、実習ノートを整理提出。(1時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
「臨地実習ノート」		出席レポート:50% 実技:50% 出席レポート:実習ノートの地域診断、日誌、課題の記入状況 実技:実習先指導者の評価及び自己評価を勘案、併せて報告発表への協力状況、貢献度 S:実習の事前・事後、実習中の評価が特に優れている。 A:実習の事前・事後、実習中の評価が優れている。 B:実習の事前・事後、実習中の評価が良好である。 C:実習の事前・事後、実習中の評価が普通である。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「臨地・校外学習の手引き」(化学同心)		現場での実習期間は事前打ち合わせと実習5日間です。学内での事前・事後学習、報告会の運営、プレゼンテーションも含めて実践力を養えるよう、主体的に取り組んでください。								

科目名	臨地実習（臨床栄養学）		学年学期	4年後期	単位数	1	ナパリング	NB46036	研究室	S-11
担当者	藤岡 由美子		必修選択	選択	科目種別	実習	オフィスアワー	火曜日2限		
関連資格	管理栄養士				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
管理栄養士は栄養サポートチーム（NST）において中心的な役割を担い、糖尿病療養指導及び透析予防、摂食・嚥下リハビリテーション、呼吸器ケア、緩和ケア、褥瘡管理、感染症対策などのチーム医療において他職種と連携しながら患者の栄養状態を改善し、疾病の治療に貢献することを期待されています。チーム医療における管理栄養士及び管理栄養士と協働する関連職種の業務と役割、栄養管理の質の改善を目指して標準化された栄養ケアプロセスを学習します。										
学修到達目標										
1. 疾患態時の体内代謝・生理的・病理学的所見に基づいて栄養ケアプロセスの必要性を理解し説明できる、2. 症例の栄養評価、栄養診断、栄養介入、栄養モニタリング・評価、関連職種との連携について理解し説明できることを目指します。										
授業の進め方										
管理栄養士の専門性と社会的役割や責任を高めることが期待されているチーム医療における栄養ケアプロセスについて、実際の症例・事例を通して習得します。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	チーム医療1	チーム医療における管理栄養士の役割を学習します。				日誌と課題のまとめ（1時間）				
2	チーム医療2	チーム医療における医師の役割と管理栄養士との連携を学習します。				日誌と課題のまとめ（1時間）				
3	チーム医療3	チーム医療における看護師の役割と管理栄養士との連携を学習します。				日誌と課題のまとめ（1時間）				
4	チーム医療4	チーム医療における薬剤師の役割と管理栄養士との連携を学習します。				日誌と課題のまとめ（1時間）				
5	チーム医療5	チーム医療におけるコメディカルの役割と管理栄養士との連携を学習します。				日誌と課題のまとめ（1時間）				
6	栄養ケアプロセス1	糖尿病療養指導における栄養ケアプロセスを学習します。				日誌と課題のまとめ（1時間）				
7	栄養ケアプロセス2	糖尿病透析予防における栄養ケアプロセスを学習します。				日誌と課題のまとめ（1時間）				
8	栄養ケアプロセス3	摂食・嚥下リハビリテーションにおける栄養ケアプロセスを学習します。				日誌と課題のまとめ（1時間）				
9	栄養ケアプロセス4	呼吸器ケアにおける栄養ケアプロセスを学習します。				日誌と課題のまとめ（1時間）				
10	栄養ケアプロセス5	緩和ケアにおける栄養ケアプロセスを学習します。				日誌と課題のまとめ（1時間）				
11	栄養ケアプロセス6	褥瘡管理における栄養ケアプロセスを学習します。				日誌と課題のまとめ（1時間）				
12	栄養ケアプロセス7	感染症対策における栄養ケアプロセスを学習します。				日誌と課題のまとめ（1時間）				
13	総括1	実習施設毎に個人面談を行います。				報告書作成（1時間）				
14	総括2	臨地実習報告会で発表・討議を行います。				報告会準備（1時間）				
15	総括3	臨地実習報告書を作成します。				実習ノートのまとめ（1時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「臨地実習ノート」藤岡 由美子他著（松本大学）（講義にて配布します。） 「臨床栄養学実習」藤岡由美子他著塚原丘美他編（医歯薬出版）（別途、指示します。） 9月刊行予定のため、ISBNを記載しておりません。 「わかりやすい疾患別栄養ケアマネジメント - 献立から指導まで - 」藤岡由美子他著（学建書院） ISBN:978-4-7624-0885-4				課題：100% S：自らの課題やその改善点を文書で提案でき発表や討議が90%以上できる A：自らの課題やその改善点を文書で提案でき発表や討議が80%以上できる B：自らの課題やその改善点を文書で提案でき発表や討議が70%以上できる C：自らの課題やその改善点を文書で提案でき発表や討議が60%以上できる						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
「国際標準化のための栄養ケアプロセス用語マニュアル」日本栄養士会著（第一出版） ISBN：978-4-8041-1270-1				管理栄養士国家試験の受験資格を取得するためには、臨地実習（公衆栄養学）と臨地実習（臨床栄養学）の何れかを選択します。将来医療現場で活躍することを想定し自らの課題に対して積極的に取組む方の履修を希望します。						

科目名	総合栄養学演習			学年学期	3年前期	単位数	1	ナパリング	NL36037	研究室	S-08
担当者	沖嶋 直子			必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー	水曜日3限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
1年次に履修した基礎栄養学について、関連する科目との関わりも含めてさらに深く学び、管理栄養士として必要とされる知識の定着を目的としています。											
学修到達目標											
管理栄養士として働く上で必要な知識として、管理栄養士国家試験に合格できるレベルの栄養学の知識がつく事を学修到達目標としています。											
授業の進め方											
課題を何も見ず解く、教科書等を見て解きなおす、講義担当者による解説を繰り返します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	受講ガイダンス	事前事後学習など、効果の高い受講方法について説明します。					基礎栄養学の復習をしてきて下さい。(1時間)				
2	栄養・栄養素	栄養と栄養素の定義、栄養素の過不足による疾患について学びます。					配布プリントを指示通りに予習してきて下さい。(1時間)				
3	食欲と摂食調節	脳やホルモン、生理活性物質による、食欲と摂食の調節について学びます。					配布プリントを指示通りに予習してきて下さい。(1時間)				
4	栄養素の消化吸收	三大栄養素の消化・吸収およびビタミン、無機質の吸収の特性について学びます。					配布プリントを指示通りに予習してきて下さい。(1時間)				
5	糖質の栄養・代謝	糖質の構造、機能、代謝について学びます。					配布プリントを指示通りに予習してきて下さい。(1時間)				
6	糖質の栄養・代謝	糖質の構造、機能、代謝について学びます。					配布プリントを指示通りに予習してきて下さい。(1時間)				
7	脂質の栄養・代謝	脂質の構造、機能、代謝について学びます。					配布プリントを指示通りに予習してきて下さい。(1時間)				
8	脂質の栄養・代謝	脂質の構造、機能、代謝について学びます。					配布プリントを指示通りに予習してきて下さい。(1時間)				
9	タンパク質の栄養・代謝	タンパク質の構造、機能、代謝について学びます。					配布プリントを指示通りに予習してきて下さい。(1時間)				
10	タンパク質の栄養・代謝	タンパク質の構造、機能、代謝について学びます。					配布プリントを指示通りに予習してきて下さい。(1時間)				
11	ビタミンの栄養	ビタミンの構造と機能、体内利用について学びます。					配布プリントを指示通りに予習してきて下さい。(1時間)				
12	無機質の栄養	無機質の構造と機能、体内利用について学びます。					配布プリントを指示通りに予習してきて下さい。(1時間)				
13	水・電解質代謝	水と電解質の体内分布、代謝、水分量やpHの調節について学びます。					配布プリントを指示通りに予習してきて下さい。(1時間)				
14	エネルギー代謝	エネルギーの産生、ATP、基礎代謝、活動エネルギー消費について学びます。					配布プリントを指示通りに予習してきて下さい。(1時間)				
15	遺伝子と栄養	儉約遺伝子、栄養素の利用と遺伝子多型について学びます。					配布プリントを指示通りに予習してきて下さい。(1時間)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
「栄養科学イラストレイテッド演習版 基礎栄養学ノート 改定第2版」田地陽一編(羊土社) ISBN:978-4-7581-0891-1(生協で購入してください。) その他の講義資料と復習の教材は、その都度配布します。						定期試験:100% 管理栄養士として勤務できるレベルに達している者をA、そのうち特に優秀な者をS、栄養士として勤務できるレベルに達している者をB、栄養士としても必要な知識が不足している者をC、そのうち特に知識が不足しており、栄養士としての勤務も困難と判定されるものをDとします。					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「健康・栄養科学シリーズ 基礎栄養学」奥恒行・柴田克己編(南江堂) これ以外にも「基礎栄養学」の教科書を参考にすると良い。国家試験対策の参考書は絶対に使用しないこと。						管理栄養士として働く事を希望する学生は必ず受講して下さい。演習中に指示された事は国家試験に合格し、管理栄養士として働く際に必要な知識を身に付けるためのものです。必ず実施・実践して下さい。					

科目名	総合栄養学演習			学年学期	3年通年	単位数	1	ナパリング	NL36038	研究室	
担当者	各教員			必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー			
関連資格	管理栄養士				履修条件		(臨地実習事前事後指導を含みます)				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
専門基礎科目、専門科目の講義・実習で学んできた内容を系統的に整理し、体系立てて理解することを目的に、演習形式で授業を進めていきます。臨地実習の事前事後指導も行います。											
学修到達目標											
専門基礎科目、専門科目で学んできた内容を横断的に理解できることが目標です。具体的には管理栄養士国家試験問題の約6割以上は正解できる程度の理解と、他の人に対して説明できるようになることを目指します。											
授業の進め方											
各教科担当の教員がオムニバス形式で講義を担当します。各回、理解度の確認テスト(小テスト)の問題を解き、その問題の解説を中心とした講義を行います。講義では必要に応じて資料を配付します。また、臨地実習の事前事後指導も行います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	臨地実習 事前【臨地実習について】	臨地実習の目的、学ぶこと、実習の進め方、心構えなどを説明します。					関連科目の復習(1時間)				
2	臨地実習 事前【実習施設について】	実習施設の種類(高齢者施設、保育所、学校、事業所)およびそこで提供される給食の特徴について講義します。					各施設の特徴を予習、復習する(1時間)				
3	臨地実習 事前【課題について】	実習中の課題設定の方法、および課題の進め方について説明します。					実習中に学ぶ課題を決め、その進め方を考える(1時間)				
4	臨地実習 事前【マナー講座】	実習に必要な社会人としてのマナーについて学びます。					マナーについて予習する。まだできていなかったことを身に付けられるよう復習する(1時間)				
5	臨地実習 事前【高齢者施設の給食について】	高齢者施設の管理栄養士を講師に招き、実際の施設での給食提供の様子や工夫について学びます。					高齢者施設について予習する。講義の内容をまとめる(1時間)				
6	臨地実習 事前【高齢者の嚥下、食事介助について】	高齢者施設の言語聴覚士を講師に招き、高齢者の嚥下について、また食事介助について学びます。					高齢者の嚥下について予習する。講義の内容をまとめる(1時間)				
7	臨地実習 事前【臨地実習報告会への参加】	臨地実習を経験した4年生から実習で学んだことや体験したことなどを聞き、臨地実習に向けての必要な準備等を整理します。					事前に実習に関する疑問等を整理する。今後の実習への準備について整理する(1時間)				
8	臨地実習 事前【個別面談】	個別に面談を行い、事前訪問の練習および実習で学んでくることが課題について確認を行います。					マナーの復習。個人課題等も説明できるようにしておく。面談で指摘されたことの改善(1時間)				
9	臨地実習 事前【事前訪問】	実習施設を訪問し、実習の進め方や課題について打ち合わせを行います。					マナーの復習、打ち合わせ内容の整理。打ち合わせに基づいて実習の準備を進める(1時間)				
10	食べ物と健康(1)	食べ物と健康分野について、問題を解いた後、解説を中心とした講義、理解度を確認する小テストを行います。					食べ物と健康分野の講義、実験・実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。(1時間)				
11	食べ物と健康(2)	食べ物と健康分野について、問題を解いた後、解説を中心とした講義、理解度を確認する小テストを行います。					食べ物と健康分野の講義、実験・実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。(1時間)				
12	食べ物と健康(3)	食べ物と健康分野について、問題を解いた後、解説を中心とした講義、理解度を確認する小テストを行います。					食べ物と健康分野の講義、実験・実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。(1時間)				
13	食べ物と健康(4)	食べ物と健康分野について、問題を解いた後、解説を中心とした講義、理解度を確認する小テストを行います。					食べ物と健康分野の講義、実験・実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。(1時間)				
14	社会環境と健康	社会環境と健康分野について、問題を解いた後、解説を中心とした講義、理解度を確認する小テストを行います。					社会環境と健康分野の講義、実験・実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。(1時間)				
15	臨地実習 事後【事後面談】	個別に面談を行い、報告書に基づいて実習で学んできたこと、気づいたことなどの確認を行います。					報告書の作成(1時間)				
16	臨地実習 事後【総括、報告会について】	全体で臨地実習の総括を行います。報告会に使用するパワーポイントの作成方法、発表方法等の説明を行います。					実習内容のまとめ。パワーポイントの作成(1時間)				
17	臨地実習 事後【報告会練習(個別)】	個別に時間を設定し、報告会の練習を行います。					報告会の練習(1時間)				
18	臨地実習 事後【報告会】	小グループに分かれて、一人一人がパワーポイントを使用して、実習施設のことや学んだこと、今後の課題等を報告します。					報告会の練習。報告会で学んだことをまとめる(1時間)				

授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。			
回	テーマ	内容	事前事後学修
19	臨地実習 事後【報告会を終えて】	事前指導、実習、報告会で学んだことを振り返り、今後の各自の課題を整理します。	今後の課題とその進め方を考える（1時間）
20	臨地実習 事前【臨地実習について】	臨地実習の目的、学ぶこと、実習の進め方、心構えなどを説明します。	関連科目の復習（1時間）
21	臨地実習 事前【行政管理栄養士について】	行政の管理栄養士を講師に招き、行政の実際の業務について学びます。	行政の業務について予習する。講義の内容をまとめる（1時間）
22	人体の構造と機能（1）	人体の構造と機能の分野について、問題を解いた後、解説を中心とした講義、理解度を確認する小テストを行います。	生化学で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。（1時間）
23	人体の構造と機能（2）	人体の構造と機能の分野について、問題を解いた後、解説を中心とした講義、理解度を確認する小テストを行います。	解剖学、生理学、病理学、微生物学、臨床医学で学んだことをよく復習してから講義に臨む（1時間）
24	人体の構造と機能（3）	人体の構造と機能の分野について、問題を解いた後、解説を中心とした講義、理解度を確認する小テストを行います。	解剖学、生理学、病理学、微生物学、臨床医学で学んだことをよく復習してから講義に臨む（1時間）
25	給食経営管理論	給食経営管理論の分野について、問題を解いた後、解説を中心とした講義、理解度を確認する小テストを行います。	給食経営管理論の講義、実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。（1時間）
26	栄養教育論	栄養教育論分野について、問題を解いた後、解説を中心とした講義、理解度を確認する小テストを行います。	栄養教育論分野の講義、実験・実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。（1時間）
27	基礎栄養学	基礎栄養学分野について、問題を解いた後、解説を中心とした講義、理解度を確認する小テストを行います。	基礎栄養学分野の講義、実験・実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。（1時間）
28	公衆栄養学	公衆栄養学分野について、問題を解いた後、解説を中心とした講義、理解度を確認する小テストを行います。	公衆栄養学分野の講義、実験・実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。（1時間）
29	臨床栄養学	臨床栄養学分野について、問題を解いた後、解説を中心とした講義、理解度を確認する小テストを行います。	臨床栄養学分野の講義、実験・実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。（1時間）
30	応用栄養学	応用栄養学分野について、問題を解いた後、解説を中心とした講義、理解度を確認する小テストを行います。	応用栄養学で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。（1時間）
テキスト		成績評価の方法・基準	
基礎専門科目、専門科目の各科目のテキスト。その他必要に応じて提示します。		定期試験：100% 管理栄養士として勤務できるレベルに達している者をA、そのうち特に優秀な者をS、栄養士として勤務できるレベルに達している者をB、栄養士としても必要な知識が不足している者をC、そのうち特に知識が不足して者をDとします。	
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）	
必要に応じて提示します。		予習・復習をしっかりとして授業に臨むようにしてください。	

科目名	総合栄養学演習			学年学期	4年前期	単位数	1	ナバリング	NL46039	研究室	
担当者	各教員			必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスア-			
関連資格	管理栄養士				履修条件		(臨地実習事前事後指導を含みます)				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
専門基礎科目、専門科目の講義・実習で学んできた内容を系統的に整理し、体系立てて理解することを目的に、演習形式で授業を進めていきます。臨地実習の事前事後指導も行います。											
学修到達目標											
専門基礎科目、専門科目で学んできた内容を横断的に理解できることが目標です。具体的には管理栄養士国家試験問題の約8割以上は正解できる程度の理解と、他の人に対して説明できるようになることを目指します。											
授業の進め方											
各教科担当の教員がオムニバス形式で担当します。各回、該当科目の問題を解き、その問題の自己学習の後、担当教員からの指導を行います。定期試験の詳細はオリエンテーション時に説明します。また、臨地実習の事前事後指導も行います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	人体の構造と機能・疾病の成り立ち(1)	人体の構造と機能・疾病の成り立ち分野について、問題を解いた後、教科書等で自己学習し、その後教員からの指導を行います。					当該分野の講義・実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。(1時間)				
2	人体の構造と機能・疾病の成り立ち(2)	人体の構造と機能・疾病の成り立ち分野について、問題を解いた後、教科書等で自己学習し、その後教員からの指導を行います。					当該分野の講義・実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。(1時間)				
3	人体の構造と機能・疾病の成り立ち(3)	人体の構造と機能・疾病の成り立ち分野について、問題を解いた後、教科書等で自己学習し、その後教員からの指導を行います。					当該分野の講義・実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。(1時間)				
4	人体の構造と機能・疾病の成り立ち(4)	人体の構造と機能・疾病の成り立ち分野について、問題を解いた後、教科書等で自己学習し、その後教員からの指導を行います。					当該分野の講義・実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。(1時間)				
5	社会・環境と健康	社会・環境と健康分野について、問題を解いた後、教科書等で自己学習し、その後教員からの指導を行います。					社会・環境分野で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。(1時間)				
6	食べ物と健康(1)	食べ物と健康分野について、問題を解いた後、教科書等で自己学習し、その後教員からの指導を行います。					当該分野の講義・実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。(1時間)				
7	食べ物と健康(2)	食べ物と健康分野について、問題を解いた後、教科書等で自己学習し、その後教員からの指導を行います。					当該分野の講義・実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。(1時間)				
8	食べ物と健康(3)	食べ物と健康分野について、問題を解いた後、教科書等で自己学習し、その後教員からの指導を行います。					当該分野の講義・実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。(1時間)				
9	給食経営管理論	給食経営管理論について、問題を解いた後、教科書等で自己学習し、その後教員からの指導を行います。					給食経営管理論の講義・実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。(1時間)				
10	栄養教育論	栄養教育論の問題を解いた後、教科書等で自己学習し、その後教員からの指導を行います。					栄養教育論の講義・実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。(1時間)				
11	基礎栄養学	基礎栄養学について、問題を解いた後、教科書等で自己学習し、その後教員からの指導を行います。					基礎栄養学の講義、実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。(1時間)				
12	公衆栄養学	公衆栄養学について、問題を解いた後、教科書等で自己学習し、その後教員からの指導を行います。					公衆栄養学の講義・実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。(1時間)				
13	臨床栄養学	臨床栄養学について、問題を解いた後、教科書等で自己学習し、その後教員からの指導を行います。					臨床栄養学の講義・実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。(1時間)				
14	応用栄養学	応用栄養学について、問題を解いた後、教科書等で自己学習し、その後教員からの指導を行います。					応用栄養学の講義・実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。(1時間)				
15	まとめ	応用力試験問題を解いた後に、解答・解説書のコピーを配布しますので、自主学習してください。					全体で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。(3時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
基礎専門科目、専門科目の各科目のテキスト。その他必要に応じて提示します。					定期試験：100% 管理栄養士として勤務する事が出来る知識レベルにある者をA、うち特に優れていた者をS、栄養士として勤務できるレベルにある者をB、栄養士として勤務するにも知識が不足している者をC、うち特に不足している者をDとします。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
必要に応じて提示します。					予習・復習をしっかりとて授業に臨むようにしてください。自己学習時間を有効活用するためにも、教科書や実習書、配布資料等は必ず持参して下さい。						

科目名	総合栄養学演習			学年学期	4年後期	単位数	1	ナバリング	NL46040	研究室	
担当者	各教員			必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー			
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
専門基礎科目、専門科目の講義・実習で学んできた内容を系統的に整理し、体系立てて理解することを目的に、演習形式で授業を進めていきます。臨地実習の事前事後指導も行います。											
学修到達目標											
専門基礎科目、専門科目で学んできた内容を横断的に理解できることが目標です。具体的には管理栄養士国家試験問題の約9割以上は正解できる程度の理解と、他の人に対して説明できるようになることを目指します。											
授業の進め方											
各教科担当の教員がオムニバス形式で講義を担当します。各回、理解度の確認テスト(小テスト)の問題を解き、自己学習の後、担当教員からの指導を行います。定期試験の詳細はオリエンテーション時に説明します。また、臨地実習の事前事後指導も行います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	人体の構造と機能・疾病の成り立ち(1)	人体の構造と機能・疾病の成り立ち分野について、問題を解いた後、教科書等で自己学習し、その後教員からの指導を行います。					当該分野の講義・実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。(1時間)				
2	人体の構造と機能・疾病の成り立ち(2)	人体の構造と機能・疾病の成り立ち分野について、問題を解いた後、教科書等で自己学習し、その後教員からの指導を行います。					当該分野の講義・実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。(1時間)				
3	人体の構造と機能・疾病の成り立ち(3)	人体の構造と機能・疾病の成り立ち分野について、問題を解いた後、教科書等で自己学習し、その後教員からの指導を行います。					当該分野の講義・実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。(1時間)				
4	人体の構造と機能・疾病の成り立ち(4)	人体の構造と機能・疾病の成り立ち分野について、問題を解いた後、教科書等で自己学習し、その後教員からの指導を行います。					当該分野の講義・実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。(1時間)				
5	社会・環境と健康	社会・環境と健康分野について、問題を解いた後、教科書等で自己学習し、その後教員からの指導を行います。					社会・環境分野で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。(1時間)				
6	食べ物と健康(1)	食べ物と健康分野について、問題を解いた後、教科書等で自己学習し、その後教員からの指導を行います。					当該分野の講義・実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。(1時間)				
7	食べ物と健康(2)	食べ物と健康分野について、問題を解いた後、教科書等で自己学習し、その後教員からの指導を行います。					当該分野の講義・実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。(1時間)				
8	食べ物と健康(3)	食べ物と健康分野について、問題を解いた後、教科書等で自己学習し、その後教員からの指導を行います。					当該分野の講義・実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。(1時間)				
9	給食経営管理論	給食経営管理論について、問題を解いた後、教科書等で自己学習し、その後教員からの指導を行います。					給食経営管理論の講義・実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。(1時間)				
10	栄養教育論	栄養教育論について、問題を解いた後、教科書等で自己学習し、その後教員からの指導を行います。					栄養教育論の講義・実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。(1時間)				
11	基礎栄養学	基礎栄養学について、問題を解いた後、解説を中心とした講義を行います。					基礎栄養学の講義、実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。(1時間)				
12	公衆栄養学	公衆栄養学について、問題を解いた後、解説を中心とした講義を行います。					公衆栄養学の講義・実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。(1時間)				
13	臨床栄養学	臨床栄養学について、問題を解いた後、解説を中心とした講義を行います。					臨床栄養学の講義・実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。(1時間)				
14	応用栄養学	応用栄養学について、問題を解いた後、解説を中心とした講義を行います。					応用栄養学の講義・実習で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。(1時間)				
15	まとめ	応用力試験問題を解いた後に、解答・解説書のコピーを配布しますので、自主学習してください。					全体で学んだことをよく復習してから講義に臨むこと。(3時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
基礎専門科目、専門科目の各科目のテキスト。その他必要に応じて提示します。					定期試験：100% 管理栄養士として勤務できる知識レベルにある者をA、そのうち特に優れた者をS、栄養士として勤務できるレベルにある者をB、栄養士として勤務するにも知識が不足している者をC、そのうち、特に知識が不足している者をDとします。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
必要に応じて提示します。					予習・復習をしっかりとて授業に臨むようにしてください。当日の学習効果を得るために、該当科目の教科書、実習書、配布物等は必ず持参して受講して下さい。						

科目名	健康栄養演習		学年学期	3年前期	単位数	1	ナパリング	NL36041	研究室	S-12
担当者	木藤 伸夫		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	水曜日2限、水曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
いくつかのテキストを使用し、発酵、遺伝子工学など、微生物が関係する身近な技術、最新技術について学習します。また、みそ、甘酒、ヨーグルトなどの発酵食品や、酵母を使ったパンなどを作り微生物のはたらきを体験します。										
学修到達目標										
通常の講義や実習などでは十分に学習できない、微生物とその応用技術に関する専門的な知識を身につけるとともに、実際に微生物のはたらきを観察し、微生物を利用した食品作りをとらえて微生物の働きを観察することが目標です。										
授業の進め方										
教科書を交互に読み、不明な点については相互に質問し、議論を通して互いの知識を深めていきます。また、より専門的な書物などでの調査が必要な場合は、調べてレポート等で報告します。発酵食品に興味のあるものを作ってみます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	アルコール発酵	人類が古来より利用してきた発酵技術が、最初のバイオテクノロジーだったことを学びます。				参考書の14～29ページを予習し、世界の酒製造法についてまとめる(4時間)				
2	グルコース代謝	グルコースの代謝経路と、代謝に関連する酵素について学習します。また、人類が様々な代謝産物をどのように利用してきたかについての知識を身につけます。				参考書の30～42ページを予習し、グルコースの代謝経路を図にまとめる(4時間)				
3	パン、チーズの生産と微生物	乳酸菌、酵母、カビを利用した食品生産の詳細を学びます。				参考書の42～55ページを予習し、チーズの生産に使われている微生物を表にする(4時間)				
4	チーズに使われる微生物の分離・培養	市販のブルーチーズ、カマンベールチーズから、生産に使われているカビの分離培養を試みます。				培地の作製、分離したカビの顕微鏡観察を行う(4時間)				
5	アジアの発酵食品	酒、しょうゆ、その他のアジアでつくられている発酵食品と利用されている微生物について学びます。				参考書の55～60ページを予習し、アジアの発酵食品と、利用されている微生物を表にする(4時間)				
6	発酵とはどのような反応か	発酵技術は、その反応機構が明らかにされる以前から人類により利用されてきました。発酵反応の過程がどのように明らかにされたかを学びます。				参考書の61～67ページを予習する(4時間)				
7	天然酵母の分離	発酵食品に欠かせない酵母について、自然界にどのような酵母が存在するか調べます。具体的には、種々の果物を発酵させて酵母の分離を試みます。				果物の発酵と酵母用の培地作製。				
8	天然酵母の同定	第7回で分離した酵母を糖の資化性を利用して同定し、自然界から分離される酵母の種類を決定します。				酵母によって利用する糖の違いを予習し、一覧表にまとめる(4時間)				
9	生体触媒：酵素	生細胞中の化学反応を触媒する酵素について、酵素発見の歴史的経過と、酵素の基本的な性質について学習します。				参考書の70～82ページを予習し、酵素の発見に関わった研究者の業績をまとめる(4時間)				
10	酵素の構造と機能	酵素に代表されるタンパク質の機能は、その3次元構造と密接に関わっています。構造と機能の解明に最初に使われた酵素、リゾチームについて学習します。				参考書の83～92ページを予習し、パスツールの業績をまとめる(4時間)				
11	酵素のパートナー	酵素はそれ自身で化学反応を触媒するものと、酵素活性に補酵素や補因子を必要とするものがあります。多くの補酵素はビタミンに由来するので、ビタミンと酵素の関係を整理します。				参考書の93～94ページを予習し、補酵素として働くビタミンを一覧表にする(4時間)				
12	酵素の産業利用	高峰譲吉が消化酵素を商品として発売したように、酵素は様々な産業に利用されています。食品生産と洗剤への酵素利用について学びます。				参考書の94～103ページを読み、バイオ洗剤に使われている酵素の由来や性質をまとめる(4時間)				
13	タンパク質工学	酵素の産業利用では、目的に合う酵素が最新のタンパク質工学技術により生み出されています。タンパク質工学によりどのようなことができるのか学びます。				参考書104～114ページを読み、タンパク質の3次元構造がどのように決まるかをまとめる(4時間)				
14	固定化酵素	酵素を経済的に産業利用するために、酵素の固定化という技術が開発されました。そのメリットをまとめ、成功例としてフルクトースシロップの生産過程を学習します。				参考書の114～123ページを予習し、酵素を固定化する利点を整理する(4時間)				
15	食糧・アミノ酸産生	前回に続き、様々な固定化酵素の利用例を学びます。さらに、細胞を固定化した固定化細菌、固定化酵母の有用性についても学習します。				参考書の124～136ページを予習し、新しい固定化酵素、固定化微生物を考案、提案する(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
授業時に紹介する		受講態度：80% レポート：20% ゼミへの出席、討論での発言や質問の回数、問題提議できたかなどで評価します。また、実験レポートも評価に使います。発酵現象を生理・生化学的に説明できればC、教科書に書かれている分子生物学の手法を具体的に説明できればB、身の回りで実際に実用化されているバイオテクノロジー技術を見つけたし、応用されている技術を正確に説明できればA、自然界の微生物を使った新たな技術の概略を提案できればS。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「EURO版バイオテクノロジーの教科書(上)」ラインハート・レンネバーグ著 小林達彦(監修)、田中暉夫/奥原正國(訳)編(講談社) 必要な本は紹介します。		生活の様々な分野で活用されている微生物について、幅広い知識を身につけましょう。								

科目名	健康栄養演習		学年学期	3年前期	単位数	1	ナパリング	NL36041	研究室	S-02
担当者	廣田 直子		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	水曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本演習ではと合せ、食育・栄養教育のあり方について、総合的、研究的に探求します。2年次までの各科目の学修内容について、特に栄養教育分野で不可欠な事項に関する理解を深めた上でゼミナール内でのディスカッションや、学内外での実践活動等を行います。ヘルスプロモーションにおける教育アプローチとしての栄養教育活動について考察することを主眼としますが、環境アプローチとしての食環境整備についても考えます。理論と実践をつなぐ地域における活動を重視して進めます。										
学修到達目標										
態度：栄養教育分野の研究に対する情熱を高めること。 知識・スキル：地域における食の課題に気づき、その解決を図るために、学術的にアプローチしていく知識とスキルの修得。 具体的到達目標：4年次の卒業研究のイメージをつくること。										
授業の進め方										
基礎的事項についてグループ学習を行った後、地域における活動に関する実践活動計画を作成し、それに基づいた実践活動をアウトキャンパススタディとして実施します。その実践に基づいたディスカッションなどを中心として進めていきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	この演習のねらいと活動内容に関する説明を踏まえて、1年間というゼミナール活動において、取り組みたいこと、学びたいこと、1年後の自分の姿の向上などをテーマとしてディスカッションを行います。				事前・事後にめざす姿をイメージし取り組みたいこと、学びたいことについて考える(1時間)				
2	研究活動について考える1 卒業生の研究論文集から	これまでゼミナール生が取り組んだ卒業研究の論文を読んで、どのような研究がなされてきたのかを知り、そのような研究を進めるために必要な研究マインド、知識・スキルについて考えます。				事前配布の論文集に目を通し、これまでの卒業研究の概要を把握し質問事項を確認する(1時間)				
3	栄養教育に関するフィールド活動1-1 活動計画の作成	イベント時にセットする情報へのアクセスとしての栄養教育の実践に向けた計画案について、ディスカッションします。具体的には、情報提供の目的、使用する教材、評価方法について検討します。				これまでに学修した栄養教育マネジメントに関するプランニングの部分について復習する(1時間)				
4	栄養教育に関するフィールド活動1-2 活動実践	主として子どもを含む家族を対象として、イベント時にセットする情報へのアクセスに関する栄養教育実践をアウトキャンパススタディとして実施します。				各自で活動実施にあたって必要となる知識やスキルについて自己学修を進める(1時間)				
5	栄養教育評価に関する講義 栄養教育に関するフィールド活動1-3 活動評価	栄養教育の評価に関する解説から、これまでの講義の学修内容を振り返り、アウトキャンパススタディとして実施した栄養教育実践に関する企画評価、プロセス評価のまとめとディスカッションを行います。				これまでに学修した栄養教育マネジメントの評価に関する復習をし質問事項を把握する(30分)				
6	食事指導力の向上に向けた 栄養教育実践活動1	具体的に食事に関する指導を行う場合、料理提案は必須条件であることから、レシピ提案活動を行います。対象者の設定と目的、題材等についてディスカッションし、方針を決定します。				1人1品のレシピ提案ができるようレシピの検討と試作、提案文書の作成を行う(2時間)				
7	研究活動について考える2 4年生のプレゼンテーションから	4年生の卒業研究計画に関するプレゼンテーションを踏まえて、卒業研究のテーマ、研究計画の作成について考え、研究マインドを高め、自分がしたい研究に求められる知識・スキルを確認します。				自分が取り組んでみたい研究テーマについて、研究ノートにまとめてみる(1時間)				
8	栄養教育に関するフィールド活動2-1 活動計画の作成	食育を題材として、不特定多数者を対象とした栄養教育実践に向けて、目的、活動内容、使用教材、評価方法等についてディスカッションし、計画案を作成します。				これまでに食育に関連して学修した内容について復習し、自分の計画案をまとめる(1時間)				
9	栄養教育に関するフィールド活動2-2 活動実践	食育を題材として、不特定多数者を対象とした栄養教育実践をアウトキャンパススタディとして実施します。様々な機関や組織の関係者とのチームとしての協働活動のあり方について学修します。				各自で活動実施にあたって必要となる知識やスキルについて自己学修を進める(1時間)				
10	栄養教育に関するフィールド活動2-3 活動評価 食育推進に関する講義	アウトキャンパススタディとして実施した栄養教育実践に関する企画評価、プロセス評価、結果評価のまとめとディスカッションを行います。適宜、現在の日本における食育推進に関しての学修を振り返ります。				活動実践を振り返り、協働活動を進めるにあたって自分が修得すべき事項についてまとめる(30分)				
11	栄養教育に関するフィールド活動3-1 活動計画の作成	食物へのアクセスとしての食事提供を通じた課題解決のための栄養教育実践に向けて、目的の確認、活動支援方法、使用教材、評価方法等についてディスカッションし、自分たちの計画案を作成します。				給食経営管理分野の関連事項について復習し、自分の計画案を作成する(1時間)				
12	栄養教育に関するフィールド活動3-2 活動実践	食事提供を通じた栄養教育実践をアウトキャンパススタディとして実施します。特に、活動の結果評価としての経済評価に関する視点を重視し、経営管理に求められる事項を意識して学修します。				各自で活動実施にあたって必要となる知識やスキルについて自己学修を進める(1時間)				
13	栄養教育に関するフィールド活動3-3 活動評価とまとめ	アウトキャンパススタディとして実施した栄養教育実践に関して、経済評価も含めた各種評価項目をまとめ、それに基づいてPDCAサイクルのActionについてディスカッションを行います。				活動実践を振り返り、経済評価の課題を解決するために必要となる事項についてまとめる(30分)				
14	栄養教育に関するフィールド活動4 活動計画の作成	年間計画で実施されている健康づくり教室の一環として実施する講座の運営に関して、継続プログラムの特色を踏まえ、目的の確認、実施方法について検討し、自分たちの提案をまとめます。				講座運営に関する提案のまとめ(1時間)、事後は実施に向けてのスキルアップ(1時間)				
15	先行研究の探索方法	これまでの活動を振り返り、自分の卒業研究テーマとして設定したい内容について考えます。また、夏季休業中の自己学修に向けて、先行研究の探索に必要な論文検索方法について学修します。				長期休業中に、自分が関心をもつテーマについて、先行研究、論文を探し、読んでおく(2時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
テキストは用いず、必要に応じて参考図書を紹介するほか、配布資料等を用意します。		受講態度：40% レポート：60% 受講態度とは実践活動中の態度等の観察評価をさす。S:高いモチベーションで活動に参加し、活動から得た知識やスキル等を卒業研究に結び付け、研究計画の詳細を述べる事ができる。A:積極的に活動に参加し、活動から得た知識やスキル等を卒業研究に結び付け、研究計画を述べる事ができる。B:活動に参加したことを踏まえて研究計画について述べる事ができる。C:参加した活動等をもとにして研究計画の一部について述べる事ができる。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「食事調査マニュアル はじめの一步から実践・応用まで 第3版」特定非営利活動法人 日本栄養改善学会(監修、監修)編(南山堂) ISBN:978-4-525-63333-2		これまでの専門科目、特に実践系科目のつながりを考えながら復習しましょう。研究・実践活動が中心となり、アウトキャンパススタディも組み入れるため、設定された授業時間以外での活動(夜間や休日)も多くなります。								

科目名	健康栄養演習			学年学期	3年通年	単位数	1	ナパ'リング	NL36041	研究室	S-01
担当者	山田 一哉			必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	前期：月曜日1限 後期：月曜日1限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）						
		A	B	C							
授業概要											
専門書や総説を輪読したり、内容を要約・発表したりすることにより、研究に必要な基本的知識の習得を目指します。夏季休暇中には先輩の実験を手伝って、基本的技術の習得を目指します。											
学修到達目標											
健康栄養演習は、4年次の卒業研究に向けての準備段階と位置づけています。そこで、研究室とはどういうところかということ学んだり、卒業研究を行うために必要な基本的な科学的知識や技術の習得にも努めてもらいます。その中で、各自の研究課題の発見や基礎的学習能力の向上を目指します。											
授業の進め方											
6名程度の学生を受け持ちゼミナール形式で進めます。											
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	授業のねらいと2年間を見通したゼミナール活動について考えていきます。					先輩の卒業論文発表会の発表要旨集を読んでくる。(4時間)				
2	栄養学の基礎知識の習得(1)	「未来の栄養学」を輪読し、内容を要約します。栄養学で今後必要とされる分野に関する知識を整理します。					「未来の栄養学」を予め読んでおき、段落ごとの内容を要約しておく。事後は、修正する。(4時間)				
3	栄養学の基礎知識の習得(2)	「未来の栄養学」を輪読し、内容を要約します。栄養学で今後必要とされる分野に関する知識を整理します。					「未来の栄養学」を予め読んでおき、段落ごとの内容を要約しておく。事後は、修正する。(4時間)				
4	栄養学の基礎知識の習得(3)	「未来の栄養学」を輪読し、内容を要約します。栄養学で今後必要とされる分野に関する知識を整理します。					「未来の栄養学」を予め読んでおき、段落ごとの内容を要約しておく。事後は、修正する。(4時間)				
5	栄養学の基礎知識の習得(4)	「未来の栄養学」を輪読し、内容を要約します。栄養学で今後必要とされる分野に関する知識を整理します。					「未来の栄養学」を予め読んでおき、段落ごとの内容を要約しておく。事後は、修正する。(4時間)				
6	栄養学の基礎知識の習得(5)	「未来の栄養学」を輪読し、内容を要約します。栄養学で今後必要とされる分野に関する知識を整理します。					「未来の栄養学」を予め読んでおき、段落ごとの内容を要約しておく。事後は、修正する。(4時間)				
7	栄養学の基礎知識の習得(6)	「未来の栄養学」を輪読し、内容を要約します。栄養学で今後必要とされる分野に関する知識を整理します。					「未来の栄養学」を予め読んでおき、段落ごとの内容を要約しておく。事後は、修正する。(4時間)				
8	栄養学の基礎知識の習得(7)	「未来の栄養学」を輪読し、内容を要約します。栄養学で今後必要とされる分野に関する知識を整理します。					「未来の栄養学」を予め読んでおき、段落ごとの内容を要約しておく。事後は、修正する。(4時間)				
9	栄養学の基礎知識の習得(8)	「未来の栄養学」を輪読し、内容を要約します。栄養学で今後必要とされる分野に関する知識を整理します。					「未来の栄養学」を予め読んでおき、段落ごとの内容を要約しておく。事後は、修正する。(4時間)				
10	栄養学の基礎知識の習得(9)	「未来の栄養学」を輪読し、内容を要約します。栄養学で今後必要とされる分野に関する知識を整理します。					「未来の栄養学」を予め読んでおき、段落ごとの内容を要約しておく。事後は、修正する。(4時間)				
11	栄養学の基礎知識の習得(10)	「未来の栄養学」を輪読し、内容を要約します。栄養学で今後必要とされる分野に関する知識を整理します。					「未来の栄養学」を予め読んでおき、段落ごとの内容を要約しておく。事後は、修正する。(4時間)				
12	医学的基礎知識の習得(1)	「インスリン」を輪読し、内容を説明してもらいます。インスリンについて基礎医学的視点・臨床医学的視点から学びます。					「インスリン」を予め読んでおき、段落ごとの内容を説明する。事後は、知識を整理する。(4時間)				
13	医学的基礎知識の習得(2)	「インスリン」を輪読し、内容を説明してもらいます。インスリンについて基礎医学的視点・臨床医学的視点から学びます。					「インスリン」を予め読んでおき、段落ごとの内容を説明する。事後は、知識を整理する。(4時間)				
14	医学的基礎知識の習得(3)	「インスリン」を輪読し、内容を説明してもらいます。インスリンについて基礎医学的視点・臨床医学的視点から学びます。					「インスリン」を予め読んでおき、段落ごとの内容を説明する。事後は、知識を整理する。(4時間)				
15	医学的基礎知識の習得(4)	「インスリン」を輪読し、内容を説明してもらいます。インスリンについて基礎医学的視点・臨床医学的視点から学びます。					「インスリン」を予め読んでおき、段落ごとの内容を説明する。事後は、知識を整理する。(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準									
教員より適宜提示します。		受講態度：100% 受講態度とは、演習時の準備状況・発表の仕方の程度を指す。一応発表できることC。内容をある程度理解しながら発表できるとB。内容を深く理解しながら発表できるとA。内容を深く理解しながらよりよい発表できるとS。									
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）									
教員より適宜提示します。		実験研究を通して、自分を成長させたいと真剣に思う気持ちや失敗が続いても全く新しいことにチャレンジしてやろうという強い気持ちをもって臨まれます。									

科目名	健康栄養演習		学年学期	3年前期	単位数	1	ナパ`リ`ン`グ	NL36041	研究室	S-10	
担当者	高木 勝広		必修選択	必修	科目種別	演習	オイスア-	月曜日3限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
本演習は、4年次の卒業研究において発展的・応用的に研究活動をするための基礎を学ぶものと位置づけています。研究分野は食品化学分野です。具体的には、科学的知識を習得するために関連の専門書を輪読したり、また技術面では微生物・動物細胞の取り扱い方(培養方法)、実験試薬の取り扱い等になります。研究をする意義やそれを実践する上での心構え、研究室とはどういうところか等についても学びます。											
学修到達目標											
専門書等を読んで、その要点を解りやすい言葉で発表できるようになること、また学生-教師間あるいは学生間で積極的にディスカッションする姿勢を身につけることが目標です。											
授業の進め方											
専門分野の勉強会では、学内外における様々な専門書などを教材にし、学生による要点の発表およびそれに対する議論を中心に行います。教員からの一方的な講義形式ではなく、学生間のディスカッションも重視します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	前期オリエンテーション	授業のねらいと2年間を見通したゼミナール活動について説明します。					事前にシラバスを読んでください。(1時間)				
2	専門基礎知識を学ぶ(1)	研究を行う上で必要な専門基礎知識を学びます。学生は専門書(ニュートリゲノミックスの)を輪読し、その要点を述べてもらい、その後教員が解説を加えます。					事前にテキストを読む。自分なりに要点をまとめて臨んでください。(1時間)				
3	専門基礎知識を学ぶ(2)	研究を行う上で必要な専門基礎知識を学びます。学生は専門書(ニュートリゲノミックスの)を輪読し、その要点を述べてもらい、その後教員が解説を加えます。					事前にテキストを読む。自分なりに要点をまとめて臨んでください。(1時間)				
4	専門基礎知識を学ぶ(3)	研究を行う上で必要な専門基礎知識を学びます。学生は専門書(ゲノム、プロテオーム)を輪読し、その要点を述べてもらい、その後教員が解説を加えます。					事前にテキストを読む。自分なりに要点をまとめて臨んでください。(1時間)				
5	専門基礎知識を学ぶ(4)	研究を行う上で必要な専門基礎知識を学びます。学生は専門書(遺伝子多型とは)を輪読し、その要点を述べてもらい、その後教員が解説を加えます。					事前にテキストを読む。自分なりに要点をまとめて臨んでください。(1時間)				
6	専門基礎知識を学ぶ(5)	研究を行う上で必要な専門基礎知識を学びます。学生は専門書(遺伝子多型と栄養)を輪読し、その要点を述べてもらい、その後教員が解説を加えます。					事前にテキストを読む。自分なりに要点をまとめて臨んでください。(1時間)				
7	専門基礎知識を学ぶ(6)	研究を行う上で必要な専門基礎知識を学びます。学生は専門書(生活習慣病を起こしやすい遺伝子多型)を輪読し、その要点を述べてもらい、その後教員が解説を加えます。					事前にテキストを読む。自分なりに要点をまとめて臨んでください。(1時間)				
8	専門基礎知識を学ぶ(7)	研究を行う上で必要な専門基礎知識を学びます。学生は専門書(肥満関連遺伝子について)を輪読し、その要点を述べてもらい、その後教員が解説を加えます。					事前にテキストを読む。自分なりに要点をまとめて臨んでください。(1時間)				
9	専門基礎知識を学ぶ(8)	研究を行う上で必要な専門基礎知識を学びます。学生は専門書(テラメイド栄養学)を輪読し、その要点を述べてもらい、その後教員が解説を加えます。					事前にテキストを読む。自分なりに要点をまとめて臨んでください。(1時間)				
10	専門基礎知識を学ぶ(9)	研究を行う上で必要な専門基礎知識を学びます。学生は専門書(テラメイド栄養学)を輪読し、その要点を述べてもらい、その後教員が解説を加えます。					事前にテキストを読む。自分なりに要点をまとめて臨んでください。(1時間)				
11	専門基礎知識を学ぶ(10)	研究を行う上で必要な専門基礎知識を学びます。学生は専門書(ニュートリエピジェネティクス)を輪読し、その要点を述べてもらい、その後教員が解説を加えます。					事前にテキストを読む。自分なりに要点をまとめて臨んでください。(1時間)				
12	専門基礎知識を学ぶ(11)	研究を行う上で必要な専門基礎知識を学びます。学生は専門書(人間行動と遺伝子多型)を輪読し、その要点を述べてもらい、その後教員が解説を加えます。					事前にテキストを読む。自分なりに要点をまとめて臨んでください。(1時間)				
13	専門基礎知識を学ぶ(12)	研究を行う上で必要な専門基礎知識を学びます。学生は専門書(時計遺伝子と概日リズム)を輪読し、その要点を述べてもらい、その後教員が解説を加えます。					事前にテキストを読む。自分なりに要点をまとめて臨んでください。(1時間)				
14	専門基礎知識を学ぶ(13)	研究を行う上で必要な専門基礎知識を学びます。学生は専門書(時計遺伝子と生活習慣病)を輪読し、その要点を述べてもらい、その後教員が解説を加えます。					事前にテキストを読む。自分なりに要点をまとめて臨んでください。(1時間)				
15	専門基礎知識を学ぶ(14)	研究を行う上で必要な専門基礎知識を学びます。学生は専門書(未来の栄養学とは)を輪読し、その要点を述べてもらい、その後教員が解説を加えます。					事前にテキストを読む。自分なりに要点をまとめて臨んでください。(1時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準									
「教員より指示します。」		受講態度：40% 課題：60% 受講態度とは、専門書の輪読やテーマごとの議論への参加等を指します。 S:要求された程度を越えて優秀である。A:優秀である。B:要求を満たす内容である。C:単位修得を認める合格最低ラインである。									
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)									
「教員より指示します。」		本演習は、4年次の卒業研究を行うための準備として専門基礎知識を蓄え、研究的探求心を高めるために行います。事前にテキストを読むなど、主体的に臨んでください。長期休暇を利用して、実験方法等を教えます。									

科目名	健康栄養演習		学年学期	3年前期	単位数	1	ナパリング	NL36041	研究室	N-04
担当者	弘田 量二		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	火曜日4限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本演習では、卒業研究ならびに管理栄養士国家試験対策の準備段階としての位置づけから、専門分野の文献収集の方法や研究方法、結果の評価法ならびに国試傾向などについて指導し、理解を深めます。また、研究方法論全般について学び、調査・研究へのデザイン能力、栄養物質や有害物質の食事摂取量評価などについて統計学的手法に基づいて評価する力を養います。										
学修到達目標										
専門書・研究論文の読み方を習得し、その要点を解りやすい言葉で発表できるようになること、また学生・教師間あるいは学生間で積極的にディスカッションする姿勢を身につけること、グループの中で協調性をもって活動していくことが目標です。										
授業の進め方										
論文の抄読会を通じて、多数の専門論文を読破していきます。自分や仲間が紹介した論文の要点が迅速にわかるようになること、学生間や学生と教員間での自由な討論の場をつくることを重視します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	前期オリエンテーション	授業の狙いと、2年間を見通したゼミ活動について説明します。				事前にシラバスを読んでください。(1時間)				
2	記述統計	研究を行っていく上で重要な知識の習得。記述統計量の表し方(平均値や中央値)、論文の読み方について学習します。				テキスト1日目を熟読してください。(1時間)				
3	仮説検定(1)	有意差を表すP値の意味や「統計的な差」と「臨床的(実際に意味のある)差」の違い、信頼区間、標準誤差などについて学習します。また、論文の読み方について学習します。				テキスト2日目を熟読してください。(1時間)				
4	仮説検定(2)	有意差を表すP値の意味や「統計的な差」と「臨床的(実際に意味のある)差」の違い、信頼区間、標準誤差などについて学習します。また、論文の紹介と議論を行います。				テキスト2日目を熟読してください。(1時間)				
5	疫学研究のデザイン(1)	P(参加者)E(研究)C(何と比較するか)O(アウトカム)の理解、観察・介入研究、ケースコントロール・コホート研究、前向き・後ろ向き研究などを学習します。また、論文の紹介と議論を行います。				テキスト3日目を熟読してください。(1時間)				
6	疫学研究のデザイン(2)	P(参加者)E(研究)C(何と比較するか)O(アウトカム)の理解、観察・介入研究、ケースコントロール・コホート研究、前向き・後ろ向き研究などを学習します。また、論文の紹介と議論を行います。				テキスト3日目を熟読してください。(1時間)				
7	統計テストの選び方(1)	変数の種類(連続変数、2値のカテゴリー変数、順序のあるカテゴリー変数、順序のないカテゴリー変数)、何と何を比較するのが、正規分布か、などを学習します。また、論文の紹介と議論を行います。				テキスト4日目を熟読してください。(1時間)				
8	統計テストの選び方(2)	変数の種類(連続変数、2値のカテゴリー変数、順序のあるカテゴリー変数、順序のないカテゴリー変数)、何と何を比較するのが、正規分布か、などを学習します。また、論文の紹介と議論を行います。				テキスト4日目を熟読してください。(1時間)				
9	T検定、U検定(1)	スチューデントのT検定、正規分布でなくても使えるマンホイットニーのU検定を学びます。また、論文の紹介と議論を行います。				テキスト5日目を熟読してください。(1時間)				
10	T検定、U検定(2)	スチューデントのT検定、正規分布でなくても使えるマンホイットニーのU検定を学びます。また、論文の紹介と議論を行います。				テキスト5日目を熟読してください。(1時間)				
11	対応ありのT検定、符号付き順位和検定(1)	対応ありのT検定、ウイルコクソン符号付き順位和検定について学びます。また、論文の紹介と議論を行います。				テキスト6日目を熟読してください。(1時間)				
12	対応ありのT検定、符号付き順位和検定(2)	対応ありのT検定、ウイルコクソン符号付き順位和検定について学びます。また、論文の紹介と議論を行います。				テキスト6日目を熟読してください。(1時間)				
13	分散分析・クラリスワリス検定、フリードマン検定(1)	3群以上の比較である、分散分析(ANOVA)・クラリスワリス検定、フリードマン検定を学びます。また、論文の紹介と議論を行います。				テキスト7日目を熟読してください。(1時間)				
14	分散分析・クラリスワリス検定、フリードマン検定(2)	3群以上の比較である、分散分析(ANOVA)・クラリスワリス検定、フリードマン検定を学びます。また、論文の紹介と議論を行います。				テキスト7日目を熟読してください。(1時間)				
15	線形回帰と相関係数	単回帰、重回帰、ピアソンの相関係数、スピアマンの相関について学習します。また、論文の紹介と議論を行います。				テキスト8日目を熟読してください。(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「みんなの医療統計-12日間で基礎理論とEZRを完全マスター」新谷歩著(講談社) ISBN:978-4-06-156314-8(生協で購入してください。)ゼミで使用しますので、必ず購入して下さい。				課題:70% 受講態度:30% 論文紹介と議論が主な課題となります。自分が興味を持った分野について論文を集め、皆の前で紹介すること、聴講の際には、しっかりと議論に参加してください。 S:要求された程度を越えて優秀である。 A:優秀である。 B:要求を満たす内容である。 C:単位修得を認める合格最低ラインとなります。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「公衆栄養学実習」金田雅代・郡俊之・酒井徹・山本茂著(講談社サイエンスティフィック) ISBN:978-4-06-155355-2 その他、講義の中で随時紹介します。				本演習は、4年次の卒業研究を行うための準備として、専門知識を得ること、必要なスキルを身につけるのがねらいです。長期休暇を利用して、健康調査も予定しています。						

科目名	健康栄養演習		学年学期	3年前期	単位数	1	ナパ'リング	NL36041	研究室	W-03
担当者	福島 智子		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	水曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
健康と食の関連について社会的観点から考察します。柔軟な思考力の養成を目標とします。「食」は身体的な健康の基盤となる重要なものであると同時に、精神的・社会的な健康に多大な影響を及ぼします。「食」に関連するさまざまな社会・文化的な側面に着目し、「食べる」という行為がもつ意味を社会学の観点から考察します。食事を共にすること(家族で食事をすること)がもつ重要な意味や作用といった身近な事例から、メディアを中心として伝えられる食品添加物の問題、世界的な食糧問題まで扱う予定です。										
学修到達目標										
現代社会における食に関する課題を発見し、解決するための論理的思考能力と、学習内容を他者に伝えるプレゼンテーション能力を身につけること。										
授業の進め方										
各テーマについて教員が短い講義を行い、そのあと全員で議論する形式で進めます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	オリエンテーション	授業の目的と2年間のゼミナール活動について考えます。					シラバスを確認する(1時間)。			
2	食の社会学とは	食に関する事象を社会的視点でみることについての解説をし、討論します。					講義内容を復習する(1時間)。			
3	食の社会学のテーマ(1)	社会のマクドナルド化についての解説をし、討論します。					事前配布資料を読み、下調べをする(1時間)。			
4	食の社会学のテーマ(2)	ファストフードについての現状を解説し、討論します。					事前配布資料を読み、下調べをします(1時間)。			
5	食の社会学のテーマ(3)	ファストフードをテーマとするドキュメンタリーを鑑賞します。					内容をまとめる(1時間)。			
6	食の社会学のテーマ(4)	ファストフードをテーマとするドキュメンタリーを鑑賞します。					講義内容をまとめ、レポートとして提出する(1時間)。			
7	食の社会学のテーマ(5)	肥満と食品産業についてアメリカの事例を紹介し、討論します。					講義内容の要点をまとめる(1時間)。			
8	食の社会学のテーマ(6)	アメリカの食品産業についての解説をし、討論します。					講義内容をまとめる(1時間)。			
9	テーマ設定に向けて	研究テーマの設定について討論します。					研究テーマを考えておく(1時間)。			
10	テーマ設定	各自のテーマ設定について報告し、討論します。					配布プリントをする(1時間)。			
11	プレゼンテーション	ゼミ報告の方法について解説します。					配布プリントをする(1時間)。			
12	先行研究レビュー	各自のテーマに沿った文献収集、レジメの作成について解説します。					配布プリントをする(1時間)。			
13	ゼミ報告(1)	学生はゼミ報告をします。					ゼミ報告の準備をする(1時間)。			
14	ゼミ報告(2)	学生はゼミ報告をします。					ゼミ報告の準備をする(1時間)。			
15	ゼミ報告(3)	学生はゼミ報告をします。					ゼミ報告の準備をする(1時間)。			
テキスト		成績評価の方法・基準								
学生が選択するプレゼンテーションのテーマによって、使用テキストは異なります。		受講態度:50% 課題:50% 受講態度には、ディスカッションへの参加度が含まれます。 S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考能力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組むことができる。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組むことができる。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組むことができる。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組むことができる。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「マクドナルド化する社会」ジョージ・リッツァ著早稲田大学出版編		英語の文献を使用する場合があるので、最低限の英語読解力は必要になります。演習には学生の自主性が強く求められます。次回演習までに、指示された準備は必ず済ませてください。								

科目名	健康栄養演習			学年学期	3年前期	単位数	1	ナパリング	NL36041	研究室	S-04
担当者	平田 治美			必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	月曜日5限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
健康栄養学演習 と を合わせ、公衆栄養学分野について2年次までの学習を進展させ、総合的、研究的に学びます。4年次の卒業研究課題の発見に向けて先行研究論文等より情報を収集し、ゼミ内でディスカッションを行い、卒業研究活動に繋げていきます。											
学修到達目標											
健康寿命の延伸に関わる食・栄養に関する課題について、自主的に取り組み、学術信頼度の高い情報を収集する手段を修得します。またゼミメンバーと討論を得て、研究テーマの発見に繋がります。											
授業の進め方											
各自で興味あるテーマのキーワードから情報を収集しつつ、研究に関わっていく文献を取捨選択できるようにします。報告会で紹介し、ゼミメンバーでディスカッションを重ね、公衆栄養学分野への研究活動を深めていきます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	授業ガイダンスを行います。演習の進め方や、文献の探し方、読み方、発表方法などを説明します。					シラバスを確認し、ゼミ活動の構想を立てる。(1時間)				
2	研究課題へのアプローチ(1)	各自で健康と食・栄養をテーマとした課題となる問題について情報を収集します。					自分が興味あるテーマに沿った書籍、文献など読み、討論の準備をする。(1時間)				
3	研究課題へのアプローチ(2)	各自で健康と食・栄養をテーマとした課題となる問題について情報を収集します。					自分が興味あるテーマに沿った書籍、文献など読み、討論の準備をする。(1時間)				
4	研究課題へのアプローチ(3)	各自で健康と食・栄養をテーマとした課題となる問題について情報を収集します。					自分が興味あるテーマに沿った書籍、文献など読み、討論の準備をする。(1時間)				
5	研究課題へのアプローチ(4)	各自で健康と食・栄養をテーマとした課題となる問題について情報を収集します。					自分が興味あるテーマに沿った書籍、文献など読み、討論の準備をする。(1時間)				
6	研究課題となるキーワードのまとめ	作業の進捗状況の報告として、各自で興味ある課題となるテーマ(キーワード)について発表します。ゼミメンバーで討論します。					書籍、文献等を読み、内容を発表できるようにまとめる。(1時間)				
7	研究課題への再アプローチ(1)	各自で絞った課題に沿って熟考しつつ先行研究論文などを検索し、テーマについて掘り下げます。					書籍、文献等を読み、内容を発表できるように準備をする。(1時間)				
8	研究課題への再アプローチ(2)	各自で絞った課題に沿って熟考しつつ先行研究論文などを検索し、テーマについて掘り下げます。					書籍、文献等を読み、内容を発表できるように準備をする。(1時間)				
9	研究課題への再アプローチ(3)	各自で絞った課題に沿って熟考しつつ先行研究論文などを検索し、テーマについて掘り下げます。					紹介する書籍、文献等を読み、内容を発表できるように準備をする。(1時間)				
10	先行研究論文など検索のまとめ(1)	各自で絞ったテーマに沿って、先行研究論文などを検索した結果をまとめとして中間発表の準備を行います。					紹介する書籍、文献等を読み、内容を発表できるように準備をする。(1時間)				
11	先行研究論文など検索のまとめ(2)	各自で絞ったテーマに沿って、先行研究論文などを検索した結果をまとめとして中間発表の準備を行います。					先行研究論文より発表できるようにまとめる。(1時間)				
12	中間発表	研究活動のベースとなる先行研究論文について紹介し、ゼミメンバーで討論します。					研究活動のための研究方法の概要を理解しておく。(1時間)				
13	研究方法を学ぶ(1)	研究活動のベースとなる先行研究論文を基に研究の方法について各自が理解を深めます。また、討論を通じゼミメンバーで共有します。					研究活動のための研究方法を確認しておく。(1時間)				
14	研究方法を学ぶ(2)	研究活動のベースとなる先行研究論文を基に研究の方法について各自が理解を深めます。また、討論を通じゼミメンバーで共有します。					研究活動や方法を理解し、研究テーマの方向性を考えておく。(1時間)				
15	研究方法を学ぶ(3)	ゼミでの討論を踏まえ、各自の研究テーマについて方向性を見据えます。					研究活動や方法を理解し、研究テーマの方向性を確定できるように考えておく。(1時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
必要に応じて提示します。					受講態度：50% 課題：50% S:情報収集や討論等への参加を常に積極的に行った。文献等の内容をまとめて伝わりやすいプレゼンができる。A:情報収集や討論等への参加を常に積極的に行った。文献等の内容をまとめて伝えることを意識したプレゼンができる。B:情報収集や討論等への参加を積極的に行った。文献等の内容をまとめてプレゼンをすることができる。C:情報収集や討論等への参加を前向きに行った。文献等の内容をまとめてプレゼンすることが何とかできる。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
必要に応じて提示します。					健康と食に広い関心を持ち、まずは新聞、雑誌からでもいいので、楽しく積極的に情報収集に取り組んでください。						

科目名	健康栄養演習		学年学期	3年前期	単位数	1	ナパリング	NL36041	研究室	S-07
担当者	石原 三妃		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	月曜日1限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
調理科学分野について、2年次までの学習を進展させ、総合的、研究的に深く学ぶことをねらいとします。また、総合的学習能力の向上をめざします。4年次の卒業研究に向け各自の研究課題を発見することを目標とします。4年生と共に学びながら、卒業研究のテーマをみつけていきます。										
学修到達目標										
食についての課題発見能力を身につけ、様々な分析手法を理解し、専門領域の向上を目指します。また、ゼミナールの中のディスカッションを通して議論の仕方を学習すると共に、論理的思考力や批判的思考力、情報リテラシーあるいはプレゼンテーション能力などを向上させることが目標となります。										
授業の進め方										
調理学・調理科学分野についてゼミナール形式で進めます。文献講読、実験実習、地域のイベント運営参加を含みます。必要に応じて授業時間外にも実験、作業を行うことがあります。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	授業のねらいと2年間を見通したゼミナール活動について考えていきます。				事前にシラバスを読む。卒業生の発表会の内容を読み、ゼミ活動の構想を立てる。(4時間)				
2	食を取り巻く諸問題(1)	現在、食においてどのようなことが問題になっているか考察・討議します。				テーマについて自分なりに事前学習を進める。授業後は問題の視点を整理しておく。(4時間)				
3	食を取り巻く諸問題(2)	現在、食においてどのようなことが問題になっているか考察・討議します。				テーマについて自分なりに事前学習を進める。授業後は問題の視点を整理しておく。(4時間)				
4	食を取り巻く諸問題(3)	現在、食においてどのようなことが問題になっているか考察・討議します。				テーマについて自分なりに事前学習を進める。授業後は問題の視点を整理しておく。(4時間)				
5	食を取り巻く諸問題(4)	現在、食においてどのようなことが問題になっているか考察・討議します。				テーマについて自分なりに事前学習を進める。授業後は問題の視点を整理しておく。(4時間)				
6	先行研究や文献の利用(1)	自己の課題に関する先行研究や文献の探し方を理解して、実際に読み、まとめていきます。				事前に興味を持った課題を決める。授業後は先行研究や文献をよく読み、まとめる。(4時間)				
7	先行研究や文献の利用(2)	自己の課題に関する先行研究や文献の探し方を理解して、実際に読み、まとめていきます。				事前に興味を持った課題を決める。授業後は先行研究や文献をよく読み、まとめる。(4時間)				
8	食に関するゼミ発表(1)	自己課題に関する文献調査を行い、発表します。その後相互に討議します。				発表原稿を準備する。(4時間)				
9	食に関するゼミ発表(2)	自己課題に関する文献調査を行い、発表します。その後相互に討議します。				発表原稿を準備する。(4時間)				
10	食に関するゼミ発表(3)	自己課題に関する文献調査を行い、発表します。その後相互に討議します。				発表原稿を準備する。(4時間)				
11	食に関するゼミ発表(4)	自己課題に関する文献調査を行い、発表します。その後相互に討議します。				発表原稿を準備する。(4時間)				
12	試料調製の理解(1)	物性測定用ゲルの実験試料調製を行います。				物性測定用ゲルの実験試料調製を行います。				
13	試料調製の理解(2)	パンの実験試料調製を行います。				調製方法について指示書を読み、理解する。(4時間)				
14	試料調製の理解(3)	ゲル状介護食の実験試料調製を行います。				調製方法について指示書を読み、理解する。(4時間)				
15	試料調製の理解(4)	ゾル状介護食の実験試料調製を行います。				調製方法について指示書を読み、理解する。(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
必要に応じて提示します。			受講態度：50% 課題：50% 望ましい受講態度とは・・・自ら問題意識をもち、ゼミのメンバーと協力して積極的に調査実験、その他ゼミ活動に参加すること。 評価基準・・・S:ゼミ活動や課題に極めて積極的に取り組み、自ら研究課題を見つげられる。A:ゼミ活動や課題に積極的に取り組み、研究課題を見つげられる。B:ゼミ活動や課題に取り組み、研究課題を決定できる。C:ゼミ活動を行い、課題について検討できる。							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
必要に応じて提示します。			受身ではなく、自主的に学ぶ姿勢が必要です。色々なことに興味を持って、積極的に行動してください。							

科目名	健康栄養演習		学年学期	3年前期	単位数	1	ナパ`リング	NL36041	研究室	S-11
担当者	藤岡 由美子		必修選択	必修	科目種別	演習	オイスアワ	火曜日2限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
糖尿病や炎症性腸疾患の食事会の企画運営や患者との交流を通して病態や治療についての理解を深め、患者会の役割について学びます。災害時要配慮者のオーダーメイドチェックリストを作成し備蓄状況を調査します。新しい栄養管理ソフトの有効性を調査します。										
学修到達目標										
栄養の現象を的確に捉え問題点を把握して課題解決に向けた目標を設定し、計画を立て実施し結果を解析して評価を行った結果を論文にまとめ、発表会や討議を通じて考え方や知識の幅を広げます。										
授業の進め方										
糖尿病や炎症性腸疾患の病態や食事療法に関する文献研究により卒業論文の準備を行います。糖尿病教室とIBD食事会の企画運営に取り組みます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	文献検索1-1	糖尿病に関する文献検索を行います。				文献検索(4時間)				
2	文献検索1-2	糖尿病に関する文献検索を行います。				文献検索(4時間)				
3	文献レビュー1-1	糖尿病に関する文献レビューを行います。				文献レビュー(4時間)				
4	文献レビュー1-2	糖尿病に関する文献レビューを行います。				文献レビュー(4時間)				
5	文献検索2-1	炎症性腸疾患に関する文献検索を行います。				文献検索(4時間)				
6	文献検索2-2	炎症性腸疾患に関する文献検索を行います。				文献検索(4時間)				
7	文献レビュー2-1	炎症性腸疾患に関する文献レビューを行います。				文献レビュー(4時間)				
8	文献レビュー2-2	炎症性腸疾患に関する文献レビューを行います。				文献レビュー(4時間)				
9	文献検索3-1	災害時の備蓄に関する文献検索を行います。				文献検索(4時間)				
10	文献検索3-2	災害時の備蓄に関する文献検索を行います。				文献検索(4時間)				
11	文献レビュー3-1	災害時の備蓄に関する文献レビューを行います。				文献レビュー(4時間)				
12	文献レビュー3-2	災害時の備蓄に関する文献レビューを行います。				文献レビュー(4時間)				
13	実践活動(糖尿病)1	糖尿病食のメニューを考えます。				献立作成(4時間)				
14	実践活動(糖尿病)2	糖尿病食のメニューを試作します。				試作調理(4時間)				
15	実践活動(糖尿病)3	運営計画を立案します。				運営計画(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「臨床栄養」(医歯薬出版)(別途、指示します。)				レポート:100% S:計画通りに研究を遂行し考え方や知識の幅を広げられる。 A:指導により研究を遂行し考え方や知識の幅を広げられる。 B:計画通りに問題意識を持ち課題解決が行える。 C:指導により問題意識を持ち課題解決が行える。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「Nutrition Care」(メディカ出版)				食事会の実践活動はグループ単位で、研究は個人で進めます。前期で論文を完成するという画期的な取組に挑戦します。						

科目名	健康栄養演習		学年学期	3年前期	単位数	1	ナパリング	NL36041	研究室	S-08
担当者	沖嶋 直子		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	水曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
<p>本演習は4年次に実施する卒業研究の準備段階として、基礎的な研究能力を身に付ける事を目的としています。TVやインターネットなどによる情報過多の昨今、栄養情報は玉石混合です。その中から科学的に正しい情報を正しい形で対象者に伝える事は管理栄養士の責務です。よって、本演習では科学的に正しい情報を検索、精査し、わかりやすく伝えられるようになる事を目的とし、演習、実験、学内外での活動等を進めていきます。</p>										
学修到達目標										
<p>科学的に正しい情報を検索、精査し、言葉やプレゼンテーション資料を効果的に用いて、他の人々にわかりやすく伝えられるようになる事、卒業研究を遂行するのに必要な実験・実習の手技を身に付ける事を学修到達目標とします。</p>										
授業の進め方										
情報収集と精査、人へ伝える練習として、事前に指示された内容に関するプレゼンテーションを行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	2回目以降に使用する資料を配付し、発表の仕方を説明します。				2回目担当者は資料を作成し発表に備える。それ以外の人は資料に目を通し予習する。(1時間)				
2	プレゼンテーション	テーマに沿った説明資料を用いて、プレゼンテーションを行います。				3回目担当者は資料を作成し発表に備える。それ以外の人は資料に目を通し予習する。(1時間)				
3	プレゼンテーション	テーマに沿った説明資料を用いて、プレゼンテーションを行います。				4回目担当者は資料を作成し発表に備える。それ以外の人は資料に目を通し予習する。(1時間)				
4	プレゼンテーション	テーマに沿った説明資料を用いて、プレゼンテーションを行います。				5回目担当者は資料を作成し発表に備える。それ以外の人は資料に目を通し予習する。(1時間)				
5	プレゼンテーション	テーマに沿った説明資料を用いて、プレゼンテーションを行います。				5回目担当者は資料を作成し発表に備える。それ以外の人は資料に目を通し予習する。(1時間)				
6	プレゼンテーション	テーマに沿った説明資料を用いて、プレゼンテーションを行います。				6回目担当者は資料を作成し発表に備える。それ以外の人は資料に目を通し予習する。(1時間)				
7	プレゼンテーション	テーマに沿った説明資料を用いて、プレゼンテーションを行います。				6回目担当者は資料を作成し発表に備える。それ以外の人は資料に目を通し予習する。(1時間)				
8	プレゼンテーション	テーマに沿った説明資料を用いて、プレゼンテーションを行います。				6回目担当者は資料を作成し発表に備える。それ以外の人は資料に目を通し予習する。(1時間)				
9	文献の検索	研究に必要な文献をデータベースで検索する方法を習得し、実際に検索します。				卒業研究で行いたいテーマについて考えてくる事。(1時間)				
10	抄読会	第7回に検索した文献について、順番にプレゼンを行います。				担当者は文献を読み込んで理解し、配布資料を作成しておく事。(1時間)				
11	抄読会	第7回に検索した文献について、順番にプレゼンを行います。				担当者は文献を読み込んで理解し、配布資料を作成しておく事。(1時間)				
12	抄読会	第7回に検索した文献について、順番にプレゼンを行います。				担当者は文献を読み込んで理解し、配布資料を作成しておく事。(1時間)				
13	抄読会	第7回に検索した文献について、順番にプレゼンを行います。				担当者は文献を読み込んで理解し、配布資料を作成しておく事。(1時間)				
14	抄読会	第7回に検索した文献について、順番にプレゼンを行います。				担当者は文献を読み込んで理解し、配布資料を作成しておく事。(1時間)				
15	まとめ	14回までの内容をまとめ、総括し、健康栄養演習IIの準備をします。				これまでの内容を復習しておく事(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
初回講義日に配布します。				<p>受講態度:100% 発表の出来、質問への対応、積極的に質問していたかなどから判断します。誰に対してもわかる資料を作成しわかりやすく説明した人をA、そのうち特に優れた人をS、ある程度わかりやすい資料を作成し説明出来た人をB、わかりにくい資料や説明だった人をC、非常に分かりにくい資料や説明だった人をDとします。積極的に質問できた人をA、そのうち特に優れた人をS、教員が多少水を向けないと質問できなかった人をB、教員が勧めなければ質問できなかった人をC、教員が勧めても質問できなかった人をDとします。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
必要に応じて指示します。				健康栄養演習Iでは、資料を調べわかりやすく人に伝えるレッスンをを行います。積極的な受講を希望します。						

科目名	健康栄養演習		学年学期	3年前期	単位数	1	ナパリング	NL36041	研究室	S-06
担当者	矢内 和博		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	月曜日4限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
<p>本講座は、1・2年次までに学んだ基礎・専門知識を基本に、特に食品学、加工学、機能学を中心に研究活動を行っていきます。また、本学の教育の特色であるアウトキャンパス・スタディーとして、農作物等の1次生産者、食品加工メーカーおよび研究機関など、教科書に無い知識の積極的な取得を目指します。これらを通じて、4年次の卒業研究に向け学生各自の研究課題の決定と、総合的な学習能力の向上を目指します。また、地域のニーズがあれば、商品開発にも積極的に参加してもらいます。</p>										
学修到達目標										
<p>企業、行政等の依頼を受け、活動することが非常に多く、多彩な動きをします。しかし、授業等が多く、活動に参加する機会が少ないのが現状です。その中において、研究室の動きとしっかり連携を組み、できる限る活動に参加する心構えを持つこと、自主的にまた積極的に活動に参加すること、さらに報告、連絡、相談がしっかりできるようにすることを目標とします。</p>										
授業の進め方										
<p>研究の基礎として、文献を通して研究の現状把握と課題の探索を行います。また、学生の研究に対する自主性・積極性を重視したいので、基本的には学生を中心としたゼミ・ディスカッションを実施します。必要性を各自見出して研究を組み立て、実行します。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンス(1)	年間計画と活動内容についてお話しします。					ゼミノートをつけるように準備してください(1時間)			
2	ガイダンス(2)	今までの研究活動を紹介します。					ゼミノートを付けてください。(1時間)			
3	面談(1)	個人面談を行います。希望するテーマ、就職、学習、資格取得について話します。面談の無い学生は4年生の研究の手伝いをします。					面談記録、活動記録を付けてください。(1時間)			
4	面談(2)	個人面談を行います。希望するテーマ、就職、学習、資格取得について話します。面談の無い学生は4年生の研究の手伝いをします。					面談記録、活動記録を付けてください。(1時間)			
5	面談(3)	個人面談を行います。希望するテーマ、就職、学習、資格取得について話します。面談の無い学生は4年生の研究の手伝いをします。					面談記録、活動記録を付けてください。(1時間)			
6	勉強会(1)	食品加工についてゼミを行います。(食品の凍結と解凍)					ゼミの内容をまとめ、自分なりの学習ノートを作成してください。(1時間)			
7	勉強会(2)	食品加工についてゼミを行います。(食品の膨化)					ゼミの内容をまとめ、自分なりの学習ノートを作成してください。(1時間)			
8	勉強会(3)	食品加工についてゼミを行います。(生動物性)					ゼミの内容をまとめ、自分なりの学習ノートを作成してください。(1時間)			
9	勉強会(4)	食品加工についてゼミを行います。(食品の凝固)					ゼミの内容をまとめ、自分なりの学習ノートを作成してください。(1時間)			
10	勉強会(5)	食品加工についてゼミを行います。(食品の乾燥)					ゼミの内容をまとめ、自分なりの学習ノートを作成してください。(1時間)			
11	勉強会(6)	食品加工についてゼミを行います。(食品の変色)					ゼミの内容をまとめ、自分なりの学習ノートを作成してください。(1時間)			
12	勉強会(7)	食品加工についてゼミを行います。(食品の劣化)					ゼミの内容をまとめ、自分なりの学習ノートを作成してください。(1時間)			
13	勉強会(8)	食品加工についてゼミを行います。(抽出)					ゼミの内容をまとめ、自分なりの学習ノートを作成してください。(1時間)			
14	勉強会(9)	食品加工についてゼミを行います。(抽出)					ゼミの内容をまとめ、自分なりの学習ノートを作成してください。(1時間)			
15	勉強会(10)	食品加工についてゼミを行います。(抽出)					ゼミの内容をまとめ、自分なりの学習ノートを作成してください。(1時間)			
テキスト			成績評価の方法・基準							
プリントを配布します。			<p>受講態度：100% 全員で同じ研究テーマに取り組みますので、進捗状況を100%評価します。また、報告、連絡、相談の有無も評価対象とします。 A:積極的に研究テーマに取り組み、一定の成果を出すことができる。 B:積極的に研究テーマに取り組みことができ、後期につながる成果を出すことができる。 C:研究に取り組みすることができる。 最も評価の高い学生はSとします。</p>							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
プリントを配布します。			基礎知識を深め、食品の研究開発に応用できるように学習します。							

科目名	健康栄養演習			学年学期	3年前期	単位数	1	ナパ'リング	NL36041	研究室	S-09
担当者	成瀬 祐子			必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	月曜日1限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
給食や食に関する課題を発見し、解決方法を模索します。食に関連する文献を読み、ゼミ内で発表・討論しながらこの分野への造詣を深めていきます。ゼミ内での発表や討論を通してプレゼンテーション能力も身につけていきます。											
学修到達目標											
給食や食に関する課題発見能力、文献をはじめとした情報収集・分析の方法を身につける、プレゼンテーション能力を向上させることを目標とします。											
授業の進め方											
給食や食に関する文献の輪読や発表、討論をしながら、この分野への造詣を深めていきます。また、4年生の研究を一緒に行うことで、研究手法を学んでいきます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	演習の進め方や、文献の探し方、読み方、発表方法などを説明します。					自分が給食や食にどのように関心があるのかを改めて考えてくる。(1時間)				
2	食について考える(1)	学生が順番に食に関する書籍を紹介し、その内容について討論します。					紹介する書籍を読み、内容を発表できるように準備をする。(1時間)				
3	食について考える(2)	学生が順番に食に関する書籍を紹介し、その内容について討論します。					紹介する書籍を読み、内容を発表できるように準備をする。(1時間)				
4	食について考える(3)	学生が順番に食に関する書籍を紹介し、その内容について討論します。					紹介する書籍を読み、内容を発表できるように準備をする。(1時間)				
5	食について考える(4)	学生が順番に食に関する書籍を紹介し、その内容について討論します。					紹介する書籍を読み、内容を発表できるように準備をする。(1時間)				
6	食について考える(5)	学生が順番に食に関する書籍を紹介し、その内容について討論します。					紹介する書籍を読み、内容を発表できるように準備をする。(1時間)				
7	食について考える(6)	学生が順番に食に関する書籍を紹介し、その内容について討論します。					紹介する書籍を読み、内容を発表できるように準備をする。(1時間)				
8	食について考える(7)	学生が順番に食に関する書籍を紹介し、その内容について討論します。					紹介する書籍を読み、内容を発表できるように準備をする。(1時間)				
9	食について考える(8)	学生が順番に食に関する書籍を紹介し、その内容について討論します。					紹介する書籍を読み、内容を発表できるように準備をする。(1時間)				
10	食について考える(9)	学生が順番に食に関する書籍を紹介し、その内容について討論します。					紹介する書籍を読み、内容を発表できるように準備をする。(1時間)				
11	食について考える(10)	学生が順番に食に関する書籍を紹介し、その内容について討論します。					紹介する書籍を読み、内容を発表できるように準備をする。(1時間)				
12	研究手法を学ぶ(1)	4年生の研究活動を一緒に行うことで、研究の手法や、研究デザインについて学びます。					研究活動や方法を理解しておく。(1時間)				
13	研究手法を学ぶ(2)	4年生の研究活動を一緒に行うことで、研究の手法や、研究デザインについて学びます。					研究活動や方法を理解しておく。(1時間)				
14	研究手法を学ぶ(3)	4年生の研究活動を一緒に行うことで、研究の手法や、研究デザインについて学びます。					研究活動や方法を理解しておく。(1時間)				
15	研究手法を学ぶ(4)	4年生の研究活動を一緒に行うことで、研究の手法や、研究デザインについて学びます。					研究活動や方法を理解しておく。(1時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
必要に応じて提示します。					受講態度:50% 課題:50% S:情報収集や討論等への参加を常に積極的に行った。文献等の内容をまとめて伝わりやすいプレゼンができる。A:情報収集や討論等への参加を常に積極的に行った。文献等の内容をまとめて伝えることを意識したプレゼンができる。 B:情報収集や討論等への参加を積極的に行った。文献等の内容をまとめてプレゼンをすることができる。C:情報収集や討論等への参加を前向きに行った。文献等の内容をまとめてプレゼンすることが何とかできる。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
必要に応じて提示します。					食に広い関心を持ち、積極的に取り組んでください						

科目名	健康栄養演習		学年学期	3年前期	単位数	1	ナパリング	NL36041	研究室	S-05
担当者	長谷川 尋之		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	水曜日1限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
これまでの学修内容を基盤とし、ゼミ内でディスカッションや実践を通じて応用栄養学並びに運動栄養学分野の研究を行います。主に健康寿命の延伸に関する分野や競技者への介入研究、生理学的研究について理論と実践を学ぶとともに、論文抄読を通じて4年次の卒業研究のテーマに繋がります。										
学修到達目標										
応用栄養学並びに運動栄養学分野に対する関心を持ち、健康分野や競技活動における課題を抽出し、解決のために科学的に考察できる知識やスキルを持つことです。										
授業の進め方										
研究に関する基本事項をグループ学習した後、研究活動の計画を作成する。その後研究活動計画に基づき、ディスカッション、論文抄読会、共同研究などを進めていきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	オリエンテーション	授業ガイダンス(本講義の狙い、進め方)を行います。ゼミで取り組みたいこと、学びたいことについてディスカッションします。					ゼミで取り組みたいことを検討します。(1時間)			
2	研究活動とは	卒業生の取り組んだ卒業研究論文を読み、これまでの研究の流れを理解します。今後の研究への取り組み姿勢、研究の方法について学びます。					卒業論文を読んでおきます。(1時間)			
3	研究活動1-1 調査計画書の作成準備	調査計画書の作成に向けて、論文検索の方法やポイント、研究背景、目的、仮説、方法の考え方について学びます。					自身が興味があるテーマについて論文検索をして、講義後は調査テーマを決めます。(1時間)			
4	研究活動1-2 調査計画書の作成	主に健康増進や競技者を対象とした調査計画書を作成します。計画書のまとめ方、書式について学びます。					ワードの使用法を予習しておき計画書を完成させます。(1時間)			
5	研究活動1-3 調査票の作成準備	調査計画に準じた質問項目の検討、フェイスシート、調査票の作成方法を学びます。					調査論文等を読み、質問項目について予習します。(1時間)			
6	研究活動1-4 調査票の作成	選択肢や回答の種類、解析方法について学びます。作成した質問項目について評価、検討、ディスカッションをします。					調査票を完成させておき、講義後に修正します。(1時間)			
7	研究活動1-5 調査	調査計画に基づき、対象者に調査を行います。収集したデータの入力方法を学び、データ入力、解析のためのシートを作成します。					対象者への調査を行い、エクセルの使用法を予習します。(1時間)			
8	研究活動1-6 解析	収集したデータ解析を行います。統計の目的、方法、留意点について学び、得られたデータについて考察します。					調査データを解析できるようにまとめます。(1時間)			
9	研究活動1-7 調査のまとめ	調査内容の考察をまとめて、プレゼンテーションを作成します。プレゼンテーションの流れ、作成方法、留意点について学びます。					パワーポイントの使用法を予習します。(1時間)			
10	研究活動1-8 調査の報告、評価	調査内容について各自発表します。調査内容の評価、発表の方法についてディスカッションをします。					発表練習をしておき、調査内容について自己評価をまとめます。(1時間)			
11	研究課題の検討	調査の評価を基に対象者の抱える課題、研究の背景を検討するためのディスカッションをします。各自の次回調査及び研究のテーマを考えます。					調査評価より課題を考えておき、次回の調査、研究テーマを決めます。(1時間)			
12	先行研究の検索	これまでの調査及び今後の調査、研究について関連する先行研究を探索します。論文検索方法、ポイントについて学びます。					論文検索の手順について予習します。(1時間)			
13	論文抄読について	検索した先行研究について論文抄読会の準備を行います。論文を読むポイント、紹介の方法について学びます。					論文を事前に読み、抄読会の準備をします。(1時間)			
14	論文抄読会1	論文抄読会を行います。紹介された論文について意見交換を通じて、論文の構成や手法について学びます。					抄読会の準備をして、紹介した論文の要点をまとめます。(1時間)			
15	論文抄読会2	論文抄読会を行います。紹介された論文について意見交換を通じて、論文の構成や手法について学びます。					抄読会の準備をして、紹介した論文の要点をまとめます。(1時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
特定のテキストは用いず、必要に応じて参考図書等を準備します。					受講態度：40% 課題：60% ゼミ研究に関連する実験及び実習への取組と定期的な報告、課題を総合的に評価します。検索した論文をまとめることが単位認定の条件でC評価、まとめた内容を説明できることでB評価とします。また、自分の実験、実習をまとめることでA評価、説明できることでS評価とします。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
必要に応じて参考図書を紹介いたします。					これまでの専門科目を十分に復習してください。また、研究や実践活動では設定された授業時間以外の活動となる場合があります。					

科目名	健康栄養演習		学年学期	3年後期	単位数	1	ナパ'リング	NL36042	研究室	S-12
担当者	木藤 伸夫		必修選択	必修	科目種別	演習	オイスア-	水曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
いくつかのテキストを使用し、発酵、遺伝子工学など、微生物が関係する身近な技術、最新技術について学習します。また、みそ、甘酒、ヨーグルトなどの発酵食品や、酵母を使ったパンなどを作り微生物のはたらきを体験します。										
学修到達目標										
通常の講義や実習などでは十分に学習できない、微生物とその応用技術に関する専門的な知識を身につけるとともに、実際に微生物のはたらきを観察し、微生物を利用した食品作りをとらえて微生物の働きを観察することが目標です。										
授業の進め方										
教科書を交互に読み、不明な点については相互に質問し、議論を通して互いの知識を深めていきます。また、より専門的な書物などでの調査が必要な場合は、調べてレポート等で報告します。発酵食品に興味のあるものを作ってみます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	DNA二重らせん	遺伝子工学技術の基礎となるDNAの構造を復習し、DNA二重らせん構造解明の経緯についても詳しく学びます。					参考書の138～151ページを予習し、DNA二重らせん構造を再学習しておく(4時間)			
2	核酸合成酵素	核酸の合成に関わるDNA合成酵素とRNA合成酵素について詳しく学習します。また、それらの酵素の応用面についても学びます。					参考書の152～155ページを予習し、核酸合成酵素についてまとめる(4時間)			
3	遺伝暗号の解読と遺伝子発現機構	遺伝子の構造、発現機構(転写制御)、タンパク質への翻訳機構の詳細を学修します。					参考書の156～165ページを予習し、チーズの生産に使われている微生物を表にする(4時間)			
4	リボソームとタンパク質合成	細胞内タンパク質合成装置であるリボソームの構造と、リボソームが行うタンパク質合成(翻訳)のメカニズムを詳細に学びます。					参考書の166～172ページを予習する(4時間)			
5	遺伝子組換え技術の基礎	遺伝子工学、遺伝子組換え技術で使用するベクター、酵素について、構造や機能、使用法を学修します。					教科書の173～177ページを読み、遺伝子ベクター-酵素についてまとめる(4時間)			
6	遺伝子クローニング法	実際に行われた過去の実験例を参考に、遺伝子のクローニング技術の実際を学びます。					教科書の177～184ページを予習する(4時間)			
7	有用遺伝子のクローニング法	有用な遺伝子をクローニングするときに必要な逆転写法と、人工的なDNA合成方法を学びます。また、遺伝子組換え技術の安全性について、これまでどのような議論がなされたかを学修します。					参考書の184～188ページを予習し、cDNA合成法についてまとめる(4時間)			
8	糖尿病とインスリン	遺伝子組換え技術の治療薬への応用は、ペプチドホルモンの産生から始まった。この技術の有用性を理解するため、ヒトの病気とホルモンの関連を糖尿病とインスリンを例に学修します。					参考書の189～195ページを予習し、糖尿病とインスリンの作用を整理する(4時間)			
9	遺伝子組換え体のスクリーニング法	ラットのプロインスリンのクローニングを例に、遺伝子組換え体の作製法と組換え体の検出法について学びます。					教科書の195～203ページを予習し、遺伝子組換え体のスクリーニング法をまとめる(4時間)			
10	初めて細菌で作ったヒトのタンパク質	遺伝子組換え技術を使って最初に細菌でつくられたペプチドホルモン、ソマトスタチンを例に、大腸菌を使った有用タンパク質の合成法を学修します。					教科書の203～211ページを予習し、ベクターの使い方を整理する(4時間)			
11	初期のインスリン産生	遺伝子組換えインスリンの産生技術がどのように変遷したかを知るために、初期の遺伝子組換えインスリン産生法を学修します。					教科書の212～220ページを予習し、インスリンの作用機序を整理する(4時間)			
12	実用化された遺伝子組換えインスリン	大腸菌、酵母を用いたヒトインスリン前駆体産生法と、タンパク質工学による人工インスリン変異体産生法を学びます。					教科書の220～224ページを読み、治療薬として使われているインスリン産生法を整理する(4時間)			
13	動物細胞を用いた遺伝子組換え技術	動物細胞への遺伝子導入法、タンパク質産生法を学修し、その将来性について整理します。					教科書224～230ページを読み、哺乳動物細胞を使った有用タンパク質産生法をまとめる(4時間)			
14	日本のバイオテクノロジー	チーズ製造に使われる凝乳酵素、キモシンの開発過程を参考に、遺伝子組換え技術とその有用性について学修します。					教科書の230～236ページを予習し、キモシンの製造過程をまとめる(4時間)			
15	遺伝子組換え技術と微生物	最新技術として様々な分野での応用が進んでいる遺伝子組換え技術に、微生物がいかに貢献してきたかを整理し、それぞれの微生物を使うメリット、デメリットについて討論します。					これまでの資料で理解不足の点を整理し、討論を通して完全に理解するように努める(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
授業時に紹介する。		受講態度:100% ゼミへの出席、討論での発言や質問の回数、問題提議できたかなどで評価します。発酵現象を生理・生化学的に説明できればC、教科書に書かれている分子生物学の手法を具体的に説明できればB、身の回りで実際に実用化されているバイオテクノロジー技術を見つけたし、応用されている技術を正確に説明できればA、自然界の微生物を使った新たな技術の概略を提案できればS。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「EURO版バイオテクノロジーの教科書(上)」ラインハート・レンネバーグ著 小林達彦(監修)、田中暉夫/奥原正国(訳)編(講談社) 「図解でよくわかる発酵のきほん」館博 監修編(誠文堂新光社)		生活の様々な分野で活用されている微生物について、幅広い知識を身につけましょう。								

科目名	健康栄養演習	学年学期	3年後期	単位数	1	ナパ リング	NL36042	研究室	S-02	
担当者	廣田 直子	必修選択	必修	科目種別	演習	オイスア-	水曜日3限			
関連資格				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度(読替科目)								
	A B C									
授業概要										
本演習 では に引き続き、食育・栄養教育のあり方について、総合的、研究的に探求します。演習 に引き続き、ゼミナル内でのディスカッションや実践活動等を行ない実践力を培うことを重視します。ヘルスプロモーションにおける教育アプローチとしての栄養教育活動について考察することを主眼としますが、環境アプローチとしての食環境整備についても考えます。理論と実践をつなぐ地域における活動を重視し、4年次の卒業研究テーマ設定に向けた論文抄読会も実施します。										
学修到達目標										
態度：栄養教育分野の研究に対する情熱を高めること。 知識・スキル：地域における食の課題に気づき、その解決を図るために、学術的にアプローチしていく知識とスキルの修得。 具体的到達目標：4年次の卒業研究に関する計画の概要を作成すること。										
授業の進め方										
基礎的事項についてグループ学習を行った後、地域における活動に関する実践活動計画を作成し、それに基づいた実践活動をアウトキャンパススタディとして実施します。その実践に基づいたディスカッション、論文抄読会、共同研究などによって進めていきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	論文抄読会1	各自が長期休業中に検索して収集した論文について抄読会を実施します。論文を読むときのポイントについて学修します(発表者2-3名)。					発表予定者は読んだ論文の発表準備、事後には各自発表論文の特徴と要点のまとめ(2時間)			
2	食事指導力の向上に向けた栄養教育実践活動2	地域住民へのレシピ提案活動に向けて、専門職が発信する食・栄養情報の提供方法のあり方について考え、対象者の設定と目的、題材等についてディスカッションして、方針を決定します。					1人1品のレシピ提案ができるようレシピの検討と試作、提案文書の作成を行う(2時間)			
3	論文抄読会2	各自が長期休業中に検索して収集した論文について抄読会を実施します。栄養教育分野の論文形式について、論文構成に関する意見交換を通して学修します(発表者2-3名)。					発表予定者は読んだ論文の発表準備、事後には各自発表論文の特徴と要点のまとめ(2時間)			
4	栄養教育に関するフィールド活動1-1 活動実践	健康づくり教室の一環としての1講座における栄養教育実践をアウトキャンパススタディとして実施し、食事選択に関する指導、グループダイナミクスの活用について実践的に学修します。					各自で活動実施にあたって必要となる知識やスキルについて自己学修を進める(1時間)			
5	栄養教育に関するフィールド活動1-2 活動評価とまとめ	アウトキャンパススタディとして実施した講座の栄養教育実践に関して、企画評価、プロセス評価、結果評価のまとめとディスカッションを通して、グループ学習形式のポイントについて学修します。					事前に自分なりの活動評価をまとめる(1時間)、各自の活動で学修成果を活かす			
6	論文抄読会3	各自が長期休業中に検索して収集した論文について抄読会を実施します。特に、研究で用いられている栄養教育に関する理論、統計解析方法に着目してディスカッションし、理解を深めます(発表者2-3名)。					発表予定者は読んだ論文の発表準備、事後には各自発表論文の特徴と要点のまとめ(2時間)			
7	卒業研究について考える1 4年生のプレゼンテーションから	抄読会を通して学修した内容と、4年生の卒業研究中間発表会におけるプレゼンテーションとディスカッションを踏まえて、各自が卒業研究テーマとして設定したい内容について絞り込みを行います。					自分が取り組んでみたい研究テーマについて、研究ノートにまとめる(1時間)			
8	論文抄読会4 食育および食事調査等に関する研究	各自が絞り込んだ研究テーマに関する先行研究を探索し、収集した論文について抄読会を実施します。研究方法に着目してディスカッションし、各自の研究計画の作成につなげます(発表者1-2名)。					発表予定者は読んだ論文の発表準備、事後には各自発表論文の特徴と要点のまとめ(2時間)			
9	論文抄読会5 教育アプローチとしての研究	各自が絞り込んだ研究テーマに関する先行研究を探索し、収集した論文について抄読会を実施します。研究方法に着目してディスカッションし、各自の研究計画の作成につなげます(発表者1-2名)。					発表予定者は読んだ論文の発表準備、事後には各自発表論文の特徴と要点のまとめ(2時間)			
10	論文抄読会6 主として食環境整備に関する研究	各自が絞り込んだ研究テーマに関する先行研究を探索し、収集した論文について抄読会を実施します。研究方法に着目してディスカッションし、各自の研究計画の作成につなげます(発表者1-2名)。					発表予定者は読んだ論文の発表準備、事後には各自発表論文の特徴と要点のまとめ(2時間)			
11	論文抄読会7 社会の変容理論等に着眼した研究	各自が絞り込んだ研究テーマに関する先行研究を探索し、収集した論文について抄読会を実施します。研究方法に着目してディスカッションし、各自の研究計画の作成につなげます(発表者1-2名)。					発表予定者は読んだ論文の発表準備、事後には各自発表論文の特徴と要点のまとめ(2時間)			
12	卒業研究について考える2 4年生の卒業研究発表会から	抄読会を通して学修した内容と、他のゼミナル生も含めた卒業研究発表会における4年生のプレゼンテーションと質疑応答を踏まえて、各自が卒業研究テーマとして設定したい内容について具体的に考えます。					自分が取り組んでみたい研究テーマについて、研究ノートにまとめる(1時間)			
13	論文抄読会8 その他関連分野の研究	各自が絞り込んだ研究テーマに関する先行研究を探索し、収集した論文について抄読会を実施します。研究方法に着目してディスカッションし、各自の研究計画の作成につなげます(発表者1-2名)。					読んだ論文の発表準備、事後には各自発表論文の特徴と要点のまとめ(2時間)			
14	卒業研究について考える3 先行研究の探索と研究計画概要の作成	各自が設定しようとしている卒業研究テーマについて、先行研究を探索し、研究方法、得られた成果と今後の課題等を整理し、各自、卒業研究計画の概要をまとめます。					事前に、設定した研究テーマについて、論文を収集し、事後には研究計画づくりを進める(1時間)			
15	卒業研究について考える4 研究テーマ、研究概要に関するプレゼンテーション	各自がまとめた研究概要についてゼミナル内でプレゼンテーションし、質疑応答とディスカッションを踏まえて、研究計画の詳細を検討します。					質疑応答とディスカッションを踏まえて詳細な研究計画を作成する(1時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
テキストは用いず、必要に応じて参考図書を紹介するほか、配布資料等を用意します。		レポート：90% 受講態度：10% 受講態度とは実践活動中の態度等の観察評価を指す。S:高いモチベーションで活動に参加し、活動から得た知識やスキル等を卒業研究に結び付け、研究計画の詳細を述べる事ができる。A:積極的に活動に参加し、活動から得た知識やスキル等を卒業研究に結び付け、研究計画を述べる事ができる。B:活動に参加したことを踏まえて研究計画について述べる事ができる。C:参加した活動等をもとにして研究計画の一部について述べる事ができる。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「食事調査マニュアル はじめの一步から実践・応用まで 第3版」特定非営利活動法人 日本栄養改善学会(監修、監修)編(南山堂) ISBN:978-4-525-63333-2		これまでの専門科目、特に実践系科目のつながりを考えながら復習しましょう。研究・実践活動が中心となり、アウトキャンパススタディも組み入れるため、設定された授業時間以外での活動(夜間や休日)も多くなります。								

科目名	健康栄養演習			学年学期	3年後期	単位数	1	ナパ'リング	NL36042	研究室	S-01
担当者	山田 一哉			必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	月曜日1限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
専門書や総説を輪読したり、内容を要約・発表したりすることにより、研究に必要な基本的知識の習得を目指します。夏季休暇中には先輩の実験を手伝って、基本的技術の習得を目指します。											
学修到達目標											
健康栄養演習は、4年次の卒業研究に向けての準備段階と位置づけています。そこで、研究室とはどういうところかということ学んだり、卒業研究を行うために必要な基本的な科学的知識や技術の習得にも努めてもらいます。その中で、各自の研究課題の発見や基礎的学習能力の向上を目指します。											
授業の進め方											
6名程度の学生を受け持ちゼミナール形式で進めます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	医学的基礎知識の習得(5)	「インスリン」を輪読し、内容を説明してもらいます。インスリンについて基礎医学的視点・臨床医学的視点から学びます。					「インスリン」を予め読んでおき、段落ごとの内容を説明する。事後は、知識を整理する。(4時間)				
2	医学的基礎知識の習得(6)	「インスリン」を輪読し、内容を説明してもらいます。インスリンについて基礎医学的視点・臨床医学的視点から学びます。					「インスリン」を予め読んでおき、段落ごとの内容を説明する。事後は、知識を整理する。(4時間)				
3	医学的基礎知識の習得(7)	「インスリン」を輪読し、内容を説明してもらいます。インスリンについて基礎医学的視点・臨床医学的視点から学びます。					「インスリン」を予め読んでおき、段落ごとの内容を説明する。事後は、知識を整理する。(4時間)				
4	医学的基礎知識の習得(8)	「インスリン」を輪読し、内容を説明してもらいます。インスリンについて基礎医学的視点・臨床医学的視点から学びます。					「インスリン」を予め読んでおき、段落ごとの内容を説明する。事後は、知識を整理する。(4時間)				
5	医学的基礎知識の習得(9)	「インスリン」を輪読し、内容を説明してもらいます。インスリンについて基礎医学的視点・臨床医学的視点から学びます。					「インスリン」を予め読んでおき、段落ごとの内容を説明する。事後は、知識を整理する。(4時間)				
6	医学的基礎知識の習得(10)	「インスリン」を輪読し、内容を説明してもらいます。インスリンについて基礎医学的視点・臨床医学的視点から学びます。					「インスリン」を予め読んでおき、段落ごとの内容を説明する。事後は、知識を整理する。(4時間)				
7	専門的知識の習得(1)	「ホルモンと食品成分による遺伝子発現の制御」の総説を輪読し、内容を説明してもらいます。研究対象の遺伝子の生物学的意義を理解します。					「総説」を予め読んでおき、段落ごとの内容を説明する。事後は、知識を整理すること。(4時間)				
8	専門的知識の習得(2)	「ホルモンと食品成分による遺伝子発現の制御」の総説を輪読し、内容を説明してもらいます。研究対象の遺伝子の生物学的意義を理解します。					「総説」を予め読んでおき、段落ごとの内容を説明する。事後は、知識を整理すること。(4時間)				
9	専門的知識の習得(3)	「ホルモンと食品成分による遺伝子発現の制御」の総説を輪読し、内容を説明してもらいます。研究対象の遺伝子の生物学的意義を理解します。					「総説」を予め読んでおき、段落ごとの内容を説明する。事後は、知識を整理すること。(4時間)				
10	専門的知識の習得(4)	「ホルモンと食品成分による遺伝子発現の制御」の総説を輪読し、内容を説明してもらいます。研究対象の遺伝子の生物学的意義を理解します。					「総説」を予め読んでおき、段落ごとの内容を説明する。事後は、知識を整理すること。(4時間)				
11	専門的知識の習得(5)	「ホルモンと食品成分による遺伝子発現の制御」の総説を輪読し、内容を説明してもらいます。研究対象の遺伝子の生物学的意義を理解します。					「総説」を予め読んでおき、段落ごとの内容を説明する。事後は、知識を整理すること。(4時間)				
12	文献検索・各種データベース検索法	パソコンを用いて、PubMedからの文献検索やDNAの塩基配列から遺伝子情報を検索する方法について学びます。					予めパソコン操作に慣れておくこと。事後、自分が関心のある文献や遺伝子を検索する。(4時間)				
13	卒業研究のテーマを探す(1)	これまでの学習や討論をもとに、卒業研究のテーマを決めていきます。					卒業研究のテーマを考え、それに関する資料を収集する。(4時間)				
14	卒業研究のテーマを探す(2)	これまでの学習や討論をもとに、卒業研究のテーマを決めていきます。					卒業研究のテーマを考え、それに関する資料を収集する。(4時間)				
15	卒業研究のテーマ発表	自分の卒業研究のテーマについて発表・検討します。					発表用資料を準備する。事後にはテーマについてまとめておく。(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
教員より適宜提示します。					受講態度：100% 受講態度とは、演習時の準備状況・発表の仕方の程度を指す。一応発表できるとC。内容をある程度理解しながら発表できるとB。内容を深く理解しながら発表できるとA。内容を深く理解しながらよりよい発表できるとS。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
教員より適宜提示します。					実験研究を通して、自分を成長させたいと真剣に思う気持ちや失敗が続いても全く新しいことにチャレンジしてやろうという強い気持ちをもって臨まれます。						

科目名	健康栄養演習		学年学期	3年後期	単位数	1	ナパリング	NL36042	研究室	S-10
担当者	高木 勝広		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	月曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本演習は演習 に引き続き、4年次の卒業研究において発展的・応用的に研究活動をするための基礎を学ぶものと位置づけています。研究分野は食品化学分野です。具体的には、科学的知識を習得するために関連の専門書を輪読したり、また技術面では微生物・動物細胞の取り扱い方(培養方法)、実験試薬の取り扱い等になります。研究をする意義やそれを実践する上での心構え、研究室とはどういうところか等についても学びます。演習後半には、4年次の卒業研究における研究テーマの決定をします。										
学修到達目標										
専門書・研究論文を読んで、その要点を解りやすい言葉で発表できるようになること、また学生-教師間あるいは学生間で積極的にディスカッションする姿勢を身につけることが目標です。										
授業の進め方										
専門分野の勉強会では、学内外における様々な専門書、研究論文などを教材にし、学生による要点の発表およびそれに対する議論を中心に行います。教員からの一方的な講義形式ではなく、学生間のディスカッションも重視します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	専門知識を学ぶ(1)	研究を行う上で必要な専門知識を学びます。学生は専門書(インスリンとは)を輪読し、その要点を述べてもらい、その後教員が解説を加えます。				事前にテキストを読む。自分なりに要点をまとめて臨んでください。(1時間)				
2	専門知識を学ぶ(2)	研究を行う上で必要な専門知識を学びます。学生は専門書(インスリンによる血糖調節作用)を輪読し、その要点を述べてもらい、その後教員が解説を加えます。				事前にテキストを読む。自分なりに要点をまとめて臨んでください。(1時間)				
3	専門知識を学ぶ(3)	研究を行う上で必要な専門知識を学びます。学生は専門書(糖尿病とインスリン)を輪読し、その要点を述べてもらい、その後教員が解説を加えます。				事前にテキストを読む。自分なりに要点をまとめて臨んでください。(1時間)				
4	専門知識を学ぶ(4)	研究を行う上で必要な専門知識を学びます。学生は専門書(糖尿病とインスリン)を輪読し、その要点を述べてもらい、その後教員が解説を加えます。				事前にテキストを読む。自分なりに要点をまとめて臨んでください。(1時間)				
5	専門知識を学ぶ(5)	研究を行う上で必要な専門知識を学びます。学生は専門書(インスリン抵抗性と肥満)を輪読し、その要点を述べてもらい、その後教員が解説を加えます。				事前にテキストを読む。自分なりに要点をまとめて臨んでください。(1時間)				
6	専門知識を学ぶ(6)	研究を行う上で必要な専門知識を学びます。学生は専門書(インスリン発見までの道のり)を輪読し、その要点を述べてもらい、その後教員が解説を加えます。				事前にテキストを読む。自分なりに要点をまとめて臨んでください。(1時間)				
7	専門知識を学ぶ(7)	研究を行う上で必要な専門知識を学びます。学生は専門書(インスリンの生合成・分泌・構造)を輪読し、その要点を述べてもらい、その後教員が解説を加えます。				事前にテキストを読む。自分なりに要点をまとめて臨んでください。(1時間)				
8	専門知識を学ぶ(8)	研究を行う上で必要な専門知識を学びます。学生は専門書(インスリン療法)を輪読し、その要点を述べてもらい、その後教員が解説を加えます。				事前にテキストを読む。自分なりに要点をまとめて臨んでください。(1時間)				
9	専門知識を学ぶ(9)	研究を行う上で必要な専門知識を学びます。学生は専門書(インスリン製剤の進歩)を輪読し、その要点を述べてもらい、その後教員が解説を加えます。				事前にテキストを読む。自分なりに要点をまとめて臨んでください。(1時間)				
10	研究論文紹介	研究を行う上で必要な専門知識を学びます。学生は研究論文(ホルモンと食品成分による時計遺伝子SHARPsの発現調節)を輪読し、その後教員が解説を加えます。				事前に配布した論文を読んでおく。講義後には要点をまとめてください。(1時間)				
11	研究論文紹介	研究を行う上で必要な専門知識を学びます。学生は研究論文(ホルモンと食品成分による時計遺伝子SHARPsの発現調節)を輪読し、その後教員が解説を加えます。				事前に配布した論文を読んでおく。講義後には要点をまとめてください。(1時間)				
12	研究論文紹介	研究を行う上で必要な専門知識を学びます。学生は研究論文(ホルモンと食品成分による時計遺伝子SHARPsの発現調節)を輪読し、その後教員が解説を加えます。				事前に配布した論文を読んでおく。講義後には要点をまとめてください。(1時間)				
13	研究論文紹介	研究を行う上で必要な専門知識を学びます。学生は研究論文(ホルモンと食品成分による時計遺伝子SHARPsの発現調節)を輪読し、その後教員が解説を加えます。				事前に配布した論文を読んでおく。講義後には要点をまとめてください。(1時間)				
14	研究論文紹介	研究を行う上で必要な専門知識を学びます。学生は研究論文(ホルモンと食品成分による時計遺伝子SHARPsの発現調節)を輪読し、その後教員が解説を加えます。				事前に配布した論文を読んでおく。講義後には要点をまとめてください。(1時間)				
15	卒業研究テーマを決める	教員とディスカッションした後、4年次の卒業研究のテーマを決めます。				事前に自分の考えてまとめておく。(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「教員より指示します。」				受講態度:40% 課題:60% 受講態度とは、専門書の輪読やテーマごとの議論への参加等を指します。S:要求された程度を越えて優秀である。A:優秀である。B:要求を満たす内容である。C:単位修得を認める合格最低ラインである。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「教員より指示します。」				本演習は、4年次の卒業研究を行うための準備として専門知識を蓄え、研究的探求心を高めるために行います。事前にテキストを読むなど、主体的に臨んでください。長期休暇を利用して、実験方法等を教えます。						

科目名	健康栄養演習			学年学期	3年後期	単位数	1	ナパリング	NL36042	研究室	N-04
担当者	弘田 量二			必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	火曜日4限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
本演習では、卒業研究ならびに管理栄養士国家試験対策の準備段階としての位置づけから、専門分野の文献収集の方法や研究方法、結果の評価法ならびに国試傾向などについて指導し、理解を深めます。また、研究方法論全般について学び、調査・研究へのデザイン能力、栄養物質や有害物質の食事摂取量評価などについて統計学的手法に基づいて評価する力を養います。											
学修到達目標											
専門書・研究論文の読み方を習得し、その要点を解りやすい言葉で発表できるようになること、また学生-教師間あるいは学生間で積極的にディスカッションする姿勢を身につけること、グループの中で協調性をもって活動していくが目標です。											
授業の進め方											
論文の抄読会を通じて、多数の専門論文を読破していきます。自分や仲間が紹介した論文の要点が迅速にわかるようになること、学生間や学生と教員間での自由な討論の場をつくることを重視します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	後期オリエンテーション	授業の狙いと、2年間を見通したゼミ活動について説明します。単回帰、重回帰、ピアソンの相関係数、スピアマンの相関について学習します。また、論文の紹介と議論を行います。					テキスト8日目を熟読してください。(1時間)				
2	リスク比、オッズ比、ロジスティック回帰分析(1)	リスク比やオッズ比の計算法、ロジスティック回帰分析について学びます。また、論文の紹介と議論を行います。					テキスト9日目を熟読してください。(1時間)				
3	リスク比、オッズ比、ロジスティック回帰分析(2)	リスク比やオッズ比の計算法、ロジスティック回帰分析について学びます。また、論文の紹介と議論を行います。					テキスト9日目を熟読してください。(1時間)				
4	リスク比、オッズ比、ロジスティック回帰分析(3)	リスク比やオッズ比の計算法、ロジスティック回帰分析について学びます。また、論文の紹介と議論を行います。					テキスト9日目を熟読してください。(1時間)				
5	リスク比、オッズ比、ロジスティック回帰分析(4)	リスク比やオッズ比の計算法、ロジスティック回帰分析について学びます。また、論文の紹介と議論を行います。					テキスト9日目を熟読してください。(1時間)				
6	感度・特異度など(1)	検査法における感度、特異度、ROC図について学習します。また、論文の紹介と議論を行います。					テキスト10日目を熟読してください。(1時間)				
7	感度・特異度など(2)	検査法における感度、特異度、ROC図について学習します。また、論文の紹介と議論を行います。					テキスト10日目を熟読してください。(1時間)				
8	生存率の解析(1)	累積イベント率を計算するカプランマイヤーを学習します。また、論文の紹介と議論を行います。					テキスト11日目を熟読してください。(1時間)				
9	生存率の解析(2)	累積イベント率を計算するカプランマイヤーを学習します。また、論文の紹介と議論を行います。					テキスト11日目を熟読してください。(1時間)				
10	研究に必要なサンプル数(1)	研究に必要なサンプル数を計算してから研究をはじめの必要があります。その方法について学習します。また、論文の紹介と議論を行います。					テキスト12日目を熟読してください。(1時間)				
11	研究に必要なサンプル数(2)	研究に必要なサンプル数を計算してから研究をはじめの必要があります。その方法について学習します。また、論文の紹介と議論を行います。					テキスト12日目を熟読してください。(1時間)				
12	質問票の整理(1)	質問票による調査結果をエクセルに入力し集計します。入力ミスのチェックや解決法などについて学びます。また、論文の紹介と議論を行います。					配布資料を熟読してください。(1時間)				
13	質問票の整理(2)	質問票による調査結果をエクセルに入力し集計します。入力ミスのチェックや解決法などについて学びます。また、論文の紹介と議論を行います。					配布資料を熟読してください。(1時間)				
14	論文紹介と議論	これまで学習してきた手法を駆使して論文の紹介と議論を行う。					配布資料を熟読してください。(1時間)				
15	卒業論文テーマを決める	教員とディスカッションし、4年次の卒業論文のテーマを決めます。					事前に自分の考えをまとめておいてください。(1時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「みんなの医療統計-12日間で基礎理論とEZRを完全マスター」新谷歩著(講談社) ISBN:978-4-06-156314-8(生協で購入してください。)ゼミで使用しますので、必ず購入して下さい。					課題:70% 受講態度:30% 課題・論文紹介と議論が主な課題となります。自分が興味を持った分野について論文を集め、皆の前で紹介すること、聴講の際には、しっかりと議論に参加すること。S:要求された程度を越えて優秀である。A:優秀である。B:要求を満たす内容である。C:単位修得を認める合格最低ラインとなります。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「公衆栄養学実習」金田雅代・郡俊之・酒井徹・山本茂著(講談社サイエンスフィック) ISBN:978-4-06-155355-2 その他、講義の中で随時紹介します。					本演習は、4年次の卒業研究を行うための準備として、専門知識を得ること、必要なスキルを身につけるのがねらいです。長期休暇を利用して、健康調査も予定しています。						

科目名	健康栄養演習		学年学期	3年後期	単位数	1	ナパ・リング	NL36042	研究室	W-03
担当者	福島 智子		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	月曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
健康と食の関連について社会的観点から考察します。柔軟な思考力の養成を目標とします。「食」は身体的な健康の基盤となる重要なものであると同時に、精神的・社会的な健康に多大な影響を及ぼします。「食」に関連するさまざまな社会・文化的な側面に着目し、「食べる」という行為がもつ意味を社会学の観点から考察します。食事を共にすること(家族で食事をすること)がもつ重要な意味や作用といった身近な事例から、メディアを中心として伝えられる食品添加物の問題、世界的な食糧問題まで扱う予定です。										
学修到達目標										
現代社会における食に関する課題を発見し、解決するための論理的思考能力と、学習内容を他者に伝えるプレゼンテーション能力を身につけること。										
授業の進め方										
各テーマについて学生が調べて報告する形式で進めます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	テーマ設定の見直し	各自のテーマについて方向性を定めます。					配布プリントをする(1時間)。			
2	研究テーマの報告	研究テーマ、目的について報告します。					報告の準備をする(1時間)。			
3	先行研究レビュー	研究テーマについての先行研究レビューをします。					講義内容の復習をする(1時間)。			
4	先行研究レビュー	研究テーマについての先行研究レビューをします。					講義内容の復習をする(1時間)。			
5	先行研究レビュー	研究テーマについての先行研究レビューをします。					講義内容の復習をする(1時間)。			
6	先行研究レビュー	学生が自身の研究テーマについて先行研究レビューを行い、討論します。					報告準備をする(1時間)。			
7	先行研究レビュー	学生が自身の研究テーマについて先行研究レビューを行い、討論します。					報告準備をする(1時間)。			
8	先行研究レビュー	学生が自身の研究テーマについて先行研究レビューを行い、討論します。					報告準備をする(1時間)。			
9	先行研究レビュー	学生が自身の研究テーマについて先行研究レビューを行い、討論します。					報告準備をする(1時間)。			
10	先行研究レビュー	学生が自身の研究テーマについて先行研究レビューを行い、討論します。					報告準備をする(1時間)。			
11	卒業研究に向けて	これまでの授業内容のまとめを行います。					講義内容の復習をする(1時間)。			
12	卒業研究に向けて	これまでの授業内容のまとめを行います。					講義内容の復習をする(1時間)。			
13	卒業研究に向けて	ゼミナールでの討論を踏まえ、各自の卒業研究計画をたてます。					卒業研究チェックシートを完成させる(1時間)。			
14	卒業研究に向けて	テーマの確定とそれについての討論をします。					卒業研究チェックシートを完成させる(1時間)。			
15	卒業研究に向けて	各自卒業研究のチェックシートを仕上げます。					春季休業中の課題学習を行う(1時間)。			
テキスト					成績評価の方法・基準					
使用テキストは各自異なりますので、必要に応じて指定します。					受講態度:50% 課題:50% 受講態度には、ディスカッションへの参加度が含まれます。 S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考能力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組むことができる。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組むことができる。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組むことができる。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組むことができる。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「フード・ポリティクス 肥満社会と食品産業」マリオン・ネッスル著新曜社編					英語の文献を使用する場合があるので、最低限の英語読解力は必要になります。演習には学生の自主性が強く求められます。次回演習までに、指示された準備は必ず済ませてください。					

科目名	健康栄養演習			学年学期	3年後期	単位数	1	ナパ'リング	NL36042	研究室	S-04
担当者	平田 治美			必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	金曜日3限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
公衆栄養学分野について、健康栄養学演習 までの学習を発展させ、総合的、研究的に深く学びます。4年次の卒業研究に向けて研究課題を発見し、研究活動に繋げていきます。											
学修到達目標											
健康栄養学演習 より引き続き、健康寿命の延伸に関わる食・栄養に関する課題を発見する能力を高めるため、情報収集を重ねる中で、信頼性の高い研究デザイン、適正な方法などについて判断するための基礎力を修得します。											
授業の進め方											
興味ある研究テーマに関する先行研究論文を抄読会でゼミメンバーと討論しながら、公衆栄養学分野への造詣を深め、研究活動の計画を作成していきます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	卒業研究に向けて、ゼミ内での討論を踏まえ、各自の研究のテーマについて方向性を確定します。					調査、研究に必要な準備を整え、学習を自主的に進める。(1時間)				
2	研究テーマの設定	各自が設定したテーマを基に、研究計画概要の作成をします。					テーマ報告のための調査、研究に必要な準備を整え、学習を自主的に進める。(1時間)				
3	研究テーマ報告	各自の研究テーマと目的について報告をします。					調査、研究に必要な準備を行い、学習を自主的に進め、研究テーマ報告を整える。(1時間)				
4	テーマに沿った先行研究論文の検索(1)	各自がテーマに沿った先行研究論文をCINII等から検索し、必要となる論文を収集します。					各自が関心ある先行研究論文を読み、紹介できるように準備する。(1時間)				
5	テーマに沿った先行研究論文の検索(2)	各自がテーマに沿った先行研究論文をCINII等から検索し、必要となる論文を収集します。					各自が関心ある先行研究論文を読み、紹介できるように準備する。(1時間)				
6	テーマに沿った先行研究論文の検索(3)	各自がテーマに沿った先行研究論文をCINII等から検索し、必要となる論文を収集します。					各自が関心ある先行研究論文を読み、紹介できるように準備する。(1時間)				
7	テーマに沿った先行研究論文の検索(4)	各自がテーマに沿った先行研究論文をCINII等から検索し、必要となる論文を収集します。					各自が関心ある先行研究論文を読み、紹介できるように準備する。(1時間)				
8	テーマに沿った先行研究論文の検索の中間報告	各自が絞ったテーマに沿って先行研究論文を検索した結果の中間報告(分かったことなど)を行います。					テーマとする先行研究論文の目的と背景、結果と論点を明確にしておく。(1時間)				
9	テーマに沿った先行研究論文の補強検索(1)	各自が絞ったテーマに沿って、中間報告会での検討内容を基に、必要な情報を先行研究論文より収集し、研究計画に向けて再構築をします。					テーマとする先行研究論文を収集し、読み込む作業を行う。(1時間)				
10	テーマに沿った先行研究論文の補強検索(2)	各自が絞ったテーマに沿って、中間報告会での検討内容を基に先行研究論文より補強し、研究計画作成に向けて内容の改善を図ります。					テーマとする先行研究論文を収集し、読み込む作業を行う。(1時間)				
11	テーマに沿った先行研究論文の補強検索(3)	各自が絞ったテーマに沿って、中間報告会での検討内容を基に先行研究論文より補強し、研究計画作成に向けて内容の改善を図ります。					テーマとする先行研究論文を収集し、読み込む作業を行う。(1時間)				
12	卒業研究計画準備(1)	卒業研究テーマの確定に向けた妥当性の検討を行います。(タイトル問題と目的 方法 仮説 引用文献形式に沿って進めます。)					テーマとする先行研究論文を収集し、読み込み定型化しまとめる。(1時間)				
13	卒業研究計画準備(2)	卒業研究テーマの確定に向けた妥当性の検討を行います。(タイトル問題と目的 方法 仮説 引用文献形式に沿って進めます。)					テーマとする先行研究論文を収集し、読み込み定型化しまとめる。(1時間)				
14	卒業研究計画準備(3)	卒業研究テーマの確定に向けた妥当性の検討を行います。(タイトル問題と目的 方法 仮説 引用文献形式に沿って進めます。)					卒業研究のテーマを考え、定型化してまとめたもの発表し、討論できるようにする。(1時間)				
15	卒業研究計画の確定	卒業研究計画の確定を目指します。倫理的配慮が必要なものがあれば申請手続きをします。					卒業研究の計画を立て、関連資料をまとめる。(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
必要に応じて提示します。				受講態度:50% 課題:50% S:情報収集や討論等への参加を常に積極的に行った。文献等の内容をまとめて伝わりやすいプレゼンができる。A:情報収集や討論等への参加を常に積極的に行った。文献等の内容をまとめて伝えることを意識したプレゼンができる。B:情報収集や討論等への参加を積極的に行った。文献等の内容をまとめてプレゼンをすることができる。C:情報収集や討論等への参加を前向きに行った。文献等の内容をまとめてプレゼンすることが何とかできる。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
必要に応じて提示します。				健康と食に広い関心を持ち、積極的に取り組み、確実に進めてください。							

科目名	健康栄養演習		学年学期	3年後期	単位数	1	ナパ'リング	NL36042	研究室	S-07	
担当者	石原 三妃		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	月曜日1限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
調理科学分野について、健康栄養演習 での学習を発展させ、総合的、研究的に深く学ぶことをねらいとします。また、総合的学習能力の向上をめざします。4年次の卒業研究に向け各自の研究課題を発見することを目標とします。4年生と共に学びながら、卒業研究のテーマを明確にしていきます。											
学修到達目標											
健康栄養演習 に引き続き、食についての課題発見能力を身につけ、様々な分析手法を理解し、専門領域の向上を目指します。また、ゼミナールの中のディスカッションを通して議論の仕方を学習すると共に、論理的思考力や批判的思考力、情報リテラシーあるいはプレゼンテーション能力などを向上させることが目標となります。											
授業の進め方											
調理学・調理科学分野についてゼミナール形式で進めます。文献講読、実験実習、地域のイベント運営参加を含みます。必要に応じて授業時間外にも実験、作業を行うことがあります。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	水分測定方法の理解(1)	水分測定方法を実践します。					測定方法について指示書を読み理解する。(4時間)				
2	水分測定方法の理解(2)	水分測定方法を実践します。					測定方法について指示書を読み理解する。(4時間)				
3	水分測定方法の理解(3)	水分測定方法を実践します。					測定方法について指示書を読み理解する。(4時間)				
4	実体顕微鏡観察(1)	実体顕微鏡観察を実践します。					観察方法について指示書を読み理解する。(4時間)				
5	実体顕微鏡観察(2)	実体顕微鏡観察を実践します。					観察方法について指示書を読み理解する。(4時間)				
6	物性測定装置の理解(1)	レオナーを用いて物性測定を実践します。					測定方法について指示書を読み理解する。(4時間)				
7	物性測定装置の理解(2)	レオナーを用いて物性測定を実践します。					測定方法について指示書を読み理解する。(4時間)				
8	物性測定装置の理解(3)	レオナーを用いて物性測定を実践します。					測定方法について指示書を読み理解する。(4時間)				
9	物性測定装置の理解(4)	レオナーを用いて物性測定を実践します。					測定方法について指示書を読み理解する。(4時間)				
10	データ解析方法の理解(1)	ゲルの測定データを解析します。					解析方法について、解説書を読み理解しておく。(4時間)				
11	データ解析方法の理解(2)	パンの測定データの解析を行います。					解析方法について、解説書を読み理解しておく。(4時間)				
12	データ解析方法の理解(3)	ゲル状介護食測定データの解析を行います。					解析方法について、解説書を読み理解しておく。(4時間)				
13	データ解析方法の理解(4)	ゾル状介護食測定データの解析を行います。					解析方法について、解説書を読み理解しておく。(4時間)				
14	官能評価の実際(1)	官能評価のパネルとして実験に参加し、実験方法を理解します。					官能評価について解説書を読み理解する(4時間)				
15	官能評価の実際(2)	官能評価結果を分析を行う。					統計についての解説書を読み改易方法を理解する。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
必要に応じて提示します。				受講態度:50% 課題:50% 望ましい受講態度とは・・・自ら問題意識をもち、ゼミのメンバーと協力して積極的に調査実験、その他ゼミ活動に参加すること。 評価基準・・・S:ゼミ活動や課題に極めて積極的に取り組み、自ら研究課題を見つけれられる。A:ゼミ活動や課題に積極的に取り組み、研究課題を見つけれられる。B:ゼミ活動や課題に取り組み、研究課題を決定できる。C:ゼミ活動を行い、課題について検討できる。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
必要に応じて提示します。				受身ではなく、自主的に学ぶ姿勢が必要です。広い視野で学習内容に興味を持って、積極的に行動してください							

科目名	健康栄養演習		学年学期	3年後期	単位数	1	ナパ'リング	NL36042	研究室	S-11
担当者	藤岡 由美子		必修選択	必修	科目種別	演習	オイスアワ	火曜日2限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
糖尿病や炎症性腸疾患の食事会の企画運営や患者との交流を通して病態や治療についての理解を深め、患者会の役割について学びます。災害時要配慮者のオーダーメイドチェックリストを作成し備蓄状況を調査します。新しい栄養管理ソフトの有効性を調査します。										
学修到達目標										
栄養の現象を的確に捉え問題点を把握して課題解決に向けた目標を設定し、計画を立て実施し結果を解析して評価を行った結果を論文にまとめ、発表会や討議を通じて考え方や知識の幅を広げます。										
授業の進め方										
糖尿病と炎症性腸疾患の病態や食事療法に関する文献研究により卒業論文の準備を行います。糖尿病教室とIBD食事会の企画運営に取り組みます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	実践活動(糖尿病)1	栄養教育媒体を作成します。					資料作成(4時間)			
2	実践活動(糖尿病)2	会場準備を行います。					会場準備(4時間)			
3	実践活動(糖尿病)3	糖尿病教室を開催します。					栄養教育・調理(1時間)			
4	実践活動(糖尿病)4	アンケートを集計します。					集計作業(4時間)			
5	実践活動(糖尿病)5	集計結果をまとめます。					報告書作成(4時間)			
6	実践活動(炎症性腸疾患)1	炎症性腸疾患食のメニューを考えます。					献立作成(4時間)			
7	実践活動(炎症性腸疾患)2	炎症性腸疾患食のメニューを試作をします。					試作調理(4時間)			
8	実践活動(炎症性腸疾患)3	運営計画を立案します。					運営計画(4時間)			
9	実践活動(炎症性腸疾患)4	栄養教育媒体を作成します。					資料作成(1時間)			
10	実践活動(炎症性腸疾患)5	会場準備を行います。					会場準備(4時間)			
11	実践活動(炎症性腸疾患)6	炎症性腸疾患食事会を開催します。					栄養教育・調理(4時間)			
12	実践活動(炎症性腸疾患)7	アンケートを集計します。					集計作業(4時間)			
13	実践活動(炎症性腸疾患)8	集計結果をまとめます。					報告書作成(4時間)			
14	卒業研究発表会	卒業研究発表会の運営と先輩のサポートを行います。					質疑応答・討論(4時間)			
51	卒業論文	先輩から課題を引き継ぎます。					引継(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「臨床栄養」(医歯薬出版)					レポート:100% S:計画通りに研究を遂行し考え方や知識の幅を広げられる。 A:指導により研究を遂行し考え方や知識の幅を広げられる。 B:計画通りに問題意識を持ち課題解決が行える。 C:指導により問題意識を持ち課題解決が行える。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「Nutrition Care」(メディカ出版)					食事会の実践活動はグループ単位で、研究は個人で進めます。前期で論文を完成するという画期的な取組に挑戦します。					

科目名	健康栄養演習		学年学期	3年後期	単位数	1	ナパリング	NL36042	研究室	S-08
担当者	沖嶋 直子		必修選択	必修	科目種別	演習	オイスアワ	水曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>本演習は4年次に実施する卒業研究の準備段階として、基礎的な研究能力を身に付ける事を目的としています。TVやインターネットなどによる情報過多の昨今、栄養情報は玉石混合です。その中から科学的に正しい情報を正しい形で対象者に伝える事は管理栄養士の責務です。よって、本演習では健康栄養演習Iに引き続き、科学的に正しい情報を検索、精査し、わかりやすく伝えられるようになる事を目的とし、演習、実験、学内外での活動等を進めていきます。</p>										
学修到達目標										
卒業研究を遂行するのに必要な実験・実習の手技を身に付ける事を学修到達目標とします。										
授業の進め方										
前半は、梓森祭のゼミナール展示を通じて、先輩から卒業研究の引継ぎを行ってもらいます。その後、実験ノートの書き方を学び、それぞれの研究テーマに沿った実験を開始してもらいます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス・研究テーマ引継ぎ	後期の予定の確認と、梓森祭の準備を通して、先輩の研究テーマについて知ってもらいます。				先輩の研究テーマを基に、自分の研究テーマを考える(1時間)				
2	研究テーマ引継ぎ	梓森祭の準備を通して、先輩の研究テーマについて知ってもらいます。				先輩の研究テーマを基に、自分の研究テーマを考える(1時間)				
3	研究テーマ引継ぎ	梓森祭の準備を通して、先輩の研究テーマについて知ってもらいます。				先輩の研究テーマを基に、自分の研究テーマを考える(1時間)				
4	実験ノートの書き方	実験ノートについて、なぜ必要なのか、どのように書くと良いのかについて講義します。				当日配布した資料を読みかえし、ノートの書き方を熟知する事(1時間)				
5	研究テーマ選定	卒業研究のテーマを決めます。				これまでの演習内容から、自分の研究テーマについて考え、必要な資料をそろえておく事(1時間)				
6	研究準備	卒業研究の準備として、各自の決めたテーマに沿って研究の準備を行います。				当日行った内容について復習する事(1時間)				
7	研究準備	卒業研究の準備として、各自の決めたテーマに沿って研究の準備を行います。				当日行った内容について復習する事(1時間)				
8	研究活動	卒業研究の準備として、各自の決めたテーマに沿って研究を進めます。				当日行った内容について復習する事(1時間)				
9	研究活動	卒業研究の準備として、各自の決めたテーマに沿って研究を進めます。				当日行った内容について復習する事(1時間)				
10	研究活動	卒業研究の準備として、各自の決めたテーマに沿って研究を進めます。				当日行った内容について復習する事(1時間)				
11	研究活動	卒業研究の準備として、各自の決めたテーマに沿って研究を進めます。				当日行った内容について復習する事(1時間)				
12	研究活動	卒業研究の準備として、各自の決めたテーマに沿って研究を進めます。				当日行った内容について復習する事(1時間)				
13	研究活動	卒業研究の準備として、各自の決めたテーマに沿って研究を進めます。				当日行った内容について復習する事(1時間)				
14	研究活動	卒業研究の準備として、各自の決めたテーマに沿って研究を進めます。				当日行った内容について復習する事(1時間)				
15	まとめ	これまで14回のまとめを行います。				これまで行った研究活動についてまとめ、今後の予定を立てる事(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
必要に応じて適宜指示、配布します。				<p>受講態度：100%</p> <p>受講態度は、各テーマに沿った内容を積極的に進めていたか否かで判定します。積極的に取り組めた人がA、そのうち特に優れた人をS、ある程度取り組めた人をB、積極的に取り組めなかった人をC、全く取り組めなかった人をDとします。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
必要に応じて適宜指示、配布します。				<p>後半は、研究テーマ別に集まってもらい実験を進めてもらいますので、時間割上の健康栄養演習以外の時間になる事もあります。積極的に研究に取り組むことを希望します。</p>						

科目名	健康栄養演習		学年学期	3年後期	単位数	1	ナパリング	NL36042	研究室	S-06
担当者	矢内 和博		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	金曜日1限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
<p>本講座は、1・2年次までに学んだ基礎・専門知識を基本に、特に食品学、加工学、機能学を中心に研究活動を行っていきます。また、本学の教育の特色であるアウトキャンパス・スタディーとして、農作物等の1次生産者、食品加工メーカーおよび研究機関など、教科書に無い知識の積極的な取得を目指します。これらを通じて、4年次の卒業研究に向け学生各自の研究課題の決定と、総合的な学習能力の向上を目指します。また、地域のニーズがあれば、商品開発にも積極的に参加してもらいます。</p>										
学修到達目標										
<p>企業、行政等の依頼を受け、活動することが非常に多く、多彩な動きをします。しかし、授業等が多く、活動に参加する機会が少ないのが現状です。その中において、研究室の動きとしっかり連携を組み、できる限る活動に参加する心構えを持つこと、自主的にまた積極的に活動に参加すること、さらに報告、連絡、相談がしっかりできるようにすることを目標とします。</p>										
授業の進め方										
<p>研究の基礎として、文献を通して研究の現状把握と課題の探索を行います。また、学生の研究に対する自主性・積極性を重視したいので、基本的には学生を中心としたゼミ・ディスカッションを実施します。必要性を各自見出して研究を組み立て、実行します。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス(1)	後期の活動についてお話しします。				ゼミノートをつけてください。(1時間)				
2	ガイダンス(2)	大学祭出展について検討します。				ゼミノートをつけてください。(1時間)				
3	ガイダンス(3)	大学祭の準備をします。				ゼミノートをつけてください。(1時間)				
4	勉強会(1)	食品加工についてのゼミを行います。(調理科学 炊飯)				ゼミ内容をまとめ、自分なりのゼミノートを作成してください。(1時間)				
5	勉強会(2)	食品加工についてのゼミを行います。(調理科学 揚げ物)				ゼミ内容をまとめ、自分なりのゼミノートを作成してください。(1時間)				
6	勉強会(3)	食品加工についてのゼミを行います。(調理科学 焼き物)				ゼミ内容をまとめ、自分なりのゼミノートを作成してください。(1時間)				
7	勉強会(4)	食品加工についてのゼミを行います。(調理科学 煮物)				ゼミ内容をまとめ、自分なりのゼミノートを作成してください。(1時間)				
8	勉強会(5)	食品加工についてのゼミを行います。(調理科学 蒸し物)				ゼミ内容をまとめ、自分なりのゼミノートを作成してください。(1時間)				
9	勉強会(6)	食品加工についてのゼミを行います。(製菓理論 クッキー)				ゼミ内容をまとめ、自分なりのゼミノートを作成してください。(1時間)				
10	勉強会(7)	食品加工についてのゼミを行います。(製菓理論 プリン)				ゼミ内容をまとめ、自分なりのゼミノートを作成してください。(1時間)				
11	勉強会(8)	食品加工についてのゼミを行います。(製菓理論 パイ)				ゼミ内容をまとめ、自分なりのゼミノートを作成してください。(1時間)				
12	勉強会(9)	食品加工についてのゼミを行います。(製菓理論 パン)				ゼミ内容をまとめ、自分なりのゼミノートを作成してください。(1時間)				
13	勉強会(10)	食品加工についてのゼミを行います。(食品加工 製粉)				ゼミ内容をまとめ、自分なりのゼミノートを作成してください。(1時間)				
14	勉強会(11)	食品加工についてのゼミを行います。(食品加工 製麺)				ゼミ内容をまとめ、自分なりのゼミノートを作成してください。(1時間)				
15	勉強会(12)	食品加工についてのゼミを行います。(1年間のまとめ)				ゼミ内容をまとめ、自分なりのゼミノートを作成してください。(1時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
プリントを配布します。			<p>受講態度：100% 全員で同じ研究テーマに取り組みますので、進捗状況を100%評価します。また、報告、連絡、相談の有無も評価対象とします。 A:積極的に研究テーマに取り組み、一定の成果を出すことができる。 B:積極的に研究テーマに取り組みことができ、後期につながる成果を出すことができる。 C:研究に取り組むことができる。 最も評価の高い学生はSとします。</p>							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
プリントを配布します。			<p>基礎知識を深め、食品の研究開発に応用できるように学習します。卒業研究に向けた準備期間として学習を進めます。</p>							

科目名	健康栄養演習		学年学期	3年後期	単位数	1	ナパ'リング	NL36042	研究室	S-09
担当者	成瀬 祐子		必修選択	必修	科目種別	演習	オイスア-	木曜日5限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
<p>給食や食に関する課題を発見し、解決方法を模索します。食に関連する論文を読み、ゼミ内で発表・討論しながらこの分野への造詣を深めるとともに、研究手法を学んでいきます。ゼミ内での発表や討論を通してプレゼンテーション能力も身につけていきます。後半は、卒業研究テーマを決め、研究計画を作成するために、各自の関心の強い事項をさらに探求し、卒業研究の準備を進めていきます。</p>										
学修到達目標										
給食や食に関する課題発見能力、文献をはじめとした情報収集・分析の方法を身につける、様々な研究手法を知る、プレゼンテーション能力を向上させることを目標とします。										
授業の進め方										
給食や食に関する文献の輪読や発表、討論をしながら、この分野への造詣を深めていきます。また、4年生の研究を一緒に行うことで、研究手法を学んでいきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	研究手法を学ぶ(1)	4年生の研究活動を一緒に行うことで、研究の手法や、研究デザインについて学びます。				研究活動や方法を理解しておく。(1時間)				
2	研究手法を学ぶ(2)	4年生の研究活動を一緒に行うことで、研究の手法や、研究デザインについて学びます。				研究活動や方法を理解しておく。(1時間)				
3	食に関する研究を知る(1)	各自が順番に食に関する研究論文を紹介し、その内容について討論します。				各自が関心のある研究論文を読み、紹介できるように準備をする。(1時間)				
4	食に関する研究を知る(2)	各自が順番に食に関する研究論文を紹介し、その内容について討論します。				各自が関心のある研究論文を読み、紹介できるように準備をする。(1時間)				
5	食に関する研究を知る(3)	各自が順番に食に関する研究論文を紹介し、その内容について討論します。				各自が関心のある研究論文を読み、紹介できるように準備をする。(1時間)				
6	食に関する研究を知る(4)	各自が順番に食に関する研究論文を紹介し、その内容について討論します。				各自が関心のある研究論文を読み、紹介できるように準備をする。(1時間)				
7	食に関する研究を知る(5)	各自が順番に食に関する研究論文を紹介し、その内容について討論します。				各自が関心のある研究論文を読み、紹介できるように準備をする。(1時間)				
8	食に関する研究を知る(6)	各自が順番に食に関する研究論文を紹介し、その内容について討論します。				各自が関心のある研究論文を読み、紹介できるように準備をする。(1時間)				
9	食に関する研究を知る(7)	各自が順番に食に関する研究論文を紹介し、その内容について討論します。				各自が関心のある研究論文を読み、紹介できるように準備をする。(1時間)				
10	食に関する研究を知る(8)	各自が順番に食に関する研究論文を紹介し、その内容について討論します。				各自が関心のある研究論文を読み、紹介できるように準備をする。(1時間)				
11	食に関する研究を知る(9)	各自が順番に食に関する研究論文を紹介し、その内容について討論します。				各自が関心のある研究論文を読み、紹介できるように準備をする。(1時間)				
12	食に関する研究を知る(10)	各自が順番に食に関する研究論文を紹介し、その内容について討論します。				各自が関心のある研究論文を読み、紹介できるように準備をする。(1時間)				
13	卒業研究のテーマを決める(1)	これまでの学習をもとに、卒業研究のテーマを決めていきます。				卒業研究のテーマを考え、関連資料を探す。(1時間)				
14	卒業研究のテーマを決める(2)	これまでの学習をもとに、卒業研究のテーマを決めていきます。				卒業研究のテーマを考え、関連資料を探す。(1時間)				
15	卒業研究のテーマを決める(3)	これまでの学習をもとに、卒業研究のテーマを決めていきます。				卒業研究のテーマを考え、関連資料を探す。(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
必要に応じて提示します。				<p>受講態度：50% 課題：50%</p> <p>S:情報収集や討論等への参加を常に積極的に行った。文献等の内容をまとめて伝わりやすいプレゼンができる。A:情報収集や討論等への参加を常に積極的に行った。文献等の内容をまとめて伝えることを意識したプレゼンができる。B:情報収集や討論等への参加を積極的に行った。文献等の内容をまとめてプレゼンをすることができる。C:情報収集や討論等への参加を前向きに行った。文献等の内容をまとめてプレゼンすることが何とかできる。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
必要に応じて提示します。				食に広い関心を持ち、積極的に取り組んでください。						

科目名	健康栄養演習		学年学期	3年後期	単位数	1	ナパリング	NL36042	研究室	S-05
担当者	長谷川 尋之		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	水曜日1限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
これまでの学修内容を基盤とし、ゼミ内でディスカッションや実践を通じて応用栄養学並びに運動栄養学分野の研究を行います。主に健康寿命の延伸に関する分野や競技者への介入研究、生理学的研究について理論と実践を学ぶとともに、論文抄読を通じて4年次の卒業研究のテーマを決定します。										
学修到達目標										
応用栄養学並びに運動栄養学分野に対する関心を持ち、健康分野や競技活動における課題を抽出し、解決のために科学的に考察できる知識やスキルを持つことです。また、卒業研究に関する概要を作成することとします。										
授業の進め方										
研究に関する基本事項をグループ学習した後、研究活動の計画を作成します。その後研究活動計画に基づき、ディスカッション、論文抄読会、共同研究などを進めていきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	研究活動1 調査、研究計画書の作成	主に健康増進や競技者を対象とした調査、研究を行います。背景、目的、仮説、方法、評価についてディスカッションし調査、研究計画書を作成します。				調査、研究に必要な知識やスキルについて自己学習します。(1時間)				
2	研究活動2 調査、研究の実践	計画に基づいて調査、研究を実施します。適切な方法で行われているか、自身の知識、スキルが活かされているか、課題について学びます。				調査、研究に必要な知識やスキルについて自己学習します。(1時間)				
3	研究活動3 調査、研究の実践(継続)	計画に基づいて調査、研究を実施します。適切な方法で行われているか、自身の知識、スキルが活かされているか、課題について学びます。				調査、研究に必要な知識やスキルについて自己学習します。(1時間)				
4	研究活動4 調査、研究の評価とまとめ	調査、研究の結果についてまとめ、ディスカッションを通じて、調査、研究の評価を行います。評価の方法、ポイントについて学びます。				調査、研究結果の集計を進めます。(1時間)				
5	論文抄読会1	論文抄読会を行います。紹介された論文について意見交換を通じて、論文の方法や統計解析、考察について学びます。				抄読会の準備をして、紹介した論文の要点をまとめます。(1時間)				
6	論文の抄読会2	論文抄読会を行います。紹介された論文について意見交換を通じて、論文の方法や統計解析、考察について学びます。				抄読会の準備をして、紹介した論文の要点をまとめます。(1時間)				
7	卒業研究中間発表会への参加	卒業研究中間発表会に参加し、プレゼンテーション及び質疑応答を通じて、卒業研究テーマと内容について絞り込みます。				今後の卒業研究のテーマについてまとめます。(1時間)				
8	論文抄読会3	各自が絞り込んだテーマに沿った先行研究を探索して論文抄読会を行います。各自の研究計画に繋がるようにディスカッションします。				抄読会の準備をして、紹介した論文の要点をまとめます。(1時間)				
9	論文抄読会4	各自が絞り込んだテーマに沿った先行研究を探索して論文抄読会を行います。各自の研究計画に繋がるようにディスカッションします。				抄読会の準備をしておき、紹介した論文の要点をまとめます。(1時間)				
10	論文抄読会5	各自が絞り込んだテーマに沿った先行研究を探索して論文抄読会を行います。各自の研究計画に繋がるようにディスカッションします。				抄読会の準備をしておき、紹介した論文の要点をまとめます。(1時間)				
11	論文抄読会6	各自が絞り込んだテーマに沿った先行研究を探索して論文抄読会を行います。各自の研究計画に繋がるようにディスカッションします。				抄読会の準備をしておき、紹介した論文の要点をまとめます。(1時間)				
12	卒業研究発表会への参加	他のゼミを含めた卒業研究発表会に参加し、プレゼンテーション及び質疑応答を通じて、卒業研究テーマと内容について具体的に検討します。				卒業研究のテーマについてまとめます。(1時間)				
13	卒業研究の準備1	これまでの抄読会や論文検索の結果をまとめテーマに関する整理を行います。エビデンステーブルの作成方法やポイントを学びます。				研究テーマに関する情報収集を行い、エビデンステーブルを作成します。(1時間)				
14	卒業研究の準備2	各自が絞り込んだテーマに関するエビデンステーブルを作成し、各自の卒業研究計画の概要をまとめ、課題等を整理します。				研究テーマに関する情報収集を行い、エビデンステーブルを整理します。(1時間)				
15	論文抄読会2	各自がまとめたエビデンステーブルを基にディスカッションを行い、研究計画の詳細を検討します。				ディスカッションを通じて、研究計画を作成します。(1時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
特定のテキストは用いず、必要に応じて参考図書等を準備します。		受講態度：40% レポート：60% ゼミ研究に関連する実験及び実習への取組と定期的な報告、課題を総合的に評価します。卒業研究計画書を作成することが単位認定の条件でC評価とし、卒業研究計画のゼミ内発表でB評価、計画書ならびに発表の出来栄の良いものをA評価とします。S評価は概ね、学会発表のできる内容のものとし、								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
必要に応じて参考図書を紹介いたします。		これまでの専門科目を十分に復習してください。また、研究や実践活動では設定された授業時間以外の活動となる場合があります。								

科目名	卒業研究		学年学期	4年前期	単位数	2	ナパリング	NL46043	研究室	S-12
担当者	木藤 伸夫		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	水曜日2限、水曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
3年次のゼミを通して学習した、細菌や酵母などの微生物、モデル動物のキイロショウジョウバエなどを使って、興味のある研究分野で研究テーマを設定します。研究テーマを選んだ理由や研究目的を明確にし、研究目的を達成するための手法や情報収集の手段を決めます。研究目的を達成するために必要な実験を計画し、実験を行いデータを取得します。得られた結果とその結果に対する考察をゼミで紹介し、ディスカッションを通して自分の研究内容をブラッシュアップします。										
学修到達目標										
各自が を明らかにしたい、はっきりさせたいという明確な研究目的をもち、あらゆる手法を駆使して目的の達成に取り組みます。最終的には得られた成果を整理・考察し、一つの論文にまとめます。ゼミ中間の研究に対して助言やアイデアを提案できるようになることも重要です。										
授業の進め方										
研究の進め方は、各自の自主性に任せます。行き詰まった場合はゼミ生全員でアイデアを出し合い、ディスカッションを通して解決法を模索します。定期的に研究の進捗具合を報告し、研究を進展させる方向を絞っていきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	研究テーマの設定(1)	3年次のゼミで行った実験等を参考に、具体的な研究テーマ、研究目的を設定します。卒研生の半分(3人)の研究テーマを決定します。					あらかじめ研究テーマ、目的、その具体的な達成法を考えておく(2時間)			
2	研究テーマの設定(2)	3年次のゼミで行った実験等を参考に、具体的な研究テーマ、研究目的を設定します。卒研生の半分(3人)の研究テーマを決定します。					あらかじめ研究テーマ、目的、その具体的な達成法を考えておく(4時間)			
3	具体的な研究法を決める(1)	卒研生の半分(3人)について、研究目的を達成するための具体的な方法を検討・決定します。また、卒研生は関連論文を集め、その内容紹介を行います。ゼミ生は全員参加し、アイデアを提案します。					あらかじめ各卒研生の研究テーマ、内容を聞いておき、アイデアを考えておく(4時間)			
4	具体的な研究法を決める(2)	卒研生の半分(3人)について、研究目的を達成するための具体的な方法を検討・決定します。また、卒研生は関連論文を集め、その内容紹介を行います。ゼミ生は全員参加し、アイデアを提案します。					あらかじめ各卒研生の研究テーマ、内容を聞いておき、アイデアを考えておく(4時間)			
5	実験(1)	討論の結果決定した方法に基づいて各自自主的に実験を行い、得られた結果の整理を行います。					実験の準備、結果の整理と結果の考察を行います(4時間)			
6	実験(2)	討論の結果決定した方法に基づいて各自自主的に実験を行い、得られた結果の整理を行います。					実験の準備、結果の整理と結果の考察を行います(4時間)			
7	実験(3)	討論の結果決定した方法に基づいて各自自主的に実験を行い、得られた結果の整理を行います。					実験の準備、結果の整理と結果の考察を行います(4時間)			
8	実験(4)	討論の結果決定した方法に基づいて各自自主的に実験を行い、得られた結果の整理を行います。					実験の準備、結果の整理と結果の考察を行います(4時間)			
9	経過報告(1)	ゼミ生全員参加のもと、3人の卒研生がパワーポイントでまとめた実験の途中経過(得られた結果と考察)を紹介します。参加者は質問やアイデアの提案を通して、研究がうまく進むように貢献します。					パワーポイントによるプレゼンテーションの作製と事後の修正(6時間)			
10	経過報告(2)	ゼミ生全員参加のもと、3人の卒研生がパワーポイントでまとめた実験の途中経過(得られた結果と考察)を報告します。参加者は質問やアイデアの提案を通して、研究がうまく進むように貢献します。					パワーポイントによるプレゼンテーションの作製と事後の修正(6時間)			
11	実験(5)	報告会での討論を参考に各自自主的に実験を続け、得られた結果の整理を行います。					実験の準備、結果の整理と結果の考察を行います(4時間)			
12	実験(6)	報告会での討論を参考に各自自主的に実験を続け、得られた結果の整理を行います。					実験の準備、結果の整理と結果の考察を行います(4時間)			
13	実験(7)	報告会での討論を参考に各自自主的に実験を続け、得られた結果の整理を行います。					実験の準備、結果の整理と結果の考察を行います(4時間)			
14	実験(8)	報告会での討論を参考に各自自主的に実験を続け、得られた結果の整理を行います。					実験の準備、結果の整理と結果の考察を行います(4時間)			
15	実験(9)	報告会での討論を参考に各自自主的に実験を続け、得られた結果の整理を行います。					実験の準備、結果の整理と結果の考察を行います(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
特に指定しません。必要な文献を各自集めます。					課題:100% 実験を準備し、実験を行ってデータを出力すればC、データの整理を行い、プレゼンテーションができればB、自分が出したデータの考察ができればA、さらに自分のアイデアで研究を進展させる事ができればS。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
特に指定しません。必要な文献を各自集めます。					皆さんが興味を持っている内容で研究テーマを設定します。楽しみながら研究を進めましょう。					

科目名	卒業研究		学年学期	4年前期	単位数	2	ナバリノ	NL46043	研究室	S-02
担当者	廣田 直子		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア	水曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
卒業研究 と を継続して進めます。栄養調査方法の開発ならびに栄養調査を中心とした人々の食生活のあり方に関する調査研究、様々なライフステージ・ライフスタイルの人々を対象とした教育理論・行動科学理論に基づく効果的な栄養教育のあり方に関する研究、ヘルスプロモーションの考え方に基づく食環境づくりや地域におけるネットワークづくりに関する研究など、栄養教育に関連した研究テーマを設定して、主体的に研究に取り組みます。原則として1人1テーマを設定して研究を進めます。										
学修到達目標										
気づき：研究の重要性とおもしろさを理解します。 能力：栄養学の専門家としての深い洞察力、応用力、科学的根拠に基づいた考え方ができる栄養教育実践者としての資質を高めます。 具体的到達目標：上記を踏まえた上で、各自が研究活動に取り組み、中間での成果のまとめを行います。										
授業の進め方										
3年次に各自が設定した研究テーマの確認、研究計画の見直しを行った後、個別に研究活動を進めます。この間、個別指導を受けながら研究を深めていきます。また、ゼミナール内での発表やディスカッションを経て見直しを行い、研究活動を深めていきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	卒業論文作成までのスケジュールの確認と研究計画の見直し	3年次に考えた卒業研究に関する活動がどこまで進んでいるかを発表し合います。その後、卒業論文作成と研究発表会までのスケジュールを確認し、研究計画を見直します。				これまでに取り組んだ内容についての発表準備(2時間)、事後には研究計画の再構築。(2時間)				
2	先行研究の探索と論文の読み込み	見直しを行った研究計画にそって、先行研究を探索し、収集した論文を読み込みます。それを踏まえて研究方法とスケジュールを見直し、それを研究ノートにまとめます。				各自で、研究計画に沿った先行研究の探索と論文の読み込み。(4時間)				
3	研究計画の再確認	再構築した研究計画を発表し合って、各自の計画の妥当性と研究成果の見直しについてディスカッションし、さらにブラッシュアップを図ります。				事前には研究計画に関する発表準備(2時間)、事後には課題を踏まえた計画のまとめ直し(2時間)				
4	研究活動の推進1	それぞれの研究テーマに合わせて、研究計画にそった活動やデータ収集を進めます。個別指導を受けて、研究の方向性を確認します。				各自で活動を進め、必要に応じて課題をまとめて個別指導を受ける。(4時間)				
5	研究活動の推進2	それぞれの研究テーマに合わせて、研究計画にそった活動やデータ収集を進めます。個別指導を受けて、研究の方向性を確認します。				各自で活動を進め、必要に応じて課題をまとめて個別指導を受ける。(4時間)				
6	研究活動の推進3	それぞれの研究テーマに合わせて、研究計画にそった活動やデータ収集を進めます。個別指導を受けて、研究の方向性を確認します。				各自で活動を進め、必要に応じて課題をまとめて個別指導を受ける。(4時間)				
7	ここまでの研究活動に関するプレゼンテーション	ここまで進めてきた研究活動について、3年ゼミナール生に、研究テーマ、目的、方法、進捗状況と課題についてプレゼンテーションします。そこでの質疑応答やコメントに基づいて研究活動を見直します。				事前にプレゼンテーションのまとめ(2時間)、事後は課題を踏まえた修正の検討。(2時間)				
8	研究活動の推進4	それぞれの研究テーマに合わせて、研究計画にそった活動やデータ収集を進めます。個別指導を受けて、研究の方向性を確認します。				各自で活動を進め(4時間)、必要に応じて課題をまとめ、個別指導を受ける。				
9	研究活動の推進5	それぞれの研究テーマに合わせて、研究計画にそった活動やデータ収集を進めます。個別指導を受けて、研究の方向性を確認します。				各自で活動を進め(4時間)、必要に応じて課題をまとめ、個別指導を受ける。				
10	研究活動の推進6	それぞれの研究テーマに合わせて、研究計画にそった活動やデータ収集を進めます。個別指導を受けて、研究の方向性を確認します。				各自で活動を進め(4時間)、必要に応じて課題をまとめ、個別指導を受ける。				
11	研究活動の推進7	それぞれの研究テーマに合わせて、研究計画にそった活動やデータ収集を進めます。個別指導を受けて、研究の方向性を確認します。				各自で研究計画にそった活動やデータ収集を進め(4時間)、個別指導を受ける。				
12	研究活動の推進8	それぞれの研究テーマに合わせて、研究計画にそった活動やデータ収集を進めます。個別指導を受けて、研究の方向性を確認します。				各自で活動を進め(4時間)、必要に応じて課題をまとめ、個別指導を受ける。				
13	ここまでの研究のまとめ	ここまでの研究成果やデータをまとめ、論文執筆に向けての課題を確認します。				各自で研究成果や現時点での課題をまとめる。(2時間)事後には課題解決の検討(2時間)				
14	ここまでの研究成果に関するプレゼンテーション	ここまで進めてきた研究の成果と課題についてプレゼンテーションを行い、相互の質疑応答やコメントに基づいて、研究のまとめにあたっての課題の解決を図ります。				事前にプレゼンテーションのまとめ(2時間)、事後には提示された課題の修正(2時間)				
15	ここまでの研究活動・論文執筆計画の作成	これまでの研究活動を振り返り、長期休業中に進めなければならない活動について整理します。また論文執筆計画を作成して発表し、意見交換を行います。				長期休業中に取り組む内容についての計画案作成(2時間)、意見交換を踏まえた直し(2時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
テキストは用いません。		レポート：100% S:卒業研究に関する高いモチベーションを有し、新規性や有用性が認められる知見を見出すための緻密な計画が作成され、研究活動が推進されている。A:卒業研究を積極的にとらえ、新規性または有用性が認められる知見を得るための計画が作成され、研究活動が推進されている。B:卒業研究について独自性のある知見を得るための計画が作成され、研究活動に取り組んでいる。C:卒業研究の計画を作成し、研究活動に取り組んでいる。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
研究テーマにより、適宜参考文献や関連の論文等を紹介いたします。		3年次の健康栄養演習で栄養教育分野を選択していることを前提とします。時間割上の設定枠以外でも研究活動や研究のまとめを進めることが必須となります。								

科目名	卒業研究		学年学期	4年前期	単位数	2	ナパ'リング	NL46043	研究室	S-01
担当者	山田 一哉		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	月曜日1限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
<p>「ホルモンと栄養素」ならびに「発癌」による遺伝子の転写調節機構の解析に関する分子生物学的研究を行います。前者に関しては、血糖調節ホルモンであるインスリンや栄養素である炭水化物・脂質による遺伝子の転写調節機構に関して、SHARP-1 や SHARP-2 という転写因子に注目して研究を行います。後者に関しては、ZHXファミリー転写抑制因子に注目して、主に発癌抑制・細胞増殖抑制機構の解明を目指します。これらの転写因子の発現や活性を調節する食品成分も探索していきたいと考えています。</p>										
学修到達目標										
<p>研究を通して、生命現象を科学的に分析・判断・理解する視点を養ってもらいます。また、研究成果を卒業論文としてまとめたり、口頭発表することにより、研究内容を文章でも口頭でも正確に他人にわかりやすく説明できる能力の開発を目指します。</p>										
授業の進め方										
<p>実験を中心として研究を行います。学生には、それぞれ自分の好奇心を刺激するテーマを選んでもらい、教員と相談しながら責任を持って研究を進めてもらいます。必要に応じて関連文献を発表してもらい、ゼミ単位で最新の科学情報を共有できるようにします。</p>										
<p>授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。</p>										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	卒業論文作成スケジュールの確認	卒業論文発表会までのスケジュールを確認して、研究計画書の作成に取りかかります。				事前に研究テーマを明確にしておく。事後に研究計画書を作成する。(4時間)				
2	研究テーマの再確認	研究テーマについて「何を」「どこまで明らかにするのか」について再確認します。				研究計画書を作成しておく。事後に修正し、完成させる。(4時間)				
3	研究テーマの検討(1)	各自の研究テーマについての概要や先行研究について調べた内容、研究計画を発表してもらいます。互いに批判的に議論します。				予め資料の作成・配布を行い、発表後には内容を修正する。(4時間)				
4	研究テーマの検討(2)	各自の研究テーマについての概要や先行研究について調べた内容、研究計画を発表してもらいます。互いに批判的に議論します。				予め資料の作成・配布を行い、発表後には内容を修正する。(4時間)				
5	研究テーマの検討(3)	各自の研究テーマについての概要や先行研究について調べた内容、研究計画を発表してもらいます。互いに批判的に議論します。				予め資料の作成・配布を行い、発表後には内容を修正する。(4時間)				
6	実験データの収集(1)	実験を行い、データを収集します。				各自のテーマに応じて実験を行い、データを収集する。(4時間)				
7	実験データの収集(2)	実験を行い、データを収集します。				各自のテーマに応じて実験を行い、データを収集する。(4時間)				
8	実験データの収集(3)	実験を行い、データを収集します。				各自のテーマに応じて実験を行い、データを収集する。(4時間)				
9	実験データの収集(4)	実験を行い、データを収集します。				各自のテーマに応じて実験を行い、データを収集する。(4時間)				
10	実験データの収集(5)	実験を行い、データを収集します。				各自のテーマに応じて実験を行い、データを収集する。(4時間)				
11	実験データの収集(6)	実験を行い、データを収集します。				各自のテーマに応じて実験を行い、データを収集する。(4時間)				
12	実験データの収集(7)	実験を行い、データを収集します。				各自のテーマに応じて実験を行い、データを収集する。(4時間)				
13	実験データの収集(8)	実験を行い、データを収集します。				各自のテーマに応じて実験を行い、データを収集する。(4時間)				
14	実験データの収集(9)	実験を行い、データを収集します。				各自のテーマに応じて実験を行い、データを収集する。(4時間)				
15	中間報告会	各自の卒業研究の進捗状況を発表します。				資料を作成しておく。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
各自のテーマに応じて、個別に提示します。				<p>受講態度：30% レポート：70% 実験を行い、卒業論文を提出すればC。実験を多く行えばB、実験をより多く行えばA、実験を最も多く行えばS。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
各自のテーマに応じて、個別に提示します。				<p>通常の時間割以外での研究活動も普通のことだと思ってください。大学生生活の総仕上げだと思って取り組んでください。</p>						

科目名	卒業研究		学年学期	4年前期	単位数	2	ナパ`リソ`	NL46043	研究室	S-10
担当者	高木 勝広		必修選択	必修	科目種別	演習	ウイ`スア`	月曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
卒業研究 ・ を通じて、研究を行い続ける忍耐力、客観的な事実に基づいた理解と考察のできる力を養ってほしいと考えています。実験結果を図にしたり、最終的に論文にすることは重要な作業です。そして研究成果を発表し、他者に理解・納得してもらうことも大切です。この3年次から始まった一連の演習で身につけた総合力は、将来管理栄養士として働く上で大変に重要な力になると考えています。3年次の健康栄養演習で学んだ科学的知識と基礎的な実験技術習得を受け、卒業研究 を開始します。										
学修到達目標										
ゼミナールや発表会等を通して、学生自身の見解や主張を他の学生達に理解できるように発表したり、議論することにより、学生自身の研究分野に関連する深い理解力と洞察力を磨きます。										
授業の進め方										
学生各自に卒業研究のテーマを与えます。定期的にゼミナールを開催し、各自の研究の進み具合および今後の展望などを活発に議論します。前期末には中間発表会を開催します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ		内容				事前事後学修			
1	ガイダンス		各自の卒業研究テーマについて概要を確認した後、卒業研究発表会までのスケジュールを説明します。				事前に卒業研究テーマを明確にする。スケジュールに沿った研究計画を各自が作成する。(4時間)			
2	実験技術の習得	細胞培養法	実験で取り扱う動物細胞の性質等を説明した後、培養方法と操作原理を教えます。各自が一つ一つの操作法を確認しながら実験を行い、操作を習得します。				事前に実験操作を確認する。事後は実験マニュアルを書き実験が出来る状態にする。(4時間)			
3	実験技術の習得	細胞継代法	動物細胞を維持管理する重要性を説明した後、細胞継代方法を教えます。各自が一つ一つの操作法を確認しながら実験を行い、操作を習得します。				事前に実験操作を確認する。事後は実験マニュアルを書き実験が出来る状態にする。(4時間)			
4	実験技術の習得	トータ	細胞からのトータルRNAの回収法を、原理を交えて教えます。各自が一つ一つの操作法を確認しながら実験を行い、操作を習得します。				事前に実験操作を確認する。事後は実験マニュアルを書き実験が出来る状態にする。(4時間)			
5	実験技術の習得	逆転写	逆転写反応によるcDNAへの変換方法を、原理を交えて教えます。各自が一つ一つの操作法を確認しながら実験を行い、操作を習得します。				事前に実験操作を確認する。事後は実験マニュアルを書き実験が出来る状態にする。(4時間)			
6	実験技術の習得	リアルタイムPCR法	リアルタイムPCR法による遺伝子発現量の測定を行います。各自が一つ一つの操作法を確認しながら実験を行い、操作を習得します。				事前に実験操作を確認する。事後は実験マニュアルを書き実験が出来る状態にする。(4時間)			
7	実験技術の習得	データ解析	リアルタイムPCR法によって得られたデータの解析法について説明します。				事前に実験操作を確認する。事後は実験マニュアルを書き実験が出来る状態にする。(4時間)			
8	実験技術の習得	ウェスタンブロット法	タンパク質を検出するウェスタンブロット法について教えます。各自が一つ一つの操作法を確認しながら実験を行い、操作を習得します。				事前に実験操作を確認する。事後は実験マニュアルを書き実験が出来る状態にする。(4時間)			
9	卒業研究活動		卒業研究テーマに従って個人個人が実験を行います。教員は必要に応じて学生とディスカッションし、問題点や課題などを適切に指導します。				事前に実験計画を立てて臨む。事後は結果を記録に残し適切に指導を受ける。(4時間)			
10	卒業研究活動		卒業研究テーマに従って個人個人が実験を行います。教員は必要に応じて学生とディスカッションし、問題点や課題などを適切に指導します。				事前に実験計画を立てて臨む。事後は結果を記録に残し適切に指導を受ける。(4時間)			
11	卒業研究活動		卒業研究テーマに従って個人個人が実験を行います。教員は必要に応じて学生とディスカッションし、問題点や課題などを適切に指導します。				事前に実験計画を立てて臨む。事後は結果を記録に残し適切に指導を受ける。(4時間)			
12	卒業研究活動		卒業研究テーマに従って個人個人が実験を行います。教員は必要に応じて学生とディスカッションし、問題点や課題などを適切に指導します。				事前に実験計画を立てて臨む。事後は結果を記録に残し適切に指導を受ける。(4時間)			
13	卒業研究活動		卒業研究テーマに従って個人個人が実験を行います。教員は必要に応じて学生とディスカッションし、問題点や課題などを適切に指導します。				事前に実験計画を立てて臨む。事後は結果を記録に残し適切に指導を受ける。(4時間)			
14	卒業研究活動		卒業研究テーマに従って個人個人が実験を行います。教員は必要に応じて学生とディスカッションし、問題点や課題などを適切に指導します。				事前に実験計画を立てて臨む。事後は結果を記録に残し適切に指導を受ける。(4時間)			
15	中間発表会		卒業研究で取り組んできた研究成果を中間発表する場です。実験結果から考察できることを、聴衆に解りやすくかつ論理的に説明します。				事前に発表練習を行い、本番に臨んでください。会場で得た指摘を記録に残してください。(4時間)			
テキスト			成績評価の方法・基準							
「教員より指示します。」			受講態度：20% レポート：80% 受講態度と中間発表により評価します。受講態度とは、研究テーマに対する実験の取り組み状況等を指します。 S:要求された程度を越えて優秀である。A:優秀である。B:要求を満たす内容である。C:単位修得を認める合格最低ラインである。							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「教員より指示します。」			研究活動がメインです。研究の進行状況や実験の内容によっては、多くの時間を要することも十分に考えられます。通常の時間割以外の時間も研究活動として考えてほしい。論文等を事前に読んで実験に臨んでください。							

科目名	卒業研究		学年学期	4年前期	単位数	2	ナパ'リング	NL46043	研究室	N-04
担当者	弘田 量二		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	火曜日4限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
本演習は3年次の「健康栄養演習」を始点とする活動を押し進め、卒業論文にまとめます。各自の研究テーマについて、調査・研究活動を行います。その方向性は、(1)食の機能性や安全性、有効性に関する文献上の検討(メタアナリシス)、(2)長野県、本学学生の生活習慣、食事状況調査(3)他県における生活習慣、食事状況調査などについて、学外機関や団体、行政機関および学内教員との連携を求めて、実験的・文献的検討・考察を進めていきます。										
学修到達目標										
これまでの学習知識や体験等を生かして研究を進め、その成果を卒業論文として取りまとめていくことが最大の目標となります。また同時に、研究を進めていく上で必要となる論理的思考力や情報リテラシーなどの能力、文章表現力やプレゼンテーション能力といった論文作成や成果発表に必要な能力の獲得や向上、人格形成も広い意味での学修目標となります。										
授業の進め方										
個々の研究テーマに応じてそれぞれ個別に指導することが多くなりますが、各自の研究を受講生全体で相互に議論する機会も設定し、問題の抽出・解決アプローチの共有化を図り、多角的な視点から研究を深めたり、視野を広げて論文完成を目指していきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	卒業研究の実施計画	どのようなテーマを、どのように進めていくか、社会情勢やこれまでに得た体験、知識、集めた資料に基づいた知識などを生かして議論を行うことで、研究テーマを決めていきます。				興味を持った点や不明な点などを自分で調べてください。(4時間)				
2	研究テーマの検討	各自の研究テーマに基づいて、概要や先行研究について情報収集を行い、研究計画を発表します。また、相互に研究計画や概要について、検討する。調査表の配付方法・倫理審査なども議論します。				興味を持った点や不明な点などを自分で調べてください。(4時間)				
3	研究テーマの検討と資料・データの収集(1)	各自の研究テーマに基づいて、概要や先行研究について情報収集を行い、研究計画を発表します。また、相互に研究計画や概要について、検討する。調査表の配付方法・倫理審査なども議論します。				興味を持った点や不明な点などを自分で調べてください。(4時間)				
4	研究テーマの検討と資料・データの収集(2)	各自の研究テーマに基づいて、概要や先行研究について情報収集を行い、研究計画を発表します。また、相互に研究計画や概要について、検討する。調査表の配付方法・倫理審査なども議論します。				興味を持った点や不明な点などを自分で調べてください。(4時間)				
5	研究テーマの検討と資料・データの収集(3)	各自の研究テーマに基づいて、概要や先行研究について情報収集を行い、研究計画を発表します。また、相互に研究計画や概要について、検討する。調査表の配付方法・倫理審査なども議論します。				興味を持った点や不明な点などを自分で調べてください。(4時間)				
6	研究テーマの検討と資料・データの収集(4)	研究テーマに基づいて、資料や情報、先行論文の収集と精読、調査表の配付と集計等を行います。集めた論文については、抄読会で発表しゼミ生と情報共有します。				興味を持った点や不明な点などを自分で調べてください。(4時間)				
7	研究テーマの検討と資料・データの収集(5)	研究テーマに基づいて、資料や情報、先行論文の収集と精読、調査表の配付と集計等を行います。集めた論文については、抄読会で発表しゼミ生と情報共有します。				興味を持った点や不明な点などを自分で調べてください。(4時間)				
8	研究テーマの検討と資料・データの収集(6)	研究テーマに基づいて、資料や情報、先行論文の収集と精読、調査表の配付と集計等を行います。集めた論文については、抄読会で発表しゼミ生と情報共有します。				興味を持った点や不明な点などを自分で調べてください。(4時間)				
9	研究テーマの検討と資料・データの収集(7)	研究テーマに基づいて、資料や情報、先行論文の収集と精読、調査表の配付と集計等を行います。集めた論文については、抄読会で発表しゼミ生と情報共有します。				興味を持った点や不明な点などを自分で調べてください。(4時間)				
10	研究テーマの検討と資料・データの収集(8)	研究テーマに基づいて、資料や情報、先行論文の収集と精読、調査表の配付と集計等を行います。集めた論文については、抄読会で発表しゼミ生と情報共有します。				興味を持った点や不明な点などを自分で調べてください。(4時間)				
11	研究テーマごとの資料・データの収集・分析など(1)	研究テーマに基づいて、資料や情報、先行論文の収集と精読、調査表の配付と集計等を行います。集めた論文については、抄読会で発表しゼミ生と情報共有します。				興味を持った点や不明な点などを自分で調べてください。(4時間)				
12	研究テーマごとの資料・データの収集・分析など(2)	各自の研究の実施とデータの整理検討をします。また、得られたデータの入力や解析などの指導を行います。				興味を持った点や不明な点などを自分で調べてください。(4時間)				
13	研究テーマごとの資料・データの収集・分析など(3)	各自の研究の実施とデータの整理検討をします。また、得られたデータの入力や解析などの指導を行います。				興味を持った点や不明な点などを自分で調べてください。(4時間)				
14	研究テーマごとの資料・データの収集・分析など(4)	各自の研究の実施とデータの整理検討をします。また、得られたデータの入力や解析などの指導を行います。				興味を持った点や不明な点などを自分で調べてください。(4時間)				
15	研究テーマごとの資料・データの収集・分析など(5)	各自の研究の実施とデータの整理検討をします。また、得られたデータの入力や解析などの指導を行います。				集めた論文については、抄読会で発表しゼミ生と情報共有します。(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
その都度指示します。		課題:50% 受講態度:50% 望ましい受講態度:研究者の第一歩となる活動です。研究の意義をよく理解しゼミ生と協力しながら進めます。常識ある社会人としてもつべき協調性や真摯な態度も身につけます。 評価:S:研究内容を高度に理解しゼミ生と切磋琢磨しながら研究を実施できる。A:研究内容を理解し、積極的に研究を遂行できる。B:研究のおおよそを理解し研究を遂行できる。C:研究内容を理解し遂行できる。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「みんなの医療統計基礎編」新谷歩著 ISBN:978-4-06-1563314-8 「みんなの医療統計 多変量解析編」新谷歩著 ISBN:978-4-06-156321-6		卒業研究を進めていくためには、課題解決に向けた前向きな姿勢と努力が必要です。他の人たちとの共同作業も必要になってきますので、社会人としても人格の形成に役立ちます。								

科目名	卒業研究		学年学期	4年前期	単位数	2	ナパ'リング	NL46043	研究室	W-03
担当者	福島 智子		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	水曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
医療社会学の視点から、慢性疾患患者に対する「食事療法」を考察します。いくつかの慢性疾患の治療・管理においては、患者本人や家族による食事療法が重視されています。日常生活に直結する食事療法の継続は非常に困難であると指摘されており、患者や家族を支えるさまざまなサポートが試みられています。食事療法の継続がなぜそれほど困難なのか、障害となっているものは何か、そして食事療法が日常生活に与える影響とは何かを考えます。										
学修到達目標										
現代社会における食に関する課題を発見し、解決するための論理的思考能力と、学習内容を他者に伝えるプレゼンテーション能力を身につけること。										
授業の進め方										
卒業論文のテーマを設定し、必要な場合は質的調査(一次資料収集)を自ら実施していただきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ		内容				事前事後学修			
1	春季課題の報告 1		学生は、春季休業中の課題についてプレゼンテーションを行い、その後討論します。				プレゼンテーション準備をする(4時間)。			
2	春季課題の報告 2		学生は春季休業中の課題についてプレゼンテーションを行い、その後討論します。				プレゼンテーション準備をする(4時間)。			
3	卒業研究テーマ設定 1		卒業研究のテーマについて最終決定し、それについて討論します。				テーマを決め、構想最終案を作成する(4時間)。			
4	卒業研究テーマ設定 2		卒業研究のテーマについて最終決定し、それについて討論します。				テーマを決め、構想最終案を作成する(4時間)。			
5	各自ゼミ報告 1		各自のテーマに従ってゼミ報告をし、討論します。				ゼミ報告の準備をする(4時間)。			
6	各自ゼミ報告 2		各自のテーマに従ってゼミ報告をし、討論します。				ゼミ報告の準備をする(4時間)。			
7	各自ゼミ報告 3		各自のテーマに従ってゼミ報告をし、討論します。				ゼミ報告の準備をする(4時間)。			
8	卒業論文執筆に向けて 1		論文執筆に必要な情報を共有します。				配布プリントをする(4時間)。			
9	卒業論文執筆に向けて 2		論文執筆に必要な情報を共有します。				配布プリントをする(4時間)。			
10	研究テーマの深化 1		各テーマについて、教員が社会学的観点からの議論を紹介し、討論します。				討論のまとめをする(4時間)。			
11	研究テーマの深化 2		各テーマについて、教員が社会学的観点からの議論を紹介し、討論します。				討論のまとめをする(4時間)。			
12	研究テーマの深化 3		各テーマについて、教員が社会学的観点からの議論を紹介し、討論します。				討論のまとめをする(4時間)。			
13	前半のまとめ 1		前半の授業・討論・プレゼンテーションから論文構成を考えます。				配布プリントをする(4時間)。			
14	前半のまとめ 2		前半の授業・討論・プレゼンテーションから論文構成を考えます。				配布プリントをする(4時間)。			
15	夏季休業中の研究計画		夏季休業中の研究計画をたてます。				計画書の準備をする(4時間)。			
テキスト			成績評価の方法・基準							
学生が選択する卒業論文のテーマによって、使用テキストは異なります。必要に応じて指定します。			課題:100% 卒業論文により評価します。 S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考能力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組むことができる。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組むことができる。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組むことができる。C:授業内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組むことができる。							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「医療社会学」進藤雄三著世界思想社編			医療社会学の基本的な概念をすでに学んでいる学生が望ましいです。卒業研究の準備は学生自身が積極的に進めてください。							

科目名	卒業研究		学年学期	4年前期	単位数	2	ナパ'リング	NL46043	研究室	S-04
担当者	平田 治美		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	月曜日5限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
卒業研究 と を継続して進めます。ヘルスプロモーションの考え方に基づく健康寿命延伸を目標とした食環境づくりにかかわる食環境全般と栄養に関する研究テーマを設定し、主体的に研究に取り組みます。調査などでグループとなった場合でも、各自がテーマを設定し役割をもって協働して研究を進めます。										
学修到達目標										
(1) 主体的に研究活動を計画に沿って実施できる。(2) 調査や実験の場合、データの集計と分析ができる。(3) 栄養学を専門とする科学的根拠に基づいた探求的資質を高められる。										
授業の進め方										
3年次に各自(グループ)が設定した研究テーマの確認、研究計画の見直しを行った後、個別に研究活動を進めます。この間、個別指導を受けながら研究を深めていきます。また、ゼミ内での発表やディスカッションを経て見直しを行い、研究活動を深めていきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	卒業論文作成までのスケジュールと研究計画の確認	卒業論文作成と研究発表会までのスケジュールと各自(グループ)が3年次に作成した研究計画の仮説、成果等を確認します。					これまでに取り組んだ内容についての確認を行い(2時間)、事後は研究計画の実施準備(2時間)			
2	研究活動の実施(1)	研究の方向性とスケジュールを確認しながら、調査もしくは実験などからデータの収集を進めます。					各自で、研究計画に沿って活動を進めます。(4時間)			
3	研究活動の実施(2)	研究の方向性とスケジュールを確認しながら、調査もしくは実験などからデータの収集を進めます。					各自で活動を進め、必要に応じて指導を受けながら、調査・実験を行う。(4時間)			
4	研究活動の実施(3)	研究の方向性とスケジュールを確認しながら、調査もしくは実験などからデータの収集を進めます。					各自で活動を進め、必要に応じて指導を受けながら、調査・実験を行う。(4時間)			
5	研究活動の実施(4)	研究の方向性とスケジュールを確認しながら、調査もしくは実験などからデータの収集を進めます。					各自で活動を進め、必要に応じて指導を受けながら、調査・実験を行う。(4時間)			
6	研究活動の実施(5)	研究の方向性とスケジュールを確認しながら、調査もしくは実験などからデータの収集を進めます。					各自で活動を進め、必要に応じて指導を受けながら、調査・実験を行う。(4時間)			
7	研究活動の実施(6)	研究の方向性とスケジュールを確認しながら、調査もしくは実験などからデータの収集を進めます。					各自で活動を進め、必要に応じて指導を受けながら、調査・実験を行う。(4時間)			
8	研究活動の実施(7)	調査もしくは実験などから得られたデータの集計と統計分析を行います。					各自で活動を進め、必要に応じて指導を受けながら、データの集計と分析を行う。(4時間)			
9	研究活動の実施(8)	調査もしくは実験などから得られたデータの統計分析を行います。					各自で活動を進め、必要に応じて指導を受けながら、データの集計と分析を行う。(4時間)			
10	研究活動の実施(9)	調査もしくは実験などから得られたデータの統計分析を行います。					各自で活動を進め、必要に応じて指導を受けながら、データの集計と分析を行う。(4時間)			
11	研究活動の実施(10)	調査もしくは実験などから得られたデータ分析の結果より仮説に基づき考察をします。					各自で研究計画に沿った活動を進め結果より考察作業を行う。(4時間)			
12	研究活動の実施(11)	調査もしくは実験などから得られたデータ分析の結果より仮説に基づき考察をします。					各自で研究計画に沿った活動を進め結果より考察作業を行う。(4時間)			
13	研究活動のまとめ(1)	ここまでの研究成果やデータをまとめ、論文執筆に向けての課題を確認します。					各自で研究成果や現時点での課題をまとめる。(2時間)事後には課題解決の検討。(2時間)			
14	研究活動のまとめ(2)	ここまでの研究成果やデータを図やグラフでまとめ、論文執筆に向けて論文構成の確認とともに研究成果報告の発表の作業を進めます。					作成した図表等をプレゼンテーション用にまとめる。(4時間)			
15	研究成果報告	研究の成果と課題についてプレゼンテーションを行い、ゼミ内で質疑応答によって得られたコメントに基づいて、研究のまとめに対する課題の解決を図ります。					論文執筆の計画を作成し(2時間)、進める。(2時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
テキストは用いません。					レポート:100% S:卒業研究に関する高いモチベーションを有し、新規性や有用性が認められる知見を見出すための緻密な計画が作成され、研究活動が推進されている。A:卒業研究を積極的にとらえ、新規性または有用性が認められる知見を得るための計画が作成され、研究活動が推進されている。B:卒業研究について独自性のある知見を得るための計画が作成され、研究活動に取り組んでいる。C:卒業研究の計画を作成し、研究活動に取り組んでいる。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
研究テーマにより、適宜参考文献や関連の論文等を紹介します。					時間割上の設定枠以外でも研究活動を進めることが必要となります。定期的に進捗状況を報告しつつ、ゼミ内での検討を重ね、まとめていきます。					

科目名	卒業研究		学年学期	4年前期	単位数	2	ナパ'リング	NL46043	研究室	S-07
担当者	石原 三妃		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	月曜日1限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
健康栄養演習で取り組んだ内容をさらに深く調査・研究し、その結果に基づいて、自分なりの見解や主張を他の人にわかるように論理展開しながらまとめる作業を行い、専門分野に関連する科学者としての資質の向上や、栄養学の専門家としての深い洞察力と応用力の向上をめざします。										
学修到達目標										
食についての問題意識を持ち、課題解決に向け、1つのテーマについて深く研究するための力を養うこと。										
授業の進め方										
1~3名で班を作り、研究テーマを決めて自主的に研究活動を行います。実験研究、調査研究により進め方は異なりますが、1年かけて計画実験・調査を行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	卒業論文作成スケジュールの確認	卒業論文発表会までのスケジュールを確認して、研究計画書の作成に取りかかります。				事前に研究テーマを明確にしておく。次時までに研究計画書を完成する。(4時間)				
2	研究テーマの再確認	研究テーマについて「何を」「どこまで明らかにするのか」について再確認し、自分の置かれている状況に照らし合わせて、現実的に可能かどうか再確認します。				事前に研究テーマの内容について概観しておく。授業後、研究計画を見直す。(4時間)				
3	研究テーマの検討(1)	各自の研究テーマについての概要や先行文献について調べた内容、研究計画を発表します。また、その発表内容について相互に検討します。(担当は1班)				発表者は発表準備をしておく。発表された内容について、自分なりに調べてみる。(4時間)				
4	研究テーマの検討(2)	各自の研究テーマについての概要や先行文献について調べた内容、研究計画を発表します。また、その発表内容について相互に検討します。(担当は2班)				発表者は発表準備をしておく。発表された内容について、自分なりに調べてみる。(4時間)				
5	研究テーマの検討(3)	各自の研究テーマについての概要や先行文献について調べた内容、研究計画を発表します。また、その発表内容について相互に検討します。(担当は3班)				発表者は発表準備をしておく。発表された内容について、自分なりに調べてみる。(4時間)				
6	研究テーマの最終検討と資料・データの収集(1)	研究テーマおよび研究計画の最終検討を行います。また、先行研究、文献、アンケート作成など各自のテーマに合わせて、資料・データ収集(準備を含む)を開始します。				検討結果を受けて最終的なテーマ設定をする。資料・データ収集の準備を始める。(4時間)				
7	資料・データの収集(2)	資料・データ収集に関して個別指導をします。				各自のテーマ内容に応じた資料・データの収集を進める。(4時間)				
8	資料・データの収集(3)	資料・データ収集に関して個別指導をします。				各班のテーマ内容に応じた資料・データの収集を進める。(4時間)				
9	論文構成を考える。資料・データの収集(4)	論文の構成の仕方について全体指導をした後、各グループごと章立てを考えてみます。また、引き続き資料・データ収集に関して個別指導をします。				事前に論文構成を考える。各自のテーマ内容に応じた資料・データの収集を進める。(4時間)				
10	章立てを検討する。資料・データの収集(5)	章立てを相互に検討したり、個別に指導したりします。また、引き続き資料・データ収集に関して個別指導をします。				章立ての発表準備をする。各自のテーマ内容に応じた資料・データの収集を進める。(4時間)				
11	章立ての最終検討と決定。論文の書き方(1)	章立てを決定します。また、論文の書き方について全体指導をします。				章立てを検討する。論文の書き方について復習する。(4時間)				
12	論文の書き方(2)および、論文の初稿を作成する(1)	論文の書き方について指導した上で、第1章「はじめに(研究の動機・目的)」の作成に取りかかります。				論文の書き方を理解し、第1章を執筆する。(4時間)				
13	論文の初稿を作成する(2)	第1章について相互に読み合い、内容および書き方や言い回しについて検討します。				事前に第1章をまとめておき、検討した結果に基づき修正する。(4時間)				
14	論文の初稿を作成する(3)	第2章「研究の方法」について相互に読み合い、内容および書き方や言い回しについて検討します。				事前に第2章をまとめておき、検討した結果に基づき修正する。(4時間)				
15	長期休みの研究・執筆計画を立てる。	研究の進捗状況を確認し、夏休み中に行う研究や、執筆について計画を練り直し、夏休み明けに初稿が完成できるようにします。				夏休みにやるべき内容についてまとめる。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
必要に応じて提示します。				受講態度：40% 課題：60%						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
必要に応じて提示します。				通常の時間割以外での研究活動が多いので意欲を持って取り組んでください。事前に文献を読み、担当教員と相談して研究を進めてください。						

科目名	卒業研究		学年学期	4年前期	単位数	15	ナパ`リング	NL46043	研究室	S-11	
担当者	藤岡 由美子		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	火曜日2限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C						
授業概要											
糖尿病や炎症性腸疾患の食事会の企画運営や患者との交流を通して病態や治療についての理解を深め、患者会の役割について学びます。災害時要配慮者のオーダーメイドチェックリストを作成し備蓄状況を調査します。新しい栄養管理ソフトの有効性を調査します。											
学修到達目標											
栄養の現象を的確に捉え問題点を把握して課題解決に向けた目標を設定し、計画を立て実施し結果を解析して評価を行った結果を論文にまとめ、発表会や討議を通じて考え方や知識の幅を広げます。											
授業の進め方											
先行研究からの情報収集、アンケート調査と解析を行います。前期に論文を完成させ、後期は食事会の準備に専念し、終了次第卒業発表会の準備を行います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	論文の背景と目的 1	研究課題に関する論文を要約します。					背景のまとめと修正(4時間)				
2	論文の背景と目的 2	研究課題に関する論文を要約します。					背景のまとめと修正(4時間)				
3	論文の方法 1	研究課題の調査方法をまとめます。					方法のまとめと修正(4時間)				
4	論文の方法 2	研究課題の調査方法をまとめます。					方法のまとめと修正(4時間)				
5	論文の結果 1	調査結果をまとめます。					結果のまとめと修正(4時間)				
6	論文の結果 2	調査結果をまとめます。					結果のまとめと修正(4時間)				
7	論文の考察 1	問題点を整理し改善策を考察します。					考察のまとめと修正(4時間)				
8	論文の考察 2	問題点を整理し改善策を考察します。					考察のまとめと修正(4時間)				
9	論文の結論と表題	論文全体から結論をまとめて表題をつけます。					結論と表題の修正(4時間)				
10	論文の抄録	論文全体から抄録をまとめます。					抄録の修正(4時間)				
11	実践活動(糖尿病) 1	今年度の課題について文献検索を行います。					文献検索(4時間)				
12	実践活動(糖尿病) 2	糖尿病食のメニューを考えます。					献立作成(4時間)				
13	実践活動(糖尿病) 3	糖尿病食のメニューを修正します。					献立修正・試作(4時間)				
14	実践活動(糖尿病) 4	糖尿病食の試食会を行います。					試作調理(4時間)				
15	実践活動(糖尿病) 5	糖尿病教室の運営計画を立案します。					運営計画(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「臨床栄養」医歯薬出版編(医歯薬出版)(別途、指示します。)					受講態度:50% レポート:50% S:計画通りに研究を遂行し考え方や知識の幅を広げられる。 A:指導により研究を遂行し考え方や知識の幅を広げられる。 B:計画通りに問題意識を持ち課題解決が行える。 C:指導により問題意識を持ち課題解決が行える。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「Nutrition Care」(メディカ出版)					食事会の実践活動はグループ単位で、研究は個人で進めます。前期で論文を完成するという画期的な取組に挑戦します。						

科目名	卒業研究		学年学期	4年前期	単位数	2	ナパリング	NL46043	研究室	S-08
担当者	沖嶋 直子		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	水曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
3年次の健康栄養演習で取り組んだ内容の中からテーマを選択し、そのテーマに関してさらに深く調査・研究してもらいます。各自選択したテーマに基づき、実験や活動を行う他、関連する文献を検索、購読し、研究に活かしてもらいます。さらに、可能な限り国内の学会で発表する機会を設けますが、その発表要旨を作成してもらいます。										
学修到達目標										
各自選択したテーマについて、目標の70%までの研究成果を上げる事を到達目標とします。具体的には、5月に開催される日本食品化学学会、9月に開催される日本栄養改善学会で発表できるだけの研究結果を得る事です。										
授業の進め方										
主に3年生の健康栄養演習を踏まえたテーマを自主的に選択してもらいます。実験の進行上、毎週決まった時間に1コマ15回来れば良いわけではありません。必要に応じて自主的に時間を作って研究を進めてもらいます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	受講ガイダンス	今後の研究計画についてガイダンスを行います。					健康栄養演習で学んだ事を復習してくる事。(4時間以上)			
2	実験実習	それぞれの研究テーマに沿った研究活動を行ってもらいます。					研究テーマに合わせて適宜指示します。(4時間以上)			
3	実験実習	第2回の結果を踏まえて、それぞれの研究テーマに沿った研究活動を行ってもらいます。					第2回の内容をフィードバックし、準備しておく事。(4時間以上)			
4	実験実習	第3回の結果を踏まえて、それぞれの研究テーマに沿った研究活動を行ってもらいます。					第3回の内容をフィードバックし、準備しておく事。(4時間以上)			
5	実験実習	第4回の結果を踏まえて、それぞれの研究テーマに沿った研究活動を行ってもらいます。					第4回の内容をフィードバックし、準備しておく事。(4時間以上)			
6	実験実習	第5回の結果を踏まえて、それぞれの研究テーマに沿った研究活動を行ってもらいます。					第5回の内容をフィードバックし、準備しておく事。(4時間以上)			
7	実験実習	第6回の結果を踏まえて、それぞれの研究テーマに沿った研究活動を行ってもらいます。					第6回の内容をフィードバックし、準備しておく事。(4時間以上)			
8	実験実習	第7回の結果を踏まえて、それぞれの研究テーマに沿った研究活動を行ってもらいます。					第7回の内容をフィードバックし、準備しておく事。(4時間以上)			
9	実験実習	第8回の結果を踏まえて、それぞれの研究テーマに沿った研究活動を行ってもらいます。					第8回の内容をフィードバックし、準備しておく事。(4時間以上)			
10	実験実習	第9回の結果を踏まえて、それぞれの研究テーマに沿った研究活動を行ってもらいます。					第9回の内容をフィードバックし、準備しておく事。(4時間以上)			
11	実験実習	第10回の結果を踏まえて、それぞれの研究テーマに沿った研究活動を行ってもらいます。					第10回の内容をフィードバックし、準備しておく事。(4時間以上)			
12	実験実習	第11回の結果を踏まえて、それぞれの研究テーマに沿った研究活動を行ってもらいます。					第11回の内容をフィードバックし、準備しておく事。(4時間以上)			
13	実験実習	第12回の結果を踏まえて、それぞれの研究テーマに沿った研究活動を行ってもらいます。					第12回の内容をフィードバックし、準備しておく事。(4時間以上)			
14	実験実習	第13回の結果を踏まえて、それぞれの研究テーマに沿った研究活動を行ってもらいます。					第13回の内容をフィードバックし、準備しておく事。(4時間以上)			
15	前期のまとめ	これまでの研究成果についてまとめ、学会発表や卒業論文執筆の準備をします。					これまでの実験実習成果をまとめておいてください。(4時間以上)			
テキスト			成績評価の方法・基準							
それぞれの研究テーマに沿った資料を、適宜配布あるいは検索する事を指示します。			受講態度：100% 受講態度は、研究への積極性で評価します。教員が指示しなくても自主的に研究が進められたらA、そのうち、特に優秀な研究成果を収めたらS、全体の半分程度指示しないと進められなかったらB、研究活動の大半を指示待ちだった場合をC、指示しても研究を進められなかった場合をDとします。							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
必要に応じて適宜指示します。			時間割上以外の時間帯、休日や放課後にも実験や実践活動を行います。バイトや他の活動を入れている学生は時間の配分を考えて卒業研究を優先して下さい。自主的に行動する事を強く望みます。							

科目名	卒業研究		学年学期	4年前期	単位数	2	ナパ`リング	NL46043	研究室	S-06
担当者	矢内 和博		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	月曜日4限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>本研究室は、長野県の伝統的食材・料理の保存および食品学的アプローチと長野県産地場産品の新規有効利用法の開発を柱とした研究活動を行います。1年間の研究活動を通して、物の考え方、問題提起、解決法のプロセスなど、問題を解決する力を養うことをねらいとします。また、長野県産地場産品にスポットをあて、研究課題を探索し実行します。各自、もしくは数名のグループごとに研究テーマを設け、最終的には卒業論文として提出してもらいます。企業とのコラボによる開発業務も多く、全員で取り組んでいきます。</p>										
学修到達目標										
<p>長野県の食のスペシャリストを目指し、また本研究室の活動の中核となる6次産業推進をはかるため、1次、2次、および3次産業への積極的な介入を行います。すなわち、農業、加工業、流通、サービスの場をそれぞれ経験してもらいます。また、企業や農家、行政の方々と直接かかわる中で、食に関する問題解決型の開発業務を行います。このプロセスを卒業論文にまとめることを目標とします。</p>										
授業の進め方										
<p>各自テーマを持って、1食品の加工を完全に習得する作業を行います。また、企業や行政から依頼のある業務については、グループを組み課題として取り組みます。また、アウトキャンパスを積極的に行います。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンス	1.本年度取り組む研究内容についての説明と卒業研究のテーマ決定 2.研究ノートの作成と記載方法について					研究ノートを準備する。ノートを付ける意義、重要性を理解する。			
2	研究テーマの整理	1.研究テーマについて調査活動を行う。資料、文献等の収集、まとめを行います。 2.研究に必要な材料、器具、機器についてまとめます。					研究ノートを付けます。(2時間)			
3	研究テーマの遂行(1)	各自、研究テーマに従って活動します。 月一回の報告会を実施します。					研究ノートをつけます。疑問点については自分で資料収集等を行い解決につなげます。(2時間)			
4	研究テーマの遂行(2)	各自、研究テーマに従って活動します。 月一回の報告会を実施します。					研究ノートをつけます。疑問点については自分で資料収集等を行い解決につなげます。(2時間)			
5	研究テーマの遂行(3)	各自、研究テーマに従って活動します。 月一回の報告会を実施します。					研究ノートをつけます。疑問点については自分で資料収集等を行い解決につなげます。(2時間)			
6	研究テーマの遂行(4)	各自、研究テーマに従って活動します。 月一回の報告会を実施します。					研究ノートをつけます。疑問点については自分で資料収集等を行い解決につなげます。(2時間)			
7	研究テーマの遂行(5)	各自、研究テーマに従って活動します。 月一回の報告会を実施します。					研究ノートをつけます。疑問点については自分で資料収集等を行い解決につなげます。(2時間)			
8	研究テーマの遂行(6)	各自、研究テーマに従って活動します。 月一回の報告会を実施します。					研究ノートをつけます。疑問点については自分で資料収集等を行い解決につなげます。(2時間)			
9	研究テーマの遂行(7)	各自、研究テーマに従って活動します。 月一回の報告会を実施します。					研究ノートをつけます。疑問点については自分で資料収集等を行い解決につなげます。(2時間)			
10	研究テーマの遂行(8)	各自、研究テーマに従って活動します。 月一回の報告会を実施します。					研究ノートをつけます。疑問点については自分で資料収集等を行い解決につなげます。(2時間)			
11	研究テーマの遂行(9)	各自、研究テーマに従って活動します。 月一回の報告会を実施します。					研究ノートをつけます。疑問点については自分で資料収集等を行い解決につなげます。(2時間)			
12	研究テーマの遂行(10)	各自、研究テーマに従って活動します。 月一回の報告会を実施します。					研究ノートをつけます。疑問点については自分で資料収集等を行い解決につなげます。(2時間)			
13	研究テーマの遂行(11)	各自、研究テーマに従って活動します。 月一回の報告会を実施します。					研究ノートをつけます。疑問点については自分で資料収集等を行い解決につなげます。(2時間)			
14	研究テーマの遂行(12)	各自、研究テーマに従って活動します。 月一回の報告会を実施します。					研究ノートをつけます。疑問点については自分で資料収集等を行い解決につなげます。(2時間)			
15	中間報告会	研究テーマについて中間報告会を行います。					報告内容について指摘された点、質問等をまとめ、今後の活動に生かします。(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
必要に応じて試料を配布します。		<p>受講態度：100% 卒業研究に向けて、研究テーマの遂行状況を100%評価します。就職活動と並行しますので、特に報告、連絡、相談の有無も評価対象とします。 A:積極的に研究テーマに取り組み、一定の成果を出すことができる。 B:積極的に研究テーマに取り組むことができ、後期につながる成果を出すことができる。 C:研究に取り組むことができる。 最も評価の高い学生はSとします。</p>								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
必要に応じて試料を配布します。		卒業研究に集中できるように、4年生で再履修が内容に、学習を進めてください。								

科目名	卒業研究		学年学期	4年前期	単位数	2	ナパリング	NL46043	研究室	S-09	
担当者	成瀬 祐子		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	月曜日1限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C						
授業概要											
卒業研究では、各自のテーマに沿った研究計画を立て、実施・検証し、卒業論文にまとめていきます。卒業研究では、研究計画を立て、実施・検証することが中心となります。											
学修到達目標											
卒業研究では、各自のテーマに沿った研究計画を立てて実施し、最終的に卒業論文にまとめることが目標となります。その過程で、卒業研究では、計画を立てる力、研究を推進する力、論理的にまとめる力を向上させることも目標です。											
授業の進め方											
各自に研究テーマを設け、テーマに応じて進めていきます。定期的に報告会を開き、進捗状況の報告と討論を行うことで、各自の研究テーマへの理解を深めながら研究を進め、卒業論文を作成していきます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	卒業研究の進め方についてオリエンテーションを行います。					各自の卒業研究テーマに関連した先行研究を調査する。(4時間)				
2	研究計画を作成(1)	卒業研究を進めるための研究計画をたてます。					先行研究を調査し、研究計画を考えてくる。(4時間)				
3	研究計画を作成(2)	卒業研究を進めるための研究計画をたてます。					先行研究を調査し、研究計画を考えてくる。(4時間)				
4	研究計画を作成(3)	卒業研究を進めるための研究計画をたてます。					先行研究を調査し、研究計画を考えてくる。(4時間)				
5	研究計画を作成(4)	卒業研究を進めるための研究計画をたてます。					先行研究を調査し、研究計画を考えてくる。(4時間)				
6	論文の構成を考える(1)	卒業論文の構成を考え、研究計画が妥当かどうかを検討していきます。					論文の構成を考え、研究計画の見直しを行ってくる。(4時間)				
7	論文の構成を考える(2)	卒業論文の構成を考え、研究計画が妥当かどうかを検討していきます。					論文の構成を考え、研究計画の見直しを行ってくる。(4時間)				
8	中間発表	各自の研究内容をゼミ内で発表、討論することで、各々の研究計画を検討します。					研究内容をまとめ発表できるように準備する。(4時間)				
9	資料・データ収集、分析(1)	各自のテーマにあわせて、資料・データの収集および分析を行います。					資料・データ収集の準備、収集した資料・データの整理を行う。(4時間)				
10	資料・データ収集、分析(2)	各自のテーマにあわせて、資料・データの収集および分析を行います。					資料・データ収集の準備、収集した資料・データの整理を行う。(4時間)				
11	資料・データ収集、分析(3)	各自のテーマにあわせて、資料・データの収集および分析を行います。					資料・データ収集の準備、収集した資料・データの整理を行う。(4時間)				
12	資料・データ収集、分析(4)	各自のテーマにあわせて、資料・データの収集および分析を行います。					資料・データ収集の準備、収集した資料・データの整理を行う。(4時間)				
13	資料・データ収集、分析(5)	各自のテーマにあわせて、資料・データの収集および分析を行います。					資料・データ収集の準備、収集した資料・データの整理を行う。(4時間)				
14	資料・データ収集、分析(6)	各自のテーマにあわせて、資料・データの収集および分析を行います。					資料・データ収集の準備、収集した資料・データの整理を行う。(4時間)				
15	資料・データ収集、分析(7)	各自のテーマにあわせて、資料・データの収集および分析を行います。					資料・データ収集の準備、収集した資料・データの整理を行う。(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準									
必要に応じて提示します。		受講態度：20% 課題：80% S:常に積極的に卒業研究に取り組み、研究を計画的に進められた。必要な情報・データの収集、分析が的確にできた。A:常に積極的に卒業研究に取り組み、研究を進められた。必要な情報・データの収集、分析ができた。B:積極的に卒業研究に取り組んだ。情報・データの収集、分析ができた。C:前向きに卒業研究に取り組んだ。情報・データの収集が何とかできた。									
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)									
必要に応じて提示します。		食に広い関心を持ち、積極的に取り組んでください。									

科目名	卒業研究		学年学期	4年前期	単位数	2	ナパ'リング	NL46043	研究室	S-05
担当者	長谷川 尋之		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	水曜日1限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
健康寿命延伸に関わる体力と栄養に関する調査研究、競技者や競技特性に関する生理学的な基礎研究並びに栄養サポート、環境整備等の介入研究など運動栄養学分野に関連した研究に取り組みます。原則1人1テーマを設定します。										
学修到達目標										
管理栄養士として課題に対して科学的根拠に基づいた情報収集や分析、発信ができるようになることです。各自の研究テーマに応じて研究活動を行い、研究のプロセスを理解し、研究活動の成果として卒業論文の準備をします。										
授業の進め方										
各自が設定した研究計画の見直しを行い、個別に指導を受けながら研究活動を行います。ゼミ内での発表、ディスカッションを経て、卒業論文の完成を目指します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	研究計画の確認とこれまでの活動の進捗についてディスカッションします。卒業論文作成と研究発表会までのスケジュールより研究計画を見直します。				これまでの取り組みをまとめます。研究計画の再検討を行います。(4時間)				
2	研究計画の検討1	見直した研究計画に沿って、先行研究の論文検索、読み込みを行いエビデンステーブルを作成、研究方法の見直し、研究計画をまとめます。				研究計画に沿った先行研究の論文検索、読み込み、まとめを行います。(4時間)				
3	研究計画の検討2	研究計画のディスカッションを行い、各自の計画、仮説、成果について研究計画をまとめます。				研究計画の準備を進め、研究計画を完成させます。(4時間)				
4	研究活動の実施1	各自の研究テーマ、計画に沿って研究活動を実施し、データ収集を行います。適宜個別指導を行い、研究の方向性を確認します。				各自の計画に応じて活動し、活動状況をまとめ、報告、指導を受けます。(4時間)				
5	研究活動の実施2	各自の研究テーマ、計画に沿って研究活動を実施し、データ収集を行います。適宜個別指導を行い、研究の方向性を確認します。				各自の計画に応じて活動し、活動状況をまとめ、報告、指導を受けます。(4時間)				
6	研究活動の実施3	各自の研究テーマ、計画に沿って研究活動を実施し、データ収集を行います。適宜個別指導を行い、研究の方向性を確認します。				各自の計画に応じて活動し、活動状況をまとめ、報告、指導を受けます。(4時間)				
7	研究活動の実施4と中間報告	各自の研究テーマ、計画に沿って研究活動を実施し、データ収集を行います。適宜個別指導を行い、研究の方向性を確認します。ゼミ内でディスカッションを行い、個々の研究活動を見直します。				各自の計画に応じて活動し、活動状況をまとめ、報告、指導を受けます。(4時間)				
8	研究活動の実施5	各自の研究テーマ、計画に沿って研究活動を実施し、データ収集を行います。適宜個別指導を行い、研究の方向性を確認します。				各自の計画に応じて活動し、活動状況をまとめ、報告、指導を受けます。(4時間)				
9	研究活動の実施6	各自の研究テーマ、計画に沿って研究活動を実施し、データ収集を行います。適宜個別指導を行い、研究の方向性を確認します。				各自の計画に応じて活動し、活動状況をまとめ、報告、指導を受けます。(4時間)				
10	研究活動の実施7	各自の研究テーマ、計画に沿って研究活動を実施し、データ収集を行います。適宜個別指導を行い、研究の方向性を確認します。				各自の計画に応じて活動し、活動状況をまとめ、報告、指導を受けます。(4時間)				
11	研究活動の実施8	各自の研究テーマ、計画に沿って研究活動を実施し、データ収集を行います。適宜個別指導を行い、研究の方向性を確認します。				各自の計画に応じて活動し、活動状況をまとめ、報告、指導を受けます。(4時間)				
12	研究活動のまとめ	これまでの研究成果やデータをまとめ、論文執筆に必要な課題、スケジュールの見直しを行います。				各自の研究成果やデータをまとめます。(4時間)				
13	研究成果の報告1	これまでの研究成果やデータについてゼミ内でプレゼンテーション、ディスカッションをより、論文執筆の課題や進め方について確認します。				研究成果やデータのプレゼンテーションをまとめておく。論文執筆の準備を進める。(4時間)				
14	研究成果の報告2	これまでの研究成果やデータについてゼミ内でプレゼンテーション、ディスカッションをより、論文執筆の課題や進め方について確認します。				研究成果やデータのプレゼンテーションをまとめます。論文執筆の準備を進めます。(4時間)				
15	論文執筆の準備	これまでの研究活動を振り返り、夏季休業中に進める活動について整理します。論文執筆にあたり構成、書き方について学びます。				論文執筆の計画を作成して、講義を踏まえて修正します。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
特定のテキストは用いず、必要に応じて参考図書等を準備します。				課題：90% 受講態度：10% 卒業論文作成に向けて、各自の実験及び実習と、その定期的な報告、他ゼミ研究への取組を総合的に評価します。自分の実験及び実習を実施することが単位認定の条件でC評価です。定期的な報告を行うことでB評価、報告書の出来栄によりA評価、概ね学会発表ができることでS評価とします。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
必要に応じて参考図書を紹介いたします。				3年次の健康栄養演習を選択していることが前提となります。また、研究や実践活動では設定された授業時間以外の活動となる場合があります。						

科目名	卒業研究			学年学期	4年後期	単位数	2	ナパリング	NL46044	研究室	S-12
担当者	木藤 伸夫			必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	水曜日3限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
前期で取り組んだ研究テーマについて、引き続き研究を続けます。研究目的に沿った実験手法身につけ、関連する情報の収集を続けながら、最終目標である卒業論文の作成に向け、データを集積します。得られた結果とその考察をゼミで紹介し、ディスカッションを通して自分の研究内容をブラッシュアップします。											
学修到達目標											
研究目的を再度明確にし、あらゆる手法を駆使して目的の達成に取り組みます。最終的に得られた成果を整理・考察し、一つの論文にまとめます。ゼミ仲間の研究に対して助言やアイデアを提案できるようになることも重要です。											
授業の進め方											
研究の進め方は、各自の自主性に任せます。前期に行った研究を継続して下さい。行き詰まった場合はゼミ生同士でアイデアを出し合い、ディスカッションを通して解決法を模索します。定期的に研究の進捗具合を報告し、研究の進展方向を絞っていきます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	実験(10)	報告会での討論を参考に各自自主的に実験を続け、得られた結果の整理を行います。					実験の準備、結果の整理と結果の考察を行います(4時間)				
2	経過報告(3)	ゼミ生全員参加のもと、3~4人の卒研生がパワーポイントでまとめた実験の途中経過(得られた結果と考察)を報告します。参加者は質問やアイデアの提案を通して、研究がうまく進むように貢献します。					パワーポイントによるプレゼンテーションの作製と事後の修正(6時間)				
3	経過報告(4)	ゼミ生全員参加のもと、3~4人の卒研生がパワーポイントでまとめた実験の途中経過(得られた結果と考察)を報告します。参加者は質問やアイデアの提案を通して、研究がうまく進むように貢献します。					パワーポイントによるプレゼンテーションの作製と事後の修正(6時間)				
4	実験(11)	報告会での討論を参考に各自自主的に実験を続け、得られた結果の整理を行います。					実験の準備、結果の整理と結果の考察を行います(4時間)				
5	実験(12)	報告会での討論を参考に各自自主的に実験を続け、得られた結果の整理を行います。					実験の準備、結果の整理と結果の考察を行います(4時間)				
6	実験(13)	報告会での討論を参考に各自自主的に実験を続け、得られた結果の整理を行います。					実験の準備、結果の整理と結果の考察を行います(4時間)				
7	実験(14)	報告会での討論を参考に各自自主的に実験を続け、得られた結果の整理を行います。					実験の準備、結果の整理と結果の考察を行います(4時間)				
8	成果報告(1)	これまでの研究成果をまとめて、ゼミ生全員参加のもと報告会を行います。卒業生の半分が報告者です。研究目的の到達度をチェックします。					パワーポイントで研究成果をまとめ、プレゼンテーション用の資料を作成する。(6時間)				
9	成果報告(2)	これまでの研究成果をまとめて、ゼミ生全員参加のもと報告会を行います。卒業生の半分が報告者です。研究目的の到達度をチェックします。					パワーポイントで研究成果をまとめ、プレゼンテーション用の資料を作成する。(6時間)				
10	卒業論文の作成(1)	得られた成果をもとに、卒業論文の作成を始めます。必要に応じて追加の実験をしたり、参考文献を集めます。					実験が不足している部分は、追加実験を行う(2時間)				
11	卒業論文の作成(2)	得られた成果をもとに、卒業論文の作成を続けます。必要に応じて追加の実験をしたり、参考文献を集めます。					実験が不足している部分は、追加実験を行う(2時間)				
12	卒業論文の作成(3)	得られた成果をもとに、卒業論文の作成を続けます。必要に応じて追加の実験をしたり、参考文献を集めます。					実験の準備、結果の整理と結果の考察を行います(4時間)				
13	卒論発表会の練習(1)	まとめた卒論の内容にそって、卒論発表会の練習を行います。全員口頭で発表を行います。ゼミ参加者は不明瞭な点を質問し、より上手い発表ができるように準備を手伝います。					結果のまとめと、事後の整理と修正(6時間)				
14	卒論発表会の練習(2)	まとめた卒論の内容にそって、卒論発表会の練習を行います。全員口頭で発表を行います。ゼミ参加者は不明瞭な点を質問し、より上手い発表ができるように準備を手伝います。					結果のまとめと、事後の整理と修正(4時間)				
15	卒業論文の最終版作成	卒業論文の発表練習での意見を参考に、卒業論文を仕上げます。					実験の準備、結果の整理と結果の考察を行います(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
特に指定しません。必要な文献を各自集めます。				課題:100% 実験を準備し、実験を行ってデータを出せればC、データの整理を行い、プレゼンテーションができればB、自分が出したデータの考察ができればA、さらに自分のアイデアで研究を発展させる事ができればS。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
特に指定しません。必要な文献を各自集めます。				皆さんが興味を持っている内容で研究テーマを設定します。楽しみながら研究を進めましょう。							

科目名	卒業研究		学年学期	4年後期	単位数	2	ナパ'リング	NL46044	研究室	S-02
担当者	廣田 直子		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	水曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
栄養調査方法の開発ならびに栄養調査を中心とした人々の食生活のあり方に関する調査研究、様々なライフステージ・ライフスタイルの人々を対象とした教育理論・行動科学理論に基づく効果的な栄養教育のあり方に関する研究、ヘルスプロモーションの考え方に基づく食環境づくりや地域におけるネットワークづくりに関する研究など、栄養教育に関連した研究テーマを設定して、主体的に研究に取り組みます。原則として1人1テーマを設定して研究を進めます。										
学修到達目標										
気づき：研究の重要性とおもしろさがわかること。 能力：栄養学の専門家としての深い洞察力、応用力、科学的根拠に基づいた考え方ができる栄養教育実践者としての資質が高まること。 具体的到達目標：上記を踏まえた上で、各自が研究活動の成果として卒業論文をまとめます。										
授業の進め方										
各自が設定した研究テーマの確認、研究計画の見直しを行った後、個別に研究活動を進めます。この間、個別指導を受けながら研究を深めていきます。また、ゼミナール内での発表やディスカッションを経て見直しを行い、最終的に、完成論文をまとめます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	論文の初稿を作成する1	各自で、卒業研究論文の各項目の組み立てについて検討します。また、先行研究などを基にして作成した「緒言」について相互に読み合い、意見交換を行います。				論文構成の大項目、小項目の設定(1時間)、事後に「緒言」部分について書き直す(3時間)				
2	論文の初稿を作成する2	各自が執筆した初稿論文の「研究方法」の部分について相互に読み合い、意見交換を行います。				論文の初稿として「研究方法」の部分執筆(2時間)、事後には意見を踏まえて見直す(2時間)				
3	論文の初稿を作成する3	各自が執筆した初稿論文の「研究結果」の部分について、特に図表の示し方を中心として相互に確認し合い、意見交換を行います。				「研究結果」の部分に組み入れる図表のまとめ(3時間)、事後の見直し(1時間)				
4	ミニ中間発表会の準備	論文の初稿についての検討結果を踏まえて、ゼミナール内で行う中間発表会の準備を進めます。具体的には抄録の作成とプレゼンテーションファイルの検討を行います。				初稿に基づいた抄録の検討(3時間)、事後にプレゼンテーションファイルの作成(2時間)				
5	ミニ中間発表会	卒業研究について、ゼミナール4年生のみによる中間発表会を開催し、質疑応答やディスカッションを通して、プレゼンテーションのブラッシュアップを図ります。				事前に抄録集を作成配布し、各自の発表内容に関する質問やコメントを考える(3時間)				
6	ゼミナール内での中間発表会の準備	ミニ中間発表会でのコメントを踏まえて、またその後に整理できた研究成果を加え、3年生も含めて実施する中間発表会の準備を進めます。具体的には抄録とプレゼンテーションファイルの作成を行います。				プレゼンテーション内容について見直して修正(2時間)、最終稿について検討(3時間)				
7	ゼミナール内での中間発表会の準備	ミニ中間発表会でのコメントを踏まえて、またその後に整理できた研究成果を加え、3年生も含めて実施する中間発表会の準備を進めます。具体的には抄録とプレゼンテーションファイルの作成を行います。				プレゼンテーション内容について見直して修正(2時間)、最終稿について検討(3時間)				
8	ゼミナール内での中間発表会	3年生も含めて中間発表会を行い、質疑応答やディスカッションを行います。そこでのコメントを基にして論文の最終稿を執筆する上での改善点を把握します。				事前に抄録集を作成配布し、各自の発表内容に関する質問やコメントを考える(3時間)				
9	論文の最終稿を作成する1	中間発表会で得た成果を活かし、最終的な研究成果に基づいて論文の最終稿を作成し、個別指導に基づいて修正を加えていきます。				最終稿の執筆を進める(4時間)				
10	卒業研究発表会の準備1	各自が執筆した最終稿を基にして卒業研究発表会の抄録を作成するとともに、発表のプレゼンテーションファイルを作成します。				論文の最終稿と抄録を完成させて(5時間)提出				
11	卒業研究発表会の準備2	発表会に向けて、発表シミュレーションを行って、プレゼンテーションのブラッシュアップを図り、さらに発表練習を行います。				プレゼンテーションファイルまたはポスターを作成する(5時間)				
12	卒業研究発表会	各自で、口頭またはポスター発表を行い、聴講者とのディスカッションを通して自分の研究成果について考えます。				発表時のコメントに基づいて論文修正が必要な場合は、論文を修正して再提出する(5時間)				
13	卒業研究活動のまとめ1	各自が取り組んできた卒業研究を振り返り、課題と成果について、ゼミナールの3年生に伝えたいことをまとめます。				自分の卒業研究を振り返って、3年生に伝えたいコメントをまとめておく(3時間)				
14	卒業研究活動のまとめ2	各自がまとめたゼミナールの3年生に伝えたいコメントについて、3年生に対してプレゼンテーションを行います。				事前に、プレゼンテーション内容をまとめておく(3時間)				
15	まとめ 3年生の卒業研究テーマ等に対するアドバイス	3年生各自がまとめた研究概要に関するプレゼンテーションを聴講し、研究活動に関するアドバイスを行います。				3年生の研究概要に目を通し、アドバイスを考えておく(3時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
テキストは用いません。		レポート：100% S:高いモチベーションをもって卒業研究に取り組み、新規性や有用性が認められる知見について緻密な卒業研究論文をまとめている。A:積極的に卒業研究に取り組み、新規性または有用性が認められる知見を卒業研究論文としてまとめている。B:積極的に卒業研究に取り組み、独自性のある知見を卒業研究論文としてまとめている。C:卒業研究に取り組み、その成果を卒業研究論文としてまとめている。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
研究テーマにより、適宜参考文献や関連の論文等を紹介しします。		3年次の健康栄養演習で栄養教育分野を選択していることを前提とします。時間割上の設定枠以外でも研究活動や研究のまとめを進めることが必須となります。								

科目名	卒業研究		学年学期	4年後期	単位数	2	ナパ'リング	NL46044	研究室	S-01
担当者	山田 一哉		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	月曜日1限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
<p>「ホルモンと栄養素」ならびに「発癌」による遺伝子の転写調節機構の解析に関する分子生物学的研究を行います。前者に関しては、血糖調節ホルモンであるインスリンや栄養素である炭水化物・脂質による遺伝子の転写調節機構に関して、SHARP-1 や SHARP-2 という転写因子に注目して研究を行います。後者に関しては、ZHXファミリー転写抑制因子に注目して、主に発癌抑制・細胞増殖抑制機構の解明を目指します。これらの転写因子の発現や活性を調節する食品成分も探索していきたいと考えています。</p>										
学修到達目標										
<p>研究を通して、生命現象を科学的に分析・判断・理解する視点を養ってもらいます。また、研究成果を卒業論文としてまとめたり、口頭発表することにより、研究内容を文章でも口頭でも正確に他人にわかりやすく説明できる能力の開発を目指します。</p>										
授業の進め方										
<p>実験を中心として研究を行います。学生には、それぞれ自分の好奇心を刺激するテーマを選んでもらい、教員と相談しながら責任を持って研究を進めてもらいます。必要に応じて関連文献を発表してもらい、ゼミ単位で最新の科学情報を共有できるようにします。</p>										
<p>授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。</p>										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	実験データの収集(10)	実験を行い、データを収集します。				各自のテーマに応じて実験を行い、データを収集する。(4時間)				
2	実験データの収集(11)	実験を行い、データを収集します。				各自のテーマに応じて実験を行い、データを収集する。(4時間)				
3	実験データの収集(12)	実験を行い、データを収集します。				各自のテーマに応じて実験を行い、データを収集する。(4時間)				
4	実験データの収集(13)	実験を行い、データを収集します。				各自のテーマに応じて実験を行い、データを収集する。(4時間)				
5	実験データの収集(14)	実験を行い、データを収集します。				各自のテーマに応じて実験を行い、データを収集する。(4時間)				
6	実験データの収集(15)	実験を行い、データを収集します。				各自のテーマに応じて実験を行い、データを収集する。(4時間)				
7	実験データの収集(16)	実験を行い、データを収集します。				各自のテーマに応じて実験を行い、データを収集する。(4時間)				
8	実験データのまとめ(1)	実験データをまとめて統計解析を行い、図表やグラフを作成します。				データを統計処理しておく。エクセル等から図を作成する。(4時間)				
9	実験データのまとめ(2)	実験データをまとめて統計解析を行い、図表やグラフを作成します。				データを統計処理しておく。エクセル等から図を作成する。(4時間)				
10	論文の書き方	論文の構成を解説します。それぞれの項目では、何をどのように書くべきかを学びます。				各自の実験データをまとめておく。事後に論文を書き始める。(4時間)				
11	論文を作成する(1)	論文の初稿を個別指導します。				論文の初稿を作成する。(4時間)				
12	論文を作成する(2)	論文の第2稿を個別指導します。				論文の第2稿を作成する。(4時間)				
13	論文を作成する(3)	論文の最終稿を個別指導します。				論文の最終稿を作成する。(4時間)				
14	ゼミ発表会	ゼミ内で発表会を行い、最終チェックを行います。				発表用資料を完成させてくる。資料等を再修正する。(4時間)				
15	卒業研究のまとめ	卒業論文の印刷など総まとめを行います。				印刷原稿を完成させておく。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
各自のテーマに応じて、個別に提示します。				<p>受講態度：30% レポート：70% 実験を行い、卒業論文を提出すればC。実験を多く行えばB、実験をより多く行えばA、実験を最も多く行えばS。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
各自のテーマに応じて、個別に提示します。				<p>通常の時間割以外での研究活動も普通のことだと思ってください。大学生生活の総仕上げだと思って取り組んでください。</p>						

科目名	卒業研究		学年学期	4年後期	単位数	2	ナパ`リング	NL46044	研究室	S-10
担当者	高木 勝広		必修選択	必修	科目種別	演習	オイスア-	月曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
卒業研究 ・ を通じて、研究を続ける忍耐力、客観的な事実に基づいた理解と考察のできる力を養ってほしいと考えています。実験結果を図にしたり、最終的に論文にすることは重要な作業です。そして研究成果を発表し、他者に理解・納得してもらうことも大切です。この3年次から始まった一連の演習で身につけた総合力は、将来管理栄養士として働く上で大変に重要な力になると考えています。3年次の健康栄養演習で学んだ科学的知識と基礎的な実験技術習得を受け、卒業研究 を開始します。										
学修到達目標										
ゼミナールや発表会等を通して、学生自身の見解や主張を他の学生達に理解できるように発表したり、議論することにより、学生自身の研究分野に関連する深い理解力と洞察力を磨きます。										
授業の進め方										
学生各自に卒業研究のテーマを与えます。定期的にゼミナールを開催し、各自の研究の進み具合および今後の展望などを活発に議論します。卒業研究 から引き続き研究を行い、卒業論文発表会を開催します。最後に卒業論文を提出してもらいます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	卒業研究活動	卒業研究テーマに従って個人個人が実験を行います。教員は必要に応じて学生とディスカッションし、問題点や課題などを適切に指導します。				事前の実験計画を立てて臨む。事後は結果を記録に残し適切に指導を受ける。(4時間)				
2	卒業研究活動	卒業研究テーマに従って個人個人が実験を行います。教員は必要に応じて学生とディスカッションし、問題点や課題などを適切に指導します。				事前の実験計画を立てて臨む。事後は結果を記録に残し適切に指導を受ける。(4時間)				
3	卒業研究活動	卒業研究テーマに従って個人個人が実験を行います。教員は必要に応じて学生とディスカッションし、問題点や課題などを適切に指導します。				事前の実験計画を立てて臨む。事後は結果を記録に残し適切に指導を受ける。(4時間)				
4	卒業研究活動	卒業研究テーマに従って個人個人が実験を行います。教員は必要に応じて学生とディスカッションし、問題点や課題などを適切に指導します。				事前の実験計画を立てて臨む。事後は結果を記録に残し適切に指導を受ける。(4時間)				
5	卒業研究活動	卒業研究テーマに従って個人個人が実験を行います。教員は必要に応じて学生とディスカッションし、問題点や課題などを適切に指導します。				事前の実験計画を立てて臨む。事後は結果を記録に残し適切に指導を受ける。(4時間)				
6	卒業研究活動	卒業研究テーマに従って個人個人が実験を行います。教員は必要に応じて学生とディスカッションし、問題点や課題などを適切に指導します。				事前の実験計画を立てて臨む。事後は結果を記録に残し適切に指導を受ける。(4時間)				
7	卒業研究活動	卒業研究テーマに従って個人個人が実験を行います。教員は必要に応じて学生とディスカッションし、問題点や課題などを適切に指導します。				事前の実験計画を立てて臨む。事後は結果を記録に残し適切に指導を受ける。(4時間)				
8	卒業研究活動	卒業研究テーマに従って個人個人が実験を行います。教員は必要に応じて学生とディスカッションし、問題点や課題などを適切に指導します。				事前の実験計画を立てて臨む。事後は結果を記録に残し適切に指導を受ける。(4時間)				
9	卒業研究活動	卒業研究テーマに従って個人個人が実験を行います。教員は必要に応じて学生とディスカッションし、問題点や課題などを適切に指導します。				事前の実験計画を立てて臨む。事後は結果を記録に残し適切に指導を受ける。(4時間)				
10	卒業研究活動	卒業研究テーマに従って個人個人が実験を行います。教員は必要に応じて学生とディスカッションし、問題点や課題などを適切に指導します。				事前の実験計画を立てて臨む。事後は結果を記録に残し適切に指導を受ける。(4時間)				
11	卒業研究活動	卒業研究テーマに従って個人個人が実験を行います。教員は必要に応じて学生とディスカッションし、問題点や課題などを適切に指導します。				事前の実験計画を立てて臨む。事後は結果を記録に残し適切に指導を受ける。(4時間)				
12	卒業研究活動	卒業研究テーマに従って個人個人が実験を行います。教員は必要に応じて学生とディスカッションし、問題点や課題などを適切に指導します。				事前の実験計画を立てて臨む。事後は結果を記録に残し適切に指導を受ける。(4時間)				
13	卒業研究発表会 予行練習	卒業研究発表会の予行練習を行います。専門的な表現に偏っていないか、聴衆に解りやすくかつ論理的になっているか等を確認します。				事前に発表スライド・原稿を作成します。事後には、指摘された部分の訂正を行います。(4時間)				
14	卒業研究発表会	卒業研究で取り組んできた研究成果を発表する場です。実験結果から考察できることを、聴衆に解りやすくかつ論理的に説明します。				事前に発表練習を行い、本番に臨んでください。会場で得た指摘を記録に残してください。(4時間)				
15	卒業研究のまとめ	卒業研究の総まとめを行います。				各自で卒業研究の総括をして臨んでください。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「教員より指示します。」				受講態度：20% レポート：80% 受講態度と卒業論文により評価します。受講態度とは、研究テーマに対する実験の取り組み状況等を指します。 S:要求された程度を越えて優秀である。A:優秀である。B:要求を満たす内容である。C:単位修得を認める合格最低ラインである。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「教員より指示します。」				研究活動がメインです。研究の進行状況や実験の内容によっては、多くの時間を要することも十分に考えられます。通常の時間割以外の時間も研究活動として考えてほしい。論文等を事前に読んで実験に臨んでください。						

科目名	卒業研究		学年学期	4年後期	単位数	2	ナパ`リング	NL46044	研究室	N-04
担当者	弘田 量二		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	火曜日4限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本演習は3年次の「健康栄養演習」を始点とする活動を押し進め、卒業論文にまとめます。各自の研究テーマについて、調査・研究活動を行います。その方向性は、(1)食の機能性や安全性、有効性に関する文献上の検討(メタアナリシス)、(2)長野県、本学学生の生活習慣、食事状況調査(3)他県における生活習慣、食事状況調査などについて、学外機関や団体、行政機関および学内教員との連携を求めて、実験的・文献的検討・考察を進めていきます。										
学修到達目標										
これまでの学習知識や体験等を生かして研究を進め、その成果を卒業論文として取りまとめていくことが最大の目標となります。また同時に、研究を進めていく上で必要となる論理的思考力や情報リテラシーなどの能力、文章表現力やプレゼンテーション能力といった論文作成や成果発表に必要な能力の獲得や向上、人格形成も広い意味での学修目標となります。										
授業の進め方										
個々の研究テーマに応じてそれぞれ個別に指導することが多くなりますが、各自の研究を受講生全体で相互に議論する機会も設定し、問題の抽出・解決アプローチの共有化を図り、多角的な視点から研究を深めたり、視野を広げて論文完成を目指していきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	研究テーマごとの資料・データの収集・分析など(1)	どのようなテーマを、どのように進めていくか、社会情勢やこれまでに得た体験、知識、集めた資料に基づいた知識などを生かして議論を行うことで、研究テーマを決めていきます。				興味を持った点や不明な点などを自分で調べる。(4時間)				
2	研究テーマごとの資料・データの収集・分析など(2)	各自の研究テーマに基づいて、概要や先行研究について情報収集を行い、研究計画を発表します。また、相互に研究計画や概要について、検討します。調査表の配付方法・倫理審査なども議論します。				興味を持った点や不明な点などを自分で調べる。(4時間)				
3	研究テーマごとの資料・データの収集・分析など(3)	各自の研究テーマに基づいて、概要や先行研究について情報収集を行い、研究計画を発表します。また、相互に研究計画や概要について、検討します。調査表の配付方法・倫理審査なども議論します。				興味を持った点や不明な点などを自分で調べる。(4時間)				
4	研究テーマごとの資料・データの収集・分析など(4)	各自の研究テーマに基づいて、概要や先行研究について情報収集を行い、研究計画を発表します。また、相互に研究計画や概要について、検討します。調査表の配付方法・倫理審査なども議論します。				興味を持った点や不明な点などを自分で調べる。(4時間)				
5	論文の書き方、執筆スケジュールの確認(1)	得られた知識についてのまとめ方の指導、卒業論文の執筆方法や図、表、参考文献の取り扱い方について指導します。				興味を持った点や不明な点などを自分で調べる。(4時間)				
6	論文の書き方、執筆スケジュールの確認(2)	得られた知識についてのまとめ方の指導、卒業論文の執筆方法や図、表、参考文献の取り扱い方について指導します。				興味を持った点や不明な点などを自分で調べる。(4時間)				
7	論文の書き方、執筆スケジュールの確認(3)	得られた知識についてのまとめ方の指導、卒業論文の執筆方法や図、表、参考文献の取り扱い方について指導します。				興味を持った点や不明な点などを自分で調べる。(4時間)				
8	中間発表会	各自の中間発表を行い、スケジュールの確認やブラッシュアップを行います。				ゼミ生の発表を聞いて興味を持った点や不明な点などを自分で調べる。(4時間)				
9	卒業論文の下書き原稿を作成する(1)	論文の最終稿を個別に指導します。発表会のプレゼン資料の作成を開始します。				卒業論文の下書き原稿を作成してくる。(4時間)				
10	卒業論文の下書き原稿を作成する(2)	論文の最終稿を個別に指導します。発表会のプレゼン資料の作成を開始します。				卒業論文の下書き原稿を作成してくる。(4時間)				
11	卒業論文発表会のプレゼンテーションの練習(1)	各自の発表形式に基づいたプレゼンテーション資料の作成と発表練習を行い、ブラッシュアップします。				卒業論文発表資料を作成してくる。(4時間)				
12	卒業論文発表会のプレゼンテーションの練習(2)	各自の発表形式に基づいたプレゼンテーション資料の作成と発表練習を行い、ブラッシュアップします。				卒業論文発表資料を作成してくる。(4時間)				
13	卒業論文発表会のプレゼンテーションの練習(3)	各自の発表形式に基づいたプレゼンテーション資料の作成と発表練習を行い、ブラッシュアップします。				卒業論文発表資料を作成してくる。(4時間)				
14	卒業論文発表会のプレゼンテーションの練習(4)	各自の発表形式に基づいたプレゼンテーション資料の作成と発表練習を行い、ブラッシュアップします。				卒業論文発表資料を作成してくる。(4時間)				
15	卒業研究のまとめ	卒業論文の印刷・お礼状の作成など、卒業研究の総まとめを行います。				印刷及び製本を行ってくる。お礼状なども作成してくる。(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
「みんなの医療統計-12日間で基礎理論とEZRを完全マスター」新谷歩著(講談社) ISBN:978-4-06-156314-8(生協で購入してください。)その都度指示します。		課題:50% 受講態度:50% 望ましい受講態度:研究者の第一歩となる活動です。研究の意義をよく理解しゼミ生と協力しながら進めます。常識ある社会人としてもつべき協調性や真摯な態度も身につけます。 評価:S:研究内容を高度に理解しゼミ生と切磋琢磨しながら研究を実施できる。A:研究内容を理解し、積極的に研究を遂行できる。B:研究のおおよそを理解し研究を遂行できる。C:研究内容を理解し遂行できる。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「みんなの医療統計基礎編」新谷歩著(講談社) ISBN:978-4-06-1563314-8		卒業研究を進めていくためには、課題解決に向けた前向きな姿勢と努力が必要です。他の人たちとの共同作業も必要になってきますので、社会人としても人格の形成に役立ちます。								

科目名	卒業研究		学年学期	4年後期	単位数	2	ナパ'リング	NL46044	研究室	W-03	
担当者	福島 智子		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	月曜日3限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C						
授業概要											
医療社会学の視点から、慢性疾患患者に対する「食事療法」を考察します。いくつかの慢性疾患の治療・管理においては、患者本人や家族による食事療法が重視されています。日常生活に直結する食事療法の継続は非常に困難であると指摘されており、患者や家族を支えるさまざまなサポートが試みられています。食事療法の継続がなぜそれほど困難なのか、障害となっているものは何か、そして食事療法が日常生活に与える影響とは何かを考えます。											
学修到達目標											
現代社会における食に関する課題を発見し、解決するための論理的思考能力と、学習内容を他者に伝えるプレゼンテーション能力を身につけること。											
授業の進め方											
二次資料による研究も可能です。プレゼンテーション、ディスカッションを繰り返し行います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	夏季課題発表 1	夏季休業中の課題について、学生はプレゼンテーションをします。					プレゼンテーションの準備をする(4時間)。				
2	夏季課題発表 2	夏季休業中の課題について、学生はプレゼンテーションをします。					プレゼンテーションの準備をする(4時間)。				
3	卒論構想発表 1	学生は卒業論文構想を報告し、討論します。					構想のまとめをする(4時間)。				
4	卒論構想発表 2	学生は卒業論文構想を報告し、討論します。					構想のまとめをする(4時間)。				
5	論文中間報告 1	論文個別指導をします。					論文執筆を進める(4時間)。				
6	論文中間報告 2	論文個別指導をします。					論文執筆を進める(4時間)。				
7	論文中間報告 3	論文個別指導をします。					論文執筆を進める(4時間)。				
8	論文中間報告 4	論文個別指導をします。					論文執筆を進める(4時間)。				
9	論文中間報告 5	論文個別指導をします。					論文執筆を進める(4時間)。				
10	論文の最終稿を作成する1	論文最終稿の個別指導をします。					論文の最終稿を作成する(4時間)。				
11	論文の最終稿を作成する2	論文最終稿の個別指導をします。					論文の最終稿を作成する(4時間)。				
12	論文の最終稿を作成する3	論文最終稿の個別指導をします。					論文の最終稿を作成する(4時間)。				
13	卒論発表会の準備 1	卒論発表会の資料、PPTを作成します。					発表会の準備をする(4時間)。				
14	卒論発表会の準備 2	卒論発表会の資料、PPTを作成します。					発表会の準備をする(4時間)。				
15	卒論発表会を終えて	卒論発表会の振り返りをします。					反省等のまとめをする(4時間)。				
テキスト			成績評価の方法・基準								
学生が選択する卒業論文のテーマによって、使用テキストは異なります。必要に応じて指定します。			課題:100% 卒業論文により評価します。 S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考能力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組むことができる。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組むことができる。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組むことができる。C:授業内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組むことができる。								
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「医療の社会学」進藤雄三著世界思想社編			医療社会学の基本的な概念をすでに学んでいる学生が望ましいです。卒業研究の準備は学生自身が積極的に進めてください。								

科目名	卒業研究		学年学期	4年後期	単位数	2	ナパ'リング	NL46044	研究室	S-04
担当者	平田 治美		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	金曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
ヘルスプロモーションの考え方に基づく健康寿命延伸を目標とした食環境づくりにかかる食環境全般と栄養に関する研究テーマを設定し、主体的に研究に取り組みます。調査などでグループとなった場合でも、各自がテーマを設定し明確な役割をもって協働して研究を進めます。										
学修到達目標										
(1) 主体的に研究活動を計画に沿って実施できる。(2) 調査や実験の場合、データの集計と分析ができる。(3) 栄養学を専門とする科学的根拠に基づいた探求的資質を高められる。以上を踏まえ各自が研究活動の成果として卒業論文にまとめる。										
授業の進め方										
各自(グループ)が設定した研究テーマに基づき研究活動を進めます。この間、個別指導(データ集計・分析、評価および考察等)を受けながら研究を深め、ゼミ内での発表とディスカッションを経て、卒業論文を完成させます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	初稿論文作成(1)	卒業論文作成と研究発表会までのスケジュール確認します。各自(グループ)の研究のベースとなった先行研究論文を基に論文作成を進めます。				論文構成に基づいてまとめます。(4時間)				
2	初稿論文作成(2)	各自(グループ)の研究のベースとなった先行研究論文を基に論文作成を進めます。				論文構成に基づいてまとめます。指導を受け、修正しつつ確実に進めます。(4時間)				
3	初稿論文作成(3)	大幅な修正が必要としない程度までの完成形を目指します。その段階で提出してもらいます。				論文構成に基づいてまとめます。指導を受け、修正しつつ確実に進めます。(4時間)				
4	初稿論文の検討(1)	ゼミ内でそれぞれの論文を読み合わせした後ディスカッションをします。その内容を検討したうえで修正など行います。				最終稿に向けて、論文の内容を高めていきます。(4時間)				
5	初稿論文の検討(2)	ゼミ内でそれぞれの論文を読み合わせした後ディスカッションをします。その内容を検討したうえで修正など行います。				最終稿に向けて、論文の内容を高めていきます。(4時間)				
6	ゼミ内発表準備(1)	卒業研究発表会に向けたゼミ内発表を行います。プレゼンテーションの構成を考え、理論展開することで簡潔にまとめていきます。				プレゼンテーションをパワーポイントで作成します。(4時間)				
7	ゼミ内発表準備(2)	卒業研究発表会に向け、ゼミ内発表会を行います。プレゼンテーションの構成を考え、理論展開することで簡潔にまとめていきます。				プレゼンテーションをパワーポイントで作成します。(4時間)				
8	ゼミ内発表	卒業論文発表会に向けて、ゼミ内の質疑応答を得てシュミレーションを行います。また論文の最終稿完成へのための修正点を把握し、改善を図ります。				発表に用いる各スライドの構成、見易さなどを修正します。(4時間)				
9	論文最終稿作成(1)	ゼミ内発表で得た成果を活かし、指導に基づき修正を加え、論文の最終稿を作成します。				最終稿執筆を進める。(4時間)				
10	論文最終稿作成(2)	ゼミ内発表で得た成果を活かし、指導に基づき修正を加え、論文の最終稿を作成します。				最終稿執筆を進める。(4時間)				
11	論文最終稿作成(3)	ゼミ内発表で得た成果を活かし、指導に基づき修正を加え、論文の最終稿を完成させます。				論文の最終稿と発表抄録を完成させ提出する。(5時間)				
12	卒業論文発表会準備(1)	発表会に向けてプレゼンテーション内容の修正と改善を図りつつ、リハ-サルを重ねます。				各自で研究成果や現時点での課題をまとめる。(2時間) 事後には課題解決の検討。(2時間)				
13	卒業論文発表会準備(2)	発表会に向けてプレゼンテーション内容の修正と改善を図りつつ、リハ-サルを重ねます。				各自で研究成果や現時点での課題をまとめる。(2時間) 事後には課題解決の検討。(2時間)				
14	卒業論文発表会	各自(グループ)で口頭もしくはポスター示説発表を行う。聴講者との質問等を通して研究成果の評価と考察を行います。				発表時のコメントに基づき論文修正が必要であれば修正して提出する。(4時間)				
15	卒業研究活動のまとめ	収集した文献資料やデータの整理を行い3年生の引継ぎとアドバイス、卒業研究の総括を行います。				3年生への資料引継ぎ作業、3年生研究概要に目を通しアドバイスできるよう用意する。(3時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
テキストは用いません。			レポート: 100% S: 卒業研究に関する高いモチベーションを有し、新規性や有用性が認められる知見を見出すための緻密な計画作成と研究活動が推進され、成果を論文にまとめた。A: 卒業研究を積極的にとらえ、新規性または有用性が認められる知見を得るための計画作成と研究活動が推進され、論文にまとめた。B: 卒業研究について独自性のある知見を得るための計画作成と研究活動に取り組み論文にまとめた。C: 卒業研究の計画を作成し、研究活動に取り組み論文にまとめた。							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
研究テーマにより、適宜参考文献や関連の論文等を紹介しします。			時間割上の設定枠以外でも研究活動を進めることが必要となります。定期的に進捗状況を報告しつつ、ゼミ内での検討を重ね、まとめていきます。							

科目名	卒業研究		学年学期	4年後期	単位数	2	ナパ'リング	NL46044	研究室	S-07
担当者	石原 三妃		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	月曜日1限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
卒業研究 で取り組んだ内容をさらに深く調査・研究し、その結果に基づいて、さらなる専門分野に関連する科学者や栄養学の専門家としての深い洞察力と応用力の向上をめざします。また、プレゼンテーションの技術を高めることもねらいとします。最終的に卒業論文として提出します。										
学修到達目標										
食についての問題意識を持ち、解決に向け、1つのテーマについて深く研究する力を養うこと。さらに専門知識を深め、基本的な研究の手法、発表法を習得すること。										
授業の進め方										
1~3名で班を作り、研究テーマを決めて自主的に研究活動を行います。卒業研究 の学びを継続する形で計画 実験・調査 データ解析 まとめの順に進めます。文献講読、卒論発表も行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	論文初稿の発表(1)	論文の初稿を相互に読み合い討議します。また、併せて個別指導を行います。					論文の初稿を完成してくる。討議・指導された内容について、加筆修正を行う。(4時間)			
2	論文初稿の発表(2)	論文の初稿を相互に読み合い討議します。また、併せて個別指導を行います。					論文の初稿を修正する。討議・指導された内容について、さらに加筆修正を行う。(4時間)			
3	中間発表プレゼンテーション資料作成	中間発表会に向けてプレゼンテーション資料を作成します。全体的な指導と個別指導をします。					初稿に基づきプレゼンの構想を練ってくる。指導内容を受けプレゼン資料を作成する。(4時間)			
4	中間発表会	中間発表を行い、ゼミナールの3年生も含めた形で、発表内容について検討します。					プレゼン資料を完成する。(4時間)			
5	論文の第2稿を作成する(1)	論文の第2稿を個別指導します。					論文の第2稿を作成する。(4時間)			
6	論文の第2稿を作成する(2)	論文の第2稿を個別指導します。					論文の第2稿を作成する。(4時間)			
7	論文の第2稿を作成する(3)	論文の第2稿を個別指導します。					論文の第2稿を作成する。(4時間)			
8	論文第2稿の発表・検討	論文第2稿の発表・検討論文の第2稿を発表し、相互に検討します。					論文の第2稿を完成させ、発表準備をしてくる。検討結果に基づき修正する。(4時間)			
9	論文の最終稿を作成する(1)	論文の最終稿を個別指導します。					論文の最終稿を作成する。(4時間)			
10	論文の最終稿を作成する(2)	論文の最終稿を個別指導します。					論文の最終稿を作成する。(4時間)			
11	論文の最終稿を完成し、提出準備を完了する(3)	論文の最終稿を最終指導をします。また、提出用の卒業論文を相互点検します。					論文の最終稿を完成してくる。最終点検に応じた修正をする。(4時間)			
12	卒論発表会のプレゼンテーション資料作成	発表会に向けて、プレゼンテーション資料を作成します。					プレゼン資料を作成する。(4時間)			
13	卒論発表会リハーサル	3・4年生合同の発表会を行い、最終チェックならびに検討をします。					発表用プレゼン資料を完成してくる。検討内容を修正する。(4時間)			
14	卒業論文発表会のプレゼンテーション資料作成	最終的なプレゼンテーション資料を検討します。					卒論発表会用プレゼンテーション資料を完成してくる。検討内容を修正する。(4時間)			
15	卒業研究のまとめ	卒業研究のまとめ卒業論文の印刷、資料整理など、卒業研究の総まとめを行います。					印刷原稿を完成させてくる。データ整理を行ってくる。(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
必要に応じて提示します。					受講態度:40% 課題:60% 望ましい受講態度とは・・・自ら問題意識をもち、ゼミのメンバーと協力して積極的に調査実験、その他ゼミ活動に参加すること。 評価基準・・・S:ゼミ活動や課題に極めて積極的に取り組み、自ら研究課題を解決できる。A:ゼミ活動や課題に積極的に取り組み、研究課題を解決できる。B:ゼミ活動や課題に取り組み、指導教官のアドバイスに基づき研究課題を解決できる。C:ゼミ活動を行い、指導教官のアドバイスの基で研究課題を解決できる。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
必要に応じて提示します。					通常の時間割以外での研究活動が多いので意欲を持って取り組んでください。担当教員と相談して研究・発表を進めてください。					

科目名	卒業研究			学年学期	4年後期	単位数	2	ナパ`リング	NL46044	研究室	S-11
担当者	藤岡 由美子			必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	火曜日2限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
糖尿病や炎症性腸疾患の食事会の企画運営や患者との交流を通して病態や治療についての理解を深め、患者会の役割について学びます。災害時要配慮者のオーダーメイドチェックリストを作成し備蓄状況を調査します。新しい栄養管理ソフトの有効性を調査します。											
学修到達目標											
栄養の現象を的確に捉え問題点を把握して課題解決に向けた目標を設定し、計画を立て実施し結果を解析して評価を行い、それらを報告書や論文に取りまとめます。発表会や討議を通じて考え方や知識の幅を広げます。											
授業の進め方											
栄養の現象を的確に捉え問題点を把握して課題解決に向けた目標を設定し、計画を立て実施し結果を解析して評価を行い、それらを報告書や論文に取りまとめます。発表会や討議を通じて考え方や知識の幅を広げます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	実践活動(糖尿病)1	糖尿病教室の栄養教育媒体を作成します。					媒体作成(4時間)				
2	実践活動(糖尿病)2	糖尿病教室の会場準備を行います。					会場準備(4時間)				
3	実践活動(糖尿病)3	糖尿病教室を開催します。					調理・栄養教育(4時間)				
4	実践活動(炎症性腸疾患)1	炎症性腸疾患食のメニューを考えます。					献立作成(4時間)				
5	実践活動(炎症性腸疾患)2	炎症性腸疾患食のメニューを修正します。					献立修正・試作(4時間)				
6	実践活動(炎症性腸疾患)3	炎症性腸疾患食のメニューの試作会を行います。					試作調理(4時間)				
7	実践活動(炎症性腸疾患)4	炎症性腸疾患食事会の運営計画を立案します。					計画立案(4時間)				
8	実践活動(炎症性腸疾患)5	炎症性腸疾患食事会の栄養教育媒体を作成します。					資料作成(4時間)				
9	実践活動(炎症性腸疾患)6	炎症性腸疾患食事会の会場準備を行います。					会場準備(4時間)				
10	実践活動(炎症性腸疾患)7	炎症性腸疾患食事会を開催します。					栄養教育・調理(4時間)				
11	卒業研究報告会1	パワーポイント・ポスターを作成します。					資料作成(4時間)				
12	卒業研究報告会2	パワーポイント・ポスターを修正します。					資料修正(4時間)				
13	卒業研究報告会3	発表の練習をします。					発表練習(4時間)				
14	卒業研究報告会4	質疑応答の練習をします。					討論(4時間)				
15	卒業研究報告会5	口頭・ポスター発表を行います。					発表練習(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「臨床栄養」(医歯薬出版)(別途、指示します。)					レポート:100% S:計画通りに研究を遂行し考え方や知識の幅を広げられる。 A:指導により研究を遂行し考え方や知識の幅を広げられる。 B:計画通りに問題意識を持ち課題解決が行える。 C:指導により問題意識を持ち課題解決が行える。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「Nutrition Care」(メディカ出版)					食事会の実践活動はグループ単位で、研究は個人で進めます。前期で論文を完成するという画期的な取組に挑戦します。						

科目名	卒業研究			学年学期	4年後期	単位数	2	ナパリング	NL46044	研究室	S-08
担当者	沖嶋 直子			必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	水曜日3限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
卒業研究Iで得られた研究成果を、栄養改善学会および梓森祭のゼミナール展示、卒業研究発表会においてプレゼンテーションし、さらに卒業論文にまとめます。											
学修到達目標											
学会、ゼミナール展示あるいは卒業研究発表会において、適切なポスター、展示資料あるいは発表資料を作成し、質問者からの質疑応答に適切に解答できるような知識を身につける事、さらに得られた研究成果を卒業論文としてまとめ、期日までに提出する事を到達目標とします。											
授業の進め方											
栄養改善学会、ゼミナール展示のポスターを作成し発表します。その質疑応答も踏まえて、必要であれば追加実験を行い、最終的に卒業論文にまとめます。最後の総まとめとして、卒業研究発表会で口頭あるいはポスター発表を行ってまいります。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス・論文の書き方	ポスター作製および論文執筆についてのガイダンスを行います。					卒業研究Iの成果をまとめ、関連論文を読んでおく事(4時間)				
2	資料作成・論文添削	学会や梓森祭の展示資料を作成する事を通して3年生へ研究を引き継ぎます。論文の添削を行います。					論文を指示に沿って書く事、関連する論文を読む事(4時間)				
3	資料作成・論文添削	学会や梓森祭の展示資料を作成する事を通して3年生へ研究を引き継ぎます。論文の添削を行います。					論文を指示に沿って書く事、関連する論文を読む事(4時間)				
4	資料作成・論文添削	学会や梓森祭の展示資料を作成する事を通して3年生へ研究を引き継ぎます。論文の添削を行います。					論文を指示に沿って書く事、関連する論文を読む事(4時間)				
5	資料作成・論文添削	学会や梓森祭の展示資料を作成する事を通して3年生へ研究を引き継ぎます。論文の添削を行います。					論文を指示に沿って書く事、関連する論文を読む事(4時間)				
6	論文添削	執筆中の論文の添削を行います。					論文を指示に沿って書く事、関連する論文を読む事(4時間)				
7	論文添削	執筆中の論文の添削を行います。					論文を指示に沿って書く事、関連する論文を読む事(4時間)				
8	論文添削	執筆中の論文の添削を行います。					論文を指示に沿って書く事、関連する論文を読む事(4時間)				
9	論文添削	執筆中の論文の添削を行います。					論文を指示に沿って書く事、関連する論文を読む事(4時間)				
10	論文添削	執筆中の論文の添削を行います。					論文を指示に沿って書く事、関連する論文を読む事(4時間)				
11	論文添削	執筆中の論文の添削を行います。					論文を指示に沿って書く事、関連する論文を読む事(4時間)				
12	論文添削	執筆中の論文の添削を行います。					論文を指示に沿って書く事、関連する論文を読む事(4時間)				
13	論文添削・卒業研究発表会準備	卒業論文を仕上げる。卒業研究発表会で用いるポスター、あるいはパワーポイント、および発表原稿を添削します。					ポスター、パワーポイント、発表原稿を作成しておく事(4時間)				
14	卒業研究発表会準備	卒業論文を仕上げる。卒業研究発表会で用いるポスター、あるいはパワーポイント、および発表原稿を添削します。					ポスター、パワーポイント、発表原稿を作成しておく事(4時間)				
15	卒業研究発表会	口頭、あるいはポスターにて研究成果を発表します。					発表資料、原稿を完全なものにし、発表の練習を行う事(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
選択する研究テーマにより変わるため、講義開始時に指示します。					受講態度:50% 課題:30% 実技:20% 受講態度は平素の実験や研究活動、抄読会への参加状況で判断する。 課題は卒業論文の内容とし、実技は卒業研究発表会の発表内容とする。 いずれも大学生として質の高いものはA、そのうち特に高いものをS、大学生相当であるものがB、大学生としてやや難があるものをC、大学生として評価できないものをDとする。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
必要に応じて指示します。					卒業研究I同様、毎週1コマ15回来れば良いというものではありません。自主的に進めて下さい。						

科目名	卒業研究		学年学期	4年後期	単位数	2	ナパ'リング	NL46044	研究室	S-06	
担当者	矢内 和博		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	金曜日1限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C						
授業概要											
<p>本研究室は、長野県の伝統的食材・料理の保存および食品学的アプローチと長野県産地場産品の新規有効利用法の開発を柱とした研究活動を行います。1年間の研究活動を通して、物の考え方、問題提起、解決法のプロセスなど、問題を解決する力を養うことをねらいとします。また、長野県産地場産品にスポットをあて、研究課題を探索し実行します。各自、もしくは数名のグループごとに研究テーマを設け、最終的には卒業論文として提出してもらいます。企業とのコラボによる開発業務も多く、全員で取り組んでいきます。</p>											
学修到達目標											
<p>長野県の食のスペシャリストを目指し、また本研究室の活動の中核となる6次産業推進をはかるため、1次、2次、および3次産業への積極的な介入を行います。すなわち、農業、加工業、流通、サービスの場をそれぞれ経験してもらいます。また、企業や農家、行政の方々と直接かかわる中で、食に関する問題解決型の開発業務を行います。このプロセスを卒業論文にまとめることを目標とします。</p>											
授業の進め方											
<p>各自テーマを持って、1食品の加工を完全に習得する作業を行います。また、企業や行政から依頼のある業務については、グループを組み課題として取り組みます。また、アウトキャンパスを積極的に行います。</p>											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	後期進めるべき研究内容、日程等の確認を行います。					研究ノートを付ける。(2時間)				
2	研究テーマの遂行(1)	各自、研究テーマに従って活動します。月一回の報告会を実施します。					研究ノートをつけます。疑問点については自分で資料収集等を行い解決につなげます。(4時間)				
3	研究テーマの遂行(2)	各自、研究テーマに従って活動します。月一回の報告会を実施します。					研究ノートをつけます。疑問点については自分で資料収集等を行い解決につなげます。(4時間)				
4	研究テーマの遂行(3)	各自、研究テーマに従って活動します。月一回の報告会を実施します。					研究ノートをつけます。疑問点については自分で資料収集等を行い解決につなげます。(4時間)				
5	研究テーマの遂行(4)	各自、研究テーマに従って活動します。月一回の報告会を実施します。					研究ノートをつけます。疑問点については自分で資料収集等を行い解決につなげます。(4時間)				
6	研究テーマの遂行(5)	各自、研究テーマに従って活動します。月一回の報告会を実施します。					研究ノートをつけます。疑問点については自分で資料収集等を行い解決につなげます。(4時間)				
7	研究テーマの遂行(6)	各自、研究テーマに従って活動します。月一回の報告会を実施します。					研究ノートをつけます。疑問点については自分で資料収集等を行い解決につなげます。(4時間)				
8	研究テーマの遂行(7)	各自、研究テーマに従って活動します。月一回の報告会を実施します。					研究ノートをつけます。疑問点については自分で資料収集等を行い解決につなげます。(4時間)				
9	研究テーマの遂行(8)	各自、研究テーマに従って活動します。月一回の報告会を実施します。					研究ノートをつけます。疑問点については自分で資料収集等を行い解決につなげます。(4時間)				
10	卒業論文発表会の準備(1)	卒業論文発表会の準備について打ち合わせをします。					研究ノートをつけます。疑問点については自分で資料収集等を行い解決につなげます。(4時間)				
11	卒業論文発表会の準備(2)	卒業論文発表会の準備をします。					研究ノートをつけます。疑問点については自分で資料収集等を行い解決につなげます。(4時間)				
12	研究テーマの遂行(1)	各自、研究テーマに従って活動します。月一回の報告会を実施します。					研究ノートをつけます。疑問点については自分で資料収集等を行い解決につなげます。(4時間)				
13	研究テーマの遂行(2)	各自、研究テーマに従って活動します。月一回の報告会を実施します。					研究ノートをつけます。疑問点については自分で資料収集等を行い解決につなげます。(4時間)				
14	研究テーマの遂行(3)	各自、研究テーマに従って活動します。月一回の報告会を実施します。					研究ノートをつけます。疑問点については自分で資料収集等を行い解決につなげます。(4時間)				
15	研究テーマの遂行(4)	各自、研究テーマに従って活動します。卒論のまとめ、データ等のまとめ、後輩への引き継ぎを行います。					研究ノートをつけます。疑問点については自分で資料収集等を行い解決につなげます。(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準								
必要に応じて資料を提供します。			<p>受講態度：100% 受講態度、すなわち卒業研究の進捗を100%として評価します。 A：計画した卒論内容について研究が完結し、質の高い卒論を作成する。 B：卒論の内容について研究に一定の結論を導き、卒論を完成する。 C：卒論の目的を達成できなかったが、卒論としてまとめる。 D：研究、卒論ともに期日までに完成しない。 なお、成績の最優秀者1名をSとします。</p>								
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)								
必要に応じて資料を提供します。			<p>管理栄養士国家試験に向けた学習と並行して研究活動を進めます。限られた時間を有効に使えるよう、1年生からしっかり学習を積み重ねてきてください。</p>								

科目名	卒業研究			学年学期	4年後期	単位数	2	ナパ'リング	NL46044	研究室	S-09
担当者	成瀬 祐子			必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	木曜日5限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
卒業研究では、各自のテーマに沿った研究計画を立て、実施・検証し、卒業論文にまとめていきます。卒業研究では、研究計画を実施し、その内容を検証し、論文にまとめていきます。その過程において、論理的にまとめる力やプレゼンテーション能力の向上を目指します。											
学修到達目標											
卒業研究では、各自のテーマに沿った研究計画を立てて実施し、最終的に卒業論文にまとめることが目標となります。その過程で、卒業研究では、研究を推進する力、論理的にまとめる力、プレゼンテーション能力を向上させることも目標です。											
授業の進め方											
各自に研究テーマを設け、テーマに応じて進めていきます。定期的に報告会を開き、進捗状況の報告と討論を行うことで、各自の研究テーマへの理解を深めながら研究を進め、卒業論文を作成していきます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	中間発表	各自の研究内容をゼミ内で発表、討論することで、今後の研究の進め方を検討します。					研究内容をまとめ発表できるように準備する。(4時間)				
2	資料・データ収集、分析(1)	各自のテーマにあわせて、資料・データの収集および分析を行います。					資料・データ収集の準備、収集した資料・データの整理を行う。(4時間)				
3	資料・データ収集、分析(2)	各自のテーマにあわせて、資料・データの収集および分析を行います。					資料・データ収集の準備、収集した資料・データの整理を行う。(4時間)				
4	論文作成(1)	収集した資料・データ等を用いて論文を作成していきます。					論文を作成していく。(4時間)				
5	論文作成(2)	収集した資料・データ等を用いて論文を作成していきます。					論文を作成していく。(4時間)				
6	論文作成(3)	収集した資料・データ等を用いて論文を作成していきます。					論文を作成していく。(4時間)				
7	論文作成(4)	収集した資料・データ等を用いて論文を作成していきます。					論文を作成していく。(4時間)				
8	論文作成(5)	収集した資料・データ等を用いて論文を作成していきます。					論文を作成していく。(4時間)				
9	論文作成(6)	収集した資料・データ等を用いて論文を作成していきます。					論文を作成していく。(4時間)				
10	卒業論文発表準備(1)	卒業論文発表に向けてプレゼンテーションの準備をしていきます。					パワーポイントやポスターなど、プレゼンテーションの媒体を作成する。(4時間)				
11	卒業論文発表(2)	卒業論文発表に向けてプレゼンテーションの準備をしていきます。					パワーポイントやポスターなど、プレゼンテーションの媒体を作成する。(4時間)				
12	卒業論文発表(3)	卒業論文発表に向けてプレゼンテーションの準備をしていきます。					パワーポイントやポスターなど、プレゼンテーションの媒体を作成する。(4時間)				
13	ゼミ内発表会	3,4年生合同で、ゼミ内の卒業論文発表を行い、発表準備や卒業研究の仕上げを行っていきます。					ゼミ内発表会の準備をする。(4時間)				
14	卒業研究のまとめ	卒業研究発表会の準備を行い、また、これまでに収集した資料・データや文献の整理を行います。					卒業研究発表会の準備をする。(4時間)				
15	卒業研究のまとめ	卒業研究発表会の準備を行い、また、これまでに収集した資料・データや文献の整理を行います。					卒業研究発表会の準備をする。(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
必要に応じて提示します。					受講態度：20% 課題：80% S:常に積極的に卒業研究に取り組み、研究を計画的に進められた。その内容をしっかりと論文の形にまとめ、わかりやすくプレゼンもできた。A:常に積極的に卒業研究に取り組み、研究を計画的に進められた。その内容を論文の形にまとめ、わかりやすくプレゼンもできた。B:積極的に卒業研究に取り組み、その内容を論文の形にまとめ、わかりやすくプレゼンもできた。C:前向きに卒業研究に取り組み、研究の内容をなんとか論文の形にまとめ、プレゼンできた。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
必要に応じて提示します。					食に広い関心を持ち、積極的に取り組んでください。						

科目名	卒業研究			学年学期	4年後期	単位数	2	ナパリング	NL46044	研究室	S-05
担当者	長谷川 尋之			必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	水曜日1限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
健康寿命延伸に関わる体力と栄養に関する調査研究、競技者や競技特性に関する生理学的な基礎研究並びに栄養サポート、環境整備等の介入研究など運動栄養学分野に関連した研究、論文作成に取り組みます。原則1人1テーマを設定します。											
学修到達目標											
管理栄養士として課題に対して科学的根拠に基づいた情報収集や分析、発信ができるようになることです。各自の研究テーマに応じて研究活動を行い、研究のプロセスを理解し、研究活動の成果として卒業論文を仕上げます。											
授業の進め方											
各自が設定した研究計画の見直しを行い、個別に指導を受けながら研究活動を行います。ゼミ内での発表、ディスカッションを経て、卒業論文を完成させます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	論文初稿の作成1	卒業研究論文の検討をします。各自が作成した論文について相互で読み合いディスカッションを行います。					論文執筆を進め、緒言部分の見直し、修正を行います。(4時間)				
2	論文初稿の作成2	卒業研究論文の検討をします。各自が作成した論文について相互で読み合いディスカッションを行います。					論文執筆を進め、方法、結果、図表部分の見直し、修正を行います。(4時間)				
3	論文初稿の作成3	卒業研究論文の検討をします。各自が作成した論文について相互で読み合いディスカッションを行います。					研究計画の準備を進め、研究計画を完成させます。(4時間)				
4	論文初稿の検討1	論文初稿の内容を踏まえて抄録の作成、発表の準備を行います。					論文初稿を完成させ、抄録の作成、発表内容の検討します。(4時間)				
5	論文初稿の検討2	卒業研究について発表練習を行い、抄録、プレゼンテーションの内容についてディスカッションを行います。					発表練習を行い、抄録集を完成させます。(4時間)				
6	卒業研究中間発表会の準備	これまでのディスカッションや指導を踏まえて、研究成果を整理しゼミ内の研究中間発表会の準備を行います					中間発表会のプレゼンテーション、抄録集完成を完成させます。(4時間)				
7	卒業研究中間発表会	ゼミ内で中間発表会を行い、質疑応答やディスカッションを行う。論文最終稿の作成にあたり、課題を明確にします。					発表練習を行い、抄録集を事前に確認し、各自の発表に対するコメントを検討します。(4時間)				
8	論文最終稿作成1	中間発表を踏まえて、論文の最終稿を作成し、個別指導に基づいて修正を加えます。					論文の執筆を進めます。(4時間)				
9	論文最終稿作成2	論文執筆を進め、個別指導で修正を加えます。					論文の執筆、修正を行います。(4時間)				
10	卒業研究発表会準備1	各自の論文最終稿に基づき、卒業研究発表会の抄録並びにプレゼンテーションの作成を行います。					論文の最終稿と抄録を完成させて提出します。(4時間)				
11	卒業研究発表会準備2	卒業研究発表会に向けて、発表会のリハーサルを行い、プレゼンテーションの改善を行います。					プレゼンテーションの修正を行い、完成させます。(4時間)				
12	卒業研究発表会	口頭、ポスター発表を行い、聴講者とのディスカッションを通じて、研究成果の評価、考察を行います。					必要に応じて、論文の修正、再提出を行います。(4時間)				
13	卒業研究のまとめ1	各自の研究活動を振り返り、得られた成果と課題についてまとめます。					卒業研究の振り返りを行います。(4時間)				
14	卒業研究のまとめ2	各自の研究成果と課題について発表を行います。今後のゼミで研究テーマを引き継いでいけるようにディスカッションします。					事前に発表内容をまとめます。発表後は要点をまとめます。(4時間)				
15	卒業研究のまとめ3	3年生の研究概要について確認し、今後の研究活動に関するディスカッションを行います。					研究概要を復習し、3年生に対してアドバイスします。(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
特定のテキストは用いず、必要に応じて参考図書等を準備します。					レポート：90% 受講態度：10% 卒業研究に関連する各自の実験及び実習への取組と定期的な報告、課題を総合的に評価します。卒業論文を完成させることが単位認定の条件でC評価、作成した論文を発表できることでB評価とし、出来栄の良いものをA評価とします。S評価は概ね査読付きの論文投稿ができるものとします。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
必要に応じて参考図書を紹介します。					3年次の健康栄養演習を選択していることが前提となります。また、研究や実践活動では設定された授業時間以外の活動となる場合があります。						

科目名	食品流通論			学年学期	2年後期	単位数	2	ナパ'リング	NB27001	研究室	E-02
担当者	金子 能呼			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	水曜日3限		
関連資格	フードスペシャリスト、HACCP管理者					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
<p>フードスペシャリストとして理解しておかなければならない食品消費の態様と、食品流通の基本的な仕組みと、その重要性について講義する食物学に関する科目になります。私たちの生活に欠かすことのできない食料を、安全に届けるという社会的な使命を担っているのが食品流通です。食生活の変化に伴い、消費者ニーズが多様化する中で、食品流通がどのような展開を見せているか、具体的な事例を示しながら説明します。より実践的な知識を身につけていただけるよう、マーケティングの視点からも考察を加えます。</p>											
学修到達目標											
<p>フードスペシャリストとして理解すべき「食品流通」に関する知識を身につけることを基本的な目標としています。マーケティングの視点からも考察を加えることで、視野を広げ、柔軟な発想と積極的な実践力を備えた社会人になるためのコンピテンスを鍛えることも狙いとしします。課題の解決に向けて、主体的に携わることのできる総合的な能力を強化することを最終目標とします。</p>											
授業の進め方											
<p>講義の内容は、指定テキストに沿ったものになりますが、講義ではパワーポイントを用いて具体例などを示しながら説明を加えます。食生活やフードビジネスに関係する社会事件や話題などについても取り上げて、その背景や影響についても解説します。</p>											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	食生活の変化 豊かな食生活を支える食市場	食生活とその変化について説明します。近年だけでなく、戦後から現在に至るまでの変化を時系列で確認します。食生活の内容だけでなく、食事スタイルの変化にも注目してください。					テキストP2~16を読んでください(1時間)。図表を確認しながら復習しましょう(3時間)。				
2	食生活の変化 消費者の食品消費の変化	食料品の品目別消費や栄養素摂取に見られる変化など、消費内容に示される顕著な動きに着目し、解説します。グラフを観察しながら、変化の推移を把握しましょう。					テキストP17~26を読んでください(1時間)。データを分析・検証しましょう(3時間)。				
3	食生活の変化 食生活の多様化	食の外部化を促す要因について説明をします。自らの生活環境を観察してみると、理解が容易になるでしょう。外部化に対するニーズについて、理解を深めましょう。					テキストP27~32を読んでください(1時間)。データを分析してきましょう(3時間)。				
4	食品の流通	生鮮食品と加工食品の中間流通について説明します。「中間」流通の役割を理解しましょう。また消費者の購入先である食品の小売流通について業態別に解説を加えます。					テキストP34~59を読んでください。幅広い内容なのでしっかり復習しましょう。(4時間)				
5	外食・中食産業のマーケティング1	「外食」について、その始まりから発展過程、そして現在に至るまでの動向を、具体的な事例を取り入れながら説明します。外食に対するニーズの変化に着目し、知識を習得しましょう。					テキストP60~64を読みましょう(1時間)。講義後メモをまとめ直してください(4時間)。				
6	チェーンシステム	チェーンレストランの登場は外食業界を大きく変えました。チェーンシステムの経営の仕組みや食材調達など、具体的な事例を取り上げながら解説します。身近な企業から多くを学びましょう。					テキストP60~64を読んでください(1時間)。講義中のメモを整理しましょう(3時間)。				
7	外食・中食産業のマーケティング2	「中食」の誕生、「中食」市場、「中食」商品について講義します。「中食」とは何を指すのか理解し、どんな「中食」商品が求められているのか考察してみましょう。					テキストP65~69を読んでください。中食の利用状況を検証してきましょう(4時間)。				
8	主要食品の流通1	商品の分類と商品特性を理解し、温度帯別食品流通の実情について把握しましょう。流通システムの背景にも目を向けると理解が促されます。混同しないようにメモを取りながら受講しましょう。					テキストP72~79を読んでください(1時間)。内容を整理し復習しましょう(4時間)。				
9	主要食品の流通2	生鮮食品だけでなく、加工食品などの食品(16分野)について、流通の特性を解説します。各商品の流通上の特徴について把握し、取り扱いに対する理解を深めましょう。					テキストP80~124を読んでください(1時間)。メモを整理しておきましょう(3時間)。				
10	フードマーケティング1	フードビジネスとフードマーケティングについて講義します。マーケティングの考え方については、事例を用いて説明します。用語を覚えようとするのではなく、考え方を身につけるようにしましょう。					テキストP126~128を読んでください。身近なフードビジネスを観察しましょう。(4時間)				
11	フードマーケティング2	マーケティングの4Pについて説明を加えます。Product、Price、Place、Promotionについて、具体的な活動内容を講義します。暗記しようとするのではなく、イメージをつかむようにしてください。					テキストP129~138を読んでください。4Pについて整理し直しましょう(4時間)				
12	フードマーケティングケーススタディ1	事例を取り上げ、外食産業のマーケティングについて解説します。食生活の変化を捉え、ニーズの対応に成功した事例から学び、実践につなげる手がかりを得てください。					外食産業について情報収集しましょう(2時間)。講義後メモをまとめ直しましょう(2時間)。				
13	フードマーケティングケーススタディ2	長野県内の食品製造業を事例として取り上げ、そのマーケティングについて解説します。食生活の変化を捉え、ニーズの対応に成功した事例から学び、実践につなげる手がかりを得てください。					長野県の食品製造業について情報収集しましょう。講義後メモをまとめ直しましょう。(4時間)				
14	食料消費の課題1	フード関連産業と環境問題の関わりは、理解しておくべき重要なテーマです。環境問題と事業活動について説明し、重視されているグリーンマーケティングの展開についても解説を加えます。					テキストP140~143を読んでください(1時間)。新しい情報を確認しましょう(3時間)。				
15	食料消費の課題2	輸入食料が増える中で、在留農薬などが問題視されるなど、安全性に対する懸念材料も増えています。食品の安全確保に対する行政の対応や、HACCPやトレーサビリティのシステムについて説明します。					テキストP144~152を読んでください。制度やシステムの復習をしましょう。(4時間)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
「三訂 食品の消費と流通」日本フードスペシャリスト協会編(建帛社) ISBN:978-4-7679-0538-9(生協で購入してください。)						<p>受講態度:30% 定期試験:70%</p> <p>S:到達目標達成のため主体的かつ探究心を持って授業に参加し、講義内容を正しく理解し、文章で工夫して表現、説明することができる。A:到達目標達成のため主体的かつ探究心を持って授業に参加し、講義内容を正しく理解し、文章で表現、説明することができる。B:到達目標を達成するために授業に参加し、講義内容を文章で表現できる。C:授業に参加し、講義で学んだことを文章化することができる。*授業中はメモをとること。</p>					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「現場で使える!コトラー理論」神樹兵輔著(日本文芸社) ISBN:978-4-537-25959-9						<p>本科目は「フードスペシャリスト」修得コース指定の科目なので、同資格取得希望者は、必ず履修してください。視野を広げ、多面的に食品流通を捉えるとともに、マーケティングの考え方も身につけてください。</p>					

科目名	フードスペシャリスト論		学年学期	2年後期	単位数	2	ナパ'リング	NA27002	研究室	非常勤
担当者	中村 昌子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	フードスペシャリスト、フードコーディネーター				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
消費者のニーズが多様化また高度化する中、食品の安全性や機能性を正しく判断し、消費者にとって有益な食品知識を普及させられる人材の育成を目指します。また、販売促進やサービス、食産業の動向に至るまで幅広く学び、社会での実践力を養います。食の生産から消費の過程における食品の品質判断、食品情報の収集と取捨選択・提供などフードスペシャリストとして必要な専門知識と技術を身につけることを目的とします。										
学修到達目標										
フードスペシャリストの基礎知識として、日本・世界の食生活、食品産業の役割、食品の品質規格・表示、食情報と消費者保護について学び、フードスペシャリスト資格取得、専門フードスペシャリスト資格取得を目指します。										
授業の進め方										
家庭の食のほか、スーパーマーケット、レストランなど食を取り巻く産業の観察や研究といった現場を見据えた学習を中心にを行います。基本的にテキストと配付資料を用いて講義を行い、小テストを数回実施します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス	本講義のねらい、概要について					テキストを事前に読む。(4時間)			
2	フードスペシャリストとは	フードスペシャリストの概念、業務とその専門性。フードスペシャリストの活躍分野について学びます。					テキストP1～16を事前に読む。(4時間)			
3	フードスペシャリストの責務	健康と快適な食生活への貢献、食育への貢献、健全な殖産業への貢献、地球環境への貢献について学びます。					テキストP17～27を事前に読む。前回の内容を復習する。(4時間)			
4	人類と食物	人類の歩みと食物について学びます。					テキストP29～37を事前に読む。前回の内容を復習する。(4時間)			
5	食品加工・保存技術史	伝統的食品加工・保存技術から現代の加工食品の発展について学びます。					テキストP38～46を事前に読む。前回の内容を復習する。(4時間)			
6	世界の食	世界の食作法、食の禁忌と忌避、世界各地の食事情について学びます。					テキストP47～62を事前に読む。前回の内容を復習を復習。(4時間)			
7	日本の食	日本の食物史、食の地域差について学びます。					テキストP63～73を事前に読む。前回の内容を復習。(4時間)			
8	食の地域差、現代日本の食生活	日本食の地域差、戦後の食生活変化、食生活の現状と消費生活について学びます。					テキストP73～94を事前に読む。前回の内容を復習。(4時間)			
9	現代日本の食生活	食生活の変化と食産業、食料の供給と食料自給率、環境と食について学びます。					テキストP94～106を事前に読む。前回の内容を復習。(4時間)			
10	食品の安全性	残留農薬に関わる法律、分析方法、残留の実態について学びます。					前回の内容を復習。(4時間)			
11	食品産業の役割	フードシステムと食品産業、食品製造業の規模と動向、食品製造業の目的と特徴、食品卸売業について学びます。					テキストP107～119を事前に読む。前回の内容を復習。(4時間)			
12	食品産業の役割	食品小売業、外食産業について学びます。					テキストP119～125を事前に読む。前回の内容を復習。(4時間)			
13	食情報と消費者保護	食情報の発信と受信、食情報の濫用、食情報の管理について学び、食に関するレポートを作成します。					テキストP165～173を事前に読む。前回の内容を復習しレポート作成。(4時間)			
14	消費者保護、食品の品質規格と表示	食の安全、消費者保護の制度、食品の品質規格・表示に関わる法律、JAS法による規格と表示について学びます。					テキストP127～145、174～181を事前に読む。(4時間)			
15	食品の品質規格と表示	食品衛生法、健康増進法、その他の法律による表示、コーデックス規格について学びます。					テキストP145～164を事前に読む。前回の内容を復習。(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「四訂フードスペシャリスト論」(公社)日本フードスペシャリスト協会編(建帛社) ISBN:978-4-7679-0604-1(生協で購入してください。)					定期試験:50% 受講態度:20% レポート:30% 受講態度は、授業への参加度(積極的な発言、取り組み、姿勢等)で評価します。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「改訂食品の安全性」(社)日本フードスペシャリスト協会編(建帛社) ISBN:978-4-7679-0574-7					フードスペシャリスト修得コース指定の科目なので、同資格取得希望者は、必ず履修してください(2単位)。食分野への興味を持ち、普段から様々な食情報に注目しておきましょう。					

科目名	フードマネジメント論(含マーケティング論)		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナパリング	NB37003	研究室	E-02
担当者	金子 能呼		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	水曜日3限		
関連資格	フードスペシャリスト、フードコーディネーター				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要										
「食品流通論」の応用科目にあたります。フードスペシャリストとして理解しておかなければならない食品消費の態様と、食品流通の基本的な仕組みと、その重要性について講義する食品流通・消費に関する科目になります。食生活の変化に伴い消費者ニーズが多様化する中で、食品流通がどのように展開しているか、具体的な事例を示しながら説明します。実践的な知識を身につけていただけるよう、マーケティングの視点からも考察を加えます。マーケティングの考え方を習得し、多角的に食品流通を捉えるようにしてください。										
学修到達目標										
フードスペシャリストとして理解すべき「食品流通」に関する知識を身につけることを、基本的な目標としています。マーケティングの視点からも考察を加えることで、視野を広げ、柔軟な発想と積極的な実践力を備えた社会人になるためのコンピテンスを鍛えることも狙いとします。課題の解決に向けて、主体的に携わることのできる総合的な能力を強化することを最終目標とします。										
授業の進め方										
講義の内容は、指定テキストに沿ったものになりますが、講義ではパワーポイントを用いて具体例などを示しながら説明を加えていきます。食生活やフードビジネスに関係する社会事件や話題などについても取り上げて、その背景や影響についても解説します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	フードビジネスとマーケティング	フードビジネスについて解説をしたうえで、マーケティングの定義や考え方について講義します。マーケティングの考え方を理解し、身につけるようにしましょう。				テキストの5章を読んでください。ノートを整理し、復習しておきましょう。(4時間)				
2	マーケティングの基本	ニーズ、マーケット、セグメンテーション、ターゲット、ポジショニングといったマーケティングの枠組みとなる戦略について具体例を用いて説明します。用語を覚えるのではなく、イメージを掴みましょう。				参考文献の該当箇所目を通してください。疑問点を調べておきましょう。(4時間)				
3	マーケティング・ミックス(商品戦略・価格戦略)	マーケティングの4Pのうち、商品戦略(商品要素、ネーミング、ブランド、ライフサイクル)と価格戦略(価格決定の3タイプ、価格政策)について、フードビジネスの事例を取り上げて講義します。				テキストの5章を読んでください。4Pを正しく理解できるように復習しましょう。(4時間)				
4	マーケティング・ミックス(流通戦略・プロモーション戦略)	マーケティングの4Pのうち流通戦略(流通経路、流通戦略、卸売業者の役割)とプロモーション戦略(広告、イベント、PR、接客、ディスプレイ)について、事例を用いて解説します。				参考文献の該当箇所目を通してください。メモをまとめ直しましょう。(4時間)				
5	外食業のマーケティング戦略	外食業はサービス業でもあります。ここではサービス業のマーケティングについて解説します。外食業者が提供する「食事」だけではなく、他の要素も重視すべきであることが認識できるようにします。				テキストの3章を読んでください。ケーススタディに挑戦してみましょう。(4時間)				
6	サービス商品の特徴	外食業者が提供する「サービス」の特徴について講義します。商品としてのサービスは、目に見えないことなど、モノとは異なる特徴を有しているため、そのマーケティング戦略にも相違が示されています。				前回の復習と講義中とったメモの整理をしてください。時間外学修は復習を重視します。(4時間)				
7	外食業のケーススタディ	事例を取り上げ、外食産業のマーケティングについて解説します。食生活の変化を捉え、ニーズの対応に成功した事例から学び、実践につなげる手がかりを得てください。				身近な外食企業について観察し、情報収集した上で分析してみましょう。(4時間)				
8	食生活の変化	食生活の変化について時系列に解説します。また、併せてニーズの変化についても説明し、安全志向が顕著になっていること、簡便化もトレンドになっていることなどを講義します。				テキストの1章を読んでください。メモをまとめ直し、復習しましょう。(4時間)				
9	ニーズに対応した新しいフードビジネス	フードビジネスの変化をとらえ、新規事業として登場しているビジネスがあります。それらを事例として、解説を加えます。刻々と変化するビジネスの現場と、ニーズを先回りする企業の姿勢に注目しましょう。				身近なフードビジネスについて観察し、情報収集した上で分析してみましょう。(4時間)				
10	アグリビジネスとマーケティング	日本農業の現状についてお話しします。また、食料自給率の問題に目を向け、国内における食料供給体制について理解を深めましょう。さらに長野県の農業についても解説を加えます。				長野県の農業について事前に調べておきましょう。講義後メモをまとめ直してください。(4時間)				
11	農産物のブランド化	農産物のブランド化は容易ではありません。しかしながら、ブランド化に成功し、地域産品を有利な条件で取引している事例があります。マーケティングの視点で農産物のブランド化について考察してください。				前回の復習と講義中のメモを整理してください。授業時間外学修は復習を重視します。(4時間)				
12	地域のフードビジネス	商品のブランド化に成功しただけではなく、農業を地域の産業として発展させ、地域を活性化させることに成功した事例について説明します。圧倒的な産地力と、関わる人の動きに着目してください。				地域の食に携わる企業を調べておきましょう。講義後はメモをまとめ直してください。(4時間)				
13	アグリビジネスのケーススタディ	アグリビジネスの変化をとらえ、新規事業として登場しているネットビジネスを事例として、解説を加えます。刻々と変化するビジネスの現場と、ニーズを先回りする企業の姿勢に注目しましょう。				注目に値するアグリビジネスについて、情報収集し、掘り下げて調べてみましょう。(4時間)				
14	フードビジネスにおけるカラーマーケティング	「色」はマーケティングにおいて重要な役割を果たしています。本講義では色が効果的に使用されている事例などを説明します。色への関心を高め、日常的にも色の効果を活用してください。				前回の復習と講義中のメモを整理してください。授業時間外学修は復習を重視します。(4時間)				
15	食品と情報	氾濫する食の情報について解説します。収集するまでもなく、どこからともなく集まってくる情報に対し、過敏に反応する必要はありません。食に関わる情報を冷静に識別し、活用することの重要性を説明します。				テキストの6章を読んでください。メモをまとめ、復習してください。(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
「新版 食品の消費と流通」日本フードスペシャリスト協会編著(建邦社) ISBN:978-4-7679-0538-9(生協で購入してください。)(前年度の「食品流通論」を受講していない学生のみ)		受講態度:30% 定期試験:70% S:到達目標達成のため主体的かつ探究心を持って授業に参加し、講義内容を正しく理解し、文章で工夫して表現、説明することができる。A:到達目標達成のため主体的かつ探究心を持って授業に参加し、講義内容を正しく理解し、文章で表現、説明することができる。B:到達目標を達成するために授業に参加し、講義内容を文章で表現できる。C:授業に参加し、講義で学んだことを文章化することができる。*授業中はメモをとること。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「現場で使える!コトラー理論」神樹兵輔著(日本文芸社) ISBN:978-4-537-25959-9		マーケティングの知識は、ビジネスの現場だけでなく、日常生活の中でも多様な場面で活用することができます。視野を広げ、ものの見方を鍛えながら、実践力を身につけてください。								

科目名	フードコーディネート論		学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナパ・リッジ	NB37004	研究室	非常勤
担当者	宮本 由香		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	フードスペシャリスト、フードコーディネーター					履修条件				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	~2015年度					
授業概要										
食事はエネルギーや栄養摂取の目的だけでなく、美味しさ、食べる楽しみといった心の安らぎを感じ、食卓は憩いの場においては人々のコミュニケーションツールです。社会のニーズやあらゆる価値観に合わせて快適な「食」を提供できるよう、食文化や歴史をもとに、メニュープランニングや食空間のデザイン、サービスマナーといった「食」のコーディネートを学びます。食のアメニティ(快適性)を創造できる力を養い、「食空間」を演出する側であるフードスペシャリストとして活躍できる人材育成を目指します。										
学修到達目標										
「快適な食事」「食を通じた心地よさ」を提供できるよう、ホスピタリティ、アメニティを理解することを目標とします。社会のニーズに合った食企画の立案から課題解決のためのプロセス、食のコーディネート力を学び、「快適な食」を実践できる指導力を身に付けることが目標です。										
授業の進め方										
基本的には教室での講義を主とし、教科書を用いて授業を進めます。テーブルウェアやセッティング等についてはデモンストレーションや実習、映像媒体も使用します。フードコーディネート業務を学生自身に企画立案、実習、プレゼンテーションしてもらいます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス フードコーディネートの基本理念	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価方法についての説明をします。フードコーディネート業務について説明し、食におけるホスピタリティ、アメニティの精神と、おいしさの本質を学びます。				テキストP1~13を事前に読む。フードコーディネート業務と調理学、官能評価との関連性を復習。(4時間)				
2	食事の文化 日本の食事の変遷	日本の食事の歴史の変遷(食べ物、食べ方、料理様式)について解説し、現在の日本社会における食生活の課題を見つけ出します。				テキストP15~27を事前に読む。時代変遷と食の特徴を復習し、食事様式の名称を覚える。(4時間)				
3	食事の文化 行事食、外国の食事	日本の行事食の意味と食べ物を学びます。外国の食文化について、宗教による食物禁忌、世界の主食、外国の料理(食材や調理法の特徴)を説明します。				テキストP28~33を事前に読む。地域や家庭で実践されている行事食を調べておく。(4時間)				
4	食卓のコーディネート コーディネートの概要とスタイル、中国料理の食卓のセ	テーブルコーディネートの要点(TPOとスタイル)を説明する。スタイルについては映像媒体を使用します。中国料理の食器とセッティング方法を説明します。				テキスト第2章の小テスト復習。テキストP35~37、54、55を事前に読む。(4時間)				
5	食卓のコーディネート 日本料理の食卓のコーディネート	和食器の種類、大きさ、用途、材質について、実物の食器に触れながら特徴を知り、適切な使用方法を理解します。会席料理のセッティングを学びます。				テキストP37~43を事前に読む。実習や自宅で使用している食器で種類や材質を復習する。(4時間)				
6	食卓のコーディネート 西洋料理の食卓のコーディネート	西洋料理の食器の種類、大きさ、用途、材質については実物の食器に触れながら、食卓のセッティングについてはデモンストレーションしながら説明します。食卓のスタイルの分類を映像で説明します。				テキストP45~55を事前に読む。レストラン等でのセッティングスタイルをリサーチする。(4時間)				
7	食卓のサービスとマナー 基本理念と日本料理のサービスとマナー	サービスとマナーの基本理念を知り、個人レベルから国際的な食のマナーの違いを説明します。会席料理のサービスとマナー、食事作法を説明します。				テキスト第3章小テストの復習。テキストP57~66を事前に読む。箸使いの実践。(4時間)				
8	食卓のサービスとマナー 中国料理、西洋料理	中国料理、西洋料理のサービスのスタイルとマナーの特徴を説明します。buffet、パーティについて、種類や内容、方法を説明します。				テキストP67~80を事前に読む。日本、中国、西洋の各料理のサービスとマナーの違いを復習。(4時間)				
9	メニュープランニング	メニュープランニングの要件と料理様式別の献立について説明します。				テキスト第4章の小テスト復習。テキストP81~98を事前に読む。実習献立との比較。(4時間)				
10	食空間のコーディネート	食空間のレイアウト、インテリア、設備についての基礎知識を学びます。カラーについては、サブテキストを使用し、配色について実践します。				テキスト第5章の小テスト復習。テキストP99~121を事前に読む。色の特性の復習。(4時間)				
11	フードサービスマネジメント	フードサービスマネジメントについてレストランの起業を例として基本業務を説明します。				テキスト第6章の小テスト復習。テキストP123~143を事前に読む。(4時間)				
12	食の企画と実践コーディネート	食企画の実践事例を用いての業務の流れを通して基礎スキルを身に付けていきます。				テキスト第7章小テストの復習。テキストP145~163を事前に読む。(4時間)				
13	講義まとめ	テキスト第1章~第8章のまとめとしてポイントを説明し、フードコーディネートの専門用語等についての理解の確認をします。また、食卓スタイルセッティング演習についての説明と作業計画をたてます。				テキスト全体についての復習をしておくこと。(4時間)				
14	食卓スタイルセッティング演習	グループごとに、決められたスタイルに合わせた食卓セッティングを演習し、コーディネーション技法を実習します。実習食堂にてセッティング演習し、食卓を撮影します。				食卓のコンセプトに合ったシーンの設、必要物品の選定と作成。撮影写真を発表用にまとめる。(4時間)				
15	企画演習のまとめ	各グループごとの演習作業についてパワーポイントにて発表してもらい講評します。食におけるイメージのコーディネーション技法について、学生グループの作品を通して共有し、実践に生かせる工夫を会得します。				イメージスタイルの名称と特徴を復習する。食関連店舗のイメージを分類してみる。(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
「新版フードコーディネート論 第2版」(社)日本フードコーディネート協会編(建邦社)(生協で購入してください。)		受講態度:20% 小テスト:10% 課題:30% 定期試験:40% S:授業内容を高度に理解するとともに、応用的思考力に基づいた食事業の計画立案ができる。A:授業内容を理解し、積極的な姿勢で食事業の計画、立案ができる。B:授業のおおよそを理解し、与えられた食事業の計画、立案ができる。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、例題の食事業の展開が理解できる。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「食卓のコーディネート(基礎)」発行所 優しい食卓著フードデザイン研究会編(共立速記印刷株式会社) 「新版フードコーディネーター教本3級試験対応テキスト」 ISBN:978-4-388-15321-3		「食」を企画・提供する立場となる事を意識し、食のイベントや店舗でのリサーチなど日常生活で主体的に学習しましょう。食の提供について調理実習をはじめとした履修科目との内容とつなげて理解を深めましょう。								

科目名	フードコーディネーター論		学年学期	4年前期	単位数	2	ナバリング	NB47005	研究室	非常勤
担当者	宮本 由香・石原 三妃		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ			
関連資格	フードコーディネーター				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
食に関して、衛生、栄養を基本に、快適な食環境に対する正しい知識に基づいた情報を、消費者はじめ食事業者に対し、さまざまな価値観に合わせてコンセプトを具現化できる力を養成します。食にかかわる分野の専門家を連携、活用させるために、食文化を深め、高めていくことを目指します。										
学修到達目標										
食材と調理、テーブルウェアと配置、食事スタイルに合わせた設計やアイテムの提案や食企画や製品開発に、ホスピタリティ精神を持った対応ができるようになる。										
授業の進め方										
教室での講義の他、演習やアウトキャンパスにてフードコーディネーター業務の実際を見学、体験学習します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス フードコーディネーターの業務の実際	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価方法についての説明をします。フードコーディネーター業務について、連携職種や、地域における業務を確認します。				身近なフードコーディネーター業務の調査をする。連携する職種を調べる(4時間)。				
2	地域資源の掘り起こし	出身地の食の資源を調査、確認。グループワークにて演習形式にて、調査しまとめ、発表します。				必要な農業、経済等の調査データの確認をしておくこと(4時間)。				
3	地域資源の掘り起こし	出身地の人材(有名人)資源を調査、確認。グループワークにて演習形式にて、調査しまとめ、発表します。				地域の有名人について経歴等を調べておくこと(4時間)。				
4	食環境のコーディネーター	デモンストレーションならびに映像にて、イメージスタイルを理解し、対象に合った演出を学びます。				店舗や映像でイメージスタイルを確認、復習しておくこと(4時間)。				
5	食環境のコーディネーター	イメージスタイルの分類を演習にて実践します。スタイルテキストブックの制作。				食空間の例をイメージスタイル別に収集と分類作業をしておくこと(4時間)。				
6	食環境のコーディネーター	フードスタイリングの講義と演習を行います。				料理盛り付けについての生記事や試料を、イメージスタイル別に収集、分類しておく(4時間)。				
7	食空間のコーディネーター	食空間のあり方について、講義と演習を行います。				地域社会の食空間を観察、特徴を調査する(4時間)。				
8	食空間のコーディネーター	食空間の内装デザインについて、講義と演習を行います。				食事の用途に応じたアイテムを調べる(4時間)。				
9	食空間のコーディネーター	食関連パッケージのデザイン、開発について、講義と演習を行います。				食事の用途に応じたパッケージを収集、調査する(4時間)。				
10	フードコーディネーター業務の実際	フードコーディネーター業務の現場(テレビ撮影、レストランプロデュース、レシピ開発等)を見学します。(アウトキャンパス)				見学後、業務の流れをレポートでまとめる(4時間)。				
11	フードサービスマネジメント	フードコーディネーター業務の現場(テレビ撮影、レストランプロデュース、レシピ開発等)を見学します。(アウトキャンパス)				見学後、業務の流れをレポートでまとめる(4時間)。				
12	食の企画と実践コーディネーター	フードコーディネーター業務の現場(テレビ撮影、レストランプロデュース、レシピ開発等)を見学します。(アウトキャンパス)				見学後、業務の流れをレポートでまとめる(4時間)。				
13	食卓スタイルセッティング演習	テーマに合わせてイメージスタイルを決定し、対象、コンセプトに合ったテーブルコーディネーター演習とグループワークを行います。				テーマに合わせたコンセプトを制作する(4時間)。				
14	食の商品開発演習	地域資源(食、人)を活用した商品開発の企画提案演習を行います。				プレゼンテーションの準備、作成(4時間)。				
15	企画演習のまとめ	フードコーディネーターとして必要なスキルや資質定着ならびに向上のための課題提案を行います。				グループワーク資料の作成。レポート作成(4時間)。				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「食卓のコーディネーター(基礎)」やさしい食卓著フードデザイン研究会(協立運記印刷株式会社)編(生協で購入してください。)				受講態度:20% 課題:40% 定期試験:40% S:授業内容を高度に理解するとともに、応用的思考力に基づいた食事業の計画、立案ができる。A:授業内容を理解し、積極的な姿勢で食事業の計画、立案ができる。B:授業のおおよそを理解し、与えられた食事業の計画、立案ができる。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、例題の食事業の展開が理解できる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「新版 フードコーディネーター教本 3級試験対応テキスト」日本フードコーディネーター協会著(株式会社 柴田書店) ISBN:978-4-388-15321-3				様々な「食」企画の依頼に対応するには、連携する食関連の専門職の業務を理解する必要があります。日頃から、食に関する様々な業種の業務をメディアだけでなく、現場に赴いてリサーチしましょう。						

科目名	栄養薬理学		学年学期	3年後期	単位数	2	ナパ'リング	NB37006	研究室	S-08
担当者	沖嶋 直子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日3限		
関連資格	健康食品管理士				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>管理栄養士は、栄養学の知識だけでなく、食事と薬の相互作用についての知識や、傷病者の栄養管理や食事教育を行う上で併用される医薬品についても知識を持っている必要があります。また、健康食品管理士は、栄養のみならず医薬品の知識も必要とされます。この科目では、管理栄養士や健康食品管理士として働く上で必要とされる薬理学や医薬品について学びます。</p>										
学修到達目標										
<p>管理栄養士、健康食品管理士として必要とされる薬学、薬理学、治療薬に関する知識を身につけ、職業現場で活用できるようになる事が学修到達目標です。</p>										
授業の進め方										
<p>基礎栄養学、基礎化学II、解剖学、生理学、生化学、臨床医学各論、臨床栄養学で学んだ知識を基に、各疾患で使用される薬物治療について講義します。各テーマに関連する知識がある事を前提としているため、事前に関連科目を復習してから講義に臨んでください。</p>										
<p>授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。</p>										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	医薬品の基礎知識	薬について基本的な内容を学びます。				事前に教科書1~29ページを読んで下さい。(4時間)				
2	医薬品の体内動態・医薬品の作用及び副作用	医薬品のADME(摂取、吸収、代謝、排泄)について学び、次いで医薬品の作用、副作用についても学びます。				事前に教科書32~60ページを読んで下さい。(4時間)				
3	糖尿病治療薬	糖尿病治療薬について学びます。				事前に糖質代謝、糖尿病に関する復習をして下さい。(4時間)				
4	脂質異常症治療薬	脂質異常症治療薬について学びます。				事前に脂質異常症に関する復習をして下さい。(4時間)				
5	肝・胆・膵疾患治療薬	肝臓、胆のう、膵臓疾患治療薬について学びます。				事前に肝・胆・膵疾患に関する復習をして下さい。(4時間)				
6	循環器疾患治療薬	高血圧治療薬を中心に、血圧を調整する薬物について学びます。				事前に血圧の調整や高血圧症に関して復習して下さい。(4時間)				
7	循環器疾患治療薬	狭心症、心筋梗塞、不整脈治療薬について学びます。				事前に関連科目の復習をして下さい。(4時間)				
8	消化器疾患治療薬	肝・胆・膵以外の消化器疾患治療薬について学びます。				事前に消化吸収や消化器疾患の復習をして下さい。(4時間)				
9	腎・尿路系疾患治療薬	腎・尿路系疾患治療薬について学びます。				事前に腎機能や腎・尿路系疾患の復習をして下さい。(4時間)				
10	内分泌疾患・運動器治療薬	内分泌、骨粗鬆症および痛風治療薬について学びます。				事前に内分泌機能と疾患に関する復習をして下さい。(4時間)				
11	呼吸器疾患治療薬	喘息の他、呼吸器疾患で使用される薬について学びます。				事前に呼吸機能と呼吸器疾患の復習をして下さい。(4時間)				
12	生殖器疾患・血液疾患治療薬	生殖器疾患および血液疾患で使用される治療薬について学びます。				事前に生殖器及び血液の復習をして下さい。(4時間)				
13	免疫・アレルギー疾患治療薬	アレルギー疾患治療薬を中心に、免疫系に作用する薬を学びます。				事前にアレルギー疾患の復習をして下さい。(4時間)				
14	感染症治療薬	抗生物質、抗菌薬を中心に、感染症治療で使われる薬について学びます。				事前に微生物学や感染症の復習をして下さい。(4時間)				
15	食物成分と医薬品の相互作用	食物成分と医薬品の相互作用について、いくつかの具体例を中心に講義します。				事前に教科書65~79ページを読んで下さい。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
<p>「栄養科学シリーズNEXT 栄養薬学・薬理学入門」川添禎浩、古賀信幸編(講談社サイエンティフィック) ISBN:978-4-06-155366-8(生協で購入してください。)</p>				<p>定期試験:100% NSTや臨床において、多職種と十分なディスカッションが出来るレベルにある者をS、臨床、あるいは健康食品管理士として支障なく勤務できるレベルにある者をA、管理栄養士として十分な知識を持つ者をB、管理栄養士としても知識が不足している者をC、特に不足している者をDとします。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
<p>「栄養薬理学」田中芳明、中村強編(建帛社) ISBN:978-4-7679-0556-3 「NEW 薬理学」田中千賀子、加藤隆一編(南江堂) ISBN:978-4-524-26088-1</p>				<p>この講義は、授業の進め方で示した科目の単位が取得できている、あるいは履修中であることを前提に講義します。これらの単位が取れていない学生は、事前に担当者に相談の上受講登録をして下さい。</p>						

科目名	健康食品関連法規		学年学期	3年後期	単位数	1	ナパ`リング	NB37007	研究室	非常勤
担当者	鈴木 仁志		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ-			
関連資格	健康食品管理士				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」、「健康増進法」、「食品衛生法」、「JAS法」の概要について学び、保健機能食品やいわゆる健康食品などの法的取り扱いや健康食品に関する問題点とそれを解決するために何が必要かについて学習します。さらに健康食品の法令違反事例などを取り上げ、医薬品と食品の明確な区別や、科学的根拠に基づく有効性や安全性についても言及します。										
学修到達目標										
「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」、「健康増進法」、「食品衛生法」、「JAS法」の法律の主旨を理解している。国民の健康増進や、食品の安全性の確保等の観点から健康食品に関する正しい情報の提供を行えるスキルを身につけている。										
授業の進め方										
プリントなどの資料により、法律の概要を学びます。具体的事例をあげて、健康食品と法律との関係や問題点などを学びます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」	医薬品の定義を学ぶ中で、食品との違いや、目的、表示方法等について解説します。					医薬品と食品の区別について復習する。(4時間)			
2	「健康増進法」	法律の概要について解説します。					法律の概要を復習する。(4時間)			
3	「健康増進法」	特別用途食品、栄養表示基準などについて解説します。					講義内容を復習する。(4時間)			
4	「食品衛生法」	法律の概要について解説します。					法律の概要を復習する。(4時間)			
5	「食品衛生法」	具体例をあげて、食品添加物、栄養機能食品、アレルギー表示等について解説します。					栄養機能食品について、まとめる。(4時間)			
6	「JAS法」	法律の概要について解説します。					法律の概要を復習する。(4時間)			
7	「JAS法」	JAS規格、品質表示基準等について具体例をあげて解説します。					講義内容を復習する。(4時間)			
8	その他国内外関連法規とまとめ	健康食品に関するその他国内外の関連法規について概略を解説し、健康食品の問題点等についてまとめをします。					健康食品の問題点をまとめる。(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
必要な資料を適宜配布します。		受講態度：30% 小テスト：35% レポート：35% 受講態度：授業への取組、質疑応答、事前事後学修のことを指します。 S：授業内容を高度に理解し批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み例題からは難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し積極的な探求姿勢をもって課題に取り組みやや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し与えられた課題に誠実に取り組み応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し与えられた課題に誠実に取り組み授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「健康食品取扱マニュアル」東京都福祉保健局・東京都生活文化局編(薬事日報社) ISBN：978-4-8408-1376-1 C3047		食品の安全性や健康に及ぼす機能については、多くの法律が関与しています。法律の主旨を理解し、品質や安全性、機能性が科学的根拠に基づくものか否かを常に念頭に、正しい情報を提供できるスキルを学んでほしい。								

科目名	スポーツ外傷・障害学		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナバリング	NL37008	研究室	非常勤	
担当者	赤羽 勝司・江原 孝史		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー				
関連資格	実践指導者				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
<p>本講義の目的は、スポーツ外傷や運動を起因とする疾病について、それらの発生メカニズムを知り、運動中のケガと疾病の予防およびその対処方法について知ることである。講義内容は次の通りである。受傷頻度が高い整形外科の疾患(四肢の外傷、腰痛症、痙攣や捻挫、オーバーユースによる膝や肘の障害) リハビリテーションの実際 特異的な環境で発生する傷害(熱中症や凍傷) 心臓突然死および貧血</p>											
学修到達目標											
スポーツ現場で受傷、発症する疾病について理解をした上で、それぞれに対する基礎的な対処方法やリハビリテーションについての知識を整理することができることを目標とする。											
授業の進め方											
教官の経験や学生諸君の体験を活かし、運動中に発生しやすい事例を紹介していく。外傷および疾病について、その予防と治療、そしてリハビリテーションについて解説する。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	スポーツ医学総論	スポーツ医学の概論について説明します。					テキストP1～27の概要を整理する(4時間)。				
2	スポーツ外傷と障害について	スポーツ外傷・障害の概論について説明します。					テキストP29～39の概要を整理し、スポーツ外傷と障害の違いについて整理する(4時間)。				
3	部位別スポーツ外傷と障害(頭部・頸部)	頭部・頸部の外傷・障害について説明します。					テキストP55～61の概要を整理し、頭部・頸部のスポーツ外傷と障害の違いを整理する(4時間)。				
4	部位別スポーツ外傷と障害(肩関節)	上肢の外傷・障害 : 肩関節について説明します。					テキストP62～72の概要を整理し、肩関節部のスポーツ外傷と障害の違いを整理する(4時間)。				
5	部位別スポーツ外傷と障害(肘関節)	上肢の外傷・障害 : 肘関節について説明します。					テキストP72～83の概要を整理し、肘関節部のスポーツ外傷と障害の違いを整理する(4時間)。				
6	部位別スポーツ外傷と障害(手関節)	上肢の外傷・障害 : 手・指関節について説明します。					テキストP83～89の概要を整理し、手関節部のスポーツ外傷と障害の違いを整理する(4時間)。				
7	部位別スポーツ外傷と障害(体幹部)	体幹の外傷・障害について説明します。					テキストP89～100の概要、体幹・骨盤部のスポーツ外傷と障害の違いについて整理する(4時間)。				
8	部位別スポーツ外傷と障害(股関節)	下肢の外傷・障害 : 股関節について説明します。					テキストP100～105の概要、股関節部のスポーツ外傷と障害の違いについて整理する(4時間)。				
9	部位別スポーツ外傷と障害(膝関節)	下肢の外傷・障害 : 膝関節について説明します。					テキストP105～123の概要、膝関節部のスポーツ外傷と障害の違いについて整理する(4時間)。				
10	部位別スポーツ外傷と障害(足関節)	下肢の外傷・障害 : 足部・足関節について説明します。					テキストP123～139の概要、足関節部のスポーツ外傷と障害の違いについて整理する(4時間)。				
11	アスレティックリハビリテーションの概要	アスレティックリハビリテーション : 理論について説明します。					テキストP39～55の概要を整理し、アスレティックリハビリテーションについて整理する(4時間)。				
12	アスレティックリハビリテーションの概要(応急処置)	アスレティックリハビリテーション : 実際について説明します。					テキストP39～55の概要を整理し、応急処置方法について整理する(4時間)。				
13	アスレティックリハビリテーションの実際	アスレティックリハビリテーション : 実際について説明します。					テキストP39～55の概要を整理し、具体的方法について整理する(4時間)。				
14	内科的スポーツ障害の概要	暑さと寒さによる障害/疲労などについて説明します。					テキストP147～185の概要を整理し、急性障害について整理する(4時間)。				
15	内科的スポーツ障害の概要	急性障害(疾患)/突然死などについて説明します。					テキストP147～185の概要を整理し、慢性障害について整理する(4時間)。				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「スポーツ指導者のためのスポーツ医学 改訂第2版」小田清一、福林徹、河野一郎 編集編(南江堂) ISBN:978-4-524-24034-0 (生協で購入してください。) \3,360					小テスト:20% 定期試験:80% S:各回の内容を理解(小テスト)し、定期試験において9割程度の理解をしていること。A:各回の内容を理解(小テスト)し、定期試験において8割程度の理解をしていること。B:各回の内容を理解(小テスト)し、定期試験において7割程度の理解をしていること。C:各回の内容を理解(小テスト)し、定期試験において6割程度の理解をしていること。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「スポーツ外傷・障害マニュアル」 ISBN:4-7529-3020-X \3,200 「わかる!スポーツ傷害 第1版」 ISBN:978-4-524-26487-2 \3,240 「種目別スポーツ傷害の診療」 ISBN:978-4-524-23886-6 \6,700					スポーツ現場での実体験を通しながら講義を進めていきます。傷害や病気により運動を中断せざるを得ない状況を想定し、予防や対処法について学んで欲しいと願います。運動学や解剖学の知識を整理しておくこと。理解しやすいです。						

科目名	スポーツ医学			学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナバリング	NL37009	研究室	非常勤
担当者	能勢 博・田邊 愛子			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	実践指導者					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
ヒトでは安静時に比べ運動時には代謝レベルは最大8倍に、トップアスリートでは16倍にまで上昇しますが、それに伴い生体は各種恒常性調節系の能力をその最大限にまで発揮させます。一方、トレーニングや栄養摂取はそれら調節系能力を改善しますが、ヒトの恒常性維持能力の可塑性や環境適応能力には限界があり、それらを理解し現場での問題解決に生かします。											
学修到達目標											
エネルギーの摂取、燃焼、運動、酸素摂取、運搬、排泄のメカニズムについて理解します。 そのメカニズムを向上させるための運動トレーニングおよび食事摂取方法について理解します。 トップアスリートに加え中高年を中心とした一般人の健康維持および疾患治療としての運動トレーニング方法を理解します。											
授業の進め方											
講義はスライドとプリントを用いて行います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	スポーツ医科学とは?	イントロダクション					シラバスを読み、スポーツ医学に関することについて調べておく(4時間)				
2	運動時のエネルギー消費	基質代謝、呼吸商、アシドーシス、エネルギー供給系についてスライドとプリントにもとづき解説します。					配付プリントの復習(4時間)				
3	運動時のエネルギー回復	筋グリコーゲン回復、エネルギー摂取のタイミング、アスリートの健康管理についてスライドとプリントにもとづき解説します。					配布プリントの予習・復習(4時間)				
4	運動と骨格筋	骨格筋の形状と特性、筋収縮、筋繊維タイプ、随意最大筋力についてスライドとプリントにもとづき解説します。					配布プリントの予習・復習(4時間)				
5	運動と呼吸	換気の基本、運動中の換気亢進についてスライドとプリントにもとづき解説します。					配布プリントの予習・復習(4時間)				
6	運動と循環	心電図、心拍出量、運動時の血圧、循環調節についてスライドとプリントにもとづき解説します。					配布プリントの予習・復習(4時間)				
7	運動と神経、内分泌	脳の運動中枢、運動時のホルモン分泌・制御についてスライドとプリントにもとづき解説します。					配布プリントの予習・復習(4時間)				
8	運動と体温調節	熱産生・放散経路、体温調節中枢と効果器、高温化の運動、暑熱馴化とトレーニングについてスライドとプリントにもとづき解説します。					配布プリントの予習・復習(4時間)				
9	筋力トレーニング(1)	等尺性・等張性収縮、神経系の適応についてスライドとプリントにもとづき解説します。					配布プリントの予習・復習(4時間)				
10	筋力トレーニング(2)	筋力トレーニングの方法、測定方法についてスライドとプリントにもとづき解説します。					配布プリントの予習・復習(4時間)				
11	持久性トレーニング(理論編)	最大酸素摂取量、Fickの法則についてスライドとプリントにもとづき解説します。					配布プリントの予習・復習(4時間)				
12	持久性トレーニング(実践編)	最大酸素摂取量、トレーニング不可の算出、血液量、トレーニング効果を上げる方法についてスライドとプリントにもとづき解説します。					配布プリントの予習・復習(4時間)				
13	中高年の運動処方(1)	中高年の体力、モチベーション、介護予防、スポーツと健康についてスライドとプリントにもとづき解説します。					配布プリントの予習・復習(4時間)				
14	中高年の運動処方(2)	インターバル速歩、地域密着型スポーツクラブについてスライドとプリントにもとづき解説します。					配布プリントの予習・復習(4時間)				
15	まとめ	講義全体のまとめ					疑問点の整理(4時間)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
プリントを配布します。						受講態度：30% 受講態度は、授業への参加度(発言・取組み)で評価します。 課題レポート・試験：70%で評価します。 Sは90%以上の場合、Aは90点未満～80点以上の場合、Bは80点未満～70点以上の場合、Cは70点未満～60点以上の場合、Dは60点未満不合格					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「やさしい生理学【改訂第6版】」彼末一之、能勢 博編(南江堂) ISBN：978-4-524-26229-8 看護師、理学療法士などパラメディカルスタッフを対象とした教科書						「まず、自分自身がより強くなりたい」という体育系の部活に属する学生に受講してほしい、と思います。生理学などの本を読んで、人間の身体の基本的な構造、役割などを把握しておくようにしてください。					

科目名	トレーニング科学の理論と実際		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナパリング	NL37010	研究室	S-15
担当者	山本 薫・根本 賢一		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格	実践指導者				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
トレーニング科学に関する情報の蓄積に伴い、トレーニング現場に必要な知識も増えています。この授業では、トレーニングの目的に応じた負荷と量を設定し、正確な方法で指導できる実践力を身につけることを目的とします。トレーニングを安全でかつ効果的に行うための手順と方法を理解し、トレーニングの必要性と、実践する際の留意点をも各部位別に学びます。										
学修到達目標										
筋力や持久力を安全で効果的に向上させるための原則や留意点を理解し、各種のトレーニング実習を通して、その具体的な組み立て方を修得することを目標とします。										
授業の進め方										
講義室とトレーニングルームを併用しながら理論演習という形式で授業を進めていきます。講義はこちらが用意したプリント及びスライドを使用しながら授業を行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス、トレーニング概論	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価の仕方について説明します。トレーニングの意義と目的、トレーニング効果を決定する要因について解説します。				健康づくりと運動の講義の第4回目に実施した内容を復習しておくこと(4時間)。				
2	トレーニングの原理・原則	効果的にトレーニングを実施するための条件について解説します。				各自が行っているトレーニング目的及び内容をまとめておくこと(4時間)。				
3	体力とトレーニング	体力の概念、運動トレーニングの有益性について解説します。				体力要素の分類を各自でまとめておくこと(4時間)。				
4	トレーニングと安全管理	安全にトレーニングを実施するための諸条件について解説します。				配布したプリント及び内容を復習しておくこと(4時間)。				
5	ウォーミングアップとクーリングダウン及び体操	ウォーミングアップ、クーリングダウンの方法、目的別の体操実施法及び指導法(理論と実習)について解説します。				ウォーミングアップ、クーリングダウンの必要性について事前に調べておくこと(4時間)。				
6	トレーニング理論と方法	持久性体力トレーニングについて解説します。				持久性体力を規定する要因、持久性体力を計測する方法について事前に調べておくこと(4時間)。				
7	トレーニング理論と方法	レジスタンストレーニングについて解説します。				レジスタンストレーニングの名称について事前に調べておくこと(4時間)。				
8	トレーニング理論と方法	パワー・スピードトレーニングについて解説します。				パワー、スピードの体力テストの方法について事前に調べておくこと(4時間)。				
9	トレーニング理論と方法	ストレッチングと柔軟性トレーニングについて解説します。				柔軟性を規定する要因について事前に調べておくこと(4時間)。				
10	トレーニング計画	カウンセリングによる目標設定と形態計測方法と手順について解説します(実習)。				カウンセリングした内容を基に、パートナーのトレーニング目標をまとめておくこと(4時間)。				
11	トレーニング計画	体力テストの方法と手順について解説します(実習)。				パートナーの形態計測結果、体力測定の結果を活用できるように整理しておくこと(4時間)。				
12	トレーニング計画	測定データを基に、トレーニングメニューを作成します(実習)。				作成したトレーニングメニューの内容がトレーニングに適切なものが再確認しておくこと(4時間)。				
13	トレーニングの実践と指導	13,14回でトレーニング実施者と指導する者を入れ替えて、トレーニング又はパートナーの指導をします(実習)。				トレーニング実施した者、指導した者それぞれの立場での感想、反省をまとめておくこと(4時間)。				
14	トレーニングの実践と指導	13,14回でトレーニング実施者と指導する者を入れ替えて、トレーニング又はパートナーの指導をします(実習)。				トレーニング実施した者、指導した者それぞれの立場での感想、反省をまとめておくこと(4時間)。				
15	体験報告とまとめ	パートナーのトレーニング指導(及び実施)での報告と、第1から14回までの講義のまとめをします。				これまでの講義及び実習で使用したプリントを中心に復習しておくこと(4時間)。				
テキスト				成績評価の方法・基準						
必要時にこちらでポイントを記したプリントを用意します。				定期試験：70% レポート：10% 課題：20% S:授業内容をきわめて高度に理解するとともに、探求姿勢をもって課題演習等に取り組み高度な活動成果を示している。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題演習に取り組み良好な活動を示している。B:授業内容のおおよそを理解するとともに、与えられた課題演習等に誠実に取り組み、授業のねらいで求める活動成果の2/3程度の達成が認められる。C:授業内容の一部を理解するとともに、授業のねらいで求める活動成果の1/2程度の達成が認められる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「トレーニング科学」北川薫編(文光堂) ISBN:978-4-8306-5164-9 「トレーニング指導者テキスト」(大修館書店)				トレーニングルームでの実習時には運動着、室内シューズを必ず持参してください。毎回の講義終了前に、次回講義の概要や予習等について説明をします。						

科目名	健康づくりと運動		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナパリング	NL37011	研究室	S-21
担当者	根本 賢一		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	月曜日5限		
関連資格	実践指導者				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
健康の維持・増進を図ることや体力の向上を目的とした場合、やみくもに身体を動かすのではなく、各個人に適した運動計画(何の目的で、どのような運動で、どのくらいの時間)を立てて実践することで、運動の効果を効率良く獲得することが出来ることです。本講義では、有酸素性運動、無酸素性運動の様式上の違い及び無酸素性作業閾値についても理解を深めるとともに、各種運動の効果的で且つ安全な実施法とその効果についても解説をしていきます。										
学修到達目標										
運動不足による生活習慣病が蔓延する現代社会に即応した、健康づくりのための運動トレーニングに関する基礎的な知識を習得することを目標とします。										
授業の進め方										
基本的には教科書とスライドを用いながら授業を進めます。しかし、教科書のみではなく、必要に応じてプリントも配布して使用します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	今なぜ健康が大切か	高齢化する我が国の現状と健康づくり施策について、健康運動指導士の社会的役割について解説します。				健康づくり施策と健康運動指導士について事前に調べておくこと(4時間)。				
2	運動基準・運動指針	運動指針2006、身体活動基準2013とアクティブガイドについて解説します。				健康づくりのための身体活動についての理解を深めておくこと(4時間)。				
3	生活習慣病と運動	生活習慣病と生活習慣の関連、生活習慣病予防のための運動について解説します。				健康な生活習慣と、生活習慣病発症予防についてまとめておくこと(4時間)。				
4	トレーニング概論	トレーニングの原理・原則について解説します。				効果的にトレーニングを実施するためには何が必要か事前に調べておくこと(4時間)。				
5	トレーニングの基礎理論	トレーニング条件と反応・トレーニング強度について解説します。				前回講義で挙げた専門用語について事前に調べておくこと(4時間)。				
6	有酸素性運動と無酸素性運動	有酸素性運動・無酸素性運動の特徴、運動効果について解説します。				有酸素性運動・無酸素性運動の特徴を各自で調べて整理しておくこと(4時間)。				
7	有酸素性運動と無酸素性運動	最大酸素摂取量、無酸素性作業閾値について解説します。				最大酸素摂取量、無酸素性作業閾値が意味するもの、評価法と合わせて整理しておくこと(4時間)。				
8	身体活動強度とエネルギー	身体活動強度の違いによるエネルギー供給の仕組みについて解説します。				前回講義で挙げた専門用語について事前に調べておくこと(4時間)。				
9	ウォーキング・ジョギング	ウォーキング、ジョギングの運動特性について解説します。				配布した資料を参考に、ウォーキングとジョギングの特性をそれぞれ整理しておくこと(4時間)。				
10	ウォーキング・ジョギング	ウォーキング、ジョギングの実施法とその運動効果について解説します。				配布資料を参考に、ウォーキングとジョギングの実施法と効果について整理しておくこと(4時間)。				
11	ストレッチング	ストレッチングの種類とその目的、効果について解説します。				ストレッチングの実施法(留意点含む)について事前に調べておくこと(4時間)。				
12	レジスタンストレーニング	レジスタンス運動の分類、至適強度の設定法、トレーニングの実際について解説します。				レジスタンストレーニングの実施法(留意点含む)について事前に調べておくこと(4時間)。				
13	ウォーミングアップとクーリングダウン	ウォーミングアップ、クーリングダウンの目的とその実施法について解説します。				講義時に配布したプリントを基に理解を深めておくこと(4時間)。				
14	運動プログラムの作成	健康づくりと運動プログラムの作成の基礎及びポイントについて解説します。				心拍数の計測法、推定最高心拍数の算出法を確認し、%HRR法については復習しておくこと(4時間)。				
15	まとめ	1回～14回までの講義内容のまとめをそれ以前に使用したスライドをもとに行います。				これまでの講義で配布したプリント及び内容を復習しておくこと(4時間)。				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「人生はピンピンきらりワークブック誰でもできる健康運動実践法」根本賢一著(オフィスエム社) ISBN:978-4-900918-94-8(生協で購入してください。)				定期試験:80% 出席レポート:20% S:授業内容をきわめて高度に理解し、毎回のレポートも高度なものを提出している。 A:授業内容を良く理解し、毎回のレポートも良好なものを提出している。 B:授業内容のおおよそを理解し、毎回のレポートも提出している。 C:授業内容の2/3を理解し、毎回のレポートも提出している。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「健康運動指導士養成講習会テキスト(上・下)」(財団法人健康・体力づくり事業財団) 「健康運動実践指導者用テキスト」(財団法人健康・体力づくり事業財団)				健康運動指導士及び健康運動実践指導者の資格取得を目指す者に限らず、豊かな暮らしを営む基本である「健康づくり」を学ぶ以上、常に社会の動向に目を向け問題意識を持って授業に臨んでください。						

科目名	レクリエーション論		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナパリング	NL37012	研究室	S-22
担当者	中島 弘毅		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ	火曜日2限		
関連資格	実践指導者				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
現代社会は、物質的豊かさから心の豊かさを求める時代へと変化してきています。このような中においては、レクリエーションおよび余暇は人生の中で主要な位置を占め、より重要性を増してきています。ここでは、現代社会におけるレクリエーションの必要性を学ぶとともに、レクリエーション支援およびレクリエーションサービスなどについての基礎的知識の習得を目指します。また、余暇先進国を事例に取り、我が国のあり方について考えます。レクリエーションイベント企画の現場も提供します。										
学修到達目標										
日本の現代社会における課題を理解し、レクリエーションを通してどのような支援ができるのかを考える能力を身につけます。また、レクリエーション支援に必要なプログラムの企画立案についても学び、企画立案し、プレゼンテーションする能力を身につけます。										
授業の進め方										
テキストを用いながら、各テーマについて説明していきます。また、その都度、テーマに対して自ら考えることを大切に、グループワークを取り入れながらそれぞれの意見を出し合い、議論を深めます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンス	本講義の概要と進め方について、また、レクリエーション資格について説明します。豊かさとは何かについて考えます。					豊かさとは何かについて復習する。(4時間)			
2	現代社会における問題について考えます。	現代社会における問題点、QOLの時代における余暇の位置づけを通して人生・社会を豊かにするために何が重要なのかを考えます。					現代社会の問題について調べてくる。真の豊かさについて復習する。(4時間)			
3	レクリエーションの意義、必要性について考えましょう。	レクリエーションの語源、レクリエーションの概念の変遷について学びます。					レクリエーションの定義について調べてくる。(4時間)			
4	遊び学説としてのレクリエーションについて	遊びの生理学的な価値と遊びの社会的な価値について学びます。					遊びの定義について調べてくる。(4時間)			
5	レクリエーション運動の歴史について	古代ギリシャのレジャー観と古代ローマのレジャー観について学びます。					両者の違いについて復習する。(4時間)			
6	近現代におけるレクリエーションの歴史	産業革命から米国におけるレクリエーションの広がりについて学びます。					産業革命とレクリエーションの展開について調べてくる。(4時間)			
7	レクリエーション支援について	レクリエーション支援の概念、使命、種類と方法、行動指針について学びます。					レクリエーション支援者に期待される役割について復習する。(4時間)			
8	ライフスタイルとレクリエーションについて	ライフステージごとの課題に対して「心の元気」を目的とするレクリエーション活動が媒体としてスポーツを取り込む効果と重要性について考えます。					自らライフステージごとの課題を選択し、どのような支援ができるかを復習する。(4時間)			
9	レクリエーション事業とは	レクリエーション事業の考え方、事業展開の手順(Plan-Do-See)、企画段階の実際について学びます。また、個々人のアセスメントに基づいたプログラム計画企画書の内容について学びます。					個々人のアセスメントに基づいたプログラム計画について復習する。(4時間)			
10	レクリエーションイベント企画について	レクリエーションイベントの企画書に必要な内容及び市民を対象としたプログラムの作り方と安全管理について学びます。					レクリエーション活動における安全管理について調べてくる。(4時間)			
11	レクリエーションイベント企画の実際(1)	グループでレクリエーションイベントのアイデアを出し合い、企画書の骨子を作成します。					役割分担をして担当部分を完成させる。(4時間)			
12	レクリエーションイベント企画の実際(2)	グループでレクリエーションイベントの企画書を作成します。					発表原稿を作成する。(4時間)			
13	レクリエーションイベント企画の実際(3)	プレゼンテーションをするためにパワーポイントでスライド及び発表原稿を完成させ、発表の練習をします。					より良いプレゼンテーションを実施するために練習をし、質疑応答対策を立てる。(4時間)			
14	レクリエーション事業計画のプレゼンテーション(1)	レクリエーション事業計画のプレゼンテーションを行います。					他者のプレゼンテーションを聞き、気がついた事をまとめ、復習する。(4時間)			
15	レクリエーション事業計画のプレゼンテーション(2)	レクリエーション事業計画のプレゼンテーション&まとめをします。					他者のプレゼンテーションを聞き、気がついた事をまとめ、復習する。(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「レクリエーション支援の基礎」(財)日本レクリエーション協会編 ISBN:978-4-931180-81-9(生協で購入してください。)					定期試験:50% レポート:10% 課題:30% 出席レポート:10% 課題には、プレゼンテーションとレクリエーション現場体験を含みます。 S:95点以上、A:80点以上、B:70点以上、C:60点以上					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「スポレク活動で健康寿命を延伸」公益財団法人 日本レクリエーション協会著					積極的に仲間と議論をし、テーマについて考えて行きましょう。講義計画に該当する内容をテキストから探し、読んでおきましょう					

科目名	発育発達論		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナパ`リング	NL37013	研究室	S-17
担当者	田邊 愛子		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-	木曜日5限		
関連資格	実践指導者				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
スポーツ指導者や教育現場では、子どもたちの身体がどのような過程を経て大人へと成長していくかを理解することは重要なことです。そこでは単に遺伝的な素質が変容する過程としての変化ではなく、どのように子どもたちの才能を開花させるか、といった視点による発育発達理解が重要となります。ヒトが誕生してから思春期、そして成人以降の老化と体力や運動能力などの関連を理解するとともに、体力と遺伝的要因や運動の実践の有無など後天的要因との関連についても学習します。										
学修到達目標										
ヒトが誕生し、乳児期、思春期を向かえやがて加齢とともに老化します。その過程における発育発達の理解を深め、年齢による身体の変化と性差における差異を説明できるようになること。										
授業の進め方										
発育・発達に関して思考し、講義、作業、討論等を行う中でその認識を深めます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	「発育」「発達」の概念	ガイダンス：発育・発達とはを考えます					シラバスを熟読すること(4時間)			
2	生理学的年齢	発達をどう捉えるか遺伝的な影響要因の理解を深めます					年齢についての定義を調べること(4時間)			
3	出産と乳幼児	ヒトの誕生と乳児期の運動能力および栄養について知識を深めます					事前の配布されるプリントを読むこと(4時間)			
4	身体運動発現の順序性	幼児の運動能力の測定の問題点について課題を検討し測定方法について理解できるようにします					基礎運動技能について予習しておくこと(4時間)			
5	成長期における骨格の発達	発育・発達期の身体的特性 身長・体重・骨格の発育および子どものけがについて理解できるようにします					骨格の構造について予習しておくこと(4時間)			
6	成長期における技術の発達	発育・発達期の身体的特性 スキャモンの発育曲線と神経・筋コントロール能力について説明できるし、コーチング方法について知識を深めます					スキャモンの発育曲線を予習しておくこと(4時間)			
7	運動能力構造の変化	発育・発達期の身体的特性 筋と筋力の発達について筋肉の種類や特徴などを理解し説明できるようにします					プリントの復習すること(4時間)			
8	身体発達に影響する要因と問題	発育・発達期の身体的特性 エネルギー代謝量と最大酸素摂取量の発達について理解し説明できるようにします					プリントを復習すること(4時間)			
9	女性における発育発達	発育・発達期の身体的特性 女性の身体発達について性差の違いを理解できるようにします					女性の特徴について予習しておくこと(4時間)			
10	性差による疾病やスポーツ障害について	性差における疾病やスポーツ障害の特徴について学び、その対処方法を理解できるようにします					スポーツ障害の発生活因などを予習しておくこと(4時間)			
11	老化メカニズム	老化と運動	高齢者の身体的特徴について理解を深めます			高齢者の特徴を調べておくこと(4時間)				
12	老化メカニズム	老化と運動	高齢者の体力と効果的な運動処方について理解を深めます			高齢者の体力の基準値を調べておくこと(4時間)				
13	高齢者の心身機能	老化と運動	高齢者の運動に対する応答について説明します			細胞・組織における老化について予習しておくこと(4時間)				
14	「健康とは」を考える	運動・栄養・休養からヒトにおける健康を総合的に理解できるようにします					事前課題について資料作成しておくこと(4時間)			
15	まとめ	講義全体のまとめと試験に向けて注意点を説明します					今まで使用したプリントを熟読しておくこと(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
コースバケット(参考文献等の資料を集めた冊子)を授業の中で配布します		レポート：10% 定期試験：90% 授業内レポートを評価し、定期試験では授業のプロセスの中で身につけた知識を評価します。95%以上のより高いレベルに達すればS、80%以上の理解度をA、70%以上をB、60%以上をCとします。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「健康運動実践指導者用テキスト」財団法人健康・体力づくり事業財団編		・授業の中で行う共同作業、および討論への積極的な参加を望みます。 ・健康運動実践指導者用テキストを事前に読んでおくことが望ましい。								

科目名	機能解剖学			学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナパリング	NL37014	研究室	非常勤
担当者	関 賢一・江原 孝史			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格	実践指導者					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
<p>人体を構成する、骨・筋肉・神経について基礎医学の知識を深める。さらに、骨・筋肉・神経については、その一つ一つを単に覚えるのではなく、「関連付け」を重要視していきます。その統合によって「運動学」へ展開できるようにします。日常生活動作やスポーツ動作における骨・関節・筋の運動性についても学習を深めていきます。さらに、「トレーニング」「コンディショニング」「スポーツ傷害」などとの関連性を示しながら履修を進めます。</p>											
学修到達目標											
<p>講義終了時には、学生が「体のづくり」について十分理解できており、人に説明する能力を持っている事を目指していきます。身体運動に関係する骨・筋肉の名称と機能を中心に理解を深めていきます。筋骨格系の学習を進めながら、力学的な背景を理解し、トレーニングの理論的背景を形成できるようにしていきます。</p>											
授業の進め方											
<p>本授業においては、人間の筋骨格系の機能解剖を取り上げ、本分野を専門に著した教科書をベースとして授業を進める形態です。授業内容の復習を行うレポート学習を通して習得度を高めていくようにします。</p>											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	身体の仕組みと働き「筋肉の仕組み」	筋肉の構造と機能についてテキストを用いて解説します。					配布資料にて事後に復習(4時間)				
2	身体の仕組みと働き「骨と関節の仕組み」	全身の骨の名称を覚えることと、関節の構造についての学習をします。					テキスト「身体運動の機能解剖学」p1-3 p10-17 を事前予習(4時間)				
3	身体の仕組みと働き「呼吸循環器の構造と役割」	呼吸循環器系の構造について学習し、エネルギー供給についての理解も深めます。					配布資料にて事後復習(4時間)				
4	脊柱の構造と役割	脊柱を構成する頸椎・胸椎・腰椎の中心に骨・関節・筋・その機能について学習します。					テキスト「身体運動の機能解剖学」p197-226 を事前予習(4時間)				
5	肩甲帯及び肩関節の構造と役割	肩甲骨、及び肩甲上腕関節を中心に骨・関節・筋・その機能について学習します。					テキスト「身体運動の機能解剖学」p27-64 を事前予習(4時間)				
6	上腕・前腕・手指及び肘関節の構造と役割	上腕・前腕・手指及び肘関節の骨・関節・筋・その機能について学習します。					テキスト「身体運動の機能解剖学」p65-108 を事前予習(4時間)				
7	骨盤及び股関節の構造と役割	骨盤及び股関節の骨・関節・筋・その機能について学習します。					テキスト「身体運動の機能解剖学」p125-154 を事前予習(4時間)				
8	大腿の構造と役割	大腿部の骨・関節・筋・その機能について学習します。					配布資料にて事後復習(4時間)				
9	膝関節の構造と役割	膝関節及び周囲の骨・関節・筋・その機能について学習します。					テキスト「身体運動の機能解剖学」p155-168 を事前予習(4時間)				
10	下腿及び足関節の構造と役割	下腿及び足関節の骨・関節・筋・その機能について学習します。					テキスト「身体運動の機能解剖学」p169-195 を事前予習(4時間)				
11	足部の構造と役割	足部の骨・関節・筋について学習します。					配布資料を事後復習(4時間)				
12	日常生活動作及びスポーツ動作時の機能解剖学	日常生活動作及びスポーツ動作時における骨・筋・関節の機能について学習します。					配布資料にて事後復習(4時間)				
13	バイオメカニクス1「力学の基本」	バイオメカニクスの基礎について用語やこの原理を中心に学習します。					配布資料にて事後復習する。(4時間)				
14	バイオメカニクス2「スポーツ動作と力学」	スポーツ動作時におけるバイオメカニクスを中心に学習、陸上・水中・回転など、また道具(ボール)についての基礎的な力学的特徴も学習します。					配布資料にて事後復習(4時間)				
15	まとめ	講義全体のまとめをします。					テキスト・配布資料にて事前事後学習(4時間)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
<p>「身体運動の機能解剖(改訂版)」(医道の日本社) ISBN:4-7529-3063-3 (生協で購入してください。) \4,300 S:授業内容を高度に理解するとともに、例題からは難しい応用問題が解ける。 A:授業内容を理解し、積極的な姿勢で課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。 B:授業内容のおおそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。 C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。</p>						定期試験:90% レポート:10%					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
<p>「ボディ・ナビゲーション」(医道の日本社) ISBN:4-7529-3078-1 \3,800 「筋・骨格系のキネシオロジー」(医歯薬出版) ISBN:4-263-21287-8</p>						<p>学習内容は膨大で、記憶しなければならない事が多いですが、健康に関わる仕事を上る上で基礎となる知識です。スポーツ外傷学・障害、トレーナー実習・リハビリテーション概論の基礎学習に有効です。</p>					

科目名	スポーツ実技（水中運動）	学年学期	3・4年前期	単位数	1	ナバリング	NL37015	研究室	S-17
担当者	田邊 愛子	必修選択	選択	科目種別	実技	アイスア-	木曜日5限		
関連資格	実践指導者			履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度（読替科目）							
		A	B	C					
授業概要									
エアロビックダンスの特性と効果についての認識を踏まえ、ダンスの一連の運動動作を実習し、その特徴や留意点を認識することを目的とします。運動を提供する相手の性別、年齢、体力、目的によって運動強度の水準に違いがあることを理解した上で、速さや動きなどにより変わってくる運動強度を、心拍数の上がり方などで確かめながら、反応の違いを実習します。									
学修到達目標									
服装、用具、シューズ、床の性質などの条件があることや音楽の特徴や指導上の注意事項を理解した上で、実際に運動プログラムを作り、実施する上での留意事項を認識しながら、指導できるようになることを目標とします。									
授業の進め方									
教科書を基に、エアロビックダンスの基礎を机上で学び、平行して実際に体を動かしての実技も行います。受身の授業ではなく、実際に指導者として人前に立つことも経験していきます。									
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容					事前事後学修		
1	授業ガイダンス	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価の仕方についての説明をします。正しい姿勢を身に着け、学生同士でチェックをしたり、指導したりする経験をしていきます。					正しい姿勢を常に心がける（1時間）		
2	エアロビックダンスの特性や効果、受講者の特性	エアロビックダンスが持つ特性や効果について、説明します。また、受講者の年代や性別の特性の違いを説明します。後半は、エアロビックダンスを実際に体験します。					テキストP131、132を事前に読んでおく。特性や効果について、復習する。（1時間）		
3	ステップ	ローインパクトやハイインパクトの、さまざまなステップの名称や種類を紹介します。					ステップの種類を覚えるとともに、テレビCMやダンスシーンなど日常目にするステップを意識する（		
4	動きの展開	さまざまなステップを組み合わせたたり、ステップに合わせて上肢の動きを組み合わせ、さらに動きを展開させていく方法を説明し、実践します。					複数のステップを組み合わせた動きを考えてくる（1時間）		
5	ウォーミングアップ	静的ストレッチングと動的ストレッチングの違いや、ウォーミングアップの重要性を説明し、エアロビックダンスのウォーミングアップに必要な動きを実践します。また、事前学修で考えてきたステップを実践し、					ステップの種類をかえて、組み合わせを考えてくる。自分の安静時心拍数を計ってくる（1時間）		
6	強度の調整	心拍数などから運動強度を推定する方法を説明し、自分の目標心拍数を計算します。また、動きの中で運動強度を調整する方法を説明して実践します。					自分が考えた組み合わせを、反復の中で強度を上げていくものを作成する（1時間）		
7	音楽	音楽のBPMや曲調、音の構成などを説明します。BPMによっても強度が変わることも説明し、体験します。					日常に聞く音楽で、音の構成やカウントを意識する（1時間）		
8	指導の方法	声や動作で指示を出すキューイングなど、指導の技法を説明します。また、学生同士で自分が考えた動きを、タイミングなどに気をつけながら指導を実践します。					動きを考えると同時に、指示を出すタイミングや声のかけ方などをシュミレーションする（1時間）		
9	筋力トレーニング	自重負荷を使った筋力トレーニングを説明し、体験します。前回に引き続き、強度アップやキューイングを意識した指導の体験も行います。					トレーニングの内容を復習。必要なものは日常に取り入れる。（1時間）		
10	クールダウン	運動時のクールダウンの必要性を説明し、実践します。キューイングなどを意識した指導の体験も引き続き行います。					実技発表に向け、動きを完成させていく（1時間）		
11	グループ作成、発表	個々での作成、指導も行いつつ、グループで意見を出しあって動きを作り上げます。					実技発表に向けて、動きを完成させていく（1時間）		
12	傷害、環境	エアロビックダンスによる障害や、安全に行うためのプログラミング、シューズや服装の注意などを説明します。					実技発表に向けて、動きを完成させる（1時間）		
13	実技発表（第1グループ）	第1グループの実技発表を行います。他のグループは発表グループの指示に従って実際に指導を受けます。					発表準備及び反省（1時間）		
14	実技発表（第2グループ）	第2グループの実技発表を行います。他のグループは発表グループの指示に従って実際に指導を受けます。					発表準備及び反省		
15	実技発表（第3グループ）	第3グループの実技発表を行います。他のグループは発表グループの指示に従って実際に指導を受けます。					発表準備及び反省（1時間）		
テキスト		成績評価の方法・基準							
「健康運動実践指導者用テキスト」財団法人 健康・体力づくり事業財団編（別途、指示します。）		実技：70% 定期試験：30% 「実技」は、授業内で行う実技発表です。95%以上のより高いレベルに達すればS、80%以上の理解度をA、70%以上をB、60%以上をCとします。							
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）							
なし		将来、指導者になることを想定して授業を進め、最終的には人への指導を全員が行います。指導者として、相手にわかりやすい言葉使いや説明の仕方、見本になる姿勢など、日頃から意識を持ち、授業にも臨んで下さい。							

科目名	スポーツ心理学			学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナバリング	NL37016	研究室	S-20
担当者	齊藤 茂			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日2限		
関連資格	実践指導者					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
本講義では、運動・スポーツ心理学、中でも「健康心理学」に関する理論を中心に学んでいきます。具体的には、「心の健康」(適応と不適応)に関する様々な理論、「ストレスマネジメント」に関する理論(心理学的ストレスモデル(認知的評価)やアセスメント等)及び「行動変容理論」(「トランスセオレティカル・モデル」を中心に)について学びます。											
学修到達目標											
受講者各自が、健康運動の指導現場へ応用できる実践的知識及び技能(ストレスマネジメントの方法や行動変容のための働きかけ等)を修得することを到達目標とします。また、日常生活においても自分自身の心の状態に興味を持ち、自らの生活に役立てられることを望んでいます。											
授業の進め方											
講義が中心となりますが、授業内容に即したビデオ、DVD等の視聴覚教材等を適宜提示活用しながら、作業や討論を交え授業を進めます。また、実際に心理テスト等の体験を通して、心理テストの内容と同時に、自分自身の心の状態についても知ることができます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	心理テストを体験した後、本講義についてのガイダンスを行います。					シラバスを熟読し、講義内容について理解しておく。(2時間)				
2	心の健康とは?	心の健康とは「心が病んでいないばかりではなく、個人が社会の中で快適に適応している状態」であるとされている。この「適応している」状態(あるいは「不適応」)とはどういうことなのか考えます。					精神的に健康な人とは具体的にどのような人か、各自が考えを持ち授業に参加をする。(4時間)				
3	心の健康とは?	心の健康とは、具体的にどのような状態をいうのか、様々な研究者の理論に共通するポイントについて学びます。また、高齢者の心理的特徴を子どもや青年の心理と比べながら理解します。					事前に配布されたテキスト(コースパケット)の該当部分を熟読して読む。(4時間)				
4	心の健康とは?	第3回に引き続き、心の健康について、様々な研究者の理論に共通するポイントについて学びます。					事前に配布されたテキスト(コースパケット)の該当部分を熟読して読む。(4時間)				
5	心の健康とは?	「適応」とは逆の「不適応」について、適応に悩む「人格障害」等の例を取り上げて具体的に学びます。					事前に配布されたテキスト(コースパケット)の該当部分を熟読して読む。(4時間)				
6	ストレスマネジメントの理解	ストレス(反応)について、テキスト(コースパケット)をもとに学びます。					事前に配布されたテキスト(コースパケット)の該当部分を熟読して読む。(4時間)				
7	ストレスマネジメントの理解	心理学的ストレスモデル(認知的評価)について、テキスト(コースパケット)をもとに学びます。					各自の実体験と照らし合わせて考えてみる。(4時間)				
8	ストレスマネジメントの理解	ストレスのアセスメント(ストレスを修飾する要因である性格や行動パターンも含む)について、テキスト(コースパケット)をもとに学びます。					ストレスのアセスメント結果について、考察を行う。(4時間)				
9	ストレスマネジメントの理解	交流分析の理論について学びます。実際に交流分析を体験することを通して、自分自身の交流のパターンを理解し、ストレスマネジメントに役立てます。					交流分析の結果について、自分なりの分析を行い、レポートを作成する。(4時間)				
10	ストレスマネジメントの理解	一般的なストレス対処法(ストレスコーピング)について、テキスト(コースパケット)をもとに学びます。					日常から自分が用いているストレスへの対処法について考えてみる。(4時間)				
11	ストレスマネジメントの理解	ストレス対処法について、カウンセリングや自己開示を中心に専門的に学びます。					日常から自分が用いているストレスへの対処法(自己開示)について考えてみる。(4時間)				
12	運動実践に伴う心理社会的効果	運動実践に伴う恩恵(気分の改善や抑うつ改善)と弊害(摂食障害やバーンアウト等)について、テキスト(コースパケット)をもとに学びます。					運動実践に伴う恩恵と弊害について考えてみる。(4時間)				
13	行動変容の理論	「トランスセオレティカル・モデル」について、行動変容プロセス、行動変容ステージ、及び構成概念間の関係(ステージマッド介入)について、テキスト(コースパケット)をもとに学びます。					自分が実際に指導者になった際、どのように応用できるか考えてみる。(4時間)				
14	行動変容理論の実践的適用	指導者と受講者のミスマッチに気づき、その解決法について考える。個別指導における動機づけ、カウンセリングについて、受講者同士のディスカッションを取り入れながら学びます。					自分が実際に指導者になった際、どのように応用できるか考えてみる。(4時間)				
15	まとめ	これまでの講義のまとめを行いながら、定期試験のための対策を行います。					これまでの講義について復習を行い、不明な点等は質問できるように準備を行う。(6時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
コースパケット(参考文献等の資料を集めた冊子)を授業の中で配布します。					定期試験:80% 受講態度:20% S:授業に対して積極的かつ探究的に参加し、授業内容を様々な事象に対して応用ができるレベルにまで理解している。A:授業に対して積極的に参加し、授業内容を理解している。B:授業に対して積極的に参加し、授業内容をおおよそ理解している。C:授業内容について最低限理解している。 なお、受講態度は授業における課題等に取組む姿勢により評価します。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「健康運動指導士養成講習会テキスト下」(健康・体力づくり事業財団) 「スポレク活動で健康寿命を延伸」(日本レクリエーション協会)					競技スポーツ及びコーチングに関する内容は、2年次後期開講のスポーツカウンセリングおよび3年次前期開講のスポーツコーチング論で主に扱うため、これらの講義を併せて受講することを奨励します。						

科目名	安全・救急法（含実習）		学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナパリング	NL37017	研究室	S-16
担当者	江原 孝史		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日3限		
関連資格	実践指導者				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
救命救急について、特に心肺蘇生とAEDの使い方について学ぶとともに救急を要するようないろんな状況と対処の仕方を知る。応急手当の手法を学び、日常遭遇するケガに対処する方法を身につけます。										
学修到達目標										
救命しなければいけない場面に遭遇してもあわてず必要な行動と処置ができるようになること。										
授業の進め方										
教室での講義と、体育館における実習とを組み合わせで行います。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	安全救急法について一学ぶにあたってのところがまえや態度と普段からのところがけとトレーニングが重要であることを学びます。				事前に過去に自分が学んだ救命救急処置を復習する。(4時間)				
2	心肺蘇生	心肺蘇生とAED、心肺蘇生の必要性を学びます。				テキスト1-9ページを読み、救命の4つの連鎖を暗記する。(4時間)				
3	虚血性心疾患	心臓の働きと狭心症、心筋梗塞の病態と症状を学びます。心臓が原因で突然死することが多いことを学びます。				心臓の解剖と機能、冠状動脈について学ぶ。(4時間)				
4	呼吸困難	肺の働きと病気、呼吸困難の原因を学びます。				肺の解剖と呼吸のメカニズムを学ぶ。(4時間)				
5	低体温症	低体温症について、低体温症になった場合の対処の仕方について学びます。				最近おきた低体温症の事例について調べる。(4時間)				
6	溺水	乳幼児から高齢者までの各年代における溺水の特徴、溺水の予防について学びます。				テキスト38ページを読む。最近おきた溺水の事例を調べる。(4時間)				
7	救急蘇生 (1)	松本広域消防署による実習 救急蘇生法 呼吸のチェック 呼吸停止の確認 胸骨圧迫法を学びます。				テキスト10-24ページを読む。(4時間)				
8	救急蘇生 (2)	松本広域消防署による実習 救急蘇生法 AEDの使い方 人工呼吸法を学びます。本番のつもりで行います。消防署で行われる口頭指導のDVDを見ます。				事後にシミュレーションを変えて口頭指導の問答を作る。(4時間)				
9	救急蘇生 (3)	窒息、気道異物除去法、アナフィラキシーショックへの対処の仕方、エピペンの使い方について学びます。蜂刺されによるアナフィラキシーショックのDVDを見ます。				蜂刺され以外の原因によるアナフィラキシーショックの事例を調べる。(4時間)				
10	応急手当 (1)	日赤講師による実習： 体位と移動 RICE処置について学びます。				テキスト25-30ページを読む。さまざまな救急の場面を想定したシナリオを作る。(4時間)				
11	応急手当 (2)	日赤講師による実習：三角巾の使い方、止血、骨折、捻挫に対する処置とテーピングについて学びます。				テキスト25-30ページを読む。身の回りの物で三角巾に代わるものを探し試してみる。(4時間)				
12	やけど	やけどの種類と分類、やけどの面積推定のための9の法則について学びます。				テキスト33-36ページを読む。自分の住む地域でこった最近の火災の頻度について調べる。(4時間)				
13	中毒	食中毒、ガス中毒の種類と対処法について学びます。				いろいろな中毒の事例を調べる。(4時間)				
14	熱中症	熱中症の種類と対処法、脱水について学びます。				テキスト33ページを読む。経口補水液を作成し、脱水のメカニズムについて調べる。(4時間)				
15	災害	災害への対処、リスクマネジメント、救護法を学びます。				事前に大きな災害の事例について調べる。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「応急手当講習テキスト 救急車がくるまでに（改訂3版）」（東京法令出版） 必要な時はプリント、資料を配布する。				実技：60% 定期試験：30% レポート：10% S：授業内容を高度に理解し、実技に積極的に取り組みかつ質問し、レポートの内容が特に優れ、定期試験も9割以上。A：授業内容をよく理解し、実技に積極的に取り組み評価が優れ、レポートの内容が優れ、定期試験が8割以上。B：授業内容を理解し、実技に誠実に取り組み、レポートの評価が良くて定期試験が7割以上。C：授業の内容を理解し、実技に取り組み、レポートの評価が可で定期試験が6割以上。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
「アトラス応急処置マニュアル」（南江堂） 山本保博監訳 「スポーツ指導者のためのスポーツ外傷・障害改訂第2版」市川宣恭編（南江堂）				一刻を争う救命救急の処置をしっかりと学びましょう。いつ、どこで、ケガや病気に突然、遭遇するか分かりません。救急時の最低限の応急手当の仕方を身につけよう。						

科目名	運動と栄養		学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナパリング	NL37018	研究室	S-05
担当者	長谷川 尋之		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ	水曜日1限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	~2015年度					
授業概要										
身体活動量の多い市民から競技者まで、最高のパフォーマンスを発揮するための食生活について学習します。運動栄養学を科学的根拠に基づき理解を促し、個人や競技特性に応じた食品選択、適切なタイミングの食事摂取について解説します。										
学修到達目標										
スポーツの競技特性と期分けに応じた栄養管理、食事選択の考え方を理解するとともに、自身への活用、他者への指導に運動栄養学をアウトプットできることです。										
授業の進め方										
基本的に教科書とパワーポイントスライドを用いて講義を進めます。また必要に応じてプリント配布を行います。演習形式や学習内容の確認テストを行うこともあります。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション、栄養学概論	授業ガイダンス(本講義の狙い、進め方)を行います。食物と栄養素と食品について学び、自身の食生活を振り返ります。				1章を予習し、授業までに日々の食事を記録し、体重測定を行います。(4時間)				
2	スポーツ栄養の基本的な考え方	運動と栄養の効果、競技者の三原則、競技者の食事の目的を学び、理想の食事バランスを学びます。				1章を予習し、理想の食事バランスについて復習し日々の食事選択に活用し、記録します。(4時間)				
3	運動とエネルギー	エネルギー産生、エネルギーの内訳について学び、エネルギー消費量の測定方法を学びます。				2章を予習し、エネルギー消費量の測定方法、エネルギーの算出方法を復習します。(4時間)				
4	エネルギー必要量	エネルギー収支と体重変化、推定エネルギー必要量の簡易な算出方法を学びます。				2章を予習し、推定エネルギー必要量の算出方法を復習、応用できるようにします。(4時間)				
5	運動のためのエネルギー源	エネルギー産生に重要な糖質と脂質について代謝と補給方法について学びます。				3章を予習し、講義内容を復習し、糖質の摂取量を算出できるようにします。(4時間)				
6	体づくりの栄養と食事	たんぱく質の代謝と必要量、摂取方法について学びます。				5章を予習し、アミノ酸の種類、たんぱく質の質、量を測定する方法を復習します。(4時間)				
7	スポーツとビタミン	ビタミンの種類、働き、スポーツで気をつけるビタミンについて学びます。				6章を予習し、エネルギー代謝とビタミン、抗酸化作用とビタミンを復習します。(4時間)				
8	スポーツとミネラル	ミネラルの種類と働き、スポーツで気をつけるミネラルについて学びます。				7章を予習し、骨とミネラル、貧血とミネラルについて復習します。(4時間)				
9	運動中の栄養補給	スポーツ活動中の水分補給の方法、内容について学びます。				4章を予習し、熱中症予防と対策について復習します。(4時間)				
10	体重管理、体重階級制のあるスポーツの栄養	体重管理が必要な競技の理解、望ましい体重管理、体重、身体組成の測定方法について学びます。				8章を予習し、身体組成の測定方法について復習します。(4時間)				
11	競技特性と栄養、食事	瞬発系・パワー系スポーツ、持久系スポーツの栄養と食事の特徴、現状と課題について学びます。				9章、10章を予習し、競技特性と種目を整理し講義内容を復習します。(4時間)				
12	競技特性と栄養、食事	球技、チームスポーツ、冬季スポーツの栄養と食事の特徴、現状と課題について学びます。				11章、12章を復習し、競技特性と種目を整理し講義内容を復習します。(4時間)				
13	ジュニアアスリート、女性アスリートの栄養、食事	発育、発達に関係するジュニアアスリート、特有の健康課題をもつ女性アスリートの栄養、食事管理について学びます。				13章を予習し、発育、発達と女子アスリートの3主徴を復習します。(4時間)				
14	スポーツ選手の栄養サポート	栄養サポートの現状と課題、栄養管理の具体的な方法、教育の実際について学びます。				14章、15章を予習し、講義の内容を復習して、日々の食事の改善に取り組みます。(4時間)				
15	サプリメント	サプリメントの利用とドーピング問題、サプリメントを選ぶ場合の考え方について学びます。				16章を予習し、サプリメントの種類、情報収集の方法、ドーピングについて復習します。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「市民からアスリートまでのスポーツ栄養学」岡村浩嗣、藤井久雄、河合美香、宮崎志帆、小清水孝子、横田由香里、柳沢香絵著岡村浩嗣編(八千代出版) ISBN:978-4-8429-1539-5(生協で購入してください。)				定期試験:90%、受講態度:10% 受講態度は、受講票での積極的な質問と授業中の発言を点数化して評価し、定期試験と総合的に評価します。60点以上でC評価、70点以上でB評価、80点以上でA評価とし、概ね95点以上でS評価とします。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「ジムに通う人の栄養学」岡村浩嗣著(講談社)なし				競技に取り組む学生、指導者をを目指す学生など、それぞれの視点で目的意識を持ち講義内容の予習、復習、そして現場での実践に取り組んでください。						

科目名	運動生理学		学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナバ'リング	NL37019	研究室	S-24
担当者	河野 史倫		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-	月曜日4限		
関連資格	実践指導者				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
健康になるため、または健康を維持するために運動を行います。運動は様々な生理的刺激となり、カラダはそれに対して適応する過程で運動効果が表れます。スポーツの場面においてパフォーマンスを向上するためにトレーニングを行うことは、カラダの適応能力をさらに引き出しているということになります。本科目では、運動がどのような生理的刺激となり、身体機能にどのような影響を与えるのかについて講義を行います。										
学修到達目標										
運動がどのような生理的刺激となるのか、運動によってカラダはどんな反応を示すのか、それらを結びつけるメカニズムを理解し的確に説明できること、運動がなぜ健康づくりに重要なのかを科学的に考察できるようになることを目標とします。										
授業の進め方										
講義は指定のテキストに沿って進めていきます。板書やスライドも必要に応じて併用します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	運動と疾病	生活習慣や加齢に伴う疾病について、若年期の生理機能と比較しながらテキストとスライドを使って解説します。				テキストの14章を読んでおくこと(4時間)				
2	代謝	運動中のエネルギー代謝について、テキストとスライドを使って解説します。				授業ノートをまとめ直し、テキストの5章を読んでおくこと(4時間)				
3	骨格筋1	筋の構造と収縮の仕組み、テキストとスライドを使って解説します。				授業ノートをまとめ直し、テキストの1章を読んでおくこと(4時間)				
4	骨格筋2	筋の種類と性質の違いについて、テキストとスライドを使って解説します。				テキストの1章を読んでおくこと。前回の講義内容を復習しておくこと。(4時間)				
5	神経1	骨格筋がどのように神経支配を受けているのか、テキストとスライドを使って解説します。				授業ノートをまとめ直し、テキストの2章を読んでおくこと。(4時間)				
6	神経2	筋力調節、神経筋で起こる反射について、テキストとスライドを使って解説します。				テキストの2章を読んでおくこと。前回の講義内容を復習しておくこと。(4時間)				
7	神経・筋の可塑性	運動・トレーニングによる神経・筋の変化について、テキストとスライドを使って解説します。				授業ノートをまとめ直し、テキストの1章-2章を読み直しておくこと。(4時間)				
8	前半のまとめ	前半の講義内容に関する試験を実施し、解答と解説を行います。				第1回~第7回の授業で作成したノートを復習し、重要な点は説明できるようにする。(4時間)				
9	呼吸	酸素の取り込みと消費、運動強度による酸素消費量の変化について、テキストとスライドを使って解説します。				テキストの3章を読んでおくこと。授業後は、7章もしっかり読んでおくこと。(4時間)				
10	循環	心機能と運動による血圧変化について、テキストとスライドを使って解説します。				テキストの4章を読んでおくこと。授業後は、7章もしっかり読んでおくこと。(4時間)				
11	体温	体温と体水分調節、運動や暑熱による脱水や熱中症について、テキストとスライドを使って解説します。				テキストの6章と10章を読んでおくこと。授業後は、7章もしっかり読んでおくこと。(4時間)				
12	運動と栄養	栄養によるエネルギー代謝やトレーニング効果の変化、サプリメントの効果について、テキストとスライドを使って解説します。				テキストの8章と12章を読んでおくこと。(4時間)				
13	骨	骨の構造と運動負荷の影響、宇宙飛行士の骨密度低下について、テキストとスライドを使って解説します。				テキストの11章を読んでおくこと。(4時間)				
14	免疫	運動による免疫機能の変化、筋損傷した時の免疫システムについて、テキストとスライドを使って解説します。				テキストの9章を読んでおくこと。(4時間)				
15	老化	加齢に伴う身体機能の変化や運動による老化予防の仕組みについて解説します。				授業後はノートをまとめ、重要な点は説明できるようにすること。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「運動生理学 生理学の基礎から疾病予防まで」小山勝弘、安藤大輔、山北満哉、北川淳、小野悠介、藤田諒著小山勝弘、安藤大輔編(三共出版) ISBN:978-4-7827-0687-9(生協で購入してください。)				小テスト:30% 定期試験:70% S:各種生理機能について深く理解しているだけでなく、それらの知識を活用し実際に生体内で起こる事象についての確かな説明および考察ができる。A:授業内容を細部まで理解し、毎時間のまとめの内容以外の問題も解ける。B:毎時間のまとめの内容を完全に理解し、問われ方が変わっても正解できる。C:毎時間のまとめの内容を理解し、それらに関する試験問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
必要に応じてプリント等を配布します。				生体機能の可塑性は複雑な仕組みであり、まだ分かっていないこともたくさんあります。本講義で得た知識を使って、実際に運動やトレーニングの方法や妥当性を科学的に考えることができるようになってほしいです。						

科目名	体力測定と評価		学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナパ`リ`ン`グ	NL37020	研究室	S-21
担当者	根本 賢一		必修選択	選択	科目種別	講義	オ`ィ`ス`ワ`ー	月曜日5限		
関連資格	実践指導者				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>適当な運動プログラムを提供するためにも、複数の体力要素についての測定を行い、得られた測定値を評価基準と比較して適切に評価する必要があります。形態および機能に関する種々の項目を理解するとともに得られた結果を適正に評価する手法を学びます。特に、心肺持久力の指標である最大酸素摂取量や無酸素性作業閾値や、筋力についての様々な測定法や意義を理解し得られたデータの解析法まで理解していきます。</p>										
学修到達目標										
<p>形態および各機能に関する種々の測定方法とその意義を理解し、適正に測定・評価できる力を修得することを目標とします。</p>										
授業の進め方										
<p>第1回から9回までは、講義室にてこちらで用意したプリントとスライドを利用しながら授業を進めていきます。10回から14回までは実際にフィールド及びトレーニングルーム内にある測定機器・装置などを用いながらの演習形式で授業を行います。</p>										
<p>授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。</p>										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価の仕方についての説明します。					各自がこれまでに経験した体力測定項目を挙げ、その実施法についてまとめておくこと(4時間)。			
2	体力測定の活用法	体力測定の目的及び活用法、評価方法(平均値、標準偏差、伸び率、標準得点)について解説します。					標準得点を使用した評価方法についてよく復習しておくこと(4時間)。			
3	身体組織の測定法と評価	体脂肪測定法、推定誤差が生じる原因、体脂肪率を推定する種々の計算、皮下脂肪分布と男女差、身体活動量と皮下脂肪分布について解説します。					配布資料をよく読み、特に体脂肪測定量の原理と測定方法について理解を深めておくこと(4時間)。			
4	体力と運動能力・体力構成要素の測定法	適正な体力測定の条件、体力と運動能力の関係、年齢に伴う体力水準の変化および性差、体力を構成する項目の測定方法と評価法について解説します。					配布資料を読み、適正な測定条件と項目別に測定方法と評価法について理解を深めておくこと(4時間)。			
5	新体力テストの測定とその評価	新体力テストの測定項目及び評価法、健康と関連する体力要素について解説します。					本日配布した資料を読み、新体力テストの実施法を復習しておくこと(4時間)。			
6	持久性体力の測定および評価法	最大酸素摂取量、無酸素性作業閾値について解説します。					専門用語を事前に調べ、直接法による測定方法とその判定法について復習しておくこと(4時間)。			
7	筋力測定とその評価	筋力測定の意義、筋力測定実施の留意点、筋力測定方法とその評価法について解説します。					専門用語を事前に調べ、筋力測定法とその評価法について復習しておくこと(4時間)。			
8	介護予防に関する体力測定とその評価	介護予防の考え方、介護予防事業とその対象者、介護保険制度(又は以外)の介護予防事業について解説します。					専門用語を事前に調べる。配布資料をよく読み、介護保険制度について理解を深めておくこと(4時間)。			
9	介護予防に関する体力測定とその評価	介護予防における体力測定の意義と測定項目、高齢者の身体活動能力について解説します。					高齢者の体力測定での留意点と実施法について調べておくこと(4時間)。			
10	中年者のフィールドテスト(新体力テストの実施法)	新体力テストの測定項目を実際に測定します。					第5回目の講義内容をよく復習しておくこと(4時間)。			
11	中年者のフィールドテスト(測定値に対する評価法)	第10回目の講義で測定したデータを基に、評価表を作成します。					前回の各自及びグループのデータを事前に整理しておくこと(4時間)。			
12	高齢者の体力測定(持久力)	高齢者の持久力測定の意義、持久力測定実施上の留意点、持久力測定方法と評価法について解説します。					前回の講義後に配布したプリントをよく読み、専門用語を事前に調べておくこと(4時間)。			
13	高齢者の体力測定(筋力)	高齢者の筋力測定の意義、筋力測定実施上の留意点、筋力測定方法と評価法について解説します。					前回の講義後に配布したプリントをよく読み、専門用語を事前に調べておくこと(4時間)。			
14	体力評価の実施・データ加工・フィードバックについて	第12、13回の講義で測定したデータを基に評価表を作成します(V02maxの推定含む)。					第12、13回で測定した各自及びグループのデータを事前に整理しておくこと(4時間)。			
15	講義全体のまとめ	第1~14回までの講義のまとめを今までに使用したスライド及び資料をもとに行います。					これまでの講義で配布したプリント及び内容をよく復習しておくこと(4時間)。			
テキスト					成績評価の方法・基準					
各回こちらでポイントを記したプリントを用意します。					<p>レポート：10% 課題：20% 定期試験：70%</p> <p>S:授業内容をきわめて高度に理解するとともに、探求姿勢をもって課題演習等に取り組み高度な活動成果を示している。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題演習に取り組み良好な活動を示している。B:授業内容のおおよそを理解するとともに、与えられた課題演習等に誠実に取り組み、授業のねらいで求める活動成果の2/3程度の達成が認められる。C:授業内容の一部を理解するとともに、授業のねらいで求める活動成果の1/2程度の達成が認められる。</p>					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
<p>「健康運動実践指導者用テキスト」(財団法人健康・体力づくり事業財団) 「健康づくりのための体力測定評価法」(金芳堂)</p>					<p>健康運動実践指導者の資格取得を目指す以上、常にその自覚を持って授業に臨んでください。トレーニングルームでの実習時には運動着、室内シューズを必ず持参してください。</p>					

科目名	スポーツ実技（エアロビックダンス）	学年学期	3・4年後期	単位数	1	ナバリング	NL37021	研究室	S-17
担当者	田邊 愛子	必修選択	選択	科目種別	実技	アイスア-	木曜日5限		
関連資格	実践指導者			履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度（読替科目）							
		A	B	C					
授業概要									
エアロビックダンスの特性と効果についての認識を踏まえ、ダンスの一連の運動動作を実習し、その特徴や留意点を認識することを目的とします。運動を提供する相手の性別、年齢、体力、目的によって運動強度の水準に違いがあることを理解した上で、速さや動きなどにより変わってくる運動強度を、心拍数の上がり方などで確かめながら、反応の違いを実習します。									
学修到達目標									
服装、用具、シューズ、床の性質などの条件があることや音楽の特徴や指導上の注意事項を理解した上で、実際に運動プログラムを作り、実施する上での留意事項を認識しながら、指導できるようになることを目標とします。									
授業の進め方									
教科書を基に、エアロビックダンスの基礎を机上で学び、平行して実際に体を動かしての実技も行います。受身の授業ではなく、実際に指導者として人前に立つことも経験していきます。									
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容					事前事後学修		
1	授業ガイダンス	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価の仕方についての説明をします。正しい姿勢を身に着け、学生同士でチェックをしたり、指導したりする経験をしていきます。					正しい姿勢を常に心がける（1時間）		
2	エアロビックダンスの特性や効果、受講者の特性	エアロビックダンスが持つ特性や効果について、説明します。また、受講者の年代や性別の特性の違いを説明します。後半は、エアロビックダンスを実際に体験します。					テキストP131、132を事前に読んでおく。特性や効果について、復習する。（1時間）		
3	ステップ	ローインパクトやハイインパクトの、さまざまなステップの名称や種類を紹介します。					ステップの種類を覚えるとともに、テレビCMやダンスシーンなど日常目にするステップを意識する（1時間）		
4	動きの展開	さまざまなステップを組み合わせた動きを組み合わせ、さらに動きを展開させていく方法を説明し、実践します。					複数のステップを組み合わせた動きを考えてくる（1時間）		
5	ウォーミングアップ	静的ストレッチングと動的ストレッチングの違いや、ウォーミングアップの重要性を説明し、エアロビックダンスのウォーミングアップに必要な動きを実践します。また、事前学修で考えてきたステップを実践し、					ステップの種類をかえて、組み合わせを考えてくる。自分の安静時心拍数を計ってくる（1時間）		
6	強度の調整	心拍数などから運動強度を推定する方法を説明し、自分の目標心拍数を計算します。また、動きの中で運動強度を調整する方法を説明して実践します。					自分が考えた組み合わせを、反復の中で強度を上げていくものを作成する（1時間）		
7	音楽	音楽のBPMや曲調、音の構成などを説明します。BPMによっても強度が変わることも説明し、体験します。					日常に聞く音楽で、音の構成やカウントを意識する（1時間）		
8	指導の方法	声や動作で指示を出すキューイングなど、指導の技法を説明します。また、学生同士で自分が考えた動きを、タイミングなどに気をつけながら指導を実践します。					動きを考えると同時に、指示を出すタイミングや声のかけ方などをシュミレーションする（1時間）		
9	筋力トレーニング	自重負荷を使った筋力トレーニングを説明し、体験します。前回に引き続き、強度アップやキューイングを意識した指導の体験も行います。					トレーニングの内容を復習。必要なものは日常に取り入れる。（1時間）		
10	クールダウン	運動時のクールダウンの必要性を説明し、実践します。キューイングなどを意識した指導の体験も引き続き行います。					実技発表に向け、動きを完成させていく（1時間）		
11	グループ作成、発表	個々での作成、指導も行いつつ、グループで意見を出しあって動きを作り上げます。					実技発表に向けて、動きを完成させていく（1時間）		
12	傷害、環境	エアロビックダンスによる障害や、安全に行うためのプログラミング、シューズや服装の注意などを説明します。					実技発表に向けて、動きを完成させる（1時間）		
13	実技発表（第1グループ）	第1グループの実技発表を行います。他のグループは発表グループの指示に従って実際に指導を受けます。					発表準備及び反省（1時間）		
14	実技発表（第2グループ）	第2グループの実技発表を行います。他のグループは発表グループの指示に従って実際に指導を受けます。					発表準備及び反省（1時間）		
15	実技発表（第3グループ）	第3グループの実技発表を行います。他のグループは発表グループの指示に従って実際に指導を受けます。					発表準備及び反省（1時間）		
テキスト		成績評価の方法・基準							
「健康運動実践指導者用テキスト」財団法人 健康・体力づくり事業財団編（別途、指示します。）		実技：70% 定期試験：30% 「実技」は、授業内で行う実技発表です。95%以上のより高いレベルに達すればS、80%以上の理解度をA、70%以上をB、60%以上をCとします。							
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）							
なし		将来、指導者になることを想定して授業を進め、最終的には人への指導を全員が行います。指導者として、相手にわかりやすい言葉使いや説明の仕方、見本になる姿勢など、日頃から意識を持ち、授業にも臨んで下さい。							

科目名	健康運動指導実習		学年学期	3・4年後期	単位数	1	ナパリング	NL37022	研究室	S-15
担当者	山本 薫		必修選択	選択	科目種別	実習	オイスア-			
関連資格	実践指導者				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>身体組成およびウォーキング・ジョギング、自体重筋トレなどの健康運動の特徴と、運動トレーニングの効果的で安全な方法を理解し、中高年者を対象にした指導の習得を目指します。様々な運動強度でトレーニングを実施しながら、自覚的な感覚・心拍数などの測定を含め、指導に必要な知見を得て指導に生かしていきます。指導者として必要な知識・技術に加え、思いやりのこころを持って指導にあたる大切さを学びます。</p>										
学修到達目標										
<p>日本や諸外国における健康づくりの施策を理解する。中高年に対して安全で効果的な運動指導方法を習得する。健康づくりのための身体活動・体力向上のトレーニング理論と実践を踏まえ、的確な指導ができるようになる。</p>										
授業の進め方										
<p>講義室と体育館を併用しながら理論演習という形式で授業を進めていきます。健康づくり運動の基礎的知識を習得し、専門用語の理解を深め、実際に運動プログラムも作成します。演習の内容や順番は調整変更することがあります。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	健康とは	オリエンテーション、授業の目標、展開内容について説明をします					シラバス、テキスト及び参考書を熟読すること(1時間)			
2	健康づくりの施策と健康増進について	健康と健康増進の概念(WHO健康の定義、オタワ憲章)、日本における健康づくりの施策(身体活動基準・指針)について説明します					参考書の第一章を熟読すること(1時間)			
3	ウォーミングアップ・クーリングダウン	ウォーミングアップ・クーリングダウンの実施方法と注意点を説明します。					運動習慣について、実施頻度の高い種目を調査してくること(1時間)			
4	ウォーキング・ジョギングの特性について	ウォーキングの正しいフォームや注意点及び効果、運動強度を基にした消費カロリーの計算方法など、その運動特性を説明します。また実習を交えて指導します。					ウォーキングについて調べておくこと、計算機を用意しておくこと(1時間)			
5	ウォーキングプログラム(実習)	ウォーキング(低/中/高強度)の消費エネルギー消費量の算出方法を理解し、強度設定や頻度などプログラムを作成する時の注意点を説明します					テキスト・参考書を熟読し、計算機を用意しておくこと(1時間)			
6	ジョギングプログラム(実習)	ジョギングの運動効果、基本的フォーム、注意点を説明します。また、運動強度から算出する消費エネルギーと指導上の注意点について実習を交えて指導します。					ジョギングの強度とその効果について調べておくこと(1時間)			
7	ストレッチングの理論と実際	ストレッチングの種類と特性について、機能解剖学からその説明をします。また、効果や実施上のポイントについて実習を交えながら解説します。					ストレッチングの種類について調べておくこと(1時間)			
8	体脂肪と除脂肪体重	体脂肪率の測定方法とそのメカニズム、メリットとデメリットを説明します。また、体脂肪率の評価方法について解説します。					テキスト・参考書を熟読すること(1時間)			
9	暑熱環境下の運動指導	暑熱環境下の運動時体温変化と熱中症について、運動指導におけるポイント(効果的な水分摂取タイミングなど)を説明します					熱中症について調べておくこと(1時間)			
10	筋肉の構造と筋力発揮のメカニズム	筋線維のタイプを収縮特性と代謝特性に基づいて分類し、筋力発揮の特性と運動の関係を説明します					事前に配布するプリントを熟読すること(1時間)			
11	健康運動づくり運動の実際(静的レジスタンストレーニング)	レジスタンス運動の分類を筋活動様式からみて特徴を学び、適切なプログラムの立案と目的別トレーニングの指導方法を習得します					テキスト・参考書を熟読すること(1時間)			
12	健康運動づくり運動の実際(動的レジスタンストレーニング)	自重や身近な用具を使用したトレーニング方法、サーキットトレーニングなどを理解します					テキスト・参考書を熟読すること(1時間)			
13	中高年者の為の健康づくり運動の理論	中高年齢者のための運動プログラム作成の理論について説明します。					中高年齢者運動のプログラムを調べておくこと(1時間)			
14	中高年者の為の健康づくり運動の実際	中高年齢者のための運動プログラム作成と実践します。期末試験に向けて説明します。					運動プログラムを準備しておくこと(1時間)			
15	健康運動指導のまとめ	健康づくり運動を総合的に捉え、幅広い視点から指導できるように、作成した運動プログラムの内容についてディスカッションとワールドカフェ方式で討論を行います。					今までに配布したプリントを復習しておくこと(1時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
<p>「人生はピンピンきらりワークブック誰でもできる健康運動実践法」(オイスエム社) ISBN:978-4-900918-94-8(生協で購入してください。)</p> <p>「【10歳若返る!】インターバル速歩の秘密」(ことう書房)編</p>					レポート:25% 定期試験:50% 受講態度:25%					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
<p>「健康運動指導士養成講習会テキスト(上・下)」(財団法人健康・体力づくり事業団体)編</p> <p>「健康運動実践指導者用テキスト」(財団法人健康・体力づくり事業団体</p>					健康運動指導士や実践指導者資格希望者など、豊かな暮らしを営む為の「健康づくり」を学ぶ者は、常に社会の動向に目を向け問題意識を持って授業に臨んで下さい。実習は運動着で体育館シューズを持参すること					

科目名	野外活動		学年学期	3・4年前期	単位数	1	ナバ`リ`ン`グ	NL37023	研究室	S-22
担当者	中島 弘毅		必修選択	選択	科目種別	実習	オ`ィ`ス`ア`ー	火曜日2限		
関連資格	レ`ク`ィ`ス`ト				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
野外活動とは、キャンプ、ハイキング、スキー、カヌーといった文字通りの野外活動、動植物や星の観察といった自然・環境学習活動、そして、自然物を使った工作や自然の中での音楽会といった文化・芸術活動などを包括する総合的な活動を指します。本授業では、体験学習としての「野外活動」を行います。自然の中で集団生活や環境を生かした様々なプログラムを体験し、「体験学習」の意味と効果を学びます。										
学修到達目標										
野外活動を通して、野外活動に必要で欠かせない知識、身支度、火の取り扱い、仲間との協力など基本的な知識・技能・態度を身に付け、自然に親しむ資質や力を磨くことを目的とします。										
授業の進め方										
学内での事前ガイダンスを踏まえ、2年生全員で2泊3日の宿泊型キャンプに参画します。グループで生活を共にするとともに、期間中は選択プログラムとして個別の活動体験に参加します。(参加費用として10,000円程度が必要となります。)										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	オリエンテーション	宿泊型集中授業としての本講義の進め方について、目的、ねらい、参加費用等基本的な内容を説明します。					野外・集団生活に必要な個人情報・健康状態等の申請をする(既往症・アレルギーなど)(1時間)			
2	野外での生活	キャンプの概要をおさえ、共に過ごすグループのメンバーと役割分担をして仕事内容を把握します。選択プログラムの参加希望種目を申し出ます。					活動拠点のキャンプ地の自然の情報を調べる。役割に必要な準備をする。(準備品・食材購入)(1時間)			
3	野外活動	キャンプ生活開始時に、自己解放と人間関係づくりを目的としてアイスブレイク(ゲーム)に参加します。共に活動する仲間の表情や変容する姿をリーダーの視点で見出し、仲間との交流を意識して進めます。					活動を振り返り、自分の感情に気づいておく。個別の感想や気づきをメモ・分かち合う。(1時間)			
4	野外活動	ロウエレメント、アドベンチャープログラムなど、キャンプ地の環境を活用した自然体験プログラムに参加します。挑戦や葛藤、協力や支え合いなどの体験を通しチームとしてつながっていくプロセスを学びます。					外部インストラクターによるプログラム活動開始に際し、進行・紹介など準備を整える。(1時間)			
5	野外活動と生活(食)	野外炊飯の方法を体験を通して学びます。日常離れのキャンプ生活で摂る食事の楽しさを体感します。環境保全の配慮をした野外での食のありがたさを学びます。(火のおこし方、食材の準備、片づけ)					野外炊飯の方法について事前に調べる。体験を次回(翌日)に生かす。(1時間)			
6	野外活動と生活(夜)	暗闇体験、天体観測、たき火を囲むなど選択プログラムに参加します。ゆっくりと流れる時間の中で自分との対話、また仲間との交流を深める時間を過ごします。					キャンプ地で可能な夜の活動を考える。安全確保・危機管理について感じたことを記録する。(1時間)			
7	野外活動と生活(休息)	野外生活における自らの体力保持・健康管理は集団生活に欠かせない努力義務という認識を持って自己管理をします。					一日の活動を振り返る。翌日のプログラムの準備(健康管理)をする。(1時間)			
8	活動プログラム	キャンプファイヤーの檣の組み方、点火の方法、自然への配慮など実施の基本を学び、ねらいに即してプログラムを組み立て実施します。					キャンプのねらいを再確認し、役割分担と進行ができたか、参加者の声を集約しまとめる。(1時間)			
9	活動プログラム	マウンテンバイク(インストラクター)による指導を受けます。スポーツとしてのマウンテンバイクの技術を習得し、持てる力を最大限発揮し、活動の醍醐味を体感します。					ズボットとしてバイクを体験した前後の感覚の違い、チームメンバー間の意識の違いをまとめる。(1時間)			
10	活動プログラム	カヌー(インストラクター)による指導を受けます。スポーツとしてのマウンテンバイクの技術を習得し、持てる力を最大限発揮し、活動の醍醐味を体感します。					カヌーを体験した前と後の感覚の違い、チームメンバー間の意識の違いをまとめる。(1時間)			
11	活動プログラム	登山案内人指導のもとで登山の知識・技術を学習し、持てる力を最大限発揮して、活動の醍醐味を体感します。					登山を体験した前と後の感覚の違い、チームメンバー間の意識の違いをまとめる。(1時間)			
12	活動プログラム	ハイエレメント・ツリークライミング(インストラクター)による指導を受けます。プログラムのねらいである「自己決定、自分と向き合う。」が主軸の活動体験をし自己と向き合います。					挑戦する自分・支える自分の言動に気づき、日常に生かすことを考え、まとめる。(1時間)			
13	活動プログラム	川に親しむ、地域の文化に親しむなどキャンプ地の特徴を生かしたプログラムや、自然物を活用したクラフトなど様々な自然体験プログラムを知り、野外活動の豊かさ創造的なプログラムの数々を学びます。					作品を完成する、報告会に向け、活動グループ毎まとめをする。(1時間)			
14	振り返り	キャンプ日程全体を振り返り、各自が感じたことを共有します。グループワークの総まとめとして話し合い、その内容を発表します。					選択プログラムの体験報告をし合い仲間の報告から多様なプログラムの魅力をまとめる。(1時間)			
15	報告会	野外活動で体験したことや発生したこと、発見したことを学内報告会の発表用にグループでまとめます。					聞く人に伝わる発表の仕方に努める。グループで意見交換し、情報を寄せまとめる。(1時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
講義内でプリントを配布して進めます。					受講態度：60% レポート：40% 受講態度は、役割分担、協力的態度、活動への積極的参加、発言、発表等について評価します。S:95点以上 A:80点以上 B:70点以上 C:60点以上					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「アイスブレイク」石田 易司著(有)エルビス社 ISBN:4-900581-18-6 活動別参考図書を講義内で紹介します。					自分の持つ力を、グループ内でどのように発揮する(機能させる)かに挑戦しよう。体験学習をする中で、互いの価値観を受け止め、相互の気づきを次の活動に生かす姿勢で臨んでください。					

科目名	レクリエーション実技 (ゲーム)		学年学期	3・4年前期	単位数	1	ナバリング	NL37024	研究室	S-23
担当者	犬飼 己紀子		必修選択	選択	科目種別	実技	アイスブレイク	火曜日4限		
関連資格	レク・インスト		履修条件							
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
レクリエーションの場でイン・リーダーとして仲間と向き合い、楽しく心地よい場づくりに役立つレクリエーション・ゲームの数々を習得します。活動することで生じる参加者の感情に気づくことに重きをおきます。その上で、一人ひとりの意欲を引き出す支援者の関わりとはどのような姿勢かについて学びます。後半ではリーダーとして模擬体験をします。										
学修到達目標										
基本のレクリエーション財(ゲーム)を学習し、アイスブレイク時に応用できるスキルを習得します。また、対象者に向かいインストラクションする自分の態度に気づき、対象に向きあう際の支援姿勢について自己の課題を発見することが目標です。										
授業の進め方										
ゲームの数々を実際に体験し、自分や仲間の感情が変化することを学びます。さらに、そのプロセスで仲間と相互に影響し合っていることに気づいていきます。後半では、グループで実際にゲームのリードを体験しあいます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	オリエンテーション	支援者としてのレクリエーション学を学ぶことの意味を確認します。レクリエーションゲームの数々が「財」と呼ばれることの意味を学びます。					自分にとってのレクリエーションとは何かを改めて考える。(1時間)			
2	アイスブレイク「財」としてのゲーム	アイスブレイクの実験を体験し、実施前後の自分の感情の変化を、感情測定尺度POMSで測ります。POMSの集計をします。					本時の活動を振り返り自分や仲間の感情の変化についてPOMSの結果を踏まえ感想を書くこと。(1時間)			
3	心を解放に向けるゲームの手法	ゲームを展開する中で、参加者個々人の感情に気づいていきます。支援者(リーダー)として必要な「許容的雰囲気づくり」を仲間との相互作用の中で創る姿勢を学びます。記録ノート提出について説明をします。					「プラスストローク」の意味と態度を学ぶこと。活動記録ノートへの記録。(1時間)			
4	勝敗が決定するゲーム	じゃんけんゲームの数々を体験します。偶然性により勝敗が決まるじゃんけんゲームで、技能に関係なく競い合える事の楽しさを知り、活用のバリエーションを考えます。					これまでに体験したことのあるじゃんけんゲームを挙げ、記録ノートに書き出すこと。(1時間)			
5	ゲームの展開法	集団で行うゲームの展開とは、ゲームを羅列することではないことを知り、活動の流れと構図についてのノウハウを学びます。参加対象者の状態を洞察し、それに沿った展開法が重要な流れになることを学びます。					活動記録ノートを順次提出すること。提出の翌週に、教員からコメントを入れ返却します。(1時間)			
6	ホスピタリティを学ぶ	レクリエーションは「財」を提供する支援者の態度や関わり方に左右されることを学びます。ホスピタリティの意味を知り、活動に参加する自分の表情や、態度、言動に気づくことを学びます。					ホスピタリティの語源を調べる。活動記録ノートの提出と返却。(1時間)			
7	対象理解と動機づけ(小学生)	4~5人のグループになり授業を進めます。小学生集団を例に挙げ、現代の子どもたちにはどのような課題があるかを書き出します。そのうえで対象に向けた活動プログラムの組み立てを体験します。					小学生の体力、運動能力の傾向を調べること。活動記録ノートの提出と返却。(1時間)			
8	対象理解と動機づけ(中年)	4~5人のグループになり授業を進めます。働き盛り(親世代)のライフスタイルをイメージし、レクリエーションゲーム活用を考えます。日常生活で活用可能な「体力チェック」の方法を探ります。					中高年の生活実態について調べること。活動記録ノートの提出と返却。(1時間)			
9	対象理解と動機づけ(元気な高齢者)	4~5人のグループになり授業を進めます。人生経験豊富な世代に向けた活動支援の工夫として、体力の衰えを感じているが元気いっぱい的高齢者に向けた様々なプログラム提供の方法を考えます。					高齢者の健康運動志向を探ること。活動記録ノートの提出と返却。(1時間)			
10	対象理解と動機づけ 支援を必要とする人(高齢者)	アセスメントの重要性を学びます。特に個別のプログラムが求められる障がい者や高齢者に対し、レクリエーション活動に携わる支援者としての姿勢について学びます。DVD視聴覚教材等で学びます。					尊厳・人権についての理解を深めること。活動記録ノートの提出と返却。(1時間)			
11	異年齢交流で繋がりを創る	現代に必要とされる異年齢交流の場づくりについて、対象者の特性、多様性など個性ある対象を想定し、リーダー(支援)の在り方を考えます。					活動場面を想定し、インストラクションするゲームを例に挙げ、言葉かけをノートに書き出すこと。(1時間)			
12	自己紹介ゲームの手法	グループでゲームを活用した自己紹介を実施します。メンバーの自己紹介を見聞きして、全員でフィードバックしあいます。グループで、次回から実施する活動支援に向けた計画書を作成します。					ゲームの展開法を参考に、計画書を作成し提出する。(1時間)			
13	リード体験	前半の5グループがゲームの展開を実施します。CSSの活用や、参加学生からのフィードバックをもらい、指導体験後の自己評価をし、次回に生かします。					実施体験後のフィードバックで得たことを次回に生かすため、記録ノートに書きとめること。(1時間)			
14	リード体験	後半の5グループが順次ゲームの展開を実施します。CSSの活用や、参加学生からのフィードバックをもらい、指導体験後の自己評価をし、次回に生かします。					実施体験後のフィードバックで得たことを次回に生かすため、記録ノートに書きとめること。(1時間)			
15	活動企画	これまで習得したゲーム(財)を実践し、応用系や活用のバリエーションを創造的に発展させます。グループでアイデアを重ねます。					「財としてのレクリエーションとその可能性」(仮)を記録ノートの最終ページに書き提出すること。(1時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「前 レク財100連発カード」犬飼己紀子 監修著長野県レクリエーション協会編(龍共印刷株式会社)(講義にて配布します。)					実技:50% 出席レポート:30% 課題:20% S:レク・ゲーム活用の効果を知り、場に応じた「財」活用の組み立てと展開ができる。A:レク・ゲームいろいろを習得し、場に合わせた活動を考えることができる。B:レク・ゲームの展開法如何で、参加者の感情に起こる違いに気づくことができる。C:ゲームのルール説明を順序だてて行うことができる。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「スポレク活動で健康寿命を延伸」(日本レクリエーション協会) 「レクリエーション支援の基礎」(日本レクリエーション協会) ISBN:978-4-931180-81-9					自分が楽しめていない活動は、相手にとっても楽しく感じられるものではありません。活動展開する中で、まずは自分の感情に気づいていきましょう。					

科目名	レクリエーション実技（芸術・文化）		学年学期	3・4年後期	単位数	1	ナパリング	NL37025	研究室	S-22
担当者	中島 弘毅		必修選択	選択	科目種別	実技	オイスアワ	火曜日2限		
関連資格	レク・インスト				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
本講義では、レクリエーション実技としてレクリエーション財を自らが提供できるようにその活動・種目について学びます。クラフトを主として取り上げ、作成・体験を通して基礎的技能を身につけることを目的とします。個々で作品の制作を行うことを基本としますが、仲間と協力しながら作業を進めることの大切さと楽しさも感じてください。また、作品の制作過程および完成した作品を通して楽しさを味わいます。あわせて、その作品の制作指導ができるように、まとめる作業も行います。										
学修到達目標										
身近なもので様々な作品を作り上げることの感動を味わい、作品制作方法を学ぶことにより、他者に作成指導ができる基礎的知識の習得を目指します。3H (Hand, Head, Heart) を念頭におきながら制作ができるようになります。										
授業の進め方										
個々人で作品を完成させ、その作品をつくる感動を味わいます。また、作品の制作過程での気づき、学びについて意見交換を行います。作品の制作の仕方についてその都度まとめていきます。アウトキャンパススタディも実施します。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンス	本講義の概要と進め方について					次週に向けて必要な道具の準備をします。（1時間）			
2	マイ箸を作ろう！	竹でオリジナルの世界で一つだけの思いをこめた箸を作ります。竹の特徴、ナイフの使い方も合わせてマスターします。					作品を完成させ、制作過程を復習する。（1時間）			
3	マイ箸を鑑賞しよう。	オンリーワンの箸を完成させます。また、他者がどのような思いを持って作品を仕上げたかを共有し、作品の素晴らしさをお互いに評価します。					完成品の写真を撮り、レポートを仕上げる。（1時間）			
4	部屋に飾ろう、思い出の焼き板作り！	杉板を使って焼き板を作ります。木を炙る事によって美しい木目が浮かび上がります。そこに、自らの想いを表現します。					作品の制作過程を復習する。（1時間）			
5	焼き板を鑑賞しよう	焼き板を完成させ、振り返りをおこないます。他者の作品への想いを共有して、オリジナル性と良い点を見抜く目を養います。					作品を写真に取り、レポートをまとめる。（1時間）			
6	上高地へ行こう！	自然の不思議を発見し、気づく目を養います。上高地に出かけ、動植物、地理、歴史について知識を深め、自然が学びの宝庫であることと「心の元気」を回復する場であることを学びます。					上高地へ行っての気づきをまとめる。（1時間）			
7	上高地での発見、気づきをまとめよう。	グループで上高地での発見、気づきをまとめることによって、自然散策がスポーツレクリエーションの重要な活動種目であり、自然豊かな土地に身を置くことによる「心の元気」回復に寄与することに気づきます。					パワーポイントを完成させ、発表の練習をする。（1時間）			
8	上高地の自然についてのプレゼンテーション	各グループによるプレゼンテーションを通して、自然散策が「心を元氣」にするスポーツレクリエーションの有効な手段であることに気づき、その方法論と基本的知識について学修します。					プレゼンテーションをして、またきいての気づきについて復習し、まとめる。（1時間）			
9	オリジナルのネックレスを作ろう！	オープン粘土を使って、自分でしてもいい、あげてもいい、そんなオリジナルなネックレス作りをします。粘土を練りながら、作品のイメージを練り上げてゆきます。					作品の作り方について復習する。（1時間）			
10	オリジナルのネックレス作り！その2	オープンでの温度調節について学びます。調節ができる紐の結び方についても学びます。					作品を完成させて写真を撮り、制作過程を復習する。（1時間）			
11	作品鑑賞会	作品に表れた他者の思いを共有します。実に様々な作品がたった一つの粘土から生まれることに気づきます。					レポートを仕上げる。（1時間）			
12	あなたと私のエッグキャンドル！	エッグキャンドルの作り方を学びます。様々な色の世界と香りの世界を作り出します。					作品の制作過程を復習し、まとめる。（1時間）			
13	エッグキャンドルの土台作りと鑑賞会	エッグキャンドルの土台作りをします。土台に飾られた色鮮やかなエッグキャンドルを楽しみます。					写真を撮ってレポートをまとめる。（1時間）			
14	手作りアイスに挑戦！	手作りで美味しいアイスを作ります。本字では、その計画をグループごとに立てます。身近なもので、チョットと工夫。それでまた作りたくなる美味しいアイスが出来上がることの感動と美味しさを味わいます。					作り方を調べレポートにまとめる。（1時間）			
15	手作りアイスの感動を味わおう！&まとめ	前半：アイス作り。後半：全体の振り返り。ホモ・ファーベルトとも言われる人間。3H、即ち物を使い自作する、想いを込めてオリジナルを創ることの楽しさ、素晴らしさ、その必要性について考えます。					作品を作ることの意義について考え、レポートを作成する。（1時間）			
テキスト					成績評価の方法・基準					
必要に応じてプリントを配布します。					受講態度：30% レポート：60% 出席レポート：10% 受講態度は、授業への積極的な参加、仲間との協力、発言、準備、片づけ等について評価します。S:95点以上 A:80点以上 B:70点以上 C:60点以上					
参考書					履修上の注意（学生へのメッセージ）					
「レクリエーション支援の基礎」(財)日本レクリエーション協会編(財)日本レクリエーション協会) ISBN: 978-4-931180-81-9					・本授業はレクリエーションインストラクターの資格を取得しようとする学生のための科目です。 ・道具、材料を各自で用意することも必要となります。					

科目名	スポーツ実技 (ニュースポーツ)		学年学期	3・4年後期	単位数	1	ナパリング	NL37026	研究室	S-23
担当者	犬飼 己紀子		必修選択	選択	科目種別	実技	アイスア-	水曜日2限		
関連資格	レク・インスト					履修条件				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度 (読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
誰もが参加し親しむことのできる運動やスポーツ環境について学びます。各スポーツ種目の特性を知り、競技というよりゲーム性や「場」を共有する人々の交流をねらい、行う人(対象者)の状態に合うスポーツの展開法や実践について学びます。ニュースポーツと称して紹介されている様々な種目を始め、既存スポーツのルールや用具をアレンジし学生自ら創り上げるスポーツの実践を目指します。										
学修到達目標										
スポーツ基本計画にうたわれた「多様なスポーツの機会」に照らし合わせ、ニュースポーツのコンセプトを理解すること。ゲームそのものに含まれる楽しさと同時に、活動する参加者の感情に楽しさをもたらず指導・関わりの姿勢を身につけることが目標です。										
授業の進め方										
仲間と創り上げる毎回の活動を「記録ノート」に残してください。競技者間に生じる相互作用に気づきレクリエーション支援の技法として、ゲームのアレンジや実施まで、スポーツの楽しさを伝える方法や態度を学びます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	「運動は苦手」という人にも楽しく活動できるスポーツとは何かを考えます。人々が生涯を通じて運動やスポーツに親しむことを可能にする資源としてニュースポーツを学び、提供できる指導者として学びます。				これまでのスポーツ体験を振り返っておくこと。(0.5時間)				
2	アイスブレイクのゲーム	運動能力や技術に左右されず、交流を主目的としたコミュニケーションゲームを実施し、偶然性が生むグループでできるチーム編成の手法を学びます。				カブグループが集団に及ぼす影響について、関わり方を考える。(1時間)				
3	キンボールとリードアップゲーム	目に楽しい「キンボール」という素材を活用し、活動への動機付けの効果を知ります。様々なリードアップゲームで、競技の特性と危険回避の方法を学びます。				ルールを確認をして、ゲームの進め方を復習しておく。(1時間)				
4	キンボール審判とゲームの進行	キンボールルールの特徴「エースの居ないスポーツ」は、メンバー全員の参加がなければゲームが成立しません。ニュースポーツとしてのキンボールのねらいについて確認します。				毎時間、自らがリーダーとして進めるゲームの方法をイメージする。(1時間)				
5	キンボール ゲーム	3チームで対戦するゲームの特徴を生かし、試合の組み合わせを考えます。ルールを理解し、審判、進行への協力など主体的にゲームを進行する態度を学びます。				活動運営者として自分の態度を考えること。(1時間)				
6	インディアカ	インディアカの特徴とルールを確認します。グルーピングからゲームの進行まで学生のリードで進めます。インディアカボールに慣れる運動を考えて指導体験をします。				取り扱い器具の多様さを知り、会場準備を含め、対応を考える。(1時間)				
7	インディアカ ゲーム	ゲームを進める当事者として、インリーダーとしての態度や姿勢を学びます。自分のチーム以外の人の動きも意識において、全体に気配りする目と態度を身につけます。				ニュースポーツのねらいに沿った効果的な交流について自身の目標を定めること。(1.5時間)				
8	インディアカ ゲーム	自分の力と技術を発揮して、対戦チームと競技としてのインディアカを楽しみます。ニュースポーツは、実施する人の力量に合わせて楽しむことができるスポーツであることを体験的に学びます。				競技としてのインディアカの魅力についてまとめる。(1時間)				
9	リングテニス	ラケット操作を必要としないテニスです。ネット種目の形態をとらなくとも、幼児から高齢者まで、投捕だけで楽しめる素材であることを、活動アレンジの幅の広さから学びます。				リングを使った遊びを創作する。(1時間)				
10	リングテニス ゲーム	リングの投捕とステップの制限が戦略と工夫を生むことの楽しさを学びます。本時では、学生の運動能力を十分に発揮しながら、対戦チームとのゲームや、団体戦の複合的な面白さも学びます。				チーム戦をすることで、ゲームの楽しさが変わることを知る。(1時間)				
11	リングテニス 団体戦	チームメンバーの個性、能力を知り、メンバー間の交流を図りながらダブルス、シングルスとの組み合わせを工夫し、対戦チームとゲームをします。				ニュースポーツ体験が、日常の人間交流に影響するか、についてまとめる。(1時間)				
12	ふらばーるバレー	変形ボールの予測不能な動きを楽しみます。スポーツ経験者のパターン化された反応がミスと呼ぶ、という特性を活用したスポーツの面白さがあります。技術よりも互いの声掛けが勝因につながることを学びます。				変形ボールを活用したスポーツの楽しさの理由はどこにあるか探る。(1時間)				
13	ふらばーるバレー	ふらばーるバレーボールの予測が難しい動きに対応するには、仲間同士が声を掛け合うことが欠かせません。プラスのストロークがゲームの楽しさを醸し出していることに気がつくます。				スポーツの特徴を意識すること、チームとして協力できることに何があったかを考える。(1時間)				
14	バブルサッカー・リードアップゲーム	バブルに入り、体当たりや自由な回転動作を感覚として味わいます。生身では体験できないダイナミックな動きを楽しみます。				バブルサッカーのルール確認。用具の特性の活かし方を考える。(1時間)				
15	バブルサッカー・ゲーム	ニュースポーツについて自分の捉え方を確認します。単に軽いスポーツ、新しいスポーツという捉え方ではないことを再確認します。生涯スポーツ指導者としての姿勢、役割についてレポート課題を課します。				指導者・リーダーとしての姿勢で臨めたかを確認する。(1時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
プリントで進めます。		実技：50% レポート：50% S:スポーツ基本計画を理解し、指導者としてニュースポーツの活用方法を習得しようとしている。A:ニュースポーツのコンセプトを理解し、スポーツを対人関係構築に向けたツールとして活用する力を身につけている。B:スポーツの解釈の幅を広げ、これまでスポーツで培ってきた能力を発揮し指導者として参加者に関わる姿勢を身につけている。C:スポーツへの解釈の幅を広げ、初めて体験するスポーツへの興味を持ち活動に参加している。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「ニュースポーツ事典」日本レクリエーション協会編		スポーツに親しもうとする全ての人にとって、運動することの楽しさを引き出すことのできる指導者の姿勢を学んでください。指導者として相応しい姿勢・服装を求めます。								

科目名	スポーツ実技（ニュースポーツ）		学年学期	3・4年後期	単位数	1	ナパリング	NL37026	研究室	S-15
担当者	山本 薫		必修選択	選択	科目種別	実技	アイスワ-			
関連資格	レ・インスト				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要 誰もが参加し親しむことのできる運動やスポーツ環境について学びます。各スポーツ種目の特性を知り、競技というよりゲーム性や「場」を共有する人々の交流をねらい、行う人（対象者）の状態に合うスポーツの展開法や実践について学びます。ニュースポーツと称して紹介されている様々な種目を始め、既存スポーツのルールや用具をアレンジし学生自ら創り上げるスポーツの実践を目指します。										
学修到達目標 ゲームそのものに含まれる楽しさと同時に、活動する参加者の感情に楽しさをもたらす指導・関わりの姿勢を身につけることを目的とします。										
授業の進め方 競技者間に生じる相互作用に気づきレクリエーション支援の技法として、ゲームのアレンジや実施まで、スポーツの楽しさを伝える方法や態度を学びます。種目の内容と順番は変更することがあります										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	オリエンテーション	「運動は苦手」という人にも楽しく活動できるスポーツとは何かを考えます。人々が生涯を通じて運動やスポーツに親しむことを可能にする資源としてニュースポーツを学び、提供できる指導者像を学びます。					これまでのスポーツ体験を振り返っておくこと。			
2	ウォーミングアップゲーム（ガッツフリスビー）	ディスクスポーツの特徴とルールを確認します、スローとキャッチの基本技術について学び、ウォーミングアップに活用します。					ガッツの歴史や発展、現状について調べる			
3	アルティメット（1）	アルティメットにおける基礎技術・ルールの理解とゲームの進め方について学びます。					アルティメットの歴史や発展、現状について調べる			
4	アルティメット（2）	アルティメットにおける基礎技術・ルールの理解。フォーメーション・ルールとゲームの進め方について学びます。					ルールを確認をして、ゲームの進め方を予習しておく。			
5	アルティメット（3）	アルティメットにおける基礎技術・ルールの理解。フォーメーション・ルールとゲームの進め方について学びます。					指導者として自分の態度を考えること。			
6	ノルディックウォーキング（1）	基本的なテクニック（ヘルスレベル）を身につける。10ステッププログラムの1～6までをマスターします。					ノルディックウォーキングの歴史や発展、現状について調べる			
7	ノルディックウォーキング・ダッシュ（2）	フィットネスレベルのテクニックを身につける。10ステッププログラムの1～6までをマスターします。					ノルディックウォーキングの種目特性についての自身の考えをまとめる			
8	キックベースボール（1）	キックベースの特徴とルールを確認します。蹴る、捕る、投げる、走塁する技能を身に付け、簡単なルールのゲームを学びます。					キックベースボールに関連するスポーツやその歴史やルールについて調べる。			
9	キックベースボール（2）	チームの特徴が生かせるように、ルールや作戦を工夫してゲームを行うことを学びます。					キックベースボールのルールを確認する。			
10	キックベースボール（3）	チームの特徴が生かせるように、ルールや作戦を工夫してゲームを行うことを学びます。					キックベースボールのルールを確認する。			
11	インディアカ（1）	インディアカの特徴とルールを確認します。グルーピングからゲームの進行まで学生のリードで進めます。インディアカボールに慣れる運動を考えて指導体験をします。					インディアカの種目特性についての自身の考えをまとめる			
12	インディアカ（2）	インディアカの特徴とルールを確認します。グルーピングからゲームの進行まで学生のリードで進めます。インディアカボールに慣れる運動を考えて指導体験をします。					インディアカの種目特性についての自身の考えをまとめる			
13	インディアカ（3）	ゲームを進める当事者として、インリーダーとしての態度や姿勢を学びます。自分のチーム以外の人の動きも意識において、全体に気配りする目と態度を身につけます。					ニュースポーツのねらいに沿った効果的な交流について自身の目標を定めること。			
14	指導案作成 & 指導実習	ニュースポーツについて自分の捉え方を確認します。単に軽いスポーツ、新しいスポーツという捉え方ではないことを再確認します。生涯スポーツ指導者としての姿勢、役割についてレポートにまとめます。					指導者・リーダーとしての姿勢で臨めたかを振り返る。			
15	指導案作成 & 指導実習	ニュースポーツについて自分の捉え方を確認します。単に軽いスポーツ、新しいスポーツという捉え方ではないことを再確認します。生涯スポーツ指導者としての姿勢、役割についてレポートにまとめます。					指導者・リーダーとしての姿勢で臨めたかを振り返る。			
テキスト					成績評価の方法・基準					
必要に応じて資料を配布します。プリントを配布して進めます。					実技：60% レポート：40% 指導者として様々な対象に向き合う場面を想定し、ニュースポーツ展開の目的を理解し、場に合ったルールの工夫や応用のしかたなど柔軟な姿勢と参加者との相互交流の姿勢を評価する。					
参考書					履修上の注意（学生へのメッセージ）					
「ニュースポーツ事典」日本レクリエーション協会編					スポーツに親しもうとする全ての人にとって、運動することの楽しさを引き出すことのできる指導者の姿勢を学んでください。指導者として相応しい姿勢・服装を求めます。					

科目名	野外教育		学年学期	4年前期	単位数	1	ナパリング	NL47027	研究室	S-23	
担当者	犬飼 己紀子		必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー	火曜日4限			
関連資格	レク・インスト				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C						
授業概要											
<p>「野外活動」のキャンプリーターとして必要な技術・指導法を学ぶための授業です。野外での集団生活を進めるうえで必要になるコミュニケーションワーク(ゲーム)や、野外炊事の新割り・火つけを実際に体験して、参加者に指導できるよう練習します。このほか、教育キャンプでの生活に必要な係について具体的な役割分担を通じてリーダーとしての姿勢を学びます。</p>											
学修到達目標											
<p>「野外活動」参加者の集団生活と体験学習をサポートするための知識と技術とチームワークを身につけます。自然を生かした活動の企画・立案・準備・運営に携わる中で、履修者同士が自分達で声を掛け合い、コミュニケーションワークを効果的に実施しながら協同作業を行うことです。</p>											
授業の進め方											
<p>ガイダンス、コミュニケーションワーク実習、訓練と下見のためのキャンプ(ラボランド黒姫、1泊2日、6月中の土日を予定)、2年生のガイダンス指導(7月)、係の仕事・自主企画の準備(分担後随時開始)。5,000円程度の費用(宿泊・食材)がかかります。</p>											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	この授業のねらいと具体的な作業を確認します。履修の意思決定をして下さい。					なぜ、何のために学ぶか、各自の目標を明確にする。(0.5時間)				
2	関係づくり	コミュニケーションワーク(ゲーム)をお互いに提供し合います。指導者と学習者の両方の視点から検討を加えることで、実践的に指導力を向上させます。					体験したことのあるワークのルール等を確認する。活動の振り返りを記録に残す。(1時間)				
3	役割分担	集団生活を運営するために、プログラム、炊事、会計、連絡、記録、安全・保健、といった係活動の担当者を決め、6月のキャンプ企画をします。仕事内容を理解し、係同士で連携できるようにします。					仕事の内容を具体的に把握し、プレ・キャンプの運営・実行に向けて。(1時間)				
4	役割分担	ゼミグループのアドバイザー、もしくは、本部の物品管理スタッフとして集団生活を運営します。自分達で話し合いながら責任を持って準備して下さい。					担当別の作業を確認し必要な物品を揃える。役割分担表を作成する。(1時間)				
5	プログラムの企画・立案	9月のキャンプのテーマを決め、全体像を共有できるようにしておきます。自分たちの主導する活動を確認し、担当を分担する雨天プログラムも考えます。					9月のキャンプ全体の流れを把握しておく。担当者同士で準備を進める。(1.5時間)				
6	実地踏査 プレ・キャンプ	集団生活を営みながら、現地の下見をします。プログラムをどのように提供するか考え、自分たちの動きを具体的にシミュレーションします。用具・参加者への連絡事項・今後の課題、等をリストアップします。					学内や現地での各プログラムのねらい、役割分担、指示の出し方を明確にしておく。(1時間)				
7	指導実習 プレ・キャンプ	コミュニケーションワーク(ゲーム)をお互いに提供し合います。100人以上の規模を想定し、スムーズな進行の実施と、ねらいに即した効果を得るための技術を習得します。					アイスブレイク、グループワークを調べて指示の練習をする。(1時間)				
8	チームビルディング	アドベンチャープログラム(ローエレメント、ハイロースコース)における、グループの変容を体験します。挑戦や葛藤、協力や支え合いなどを意識的にとらえ、チームとして活動する過程を体験的に学びます。					アイスブレイク、グループワークを実施し、感想や気づきを他者と分かち合う。(1時間)				
9	ナイトプログラム	夜の活動プログラムを企画立案します。参加者に、夜の自然を感じながらどのような体験をしてもらいたいのか考え、複数の選択制プログラムを開発準備します。					担当するプログラムを決定し、実地踏査や必要な準備を各自で自主的に進める。(1時間)				
10	キャンプファイヤー	井桁の組み方、点火の方法、自然への配慮など、キャンプファイヤーを実施するための知識や技術を習得します。ファイヤーマスター(司会者)、ファイヤーキーパー(火の管理者)も配置した実習です。					施設への連絡、役割分担、9月のキャンプでの企画を考えて準備をする。(1時間)				
11	野外炊事	薪割り、火起こしの技術を習得します。火や刃物の安全な扱いを確認し、指導できるようにします。グループ内の作業が特定の人に偏らないように配慮し、十分なコミュニケーション・時間管理のもとで調理します。					メニューに必要な食材を考えて、一人で指導できるようになるまで練習する。(2時間)				
12	ファシリテーション	振り返りの進行や、グループの協力・コミュニケーションを引き出すために、参加者に対する、支援的指導方法を学びます。					活動時に起こる色々なことに気づいて自分の行動を変えていけるようにする。(1時間)				
13	危機管理	自分の健康管理、参加者達の健康観察、活動場所の安全対策、スタッフ間のコミュニケーション、教員との連携、外部インストラクターとの連絡、天候の予測、装備の支度、などを実習します。					気づきのメモをまとめ、次の活動や話し合いに生かす。(1時間)				
14	参加者説明会の準備	説明会の役割分担と、作業確認をします。説明資料作りなどの作業を担当別、もしくは個人で進めていきます。会場の予約、備品の借用など、大学とのやり取りをする。教員への依頼事項も明確にします。					しおり作り、健康チェック表を作成する。(1時間)				
15	参加者説明会の実施	2年生への事前説明会において、司会進行をします。全体的に目を配り、自分たちから声をかけて雰囲気作りに努めます。					しおりの内容を理解し、ガイダンス時の説明、疑問に答えられるようにする。(1時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準								
初回ガイダンスで提示します。			<p>受講態度：60% レポート：40%</p> <p>S:自らの体験をもとに野外活動で起こりうる状況をイメージし、仲間に提案し討議し対応を具体化することができる。A:野外活動における多様な役割を知り、リーダーシップを発揮できる。B:活動場面をイメージしサポーターとして自ら行動する姿勢がある。C:活動プログラムを理解し、技術を習得する。</p>								
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「キャンプ指導者入門」日本キャンプ協会著			この授業は、話し合いや協同作業がメインです。授業外の時間の作業にも責任を持ち、連絡を取り合い進めてください。雨具、靴などは、活動に適した物を各自で用意してもらいます。								

科目名	野外教育	学年学期	4年前期	単位数	1	ナバ`リング	NL47028	研究室	S-23	
担当者	犬飼 己紀子	必修選択	選択	科目種別	演習	オイスア-	火曜日4限			
関連資格	レク`イント			履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度(読替科目)								
		A	B	C						
授業概要										
スポーツ健康学科2年生履修「野外活動」に、ゼミグループのアドバイザーもしくは本部の物品管理スタッフとして参加します。事前ガイダンスから2泊3日のキャンプ期間中を通して、係別の仕事を指南したり、自分たちで企画した活動プログラムを実施したり、と、主導的に動くことが求められます。専門のインストラクターや教員が指導する活動プログラムには、助手として参加します。										
学修到達目標										
教育キャンプに参加する集団に向け、自然を生かした活動を安全で効果的に運営し、仲間との協力を促進するための援助技術を身に着けます。具体的にはリーダーとして、係の仕事を的確に説明し参加者の主体的な取り組みを促すこと、担当グループをサポートしファシリテーションできるようにすることです。										
授業の進め方										
2年生へのガイダンス(学内)と、キャンプ(ラポランド黒姫、2泊3日、9月上旬)の、全日程に帯同し、実際の運営・指導を体験的に学習してもらいます。宿泊・食事は個人負担となるので、参加費用=10,000円程度がかかります。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンス	宿泊型集中授業としての本講義の進め方について、目的、ねらい、参加費用等基本的な内容を確認します。ゼミアドバイザー、本部スタッフの役割を明確に2年生へ伝え、支援にあたります。					質問に答えられるよう、プログラム全体について理解しておく。(1時間)			
2	野外での生活	プログラム、炊事、会計、連絡、記録、安全・保健、といった係活動を分担して、集団生活を運営します。事前ガイダンス以降キャンプ期間中も通して、報告、連絡、相談をしながら係の2年生に指南します。					担当教員からの指示を受け、本部機能を整える。記録係は、しおりを作る。(1時間)			
3	物品管理	プログラムに必要な物品を事前に把握します。大学から持参した物品は、「本部」を設営して収納し、本部スタッフが貸し出しの管理をします。宿泊施設から拝借する物品は、事前に問い合わせます。					必要な物品は、本部スタッフに随時伝える。次年度へ引き継ぐことをリストアップする。(1時間)			
4	コミュニケーションワーク	仲間作りゲームを実施し、参加者達の緊張を和らげます。人間関係が円滑になるような基盤作りを努めます。					担当者を決め、実施方法を話し合っ`て練習しておく。効果についての振り返りをする。(1時間)			
5	目的/対象に合わせたレクリエーションワーク	ローエ`メント、アドベンチャープログラムにおける、グループの変容を観察します。挑戦や葛藤、協力や支え合いなどの体験を通し、参加者たちがチームとしてつながっていくプロセスを学びます。					グループワーク、チーム`ド`の基本的な知識を持っておく。感想や気づきを他者と分かち合う。(1時間)			
6	野外炊事	自分たちの食事作りと、2年生の指導をします。メニューや火着けの指導のほか、各グループ内の作業が特定の人に偏っていないか、コミュニケーションがとれているか、火や刃物の扱いなどに目を配ります。					炊事係の指示を促し調理道具・食材の衛生的な管理。会計係の管理での食材の購入。(1時間)			
7	ナイトプログラム	自然を生かした夜の活動プログラムを企画して実施します。環境に合った服装や必要な持ち物を指導し、参加者の安全を確保します。					必要物品を本部に申請しておく。参加者にどのような効果が与えられたのが振り返りを行う。(1時間)			
8	健康管理	参加者が、自身の体力・健康を保持できるよう、休憩時間を確保します。ケガや事故の起こらぬよう参加者達の様子に目を配り、変化があれば直ちに対処します。					安全・保健係は事前にチェックシートを作成しておく。期間中の参加者に健康管理を促す。(1時間)			
9	活動プログラム	マウンテンバイクによる指導を受けます。インストラクターのサポートをしながら、参加者の変容を観察する。負傷者、はぐれてしまう者が出ぬよう注意しながら活動します。					持ち物、服装などをインストラクターに確認して参加者に伝える。活動の効果を振り返る。(1時間)			
10	活動プログラム	カヌーによる指導を受けます。インストラクターのサポートをしながら、参加者の変容を観察します。水難事故の防止にも努めます。					持ち物、服装などをインストラクターに確認して参加者に伝える。活動の効果を振り返る。(1時間)			
11	活動プログラム	登山による指導を受けます。ルート確認、歩行のペース配慮など、インストラクターのサポートをしながら、参加者の変容を観察します。					持ち物、服装などをインストラクターに確認し参加者に伝える。活動の効果について振り返る。(1時間)			
12	活動プログラム	ハイエ`メント・ツリークライミングによる指導を受けます。高所の苦手な参加者のフォロー、インストラクターのサポートをしながら、参加者の変容を観察します。					持ち物、服装などをインストラクターに確認し、参加者に伝える。活動の効果について振り返る。(1時間)			
13	活動プログラム	川あそびなど、自然に親しむ活動の指導を受けます。指導にあたる教員の助手をしながら、参加者の変容を観察します。					持ち物、服装などを指導者に確認し、参加者に伝える。活動の効果について振り返る。(1時間)			
14	活動プログラム	キャンプファイヤーを実施します。2年生が主体的に動き、楽しめるようなサポートをします。					テーマを話し合い、プログラムを立案する。2年生、教員の関わり方を明確に伝える。(1時間)			
15	振り返り	夜のミーティングにて、その日の出来事を語らい、総括します。2年生のゼミグループでは、語らいの進行役をし、スタッフミーティングでは、各担当からの情報交換や翌日の活動確認を行います。					フィ`ード`バックの基本を知っておく。ここでの気づきをレポート課題に取り入れ、学び深める。(1時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
初回授業で提示します		受講態度：60% レポート：40% S:教育キャンプの目的を理解し、全日程を掌握しリーダー集団と協働して活動中に起こる様々な課題に対応することができる。A:キャンプの目的を理解し、参加者の主体的活動を促す態度でリーダーの役割を担うことができる。B:リーダーの一員として活動中に生じる課題に気づき、解決に向け自ら努力することができる。C:リーダーとしての自分の役割を自覚し、全日程に関わることができる。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「グループの力を生かす」プロジェクトアベンチャー`ジャ`パン著 「対立がちからに」ウィリアム・J.クレイドラー他(プロジェクトアベンチャー`ジャ`パン:訳)著		集合から解散まで全日程参加が必須です。大学を出発して帰るまで、引者としての自覚を持って主体的に取り組んで下さい。「野外教育」を履修しない人は、「野外教育」の履修はできません。								

科目名	地域社会と大学教育（人間健康学部）	学年学期	1年前期	単位数	2	ナバリング	UL11101	研究室	学生セク	
担当者	住吉 廣行	必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-				
関連資格				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度（読替科目）						
	健 ス	A	B	C						
授業概要										
本講義は、初年次教育の意味合いを持たせています。大学のミッション、大学・学部・学科の3ポリシーについて確認します。大学生の特徴を捉えた教育手法を説明し、課題解決型の学びを展開しようとしていること、学生支援についての大学側の考え方がCSの向上にあるのではなく学生をパートナーと見なすというパラダイムシフトを考えていることを説明します。各種センターの機能について説明し、それらを大学生生活の中で活かせるようにします。										
学修到達目標										
大学の教育に対する考え方、大学側が用意している学修支援システムの種類や場所やその機能等について理解すること。そしてそれらを活用するためにも、学生一人一人がこれからの大学生生活をどのように送るべきかを十分に考え、カリキュラムの組み方、取得すべき資格、地域連携・ボランティア活動等学生の自主的な活動への参加などについてプランニングが出来るようになること。										
授業の進め方										
オムニバスでの授業となります。学長、学部長・両学科長、各センター長などが交代で担当します。加えて、大学の「自主独立の精神に基づいて、それぞれの学部に適した内容で前向きな姿勢で講演して下さるゲストをお招きし、熱く語っていただきます。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	長野県、松本市などの特徴	松本大学が立地する長野県、松本市がどのような特色を持った地域であるか、地勢、文化、歴史などから概観し、そのような地で学ぶ事の意義を考える。					事前：パンフレットは熟読する。(2時間)事後：配布したプリントに基づき復習する。(2時間)			
2	大学設立経緯と学校法人の組織	長野県、松本市及び広域連合、松商学園が1/3つ出合った本学の設立経緯、地域立大学と呼ばれる本学及び学生への期待と存在意義、法人組織の全容を紹介する。					事前：配布したプリントを読む。(2時間)事後：本学及び本学部について文章でまとめる。(2時間)			
3	松本大学の教育手法（帰納的教育手法等）、具体例紹介	松本大学の地域連携による多様な取組をいくつか紹介し、それらが学生の成長をどのように促しているかを具体的に把握して貰う。					事前：以前に配布したプリントを読む(2時間)事後：地域連携に必要な資質を考える(2時間)			
4	本学での国際交流の現状と将来	本学の国際交流の現状を具体例を用いて説明し、学生にどのような可能性があるかを確認させる。その中で国際交流委員会が果たす窓口機能の役割も説明する。					事前：グローバル化について検討。(2時間)事後：自身の学修計画に国際を組み込む。(2時間)			
5	健康安全センターの役割、本学における図書館機能	前半は学生の健康を守る者としての健康安全センターの役割を周知し、身体検査結果の解説や喫煙や受動喫煙が体に及ぼす影響に警鐘をならす。後半は大学での学修拠点となる図書館から賢い利用方法を提示する。					事前：キャンパスガイドで健康安全センターと図書館の機能を把握する。(4時間)			
6	地域づくり考房『ゆめ』の存在意義	地域づくり考房『ゆめ』設立の経緯とその理念を理解して貰う。予め準備されたシートに書き込むことによって、自らの地域との関わり方とその可能性を認識する。					事前：活動事例を調べる。(2時間)事後：『ゆめ』を訪問し、活動に触れる。(2時間)			
7	特別講義「積極的に生きる」	特別講師による、これまでの人生経験とそこから育まれた人生観を語っていただき、これからの大学生生活を意欲を持って前向きに取り組むことの意味を学んで貰う。					事後：講義を聞いた感想を短くても良いのでまとめる。(4時間)			
8	学部の理念と特徴、学ぶべき内容	学部のACDポリシーを説明し、学びの体系とその狙いなどを語る。2つの学科が存在することに対する大学側の思いや考え方にも触れ、学生の学修意欲を高めたい。					事前：学部の3ポリシーを理解する。(2時間)事後：ポリシーを踏まえ目標を検討する。(2時間)			
9	学科の理念と特徴、学ぶべき内容	2つある内の一つの学科について、どのような学びの可能性があるかを説明し、将来の就職先との関連などにも言及する。具体例に基づき学生のイメージを膨らませる。					事前：学部の3ポリシーを理解する。(2時間)事後：ポリシーを踏まえ目標を検討する。(2時間)			
10	学科の理念と特徴、学ぶべき内容	もう一つの学科について、その学科の特徴を踏まえて、上と同じような説明を行い、学生の学びへの意欲を高める。					事前：学部の3ポリシーを理解する。(2時間)事後：ポリシーを踏まえ目標を検討する。(2時間)			
11	教職センターの役割1	教職の免許を取るための学びの枠組みや履修するための諸手続きについて詳細に説明する。卒業要件に含まれない単位取得に伴う時間的な制約についても理解する。					事後：配付された資料を読み、教職センターを訪問し疑問点をなくすようにする。(4時間)			
12	教職センターの役割2	教育実習を含む学びの具体的な内容に加え、先輩である卒業生の状況、教員採用状況などについて理解する。学修支援の体制（試験対策）の利用を促す。					事前：前週配布のプリントを読む(2時間)事後：教職課程を取るか否かを検討する(2時間)			
13	自らの特徴を理解する	PROGテストの結果とその見方について解説される。自分自身の持つ特徴について考察する機会とする。					事後：結果は一つの参考データであり、これをどのように受け止めるべきかを良く考える。(4時間)			
14	大学側の学生支援の考え方を理解	松本大学が“B”ポリシーとして学生支援を積極的に考えており、学生をカスタマーではなくパートナーとして見ようと考えているが、その哲学を理解して貰う。					事前：事前配布のプリントを読む。(2時間)事後：自分たちに何が出来るかを考える。(2時間)			
15	松本大学の地方創生戦略と大学教育 授業のまとめ	松本大学がこれまで実施してきた地域連携活動が認められ、COC（地（知）の拠点）大学として認定された。こうした活動を踏まえ、大学のこれからの地域連携を考える。全講義のまとめ、期末試験の注意点を示					事後：蒼穹を読み松本大学のCOCがどのような内容であったかを学んでおく。(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
講義用プリントが配布されます。		定期試験：100% S:大学の使命、教育手法等を正しく理解したうえで、大学生生活に意欲を持ち、卒業に向けた準備学修の計画を立て、試験で特に優れた結果を出すことができる。A:大学の使命、教育手法等を理解したうえで、今後の大学生生活に意欲を持ち、卒業に向けた準備学修の計画ができ、試験で80点以上である。B:大学の使命、教育手法等を概ね理解したうえで、卒業に向けた準備学修の計画ができ試験で70点以上である。C:大学の使命、教育手法等を踏まえ、準備学修の計画がある程度でき、試験で60点以上である。								
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）								
本学が発行する各種パンフレットなど。		講義は前の席で聞きたい学生を予め募集し、席を2列ほど確保します。残りの学生は座席指定とします。シラバスをよく読んで、講義に臨んで下さい。受講票に記入された感想、質問、要望には次の時間に答えたいと思います。								

科目名	知の技法		学年学期	1年後期	単位数	2	ナパリング	UL11102	研究室	A-16
担当者	守 一雄		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日5限、木曜日5限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	2017年度～				
授業概要										
<p>教養ある大人となるための「知の技法」を実習します。「知の技法」は広範囲に及びますが、この授業では言語の活用技術に絞って「読み・書き・聞き・話す」という4つの技能について実習を通して学びます。具体的には、3冊の課題図書を読み、レポートを6回書き、本の内容について6回ディベート(聞き、話す)をします。なお、最終試験の受験資格が与えられるのは「ディベートに5回以上出席し、すべての読後レポートを提出」した者としてします。</p>										
学修到達目標										
<p>1) 本を決められた期間内に読めるようになる。2) パラグラフ・ライティングで文章が書けるようになる。3) ディベートで相手の主張を正しく聞き取ることができるようになる。4) ディベートで自分の意見を決められた時間内に話すことができるようになる。</p>										
授業の進め方										
<p>全部で15回の授業のうち、6回を講義と実習、6回を小グループによるディベートに充てます。講義を聞くだけでなく、課題図書を読み、読後レポートを書き、ディベートで聞き、話すことで、言語の4つの機能をフル活用する授業となるようにします。</p>										
<p>授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。</p>										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	オリエンテーション	この授業の進め方/ディベートのやり方と利点					課題図書(1)の読書(4時間)			
2	パラグラフライティング	レポートの書き方実習(三論点意見文章法)/パラグラフライティング					課題図書(1)の読書(4時間)			
3	ディベート	ディベート導入の是非についてディベート					読後レポート(1)の作成、提出(4時間)			
4	相互添削実習	レポート(1)の返却と相互添削実習 文章推敲の意義と方法					レポート(1)の書き直し(4時間)			
5	ディベート	ディベート導入の是非について再度ディベートします					レポート(1)の完成版提出(4時間)			
6	意見と感想	レポート(1)完成版返却とコメント 絶対評価と相対評価					課題図書(2)の読書(4時間)			
7	ディベート	課題図書(2)に関するテーマについてディベートします					課題図書(2)のレポート(3)提出(4時間)			
8	レポート(3)の相互添削実習	レポート(3)の相互添削実習/三論点文章法の応用					読後レポート(3)の推敲、完成版作成(4時間)			
9	ディベート	課題図書(2)に関するテーマについてディベートします					レポート(3)の書き直しと完成版(4)の提出(4時間)			
10	英語を学ぶことの意義	レポート(4)返却とコメント/科学的思考方法					課題図書(3)の読書(4時間)			
11	ディベート	課題図書(3)に関するテーマについてディベートします					課題図書(3)のレポート(5)提出(4時間)			
12	英語学習の実際	レポート(5)の相互添削実習/三論点文章法の応用					読後レポート(5)の推敲、完成版(6)作成(4時間)			
13	ディベート	課題図書(3)に関するテーマについてディベートします					読後レポート(6)の作成、提出(4時間)			
14	知の技法まとめ	レポート(6)返却とコメント					総合的復習(4時間)			
15	最終試験・授業アンケート	最終試験・授業アンケート					総合的復習(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
<p>「ザ・ディベート」茂木秀昭著(ちくま新書) ISBN:978-4480058928(生協で購入してください。) 課題図書 「残念ながら、その文章では伝わりません」山口拓朗著(たいわ文庫) ISBN:978-4479306597(生協で購入してください。) 課題図書 「英語を制するライティング」キム ジョンキユ著(講談社現代新書)(別途、指示します。) 課題図書</p>					<p>定期試験:100% S:課題を基準レベルで達成し、授業内容の理解、授業内活動、課題図書、自主的学習の3つ以上において優れた成果を示した。A:課題を基準レベルで達成し、授業内容の理解、授業内活動、課題図書、自主的学習の2つ以上において優れた成果を示した。B:課題を基準レベルで達成し、授業内容の理解、授業内活動、課題図書、自主的学習において優れた成果を示した。C:課題すべてを基準レベルで達成した。なお、最終試験では、知識を問うような試験はしません。</p>					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
特になし。					<p>楽な授業ではありませんが、本を読む習慣が付き、文章を書く力がつくはずですが、また、ディベートを通して、自分の主張をわかりやすく話し、相手の主張をしっかりと聞き取れるようになると思います。</p>					

科目名	基礎ゼミナール			学年学期	1年前期	単位数	1	ナパ`リング	UL11103	研究室	S-06
担当者	矢内 和博			必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	月曜日4限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C	2017年度~						
授業概要											
<p>松本大学の学生である自覚をもち、4年間の大学生活で知識や経験を習得し社会を構成する一人の人間として成長するための総合的な教育プログラムです。大学生活を潤滑に送るために必要なヒントを提供します。ゼミ担当教員との少人数での話し合いや、大学で行われている諸活動の紹介などから大学生活を想像してみてください。4年間の大学生活を通して自分が一生をかけてやりたいことを見つけ、人生の目標を明確にし、社会に出るための準備期間、充電期間としての大学生活を有意義なものにしましょう。</p>											
学修到達目標											
<p>高校と異なる授業のやり方、自由な科目選択、自由な時間など、大学生活の自由度は高くこれまでの高校生活と大きく違います。自由な時間をうまく使って大学での4年間で満足できるものにし、知力、学力、人間性を高めるのはあなた次第です。そのために必要となる最小限の心構え、方法・技術、学力などを身につけましょう。最初が肝心です。</p>											
授業の進め方											
<p>講義形式の授業と、演習形式の授業をオムニバス形式で行います。演習形式での授業は基礎教育センター教員が参加して行います。理解が不十分なところ、不明なところは、すぐに、気軽に担当教員に尋ねてください。</p>											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	学生生活の設計(教務委員)	学生生活における時間管理と学習習慣を身につけます。					4年間の学生生活の目標、計画を立ててから、受講しましょう(1時間)				
2	松本大学の学生として	松本大学の学生として(住吉学長)、人間健康学部の学生として(等々力学部長)4年間どのように大学と向き合うかについてお話しします。					事前に同級生と4年間の大学生活で何がやりたいか話し合ってみましょう(1時間)				
3	松本大学の基礎教育(国語1)	松本大学では基礎教育にも力を入れていて、個々の学生に合わせた、きめ細かな教育支援を行っています。基礎教育センターの教員が、国語の基礎学力の支援について、実践形式で指導します。					テキスト『大学での学び方』23~29頁(1時間)				
4	PROG テスト	PROG(プログ)テストは、社会が大学を卒業した者に求めているスキルがどの程度身についているかを、客観的に把握するテストです。自身の状況を確認してみましょう。					自分の現状を知り、3年次にどれだけ進歩したか確認します。				
5	松本大学の基礎教育(国語2)	前回に引き続き、文章力をつける、よく伝わる文章を書くための基礎学力を身につけるため、課題を解きながら実践的指導を行います。					テキスト『大学での学び方』30~33頁(1時間)				
6	レクリエーション	同級生と教員、上級生との交流の場として、スポーツ大会を中心としたイベントを行います。					この日に初めて友達になった人、友達と話した内容、活動内容を書き留めてください(1時間)				
7	松本大学の基礎教育(国語3)	前回に引き続き、公的な場で通用する文章を書くための基礎学力を身につけるため、課題を解きながら実践的指導を行います。					テキスト『大学での学び方』8~22頁、30~33頁(1時間)				
8	悩んでいませんか?(健康安全センター)	新しい環境や大学生活に慣れる頃ですが、健康安全センターの教員が皆さんの悩みの解決に手を貸します。また、保健師と管理栄養士との係わりについてお話しします。					大学生活で不安に感じている事があったら、解決策を得るつもりで受講しましょう(1時間)				
9	大学祭への参加について	大学祭の準備が始まります。上級生の活動経験を参考にしながら、出展についてクラス単位で考えましょう。地域づくり工房ゆめの紹介を行います。					大学祭は、大学のイベントです。みんなで参加できるように議論しましょう。(1時間)				
10	松本大学の基礎教育(数学1)	管理栄養士として必要な数学の基礎を課題を用いて実践的に指導します。					与えられた課題に取り組む。不明な点は基礎教育センターを活用して解決する(1時間)				
11	松本大学の基礎教育(数学2)	管理栄養士として必要な濃度算・希釈率など数学の基礎を課題を用いて実践的に指導します。					与えられた課題に取り組む。不明な点は基礎教育センターを活用して解決する(1.5時間)				
12	松本大学の基礎教育(数学3)	管理栄養士として必要な溶解度・統計処理など、数学の基礎を課題を用いて実践的に指導します。					与えられた課題に取り組む。不明な点は基礎教育センターを活用して解決する(1.5時間)				
13	松本大学の基礎教育(数学4)	管理栄養士として必要な損益算、仕事算など、数学の基礎を課題を用いて実践的に指導します。					与えられた課題に取り組む。不明な点は基礎教育センターを活用して解決する(1.5時間)				
14	確認テストと解説	これまでに学んだ基礎学力が身についているかを、試験問題を解いて確認して下さい。また、問題の解説を聞いてさらに学習が必要なポイントを明らかにし、管理栄養士としての専門科目を学ぶ準備をして下さい。					基礎教育センターによる講義の復習と試験準備(2時間)				
15	前期を終えるにあたって(ゼミ担当者)	前期を振り返ります。ゼミ単位で集まり、大学生活の最初の半年で感じたことなど、話し合ってみましょう。また、長い夏休みに取り組みたいことなども、考えてみましょう。					これからの大学生活を楽しく過ごすにはどのようにしたら良いか考えます(1時間)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
「大学での学び方」(別途、指示します。)						<p>受講態度：50% 出席レポート：15% 小テスト：35%</p> <p>講義、講演への参加状況、質問や発言など積極的に授業に参加しようとする姿勢、事前事後学習の取り組み状況などで評価します。事前事後学習で示されている課題ができていればC、授業で提示された課題を、事前事後学修を含めて最後までできればB、授業に積極的に参加し、発言や意見を求められた場合に対応できればA、大学祭などの学内、学外の行事に積極的に参加できればS。</p>					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
授業で紹介します。						<p>高校生活とは大きく異なる大学生活について考えるとともに、必要なスキルを身につけることを期待しています。大学生活の基本を学ぶという姿勢で取り組んでください。</p>					

科目名	基礎ゼミナール			学年学期	1年後期	単位数	1	ナパ'リング	UL11104	研究室	S-06
担当者	矢内 和博・各教員			必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	金曜日1限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C	2017年度～						
授業概要											
1) 管理栄養士の使命や役割、関連職種との関わりについて学ぶ。2) 栄養学・管理栄養士の発展の歴史について学ぶ。3) 地球レベルでの栄養の課題と取組について学ぶ。											
学修到達目標											
栄養学の歴史を学び、社会における管理栄養士の使命や役割および活動分野の理解を通して、管理栄養士を目指す気持ちを育む。併せて管理栄養士として国際的に活動するために、諸外国の食文化や生活習慣、経済、および栄養政策や制度等を理解する。											
授業の進め方											
医療、福祉、行政、企業、学校等の様々な分野で活躍する管理栄養士、管理栄養士と連携する他職種や最先端の研究をされている方々のお話を伺います。定期的講義以外に特別講演会がありますので、日程に注意して下さい。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	管理栄養士を目指す気持ちを育む導入教育について概説する。また、栄養学・栄養士の発展の歴史について講義します(沖嶋)					要点をまとめて考察する(1時間)				
2	管理栄養士の役割(臨床栄養コース)	臨床栄養の観点から、管理栄養士の役割について講義します。また、臨床栄養コースの説明、履修、就職についてお話しします。(藤岡、成瀬)					要点をまとめて考察する(1時間)				
3	管理栄養士の役割(スポーツ栄養コース)	スポーツ栄養の観点から管理栄養士の役割について講義します。また、スポーツ栄養コースの説明、履修、就職についてお話しします。(長谷川)					要点をまとめて考察する(1時間)				
4	管理栄養士の役割(食品安全コース)	食品安全の観点から管理栄養士の役割について講義します。また、食品安全コースの説明、履修、就職についてお話しします。(高木、沖嶋)					要点をまとめて考察する(1時間)				
5	管理栄養士の役割(フードデザインコース)	食の観点から管理栄養士の役割について講義します。また、フードデザインコースの説明、履修、就職についてお話しします。(石原、矢内)					要点をまとめて考察する(1時間)				
6	管理栄養士の役割	大学院の紹介、また大学院で学ぶ意義について講義します。(山田、木藤) 栄養教諭の紹介と栄養教諭になるために講義します。(廣田)					要点をまとめて考察する(1時間)				
7	管理栄養士の使命や役割、関連職種との関わり(行政・地域)	行政としての管理栄養士としての役割や地域で活躍する管理栄養士について概説します。					要点をまとめて考察しましょう(1時間)				
8	松本大学の基礎教育(国語5)	前期基礎ゼミナールに引き続き、基礎教育センターの教員がレポートの形式について実践的に指導します。実際にレポートを書きます。					テキスト『大学での学び方』74～103項(1時間)				
9	レクリエーション	学年間、教員との交流の場としてスポーツ大会を中心としたレクリエーションを行います。					今日あった出来事をまとめてみましょう(1時間)				
10	松本大学の基礎教育(国語6)	前期基礎ゼミナールに引き続き、基礎教育センターの教員がレポートの形式について実践的に指導します。実際にレポートを書きます。過去4回分の学習が文章中でどう生きているかを学びます。					テキスト『大学での学び方』74～103項(1時間)				
11	管理栄養士の使命や役割、関連職種との関わり	管理栄養士と協働する社会福祉士(廣瀬)、臨床心理士(矢崎)との連携について概説します。					要点をまとめて考察する(1時間)				
12	管理栄養士の使命や役割、関連職種との関わり(福島)	管理栄養士の職業倫理について概説する(福島)。また、管理栄養士と協働する看護師、保健師との連携について概説するとともに、ピアカウンセリングについて学びます(中島)。					要点をまとめて考察する(1時間)				
13	(仮)卒業生との懇談	卒業生をお招きし、様々な分野で活躍する先輩の話を聞きます。就職、国家試験について多くのアドバイスを聞く回とします。					質問を準備してください。また、質問した内容をまとめます。(1時間)				
14	教員、上級生との懇談会	2年生になるための準備として、2年生での授業、実験実習、履修について上級生からレクチャーを受ける回とします。また、国家試験や就職活動について、アドバイスを受けましょう。					質問を準備してください。また、質問した内容をまとめます。(1時間)				
15	後期、1年間を振り返る	後期の学習状況や単位取得状況、1年間大学で学んでどうだったか、自分なりに振り返り、来季に向けて大学とどう向き合っていくか考えましょう。					後期、今年一年を振り返り、次年度に向けて準備を開始しましょう。(1時間)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
配布プリントで対応します。						出席レポート：100% 講義、講演への参加状況、質問や発言など積極的に授業に参加しようとする姿勢、事前事後学習の取り組み状況などで評価します。各授業の内容がきちんとまとめられた出席レポートが提出できればC、加えて授業中、あるいは授業後でも質問できればB、さらに授業テーマに関連する自分の意見を、授業中、あるいは出席レポートで発言できればA、その内容が充実していればS。					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「導入教育」日本栄養改善学会著伊達ちぐさ他編(医歯薬出版株) ISBN: 978-4-263-70980-1						社会における管理栄養士の使命や役割および活動分野の理解を通して、管理栄養士を目指すください。					

科目名	総合英語 (INT) Aクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナパリング	UL12101	研究室	非常勤	
担当者	ミゲル アルバート ミョン		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー				
関連資格	栄教一				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C	~2016年度 英語 (基礎)					
授業概要											
実際に使える英語を修得し活用できるようになるために、基本的な英語でのリーディングやリスニング、スピーキングを行い英語でのコミュニケーションに慣れていきます。英語でのアウトプットの前に十分なインプットを入れ、また同じ意味の様々な英語表現を聞いていく中で、基本的な文型や発話の仕方、コミュニケーションに慣れていきます。また、その理解の過程で慣れてきた英語表現等により、良いコミュニケーションの土台を築きます。											
学修到達目標											
英語での授業を聞き、その内容を理解できる。また、様々な表現に慣れ、表現の幅を広げることができる。											
授業の進め方											
英文に対する説明を英語で聞き、その内容を理解します。必要に応じペアでの意見交換を行います。授業はすべて英語で行われます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	授業の内容、実施方法等についてのオリエンテーション。					授業の在り方を理解し、事前準備を行う。(1時間)				
2	The World's Best-Selling Medicine 1	ガイドンスにおいて授業の実施方法について理解する。世界で最も売れている薬の歴史等について理解する。					授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
3	The World's Best-Selling Medicine 2	授業の実施方法について理解する。世界で最も売られている薬の歴史等について理解する。時間的出来事の経過を理解する。					授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
4	Fighting Diseases with Diseases 1	人間の免疫システムとその発見の歴史について理解する。					授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
5	Fighting Diseases with Diseases 2	人間の免疫システムとその発見の歴史について理解する。主要文と指示文の関係について理解する。					授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
6	Saved from Certain Death 1	致命的なウィルス感染による病気からの回復について理解する。					授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
7	Saved from Certain Death 2	致命的なウィルス感染による病気からの回復について理解する。因果関係について整理し、理解する。					授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
8	Dolphins to the Rescue 1	動物と人間の不思議な関係について理解する。					授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
9	Dolphins to the Rescue 2	動物と人間の不思議な関係について理解する。批判的リーディングについて理解する。					授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
10	The Gentle Giant from Africa 1	キリンが初めてフランスに登場した歴史とその背景について理解する。					授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
11	The Gentle Giant from Africa 2	キリンが初めてフランスに登場した歴史とその背景について理解する。リーディングにおいて他の参考文献等による深い理解について理解する。					授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
12	Animal Detectives 1	猫や犬などの動物の特殊な能力について理解する。					授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
13	Animal Detectives 2	猫や犬などの動物の特殊な能力について理解する。リーディングスピードについて考える。					授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
14	How the Kiwi Got Its Name 1	キウイの名称の変遷について理解する。疑問を持ったリーディングを理解する。					授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
15	How the Kiwi Got Its Name 2	キウイの名称の変遷について理解する。疑問を持ったリーディングを理解する。批判的リーディングスキルを理解する。					授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準									
「READ THIS! 2」Daphne Mackey, Alice Savage著(Cambridge University Press) ISBN:978-0-521-74789-9 (生協で購入してください。)		受講態度:10% 課題:20% 小テスト:20% 定期試験:50% S:授業を高度に又テーマを深く理解し、積極的に課題に取り組み、教科書より難しい英語やテーマが理解できる。A:授業やテーマをよく理解し、積極的に課題に取り組み、教科書よりやや難しい英語やテーマが理解できる。B:授業を概ね理解し、課題に誠実に取り組み、教科書より少し難しい英語が理解できる。C:授業を理解し、課題に誠実に取り組み、内容と同レベルの英語が理解できる。									
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)									
特になし。		原則、欠席は2回までです。授業は全て英語で行われます。意見交換をする際には積極的に意見を英語で言うようにしてください。									

科目名	総合英語 (INT) Bクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナパリング	UL12101	研究室	非常勤
担当者	イサー フィリップ		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	栄教一				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	~2016年度 英語 (基礎)				
授業概要										
<p>実際に使える英語を修得し活用できるようになるために、基本的な英語でのリーディングやリスニング、スピーキングを行い英語でのコミュニケーションに慣れていきます。英語でのアウトプットの前に十分なインプットを入れ、また同じ意味の様々な英語表現を聞いていく中で、基本的な文型や発話の仕方、コミュニケーションに慣れていきます。また、その理解の過程で慣れてきた英語表現等により、良いコミュニケーションの土台を築きます。</p>										
学修到達目標										
英語での授業を聞き、その内容を理解できる。また、様々な表現に慣れ、表現の幅を広げることができる。										
授業の進め方										
英文に対する説明を英語で聞き、その内容を理解します。必要に応じペアでの意見交換を行います。授業はすべて英語で行われます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	授業の内容、実施方法等についてのオリエンテーション。				授業の在り方を理解し、事前準備を行う。(1時間)				
2	The World's Best-Selling Medicine 1	ガイドンスにおいて授業の実施方法について理解する。世界で最も売れている薬の歴史等について理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
3	The World's Best-Selling Medicine 2	授業の実施方法について理解する。世界で最も売れている薬の歴史等について理解する。時間的出来事の経過を理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
4	Fighting Diseases with Diseases 1	人間の免疫システムとその発見の歴史について理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
5	Fighting Diseases with Diseases 2	人間の免疫システムとその発見の歴史について理解する。主要文と指示文の関係について理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
6	Saved from Certain Death 1	致命的なウイルス感染による病気からの回復について理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
7	Saved from Certain Death 2	致命的なウイルス感染による病気からの回復について理解する。因果関係について整理し、理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
8	Dolphins to the Rescue 1	動物と人間の不思議な関係について理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
9	Dolphins to the Rescue 2	動物と人間の不思議な関係について理解する。批判的リーディングについて理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
10	The Gentle Giant from Africa 1	キリンが初めてフランスに登場した歴史とその背景について理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
11	The Gentle Giant from Africa 2	キリンが初めてフランスに登場した歴史とその背景について理解する。リーディングにおいて他の参考文献等による深い理解について理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
12	Animal Detectives 1	猫や犬などの動物の特殊な能力について理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
13	Animal Detectives 2	猫や犬などの動物の特殊な能力について理解する。リーディングスピードについて考える。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
14	How the Kiwi Got Its Name 1	キウイの名称の変遷について理解する。疑問を持ったリーディングを理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
15	How the Kiwi Got Its Name 2	キウイの名称の変遷について理解する。疑問を持ったリーディングを理解する。批判的リーディングスキルを理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「READ THIS! 2」Daphne Mackey, Alice Savage著(Cambridge University Press) ISBN:978-0-521-74789-9 (生協で購入してください。)				<p>受講態度:10% 課題:20% 小テスト:20% 定期試験:50%</p> <p>S:授業を高度に又テーマを深く理解し、積極的に課題に取り組み、教科書より難しい英語やテーマが理解できる。A:授業やテーマをよく理解し、積極的に課題に取り組み、教科書よりやや難しい英語やテーマが理解できる。B:授業を概ね理解し、課題に誠実に取り組み、教科書より少し難しい英語が理解できる。C:授業を理解し、課題に誠実に取り組み、内容と同レベルの英語が理解できる。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
特になし。				原則、欠席は2回までです。授業は全て英語で行われます。意見交換をする際には積極的に意見を英語で言うようにしてください。						

科目名	総合英語 (INT) Cクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナパリング	UL12101	研究室	A-08
担当者	和田 順一		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日2限、水曜日3限		
関連資格	栄教一				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	~2016年度 英語 (基礎)					
授業概要										
実際に使える英語を修得し活用できるようになるために、基本的な英語でのリーディングやリスニング、スピーキングを行い英語でのコミュニケーションに慣れていきます。英語でのアウトプットの前に十分なインプットを入れ、また同じ意味の様々な英語表現を聞いていく中で、基本的な文型や発話の仕方、コミュニケーションに慣れていきます。また、その理解の過程で慣れてきた英語表現等により、良いコミュニケーションの土台を築きます。										
学修到達目標										
英語での授業を聞き、その内容を理解できる。また、様々な表現に慣れ、表現の幅を広げることができる。										
授業の進め方										
英文に対する説明を英語で聞き、その内容を理解します。必要に応じペアでの意見交換を行います。授業はすべて英語で行われます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	授業の内容、実施方法等についてのオリエンテーション。				授業の在り方を理解し、事前準備を行う。(1時間)				
2	The World's Best-Selling Medicine 1	ガイドンスにおいて授業の実施方法について理解する。世界で最も売れている薬の歴史等について理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
3	The World's Best-Selling Medicine 2	授業の実施方法について理解する。世界で最も売れている薬の歴史等について理解する。時間的出来事の経過を理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
4	Fighting Diseases with Diseases 1	人間の免疫システムとその発見の歴史について理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
5	Fighting Diseases with Diseases 2	人間の免疫システムとその発見の歴史について理解する。主要文と指示文の関係について理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
6	Saved from Certain Death 1	致命的なウィルス感染による病気からの回復について理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
7	Saved from Certain Death 2	致命的なウィルス感染による病気からの回復について理解する。因果関係について整理し、理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
8	Dolphins to the Rescue 1	動物と人間の不思議な関係について理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
9	Dolphins to the Rescue 2	動物と人間の不思議な関係について理解する。批判的リーディングについて理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
10	The Gentle Giant from Africa 1	キリンが初めてフランスに登場した歴史とその背景について理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
11	The Gentle Giant from Africa 2	キリンが初めてフランスに登場した歴史とその背景について理解する。リーディングにおいて他の参考文献等による深い理解について理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
12	Animal Detectives 1	猫や犬などの動物の特殊な能力について理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
13	Animal Detectives 2	猫や犬などの動物の特殊な能力について理解する。リーディングスピードについて考える。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
14	How the Kiwi Got Its Name 1	キウイの名称の変遷について理解する。疑問を持ったリーディングを理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
15	How the Kiwi Got Its Name 2	キウイの名称の変遷について理解する。疑問を持ったリーディングを理解する。批判的リーディングスキルを理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「READ THIS! 2」Daphne Mackey, Alice Savage著(Cambridge University Press) ISBN:978-0-521-74789-9 (生協で購入してください。)				受講態度:10% 課題:20% 小テスト:20% 定期試験:50% S:授業を高度に又テーマを深く理解し、積極的に課題に取り組み、教科書より難しい英語やテーマが理解できる。A:授業やテーマをよく理解し、積極的に課題に取り組み、教科書よりやや難しい英語やテーマが理解できる。B:授業を概ね理解し、課題に誠実に取り組み、教科書より少し難しい英語が理解できる。C:授業を理解し、課題に誠実に取り組み、内容と同レベルの英語が理解できる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
特になし。				原則、欠席は2回までです。授業は全て英語で行われます。意見交換をする際には積極的に意見を英語で言うようにしてください。						

科目名	総合英語 (栄養) Aクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ナパリング	UL12101	研究室	非常勤	
担当者	勝山 庸子	必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-				
関連資格	栄教一			履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度(読替科目)								
	A B C	~2016年度 英語 (基礎)								
授業概要										
実際に使える英語を修得し活用できるようになるために、基本文法を復習します。単に文法を暗記するのではなく、耳と口を使って英語を吸収し、会話を楽しみながら学習します。アウトプットを繰り返し行うことで、重要語彙や文法パターンを自然な形で身に付け、TOEICでもハイスコアを目指せるような土台を築きます。										
学修到達目標										
ネイティブスピーカーが話す自然なスピードの英語を聞きとることができる。 基礎文法を使って海外で日常生活ができる程度のスピーキング力を修得している。										
授業の進め方										
アウトプット中心の体験型学習を通して基礎的な会話を復習します。課題もアウトプットが主になります。Eラーニングを採用し、授業中の問題解答や宿題管理を行います。プレースメントテスト成績に基づく人数クラス(原則20名以下)で行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス 英語習得のための意識改革と学習方法	授業の概要と目標、進め方について説明。英語に対する苦手意識や心のバリアを取り払い、授業に積極的に取り組む準備をします。Eラーニングツール「チェックリンク(CL)」を登録。					ゴールの設定、自己学習計画を立てロードマップへ記入する。(1時間)			
2	現在形(Be動詞) First Day of Class	現在形(Be動詞) am, are, beの違い、否定文、疑問文、命令文 学校での会話とリスニング 自己紹介の仕方					P14 A, P16 C (CL) 会話練習、単語、自分の自己紹介を書いてくる(1時間)			
3	一般動詞の現在形 I Love Bread!	一般動詞現在形の否定文、疑問文、命令文 パン屋での会話とリスニング グループで自己紹介					P20 A, P22 C (CL) 会話練習、単語(1時間)			
4	可算名詞と不可算名詞 Pizza Time	可算名詞、不可算名詞の違い ピザ注文の会話とリスニング メニューの読み方					P26 A, P28 C (CL) 会話練習、単語(1時間)			
5	代名詞 Not Just a Baker	代名詞(主格、所有格、目的格、所有代名詞) アルバイトに関する会話とリスニング 好きなバンドを紹介しよう					P32 A, P34 C (CL) 会話練習、単語(1時間)			
6	一般動詞の過去形 What's wrong with Hitomi?	一般動詞(過去形)の変化、否定文・疑問文 病院での会話とリスニング 1日の予定を言ってみよう					P38 A, P40 C (CL) 会話練習、単語(1時間)			
7	中間テスト	中間テスト: 2-6講で学んだダイアログを基にした自由会話の口述テスト 残り時間: 進行形					P44 A, P46 C (CL) 会話練習、単語(1時間)			
8	前置詞 I Feel Healthy Already!	時と場所を表す様々な前置詞 食料品店での会話とリスニング 学校と授業について紹介してみよう					P50 A, P52 C (CL) 会話練習、単語(1時間)			
9	未来形 Small Talk	未来を表す表現(will, be going to) 道案内の会話とリスニング 週末の予定を言ってみよう					P56 A, P58 C (CL) 会話練習、単語(1時間)			
10	現在完了形 Weight Down, Power Up!	現在完了形(経験、継続、完了) ジムでの会話とリスニング To-Do-Listを書いてみよう					P62 A, P64 C (CL) 会話練習、単語(1時間)			
11	比較級と最上級 It's Nice...And	比較級・最上級 自転車店での会話とリスニング 比較級で文章を作ってみよう					P68A, P70 C (CL) 会話練習、単語(1時間)			
12	接続詞 Hitomi Wants a New Look	様々な接続詞(and, or, but, so) 美容室での会話とリスニング 接続詞を使って自分について書いてみよう					P74 A, P76 C (CL) 会話練習、単語(1時間)			
13	動名詞と不定詞 Shopping for Clothes	動名詞と不定詞の意味 ショッピングでの会話とリスニング 自分の好き嫌いについて書いてみよう					P80 A, P82 C (CL) 会話練習、単語(1時間)			
14	疑問詞 I'm Meeting a Friend	疑問詞の種類(5W1H) ルームメイトとの会話とリスニング 最近行ったレストランを紹介してみよう					P86 A, P88 C (CL) 会話練習、単語(1時間)			
15	助動詞 Date Night	様々な助動詞(can, should, must, have to, might) 回転寿司店での会話とリスニング 学校の規則について書いてみよう					P92 A, P94 C (CL) 会話練習、単語(1時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
「English Aid」Robert Hickling / Misato Usukura 著(金星堂) ISBN:9784764740365(生協で購入してください。)		受講態度:10% 定期試験:30% 課題:30% 小テスト:30% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
参考書は授業内で紹介します。		インターネットでダウンロードした音声を活用した課題が出ます。PC、スマートフォンのいずれかが必要です。英語上達には、積極性と地道な努力が不可欠。英語を話す自分をイメージし、会話を楽しみながら受講してください。								

科目名	総合英語（栄養）Bクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12101	研究室	非常勤	
担当者	佐々木 智美	必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー				
関連資格	栄教一			履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度（読替科目）								
	A B C	～2016年度 英語（基礎）								
授業概要										
実際に使える英語を修得し活用できるようになるために、基本文法を復習します。単に文法を暗記するのではなく、耳と口を使って英語を吸収し、会話を楽しみながら学習します。アウトプットを繰り返し行うことで、重要語彙や文法パターンを自然な形で身に付け、TOEICでもハイスコアを目指せるような土台を築きます。										
学修到達目標										
ネイティブスピーカーが話す自然なスピードの英語を聞きとることができる。基礎文法を使って海外で日常生活ができる程度のスピーキング力をつける。										
授業の進め方										
アウトプット中心の体験型学習を通して基礎的な会話を復習します。課題もアウトプットが主になります。Eラーニングを採用し、授業中の問題解答や宿題管理を行います。プレースメントテスト成績に基づく人数クラス（原則20名以下）で行います。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス 英語習得のための意識改革と学習方法	授業の概要と目標、進め方について説明。英語に対する苦手意識や心のバリアを取り払い、授業に積極的に取り組む準備をします。Eラーニングツール「チェックリンク（CL）」を登録。					ゴールの設定、自己学習計画を立てロードマップへ記入する。（1時間）			
2	現在形（Be動詞） First Day of Class	現在形（Be動詞）am, are, beの違い、否定文、疑問文、命令文 学校での会話とリスニング 自己紹介の仕方					P14 A, P16 C (CL) 会話練習、単語、自分の自己紹介を書いてくる（1時間）			
3	一般動詞の現在形 I Love Bread!	一般動詞現在形の否定文、疑問文、命令文 パン屋での会話とリスニング グループで自己紹介					P20 A, P22 C (CL) 会話練習、単語（1時間）			
4	可算名詞と不可算名詞 Pizza Time	可算名詞、不可算名詞の違い ピザ注文の会話とリスニング メニューの読み方					P26 A, P28 C (CL) 会話練習、単語（1時間）			
5	代名詞 Not Just a Baker	代名詞（主格、所有格、目的格、所有代名詞） アルバイトに関する会話とリスニング 好きなバンドを紹介しよう					P32 A, P34 C (CL) 会話練習、単語（1時間）			
6	一般動詞の過去形 What's wrong with Hitomi?	一般動詞（過去形）の変化、否定文・疑問文 病院での会話とリスニング 1日の予定を言ってみよう					P38 A, P40 C (CL) 会話練習、単語（1時間）			
7	中間テスト	中間テスト：2-6講で学んだダイアログを基にした自由会話の口述テスト 残り時間：進行形					P44 A, P46 C (CL) 会話練習、単語（1時間）			
8	前置詞 I Feel Healthy Already!	時と場所を表す様々な前置詞 食料品店での会話とリスニング 学校と授業について紹介してみよう					P50 A, P52 C (CL) 会話練習、単語（1時間）			
9	未来形 Small Talk	未来を表す表現（will, be going to） 道案内の会話とリスニング 週末の予定を言ってみよう					P56 A, P58 C (CL) 会話練習、単語（1時間）			
10	現在完了形 Weight Down, Power Up!	現在完了形（経験、継続、完了） ジムでの会話とリスニング To-Do-Listを書いてみよう					P62 A, P64 C (CL) 会話練習、単語（1時間）			
11	比較級と最上級 It's Nice...And	比較級・最上級 自転車店での会話とリスニング 比較級で文章を作ってみよう					P68A, P70 C (CL) 会話練習、単語（1時間）			
12	接続詞 Hitomi Wants a New Look	様々な接続詞（and, or, but, so） 美容室での会話とリスニング 接続詞を使って自分について書いてみよう					P74 A, P76 C (CL) 会話練習、単語（1時間）			
13	動名詞と不定詞 Shopping for Clothes	動名詞と不定詞の意味 ショッピングでの会話とリスニング 自分の好き嫌いについて書いてみよう					P80 A, P82 C (CL) 会話練習、単語（1時間）			
14	疑問詞 I'm Meeting a Friend	疑問詞の種類（5W1H） ルームメイトとの会話とリスニング 最近行ったレストランを紹介してみよう					P86 A, P88 C (CL) 会話練習、単語（1時間）			
15	助動詞 Date Night	様々な助動詞（can, should, must, have to, might） 回転寿司店での会話とリスニング 学校の規則について書いてみよう					P92 A, P94 C (CL) 会話練習、単語（1時間）			
テキスト		成績評価の方法・基準								
「English Aid」Robert Hickling / Misato Usukura 著（金星堂） ISBN:9784764740365（生協で購入してください。）		受講態度：10% 定期試験：30% 課題：30% 小テスト：30% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。								
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）								
参考書は授業内で紹介します。		インターネットでダウンロードした音声を活用した課題が出ます。PC、スマートフォンの上で必要です。英語上達には、積極性と地道な努力が不可欠。英語を話す自分をイメージし、会話を楽しみながら受講してください。								

科目名	総合英語（栄養）Cクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12101	研究室	非常勤	
担当者	櫻井 智子	必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-				
関連資格	栄教一			履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度（読替科目）								
	A B C	~2016年度 英語（基礎）								
授業概要										
実際に使える英語を修得し活用できるようになるために、基本文法を復習します。単に文法を暗記するのではなく、耳と口を使って英語を吸収し、会話を楽しみながら学習します。アウトプットを繰り返し行うことで、重要語彙や文法パターンを自然な形で身に付け、TOEICでもハイスコアを目指せるような土台を築きます。										
学修到達目標										
ネイティブスピーカーが話す自然なスピードの英語を聞きとることができる。 基礎文法を使って海外で日常生活ができる程度のスピーキング力を修得している。										
授業の進め方										
アウトプット中心の体験型学習を通して基礎的な会話を復習します。課題もアウトプットが主になります。Eラーニングを採用し、授業中の問題解答や宿題管理を行います。プレースメントテスト成績に基づく人数クラス（原則20名以下）で行います。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス 英語習得のための意識改革と学習方法	授業の概要と目標、進め方について説明。英語に対する苦手意識や心のバリアを取り払い、授業に積極的に取り組む準備をします。Eラーニングツール「チェックリンク（CL）」を登録。					ゴールの設定、自己学習計画を立てロードマップへ記入する。（1時間）			
2	現在形（Be動詞） First Day of Class	現在形（Be動詞）am, are, beの違い、否定文、疑問文、命令文 学校での会話とリスニング 自己紹介の仕方					P14 A, P16 C (CL) 会話練習、単語、自分の自己紹介を書いてくる（1時間）			
3	一般動詞の現在形 I Love Bread!	一般動詞現在形の否定文、疑問文、命令文 パン屋での会話とリスニング グループで自己紹介					P20 A, P22 C (CL) 会話練習、単語（1時間）			
4	可算名詞と不可算名詞 Pizza Time	可算名詞、不可算名詞の違い ピザ注文の会話とリスニング メニューの読み方					P26 A, P28 C (CL) 会話練習、単語（1時間）			
5	代名詞 Not Just a Baker	代名詞（主格、所有格、目的格、所有代名詞） アルバイトに関する会話とリスニング 好きなバンドを紹介しよう					P32 A, P34 C (CL) 会話練習、単語（1時間）			
6	一般動詞の過去形 What's wrong with Hitomi?	一般動詞（過去形）の変化、否定文・疑問文 病院での会話とリスニング 1日の予定を言ってみよう					P38 A, P40 C (CL) 会話練習、単語（1時間）			
7	中間テスト	中間テスト：2-6講で学んだダイアログを基にした自由会話の口述テスト 残り時間：進行形					P44 A, P46 C (CL) 会話練習、単語（1時間）			
8	前置詞 I Feel Healthy Already!	時と場所を表す様々な前置詞 食料品店での会話とリスニング 学校と授業について紹介してみよう					P50 A, P52 C (CL) 会話練習、単語（1時間）			
9	未来形 Small Talk	未来を表す表現（will, be going to） 道案内の会話とリスニング 週末の予定を言ってみよう					P56 A, P58 C (CL) 会話練習、単語（1時間）			
10	現在完了形 Weight Down, Power Up!	現在完了形（経験、継続、完了） ジムでの会話とリスニング To-Do-Listを書いてみよう					P62 A, P64 C (CL) 会話練習、単語（1時間）			
11	比較級と最上級 It's Nice...And	比較級・最上級 自転車店での会話とリスニング 比較級で文章を作ってみよう					P68A, P70 C (CL) 会話練習、単語（1時間）			
12	接続詞 Hitomi Wants a New Look	様々な接続詞（and, or, but, so） 美容室での会話とリスニング 接続詞を使って自分について書いてみよう					P74 A, P76 C (CL) 会話練習、単語（1時間）			
13	動名詞と不定詞 Shopping for Clothes	動名詞と不定詞の意味 ショッピングでの会話とリスニング 自分の好き嫌いについて書いてみよう					P80 A, P82 C (CL) 会話練習、単語（1時間）			
14	疑問詞 I'm Meeting a Friend	疑問詞の種類（5W1H） ルームメイトとの会話とリスニング 最近行ったレストランを紹介してみよう					P86 A, P88 C (CL) 会話練習、単語（1時間）			
15	助動詞 Date Night	様々な助動詞（can, should, must, have to, might） 回転寿司店での会話とリスニング 学校の規則について書いてみよう					P92 A, P94 C (CL) 会話練習、単語（1時間）			
テキスト		成績評価の方法・基準								
「English Aid」Robert Hickling / Misato Usukura 著（金星堂） ISBN:9784764740365（生協で購入してください。）		受講態度：10% 定期試験：30% 課題：30% 小テスト：30% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。								
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）								
参考書は授業内で紹介します。		インターネットでダウンロードした音声を活用した課題が出ます。PC、スマートフォンの上で必要です。英語上達には、積極性と地道な努力が不可欠。英語を話す自分をイメージし、会話を楽しみながら受講してください。								

科目名	総合英語 (INT) Aクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12102	研究室	非常勤
担当者	ミゲル アルバート ション	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	栄教一			履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度(読替科目)							
	A B C	~2016年度 英語 (初級)							
授業概要									
前期に学修したコミュニケーションのための言い換え等の表現や英語力を活用し、英文の内容を理解し、その内容を相手に伝えるように英語を使っていきます。また、伝える相手の表現を聞くことにより、自分自身の表現を増やしていきます。									
学修到達目標									
英語での授業を聞き、その内容を理解できる。また、それらの言い換えを学び、自分自身の表現したい内容を伝えることができる。									
授業の進め方									
英文に対する説明を英語で聞き、その内容を理解します。読んだ英文の内容を自分自身の表現でその内容を相手に伝えたり、自分自身の意見を発言します。授業は全て英語で行われます。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	ガイダンス・Ice Hotel 1	ガイダンスにおいて授業の実施方法について理解する。またTourism and Hospitalityのトピックの中で、具体的なホテルの英文を読み理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)			
2	Ice Hotel 2	またTourism and Hospitalityのトピックの中で、具体的なホテルの英文を読み、時系列の考え方を理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)			
3	The Traveling Chef 1	Tourism and Hospitalityのトピックで様々な文化での食について理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)			
4	The Traveling Chef 2	Tourism and Hospitalityのトピックで様々な文化での食について理解する。また主文と支持文の関係を理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)			
5	Sail High in the Sky 1	Tourism and Hospitalityのトピックで具体的な建築物のホテルを例にしてその様子を理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)			
6	Sail High in the Sky 2	Tourism and Hospitalityのトピックで具体的な建築物のホテルを例にしてその様子を理解する。またリーディングの速さも意識する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)			
7	The Mysterious Disappearance of Kaiko 1	Earth Scienceのトピックで深海の探査を行った「かいこう」について理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)			
8	The Mysterious Disappearance of Kaiko 2	Earth Scienceのトピックで深海の探査を行った「かいこう」について理解する。また英文を正確に理解、表現するために代名詞の照応を理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)			
9	An Ocean of Plastic 1	Earth Scienceのトピックで太平洋のごみの集積される場所についての理解をする。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)			
10	An Ocean of Plastic 2	Earth Scienceのトピックで太平洋のごみの集積される場所についての理解をする。また文章の構造の因果関係について理解をする。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)			
11	Ed Pulaski and the Big Burn 1	Earth Scienceのトピックでアメリカで起こった森林火災について理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)			
12	Ed Pulaski and the Big Burn 2	Earth Scienceのトピックでアメリカで起こった森林火災について理解する。また物語文の時系列の考えを理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)			
13	The Flying Housewife 1	Sports and Fitnessのトピックでスポーツの分野で初期に活躍した女性の話を理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)			
14	The Flying Housewife 2	Sports and Fitnessのトピックでスポーツの分野で初期に活躍した女性の話を理解する。また読解において類推能力を使用し、作者の意図を理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)			
15	Blade Runner	Sports and Fitnessのトピックで障害を持つ選手のOlympicsへの挑戦を理解する。また英文中の情報を整理し理解することを理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
「READ THIS! 3」Alice Savage, et al. 著 (Cambridge University Press) ISBN:978-0-521-74793-6 (生協で購入してください。)		受講態度:10% 課題:20% 小テスト:20% 定期試験:50% S:授業を高度に又テーマを深く理解し、積極的に課題に取り組み、教科書より難しい英語やテーマが理解できる。A:授業やテーマをよく理解し、積極的に課題に取り組み、教科書よりやや難しい英語やテーマが理解できる。B:授業を概ね理解し、課題に誠実に取り組み、教科書より少し難しい英語が理解できる。C:授業を理解し、課題に誠実に取り組み、内容と同レベルの英語が理解できる。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
特になし。		原則、欠席は2回までです。英語で授業が行われます。意見交換をする際には積極的に意見を英語で言うようにしてください。							

科目名	総合英語 (INT) Bクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナパリング	UL12102	研究室	非常勤
担当者	イサー フィリップ		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	栄教一				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	~2016年度 英語 (初級)				
授業概要										
前期に学修したコミュニケーションのための言い換え等の表現や英語力を活用し、英文の内容を理解し、その内容を相手に伝えるように英語を使っていきます。また、伝える相手の表現を聞くことにより、自分自身の表現を増やしていきます。										
学修到達目標										
英語での授業を聞き、その内容を理解できる。また、それらの言い換えを学び、自分自身の表現したい内容を伝えることができる。										
授業の進め方										
英文に対する説明を英語で聞き、その内容を理解します。読んだ英文の内容を自分自身の表現でその内容を相手に伝えたり、自分自身の意見を発言します。授業は全て英語で行われます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス・Ice Hotel 1	ガイダンスにおいて授業の実施方法について理解する。またTourism and Hospitalityのトピックの中で、具体的なホテルの英文を読み理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
2	Ice Hotel 2	またTourism and Hospitalityのトピックの中で、具体的なホテルの英文を読み、時系列の考え方を理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
3	The Traveling Chef 1	Tourism and Hospitalityのトピックで様々な文化での食について理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
4	The Traveling Chef 2	Tourism and Hospitalityのトピックで様々な文化での食について理解する。また主文と支持文の関係を理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
5	Sail High in the Sky 1	Tourism and Hospitalityのトピックで具体的な建築物のホテルを例にしてその様子を理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
6	Sail High in the Sky 2	Tourism and Hospitalityのトピックで具体的な建築物のホテルを例にしてその様子を理解する。またリーディングの速さも意識する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
7	The Mysterious Disappearance of Kaiko 1	Earth Scienceのトピックで深海の探査を行った「かいこう」について理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
8	The Mysterious Disappearance of Kaiko 2	Earth Scienceのトピックで深海の探査を行った「かいこう」について理解する。また英文を正確に理解、表現するために代名詞の照応を理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
9	An Ocean of Plastic 1	Earth Scienceのトピックで太平洋のごみの集積される場所についての理解をする。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
10	An Ocean of Plastic 2	Earth Scienceのトピックで太平洋のごみの集積される場所についての理解をする。また文章の構造の因果関係について理解をする。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
11	Ed Pulaski and the Big Burn 1	Earth Scienceのトピックでアメリカで起こった森林火災について理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
12	Ed Pulaski and the Big Burn 2	Earth Scienceのトピックでアメリカで起こった森林火災について理解する。また物語文の時系列の考え方を理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
13	The Flying Housewife 1	Sports and Fitnessのトピックでスポーツの分野で初期に活躍した女性の話を理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
14	The Flying Housewife 2	Sports and Fitnessのトピックでスポーツの分野で初期に活躍した女性の話を理解する。また読解において類推能力を使用し、作者の意図を理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
15	Blade Runner	Sports and Fitnessのトピックで障害を持つ選手のOlympicsへの挑戦を理解する。また英文中の情報を整理し理解することを理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
「READ THIS! 3」Alice Savage, et al. 著 (Cambridge University Press) ISBN:978-0-521-74793-6 (生協で購入してください。)			受講態度:10% 課題:20% 小テスト:20% 定期試験:50% S:授業を高度に又テーマを深く理解し、積極的に課題に取り組み、教科書より難しい英語やテーマが理解できる。A:授業やテーマをよく理解し、積極的に課題に取り組み、教科書よりやや難しい英語やテーマが理解できる。B:授業を概ね理解し、課題に誠実に取り組み、教科書より少し難しい英語が理解できる。C:授業を理解し、課題に誠実に取り組み、内容と同レベルの英語が理解できる。							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
特になし。			原則、欠席は2回までです。英語で授業が行われます。意見交換をする際には積極的に意見を英語で言うようにしてください。							

科目名	総合英語 (INT) クラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12102	研究室	A-08
担当者	和田 順一	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日2限		
関連資格	栄教一			履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
		A	B	C	~2016年度 英語 (初級)				
授業概要									
前期に学修したコミュニケーションのための言い換え等の表現や英語力を活用し、英文の内容を理解し、その内容を相手に伝えるように英語を使っていきます。また、伝える相手の表現を聞くことにより、自分自身の表現を増やしていきます。									
学修到達目標									
英語での授業を聞き、その内容を理解できる。また、それらの言い換えを学び、自分自身の表現したい内容を伝えることができる。									
授業の進め方									
英文に対する説明を英語で聞き、その内容を理解します。読んだ英文の内容を自分自身の表現でその内容を相手に伝えたり、自分自身の意見を発言します。授業は全て英語で行われます。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	ガイダンス・Ice Hotel 1	ガイダンスにおいて授業の実施方法について理解する。またTourism and Hospitalityのトピックの中で、具体的なホテルの英文を読み理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)			
2	Ice Hotel 2	またTourism and Hospitalityのトピックの中で、具体的なホテルの英文を読み、時系列の考え方を理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)			
3	The Traveling Chef 1	Tourism and Hospitalityのトピックで様々な文化での食について理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)			
4	The Traveling Chef 2	Tourism and Hospitalityのトピックで様々な文化での食について理解する。また主文と支持文の関係を理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)			
5	Sail High in the Sky 1	Tourism and Hospitalityのトピックで具体的な建築物のホテルを例にしてその様子を理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)			
6	Sail High in the Sky 2	Tourism and Hospitalityのトピックで具体的な建築物のホテルを例にしてその様子を理解する。またリーディングの速さも意識する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)			
7	The Mysterious Disappearance of Kaiko 1	Earth Scienceのトピックで深海の探査を行った「かいこう」について理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)			
8	The Mysterious Disappearance of Kaiko 2	Earth Scienceのトピックで深海の探査を行った「かいこう」について理解する。また英文を正確に理解、表現するために代名詞の照応を理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)			
9	An Ocean of Plastic 1	Earth Scienceのトピックで太平洋のごみの集積される場所についての理解をする。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)			
10	An Ocean of Plastic 2	Earth Scienceのトピックで太平洋のごみの集積される場所についての理解をする。また文章の構造の因果関係について理解をする。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)			
11	Ed Pulaski and the Big Burn 1	Earth Scienceのトピックでアメリカで起こった森林火災について理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)			
12	Ed Pulaski and the Big Burn 2	Earth Scienceのトピックでアメリカで起こった森林火災について理解する。また物語文の時系列の考えを理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)			
13	The Flying Housewife 1	Sports and Fitnessのトピックでスポーツの分野で初期に活躍した女性の話を理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)			
14	The Flying Housewife 2	Sports and Fitnessのトピックでスポーツの分野で初期に活躍した女性の話を理解する。また読解において類推能力を使用し、作者の意図を理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)			
15	Blade Runner	Sports and Fitnessのトピックで障害を持つ選手のOlympicsへの挑戦を理解する。また英文中の情報を整理し理解することを理解する。				授業で理解できない部分について復習をし、明確にしておく。(1時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
「READ THIS! 3」Alice Savage, et al. 著 (Cambridge University Press) ISBN:978-0-521-74793-6 (生協で購入してください。)		受講態度:10% 課題:20% 小テスト:20% 定期試験:50% S:授業を高度に又テーマを深く理解し、積極的に課題に取り組み、教科書より難しい英語やテーマが理解できる。A:授業やテーマをよく理解し、積極的に課題に取り組み、教科書よりやや難しい英語やテーマが理解できる。B:授業を概ね理解し、課題に誠実に取り組み、教科書より少し難しい英語が理解できる。C:授業を理解し、課題に誠実に取り組み、内容と同レベルの英語が理解できる。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
特になし。		原則、欠席は2回までです。英語で授業が行われます。意見交換をする際には積極的に意見を英語で言うようにしてください。							

科目名	総合英語 (栄養) Aクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナパリング	UL12102	研究室	非常勤
担当者	勝山 庸子		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-			
関連資格	栄教一				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	~2016年度 英語 (初級)				
授業概要										
総合英語を受講した学生が基礎文法を応用し、TOEICレベルの英語を聞く・読む力を養うクラスです。総合英語に続きリスニング、スピーキングを中心に学習します。これまでの学習スタイルに加えネイティブが話す英語にある音の変化を学び、聞き取れるよう取り組みます。また100字から150字のリーディング問題を難なくとけるよう、サイトトランスレーションの技術を学びます。										
学修到達目標										
ネイティブスピーカーが話す自然な英語を聞きとり、復唱ができる。 基礎文法に加え、語彙やイディオムを増やし、より自由に英語で自己表現ができる。 簡単な新聞記事なども推測しながら内容把握ができる。										
授業の進め方										
リスニングにディクテーションを加え、読み書きの力もつけていきます。事前課題は音読などを行い、授業で発表することで課題点が与えられます。映像から話を理解し、同じような場面設定で発話ができるよう練習します。100語程度の長文読解も取り入れます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	Scene1: It's so nice to meet you! be動詞と一般動詞, 挨拶をする	授業の概要と目標、授業の進め方を説明。 be動詞と一般動詞の性質や使い方の確認 「握手」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)			
2	Scene2: Is he a popular professor?疑問文と否定文, 自己紹介をする	疑問文と否定文の特徴 自己紹介する際の口語表現 「クラブ活動」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)			
3	Scene3: He showed me "a" way 現在形と過去形, 感想を言う	現在形と過去形の使い方 自分の感想や感情を表す口語表現 「ホームステイ」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)			
4	Scene4: For here or to go?可算名詞と不可算名詞, 注文をする	可算名詞と不可算名詞の違いと使い方 注文をする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)			
5	Scene5: She is so beautiful 代名詞, お願いをする	代名詞の確認 お願いをする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)			
6	Scene6: Catching a cab 前置詞, 場所を説明する	前置詞の性質と使い方 場所を説明する時の口語表現 「チップ」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)			
7	中間テスト(口述) Scene7: How Romantic!	中間テスト: 1-6講で学んだ内容のロールプレイ発表 残り時間: 形容詞と副詞の違いと使い方 人を描写する際の口語表現					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)			
8	Scene8: I'm not feeling well 助動詞, 体調を述べる	助動詞の種類と使い方 体調を表現するときの口語表現 「旅行保険」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)			
9	Scene9: Tickets for a Yankee Game 進行形, 誘う	進行形の使い方 行動を誘う時の口語表現 「大学スポーツ」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)			
10	Scene10: What's on the shopping list?接続詞, 誘いを断る	接続詞の種類 誘いを断る時の口語表現 「健康食」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)			
11	Scene11: MoMA is fun! 現在完了形, 聞き直す	現在完了形の種類と使い方 聞き直す時の口語表現 「フロドウェイ」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)			
12	Scene12: The "Fourth of July" is coming up 未来形, 予定を尋ねる	未来形の種類と使い方 予定を尋ねる時の口語表現 「独立記念日」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)			
13	Scene13: Who is that guy?!不定詞と動名詞, 提案する	不定詞と動名詞の性質と使い方 提案する時の口語表現 「カレッジタウン」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)			
14	Scene14: You're my friend, 比較級と最上級	比較級と最上級の使い方 会話を切り出す時の口語表現 「結婚年齢」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)			
15	まとめ	口述テスト: グループに分かれ、これまで学んだ内容を使ってフリートーク					期末試験に向けての準備(1時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「映像で学ぶ はじめてのNYホームステイ - Hello New York! -」土屋武久、本多吉彦 Braven Smillie 著(金星堂) ISBN:9784764740112 (生協で購入してください。)					受講態度: 10% 定期試験: 30% 課題: 30% 小テスト: 30% S: 授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A: 授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B: 授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C: 授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
参考書は授業内で紹介します。					インターネットでダウンロードした音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマホのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。楽しみながら受講して下さい。					

科目名	総合英語 (栄養) Bクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナパリング	UL12102	研究室	非常勤
担当者	佐々木 智美		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	栄教一				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	~2016年度 英語 (初級)				
授業概要										
総合英語を受講した学生が基礎文法を応用し、TOEICレベルの英語を聞く・読む力を養うクラスです。総合英語に続きリスニング、スピーキングを中心に学習します。これまでの学習スタイルに加えネイティブが話す英語にある音の変化を学び、聞き取れるよう取り組みます。また100字から150字のリーディング問題を難なくとけるよう、サイトトランスレーションの技術を学びます。										
学修到達目標										
ネイティブスピーカーが話す自然な英語を聞きとり、復唱ができる。 基礎文法に加え、語彙やイディオムを増やし、より自由に英語で自己表現ができる。 簡単な新聞記事なども推測しながら内容把握ができる。										
授業の進め方										
リスニングにディクテーションを加え、読み書きの力もつけていきます。事前課題は音読などを行い、授業で発表することで課題点が与えられます。映像から話を理解し、同じような場面設定で発話ができるよう練習します。100語程度の長文読解も取り入れます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	Scene1: It's so nice to meet you! be動詞と一般動詞, 挨拶をする	授業の概要と目標、授業の進め方を説明。 be動詞と一般動詞の性質や使い方の確認 「握手」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)			
2	Scene2: Is he a popular professor?疑問文と否定文, 自己紹介をする	疑問文と否定文の特徴 自己紹介する際の口語表現 「クラブ活動」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)			
3	Scene3: He showed me "a" way 現在形と過去形, 感想を言う	現在形と過去形の使い方 自分の感想や感情を表す口語表現 「ホームステイ」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)			
4	Scene4: For here or to go?可算名詞と不可算名詞, 注文をする	可算名詞と不可算名詞の違いと使い方 注文をする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)			
5	Scene5: She is so beautiful 代名詞, お願いをする	代名詞の確認 お願いをする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)			
6	Scene6: Catching a cab 前置詞, 場所を説明する	前置詞の性質と使い方 場所を説明する時の口語表現 「チップ」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)			
7	中間テスト(口述) Scene7: How Romantic!	中間テスト: 1-6講で学んだ内容のロールプレイ発表 残り時間: 形容詞と副詞の違いと使い方 人を描写する際の口語表現					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)			
8	Scene8: I'm not feeling well 助動詞, 体調を述べる	助動詞の種類と使い方 体調を表現するときの口語表現 「旅行保険」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)			
9	Scene9: Tickets for a Yankee Game 進行形, 誘う	進行形の使い方 行動を誘う時の口語表現 「大学スポーツ」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)			
10	Scene10: What's on the shopping list?接続詞, 誘いを断る	接続詞の種類 誘いを断る時の口語表現 「健康食」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)			
11	Scene11: MoMA is fun! 現在完了形, 聞き直す	現在完了形の種類と使い方 聞き直す時の口語表現 「フロドウェイ」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)			
12	Scene12: The "Fourth of July" is coming up 未来形, 予定を尋ねる	未来形の種類と使い方 予定を尋ねる時の口語表現 「独立記念日」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)			
13	Scene13: Who is that guy?!不定詞と動名詞, 提案する	不定詞と動名詞の性質と使い方 提案する時の口語表現 「カレッジタウン」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)			
14	Scene14: You're my friend, 比較級と最上級	比較級と最上級の使い方 会話を切り出す時の口語表現 「結婚年齢」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)			
15	まとめ	口述テスト: グループに分かれ、これまで学んだ内容を使ってフリートーク					期末試験に向けての準備(1時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「映像で学ぶ はじめてのNYホームステイ - Hello New York! -」土屋武久、本多吉彦 Braven Smillie 著(金星堂) ISBN:9784764740112(生協で購入してください。)					受講態度: 10% 定期試験: 30% 課題: 30% 小テスト: 30% S: 授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A: 授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B: 授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C: 授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
参考書は授業内で紹介します。					インターネットでダウンロードした音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマホのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。楽しみながら受講して下さい。					

科目名	総合英語（栄養）Cクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナパリング	UL12102	研究室	非常勤
担当者	櫻井 智子		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-			
関連資格	栄教一				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）				
			A	B	C	~2016年度 英語（初級）				
授業概要										
総合英語を受講した学生が基礎文法を応用し、TOEICレベルの英語を聞く・読む力を養うクラスです。総合英語に続きリスニング、スピーキングを中心に学習します。これまでの学習スタイルに加えネイティブが話す英語にある音の変化を学び、聞き取れるよう取り組みます。また100字から150字のリーディング問題を難なくとけるよう、サイトトランスレーションの技術を学びます。										
学修到達目標										
ネイティブスピーカーが話す自然な英語を聞きとり、復唱ができる。 基礎文法に加え、語彙やイディオムを増やし、より自由に英語で自己表現ができる。 簡単な新聞記事なども推測しながら内容把握ができる。										
授業の進め方										
リスニングにディクテーションを加え、読み書きの力もつけていきます。事前課題は音読などを行い、授業で発表することで課題点が与えられます。映像から話を理解し、同じような場面設定で発話ができるよう練習します。100語程度の長文読解も取り入れます。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	Scene1: It's so nice to meet you! be動詞と一般動詞, 挨拶をする	授業の概要と目標、授業の進め方を説明。 be動詞と一般動詞の性質や使い方の確認 「握手」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）			
2	Scene2: Is he a popular professor?疑問文と否定文, 自己紹介をする	疑問文と否定文の特徴 自己紹介する際の口語表現 「クラブ活動」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）			
3	Scene3: He showed me "a" way 現在形と過去形, 感想を言う	現在形と過去形の使い方 自分の感想や感情を表す口語表現 「ホームステイ」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）			
4	Scene4: For here or to go?可算名詞と不可算名詞, 注文をする	可算名詞と不可算名詞の違いと使い方 注文をする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）			
5	Scene5: She is so beautiful 代名詞, お願いをする	代名詞の確認 お願いをする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）			
6	Scene6: Catching a cab 前置詞, 場所を説明する	前置詞の性質と使い方 場所を説明する時の口語表現 「チップ」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）			
7	中間テスト（口述） Scene7: How Romantic!	中間テスト：1-6講で学んだ内容のロールプレイ発表 残り時間：形容詞と副詞の違いと使い方 人を描写する際の口語表現					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）			
8	Scene8: I'm not feeling well 助動詞、体調を述べる	助動詞の種類と使い方 体調を表現するときの口語表現 「旅行保険」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）			
9	Scene9: Tickets for a Yankee Game 進行形、誘う	進行形の使い方 行動を誘う時の口語表現 「大学スポーツ」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）			
10	Scene10: What's on the shopping list?接続詞、誘いを断る	接続詞の種類 誘いを断る時の口語表現 「健康食」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）			
11	Scene11: MoMA is fun! 現在完了形、聞き直す	現在完了形の種類と使い方 聞き直す時の口語表現 「フロドウェイ」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）			
12	Scene12: The "Fourth of July" is coming up 未来形、予定を尋ねる	未来形の種類と使い方 予定を尋ねる時の口語表現 「独立記念日」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）			
13	Scene13: Who is that guy?!不定詞と動名詞、提案する	不定詞と動名詞の性質と使い方 提案する時の口語表現 「カレッジタウン」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）			
14	Scene14: You're my friend、比較級と最上級	比較級と最上級の使い方 会話を切り出す時の口語表現 「結婚年齢」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）			
15	まとめ	口述テスト：グループに分かれ、これまで学んだ内容を使ってフリートーク					期末試験に向けての準備（1時間）			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「映像で学ぶ はじめてのNYホームステイ - Hello New York! -」土屋武久、本多吉彦 Braven Smillie 著（金星堂） ISBN:9784764740112（生協で購入してください。）					受講態度：10% 定期試験：30% 課題：30% 小テスト：30% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書					履修上の注意（学生へのメッセージ）					
参考書は授業内で紹介します。					インターネットでダウンロードした音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマホのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。楽しみながら受講して下さい。					

科目名	総合英語		学年学期	2年前期	単位数	1	ナバリング	UL22103	研究室	非常勤
担当者	大岩 裕子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	~2016年度 英語 (中級)				
授業概要										
音読は苦手ではありませんか。読めない単語は聞き取れませんし、覚えられないものです。遠回りなようで英語を聞き、声に出して読むことが、リスニングや読解力のアップにつながります。英語を読むことに慣れましょう。スポーツと健康、教育という身近なテーマに関する平易な英文で、「読む」「聞く」「書く」力を鍛えます。										
学修到達目標										
日本語との違いを意識して「相手に届く声」で正確に英語を読むことができること、表現に必要な基本文法を理解し、会話や作文で応用できること、まとまった量の英文の内容を読み取る読解力を身につけている。										
授業の進め方										
声を出す機会をできる限り多く設けます。予習してあることを前提にテキストを進めますので、ダウンロードした音声を聞き、音読の練習をしてきてください。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス・発声練習と子音の発音	自分の呼吸・口形を意識して英語の子音を発音してみましょう。音読しやすい短文で、まずはしっかり声を出すことから始めます。				ウォーミングアップのテキストの発声練習をしてください。(1時間)				
2	Warming Up!	適切なウォーミングアップとクールダウンとは? ストレッチングも効果的です。				Unit1本文の音声を聞き、音読と練習問題をやっておくこと。(1時間)				
3	Sports Nutrition!	アスリートに必要な栄養とは? 健康的な食事について学びます。				Unit2本文の音声を聞き、音読と練習問題をやっておくこと。(1時間)				
4	Sevens rugby!	走力・筋力・体力を備えた選手がぶつかり合うラグビー。オリンピック種目になった7人制ラグビーの誕生について学びます。				Unit3本文の音声を聞き、音読と練習問題をやっておくこと。(1時間)				
5	Athletics!	オリンピックの花、陸上競技について学びます。				Unit4本文の音声を聞き、音読と練習問題をやっておくこと。(1時間)				
6	Weight Training!	今注目のウェイトトレーニング。効果的な方法とは?				Unit5本文の音声を聞き、音読と練習問題をやっておくこと。(1時間)				
7	Women's Soccer!	人気の女子サッカー。その歴史について学びます。				Unit6本文の音声を聞き、音読と練習問題をやっておくこと。(1時間)				
8	Sports Supplements!	スポーツサプリメントの功罪とは?				Unit7本文の音声を聞き、音読と練習問題をやっておくこと。(1時間)				
9	Swimming!	多くの動物は生まれながらに泳げますが、人は泳ぎ方を教わらなくては泳げません。水泳競技がオリンピック種目になった経緯とは?				Unit8本文の音声を聞き、音読と練習問題をやっておくこと。(1時間)				
10	Judo!	柔道は今や世界で広く愛好されています。柔道の誕生と発展の過程について学びます。				Unit9本文の音声を聞き、音読と練習問題をやっておくこと。(1時間)				
11	Sports Psychology!	最高の結果につながるメンタルトレーニングとは? スポーツ心理学の観点から考えてみましょう。				Unit10本文の音声を聞き、音読と練習問題をやっておくこと。(1時間)				
12	Equestrian!	人馬一体となって挑む馬術競技。その奥深さについて学びます。				Unit11本文の音声を聞き、音読と練習問題をやっておくこと。(1時間)				
13	The Paralympic Games and Special Olympic World Games!	パラリンピックとスペシャルオリンピックの歴史について学びます。				Unit12本文の音声を聞き、音読と練習問題をやっておくこと。(1時間)				
14	Gymnastics!	オリンピックでもメダルが期待される体操競技。各種目を詳しく見てみましょう。				Unit14本文の音声を聞き、音読と練習問題をやっておくこと。(1時間)				
15	Sportsmanship!	真のスポーツマンシップとは?				Unit15本文の音声を聞き、音読と練習問題をやっておくこと。(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「Sports and English」Toshiyuki Sakabe, Matthew J. Cotter, Noriaki Okajima 他 Yoshihiko Shinano著(南雲堂) ISBN:978-4-523-17825-5 C0082(生協で購入してください。) 開講が決まってから購入してください。				定期試験:80% 受講態度:20% 受講態度は、課題の提出状況、授業への意欲(予習、発言)等で総合的に判断します。S:授業内容をほぼ100%理解し、意欲的に課題をこなし優秀な成績をおさめている。A:積極的に課題に取り組み、授業内容をよく理解し、目標を十分に達成している。B:授業をおおよそ理解し、真面目に課題に取り組み目標を達成している。C:授業内容を60%程度理解し、基本目標をほぼ達成している。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
なし				自宅で音読の練習をすること。辞書を持参すること。必ず予習をして講義に臨んでください。						

科目名	総合英語		学年学期	2年後期	単位数	1	ナパリング	UL22104	研究室	非常勤
担当者	大岩 裕子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	~2016年度 英語 (上級)				
授業概要										
音読は苦手ではありませんか。読めない単語は聞き取れませんし、覚えられないものです。遠回りなようでも英文を聞き、声に出して読むことがリスニングや読解力のアップにつながります。英語を読むことに慣れましょう。食・運動・健康・育といった身近なテーマに関する平易な英文で、「読む」「聞く」「書く」力を鍛えます。										
学修到達目標										
日本語との違いを意識して「相手に届く声」で正確に英語を読むことができること、表現に必要な基本文法を理解し、会話や作文で応用できること、まとまった量の英文の内容を読み取る読解力を身につけている。										
授業の進め方										
声を出す機会をできる限り多く設けます。予習してあることを前提にテキストを進めますので、ダウンロードした音声を聞き、音読の練習をしてきてください。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンス・発声練習と子音の発音	自分の呼吸・口形を意識して英語の子音を発音してみましょう。音読しやすい短文で、まずはしっかり声を出すことから始めます。					ウォーミングアップのテキストの発声練習をしてください。(1時間)			
2	Fuel Your Body and Mind / 心身を育む朝食	朝食を摂らないとどのような影響が出てくるのか考えます/ つながる音を意識して読みましょう。					Unit1の音声を聞き音読と練習問題をやっておくこと。(1時間)			
3	What Helps Keep a Doctor Away? / 医者にかからなくて済むように	運動不足がもたらす悪影響について考えます/ つながる音、聞こえない音を意識して読みましょう。					Unit2の音声を聞き音読と練習問題をやっておくこと。(1時間)			
4	laughing Will Save You from Going Crazy / 笑いが心身にもたらす影響は?	笑いがもたらす効果について考えます / 発音されない子音hとその前後の連結を意識して読みましょう。					Unit3の音声を聞き音読と練習問題をやっておくこと。(1時間)			
5	The French Paradox / フランス人はなぜ太らないか	フレンチパラドックスとはどのようなものでしょうか/ 隣り合う音同士が影響してできる新しい音を練習しましょう。					Unit4の音声を聞き音読と練習問題をやっておくこと。(1時間)			
6	Americans' Interest in Sushi / 寿司もわさびも大人気	英語で寿司を説明してみましょう。わさびが健康にもたらす効果とは? / 英語の持つ強弱のリズムを意識して読みましょう。					Unit5の音声を聞き音読と練習問題をやっておくこと。(1時間)			
7	Don't Stay Away from Natto / 納豆を食べるといいことばかり	納豆の持つ驚くべき効果とは? 納豆が苦手な理由は? / 文の内容と強弱の関係を意識して読みましょう。					Unit6の音声を聞き音読と練習問題をやっておくこと。(1時間)			
8	Acute Alcohol Intoxication Can Kill You / 急性アルコール中毒	急性アルコール中毒の危険性について考えます/ 強くなる音と強勢のある語の差を意識して読みましょう。					Unit7の音声を聞き音読と練習問題をやっておくこと。(1時間)			
9	Is Snoring a Bad Sign? / いびきは体の危険なサイン	いびきの危険性について考えます/ 舌先で作るtとdの弾き音を練習しましょう。					Unit8の音声を聞き音読と練習問題をやっておくこと。(1時間)			
10	Getting a Good Night Sleep is a Challenge / 質の良い睡眠をとるには	睡眠障害とその原因について考えます/ 否定語の意識して読みましょう。					Unit9の音声を聞き音読と練習問題をやっておくこと。(1時間)			
11	Chocolate and its Magical Power / チョコレートの秘めたる力	ダークチョコレートの効用について考えます/ 対比している情報を意識して読みましょう。					Unit10の音声を聞き音読と練習問題をやっておくこと。(1時間)			
12	The Health Risks of Eating Processed Food / どうして加工食品はよくないか	加工食品を過度に摂取することの問題を考えます/ 句動詞のアクセントを意識して読みましょう。					Unit11の音声を聞き音読と練習問題をやっておくこと。(1時間)			
13	Is Genetically Modified Food Safe Enough? / 遺伝子組み換え食品の危険性	遺伝子組み換え食品の危険性について考えます/ 英語のリズムや音の変化を意識して読みましょう。					Unit12の音声を聞き音読と練習問題をやっておくこと。(1時間)			
14	Environmental Health Threats / アレルギー反応の怖さを知ろう	アレルギー反応、アナフィラキシーについて考えます/ 音変化を意識した音読をしましょう。					Unit13の音声を聞き音読と練習問題をやっておくこと。(1時間)			
15	講義全体のまとめ	重要表現の復習					もう一度音声を聞き、正確に読む練習をしておくこと。(1時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「Better Health for Every Day」Toshiaki Nishihara / Mayumi Nishihara / Amy Mukamuri 著(金星堂) ISBN:978-4-7647-3983-3C1082 (生協で購入してください。) 開講が決まってから購入してください。					定期試験:80% 受講態度:20% 受講態度は、課題の提出状況、授業への意欲(予習、発言)等で総合的に判断します。S:授業内容をほぼ100%理解し、意欲的に課題をこなし優秀な成績をおさめている。A:積極的に課題に取り組み、授業内容をよく理解し、目標を十分に達成している。B:授業をおおよそ理解し、真面目に課題に取り組み目標を達成している。C:授業内容を60%程度理解し、基本目標をほぼ達成している。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
なし					自宅で音読の練習をすること。辞書を持参すること。必ず予習をして講義に臨んでください。					

科目名	英会話 Aクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12105	研究室	非常勤
担当者	フレデリック ガース		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	~2016年度 英会話 (入門)				
授業概要										
<p>さまざまな日常的话题について、英語を聞き、話すことを練習します。 We will practice listening and speaking English about a wide variety of everyday topics.</p>										
学修到達目標										
<p>日常的な英会話を修得し、自信を持ってコミュニケーションをとることができる。 Upon finishing this class, students will be able to communicate more confidently in English.</p>										
授業の進め方										
毎週の授業はまずテキストを聞くことから始め、つぎに質問の発音を練習します。その後学生はペアになって話し、学習した質問をしたりそれに答えたりします。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンスGuidance	授業への導入 Introduction to the class					Preparation for a test.(1h)			
2	Getting to know each other	Get to know each other game					Write a self-introduction.(1h)			
3	Getting to know each other	Teacher interview					Report on an English reading book.(1h)			
4	Dates and Ordinal Numbers	Japanese holidays and events; Birthdays					Write Japanese holidays.(1h)			
5	Dates and Ordinal Numbers	Describing weather around the world					Write about the weather in your hometown.(1h)			
6	Personal Information	Ask and answer questions about yourself					Write about yourself.(1h)			
7	Personal Information	Japanese celebrities					Write about a Japanese celebrity.(1h)			
8	Likes and Dislikes	Ask about likes and dislikes					Write about something you like.(1h)			
9	Likes and Dislikes	Interviews about likes and dislikes; favorites					Write about your favorite.(1h)			
10	Counters and Singular/Plural	Ogui contest; Review singular/plural					Report on an English reading book.(1h)			
11	Counters and Singular/Plural	Card activity to practice singular/plural					Write about "What 's in my refrigerator." (1h)			
12	Wh- Questions	Question formation; Adverbs of frequency					Write about something you like.(1h)			
13	Wh- Questions	Discussion about interests					Write about a T.V. show or movie you like.(1h)			
14	Can and Can ' t	Talk about abilities					Write about some of the things you can do.(1h)			
15	まとめ Review	Review course, prepare for final examination					Prepare for final examination.(1h)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「Talk a Lot, Starter Book, Second edition」David Martin著 (EFL Press) (生協で購入してください。)					<p>課題：25% 定期試験：25% 授業への参加度：25% 努力点：25% Reports: 25%, Final examination: 25%, Class Attitude:25%, Assignments: 25%. S:主体的かつ意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容すべてを理解している。A:主体的かつ意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の8割以上を理解している。B:意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の7割以上を理解している。C:意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の6割以上を理解している。</p>					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
辞書 Any dictionary					いつでもメールで私に連絡してください。 Please contact me by email at fredcarruth@hotmail.com anytime.					

科目名	英会話 Bクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナパ'リング	UL12105	研究室	非常勤
担当者	久田 康子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	~2016年度 英会話 (入門)				
授業概要										
<p>ナチュラルで実用的な基礎英会話を、考えなくても自動的にできるまでに習得していくために、スピーキングとリスニングのトレーニングと、ペアでの英語コミュニケーションを重ねていきます。まとめとして、ユニットごとのミニ・プレゼンテーションと、2度の総合プレゼンテーションをすることで重要構文を繰り返し復習し、より正確で自由度の高い会話力とコミュニケーション力を高めていきます。</p>										
学修到達目標										
<p>日本語を通さずに直接英語で考えて実用的な基礎英会話ができる達成感を段階的に積み重ねることで、学ぶ意欲と自信を高め、社会にでてからも自主的に学び続けることのできる方法を身に付けていきます。自主的な姿勢で自らとパートナーのコーチになって工夫しながらトレーニングをすることができるようになることをめざします。</p>										
授業の進め方										
<p>アクティブラーニングを実施し、文法事項の予習クイズの後、テキストに沿ってリスニングとペアワークで話す練習をします。クラスの後半では、完成させた総括課題をクラスの中でシェアして学び合います。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス	現状の英語能力の確認のためにプレイズメント・テストを受けます。					基礎的な英語の総復習。			
2	Unit 1AB	予習クイズ、会話演習とミニプレゼンテーション。					予習クイズの準備			
3	Unit 2AB	予習クイズ、会話演習とミニプレゼンテーション。					予習クイズの準備			
4	Unit 3AB	予習クイズ、会話演習とミニプレゼンテーション。					予習クイズの準備			
5	Unit 4AB	予習クイズ、会話演習とミニプレゼンテーション。					予習クイズの準備			
6	Unit 5AB	予習クイズ、会話演習とミニプレゼンテーション。					予習クイズの準備			
7	Unit 6AB	予習クイズ、会話演習とミニプレゼンテーション。					予習クイズの準備			
8	Presentation[1](課題)	Unit 1-6 テキストを見ないでペアで行う会話試験。					Unit 1-6の総復習			
9	Unit 7AB	予習クイズ、会話演習とミニプレゼンテーション。					予習クイズの準備			
10	Unit 8AB	予習クイズ、会話演習とミニプレゼンテーション。					予習クイズの準備			
11	Unit 9AB	予習クイズ、会話演習とミニプレゼンテーション。					予習クイズの準備			
12	Unit 10AB	予習クイズ、会話演習とミニプレゼンテーション。					予習クイズの準備			
13	Unit 11AB	予習クイズ、会話演習とミニプレゼンテーション。					予習クイズの準備			
14	Unit 12AB	予習クイズ、会話演習とミニプレゼンテーション。					予習クイズの準備			
15	Presentation[2](課題)	Unit 7-12 テキストを見ないでペアで行う会話試験。					Unit 7-12の総復習			
テキスト					成績評価の方法・基準					
<p>「Get Real! New Edition Level [1] Student Book 生協様、注文は日本出版貿易に願います」Angela Buckingham, Miles Craven and David Williamson著(MACMILLAN) ISBN:978-0-230-44708-0(生協で購入してください。)</p> <p>テキストは毎回使用しますので、早期の購入をお願いします。</p>					<p>出席レポート:30% 課題:40% 定期試験:30%</p> <p>S:授業内容を高度に理解し実践力を身に付け批判的思考力に基づく探究姿勢で課題に取り組み難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し実践力を身に付け、積極的な探究姿勢で課題に取り組みやや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおよそを理解し実践することができ、与えられた課題に誠実に取り組み応用問題が解ける。C:授業内容の60%程度を理解し実践することができ与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。</p>					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
<p>「辞書(例:ジーニアス英和・和英辞典など) 電子辞書を推奨します。」辞書には、作文に役立つ例文が豊富にあり、大変便利です。毎回持参して下さい。</p>					<p>授業の大半は演習ですので、皆さん一人一人が主役となって自主的な姿勢で活躍してください。また、お互いに助け合い、学び合ってください。</p>					

科目名	英会話 Cクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナパ`リッ`	UL12105	研究室	非常勤
担当者	フレ`リッ` ガ-ス		必修選択	選択	科目種別	講義	オィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	~2016年度 英会話 (入門)				
授業概要										
<p>さまざまな日常的话题について、英語を聞き、話すことを練習します。 We will practice listening and speaking English about a wide variety of everyday topics.</p>										
学修到達目標										
<p>日常的な英会話を修得し、自信を持ってコミュニケーションをとることができる。 Upon finishing this class, students will be able to communicate more confidently in English.</p>										
授業の進め方										
毎週の授業はまずテキストを聞くことから始め、つぎに質問の発音を練習します。その後学生はペアになって話し、学習した質問をしたりそれに答えたりします。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンスGuidance	授業への導入 Introduction to the class					Preparation for a test.(1h)			
2	Getting to know each other	Get to know each other game					Write a self-introduction.(1h)			
3	Getting to know each other	Teacher interview					Report on an English reading book.(1h)			
4	Dates and Ordinal Numbers	Japanese holidays and events; Birthdays					Write Japanese holidays.(1h)			
5	Dates and Ordinal Numbers	Describing weather around the world					Write about the weather in your hometown.(1h)			
6	Personal Information	Ask and answer questions about yourself					Write about yourself.(1h)			
7	Personal Information	Japanese celebrities					Write about a Japanese celebrity.(1h)			
8	Likes and Dislikes	Ask about likes and dislikes					Write about something you like.(1h)			
9	Likes and Dislikes	Interviews about likes and dislikes; favorites					Write about your favorite.(1h)			
10	Counters and Singular/Plural	Ogui contest; Review singular/plural					Report on an English reading book.(1h)			
11	Counters and Singular/Plural	Card activity to practice singular/plural					Write about "What 's in my refrigerator." (1h)			
12	Wh- Questions	Question formation; Adverbs of frequency					Write about something you like.(1h)			
13	Wh- Questions	Discussion about interests					Write about a T.V. show or movie you like.(1h)			
14	Can and Can ' t	Talk about abilities					Write about some of the things you can do.(1h)			
15	まとめ Review	Review course, prepare for final examination					Prepare for final examination.(1h)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「Talk a Lot, Starter Book, Second edition」David Martin著(EFL Press)(生協で購入してください。)					<p>課題:25% 定期試験:25% 授業への参加度:25% 努力点:25% Reports:25%, Final examination:25%, Class Attitude:25%, Assignments:25%。S:主体的かつ意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容すべてを理解している。A:主体的かつ意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の8割以上を理解している。B:意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の7割以上を理解している。C:意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の6割以上を理解している。</p>					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
辞書 Any dictionary					いつでもメールで私に連絡してください。 Please contact me by email at fredcarruth@hotmail.com anytime.					

科目名	英会話 Dクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12105	研究室	N-02
担当者	マレット ショーン	必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー	月曜日3限、木曜日1限		
関連資格				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
		A	B	C	~2016年度 英会話 (入門)				
授業概要									
<p>どんな状況でも自信を持って英語を使えるようにすることがこのコースの目的です。特に、物事を表現したり、意見を述べたり、説明やプレゼンの仕方を学びます。異文化コミュニケーション、クリティカルシンキング、ポキャブラリーの増強、正確な文法、流暢な会話を目指してください。</p>									
学修到達目標									
<p>本コースではスピーキング力を伸ばすために、個人的かつ学術的に興味深いトピックについてディスカッションを行います。「TED Talks」からスピーチを学び、実際に自分の「TED Talks」を作り上げましょう。様々なトピックについて自然で文法的に正しい会話ができるような教材を準備しますので、教員の指示に従い、グループディスカッションやプレゼンで使用するツール持参してください。</p>									
授業の進め方									
<p>積極的に授業に参加すること。教員およびクラスメートの話を注意して聞くこと。全ての授業に出席すること。クラスを休むと宿題が出ます。宿題の内容について教員または級友に連絡すること。予習をして遅刻をせずに授業に来ること。</p>									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容			事前事後学修				
1	オリエンテーション。	Orientation to this "English Speaking" class. Introduction to the evaluation of this class, as well as to the textbook.			Purchase the textbook, and then become familiar with its format. Study ユニット 1.				
2	ユニット 1- Friends and Family (Lesson 1)	ユニット 1- Friends and Family (Lesson 1)			Study ユニット 1. それらは、クラスで公表します。				
3	ユニット 1- Friends and Family (Lesson2)	ユニット 1- Friends and Family (Lesson2)			Study ユニット 1. それらは、クラスで公表します。				
4	ユニット 1- Friends and Family (Lesson3)	ユニット 1- Friends and Family (Lesson3)			Study ユニット 1. それらは、クラスで公表します。				
5	ユニット 1- Friends & Family (Lesson 4)- Test.	ユニット 1- Friends & Family (Lesson 4)- Chapter Test.			Study ユニット 1. それらは、クラスで公表します。				
6	ユニット 2- Jobs Around the World (Lesson 1)	ユニット 2- Jobs Around the World (Lesson 1)			Study ユニット 2. それらは、クラスで公表します。				
7	ユニット 2- Jobs Around the World (Lesson 2)	ユニット 2- Jobs Around the World (Lesson 2)			Study ユニット 2. それらは、クラスで公表します。				
8	ユニット 2- Jobs Around the World (Lesson 3)	ユニット 2- Jobs Around the World (Lesson 3)			Study ユニット 2. それらは、クラスで公表します。				
9	ユニット 2- Jobs Around the World (Lesson 4)- Test.	ユニット 2- Jobs Around the World (Lesson 4)- Chapter Test.			Study ユニット 2. それらは、クラスで公表します。				
10	ユニット3: Houses and Apartments (Lesson 1)	ユニット3: Houses and Apartments (Lesson 1)			Study ユニット 3. それらは、クラスで公表します。				
11	ユニット3: Houses and Apartments (Lesson 2)	ユニット3: Houses and Apartments (Lesson 2)			Study ユニット 3. それらは、クラスで公表します。				
12	ユニット3: Houses and Apartments (Lesson 3)	ユニット3: Houses and Apartments (Lesson 3)			Study ユニット 3. それらは、クラスで公表します。				
13	ユニット3: Houses and Apartments (Lesson 4)- Test.	ユニット3: Houses and Apartments (Lesson 4)- Chapter Test.			Study ユニット 3. それらは、クラスで公表します。				
14	ユニット4: Possessions (Lesson 1)	ユニット4: Possessions (Lesson 1)			Study ユニット 4. それらは、クラスで公表します。				
15	ユニット4: Possessions (Lesson 2)	ユニット4: Possessions (Lesson 2) ~The final class of this semester .			Study ユニット 4. それらは、クラスで公表します。				
テキスト		成績評価の方法・基準							
「World English Introduction (Second Edition, 2015)」 Martin Milner, Rebecca Chase, And Kristen Johannsen 著 (National Geographic Learning - Cengage) ISBN:978-1-305-08955-6 (生協で購入してください。)		定期試験 : 30% 各回のプレゼンテーションに対する評価 70%							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「Any English language dictionary.」		Students are expected to prepare their homework, or to engage in other forms of self-study, before each weekly class session. Students are also expected to review & consolidate the material covered in class.							

科目名	英会話 Aクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12106	研究室	N-02	
担当者	マネット ショーン	必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ	月曜日3限、水曜日1限			
関連資格				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度(読替科目)								
	A B C	~2016年度 英会話 (基礎)								
授業概要										
どんな状況でも自信を持って英語を使えるようにすることがこのコースの目的です。特に、物事を表現したり、意見を述べたり、説明やプレゼンの仕方を学びます。異文化コミュニケーション、クリティカルシンキング、ポキャブラリーの増強、正確な文法、流暢な会話を目指してください。										
学修到達目標										
本コースではスピーキング力を伸ばすために、個人的かつ学術的に興味深いトピックについてディスカッションを行います。「TED Talks」からスピーチを学び、実際に自分の「TED Talks」を作り上げましょう。様々なトピックについて自然で文法的に正しい会話ができるような教材を準備しますので、教員の指示に従い、グループディスカッションやプレゼンで使用するツール持参してください。										
授業の進め方										
積極的に授業に参加すること。教員およびクラスメートの話を注意して聞くこと。全ての授業に出席すること。クラスを休むと宿題が出ます。宿題の内容について教員または級友に連絡すること。予習をして遅刻をせずに授業に来ること。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	オリエンテーション。	Orientation to this "English Speaking II" class. Introduction to the evaluation of this second semester class, as well as to the latter half of the textbook.					Refresh yourself with the textbook. Study the latter half of ユニット 4.			
2	ユニット4: Possessions (Lesson 3)	ユニット4: Possessions (Lesson 3)					Study ユニット 4. それらは、クラスで公表します。			
3	ユニット4: Possessions (Lesson 4) ~ Chapter Test.	ユニット4: Possessions (Lesson 4) ~ Chapter Test.					Study ユニット 4. それらは、クラスで公表します。			
4	ユニット 5: Daily Activities (Lesson 1)	ユニット 5: Daily Activities (Lesson 1)					Study ユニット 5. それらは、クラスで公表します。			
5	ユニット 5: Daily Activities (Lesson 2)	ユニット 5: Daily Activities (Lesson 2)					Study ユニット 5. それらは、クラスで公表します。			
6	ユニット 5: Daily Activities (Lesson 3)	ユニット 5: Daily Activities (Lesson 3)					Study ユニット 5. それらは、クラスで公表します。			
7	ユニット 5: Daily Activities (Lesson 4) ~ Chapter Test.	ユニット 5: Daily Activities (Lesson 4) ~ Chapter Test.					Study ユニット 5. それらは、クラスで公表します。			
8	ユニット 6: Getting There (Directions) (Lesson 1)	ユニット 6: Getting There (Directions) (Lesson 1)					Study ユニット 6. それらは、クラスで公表します。			
9	ユニット 6: Getting There (Directions) (Lesson 2)	ユニット 6: Getting There (Directions) (Lesson 2)					Study ユニット 6. それらは、クラスで公表します。			
10	ユニット 6: Getting There (Directions) (Lesson 3)	ユニット 6: Getting There (Directions) (Lesson 3)					Study ユニット 6. それらは、クラスで公表します。			
11	ユニット 6: Getting There (Directions) (Lesson 4) - Chapter Test	ユニット 6: Getting There (Directions) (Lesson 4) - Chapter Test					Study ユニット 6. それらは、クラスで公表します。			
12	ユニット 7: Free Time (Lesson 1)	ユニット 7: Free Time (Lesson 1)					Study ユニット 7. それらは、クラスで公表します。			
13	ユニット 7: Free Time (Lesson 2)	ユニット 7: Free Time (Lesson 2)					Study ユニット 7. それらは、クラスで公表します。			
14	ユニット 7: Free Time (Lesson 3)	ユニット 7: Free Time (Lesson 3)					Study ユニット 7. それらは、クラスで公表します。			
15	ユニット 7: Free Time (Lesson 4) - Chapter Test.	ユニット 7: Free Time (Lesson 4) - Chapter Test.					Study ユニット 7. それらは、クラスで公表します。			
テキスト		成績評価の方法・基準								
「World English Introduction (Second Edition, 2015)」 Martin Milner, Rebecca Chase, And Kristen Johannsen 著 (National Geographic Learning - Cengage) ISBN:978-1-305-08955-6 (生協で購入してください。)		定期試験: 30% 各回のプレゼンテーションに対する評価 70%								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「Any English language dictionary.」		Students are expected to prepare their homework, or to engage in other forms of self-study, before each weekly class session. Students are also expected to review & consolidate the material covered in class.								

科目名	英会話 Bクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12106	研究室	非常勤
担当者	フレデリック ガース		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	~2016年度 英会話 (基礎)				
授業概要										
<p>さまざまな日常的话题について、英語を聞き、話すことを練習します。 We will practice listening and speaking English about a wide variety of everyday topics.</p>										
学修到達目標										
<p>英会話 で修得した英語能力をさらに向上させ、さまざまな日常的话题について自信をもってコミュニケーションをとることができる。 Upon finishing this class, students will be able to communicate more confidently in English.</p>										
授業の進め方										
毎週の授業はまずテキストを聞くことから始め、つぎに質問の発音を練習します。その後学生はペアになって話し、学習した質問をしたりそれに答えたりします。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンスGuidance	授業への導入 Introduction to the class					Preparation for a test.(1h)			
2	Simple Present and Describing Things	Listen and guess the creature; Simple present					Report on an English reading book.(1h)			
3	Simple Present and Describing Things	Describing food; Food crossword					Write a description of an animal or insect.(1h)			
4	Family	Talk about relatives					Bring family pictures.(1h)			
5	Family	Ask and answer questions about family and pets					Report on an English reading book.(1h)			
6	Simple Past: Questions and Stories	Ask and answer questions about what you did yesterday, last weekend					Write about what you did last weekend.(1h)			
7	Simple Past: Questions and Stories	Telling a story					Finish the story on page 33.(1h)			
8	Jobs	Talk about jobs and what they are like					Report on an English reading book.(1h)			
9	Jobs	Talk about jobs					Describe a job.(1h)			
10	Making Comparisons	Study comparison forms, then play the Comparison Game					Write a comparison of two things.(1h)			
11	Making Comparisons	Ask and answer comparison and superlative questions					Write about the most ____ in your life.(1h)			
12	Numbers	Numbers: pronunciation, bingo, math game, tell time					Write about your daily schedule.(1h)			
13	Numbers	Ask and answer questions about your daily schedule					Write about what you did today.(1h)			
14	Present and Past Progressive	Ask and answer questions about actions					Be ready to play the Action Game.(1h)			
15	まとめ Review	Review course, prepare for final examination					Prepare for final examination.(1h)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「Talk a Lot, Starter Book, Second edition」David Martin著(EFL Press)(生協で購入してください。)					<p>課題: 25% 定期試験: 25% 授業への参加度: 25% 努力点: 25% Reports: 25%, Final examination: 25%, Class Attitude: 25%, Assignments: 25%。 S: 主体的かつ意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容すべてを理解している。 A: 主体的かつ意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の8割以上を理解している。 B: 意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の7割以上を理解している。 C: 意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の6割以上を理解している。</p>					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
辞書 Any dictionary					いつでもメールで私に連絡してください。 Please contact me by email at fredcarruth@hotmail.com anytime.					

科目名	英会話 Cクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナパリング	UL12106	研究室	非常勤	
担当者	久田 康子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー				
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C	~2016年度 英会話 (基礎)					
授業概要											
前期より上級の文法事項を含むナチュラルで実用的な基礎英会話を、自動的にできるまでに習得していくために、話す・聴くの演習とペアでの英語コミュニケーションを重ねていきます。まとめとして、ユニットごとのミニ・プレゼンテーションと2度の課題発表をすることで、重要構文を繰り返し復習し、より正確で自由度の高い会話力とコミュニケーション力を高めていきます。											
学修到達目標											
日本語を通さずに直接英語で考えて実用的な基礎英会話ができる達成感を段階的に積み重ねることで、学ぶ意欲と自信を高めて、社会にでてからも自主的に学び続けることのできる方法を身に付けていきます。自主的な姿勢で自らとパートナーのコーチになって工夫しながらトレーニングをすることができるようになることをめざします。											
授業の進め方											
アクティブラーニングを実施し、文法事項の予習クイズの後、テキストに沿ってリスニングとペアワークで話す練習をします。クラスの後半では、完成させた総括課題をクラスの中でシェアして学び合います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	授業ガイダンス	現状の英語能力の確認のためにプレイズメント・テストを受けます。					基礎的な英語の総復習。				
2	Unit 1AB	予習クイズ、会話演習とミニプレゼンテーション。					予習クイズの準備				
3	Unit 2AB	予習クイズ、会話演習とミニプレゼンテーション。					予習クイズの準備				
4	Unit 3AB	予習クイズ、会話演習とミニプレゼンテーション。					予習クイズの準備				
5	Unit 4AB	予習クイズ、会話演習とミニプレゼンテーション。					予習クイズの準備				
6	Unit 5AB	予習クイズ、会話演習とミニプレゼンテーション。					予習クイズの準備				
7	Unit 6AB	予習クイズ、会話演習とミニプレゼンテーション。					予習クイズの準備				
8	Presentation[1](課題)	Unit 1-6 テキストを見ないでペアで行う会話試験。					Unit 1-6の総復習				
9	Unit 7AB	予習クイズ、会話演習とミニプレゼンテーション。					予習クイズの準備				
10	Unit 8AB	予習クイズ、会話演習とミニプレゼンテーション。					予習クイズの準備				
11	Unit 9AB	予習クイズ、会話演習とミニプレゼンテーション。					予習クイズの準備				
12	Unit 10AB	予習クイズ、会話演習とミニプレゼンテーション。					予習クイズの準備				
13	Unit 11AB	予習クイズ、会話演習とミニプレゼンテーション。					予習クイズの準備				
14	Unit 12AB	予習クイズ、会話演習とミニプレゼンテーション。					予習クイズの準備				
15	Presentation[2](課題)	Unit 7-12 テキストを見ないでペアで行う会話試験。					Unit 7-12の総復習				
テキスト				成績評価の方法・基準							
「Get Real! New Edition Level[2] Student Book 生協様、注文は日本出版貿易に願います」Angela Buckingham, Miles Craven and David Williamson著(MACMILLAN) ISBN:978-0-230-44710-3(生協で購入してください。)テキストは毎回使用しますので、早期の購入をお願いします。				出席レポート:30% 課題:40% 定期試験:30% S:授業内容を高度に理解し実践力を身に付けて批判的思考力に基づく探究姿勢で課題に誠実に取り組み難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し実践力を身に付けて積極的な探究姿勢で課題に取り組みやすい応用問題が解ける。 B:授業内容のおおよそを理解し実践力を身に付けて与えられた課題に誠実に取り組み応用問題が解ける。C:授業内容の60%程度を理解し実践することができ与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「辞書(例:ジーニアス英和・和英辞典など)電子辞書を推奨します。」辞書には、作文に役立つ例文が豊富にあり、大変便利です。毎回持参して下さい。				授業の大半は演習ですので、皆さん一人一人がクラスの主役となって自主的な姿勢で活躍してください。また、お互いに助け合い、学び合きましょう。							

科目名	英会話		学年学期	2年前期	単位数	1	ナバ'リング	UL22107	研究室	非常勤
担当者	フレデリック ガース		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	~2016年度 英会話 (実践)				
授業概要										
<p>これまで積み上げてきた英文読解の知識を活かし、リーディング力とスピーキング力の強化を行います。身近な時事問題などの簡単なニュース記事を題材に、英文の要点を素早くつかみ、それを基に自分の意見をどう発するか、その方法や伝え方、質問の仕方を学んで、実践の中で読む・話す・聞く力を強化します。</p>										
学修到達目標										
<p>英会話 で修得した英語能力をさらに向上させ、さまざまな日常的话题について自信をもってコミュニケーションをとることができる。</p>										
授業の進め方										
<p>毎週の授業はまずテキストを聞くことから始め、つぎに質問の発音を練習します。その後学生はペアになって話し、学習した質問をしたりそれに答えたりします。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	Guidance	Introduction to the class				Useful language; Getting started.(1h)				
2	Getting to know each other	Ask and answer questions about yourself				Write about yourself.(1h)				
3	Getting to know each other	Get to know your classmates and teacher				Write about a classmate.(1h)				
4	Talking about interests	Ask and answer questions about things you like/dislike				Write about things you like/dislike.(1h)				
5	Talking about interests	Discuss interests; talk about abilities				Write about your abilities.(1h)				
6	Talking about family	Ask and answer questions about families				Bring some pictures of your family.(1h)				
7	Talking about family	Ask and answer questions about families				Prepare to talk about English reading.(1h)				
8	Talking about people	Match descriptions with pictures of people				Write a description of a friend.(1h)				
9	Talking about people	Practice describing people				Write a description of a famous person.(1h)				
10	Talking about work	Describe a job				Write a description of a job.(1h)				
11	Talking about work	Telling time; describing jobs				Write a description of your dream job.(1h)				
12	Talking about past experiences	Talk about what you did yesterday				Write about what you did yesterday.(1h)				
13	Talking about past experiences	Talk about a vacation; Play the Past Tense Game				Write about what you did on vacation.(1h)				
14	Telling stories	Tell a story (based on the T.V. talk show Gokigenyou)				A story about something that happened to you.(1h)				
15	まとめ Review	Review course, prepare for final examination				Prepare for final examination.(1h)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「Talk a Lot, Book One, Second edition」David Martin著 (EFL Press) (生協で購入してください。)				<p>課題：25% 定期試験：25% 授業への参加度：25%努力点：25% Reports: 25%, Final examination: 25%, Class Attitude:25%, Assignments: 25%。S:主体的かつ意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容すべてを理解している。A:主体的かつ意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の8割以上を理解している。B:意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の7割以上を理解している。C:意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の6割以上を理解している。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
辞書 Any dictionary				いつでもメールで私に連絡してください。 Please contact me by email at fredcarruth@hotmail.com anytime.						

科目名	英会話		学年学期	2年後期	単位数	1	ナバ'リング	UL22108	研究室	非常勤
担当者	フレデリック ガース		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	~2016年度 英会話 (応用)				
授業概要										
総合英語 で学ぶ英文ライティングの知識を活かし、英会話 で学んだ内容をさらに応用して、自分の意見を英文で書いてまとめ発話するスキルを養っていく。グループワークを通じて、自分の趣味や興味のあることを題材に簡単に英語にして発話、それに対して質問をする形式を繰り返し、英語の4技能の全てを定着させていく。										
学修到達目標										
英会話 . . . で修得した英語能力をさらに向上させ、さまざまな日常的な話題について自信をもってコミュニケーションをとることができる。										
授業の進め方										
毎週の授業はまずテキストを聞くことから始め、つぎに質問の発音を練習します。その後学生はペアになって話し、学習した質問をしたりそれに答えたりします。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	Guidance	Introduction to the class					Useful language: Getting started.(1h)			
2	Talking about sports	Pronunciation, discussion about sports					Explain your feelings about sports.(1h)			
3	Talking about sports	Q&A and listening about sports					Prepare to talk about a reading book.(1h)			
4	Talking about other countries	Discuss foreign countries, people and food.					Extensive reading.(1h)			
5	Talking about other countries	Talk about foreign countries and languages.					Write about foreign food.(1h)			
6	Talking about experiences	Talk about things you have done or haven't done.					Extensive reading.(1h)			
7	Talking about experiences	Interview classmates about their experiences; listening					Write about an interesting experience.(1h)			
8	Talking about places	Talk about indoor places.					Extensive reading.(1h)			
9	Talking about places	Giving subway and street directions.					Write about how to get somewhere.(1h)			
10	Traveling to Hawaii	Making restaurant and airplane reservations.					Extensive reading.(1h)			
11	Traveling to Hawaii	Plan to visit other Hawaiian islands.					Write about a trip.(1h)			
12	Talking about Japanese things	Describing Japanese places and things					Extensive reading.(1h)			
13	Talking about Japanese things	Talk about Japanese New Year and prices in Japan.					Write about what you do for New Year.(1h)			
14	Talking about future events	Making plans					Extensive reading.(1h)			
15	Review	Review course. Prepare for final examination.					Prepare for final examination.(1h)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「Talk a Lot, Book One, Second edition」David Martin著 (EFL Press) (生協で購入してください。)					課題: 25% 定期試験: 25% 授業への参加度: 25% 努力点: 25% Reports: 25%, Final examination: 25%, Class Attitude: 25%, Assignments: 25%. S: 主体的かつ意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容すべてを理解している。A: 主体的かつ意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の8割以上を理解している。B: 意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の7割以上を理解している。C: 意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の6割以上を理解している。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
辞書 Any dictionary					いつでもメールで私に連絡してください。 Please contact me by email at fredcarruth@hotmail.com anytime.					

科目名	TOEIC Aクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12109	研究室	非常勤
担当者	山浦 かおる		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	~2016年度 TOEIC (入門)				
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身につけ、TOEIC受験に必要な英語力の基礎を作ります。後期「TOEIC」の履修を通してリスニング能力、文法の知識、語彙力を身につけ、TOEIC L&R で400点以上の取得を目指します。プレシメントテスト成績に基づく人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC L&R で350点以上取得できる。 さらに、簡単な日常会話ができる程度のコミュニケーション能力を修得している。										
授業の進め方										
たくさん英語を聞き、学んだ表現を実際に使うことで、まずは最も重要なリスニング力向上を目指します。その上で、リーディングや文法も学習し、得点アップにつながる基礎力を養います。Eラーニングを活用します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス TOEIC L&Rテストについて知る	TOEICの特徴を知り、目標点数を取得するためにはどんなトレーニングが必要かを検討する。				自分に合った学習計画を作成する(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習	サンプル問題に挑戦 Lesson1 5W& Howを聴き取る(Part2)				Lesson1 音読筆写 Eラーニング、単語 文法問題(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習	Lesson2 be動詞の直後の動作(Part1) Lesson9 品詞を攻略しよう(Part5)				Lesson2 音読筆写 Eラーニング、単語 文法問題(1時間)				
4	リスニング演習	Lesson3 写真と矛盾した要素を聞き取る(Part1)				Lesson3 音読筆写 Eラーニング、単語 文法問題(1時間)				
5	リスニング演習	Lesson4 許可、依頼、提案(Part2)				Lesson4 音読筆写 Eラーニング、単語 文法問題(1時間)				
6	リスニング演習 小テスト	Lesson11 音のひっかけに注意(Part1,2)				Lesson11 音読筆写 Eラーニング、単語 文法問題(1時間)				
7	リスニング演習	Lesson12 典型的な設問とその流れ(Part3,4)				Lesson12 音読、オーバーラッピング、シャドーイング Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
8	リスニング演習	Lesson13 会話の全体構造を理解する(Part3)				Lesson13 音読、オーバーラッピング、シャドーイング Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
9	リスニング演習	Lesson14 トークの全体構造と頻出トピックを押さえる(Part4)				Lesson13 音読、オーバーラッピング、シャドーイング Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
10	リーディング演習	Part7の解き方 Lesson15 典型的な問題文と答えのヒント(Part7)				Lesson15 音読・復習 Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
11	リーディング演習	Lesson16 Part7の頻出トピック・文書形式(Part7)				Lesson16 音読・復習 Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
12	リスニング演習 小テスト	Lesson5 問いかけごとの「よくある」「ありえない」応答(Part2)				Lesson5 音読筆写 Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
13	リスニング演習 リーディング演習	Part3 テキストミニ模試より Lesson6 意味だけでなく形に注目(Part5)				Part3 音読、オーバーラッピング、シャドーイング Eラーニング、単語、文法問題				
14	リスニング演習 リーディング演習	Part4 テキストミニ模試より Lesson8 キーワードを探して正しい時制を見抜く(Part5,6)				Part4 音読、オーバーラッピング、シャドーイング Eラーニング、単語、文法問題				
15	まとめ	実際の半分の問題数(100問)の模試に取り組む。学習の成果を出し切れるよう、時間配分に注意して解く。				定期試験に向けて自己学習(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「はじめてのTOEIC L&Rテスト きほんのきほん」石井洋佑、Karl Rosvold、Micael McDowell著(スリーエーネットワーク) ISBN:978040883190761-3(生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:40% 定期試験:20% 課題:30% S:授業内容を高度に理解し、課題をこなすだけでなく自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
参考書は授業内で紹介します。				TOEICで高得点を目指すためには、継続的な学習が不可欠です。そのため、後期の「TOEIC」も受講することを強く推奨しています。Eラーニングの使用に、スマホ、パソコン、タブレットのいずれかが必須です。						

科目名	TOEIC Bクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12109	研究室	非常勤
担当者	春日 啓子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	~2016年度 TOEIC (入門)					
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業は年々増え続けています。本授業では、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身につけ、TOEIC受験に必要な英語力の基礎を作ります。後期「TOEIC」の履修を通してリスニング能力、文法の知識、語彙力を身につけ、TOEIC L&R で400点以上の取得を目指します。ブレイズメントテスト成績に基づく人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC L&R で350点以上取得できる。 さらに、簡単な日常会話ができる程度のコミュニケーション能力を修得している。										
授業の進め方										
たくさん英語を聞き、学んだ表現を実際に使うことで、まずは最も重要なリスニング力向上を目指します。その上で、リーディングや文法も学習し、得点アップにつながる基礎力を養います。エラーニングを活用します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス TOEIC L&Rテストについて知る	TOEICの特徴を知り、目標点数を取得するためにはどんなトレーニングが必要かを検討する。				自分に合った学習計画を作成する(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習	サンプル問題に挑戦 Lesson1 5W& Howを聴き取る(Part2)				Lesson1 音読筆写 エラーニング、単語 文法問題(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習	Lesson2 be動詞の直後の動作(Part1) Lesson9 品詞を攻略しよう(Part5)				Lesson2 音読筆写 エラーニング、単語 文法問題(1時間)				
4	リスニング演習	Lesson3 写真と矛盾した要素を聞き取る(Part1)				Lesson3 音読筆写 エラーニング、単語 文法問題(1時間)				
5	リスニング演習	Lesson4 許可、依頼、提案(Part2)				Lesson4 音読筆写 エラーニング、単語 文法問題(1時間)				
6	リスニング演習 小テスト	Lesson11 音のひっかけに注意(Part1,2)				Lesson11 音読筆写 エラーニング、単語 文法問題(1時間)				
7	リスニング演習	Lesson12 典型的な設問とその流れ(Part3,4)				Lesson12 音読、オーバーラッピング、シャドーイング エラーニング、単語、文法問題(1時間)				
8	リスニング演習	Lesson13 会話の全体構造を理解する(Part3)				Lesson13 音読、オーバーラッピング、シャドーイング エラーニング、単語、文法問題(1時間)				
9	リスニング演習	Lesson14 トークの全体構造と頻出トピックを押さえる(Part4)				Lesson13 音読、オーバーラッピング、シャドーイング エラーニング、単語、文法問題(1時間)				
10	リーディング演習	Part7の解き方 Lesson15 典型的な問題文と答えのヒント(Part7)				Lesson15 音読・復習 エラーニング、単語、文法問題(1時間)				
11	リーディング演習	Lesson16 Part7の頻出トピック・文書形式(Part7)				Lesson16 音読・復習 エラーニング、単語、文法問題(1時間)				
12	リスニング演習 小テスト	Lesson5 問いかけごとの「よくある」「ありえない」応答(Part2)				Lesson5 音読筆写 エラーニング、単語、文法問題(1時間)				
13	リスニング演習 リーディング演習	Part3 テキストミニ模試より Lesson6 意味だけでなく形に注目(Part5)				Part3 音読、オーバーラッピング、シャドーイング エラーニング、単語、文法問題				
14	リスニング演習 リーディング演習	Part4 テキストミニ模試より Lesson8 キーワードを探して正しい時制を見抜く(Part5,6)				Part4 音読、オーバーラッピング、シャドーイング エラーニング、単語、文法問題				
15	まとめ	実際の半分の問題数(100問)の模試に取り組む。学習の成果を出し切れるよう、時間配分に注意して解く。				定期試験に向けて自己学習(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「はじめてのTOEIC L&Rテスト きほんのきほん」石井洋佑、Karl Rosvold、Micael McDowell著(スリーエーネットワーク) ISBN:978040883190761-3(生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:40% 定期試験:20% 課題:30% S:授業内容を高度に理解し、課題をこなすだけでなく自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
参考書は授業内で紹介します。				TOEICで高得点を目指すためには、継続的な学習が不可欠です。そのため、後期の「TOEIC」も受講することを強く推奨しています。エラーニングの使用に、スマホ、パソコン、タブレットのいずれかが必須です。						

科目名	TOEIC Cクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12109	研究室	非常勤
担当者	中野 麻里		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	~2016年度 TOEIC (入門)					
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身につけ、TOEIC受験に必要な英語力の基礎を作ります。後期「TOEIC」の履修を通してリスニング能力、文法の知識、語彙力を身につけ、TOEIC L&R で400点以上の取得を目指します。プレイズメントテスト成績に基づく人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC L&R で350点以上取得できる。 さらに、簡単な日常会話ができる程度のコミュニケーション能力を修得している。										
授業の進め方										
たくさん英語を聞き、学んだ表現を実際に使うことで、まずは最も重要なリスニング力向上を目指します。その上で、リーディングや文法も学習し、得点アップにつながる基礎力を養います。Eラーニングを活用します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス TOEIC L&Rテストについて知る	TOEICの特徴を知り、目標点数を取得するためにはどんなトレーニングが必要かを検討する。				自分に合った学習計画を作成する(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習	サンプル問題に挑戦 Lesson1 5W& Howを聴き取る(Part2)				Lesson1 音読筆写 Eラーニング、単語 文法問題(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習	Lesson2 be動詞の直後の動作(Part1) Lesson9 品詞を攻略しよう(Part5)				Lesson2 音読筆写 Eラーニング、単語 文法問題(1時間)				
4	リスニング演習	Lesson3 写真と矛盾した要素を聞き取る(Part1)				Lesson3 音読筆写 Eラーニング、単語 文法問題(1時間)				
5	リスニング演習	Lesson4 許可、依頼、提案(Part2)				Lesson4 音読筆写 Eラーニング、単語 文法問題(1時間)				
6	リスニング演習 小テスト	Lesson11 音のひっかけに注意(Part1,2)				Lesson11 音読筆写 Eラーニング、単語 文法問題(1時間)				
7	リスニング演習	Lesson12 典型的な設問とその流れ(Part3,4)				Lesson12 音読、オーバーラッピング、シャドーイング Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
8	リスニング演習	Lesson13 会話の全体構造を理解する(Part3)				Lesson13 音読、オーバーラッピング、シャドーイング Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
9	リスニング演習	Lesson14 トークの全体構造と頻出トピックを押さえる(Part4)				Lesson13 音読、オーバーラッピング、シャドーイング Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
10	リーディング演習	Part7の解き方 Lesson15 典型的な問題文と答えのヒント(Part7)				Lesson15 音読・復習 Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
11	リーディング演習	Lesson16 Part7の頻出トピック・文書形式(Part7)				Lesson16 音読・復習 Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
12	リスニング演習 小テスト	Lesson5 問いかけごとの「よくある」「ありえない」応答(Part2)				Lesson5 音読筆写 Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
13	リスニング演習 リーディング演習	Part3 テキストミニ模試より Lesson6 意味だけでなく形に注目(Part5)				Part3 音読、オーバーラッピング、シャドーイング Eラーニング、単語、文法問題				
14	リスニング演習 リーディング演習	Part4 テキストミニ模試より Lesson8 キーワードを探して正しい時制を見抜く(Part5,6)				Part4 音読、オーバーラッピング、シャドーイング Eラーニング、単語、文法問題				
15	まとめ	実際の半分の問題数(100問)の模試に取り組む。学習の成果を出し切れるよう、時間配分に注意して解く。				定期試験に向けて自己学習(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「はじめてのTOEIC L&Rテスト きほんのきほん」石井洋佑、Karl Rosvold、Micael McDowell著(スリーエーネットワーク) ISBN:978040883190761-3(生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:40% 定期試験:20% 課題:30% S:授業内容を高度に理解し、課題をこなすだけでなく自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
参考書は授業内で紹介します。				TOEICで高得点を目指すためには、継続的な学習が不可欠です。そのため、後期の「TOEIC」を受講することを強く推奨しています。Eラーニングの使用に、スマホ、パソコン、タブレットのいずれかが必須です。						

科目名	TOEIC Dクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバ`リング	UL12109	研究室	非常勤
担当者	勝山 庸子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	~2016年度 TOEIC (入門)					
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業は年々増え続けています。本授業では、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身につけ、TOEIC受験に必要な英語力の基礎を作ります。後期「TOEIC」を通してリスニング能力、文法の知識、語彙力を身につけ、TOEIC L&R で370点以上取得することを目指します。プレシメントテスト成績に基づく人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC L&R で320点以上取得できる。 さらに、簡単な日常会話ができる程度のコミュニケーション能力を修得している。										
授業の進め方										
たくさん英語を聞き、学んだ表現を実際に使うことで、まずは最も重要なリスニング力向上を目指します。その上で、リーディングや文法も学習し、得点アップにつながる基礎力を養います。Eラーニングを活用します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス TOEIC L&Rテストについて知る	TOEICの特徴を知り、目標点数を取得するためにはどんなトレーニングが必要かを検討する。				自分に合った学習計画を作成する(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習	サンプル問題に挑戦 Lesson1 5W& Howを聴き取る(Part2)				Lesson1 音読筆写 Eラーニング、単語 文法問題(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習	Lesson2 be動詞の直後の動作(Part1) Lesson9 品詞を攻略しよう(Part5)				Lesson2 音読筆写 Eラーニング、単語 文法問題(1時間)				
4	リスニング演習	Lesson3 写真と矛盾した要素を聞き取る(Part1)				Lesson3 音読筆写 Eラーニング、単語 文法問題(1時間)				
5	リスニング演習	Lesson4 許可、依頼、提案(Part2)				Lesson4 音読筆写 Eラーニング、単語 文法問題(1時間)				
6	リスニング演習 小テスト	Lesson11 音のひっかけに注意(Part1,2)				Lesson11 音読筆写 Eラーニング、単語 文法問題(1時間)				
7	リスニング演習	Lesson12 典型的な設問とその流れ(Part3,4)				Lesson12 音読、オーバーラッピング、シャドーイング Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
8	リスニング演習	Lesson13 会話の全体構造を理解する(Part3)				Lesson13 音読、オーバーラッピング、シャドーイング Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
9	リスニング演習	Lesson14 トークの全体構造と頻出トピックを押さえる(Part4)				Lesson13 音読、オーバーラッピング、シャドーイング Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
10	リーディング演習	Part7の解き方 Lesson15 典型的な問題文と答えのヒント(Part7)				Lesson15 音読・復習 Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
11	リーディング演習	Lesson16 Part7の頻出トピック・文書形式(Part7)				Lesson16 音読・復習 Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
12	リスニング演習 小テスト	Lesson5 問いかけごとの「よくある」「ありえない」応答(Part2)				Lesson5 音読筆写 Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
13	リスニング演習 リーディング演習	Part3 テキストミニ模試より Lesson6 意味だけでなく形に注目(Part5)				Part3 音読、オーバーラッピング、シャドーイング Eラーニング、単語、文法問題				
14	リスニング演習 リーディング演習	Part4 テキストミニ模試より Lesson8 キーワードを探して正しい時制を見抜く(Part5,6)				Part4 音読、オーバーラッピング、シャドーイング Eラーニング、単語、文法問題				
15	まとめ	実際の半分の問題数(100問)の模試に取り組む。学習の成果を出し切れるよう、時間配分に注意して解く。				定期試験に向けて自己学習(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「はじめてのTOEIC L&Rテスト きほんのきほん」石井洋佑、Karl Rosvold、Micael McDowell著(スリーエーネットワーク) ISBN:978040883190761-3(生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:40% 定期試験:20% 課題:30% S:授業内容を高度に理解し、課題をこなすだけでなく自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
参考書は授業内で紹介します。				TOEICで高得点を目指すためには、継続的な学習が不可欠です。そのため、後期の「TOEIC」も受講することを強く推奨しています。Eラーニングの使用に、スマホ、パソコン、タブレットのいずれかが必須です。						

科目名	TOEIC Eクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバ`リ`ン`グ`	UL12109	研究室	非常勤	
担当者	清澤 理恵		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-				
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C	~2016年度 TOEIC (入門)					
授業概要											
TOEICは「英語でコミュニケーション」が取れるかを測るテストです。英語は外国だけでなく、国内でも英語を使うことでより多くの道が開けます。この授業では、TOEICテストの入門編であるTOEIC Bridgeの教材を使用し、聞き取り練習や、基本的なフレーズを使って繰り返し会話練習をすることで、基礎的な英語力向上とTOEIC Bridgeのスコアアップを目指します。後期「TOEIC」を通してTOEIC Bridge 140点以上を目指します。プレイスメントテスト成績に基づく人数クラス(原則20名以下)で行います。											
学修到達目標											
TOEIC Bridge 120点以上を取得することができる。 また、上記相当に必要な問題に対処することができ、英語で基本的な応答ができる。											
授業の進め方											
講義形式ではなく受講生のみなさんの参加形式です。英語を声に出し会話を楽しみながら、文法演習やTOEICの演習問題にも多く取り組み、英語の基礎力(特に文法力とリスニング力)の向上を目指します。Eラーニングを活用します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	TOEIC Bridgeがどのようなテストかを知り、今後の学習計画を立てます。					自己紹介文を考え、発表できるように練習を行う。Eラーニング(1時間)				
2	TOEIC Bridge演習(1回目) 課題分析	実際にTOEIC Bridgeを解いて答え合わせを行った後、それぞれの課題分析を行う。					テストに出てきた基本動詞、単語リスト1、Eラーニング(1時間)				
3	文法演習 リスニング Part 1	基本文法(名詞・動詞)の問題演習 Part 1 基礎問題					文法(名詞・動詞)の復習、テキストP. 14-15の音読筆写、単語リスト1、Eラーニング(1時間)				
4	文法演習 リスニング Part 1	基本文法(形容詞・副詞)の問題演習 Part 2 応用問題					文法(形容詞・副詞)の復習、テキストP. 16-17の音読筆写、単語リスト2、Eラーニング(1時間)				
5	文法演習 リスニング Part 2 小テスト	実践テスト Part 2 When 単語テスト					実践テストの復習、テキストP. 20の音読筆写、単語リスト2、Eラーニング(1時間)				
6	文法演習 リスニング Part 2	基本文法(代名詞・助動詞)の問題演習 Part 2 Who					文法(代名詞・助動詞)の復習、テキストP. 21の音読筆写、単語リスト3、Eラーニング(1時間)				
7	文法演習 リスニング Part 2	基本文法(接続詞・そのほかの接続詞)の問題演習 Part 2 Why Part 5 パンフレットの読み取り練習					文法(接続詞)の復習、テキストP. 23の音読筆写、単語リスト4、Eラーニング(1時間)				
8	文法演習 リスニング Part 2 リーディング Part 5	基本文法(接続詞・そのほかの接続詞)の問題演習 Part 2 Why Part 5 パンフレットの読み取り練習					文法(接続詞)の復習、テキストP. 23の音読筆写、単語リスト4、Eラーニング(1時間)				
9	文法演習、小テスト リスニング Part 2 リーディング Part 5	基本文法(前置詞と接続詞のちがい)の問題演習 実践テスト Part 2 What、Part 5 請求書(基礎問題)					文法復習、P. 24、84-85の音読筆写と復習、単語リスト4、Eラーニング(1時間)				
10	文法演習 リスニング Part 2 リーディング Part 5	基本文法(現在形・現在進行形)の問題演習 Part 2 How much、Part 5 請求書(実践問題) 単語テスト					文法復習、P. 25、127の音読筆写と復習、単語リスト5、Eラーニング(1時間)				
11	文法演習 リスニング Part 2 リーディング Part 5	基本文法(現在完了・現在完了進行形)の問題演習 Part 2 How long Part 5 表(基礎問題)					文法の復習、P. 26、86-87の音読筆写と復習、単語リスト5、Eラーニング(1時間)				
12	文法演習 リスニング Part 2 リーディング Part 5	基本文法(過去形・過去形と現在完了のちがい)の問題演習 Part 2 How far Part 5 表(実践問題)					文法の復習、テキストP. 27、120の音読筆写と復習、単語、Eラーニング(1時間)				
13	文法演習、小テスト リスニング Part 3 リーディング Part 4	基本文法(過去進行形・過去完了形)の問題演習 Part 3-4 実践問題演習					文法復習、問題の復習と音読筆写、単語リスト6、Eラーニング(1時間)				
14	TOEIC Bridge演習(2回目) 課題分析	第1回目の授業で解いた問題にもう一度取り組み、どの能力を伸ばすことができたのかを認識すると共に、今後の課題を分析。単語テスト					間違った問題を全て復習。特に不明な単語を覚えて音読筆写、Eラーニング(1時間)				
15	まとめ	定期テストとして行うTOEIC Bridge IPIに備え、学んだ単語や表現の総復習を行う。					授業で扱ったフレーズ・文法の復習、課題の総復習、Eラーニング(1時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「TOEIC Bridge スピードマスター」柴山かつの著(ジェイ・リサーチ出版) ISBN:978-4-901429-57-3(生協で購入してください。) 「TOEICテスト英文法をひとつひとつわかりやすく。」富岡恵著(株式会社学研プラス出版) ISBN:978-4053046499(生協で購入してください。)					受講態度:10% 小テスト:40% 課題:30% 定期試験:20% S:授業内容を高度に理解し、課題をこなすだけでなく自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。スコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。					TOEICで高得点を目指すためには、継続的な学習が不可欠です。後期の「TOEIC」の受講を強く推奨しています。授業や課題でEラーニングを活用するため、パソコン、タブレット、スマートフォンのいずれかが必要です。						

科目名	TOEIC Fクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバ`リ`ン`グ`	UL12109	研究室	非常勤	
担当者	小西 さやか		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-				
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C	~2016年度 TOEIC (入門)					
授業概要											
TOEICは「英語でコミュニケーション」が取れるかを測るテストです。英語は外国だけでなく、国内でも英語を使うことでより多くの道が開けます。この授業では、TOEICテストの入門編であるTOEIC Bridgeの教材を使用し、聞き取り練習や、基本的なフレーズを使って繰り返し会話練習をすることで、基礎的な英語力向上とTOEIC Bridgeのスコアアップを目指します。後期「TOEIC」を通してTOEIC Bridge 130点以上を目指します。プレイスメントテスト成績に基づく人数クラス(原則20名以下)で行います。											
学修到達目標											
TOEIC Bridge 110点以上を取得することができる。 また、上記相当に必要な問題に対処することができ、英語で基本的な応答ができる。											
授業の進め方											
講義形式ではなく受講生のみなさんの参加形式です。英語を声に出し会話を楽しみながら、文法演習やTOEICの演習問題にも多く取り組み、英語の基礎力(特に文法力とリスニング力)の向上を目指します。Eラーニングを活用します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	TOEIC Bridgeがどのようなテストかを知り、今後の学習計画を立てます。					自己紹介文を考え、発表できるように練習を行う。Eラーニング(1時間)				
2	TOEIC Bridge演習(1回目) 課題分析	実際にTOEIC Bridgeを解いて答え合わせを行った後、それぞれの課題分析を行う。					テストに出てきた基本動詞、単語リスト1、Eラーニング(1時間)				
3	文法演習 リスニング Part 1	基本文法(名詞・動詞)の問題演習 Part 1 基礎問題					文法(名詞・動詞)の復習、テキストP. 14-15の音読筆写、単語リスト1、Eラーニング(1時間)				
4	文法演習 リスニング Part 1	基本文法(形容詞・副詞)の問題演習 Part 2 応用問題					文法(形容詞・副詞)の復習、テキストP. 16-17の音読筆写、単語リスト2、Eラーニング(1時間)				
5	文法演習 リスニング Part 2 小テスト	実践テスト Part 2 When 単語テスト					実践テストの復習、テキストP. 20の音読筆写、単語リスト2、Eラーニング(1時間)				
6	文法演習 リスニング Part 2	基本文法(代名詞・助動詞)の問題演習 Part 2 Who					文法(代名詞・助動詞)の復習、テキストP. 21の音読筆写、単語リスト3、Eラーニング(1時間)				
7	文法演習 リスニング Part 2	基本文法(接続詞・そのほかの接続詞)の問題演習 Part 2 Why Part 5 パンフレットの読み取り練習					文法(接続詞)の復習、テキストP. 23の音読筆写、単語リスト4、Eラーニング(1時間)				
8	文法演習 リスニング Part 2 リーディング Part 5	基本文法(接続詞・そのほかの接続詞)の問題演習 Part 2 Why Part 5 パンフレットの読み取り練習					文法(接続詞)の復習、テキストP. 23の音読筆写、単語リスト4、Eラーニング(1時間)				
9	文法演習、小テスト リスニング Part 2 リーディング Part 5	基本文法(前置詞と接続詞のちがい)の問題演習 実践テスト Part 2 What、Part 5 請求書(基礎問題)					文法復習、P. 24、84-85の音読筆写と復習、単語リスト4、Eラーニング(1時間)				
10	文法演習 リスニング Part 2 リーディング Part 5	基本文法(現在形・現在進行形)の問題演習 Part 2 How much、Part 5 請求書(実践問題) 単語テスト					文法復習、P. 25、127の音読筆写と復習、単語リスト5、Eラーニング(1時間)				
11	文法演習 リスニング Part 2 リーディング Part 5	基本文法(現在完了・現在完了進行形)の問題演習 Part 2 How long Part 5 表(基礎問題)					文法の復習、P. 26、86-87の音読筆写と復習、単語リスト5、Eラーニング(1時間)				
12	文法演習 リスニング Part 2 リーディング Part 5	基本文法(過去形・過去形と現在完了のちがい)の問題演習 Part 2 How far Part 5 表(実践問題)					文法の復習、テキストP. 27、120の音読筆写と復習、単語、Eラーニング(1時間)				
13	文法演習、小テスト リスニング Part 3 リーディング Part 4	基本文法(過去進行形・過去完了形)の問題演習 Part 3-4 実践問題演習					文法復習、問題の復習と音読筆写、単語リスト6、Eラーニング(1時間)				
14	TOEIC Bridge演習(2回目) 課題分析	第1回目の授業で解いた問題にもう一度取り組み、どの能力を伸ばすことができたのかを認識すると共に、今後の課題を分析。単語テスト					間違った問題を全て復習。特に不明な単語を覚えて音読筆写、Eラーニング(1時間)				
15	まとめ	定期テストとして行うTOEIC Bridge IPIに備え、学んだ単語や表現の総復習を行う。					授業で扱ったフレーズ・文法の復習、課題の総復習、Eラーニング(1時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「TOEIC Bridge スピードマスター」柴山かつの著(ジェイ・リサーチ出版) ISBN:978-4-901429-57-3(生協で購入してください。) 「TOEICテスト英文法をひとつひとつわかりやすく。」富岡恵著(株式会社学研プラス出版) ISBN:978-4-901429-57-3(生協で購入してください。)					受講態度:10% 小テスト:40% 課題:30% 定期試験:20% S:授業内容を高度に理解し、課題をこなすだけでなく自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。スコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。					TOEICで高得点を目指すためには、継続的な学習が不可欠です。後期の「TOEIC」の受講を強く推奨しています。授業や課題でEラーニングを活用するため、パソコン、タブレット、スマートフォンのいずれかが必要です。						

科目名	TOEIC Gクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバ`リ`ン`グ`	UL12109	研究室	非常勤
担当者	櫻井 智子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	~2016年度 TOEIC (入門)				
授業概要										
TOEICは「英語でコミュニケーション」が取れるかを測るテストです。英語は外国だけで使うものではなく、国内でも英語を使うことでより多くの道が開けます。この授業では、TOEICテストの入門編であるTOEIC Bridgeの教材を使用し、聞き取り練習や、基本的なフレーズを使って繰り返し会話練習をすることで、基礎的な英語力向上とTOEIC Bridgeのスコアアップを目指します。後期「TOEIC」を通してTOEIC Bridge 120点以上を目指します。プレイスメントテスト成績に基づく人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC Bridge 100点以上を取得することができる。 また、上記相当に必要な問題に対処することができ、英語で基本的な応答ができる。										
授業の進め方										
講義形式ではなく受講生のみなさんの参加形式です。英語を声に出し会話を楽しみながら、文法演習やTOEICの演習問題にも多く取り組み、英語の基礎力(特に文法力とリスニング力)の向上を目指します。Eラーニングを活用します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	TOEIC Bridgeがどのようなテストかを知り、今後の学習計画を立てます。				自己紹介文を考え、発表できるように練習を行う。Eラーニング(1時間)				
2	TOEIC Bridge演習(1回目) 課題分析	実際にTOEIC Bridgeを解いて答え合わせを行った後、それぞれの課題分析を行う。				テストに出てきた基本動詞、単語リスト1、Eラーニング(1時間)				
3	文法演習 リスニング Part 1	基本文法(名詞・動詞)の問題演習 Part 1 基礎問題				文法(名詞・動詞)の復習、テキストP. 14-15の音読筆写、単語リスト1、Eラーニング(1時間)				
4	文法演習 リスニング Part 1	基本文法(形容詞・副詞)の問題演習 Part 2 応用問題				文法(形容詞・副詞)の復習、テキストP. 16-17の音読筆写、単語リスト2、Eラーニング(1時間)				
5	文法演習 リスニング Part 2 小テスト	実践テスト Part 2 When 単語テスト				実践テストの復習、テキストP. 20の音読筆写、単語リスト2、Eラーニング(1時間)				
6	文法演習 リスニング Part 2	基本文法(代名詞・助動詞)の問題演習 Part 2 Who				文法(代名詞・助動詞)の復習、テキストP. 21の音読筆写、単語リスト3、Eラーニング(1時間)				
7	文法演習 リスニング Part 2	基本文法(接続詞・そのほかの接続詞)の問題演習 Part 2 Why Part 5 パンフレットの読み取り練習				文法(接続詞)の復習、テキストP. 23の音読筆写、単語リスト4、Eラーニング(1時間)				
8	文法演習 リスニング Part 2 リーディング Part 5	基本文法(接続詞・そのほかの接続詞)の問題演習 Part 2 Why Part 5 パンフレットの読み取り練習				文法(接続詞)の復習、テキストP. 23の音読筆写、単語リスト4、Eラーニング(1時間)				
9	文法演習、小テスト リスニング Part 2 リーディング Part 5	基本文法(前置詞と接続詞のちがい)の問題演習 実践テスト Part 2 What、Part 5 請求書(基礎問題)				文法復習、P. 24、84-85の音読筆写と復習、単語リスト4、Eラーニング(1時間)				
10	文法演習 リスニング Part 2 リーディング Part 5	基本文法(現在形・現在進行形)の問題演習 Part 2 How much、Part 5 請求書(実践問題) 単語テスト				文法復習、P. 25、127の音読筆写と復習、単語リスト5、Eラーニング(1時間)				
11	文法演習 リスニング Part 2 リーディング Part 5	基本文法(現在完了・現在完了進行形)の問題演習 Part 2 How long Part 5 表(基礎問題)				文法の復習、P. 26、86-87の音読筆写と復習、単語リスト5、Eラーニング(1時間)				
12	文法演習 リスニング Part 2 リーディング Part 5	基本文法(過去形・過去形と現在完了のちがい)の問題演習 Part 2 How far Part 5 表(実践問題)				文法の復習、テキストP. 27、120の音読筆写と復習、単語、Eラーニング(1時間)				
13	文法演習、小テスト リスニング Part 3 リーディング Part 4	基本文法(過去進行形・過去完了形)の問題演習 Part 3-4 実践問題演習				文法復習、問題の復習と音読筆写、単語リスト6、Eラーニング(1時間)				
14	TOEIC Bridge演習(2回目) 課題分析	第1回目の授業で解いた問題にもう一度取り組み、どの能力を伸ばすことができたのかを認識すると共に、今後の課題を分析。単語テスト				間違った問題を全て復習。特に不明な単語を覚えて音読筆写、Eラーニング(1時間)				
15	まとめ	定期テストとして行うTOEIC Bridge IPIに備え、学んだ単語や表現の総復習を行う。				授業で扱ったフレーズ・文法の復習、課題の総復習、Eラーニング(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「TOEIC Bridge スピードマスター」柴山かつの著(ジェイ・リサーチ出版) ISBN:978-4-901429-57-3(生協で購入してください。) 「はじめてのTOEIC受験」霜村和久著(センゲージラーニング) ISBN:9784863121812(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:40% 課題:30% 定期試験:20% S:授業内容を高度に理解し、課題をこなすだけでなく自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。スコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				TOEICで高得点を目指すためには、継続的な学習が不可欠です。後期の「TOEIC」の受講を強く推奨しています。授業や課題でEラーニングを活用するため、パソコン、タブレット、スマートフォンのいずれかが必要です						

科目名	TOEIC Aクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12110	研究室	非常勤
担当者	山浦 かおる		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	~2016年度 TOEIC (初級)					
授業概要										
本授業では英語でのコミュニケーションの基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を総合的に身につけ、TOEIC L&Rのスコアアップを目指します。授業では、学んだ表現を実際にクラスメートとの会話で使い、スピーキング力も養うことを目指します。										
学修到達目標										
リスニング能力、文法の知識、語彙力を身につけ、TOEIC L&Rで400点以上取得できる。さらに、日常会話ができる程度のコミュニケーション能力を修得している。										
授業の進め方										
TOEIC Iから引き続き、リスニング力の強化に取り組みつつ、リーディングの得点アップにつながる学習も行います。また、授業中に学んだ表現を実際を使ってみることで、スピーキング力強化にも繋がります。Eラーニングを活用します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス TOEIC L&R テストの傾向と対策	授業の概要と目標、授業の進め方について説明。前期の結果を踏まえ、スコアを上げるための学習計画を立てる。				Eラーニング、文法問題(1時間)				
2	リスニング演習	Lesson7動作と状態の違いで正解を見抜く(Part1) Eラーニング				音読、シャドーイング、Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
3	リーディング演習 リスニング演習	Lesson17 代名詞のチェックポイント(Part5, 6) Eラーニング				音読、Eラーニング、単語、音読、文法問題(1時間)				
4	リーディング演習 リスニング演習	Lesson18 形容詞節のチェックポイント(Part5, 6) Eラーニング				音読、Eラーニング、単語、音読、文法問題(1時間)				
5	リスニング演習	Lesson22 図表問題の解き方(Part3, 4) Eラーニング				音読、シャドーイング、Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
6	リーディング演習 リスニング演習	Lesson19 関連語句(Part5, 6) Eラーニング				音読、Eラーニング、単語、音読、文法問題(1時間)				
7	ハーフ模試 通し練習	ここまでの学習で習得したスキルを使い、半分の模試(100問)に挑戦します。				Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
8	リスニング演習	Lesson26 文脈を読み取る(Part3, 4)				音読、シャドーイング、Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
9	リーディング演習 リスニング演習	Lesson21 Scanningを身に付けよう(Part7) Eラーニング				音読、Eラーニング、単語、音読、文法問題(1時間)				
10	リーディング演習 リスニング演習	Lesson20 接続詞系の問題(Part5, 6) Eラーニング				音読、Eラーニング、単語、音読、文法問題(1時間)				
11	リーディング演習 リスニング演習	Lesson24 文章の展開パターン(Part6) Eラーニング				音読、Eラーニング、単語、音読、文法問題(1時間)				
12	リーディング演習 リスニング演習	Lesson23 Multiple Passage(Part7) Eラーニング				音読、Eラーニング、単語、音読、文法問題(1時間)				
13	リーディング演習 リスニング演習	Lesson25 代名詞や限定詞が生むつながり(Part7) Eラーニング				音読、Eラーニング、単語、音読、文法問題(1時間)				
14	リーディング演習 リスニング演習	Lesson27 口語的なやり取りに慣れよう(Part3, Part7)				音読、シャドーイング、Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
15	まとめ	実際の半分の問題数(100問)の模試に取り組む。学習の成果を出し切れるよう、時間配分に注意しながら解く練習をする。				期末試験に備える(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「はじめてのTOEIC L&Rテスト きほんのきほん」石井洋佑、Karl Rosvold、Michael McDowell著(スリーエーネットワーク) ISBN:978-4-88319-761-3(生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト 英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:40% 定期試験:20% 課題:30% S:授業内容を高度に理解し、課題をこなすだけでなく自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
参考書は授業内で紹介します。				TOEICには継続的な学習が不可欠です。来期のTOEIC も引き続き受講することを推奨しています。間違えることを恐れず英会話を楽しみましょう。Eラーニングを活用するため、PC、スマホ、タブレットのいずれかが必須です。						

科目名	TOEIC Bクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12110	研究室	非常勤	
担当者	春日 啓子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー				
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C	~2016年度 TOEIC (初級)					
授業概要											
本授業では英語でのコミュニケーションの基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を総合的に身につけ、TOEIC L&Rのスコアアップを目指します。授業では、学んだ表現を実際にクラスメートとの会話で使い、スピーキング力も養うことを目指します。											
学修到達目標											
リスニング能力、文法の知識、語彙力を身につけ、TOEIC L&Rで400点以上取得できる。さらに、日常会話ができる程度のコミュニケーション能力を修得している。											
授業の進め方											
前期「TOEIC I」から引き続き、リスニング力の強化に取り組みつつ、リーディングの得点アップにつながる学習も行います。また、授業中に学んだ表現を実際に使ってみることで、スピーキング力強化にも繋がります。Eラーニングを活用します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	授業ガイダンス TOEIC L&R テストの傾向と対策	授業の概要と目標、授業の進め方について説明。前期の結果を踏まえ、スコアを上げるための学習計画を立てる。					Eラーニング、文法問題(1時間)				
2	リスニング演習	Lesson7動作と状態の違いで正解を見抜く(Part1) Eラーニング					音読、シャドーイング、Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
3	リーディング演習 リスニング演習	Lesson17 代名詞のチェックポイント(Part5, 6) Eラーニング					音読、Eラーニング、単語、音読、文法問題(1時間)				
4	リーディング演習 リスニング演習	Lesson18 形容詞節のチェックポイント(Part5, 6) Eラーニング					音読、Eラーニング、単語、音読、文法問題(1時間)				
5	リスニング演習	Lesson22 図表問題の解き方(Part3, 4) Eラーニング					音読、シャドーイング、Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
6	リーディング演習 リスニング演習	Lesson19 関連語句(Part5, 6) Eラーニング					音読、Eラーニング、単語、音読、文法問題(1時間)				
7	ハーフ模試 通し練習	ここまでの学習で習得したスキルを使い、半分の模試(100問)に挑戦します。					Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
8	リスニング演習	Lesson26 文脈を読み取る(Part3, 4)					音読、シャドーイング、Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
9	リーディング演習 リスニング演習	Lesson21 Scanningを身に付けよう(Part7) Eラーニング					音読、Eラーニング、単語、音読、文法問題(1時間)				
10	リーディング演習 リスニング演習	Lesson20 接続詞系の問題(Part5, 6) Eラーニング					音読、Eラーニング、単語、音読、文法問題(1時間)				
11	リーディング演習 リスニング演習	Lesson24 文章の展開パターン(Part6) Eラーニング					音読、Eラーニング、単語、音読、文法問題(1時間)				
12	リーディング演習 リスニング演習	Lesson23 Multiple Passage(Part7) Eラーニング					音読、Eラーニング、単語、音読、文法問題(1時間)				
13	リーディング演習 リスニング演習	Lesson25 代名詞や限定詞が生むつながり(Part7) Eラーニング					音読、Eラーニング、単語、音読、文法問題(1時間)				
14	リーディング演習 リスニング演習	Lesson27 口語的なやり取りに慣れよう(Part3, Part7)					音読、シャドーイング、Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
15	まとめ	実際の半分の問題数(100問)の模試に取り組む。学習の成果を出し切れよう、時間配分に注意しながら解く練習をする。					期末試験に備える(1時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「はじめてのTOEIC L&Rテスト きほんのきほん」石井洋佑、Karl Rosvold、Michael McDowell著(スリーエーネットワーク) ISBN:978-4-88319-761-3(生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト 英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。) 「新TOEIC TEST 初心者特急 読解編」神崎正哉、TEX加藤著(朝日新聞出版) ISBN:978-4023313231(生協で購入してください。)					受講態度:10% 小テスト:40% 定期試験:20% 課題:30% S:授業内容を高度に理解し、課題をこなすだけでなく自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
参考書は授業内で紹介します。					TOEICには継続的な学習が不可欠です。来期の「TOEIC」も引き続き受講することを強く推奨します。間違えることを恐れず英会話を楽しみましょう。Eラーニングを活用するため、PC、スマホ、タブレットのいずれかが必須です。						

科目名	TOEIC Cクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12110	研究室	非常勤
担当者	中野 麻里		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	~2016年度 TOEIC (初級)					
授業概要										
本授業では英語でのコミュニケーションの基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を総合的に身につけ、TOEIC L&Rのスコアアップを目指します。授業では、学んだ表現を実際にクラスメートとの会話で使い、スピーキング力も養うことを目指します。										
学修到達目標										
リスニング能力、文法の知識、語彙力を身につけ、TOEIC L&Rで400点以上取得できる。さらに、日常会話ができる程度のコミュニケーション能力を修得している。										
授業の進め方										
前期「TOEIC 1」から引き続き、リスニング力の強化に取り組みつつ、リーディングの得点アップにつながる学習も行います。また、授業中に学んだ表現を実際を使ってみることで、スピーキング力強化にも繋がります。Eラーニングを活用します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス TOEIC L&R テストの傾向と対策	授業の概要と目標、授業の進め方について説明。前期の結果を踏まえ、スコアを上げるための学習計画を立てる。				Eラーニング、文法問題(1時間)				
2	リスニング演習	Lesson7動作と状態の違いで正解を見抜く(Part1) Eラーニング				音読、シャドーイング、Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
3	リーディング演習 リスニング演習	Lesson17 代名詞のチェックポイント(Part5, 6) Eラーニング				音読、Eラーニング、単語、音読、文法問題(1時間)				
4	リーディング演習 リスニング演習	Lesson18 形容詞節のチェックポイント(Part5, 6) Eラーニング				音読、Eラーニング、単語、音読、文法問題(1時間)				
5	リスニング演習	Lesson22 図表問題の解き方(Part3, 4) Eラーニング				音読、シャドーイング、Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
6	リーディング演習 リスニング演習	Lesson19 関連語句(Part5, 6) Eラーニング				音読、Eラーニング、単語、音読、文法問題(1時間)				
7	ハーフ模試 通し練習	ここまでの学習で習得したスキルを使い、半分の模試(100問)に挑戦します。				Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
8	リスニング演習	Lesson26 文脈を読み取る(Part3, 4)				音読、シャドーイング、Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
9	リーディング演習 リスニング演習	Lesson21 Scanningを身に付けよう(Part7) Eラーニング				音読、Eラーニング、単語、音読、文法問題(1時間)				
10	リーディング演習 リスニング演習	Lesson20 接続詞系の問題(Part5, 6) Eラーニング				音読、Eラーニング、単語、音読、文法問題(1時間)				
11	リーディング演習 リスニング演習	Lesson24 文章の展開パターン(Part6) Eラーニング				音読、Eラーニング、単語、音読、文法問題(1時間)				
12	リーディング演習 リスニング演習	Lesson23 Multiple Passage(Part7) Eラーニング				音読、Eラーニング、単語、音読、文法問題(1時間)				
13	リーディング演習 リスニング演習	Lesson25 代名詞や限定詞が生むつながり(Part7) Eラーニング				音読、Eラーニング、単語、音読、文法問題(1時間)				
14	リーディング演習 リスニング演習	Lesson27 口語的なやり取りに慣れよう(Part3, Part7)				音読、シャドーイング、Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
15	まとめ	実際の半分の問題数(100問)の模試に取り組む。学習の成果を出し切れよう、時間配分に注意しながら解く練習をする。				期末試験に備える(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「はじめてのTOEIC L&Rテスト きほんのきほん」石井洋佑、Karl Rosvold、Michael McDowell著(スリーエーネットワーク) ISBN:978-4-88319-761-3(生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト 英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。) 「新TOEIC TEST 初心者特急 読解編」神崎正哉、TEX加藤著(朝日新聞出版) ISBN:978-4023313231(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:40% 定期試験:20% 課題:30% S:授業内容を高度に理解し、課題をこなすだけでなく自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
参考書は授業内で紹介します。				TOEICには継続的な学習が不可欠です。来期の「TOEIC」も引き続き受講することを強く推奨します。間違えることを恐れず英会話を楽しみましょう。Eラーニングを活用するため、PC、スマホ、タブレットのいずれかが必須です。						

科目名	TOEIC Dクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12110	研究室	非常勤
担当者	勝山 庸子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	~2016年度 TOEIC (初級)					
授業概要										
本授業では英語でのコミュニケーションの基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を総合的に身につけ、TOEIC L&Rのスコアアップを目指します。授業では、学んだ表現を実際にクラスメートとの会話で使い、スピーキング力も養うことを目指します。										
学修到達目標										
リスニング能力、文法の知識、語彙力を身につけ、TOEIC L&Rで370点以上取得できる。さらに、日常会話ができる程度のコミュニケーション能力を修得している。										
授業の進め方										
前期「TOEIC 1」から引き続き、リスニング力の強化に取り組みつつ、リーディングの得点アップにつながる学習も行います。また、授業中に学んだ表現を実際に使ってみることで、スピーキング力強化にも繋がります。Eラーニングを活用します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス TOEIC L&R テストの傾向と対策	授業の概要と目標、授業の進め方について説明。前期の結果を踏まえ、スコアを上げるための学習計画を立てる。				Eラーニング、文法問題(1時間)				
2	リスニング演習	Lesson7動作と状態の違いで正解を見抜く(Part1) Eラーニング				音読、シャドーイング、Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
3	リーディング演習 リスニング演習	Lesson17 代名詞のチェックポイント(Part5, 6) Eラーニング				音読、Eラーニング、単語、音読、文法問題(1時間)				
4	リーディング演習 リスニング演習	Lesson18 形容詞節のチェックポイント(Part5, 6) Eラーニング				音読、Eラーニング、単語、音読、文法問題(1時間)				
5	リスニング演習	Lesson22 図表問題の解き方(Part3, 4) Eラーニング				音読、シャドーイング、Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
6	リーディング演習 リスニング演習	Lesson19 関連語句(Part5, 6) Eラーニング				音読、Eラーニング、単語、音読、文法問題(1時間)				
7	ハーフ模試 通し練習	ここまでの学習で習得したスキルを使い、半分の模試(100問)に挑戦します。				Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
8	リスニング演習	Lesson26 文脈を読み取る(Part3, 4)				音読、シャドーイング、Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
9	リーディング演習 リスニング演習	Lesson21 Scanningを身に付けよう(Part7) Eラーニング				音読、Eラーニング、単語、音読、文法問題(1時間)				
10	リーディング演習 リスニング演習	Lesson20 接続詞系の問題(Part5, 6) Eラーニング				音読、Eラーニング、単語、音読、文法問題(1時間)				
11	リーディング演習 リスニング演習	Lesson24 文章の展開パターン(Part6) Eラーニング				音読、Eラーニング、単語、音読、文法問題(1時間)				
12	リーディング演習 リスニング演習	Lesson23 Multiple Passage(Part7) Eラーニング				音読、Eラーニング、単語、音読、文法問題(1時間)				
13	リーディング演習 リスニング演習	Lesson25 代名詞や限定詞が生むつながり(Part7) Eラーニング				音読、Eラーニング、単語、音読、文法問題(1時間)				
14	リーディング演習 リスニング演習	Lesson27 口語的なやり取りに慣れよう(Part3, Part7)				音読、シャドーイング、Eラーニング、単語、文法問題(1時間)				
15	まとめ	実際の半分の問題数(100問)の模試に取り組む。学習の成果を出し切れよう、時間配分に注意しながら解く練習をする。				期末試験に備える(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「はじめてのTOEIC L&Rテスト きほんのきほん」石井洋佑、Karl Rosvold、Michael McDowell著(スリーエーネットワーク) ISBN:978-4-88319-761-3(生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト 英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:40% 定期試験:20% 課題:30% S:授業内容を高度に理解し、課題をこなすだけでなく自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
参考書は授業内で紹介します。				TOEICには継続的な学習が不可欠です。来期の「TOEIC」も引き続き受講することを強く推奨します。間違えることを恐れず英会話を楽しみましょう。Eラーニングを活用するため、PC、スマホ、タブレットのいずれかが必須です。						

科目名	TOEIC Eクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバ`リ`ン`グ`	UL12110	研究室	非常勤
担当者	清澤 理恵		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア`-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	~2016年度 TOEIC (初級)				
授業概要										
TOEICは「英語でコミュニケーション」が取れるかどうかを測るテストです。本授業ではTOEIC に引き続き、TOEIC Bridgeのスコアアップを狙いながら、会話やコミュニケーション力をさらに養います。問題演習や会話練習を多く取り入れ、使える英語の修得を目指します。										
学修到達目標										
TOEIC Bridgeで140点を目標せる英語力を身につけている。英語での基本的な応答がスムーズにできる。リーディングに必要な、基本的スキルを身につけている。										
授業の進め方										
前半はリスニング力の習得に力を入れながら、同時に会話練習を行って、楽しみながら基本的なコミュニケーション能力を身につけます。後半では、文法・読解問題演習を増やし、TOEIC Bridgeテストでのスコアアップを目指します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	前期を振り返り、目標を達成するために何が必要かを確認します。				前期の内容を復習して授業に臨む。宿題として自己学習の目標を立てる。(1時間)				
2	学習方法の確認と実践 文法演習 リスニング Part 2	英語学習に必要な学習方法を確認 基本文法(過去完了進行形)の問題演習 Part 2 手段・程度				文法復習、テキストP. 28-29の音読筆写、単語リスト1、Eラーニング(1時間)				
3	文法演習 リスニング Part 2 リーディング Part 5	基本文法(未来を表す表現・未来進行形と未来完了形)の問題演習 Part 2 一般疑問文・平叙文 Part 5 料理法				文法復習、テキストP. 30-31、88-89の復習と音読、Eラーニング(1時間)				
4	文法演習 リスニング Part 2 リーディング Part 5	基本文法(仮定法過去・仮定法過去完了)の問題演習 Part 2 付加疑問文・否定疑問文 Part 5 広告・記事(基礎問題)				文法復習、テキストP. 32、90-91の復習と音読筆写、単語リスト、Eラーニング(1時間)				
5	文法演習、小テスト リスニング Part 2 リーディング Part 5	実践テスト、小テスト Part 2 選択疑問文 Part 5 広告・記事(実践問題)				実践テスト 復習、テキストP. 33、122の復習と音読筆写、単語リスト2、Eラーニング(1時間)				
6	文法演習 リスニング Part 3 リーディング Part 5	基本文法(分詞・受動態)の問題演習 Part 3 Where Part 5 広告・記事(実践問題)				文法復習、テキストP. 40、123の復習と音読筆写、単語リスト3、Eラーニング(1時間)				
7	文法演習 リスニング Part 3 リーディング Part 5	基本文法(受動態のいろいろな形)の問題演習 実践テスト Part 3 Who、Part 5 広告・記事(実践問題)				文法復習、テキストP. 41、126の復習と音読練習、単語リスト3、Eラーニング(1時間)				
8	文法演習 リスニング Part 3 リーディング Part 5	基本文法(不定詞・不定詞を使った文)の問題演習 Part 3 When Part 5 掲示文(基礎問題)				文法復習、テキストP. 42、92-93の復習と音読練習、単語リスト4、Eラーニング(1時間)				
9	文法演習、小テスト リスニング Part 3 リーディング Part 5	基本文法(不定詞のいろいろな形・動名詞)の問題演習 Part 3 How、Part 5 掲示文(実践問題) 単語テスト				文法復習、テキストP. 43-44、121の復習と音読練習、単語リスト4、Eラーニング(1時間)				
10	文法演習 リスニング Part 3 リーディング Part 5	基本文法(不定詞と動名詞のちがい)の問題演習 実践テスト Part 3 What、Part 5 Eメール(基礎問題)				文法復習、テキストP. 45、94-95の復習と音読練習、単語リスト5、Eラーニング(1時間)				
11	文法演習 リスニング Part 3 リーディング Part 5	基本文法(関係代名詞・そのほかの関係代名詞)の問題演習 Part 3 Why Part 5 Eメール(実践問題)				文法復習、テキストP. 46、124の音読練習、単語リスト5、Eラーニング(1時間)				
12	文法演習 リスニング Part 3 リーディング Part 5	基本文法(注意すべき関係代名詞・関係副詞)の問題演習 Part 4 実践問題演習、Part 3 交通機関 Part 5 手紙(実践問題)				文法復習、テキストP. 47、113-114、125の復習と音読練習、単語リスト6、Eラーニング(1時間)				
13	文法演習、小テスト リスニング Part 1-3 時間配分について	基本文法(関係代名詞と関係副詞のちがい)の問題演習 Part 1-2 通し練習、Part 3 ガイドツアー 時間配分確認、単語テスト				文法復習、テキストP. 48の復習と音読、単語リスト1-6、Eラーニング(1時間)				
14	通し練習振り返り 文法演習 リスニング Part 3	課題の通し練習を振り返り、課題分析 基本文法(比較級・最上級)の問題演習 実践テスト、Part 4 実践問題演習、Part 3 電話メッセージ				文法復習、テキストP. 49、115-116の復習と音読練習、単語リスト7、Eラーニング(1時間)				
15	リスニング Part 2-3	Part 4 実践問題演習 Part 2-3 部分的に通して練習し、テスト対策				テキストP. 113-118、間違った個所の復習と音読練習、単語リスト1-7、Eラーニング(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「TOEIC Bridgeスピードマスター」柴山かつの著(ジェイ・リサ-チ出版) ISBN:978-4901429573(生協で購入してください。) 「TOEICテスト 英文法をひとつひとつわかりやすく。」富岡恵著(株式会社学研プラス出版)(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:40% 定期試験:20% 課題:30% S:授業内容を高度に理解し、課題をこなすだけでなく自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても着しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で指示します。				TOEICには継続的な学習が不可欠です。来期の「TOEIC」も引き続き受講することを強く推奨します。間違えることを恐れず英会話を楽しみましょう。Eラーニングを活用するため、PC、スマホ、タブレットのいずれかが必須です。						

科目名	TOEIC Fクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナパ`リ`ン`グ`	UL12110	研究室	非常勤	
担当者	小西 さやか		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-				
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C	~2016年度 TOEIC (初級)					
授業概要											
TOEICは「英語でコミュニケーション」が取れるかどうかを測るテストです。本授業ではTOEIC に引き続き、TOEIC Bridgeのスコアアップを狙いながら、会話やコミュニケーション力をさらに養います。問題演習や会話練習を多く取り入れ、使える英語の修得を目指します。											
学修到達目標											
TOEIC Bridgeで130点を目標せる英語力を身につけている。英語での基本的な応答がスムーズにできる。リーディングに必要な、基本的スキルを身につけている。											
授業の進め方											
前半はリスニング力の習得に力を入れながら、同時に会話練習を行って、楽しみながら基本的なコミュニケーション能力を身につけます。後半では、文法・読解問題演習を増やし、TOEIC Bridgeテストでのスコアアップを目指します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	前期を振り返り、目標を達成するために何が必要かを確認します。					前期の内容を復習して授業に臨む。宿題として自己学習の目標を立てる。(1時間)				
2	学習方法の確認と実践 文法演習 リスニング Part 2	英語学習に必要な学習方法を確認 基本文法(過去完了進行形)の問題演習 Part 2 手段・程度					文法復習、テキストP. 28-29の音読筆写、単語リスト1、Eラーニング(1時間)				
3	文法演習 リスニング Part 2 リーディング Part 5	基本文法(未来を表す表現・未来進行形と未来完了形)の問題演習 Part 2 一般疑問文・平叙文 Part 5 料理法					文法復習、テキストP. 30-31、88-89の復習と音読、Eラーニング(1時間)				
4	文法演習 リスニング Part 2 リーディング Part 5	基本文法(仮定法過去・仮定法過去完了)の問題演習 Part 2 付加疑問文・否定疑問文 Part 5 広告・記事(基礎問題)					文法復習、テキストP. 32、90-91の復習と音読筆写、単語リスト、Eラーニング(1時間)				
5	文法演習、小テスト リスニング Part 2 リーディング Part 5	実践テスト、小テスト Part 2 選択疑問文 Part 5 広告・記事(実践問題)					実践テスト 復習、テキストP. 33、122の復習と音読筆写、単語リスト2、Eラーニング(1時間)				
6	文法演習 リスニング Part 3 リーディング Part 5	基本文法(分詞・受動態)の問題演習 Part 3 Where Part 5 広告・記事(実践問題)					文法復習、テキストP. 40、123の復習と音読筆写、単語リスト3、Eラーニング(1時間)				
7	文法演習 リスニング Part 3 リーディング Part 5	基本文法(受動態のいろいろな形)の問題演習 実践テスト Part 3 Who、Part 5 広告・記事(実践問題)					文法復習、テキストP. 41、126の復習と音読練習、単語リスト3、Eラーニング(1時間)				
8	文法演習 リスニング Part 3 リーディング Part 5	基本文法(不定詞・不定詞を使った文)の問題演習 Part 3 When Part 5 掲示文(基礎問題)					文法復習、テキストP. 42、92-93の復習と音読練習、単語リスト4、Eラーニング(1時間)				
9	文法演習、小テスト リスニング Part 3 リーディング Part 5	基本文法(不定詞のいろいろな形・動名詞)の問題演習 Part 3 How、Part 5 掲示文(実践問題) 単語テスト					文法復習、テキストP. 43-44、121の復習と音読練習、単語リスト4、Eラーニング(1時間)				
10	文法演習 リスニング Part 3 リーディング Part 5	基本文法(不定詞と動名詞のちがい)の問題演習 実践テスト Part 3 What、Part 5 Eメール(基礎問題)					文法復習、テキストP. 45、94-95の復習と音読練習、単語リスト5、Eラーニング(1時間)				
11	文法演習 リスニング Part 3 リーディング Part 5	基本文法(関係代名詞・そのほかの関係代名詞)の問題演習 Part 3 Why Part 5 Eメール(実践問題)					文法復習、テキストP. 46、124の音読練習、単語リスト5、Eラーニング(1時間)				
12	文法演習 リスニング Part 3 リーディング Part 5	基本文法(注意すべき関係代名詞・関係副詞)の問題演習 Part 4 実践問題演習、Part 3 交通機関 Part 5 手紙(実践問題)					文法復習、テキストP. 47、113-114、125の復習と音読練習、単語リスト6、Eラーニング(1時間)				
13	文法演習、小テスト リスニング Part 1-3 時間配分について	基本文法(関係代名詞と関係副詞のちがい)の問題演習 Part 1-2 通し練習、Part 3 ガイドツアー 時間配分確認、単語テスト					文法復習、テキストP. 48の復習と音読、単語リスト1-6、Eラーニング(1時間)				
14	通し練習振り返り 文法演習 リスニング Part 3	課題の通し練習を振り返り、課題分析 基本文法(比較級・最上級)の問題演習 実践テスト、Part 4 実践問題演習、Part 3 電話メッセージ					文法復習、テキストP. 49、115-116の復習と音読練習、単語リスト7、Eラーニング(1時間)				
15	リスニング Part 2-3	Part 4 実践問題演習 Part 2-3 部分的に通して練習し、テスト対策					テキストP. 113-118、間違った個所の復習と音読練習、単語リスト1-7、Eラーニング(1時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「TOEIC Bridgeスピードマスター」柴山かつの著(ジェイ・リサ-チ出版) ISBN:978-4901429573(生協で購入してください。) 「TOEICテスト 英文法をひとつひとつわかりやすく。」富岡恵著(株式会社学研プラス出版) ISBN:978-4053046499(生協で購入してください。)					受講態度:10% 小テスト:40% 定期試験:20% 課題:30% S:授業内容を高度に理解し、課題をこなすだけでなく自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても着しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で指示します。					TOEICには継続的な学習が不可欠です。来期の「TOEIC」も引き続き受講することを強く推奨します。間違えることを恐れず英会話を楽しみましょう。Eラーニングを活用するため、PC、スマホ、タブレットのいずれかが必須です。						

科目名	TOEIC Gクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12110	研究室	非常勤
担当者	櫻井 智子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	~2016年度 TOEIC (初級)				
授業概要										
TOEICは「英語でコミュニケーション」が取れるかどうかを測るテストです。本授業ではTOEIC に引き続き、TOEIC Bridgeのスコアアップを狙いながら、会話やコミュニケーション力をさらに養います。問題演習や会話練習を多く取り入れ、使える英語の修得を目指します。										
学修到達目標										
TOEIC Bridgeで120点を目標せる英語力を身に着けている。英語での基本的な応答がスムーズにできる。リーディングに必要な、基本的スキルを身に着けている。										
授業の進め方										
前半は前期に引き続き、リスニング力の習得に力を入れながら、同時に会話練習を行って、楽しみながら基本的なコミュニケーション能力を身につけます。後半では長文問題演習を増やし、TOEIC Bridgeテストでのスコアアップを目指します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	TOEIC Bridgeがどのようなテストかを知り、今後の学習計画を立てます。				自己紹介文を考え、発表できるように練習を行う。Eラーニング(1時間)				
2	TOEIC Bridge演習(1回目) 課題分析	実際にTOEIC Bridgeを解いて答え合わせを行った後、それぞれの課題分析を行う。				テストに出てきた基本動詞、単語リスト1、Eラーニング(1時間)				
3	文法演習 リスニング Part 1	基本文法(名詞・動詞)の問題演習 Part 1 基礎問題				文法(名詞・動詞)の復習、テキストP. 14-15の音読筆写、単語リスト1、Eラーニング(1時間)				
4	文法演習 リスニング Part 1	基本文法(形容詞・副詞)の問題演習 Part 2 応用問題				文法(形容詞・副詞)の復習、テキストP. 16-17の音読筆写、単語リスト2、Eラーニング(1時間)				
5	文法演習 リスニング Part 2 小テスト	実践テスト Part 2 When 単語テスト				実践テスト の復習、テキストP. 20の音読筆写、単語リスト2、Eラーニング(1時間)				
6	文法演習 リスニング Part 2	基本文法(代名詞・助動詞)の問題演習 Part 2 Who				文法(代名詞・助動詞)の復習、テキストP. 21の音読筆写、単語リスト3、Eラーニング(1時間)				
7	文法演習 リスニング Part 2	基本文法(接続詞・そのほかの接続詞)の問題演習 Part 2 Why Part 5 パンフレットの読み取り練習				文法(接続詞)の復習、テキストP. 23の音読筆写、単語リスト4、Eラーニング(1時間)				
8	文法演習 リスニング Part 2 リーディング Part 5	基本文法(接続詞・そのほかの接続詞)の問題演習 Part 2 Why Part 5 パンフレットの読み取り練習				文法(接続詞)の復習、テキストP. 23の音読筆写、単語リスト4、Eラーニング(1時間)				
9	文法演習、小テスト リスニング Part 2 リーディング Part 5	基本文法(前置詞と接続詞のちがい)の問題演習 実践テスト Part 2 What、Part 5 請求書(基礎問題)				文法復習、P. 24、84-85の音読筆写と復習、単語リスト4、Eラーニング(1時間)				
10	文法演習 リスニング Part 2 リーディング Part 5	基本文法(現在形・現在進行形)の問題演習 Part 2 How much、Part 5 請求書(実践問題) 単語テスト				文法復習、P. 25、127の音読筆写と復習、単語リスト5、Eラーニング(1時間)				
11	文法演習 リスニング Part 2 リーディング Part 5	基本文法(現在完了・現在完了進行形)の問題演習 Part 2 How long Part 5 表(基礎問題)				文法の復習、P. 26、86-87の音読筆写と復習、単語リスト5、Eラーニング(1時間)				
12	文法演習 リスニング Part 2 リーディング Part 5	基本文法(過去形・過去形と現在完了のちがい)の問題演習 Part 2 How far Part 5 表(実践問題)				文法の復習、テキストP. 27、120の音読筆写と復習、単語、Eラーニング(1時間)				
13	文法演習、小テスト リスニング Part 3 リーディング Part 4	基本文法(過去進行形・過去完了形)の問題演習 Part 3-4 実践問題演習				文法復習、問題の復習と音読筆写、単語リスト6、Eラーニング(1時間)				
14	TOEIC Bridge演習(2回目) 課題分析	第1回目の授業で解いた問題にもう一度取り組み、どの能力を伸ばすことができたのかを認識すると共に、今後の課題を分析。単語テスト				間違った問題を全て復習。特に不明な単語を覚えて音読筆写、Eラーニング(1時間)				
15	まとめ	定期テストとして行うTOEIC Bridge IPIに備え、学んだ単語や表現の総復習を行う。				授業で扱ったフレーズ・文法の復習、課題の総復習、Eラーニング(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「TOEIC Bridge スピードマスター」柴山かつの著(ジェイ・リサーチ出版) ISBN:978-4-901429-57-3(生協で購入してください。) 「TOEICテスト英文法をひとつひとつわかりやすく。」富岡恵著(株式会社学研プラス出版) ISBN:978-4053046499(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:40% 課題:30% 定期試験:20% S:授業内容を高度に理解し、課題をこなすだけでなく自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。スコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				TOEICには継続的な学習が不可欠です。来期の「TOEIC」も引き続き受講することを強く推奨します。間違えることを恐れず英会話を楽しみましょう。Eラーニングを活用するため、PC、スマホ、タブレットのいずれかが必須です。						

科目名	TOEIC Aクラス		学年学期	2年前期	単位数	1	ナバリング	UL22111	研究室	非常勤
担当者	山浦 かおる		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	~2016年度 TOEIC (中級)					
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、やや長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。後期「TOEIC」を通してTOEIC L&Rで500点以上の取得を目指します。										
学修到達目標										
「TOEIC L・R」で学習した内容を復習しながら、TOEIC450点取得に必要な問題に対処できる力を修得している。リスニングでは、自然なスピードでの会話を聞き、概要を把握できる。										
授業の進め方										
TOEICに頻出するトピックごとにまとめられたテキストを用いて、リスニング、語彙、文法、読解を総合的に学習します。さらに、授業で会話練習に取り組むことにより、スピーキング力を強化することを狙います。Eラーニングを活用します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス TOEIC L&R テストの傾向と対策	授業の概要と進め方を説明。質問を受ける。TOEIC L&Rの概要の確認。過去のテスト結果を踏まえ、今後の学習方法を検討する。チェックイン登録。				学習計画を立てる、音読(1時間)				
2	リスニング・リーディング 問題演習	Unit1 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
3	リスニング・リーディング 問題演習	Unit1 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
4	リスニング・リーディング 問題演習	Unit2 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
5	リスニング・リーディング 問題演習	Unit2 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
6	リスニング・リーディング 問題演習	Unit3 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
7	リスニング・リーディング 問題演習	Unit3 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
8	リスニング・リーディング 問題演習	Unit4 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
9	リスニング・リーディング 問題演習	Unit4 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
10	リスニング・リーディング 問題演習	Unit5 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
11	リスニング・リーディング 問題演習	Unit5 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
12	リスニング・リーディング 問題演習	Unit6 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
13	リスニング・リーディング 問題演習	Unit6 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
14	リスニング・リーディング 問題演習	Unit7 Part1-7のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
15	まとめ	実際の半分の問題数(100問)の模試に取り組む。学習の成果を出し切れるよう、時間配分に注意して解く。				定期試験に向けて自己学習(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「THE HIGH ROAD TO THE TOEIC LISTENING AND READING TEST」早川幸治、番場直之、中村信子、鈴木顕著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4045-7(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% S:授業内容を高度に理解し、課題をこなすだけでなく自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても着しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
参考書は授業内で紹介します。				今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレット端末のいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。						

科目名	TOEIC Bクラス		学年学期	2年前期	単位数	1	ナバリング	UL22111	研究室	非常勤
担当者	春日 啓子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	~2016年度 TOEIC (中級)					
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、やや長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。後期「TOEIC」を通してTOEIC L&Rで500点以上の取得を目指します。										
学修到達目標										
「TOEIC L・R」で学習した内容を復習しながら、TOEIC450点取得に必要な問題に対処できる力を修得している。リスニングでは、自然なスピードでの会話を聞き、概要を把握できる。										
授業の進め方										
TOEICに頻出するトピックごとにまとめられたテキストを用いて、リスニング、語彙、文法、読解を総合的に学習します。さらに、授業で会話練習に取り組むことにより、スピーキング力を強化することを狙います。Eラーニングを活用します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス TOEIC L&R テストの傾向と対策	授業の概要と進め方を説明。質問を受ける。TOEIC L&Rの概要の確認。過去のテスト結果を踏まえ、今後の学習方法を検討する。チェックイン登録。				学習計画を立てる、音読(1時間)				
2	リスニング・リーディング 問題演習	Unit1 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
3	リスニング・リーディング 問題演習	Unit1 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
4	リスニング・リーディング 問題演習	Unit2 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
5	リスニング・リーディング 問題演習	Unit2 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
6	リスニング・リーディング 問題演習	Unit3 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
7	リスニング・リーディング 問題演習	Unit3 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
8	リスニング・リーディング 問題演習	Unit4 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
9	リスニング・リーディング 問題演習	Unit4 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
10	リスニング・リーディング 問題演習	Unit5 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
11	リスニング・リーディング 問題演習	Unit5 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
12	リスニング・リーディング 問題演習	Unit6 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
13	リスニング・リーディング 問題演習	Unit6 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
14	リスニング・リーディング 問題演習	Unit7 Part1-7のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
15	まとめ	実際の半分の問題数(100問)の模試に取り組む。学習の成果を出し切れるよう、時間配分に注意して解く。				定期試験に向けて自己学習(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「THE HIGH ROAD TO THE TOEIC LISTENING AND READING TEST」早川幸治、番場直之、中村信子、鈴木顕著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4045-7(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% S:授業内容を高度に理解し、課題をこなすだけでなく自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても着しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
参考書は授業内で紹介します。				今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレット端末のいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。						

科目名	TOEIC Cクラス		学年学期	2年前期	単位数	1	ナバリング	UL22111	研究室	非常勤
担当者	勝山 庸子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	~2016年度 TOEIC (中級)					
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、やや長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。後期「TOEIC」を通してTOEIC L&Rで500点以上の取得を目指します。										
学修到達目標										
「TOEIC L・R」で学習した内容を復習しながら、TOEIC450点取得に必要な問題に対処できる力を修得している。リスニングでは、自然なスピードでの会話を聞き、概要を把握できる。										
授業の進め方										
TOEICに頻出するトピックごとにまとめられたテキストを用いて、リスニング、語彙、文法、読解を総合的に学習します。さらに、授業で会話練習に取り組むことにより、スピーキング力を強化することを狙います。Eラーニングを活用します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス TOEIC L&R テストの傾向と対策	授業の概要と進め方を説明。質問を受ける。TOEIC L&Rの概要の確認。過去のテスト結果を踏まえ、今後の学習方法を検討する。チェックイン登録。				学習計画を立てる、音読(1時間)				
2	リスニング・リーディング 問題演習	Unit1 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
3	リスニング・リーディング 問題演習	Unit1 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
4	リスニング・リーディング 問題演習	Unit2 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
5	リスニング・リーディング 問題演習	Unit2 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
6	リスニング・リーディング 問題演習	Unit3 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
7	リスニング・リーディング 問題演習	Unit3 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
8	リスニング・リーディング 問題演習	Unit4 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
9	リスニング・リーディング 問題演習	Unit4 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
10	リスニング・リーディング 問題演習	Unit5 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
11	リスニング・リーディング 問題演習	Unit5 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
12	リスニング・リーディング 問題演習	Unit6 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
13	リスニング・リーディング 問題演習	Unit6 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
14	リスニング・リーディング 問題演習	Unit7 Part1-7のPractice, Challenge問題				単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)				
15	まとめ	実際の半分の問題数(100問)の模試に取り組む。学習の成果を出し切れるよう、時間配分に注意して解く。				定期試験に向けて自己学習(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「THE HIGH ROAD TO THE TOEIC LISTENING AND READING TEST」早川幸治、番場直之、中村信子、鈴木顕著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4045-7(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% S:授業内容を高度に理解し、課題をこなすだけでなく自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても着しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
参考書は授業内で紹介します。				今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレット端末のいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。						

科目名	TOEIC Dクラス		学年学期	2年前期	単位数	1	ナバリング	UL22111	研究室	非常勤
担当者	櫻井 智子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	~2016年度 TOEIC (中級)				
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、やや長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。後期「TOEIC」を通してTOEIC L&Rで500点以上の取得を目指します。										
学修到達目標										
「TOEIC L・R」で学習した内容を復習しながら、TOEIC450点取得に必要な問題に対処できる力を修得している。リスニングでは、自然なスピードでの会話を聞き、概要を把握できる。										
授業の進め方										
TOEICに頻出するトピックごとにまとめられたテキストを用いて、リスニング、語彙、文法、読解を総合的に学習します。さらに、授業で会話練習に取り組むことにより、スピーキング力を強化することを狙います。Eラーニングを活用します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス TOEIC L&R テストの傾向と対策	授業の概要と進め方を説明。質問を受ける。TOEIC L&Rの概要の確認。過去のテスト結果を踏まえ、今後の学習方法を検討する。チェックイン登録。					学習計画を立てる、音読(1時間)			
2	リスニング・リーディング 問題演習	Unit1 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
3	リスニング・リーディング 問題演習	Unit1 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
4	リスニング・リーディング 問題演習	Unit2 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
5	リスニング・リーディング 問題演習	Unit2 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
6	リスニング・リーディング 問題演習	Unit3 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
7	リスニング・リーディング 問題演習	Unit3 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
8	リスニング・リーディング 問題演習	Unit4 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
9	リスニング・リーディング 問題演習	Unit4 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
10	リスニング・リーディング 問題演習	Unit5 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
11	リスニング・リーディング 問題演習	Unit5 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
12	リスニング・リーディング 問題演習	Unit6 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
13	リスニング・リーディング 問題演習	Unit6 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
14	リスニング・リーディング 問題演習	Unit7 Part1-7のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
15	まとめ	実際の半分の問題数(100問)の模試に取り組む。学習の成果を出し切れるよう、時間配分に注意して解く。					定期試験に向けて自己学習(1時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「THE HIGH ROAD TO THE TOEIC LISTENING AND READING TEST」早川幸治、番場直之、中村信子、鈴木顕著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4045-7(生協で購入してください。)					受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% S:授業内容を高度に理解し、課題をこなすだけでなく自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても着しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
参考書は授業内で紹介します。					今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレット端末のいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。					

科目名	TOEIC Eクラス		学年学期	2年前期	単位数	1	ナバリング	UL22111	研究室	非常勤
担当者	宮坂 るみ		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	~2016年度 TOEIC (中級)				
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、やや長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。後期「TOEIC」を通してTOEIC L&Rで500点以上の取得を目指します。										
学修到達目標										
「TOEIC L・R」で学習した内容を復習しながら、TOEIC450点取得に必要な問題に対処できる力を修得している。リスニングでは、自然なスピードでの会話を聞き、概要を把握できる。										
授業の進め方										
TOEICに頻出するトピックごとにまとめられたテキストを用いて、リスニング、語彙、文法、読解を総合的に学習します。さらに、授業で会話練習に取り組むことにより、スピーキング力を強化することを狙います。Eラーニングを活用します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス TOEIC L&R テストの傾向と対策	授業の概要と進め方を説明。質問を受ける。TOEIC L&Rの概要の確認。過去のテスト結果を踏まえ、今後の学習方法を検討する。チェックイン登録。					学習計画を立てる、音読(1時間)			
2	リスニング・リーディング 問題演習	Unit1 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
3	リスニング・リーディング 問題演習	Unit1 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
4	リスニング・リーディング 問題演習	Unit2 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
5	リスニング・リーディング 問題演習	Unit2 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
6	リスニング・リーディング 問題演習	Unit3 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
7	リスニング・リーディング 問題演習	Unit3 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
8	リスニング・リーディング 問題演習	Unit4 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
9	リスニング・リーディング 問題演習	Unit4 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
10	リスニング・リーディング 問題演習	Unit5 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
11	リスニング・リーディング 問題演習	Unit5 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
12	リスニング・リーディング 問題演習	Unit6 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
13	リスニング・リーディング 問題演習	Unit6 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
14	リスニング・リーディング 問題演習	Unit7 Part1-7のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
15	まとめ	実際の半分の問題数(100問)の模試に取り組む。学習の成果を出し切れるよう、時間配分に注意して解く。					定期試験に向けて自己学習(1時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「THE HIGH ROAD TO THE TOEIC LISTENING AND READING TEST」早川幸治、番場直之、中村信子、鈴木顕著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4045-7(生協で購入してください。)					受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% S:授業内容を高度に理解し、課題をこなすだけでなく自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても着しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
参考書は授業内で紹介します。					今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレット端末のいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。					

科目名	TOEIC Fクラス		学年学期	2年前期	単位数	1	ナバリング	UL22111	研究室	非常勤
担当者	田邊 雅彦		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	~2016年度 TOEIC (中級)				
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、やや長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。後期「TOEIC」を通してTOEIC L&Rで500点以上の取得を目指します。										
学修到達目標										
「TOEIC L・R」で学習した内容を復習しながら、TOEIC450点取得に必要な問題に対処できる力を修得している。リスニングでは、自然なスピードでの会話を聞き、概要を把握できる。										
授業の進め方										
TOEICに頻出するトピックごとにまとめられたテキストを用いて、リスニング、語彙、文法、読解を総合的に学習します。さらに、授業で会話練習に取り組むことにより、スピーキング力を強化することを狙います。Eラーニングを活用します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス TOEIC L&R テストの傾向と対策	授業の概要と進め方を説明。質問を受ける。TOEIC L&Rの概要の確認。過去のテスト結果を踏まえ、今後の学習方法を検討する。チェックイン登録。					学習計画を立てる、音読(1時間)			
2	リスニング・リーディング 問題演習	Unit1 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
3	リスニング・リーディング 問題演習	Unit1 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
4	リスニング・リーディング 問題演習	Unit2 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
5	リスニング・リーディング 問題演習	Unit2 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
6	リスニング・リーディング 問題演習	Unit3 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
7	リスニング・リーディング 問題演習	Unit3 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
8	リスニング・リーディング 問題演習	Unit4 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
9	リスニング・リーディング 問題演習	Unit4 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
10	リスニング・リーディング 問題演習	Unit5 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
11	リスニング・リーディング 問題演習	Unit5 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
12	リスニング・リーディング 問題演習	Unit6 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
13	リスニング・リーディング 問題演習	Unit6 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
14	リスニング・リーディング 問題演習	Unit7 Part1-7のPractice, Challenge問題					単語、音読、シャドーイング、問題演習(1時間)			
15	まとめ	実際の半分の問題数(100問)の模試に取り組む。学習の成果を出し切れるよう、時間配分に注意して解く。					定期試験に向けて自己学習(1時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「THE HIGH ROAD TO THE TOEIC LISTENING AND READING TEST」早川幸治、番場直之、中村信子、鈴木顕著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4045-7(生協で購入してください。)					受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% S:授業内容を高度に理解し、課題をこなすだけでなく自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても着しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
参考書は授業内で紹介します。					今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレット端末のいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。					

科目名	TOEIC Aクラス		学年学期	2年後期	単位数	1	ナバリング	UL22112	研究室	非常勤	
担当者	山浦 かおる		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー				
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C	~2016年度 TOEIC (実践レベル)					
授業概要											
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、さらなるスコアアップを狙います。リスニングに加え、前期よりもさらに長い文を読みこなせるリーディングスキルを養います。											
学修到達目標											
TOEIC L&Rで500点を取得できる英語力を身に付けている。 リスニングでは、英語での短文の質問・応答が理解でき、やや長めのアナウンスを聞いて概要を理解できる。											
授業の進め方											
この授業では、リスニング力、語彙力、文法力を実践的に身につけます。さらに、授業では会話も取り入れ、スピーキング力も同時に強化することを狙います。Eラーニングを活用します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	授業ガイダンス	授業概要と授業の進め方の説明。前期の振り返りと今期の学習計画を立てる。					前期IPスコアシート持参。学習計画を立てる。問題演習(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習	Unit8 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習	Unit8 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
4	リスニング演習 リーディング演習	Unit9 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
5	リスニング演習 リーディング演習	Unit9 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
6	リスニング演習 リーディング演習	Unit10 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
7	リスニング演習 リーディング演習	Unit10 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
8	リスニング演習 リーディング演習	Unit11 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
9	リスニング演習 リーディング演習	Unit11 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
10	リスニング演習 リーディング演習	Unit12 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
11	リスニング演習 リーディング演習	Unit12 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
12	リスニング演習 リーディング演習	Unit13 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
13	リスニング演習 リーディング演習	Unit13 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
14	リスニング演習 リーディング演習	Unit14 Part1-7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
15	通し練習	実際の半分の問題数(100問)の模試に取り組む。学習の成果を出し切れるよう、時間配分に注意して解く。					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「The High Road to TOEIC Listening and Reading Test」早川幸治 / 番場直之 / 中村信子 / 鈴木顕 著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4045-7 (生協で購入してください。) 「TOEIC L&R TEST 標準模試2」神崎正哉、ダニエル・ワーリナ著 (IBC/ブリッシング) ISBN:978-4794604668 (生協で購入してください。)					受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% S:授業内容を高度に理解し、課題をこなすだけでなく自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
参考書、追加のテキストは授業内で指示します。					今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレット端末のいずれかが必要です。						

科目名	TOEIC Bクラス		学年学期	2年後期	単位数	1	ナバリング	UL22112	研究室	非常勤	
担当者	春日 啓子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー				
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C	~2016年度 TOEIC (実践レベル)					
授業概要											
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、さらなるスコアアップを狙います。リスニングに加え、前期よりもさらに長い文を読みこなせるリーディングスキルを養います。											
学修到達目標											
TOEIC L&Rで500点を取得できる英語力を身に付けている。 リスニングでは、英語での短文の質問・応答が理解でき、やや長めのアナウンスを聞いて概要を理解できる。											
授業の進め方											
この授業では、リスニング力、語彙力、文法力を実践的に身につけます。さらに、授業では会話も取り入れ、スピーキング力も同時に強化することを狙います。Eラーニングを活用します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	授業ガイダンス	授業概要と授業の進め方の説明。前期の振り返りと今期の学習計画を立てる。					前期IPスコアシート持参。学習計画を立てる。問題演習(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習	Unit8 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習	Unit8 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
4	リスニング演習 リーディング演習	Unit9 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
5	リスニング演習 リーディング演習	Unit9 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
6	リスニング演習 リーディング演習	Unit10 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
7	リスニング演習 リーディング演習	Unit10 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
8	リスニング演習 リーディング演習	Unit11 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
9	リスニング演習 リーディング演習	Unit11 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
10	リスニング演習 リーディング演習	Unit12 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
11	リスニング演習 リーディング演習	Unit12 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
12	リスニング演習 リーディング演習	Unit13 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
13	リスニング演習 リーディング演習	Unit13 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
14	リスニング演習 リーディング演習	Unit14 Part1-7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
15	通し練習	実際の半分の問題数(100問)の模試に取り組む。学習の成果を出し切れるよう、時間配分に注意して解く。					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「The High Road to TOEIC Listening and Reading Test」早川幸治 / 番場直之 / 中村信子 / 鈴木顕 著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4045-7 (生協で購入してください。) 「TOEIC L&R TEST 標準模試2」神崎正哉、ダニエル・ワーリナ著 (IBC/ブリッシング) ISBN:978-4794604668 (生協で購入してください。)					受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% S:授業内容を高度に理解し、課題をこなすだけでなく自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
参考書、追加のテキストは授業内で指示します。					今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレット端末のいずれかが必要です。						

科目名	TOEIC Cクラス		学年学期	2年後期	単位数	1	ナバリング	UL22112	研究室	非常勤
担当者	勝山 庸子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	~2016年度 TOEIC (実践レベル)					
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、さらなるスコアアップを狙います。リスニングに加え、前期よりもさらに長い文を読みこなせるリーディングスキルを養います。										
学修到達目標										
TOEIC L&Rで500点を取得できる英語力を身に付けている。 リスニングでは、英語での短文の質問・応答が理解でき、やや長めのアナウンスを聞いて概要を理解できる。										
授業の進め方										
この授業では、リスニング力、語彙力、文法力を実践的に身につけます。さらに、授業では会話も取り入れ、スピーキング力も同時に強化することを狙います。Eラーニングを活用します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス	授業概要と授業の進め方の説明。前期の振り返りと今期の学習計画を立てる。					前期IPスコアシート持参。学習計画を立てる。問題演習(1時間)			
2	リスニング演習 リーディング演習	Unit8 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
3	リスニング演習 リーディング演習	Unit8 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
4	リスニング演習 リーディング演習	Unit9 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
5	リスニング演習 リーディング演習	Unit9 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
6	リスニング演習 リーディング演習	Unit10 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
7	リスニング演習 リーディング演習	Unit10 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
8	リスニング演習 リーディング演習	Unit11 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
9	リスニング演習 リーディング演習	Unit11 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
10	リスニング演習 リーディング演習	Unit12 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
11	リスニング演習 リーディング演習	Unit12 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
12	リスニング演習 リーディング演習	Unit13 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
13	リスニング演習 リーディング演習	Unit13 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
14	リスニング演習 リーディング演習	Unit14 Part1-7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
15	通し練習	実際の半分の問題数(100問)の模試に取り組む。学習の成果を出し切れるよう、時間配分に注意して解く。					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「The High Road to TOEIC Listening and Reading Test」早川幸治 / 番場直之 / 中村信子 / 鈴木顕 著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4045-7 (生協で購入してください。)					受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% S:授業内容を高度に理解し、課題をこなすだけでなく自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても着しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
参考書、追加のテキストは授業内で指示します。					今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレット端末のいずれかが必要です。					

科目名	TOEIC Dクラス		学年学期	2年後期	単位数	1	ナバリング	UL22112	研究室	非常勤	
担当者	櫻井 智子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー				
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C	~2016年度 TOEIC (実践レベル)					
授業概要											
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、さらなるスコアアップを狙います。リスニングに加え、前期よりもさらに長い文を読みこなせるリーディングスキルを養います。											
学修到達目標											
TOEIC L&Rで500点を取得できる英語力を身に付けている。 リスニングでは、英語での短文の質問・応答が理解でき、やや長めのアナウンスを聞いて概要を理解できる。											
授業の進め方											
この授業では、リスニング力、語彙力、文法力を実践的に身につけます。さらに、授業では会話も取り入れ、スピーキング力も同時に強化することを狙います。Eラーニングを活用します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	授業ガイダンス	授業概要と授業の進め方の説明。前期の振り返りと今期の学習計画を立てる。					前期IPスコアシート持参。学習計画を立てる。問題演習(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習	Unit8 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習	Unit8 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
4	リスニング演習 リーディング演習	Unit9 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
5	リスニング演習 リーディング演習	Unit9 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
6	リスニング演習 リーディング演習	Unit10 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
7	リスニング演習 リーディング演習	Unit10 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
8	リスニング演習 リーディング演習	Unit11 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
9	リスニング演習 リーディング演習	Unit11 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
10	リスニング演習 リーディング演習	Unit12 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
11	リスニング演習 リーディング演習	Unit12 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
12	リスニング演習 リーディング演習	Unit13 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
13	リスニング演習 リーディング演習	Unit13 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
14	リスニング演習 リーディング演習	Unit14 Part1-7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
15	通し練習	実際の半分の問題数(100問)の模試に取り組む。学習の成果を出し切れるよう、時間配分に注意して解く。					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「The High Road to TOEIC Listening and Reading Test」早川幸治 / 番場直之 / 中村信子 / 鈴木顕 著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4045-7 (生協で購入してください。)					受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% S:授業内容を高度に理解し、課題をこなすだけでなく自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても着しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
参考書、追加のテキストは授業内で指示します。					今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレット端末のいずれかが必要です。						

科目名	TOEIC Eクラス		学年学期	2年後期	単位数	1	ナバリング	UL22112	研究室	非常勤
担当者	宮坂 るみ		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	~2016年度 TOEIC (実践レベル)					
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、さらなるスコアアップを狙います。リスニングに加え、前期よりもさらに長い文を読みこなせるリーディングスキルを養います。										
学修到達目標										
TOEIC L&Rで500点を取得できる英語力を身に付けている。 リスニングでは、英語での短文の質問・応答が理解でき、やや長めのアナウンスを聞いて概要を理解できる。										
授業の進め方										
この授業では、リスニング力、語彙力、文法力を実践的に身につけます。さらに、授業では会話も取り入れ、スピーキング力も同時に強化することを狙います。Eラーニングを活用します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス	授業概要と授業の進め方の説明。前期の振り返りと今期の学習計画を立てる。					前期IPスコアシート持参。学習計画を立てる。問題演習(1時間)			
2	リスニング演習 リーディング演習	Unit8 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
3	リスニング演習 リーディング演習	Unit8 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
4	リスニング演習 リーディング演習	Unit9 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
5	リスニング演習 リーディング演習	Unit9 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
6	リスニング演習 リーディング演習	Unit10 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
7	リスニング演習 リーディング演習	Unit10 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
8	リスニング演習 リーディング演習	Unit11 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
9	リスニング演習 リーディング演習	Unit11 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
10	リスニング演習 リーディング演習	Unit12 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
11	リスニング演習 リーディング演習	Unit12 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
12	リスニング演習 リーディング演習	Unit13 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
13	リスニング演習 リーディング演習	Unit13 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
14	リスニング演習 リーディング演習	Unit14 Part1-7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
15	通し練習	実際の半分の問題数(100問)の模試に取り組む。学習の成果を出し切れるよう、時間配分に注意して解く。					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「The High Road to TOEIC Listening and Reading Test」早川幸治 / 番場直之 / 中村信子 / 鈴木顕 著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4045-7 (生協で購入してください。)					受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% S:授業内容を高度に理解し、課題をこなすだけでなく自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても着しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
参考書、追加のテキストは授業内で指示します。					今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレット端末のいずれかが必要です。					

科目名	TOEIC Fクラス		学年学期	2年後期	単位数	1	ナバリング	UL22112	研究室	非常勤
担当者	田邊 雅彦		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	~2016年度 TOEIC (実践レベル)					
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、さらなるスコアアップを狙います。リスニングに加え、前期よりもさらに長い文を読みこなせるリーディングスキルを養います。										
学修到達目標										
TOEIC L&Rで500点を取得できる英語力を身に付けている。 リスニングでは、英語での短文の質問・応答が理解でき、やや長めのアナウンスを聞いて概要を理解できる。										
授業の進め方										
この授業では、リスニング力、語彙力、文法力を実践的に身につけます。さらに、授業では会話も取り入れ、スピーキング力も同時に強化することを狙います。Eラーニングを活用します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス	授業概要と授業の進め方の説明。前期の振り返りと今期の学習計画を立てる。					前期IPスコアシート持参。学習計画を立てる。問題演習(1時間)			
2	リスニング演習 リーディング演習	Unit8 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
3	リスニング演習 リーディング演習	Unit8 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
4	リスニング演習 リーディング演習	Unit9 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
5	リスニング演習 リーディング演習	Unit9 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
6	リスニング演習 リーディング演習	Unit10 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
7	リスニング演習 リーディング演習	Unit10 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
8	リスニング演習 リーディング演習	Unit11 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
9	リスニング演習 リーディング演習	Unit11 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
10	リスニング演習 リーディング演習	Unit12 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
11	リスニング演習 リーディング演習	Unit12 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
12	リスニング演習 リーディング演習	Unit13 Part1, 3, 7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
13	リスニング演習 リーディング演習	Unit13 Part2, 4, 5, 6のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
14	リスニング演習 リーディング演習	Unit14 Part1-7のPractice, Challenge問題					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
15	通し練習	実際の半分の問題数(100問)の模試に取り組む。学習の成果を出し切れるよう、時間配分に注意して解く。					単語・フレーズを学習 音読 問題演習(1時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「The High Road to TOEIC Listening and Reading Test」早川幸治 / 番場直之 / 中村信子 / 鈴木顕 著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4045-7 (生協で購入してください。)					受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% S:授業内容を高度に理解し、課題をこなすだけでなく自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても着しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
参考書、追加のテキストは授業内で指示します。					今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレット端末のいずれかが必要です。					

科目名	中国語（基礎）		学年学期	2年前期	単位数	1	ナパ'リング	UL22113	研究室	非常勤
担当者	中島 暉		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
<p>本講義は中国語の発音と簡単な会話を学び、中国語の基礎を身に付けることを目的とします。 本講義はテキストを用いて、その内容を「聴く、話す、読む、書く」という練習を繰り返すことによって、標準的な発音および会話能力の定着をはかります。</p>										
学修到達目標										
受信するだけでなく発信にも使えるような基礎的な文法と会話表現を身に付けることが具体的な目標です。										
授業の進め方										
<p>声を出すことを大切に、ロールプレイ形式で練習します。 授業に合わせて中国の食文化、習慣などを紹介していきます。</p>										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス、中国語とは	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価の仕方について説明をします。中国語の特徴を紹介します。				テキストP6とP7を事前に予習する。（1時間）				
2	発音「単母音」、声調	中国語の発音（ピンイン）と声調（四声）について説明をします。発音練習を行います。				テキストP8を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
3	発音「子音」、挨拶	発音「子音」と簡単な挨拶について説明をします。発音練習を行います。				テキストP9を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
4	発音「子音」、自己紹介	発音「子音」と名前の言い方について説明をします。発音と会話練習を行います。				テキストP9とP14を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
5	発音「複合母音」、自己紹介	発音「複合母音」と「出身地、職業」の言い方について説明をします。発音と会話練習を行います。				テキストP14とP15を事前に読み、P16の問題練習をする。（1時間）				
6	発音「複合母音」、物事の尋ね方（指示代名詞、疑問詞）	発音「複合母音」と「これは何ですか？」の使い方について説明をします。発音と会話練習を行います。				テキストP19を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
7	発音「鼻母音」	前回学習した内容を使い、会話練習を行います。				テキストP10とP18を事前に読み、P20の問題練習をする。（1時間）				
8	動詞の文	「動詞の文」について説明をします。会話練習を行います。				テキストP22とP23を事前に読み、P24の問題練習をする。（1時間）				
9	量詞、形容詞の文、買い物	「量詞」、「形容詞の文」と「買い物」をする時に使う表現について説明をします。会話練習を行います。				教科書P26とP27を事前に読み、P28の問題練習をする。（1時間）				
10	数字、日付、時刻	「数字」、「日付」と「時刻」の使い方について説明をします。会話練習を行います。				教科書P30とP31を事前に読み、P32の問題練習をする。（1時間）				
11	完了、助動詞、食事	「完了」、「助動詞」と「食事」の時に使う表現について説明をします。小テストを行います。				テキストP33～P35を事前に読み、P36問題練習をする。（1時間）				
12	所在	「所在」を表す表現について説明をします。「～は～にある・いる」と「～したい」を使い、会話練習を行います。				テキストP35を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
13	介詞、反復疑問文、家族名称	「介詞」、「反復疑問文」と「家族名称」の呼び方について説明をします。				教科書P39を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
14	存在、家族構成	「存在」と「家族構成」の言い方について説明をします。会話練習を行います。				教科書P38を事前に読み、P40の問題を練習する。（1時間）				
15	講義全体まとめ	これまで学習した内容をまとめます。				テキストP8～P40の内容について目を通し、全体の復習をする。（1時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「中国語はじめの一步」竹島金吾 監修 尹景春・竹島毅著（白水社） ISBN:978-4-560-06925-7（生協で購入してください。） 必要に応じて、プリントを配布します。				受講態度：30% 小テスト：30% 定期試験：40% S:各回の授業内容を十分理解するとともに、自ら意欲的に課題を取り組み、授業で学んだことを95%以上ができる。A:各回の授業内容を理解するとともに、積極的に課題を取り組み、授業で学んだことを80%以上ができる。B:授業内容について概ね理解し、課題を取り組み、授業で学んだことを70%以上ができる。C:授業内容について理解し、授業で学んだことを60%以上ができる。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
特にありません				授業中恥ずかしがらずに声を出して、練習をしましょう。予習と復習を行ってください。						

科目名	中国語（展開）		学年学期	2年後期	単位数	1	ナパリング	UL22114	研究室	非常勤
担当者	中島 暉		必修選択	選択	科目種別	講義	カイスマー			
関連資格					履修条件	中国語 を修得していること				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
本講義では、学習した中国語 をベースに、さらに具体的、実践的な場面での会話能力を習得します。本講義はテキストを用い、その内容を「聴く、話す、読む、書く」という練習を繰り返すことによって、標準的な発音および会話能力の習得を目指します。										
学修到達目標										
受信するだけでなく発信にも使えるような会話能力を身に付けることが具体的な目標です。										
授業の進め方										
声を出すことを大切に、ロールプレイ形式で練習することを重視します。中国文化についても紹介し、異文化への理解を深めていきます。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス、発音（ピンイン）の確認	授業概要、学習目標、授業の進め方、成績評価の仕方について説明をします。発音（ピンイン）の確認をします。				学習した「中国語」の内容について復習をする。（1時間）				
2	時間量、助動詞、介詞	「時間量」、「助動詞」と「介詞」について説明をします。				テキストP43を事前に読む。授業内容について復習をする。（1時間）				
3	アルバイト	前回学習した内容を使い、「一週間に何回アルバイトがありますか？」などの会話練習を行います。				テキストP41とP42を事前に読む。P44の問題を練習する。（1時間）				
4	過去型、強調	「過去形」と「強調」について説明をします。				テキストP47を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
5	介詞、応用	「介詞」、「～したことがある」と「～が～に」の使い方について説明をします。				テキストP47を事前に読み、P48の問題を練習する。（1時間）				
6	旅行	「あなたは旅行が好きですか?」、「アメリカに行った事がありますか?」などの会話練習を行います。				テキストP46を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
7	動作の様態、助動詞	「動作の様態」と「助動詞」について説明をします。				テキストP51を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
8	動詞の重ね型	「動詞の重ね型」について説明をします。				テキストP51を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
9	できる（能力的・条件的・習得する）	「できる」を使い、会話練習を行います。				テキストP50を事前に読み、P52の問題を練習する。（1時間）				
10	動作の進行、選択疑問	「動作の進行」と「選択疑問」について説明をします。				テキストP55を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
11	趣味	前回学習した内容を使い、会話練習を行います。小テストを行います。				テキストP53～P55を事前に読み、P56の問題を練習する。（1時間）				
12	比較、2つの目的語をもつ文	「比較」と「2つの目的語をもつ文」について説明をします。				テキストP59を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
13	予定	前回学習した内容を使い、会話練習を行います。				テキストP57～P59を事前に読み、P60の問題を練習する。（1時間）				
14	作文（自己紹介）	学生自身が実際に中国語で「自己紹介」の作文を書いてみます。				テキストP61を事前に読んでください。（1時間）				
15	講義全体まとめ	これまで学習した内容をまとめます。				テキストP43～P60の内容について復習をする。（1時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「中国語ははじめの一歩」竹島金吾 監修 尹景春・竹島毅著（白水社） ISBN:978-4-560-06925-7（生協で購入してください。） 必要に応じて、プリントを配布します。				受講態度：30% 小テスト：30% 定期試験：40% S:各回の授業内容を十分理解するとともに、自ら意欲的に課題を取り組み、授業で学んだことを95%以上ができる。A:各回の授業内容を理解するとともに、積極的に課題を取り組み、授業で学んだことを80%以上ができる。B:授業内容について概ね理解し、課題を取り組み、授業で学んだことを70%以上ができる。C:授業内容について理解し、授業で学んだことを60%以上ができる。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
特にありません。				授業中恥ずかしがらずに声を出して、練習を行いましょう。予習と復習を行ってください。						

科目名	ハングル（基礎）		学年学期	2年前期	単位数	1	ナパリング	UL22115	研究室	非常勤
担当者	林 英美		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）				
			A	B	C					
授業概要										
ハングルとは、元来朝鮮半島で使われている言語（韓国語・朝鮮語）を表記するために用いられている文字のことを示しますが、この授業では科目の名称として使用しています。この科目では韓国語・朝鮮語の文字と発音を習得します。また、韓国語の文章が読めるようになり、簡単な日常会話を身につけることを目的とします。										
学修到達目標										
履修生は、ハングルの文字の発音の基礎について学び、読み書きができるようになることを目的とします。また、韓国語の文章が読めるようになり、簡単な日常会話を話せるようになることを目的とします。										
授業の進め方										
主にテキストの内容に沿って授業を進めます。書き取り・聞き取り・カードゲームなど様々なミニテストを実施し、会話練習にも取り組みます。ハングル歌・映画・ドラマ等を紹介するほか、朝鮮半島の文化風習についても紹介します。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス ハングル・韓国語・朝鮮語について	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価の仕方についての説明をします。ハングルで用いられている記号の説明をし、韓国語・朝鮮語がどのような言語であるのかを紹介します。				テキスト第1課1と2を読んで、授業内容の復習をする。(1時間)				
2	単母音、ヤ行	単母音、ヤ行について学びます。				テキストP10～18の復習と予習をする。(1時間)				
3	ワ行	ワ行について学びます。				テキストP14～17の復習と予習をする。(1時間)				
4	平音	平音について学ぶ。				テキストP18～25の復習と予習をする。(1時間)				
5	激音・濃音	激音と濃音について学ぶ。				テキストP18～27の復習をする。(1時間)				
6	有声音化	平音の有声音化について学ぶ。				テキストP26～32の復習をする。(1時間)				
7	これまでのまとめ	テキスト第1課と第2課のまとめをする。				テキストP10～32の復習をし、P33～35までの予習をする。(1時間)				
8	パッチム(1)	鼻音と流音について学ぶ。				テキストP33～39の復習と予習をする。(1時間)				
9	パッチム(2)	口音と日本語のハングル表記について学ぶ。				テキストP36～43の復習と予習をする。(1時間)				
10	発音規則(1)	連音化、hの弱音化・無音化について学ぶ。				テキストP40～45の予習と復習をする。(1時間)				
11	発音規則(2)	濃音化について学ぶ。				テキストP44～47の復習と予習をする。(1時間)				
12	発音規則(3)	激音化について学ぶ。				テキストP48～49の復習をする。(1時間)				
13	発音規則(4)	口蓋音化・流音化について学ぶ。				テキストP32～35の復習をする。(1時間)				
14	アウトキャンパススタディ	韓国文化を実体験し、韓国語とそれにまつわる文化的理解を深める。				アウトキャンパススタディに関するレポートを書く。				
15	講義全体まとめ	前期で学んだ事項を復習する。				テキストP10～49の復習をする。				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「おはよう韓国語1」崔柄珠著（朝日出版社） ISBN:978-4-255-55632-1（生協で購入してください。）				小テスト：20% レポート：10% 定期試験：40% 出席レポート：30% S：授業内容を高度に理解しており、成績評価の合計が100%である。 A：授業内容を理解しており、成績評価の合計が80%～99%である。 B：授業内容を概ね理解しており、成績評価の合計が70%～79%である。 C：授業内容の60%程度を理解しており、成績評価の合計が60%～69%である。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
「おはよう韓国語1」崔柄珠著（朝日出版社） ISBN：978-4-255-55632-1 適宜お知らせいたします。				常日頃から韓国や朝鮮のドラマ・映画、ニュースなどに興味を持ち、ハングルに親しみましょう。また、留学生との交流を図り、学んだ知識を実践で使ってみるよう心掛けましょう。						

科目名	ハングル (展開)		学年学期	2年後期	単位数	1	ナパリング	UL22116	研究室	非常勤
担当者	林 英美		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件	ハングル を修得していること				
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
前期に学んだハングルの文字と発音のルールをベースにして、後期では主に簡単な会話表現・文法について学ぶことを目的とします。										
学修到達目標										
ハングルの基本的な読み書きを習得している受講生が、語彙、文法、発音に関する知識を深め、日常会話に役立つ表現を学ぶことを目的とします。また、ハングル能力検定試験5級及び韓国語能力試験1級を受験できるレベルの知識習得を目標とします。										
授業の進め方										
対話練習を重視し、語彙・文法・発音を身につけられるようにします。会話・筆記試験を定期的実施し、習得状況を確認します。映画鑑賞や異文化学習、アウトキャンパススタディによる実践練習を取り入れた楽しい学習方法を伝授します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンス、文字と発音	文字と発音について学びます。					テキストP10-49を復習する。(1時間)			
2	第5課自己紹介(1)	第5課の発音と語彙、文法と表現について学ぶ。					テキストP58~67を復習する。(1時間)			
3	第5課自己紹介(2)	第5課のまとめ学習をする。					テキストP58~67を復習する。(1時間)			
4	第6課~ではありません(1)	第6課の発音と語彙、文法と表現について学ぶ。					テキストP68~77を復習する。(1時間)			
5	第6課~ではありません(2)	第6課のまとめ学習をする。					テキストP68~77を復習する。(1時間)			
6	第5~6課のリスニングと会話	第5~6課のリスニングと会話学習をする。					テキストP58~77を復習する。(1時間)			
7	第7課~が好きです(1)	第7課の発音と語彙、文法について学ぶ。第4課「流音の鼻音化」について学ぶ。					テキストP78~91を復習する。(1時間)			
8	第7課~が好きです(2)	第7課の重要表現について学ぶ。					テキストP78~91を復習する。(1時間)			
9	第7課~が好きです(2)	第7課のまとめ学習をする。					テキストP78~91を復習する。(1時間)			
10	第8課お誕生日(1)	第8課の発音と語彙、文法と表現について学ぶ。					テキストP92-105を復習する。(1時間)			
11	第8お誕生日(2)	月と曜日、時を表す語を学ぶ。第4課「nの添加(合成語)」について学ぶ。					テキストP92-105を復習する。(1時間)			
12	第8お誕生日(2)	へヨ体を学び、第8課のまとめ学習をする。					テキストP92-105を復習する。(1時間)			
13	第9課予定と時間	固有数詞と時刻について学ぶ。					テキストP110-114を復習する。(1時間)			
14	アウトキャンパススタディ、第10課	5課から10課までの会話表現を用いて、韓国語話者と会話練習をする。異文化体験を通じて、「ハングル」に対する理解を深める。					アウトキャンパススタディ参加レポートを作成する。(1時間)			
15	全体のまとめ	第5課から第10課を復習する。					テキストP58~125を復習する。(1時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「おやよう韓国語1」崔柄珠著(朝日出版社) ISBN:978-4-255-55632-1(生協で購入してください。)					小テスト:30% 定期試験:30% レポート:10% 受講態度:30% S:授業内容を高度に理解しており、成績評価の合計が100%である。 A:授業内容を理解しており、成績評価の合計が81%~99%である。 B:授業内容を概ね理解しており、成績評価の合計が71%~80%である。 C:授業内容の60%程度を理解しており、成績評価の合計が61%~70%である。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
適宜お知らせいたします。					ハングルIIを履修する学生は、ハングルIを受講していることが条件です。後期から受講を希望する場合、文字の読み書きができることが必須条件です。					

科目名	ICTと情報倫理		学年学期	1年前期	単位数	2	ナパ'リング	UL12201	研究室	非常勤
担当者	久保田 裕		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	2017年度～				
授業概要										
本講義は、様々な事例を参考に、情報社会における諸問題を理解し、それへの対応力を高めます。情報機器の急速な発展によってインターネット利用が日常化し、メディアの特性や価値を理解することなく情報の発信を行うことにより、著作権侵害、個人情報の漏洩、児童ポルノ、不正アクセス、ネット詐欺など犯罪の加害者、被害者になったり、意図せずに法令に違反するなどの例も後が絶ちません。そうならないために、情報モラルの醸成と情報をめぐる法の精神について考え、人生の生き方を学修します。										
学修到達目標										
ICTとは何か情報倫理(情報モラル)を学ぶために、人生とは何か、どう生きたいか、情報社会との関わり合いを通し、周囲とのコミュニケーションの重要性を再認識し、大学生活及び社会生活を有意義で快適、かつ安全に過ごすための基本的な考え方を修得することができる。										
授業の進め方										
授業の学習内容により、資料を作成したり、グループワークや講義形式など様々な形態で行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ICTと情報倫理(情報モラル)概要	本講義で学ぶ概要を説明します。					自分の履修計画を作成します。(4時間)			
2	あなたの人生の目標は?(1)	各自、座右の銘を紹介し、簡単な自己紹介をすることによってプレゼンテーションの実習をします。					著作物(作品)との関わりについて新聞や本を読み、話す内容をまとめておきます。(4時間)			
3	あなたの人生の目標は?(2)	2回と同じ。受講生が多いことからテーマを同じにしました。					2回と同じ。(4時間)			
4	情報モラルと情報を巡る法律について(1回)	情報社会で「生きる」ことについて考えます。今この状況を取り切る判断、決断、覚悟、決心について学びます。					自分の人生の振り返りをし、今後について考えます。(4時間)			
5	情報モラルと情報を巡る法律について(2回)	4回に同じ。					4回に同じ。(4時間)			
6	いわゆる情報法全般について触れ、法の精神を考えます。	情報社会の規律としての情報法を学び、規範の意味について考えます。					情報社会で、被害にあったり、加害者になっていないかを検討し、発表します。(4時間)			
7	著作権法を学ぶ(1回)	民法の特別法としての著作権法を学びます。法とモラルの違いを考えながら法へのアプローチを考えます。					ネットで著作権法にかかわる条文や事例についてアクセスしておく。(4時間)			
8	著作権法を学ぶ(2回)	1回目講義の復習をしつつ、条文にあたりながら自分の生活と著作権法との関わりを考え、著作物の意味と価値を考えます。					復習すること。(4時間)			
9	著作権法を学ぶ(3回)	人間しか行わない「創作」について考え、自らの表現行為と誰に向けての発信か、さらにどのようなメディアを選択するのか、という観点から情報ツールとの付き合い方を考えます。					著作物の例示からその種類をイメージし、自ら創作してみます。(4時間)			
10	著作権法を学ぶ(4回)	著作権の侵害とその救済について具体的な例をあげ、自分の著作権を守ることを考えます。					ICT機器の進歩やメディアの変遷にどのような与えているか考えます。(4時間)			
11	著作権検定問題に挑戦し、著作権法を正しく理解しているか。	初級著作権検定問題に挑戦。					理解していなかったところの復習をし、確認します。(4時間)			
12	検定問題をひとつひとつ自らの判断理由を述べ、全員で議論。	正しい著作権法の理解に向けて解説します。					間違えた設問について、と照らし合わせながら復習します。(4時間)			
13	12回に続く解説	正しい著作権法の理解について解説します。					自分としての倫理感を過去の事例を挙げて改めて考えます。(4時間)			
14	松本大学情報モラル10箇条について	過去の松本大学情報モラル10箇条について検討し、意見交換を行います。					各自が情報モラル10箇条を考えて来ること。(4時間)			
15	振り返りとまとめ	もう一度講義内容を振り返り、この講義の意味と価値を考えます。					情報モラルと法(ルール)について、講義で習得した内容のレポートを提出する。(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
「たのしい著作権法」(講義にて配布します。)		受講態度:40% 定期試験:30% 出席レポート:30% S:各回の授業内容をすべて理解し、人生目標を極めて真剣に探究している。 A:各回の授業内容をよく理解し、人生目標を真剣に探究している。 B:各回の授業内容を理解し、人生目標を探究している。 C:各回の授業内容の概要を理解し、人生目標を立てようとしている。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「小さな倫理学入門」山内志朗著(慶応義塾大学出版会株式会社)		情報社会において真偽が定かでない情報が氾濫しています。この時代に生きて未来を創造する学生の皆さんは、情報に流されないように、どう生きるかしっかりと自己確立し、コミュニケーション能力の向上を目指してください。								

科目名	情報処理 (WORD) (栄養)	学年学期	1年前期	単位数	1	ナパリング	UL12202	研究室	非常勤	
担当者	内川 小百合	必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスワ-				
関連資格				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度 (読替科目)								
		A	B	C						
授業概要										
<p>情報処理を学ぶことは、ひとつはコンピュータ・リテラシーを学ぶこと、つまりコンピュータを使いこなしていくことです。文字を入力することは、その基礎です。さまざまな文書をコンピュータで作成し、編集し、そして保存し、また再利用することは、現代社会の中で、必須の技能といえるでしょう。本講義では、クラウド上の文書管理やビジネスメールの送り方、ワープロソフトWORDを使った正しく速い入力技術の習得、ビジネス文書・図形・表などを作成していくための機能を学んでいきます。</p>										
学修到達目標										
Office365の機能を習得し、ファイルの送受信などビジネスで使えるスキルを身につけている。正しいキータッチを習得し、ワープロソフトWORDを使ってビジネス文書・表作成・図形挿入・クリップアートや写真の挿入と編集ができる。日本情報処理検定協会ワープロ検定3級～2級を取得できる力を身につけている。										
授業の進め方										
演習形式で進めます。特に正確で素早いキータッチの技術を身につけるために、毎回スピードテストを行っていきます。WORDの機能を知り、その機能を使いこなせるように多くの演習をこなしていきます。										
授業計画 (各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	Office365の概要	Office365の機能と操作、WORDの起動と終了。					Office365の予復習 (1時間)			
2	文書管理、メール送信	文書管理 (ONE DRIVE)、メール機能、送信練習など					メール機能について予復習 (1時間)			
3	キータッチについて	正しいキータッチについての解説と演習					キータッチの運指練習 (1時間)			
4	日本語入力基礎	日本語入力基礎 日本語変換モード、IMEパッド、ファンクションキー及びキータッチ演習					キータッチの運指練習 (1時間)			
5	漢字変換について	漢字変換について (変換、文節区切り、文字の修正) 短文入力・記号の入力演習					キータッチによる単語練習 (1時間)			
6	特殊文字の入力	特殊文字の入力 アルファベット、カタカナ、特殊文字を含む文章の入力演習					キータッチによる短文入力練習 (1時間)			
7	編集機能	文字の修正、移動、コピーの演習					練習問題の復習 (1時間)			
8	編集機能	文字の書式 (フォント・サイズ・ボールド体・イタリック体・下線・囲み・網掛け)					練習問題の復習 (1時間)			
9	編集機能	文字の書式 (拡大縮小・下付き文字・上付き文字・取り消し線・影付きなど)					編集機能の復習と入力練習 (1時間)			
10	文書保存	文書保存、文書読み込み、再保存 (上書き保存、新しいファイル名を付けて保存)					入力練習および保存 (1時間)			
11	ビジネス文書	ビジネス文書のページ設定 (右詰め、中央揃え、インデント、段落番号、箇条書き)					ビジネス文書の入力練習 (1時間)			
12	表作成	罫線機能、表挿入、線種変更、列幅行高変更、セルの結合と分割、列や行の挿入と削除					表入力練習 (1時間)			
13	画像編集	画像の挿入 (ワードアート、オートシェイプ、クリップアート)					画像挿入および編集の復習 (1時間)			
14	ビジネス文書	表と画像を含むビジネス文書の完成					表と画像を含む文書の入力練習 (1時間)			
15	ビジネス文書	会社見学礼状や、内定時の礼状など、学生として出す文書の作成と留意点					さまざまな文書を自分の立場で作成してみる (1時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
「WORDの基礎」内川小百合著 (丸の内ハイデ出版) (生協で購入してください。)		受講態度: 40% 定期試験: 60%								
「日本語ワープロ検定問題模擬問題集」 (日本情報処理検定協会) (生協で購入してください。)		受講態度は、授業への参加度 (授業への取組、発言等) で評価します。								
		S: 9割以上の理解度 + 授業への参加度 + 実技点が100点。								
		A: 8割以上の理解度 + 授業への参加度 + 実技点が80点以上。								
		B: 8割程度の理解度 + 授業への参加度 + 実技点が70点以上。								
		C: 8割程度の理解度 + 授業への参加度 + 実技点が60点以上。								
参考書		履修上の注意 (学生へのメッセージ)								
「知りたい操作がすぐわかるWord2013全機能Bible」西上原裕明著 (技術評論社)		コンピュータの入力技術は本講義でしっかりと身につけてください。講義以外の時間を利用してできるだけキーボードに慣れ、WORDの機能についてよく復習してください。日本語ワープロ検定をぜひ受験しましょう。								

科目名	情報処理 (EXCEL初級) (栄養)	学年学期	1年前期	単位数	1	ナパリング	UL12203	研究室	非常勤	
担当者	松澤 みわ子・河西 文子・駒村 明子	必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスワ-				
関連資格	栄教一			履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度(読替科目)								
		A	B	C						
授業概要										
Microsoft Excelを用いた数値情報の加工・分析は、大学における研究分野のみならず、ビジネスシーンでも幅広く用いられています。身の回りの数値データを的確に処理し、自分に必要な情報を加工する道具としてExcelを使いこなせるようにしていきます。入力や計算式の作り方の基本から、セル参照の種類やよく使う算術・論理関数、グラフ作成、印刷などについて学びます。										
学修到達目標										
日本情報処理技能検定協会が実施している「表計算検定2級」の資格を取得する。または、それと同等の実力を養い、Excelを用いて素早く数値データの集計・加工ができる。										
授業の進め方										
講義はすべてパソコン教室でコンピュータを用いた実習形式となります。資格取得のためには、作業スピードも重要な要件となるため、時間外にも繰り返し操作することで作業効率の向上を目指します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス 基本操作と計算式	授業の進め方、評価方法についてExcelの基本操作および表計算検定4級について学習します。					同レベルの問題を配布するので、復習をしておく。(1時間)			
2	IF関数と端数処理	表計算検定3級で必須とされる基礎的な関数や書式設定について学習します。					配布されたプリントをもう一度最初から解答しておく。(1時間)			
3	セルの参照方式	表計算検定3級で必須とされるセルの参照方式(相対参照・絶対参照)について学習します。					配布されたプリントをもう一度最初から解答しておく。(1時間)			
4	判断文(2分岐・3分岐)	表計算検定3級で必須とされる、IF関数による条件判断や順位付けの関数について学習します。					配布されたプリントをもう一度最初から解答しておく。(1時間)			
5	表計算検定3級まとめ	これまで学習してきた表計算検定3級のまとめの回です。次回2級へ進むための準備学習も行います。					3級レベルの確認課題を出すので、次回までに解答しておく。(1時間)			
6	表検索とセル証明	表計算検定2級で必須とされる、Vlookup関数を用いた表検索やセル証明について学習します。					授業内にやった模擬問題を確実に解答できるよう復習しておく。(1時間)			
7	グラフ作成	表計算検定2級で必須とされる、グラフ作成方法(主に円グラフ)について学習します。					授業内にやった模擬問題を確実に解答できるよう復習しておく。(1時間)			
8	論理演算子を使った判定	表計算検定2級で必須とされる、AND関数、OR関数を理解し、IF関数と組み合わせた処理について学習します。					授業内にやった模擬問題を確実に解答できるよう復習しておく。(1時間)			
9	論理演算・平均との比較	平均との比較を含む複雑な論理演算を使った判定について学習します。					授業内にやった模擬問題を確実に解答できるよう復習しておく。(1時間)			
10	評価の解き方のまとめ	表計算検定2級で出題される複雑な多重分岐の解き方に関するまとめの学習を行います。					模擬問題を時間を計りながら次回までに練習しておく。(1時間)			
11	表計算2級検定試験対策	問題集や過去問題を使って規定時間内に解答できるようトレーニングします。					課題が出るので、時間を計りながら次回までに練習しておく。(1時間)			
12	表計算2級検定試験対策	問題集や過去問題を使って規定時間内に解答できるようトレーニングします。					課題が出るので、時間を計りながら次回までに練習しておく。(1時間)			
13	表計算2級検定試験対策	問題集や過去問題を使って規定時間内に解答できるようトレーニングします。					課題が出るので、時間を計りながら次回までに練習しておく。(1時間)			
14	表計算2級検定試験対策	自分の弱点抽出を行い、その部分を解答できるようトレーニングします。					時間を計りながら次回までに問題を練習しておく。(1時間)			
15	表計算2級検定試験対策	自分の弱点抽出を行い、その部分を解答できるようトレーニングします。					時間を計りながら問題を練習しておく。(1時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
「情報処理技能検定模擬問題集・表計算2級」日本情報処理技能検定協会編(生協で購入してください。)		課題:20% 定期試験:80% 定期試験は表計算検定2級レベルの内容となります。 A:課題の提出と定期試験または表計算検定において80%程度の技能が認められる B:課題の提出と定期試験または表計算検定において70%程度の技能が認められる C:課題の提出と定期試験または表計算検定において60%程度の技能が認められる								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「情報処理技能検定試験・表計算検定対策問題集(過去問題集)」日本情報処理技能検定協会編		収集した数値データや膨大な情報をいかに正確に効率よく取り扱えるかで、今後の問題解決のスピードが大きく変わります。ぜひともExcel操作に精通して欲しいと思います。								

科目名	情報処理 (EXCEL上級)		学年学期	2年前期	単位数	1	ナパリング	UL22204	研究室	非常勤	
担当者	松澤 みわ子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスワ-				
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C						
授業概要											
本講義は、表計算1級の検定合格を目標とします。楽しくパソコンを操作しながら、Excelの本格的な使い方を身につけます。会社などの仕事で実際に役立つような表計算の実力を身につけることを目的としています。数値データをもとにさまざまな統計処理が行えるようになります。「情報処理」では登場しなかった文字列関数や特殊関数、データベース関数、データの抽出、シート間の連携、複合グラフなどについて学びます。											
学修到達目標											
本講義は日本情報処理検定協会が実施している「表計算検定1級」以上の資格取得、またはそれと同等の実力をけることを目標とします。Excelを用いて複雑な数値データの集計・加工ができるようになることが目標です。											
授業の進め方											
講義はすべてパソコン教室でコンピュータを用いた実習形式となります。基本解説の後に演習課題を繰り返し行い、さまざまなパターンを経験し、実践力と作業のスピードアップを狙います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	授業ガイダンス	授業の進め方、評価方法についてExcelの操作復習(表計算2級レベル)を行います。					授業で解いた問題を何回も練習して下さい。(1時間)				
2	多重判断文等の復習	表計算検定2級レベルで必須とされている、多重判断文、表検索等について再確認をします。					授業で解いた問題を何回も練習して下さい。(1時間)				
3	文字列操作関数	表計算検定1級レベルで必須とされている、文字列を操作するLife・Right、CONCATINATE関数などについて解説します。					授業で解いた問題を何回も練習して下さい。(1時間)				
4	特殊関数	表計算検定1級レベルで必須とされている、ABS関数など特殊なについて解説します。					授業で解いた問題を何回も練習して下さい。(1時間)				
5	データベース関数	表計算検定1級レベルで必須とされている、DSUM、DAVERAGE、DCOUNT関数などのデータベース関数について解説します。					授業で解いた問題を何回も練習して下さい。(1時間)				
6	データベース関数	前回の授業で解説したDSUM、DAVERAGE、DCOUNT関数などのデータベース関数について復習をします。					授業で解いた問題を何回も練習して下さい。(1時間)				
7	抽出と抽出後のデータ処理	表計算検定1級レベルで必須とされている、条件を指定したデータ抽出とそのデータに対する処理について解説します。					授業で解いた問題を何回も練習して下さい。(1時間)				
8	シート間の処理	表計算検定初段レベルで必須とされている、複数シートを用いた計算式の作り方を紹介します。					授業で解いた問題を何回も練習して下さい。(1時間)				
9	複合グラフの作成	表計算検定初段レベルで必須とされている、複合グラフやグラフを複数作成する方法を紹介します。					授業で解いた問題を何回も練習して下さい。(1時間)				
10	検定試験対策	総合演習課題(過去問題のポイント解説を含む)を規定時間内にできるようトレーニングします。					授業で解いた問題を何回も練習して下さい。(1時間)				
11	検定試験対策	総合演習課題(過去問題のポイント解説を含む)を規定時間内にできるようトレーニングします。					授業で解いた問題を何回も練習して下さい。(1時間)				
12	検定試験対策	総合演習課題(過去問題のポイント解説を含む)を規定時間内にできるようトレーニングします。					授業で解いた問題を何回も練習して下さい。(1時間)				
13	検定試験対策	総合演習課題(過去問題のポイント解説を含む)を規定時間内にできるようトレーニングします。					授業で解いた問題を何回も練習して下さい。(1時間)				
14	検定試験対策	総合演習課題(過去問題のポイント解説を含む)を規定時間内にできるようトレーニングします。					授業で解いた問題を何回も練習して下さい。(1時間)				
15	検定試験対策	総合演習課題(過去問題のポイント解説を含む)を規定時間内にできるようトレーニングします。					授業で解いた問題を何回も練習して下さい。(1時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「情報処理技能検定模擬問題集・表計算1級」日本情報処理技能検定協会編(生協で購入してください。)					定期試験:80% 課題:20% 定期試験は表計算検定1級レベルの内容となります。 A:課題の提出と定期試験または表計算検定において80%程度の技能が認められる B:課題の提出と定期試験または表計算検定において70%程度の技能が認められる C:課題の提出と定期試験または表計算検定において60%程度の技能が認められる						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「カラー図解Excel「超」効率化マニュアル」立山 秀利著(講談社) ISBN:978-4062579995 なし					定期試験は、表計算検定1級と同等の問題を予定しています。「情報処理」を履修する学生は「情報処理」を履修し、2級を取得していることが望ましい。Excelの幅広い分野への応用力を養いましょう。						

科目名	情報処理 (パワーポイント)	学年学期	2年後期	単位数	1	ナバリング	UL22205	研究室	非常勤	
担当者	松澤 みわ子・駒村 明子・河西 文子	必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスワ-				
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、栄教一、中一(保健)、高一(保健)	履修条件								
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度(読替科目)								
	A B C	2017年度~								
授業概要										
Microsoft PowerPointによるプレゼンテーションは、研究発表や教育現場、ビジネスシーンなどで幅広く用いられています。本講義ではプレゼンテーションというコミュニケーション手段の特色をよく理解し、企画立案の段階から訴求力の高い視覚資料の作成方法、内容が伝わる発表技法など、プレゼンテーション全般を扱います。										
学修到達目標										
効果的なプレゼンテーションのために一連の作業(企画立案~視覚資料の作成~発表まで)ができる。また、PowerPointの操作技能としては、デザインに重点を置き、視覚効果を多様化した資料作成能力(プレゼンテーション作成検定2級レベル)を修得している。										
授業の進め方										
講義は主にパソコン教室でコンピュータを用いた実習形式となります。 授業内にプレゼン・スキルのトレーニングをかねて、一人ひとりプレゼンテーション(個人課題)実施の機会を設けます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス	授業の進め方、評価方法についての説明 PowerPointの基本的な機能を使用して、プレゼンテーション資料の作成方法を確認します(プレゼンテーション作成検定4級)。					シラバスの内容を事前に確認 事後は同様の問題で復習を行う。 (1時間)			
2	プレゼンの企画立案	プレゼンの企画段階において重要なことや、ストーリー構成の組み立て方、情報収集の手法について学習します。					授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン実施に向けた準備作業を進めておく。(1時間)			
3	レイアウト・デザイン	視覚資料のデザイン決定において重要なことや、テーマの活用方法を学習します。					授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン実施に向けた準備作業を進めておく。(1時間)			
4	視覚に訴えるチャート化	目に見えない概念や考え方、手順などを説明する際にチャートを活用する方法について学習します。					授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン実施に向けた準備作業を進めておく。(1時間)			
5	訴求力を上げるカラー化	カラーの基礎知識や配色の基本テクニック、カラー化によってプレゼン資料の訴求力を上げるためのポイントを学習します。					授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン実施に向けた準備作業を進めておく。(1時間)			
6	数値のビジュアル化とイメージ伝達	数値を目的に合わせてビジュアル表現するため、表やグラフの活用方法や具体的なイメージを伝える手段について学習します。					授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン実施に向けた準備作業を進めておく。(1時間)			
7	効果的なアニメーション	アニメーション効果、画面切り替えなど特殊効果の活用方法と、事前に行っておくべきさまざまな準備作業について学習します。					授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン実施に向けた準備作業を進めておく。(1時間)			
8	発表スキルと質疑応答	内容を効果的に相手に伝えるための様々なテクニックや、質疑応答の進め方について学習します。					次回のプレゼン本番に備え、視覚資料を完成させ、所定のフォルダに提出する。(2時間)			
9	プレゼン準備とリハーサル	これまで学んだ内容を実際に使って個人毎のプレゼン実施の準備とリハーサルを行います。					次回のプレゼン本番に備え、視覚資料を完成させ、所定のフォルダに提出する。(2時間)			
10	プレゼン発表	大切な個人ごとのプレゼン発表の回です。発表者はこれまでのプレゼンスキルの成果発表を行い、その他の人は質疑応答の場面で質問者となってもらいます。					事前に関リハーサルを済ませ、必要に応じて発表者用ノートを準備しておく。(2時間)			
11	プレゼン発表、またはプレゼン振り返り	履修者の人数にもよりますが、プレゼン発表の続き、または前回のプレゼン成果発表の振り返りを行います。					事前に関リハーサルを済ませ、必要に応じて発表者用ノートを準備しておく。(2時間)			
12	プレゼン検定対策(3級)	プレゼンテーション作成検定3級の模擬問題を解きながら、基本的なスライド作成手順やPowerPointの操作方法を復習します。					練習問題を配布するので、次回までに復習しておく。(1時間)			
13	プレゼン検定対策(2級)	プレゼンテーション作成検定2級の模擬問題を解きながら、デザインに重点を置いた、グラフ、アニメーションなどの視覚効果を多用した資料作成の技術を高めます。					練習問題を配布するので、次回までに復習しておく。(1時間)			
14	プレゼン検定対策(2級)	プレゼンテーション作成検定2級の模擬問題を解きながら、デザインに重点を置いた、グラフ、アニメーションなどの視覚効果を多用した資料作成の技術を高めます。					練習問題を配布するので、次回までに復習しておく。(1時間)			
15	プレゼン検定対策(2級)	プレゼンテーション作成検定2級の模擬問題を解きながら、デザインに重点を置いた、グラフ、アニメーションなどの視覚効果を多用した資料作成の技術を高めます。					練習問題を配布するので、次回までに復習しておく。(1時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
「情報利活用 プレゼンテーション PowerPoint 2013/2010対応」山崎 紅著(日経BP社) ISBN:978-4-82229-702-2(生協で購入してください。) 教科書は全員が購入してください。		課題:50% 定期試験:50% 定期試験はプレゼンテーション作成検定2級レベルの内容となります A:課題の提出・発表と定期試験において80%程度の技能が認められる B:課題の提出・発表と定期試験において70%程度の技能が認められる C:課題の提出・発表と定期試験において60%程度の技能が認められる								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「プレゼンテーション検定模擬問題集2級」(日本情報処理技能検定協会)検定受験を予定している方は購入してください。		プレゼンテーションとPowerPointの精通することで、円滑なコミュニケーション能力の向上も期待できます。他の授業においても、積極的にプレゼン発表の機会を得るように心がけてください。								

科目名	情報処理 (ホームページ)	学年学期	3年前期	単位数	1	ナパリング	UL32206	研究室	非常勤
担当者	松澤 みわ子・駒村 明子・永田 綾子	必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー			
関連資格				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
		A	B	C					
授業概要									
ホームページは情報の取得と発信の強力なツールであり、高度情報社会における重要な情報メディアと言えます。本講義では、ホームページ作成における初中級レベルの技術を習得することを目的とします。ホームページの基礎知識 (HTML・スタイルシート) を学び、さらにホームページ内で用いるWebコンテンツ (画像、ロゴ、アニメーション) の作成についても学びます。									
学修到達目標									
ホームページビルダーを使った一連の作業 (サイト作成～Webページやコンテンツ類作成まで) ができる。日本情報処理検定協会が実施している「ホームページ作成検定2級」に合格する。									
授業の進め方									
本講義はコンピュータ教室での実習となります。 使用ソフトは「ホームページ・ビルダー」、「Webアートデザイナー」、「Webアニメーター」です。									
授業計画 (各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容					事前事後学修		
1	授業ガイダンス	授業の進め方、評価方法についてホームページビルダーを使って初歩的なホームページの作り方を学びます。まずはホームページ作成検定4級レベルに挑戦します。					HP検定4級の復習をしておくこと。(1時間)		
2	ホームページビルダー基本操作	ホームページビルダーの基本操作を習得します。この回ではホームページ作成検定3級レベルに挑戦します。					HP検定3級の復習をしておくこと。(1時間)		
3	ページの属性 HP検定対策 (3級)	トップページの作成、およびページ属性について学びます。また、ホームページ作成検定3級の出題範囲について学習します。					教科書の作業を完結しておくこと。またHP検定3級の復習をしておくこと。(1時間)		
4	書式の設定 HP作成検定対策 (3級)	さまざまな書式設定やWebで扱うカラーや画像の特徴について学びます。また、ホームページ検定3級の出題範囲について学習します。					教科書の作業を完結しておくこと。またHP検定3級の復習をしておくこと。(1時間)		
5	表の作成 HP作成検定対策 (2級)	表挿入や表編集の方法を学びます。この回からホームページ検定2級に挑戦します。					教科書の作業を完結しておくこと。またHP検定2級の復習をしておくこと。(1時間)		
6	リンクの設定 HP作成検定対策 (2級)	各ページにリンクを設定する方法を学びます。また、ホームページ検定2級の出題範囲について学習します。					教科書の作業を完結しておくこと。またHP検定2級の復習をしておくこと。(1時間)		
7	リンクの応用 HP作成検定対策 (2級)	ラベルリンク、ロールオーバー、イメージマップなど、リンクの応用を学びます。また、ホームページ検定2級の出題範囲について学習します。					教科書の作業を完結しておくこと。またHP検定2級の復習をしておくこと。(1時間)		
8	HP作成検定対策 (2級)	よく出題されるプロパティを含むHP2級の問題の解き方を学習します。					HP検定2級の復習をしておくこと。(1時間)		
9	HP作成検定対策 (2級)	ボーダーなどのプロパティを含むHP検定2級の問題の解き方を学習します。					HP検定2級の復習をしておくこと。(1時間)		
10	HP作成検定対策 (2級)	ラベルリンクなどを用いた難易度の高いHP検定2級の問題の解き方を学習します。					HP検定2級の復習をしておくこと。(1時間)		
11	HP作成検定対策 (2級)	検定模擬を実施し、弱点の抽出を行います。					HP検定2級の過去問題を配布するので、課題として提出すること。(2時間)		
12	Webページ課題制作	新たな題材でホームページ制作の過程を最初から復習していきます。課題「京都物語」サイトの構築を行っていきます。					教科書の総合問題を解いておくこと。(2時間)		
13	Webコンテンツの制作	Webアートデザイナーを利用し、写真の加工や合成の方法、タイトルロゴやボタンなど、個人課題で使用する素材を制作していきます。					課題の中で利用するオリジナル素材を準備すること。(1時間)		
14	Webコンテンツの制作	Webアニメーターを利用した文字バナー広告など、個人課題で使用するアニメーション素材を制作します。					課題の中で利用するオリジナル素材を準備すること。(1時間)		
15	Webページ課題仕上げ	課題「京都物語」を指示に従って完成させていきます。HP作成検定2級に関する復習も行う予定です。					課題を期限までに提出すること。(2時間)		
テキスト		成績評価の方法・基準							
「よくわかるホームページ・ビルダー19」(FOM出版) ISBN:978-4-86510-207-9 (生協で購入してください。) 教科書に従って演習を進めていきますので、必ず購入してください。		課題:50% 定期試験:50% 定期試験はホームページ作成検定2級レベルの内容となります。 A:課題の提出と定期試験またはHP検定において80%程度の技能が認められる B:課題の提出と定期試験またはHP検定において70%程度の技能が認められる C:課題の提出と定期試験またはHP検定において60%程度の技能が認められる							
参考書		履修上の注意 (学生へのメッセージ)							
「ホームページ作成検定試験模擬問題集2級編」日本情報処理検定協会編 検定試験を受験する方はできる限り購入してください。		パソコン操作に慣れていることが前提ですが、複雑な操作は多くありませんので誰でも受講可能です。今後、「ホームページ実践」の履修、またはHP作成検定1級取得を目指す人はぜひ履修をしてください。							

科目名	日本語入門（異文化理解基礎）		学年学期	1年前期	単位数	1	ナパリング	UL12301	研究室	E-15
担当者	中村 純子		必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー	水曜日1限		
関連資格					履修条件	留学生限定科目				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
<p>大学で学ぶためには、講義を理解し、教科書、参考文献を読み、レポートを作成する能力が必要です。本講義は教科書、参考文献を読むための読解力、レポート作成のための基礎を学びます。まず、論理的な文章に触れ、読解力を養います。それとともにレポートの文体、論理的な文章構成、論理的な表現を学びます。最後に学んだことをもとにテーマを決めて、レポートを作成します。</p>										
学修到達目標										
<p>論理的な文章の読解、レポートの作成ができるようになることが到達目標です。そのために語彙、表現の幅を広げ、文章の構成、段落の構成に配慮できるようになることを目指します。また、学生同士でレポートをチェックすることで、互いの意見を理解し、自分の意見を表明できるようになることが目標です。</p>										
授業の進め方										
<p>読解に必要な技能、表現などを演習形式で学んでいきます。さらに、レポートを書くために必要な文体、構成、表現について講義をし、実際に学んだことを基にレポートを作成してもらいます。作成後、互いの文を評価し合い、フィードバックを受けます。</p>										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	読解：語のまとめり 作文：表記の仕方 作文「国の有名人」	読解のストラテジーとして、語を意味のまとめりでもとらえる観点を学びます。作文では、縦書き、横書き、文体と書き言葉について学び、実際に「国の有名人」について作文を書いてもらいます。				文体、書き言葉に注意し、作文を書く（2時間）				
2	読解：語のまとめり復習 作文：段落の構成	読解は前回と別の文を使い、語のまとめりでもとらえるエクササイズをします。また、作文では段落の構成について学びます。中心文、支持文について説明します。				「使役」について復習をし、教科書のP8～15までを読んで、予習をする（2時間）				
3	読解：使役 作文：助詞相当語 作文「国の有名人」	読解は使役、使役受身、授受表現に注意し、「する」側、「される」側の関係をつかむストラテジーについて学びます。作文は助詞相当語について学びます。作文の合評会を行い、フィードバックを受けます。				使役、使役受身、授受表現を含んだ他の文の読解をする（2時間）				
4	読解：使役復習 作文：引用表現	「する」側、「される」側の関係をつかむストラテジーを使って、読解練習をします。作文は「引用表現」について学びます。最後に引用表現文型を使って「各国の国民性」についての作文を書きます。				「各国の国民性」についての作文を完成させる。小テストに備え、復習をする（2時間）				
5	読解：文の構造 小テスト	読解では文の修飾関係を正しく理解するストラテジーについて説明します。さらに今までの読解、作文の書き方について小テストを行い、フィードバックをします。				小テストの結果のフィードバックをもとに理解できていない点を復習する（2時間）				
6	読解：文の構造復習 作文：間接疑問 作文「日本人の不思議」	読解は文の構造の復習をします。作文は間接疑問文について作り方を確認したあと、その文を使って、作文「日本人の不思議」について書いてもらいます。「各国の国民性」のフィードバックをします。				作文「各国の国民性」の清書。作文「日本人の不思議」を完成させる（2時間）				
7	読解：前件と後件 作文：接続表現	読解は前件と後件の関係をつかむことを学びます。作文は接続表現について学びます。小テストに備えて、前回までの復習をします。				小テストに備えて該当箇所を復習する（2時間）				
8	読解：前件と後件の復習 作文：「日本人の不思議」合評会、小テスト	読解は前件と後件の復習を行います。作文は「日本人の不思議」の合評会とフィードバックです。また読解と作文の小テストを行います。				小テスト結果フィードバック、理解できていない点を復習する。作文の清書をする（2時間）				
9	読解：指示詞 作文：レポート作成 レポート文を読む	読解は指示詞のさすものを見つけるストラテジーを身につけます。作文は調査をもとにしたレポート作成の準備をします。まず、参考になるレポート文の読解をし、到達目標をつかみます。				インターネット、図書館を利用して、レポートのテーマを考える（2時間）				
10	読解：指示詞復習 作文：資料の引用	読解は指示詞の復習を行います。作文は資料の引用の仕方について、説明します。また、参考文献の書き方についても学んでもらいます。				インターネット、図書館を利用して、レポートのテーマを考える（2時間）				
11	読解：省略 作文：レポートのテーマ決定・構成	読解は省略されているものはなにかを見つけるストラテジーを学びます。作文はレポートのテーマの決定、構成を練ります。図表の書き方も学びます。				レポートのテーマについて図書館、インターネットを利用し、調査する（2時間）				
12	読解：「省略されているもの」復習 作文：文献調査	読解は省略されているものはなにかを見つけるストラテジーの復習をします。作文は仮アウトラインを作ります。仮説も立てます。				レポートのテーマについて、調査する。レポート下書きをする（2時間）				
13	読解：関連のある言葉 作文：レポート下書チェック	読解は関連のある言葉を見つけるストラテジーを学びます。作文はレポートの下書きをして、チェックを受けます。				レポートを執筆する（2時間）				
14	読解：関連ある言葉復習 作文：レポート校正	読解は関連ある言葉を見つけるストラテジーの復習をします。作文はレポートの校正を行います。				レポートを完成させる（2時間）				
15	レポート合評会	レポートの合評会を行い、学生同士の作文から様々な視点を学びます。フィードバックを受けて、さらに校正を行います。				レポートを清書する（2時間）				
テキスト		成績評価の方法・基準								
<p>「留学生の日本語 作文編」アカデミック・ジャパニーズ研究会編著（アルク） ISBN:4-7574-0500-6（別途、指示します。） 「留学生のための読解トレーニング」石黒圭他著（凡人社） ISBN:978-4-89358-780-0（別途、指示します。）</p>		<p>受講態度：15% 小テスト：25% 課題：60% 受講態度（合評会などでの発言回数と内容）S:適切な表現で論理的な文章が書ける。自他の文章に批判的な目を持ち、適切かつ正確に伝えられる。A:書き言葉で論理的な文章が書ける。自他の文章に批判的な目を持ち、適切に伝えられる。B:ほぼ適切な表現である程度論理的な文章が書ける。自他の文章に批判的な目を持ち、ほぼ適切に伝えられる。C:ある程度論理的な文章が書ける。自他の文章に批判的な目を持ち、伝えられる。</p>								
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）								
<p>「留学生のための論理的文章の書き方」二通信子著（スリーエーネットワーク） ISBN：978-4-88319-257-1</p>		<p>作文は時間外にやらなければならないことが多いです。講義計画に沿って準備してきてください。質問はオフィスアワーに対応します。</p>								

科目名	日本語応用(異文化理解応用)		学年学期	1年後期	単位数	1	ナパリング	UL12302	研究室	E-15
担当者	中村 純子		必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー	水曜日1限		
関連資格					履修条件	留学生限定科目				
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
本授業は、大学のテキスト、参考文献を理解するための読解力を養うことと、場面に合わせた文章を作成することを扱います。具体的には、手紙文、スピーチ原稿、自身および母国の状況をテーマにした作文を扱い、最後に社会問題に関するレポートを作成をします。また、必要な語彙、表現、文法なども学んでいきます。										
学修到達目標										
場面に合わせた適切な文章を作成することができるようになることが目標です。そのためには、文章の目的に合わせて、適する語彙、表現の選択のほか、文体、構成にも配慮できるようになることを目指します。また、互いの作文をチェックすること、ディスカッションを通して、様々な視点を学ぶこと、自分の意見を表明できるようになることを目標とします。										
授業の進め方										
読解と作文を行います。読解は読解のためのストラテジーを学んでいきます。作文は実際に触れながら、様々な文章の特徴を理解してもらい、その特徴を踏まえ、様々な文章を作成してもらいます。作成後、学生同士、フィードバックも行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス 読解:筆者の意見 作文:はがきの書き方	授業の目的、概要、評価の仕方を説明します。読解では文末に注意し、筆者の意見を見抜くストラテジーを学びます。作文では、eメール、はがきの書き方について学び、実際に書く練習をします。				実際にeメールを教員に出す。また、はがきは実際に書き、投函する(2時間)				
2	読解:「筆者の意見」復習 作文:手紙文の書き方	読解は筆者の意見を見抜くストラテジーについて復習をします。作文は手紙文の書き方を学び、実際に書く練習をします				手紙文の下書きをしてくる(2時間)				
3	読解:筆者の立場 作文:スピーチ原稿	読解は筆者の立場を見分けるストラテジーを学びます。作文は過去の留学生の書いたスピーチ原稿を参考にし、ブレインストーミングをします				スピーチのテーマを考え、下書きをする(2時間)				
4	読解:「筆者の立場」復習 作文:スピーチ原稿の発表の仕方	読解は筆者の立場を見分けるストラテジーの復習をします。作文はスピーチ原稿の下書きをチェックし、フィードバックをします。よいスピーチとは何かを考えます。				スピーチ原稿の清書、スピーチの練習をする(2時間)				
5	読解:大切なことのサイン 作文:スピーチ発表会	読解は大切なことのサインをつかむストラテジーを学びます。スピーチの発表をし、他学生、教員からフィードバックを得ます。				小テストに備え、復習をする(2時間)				
6	読解:「大切なことのサイン」復習 作文:アジア賞応募原稿構成	読解は「大切なことのサイン」の復習をします。作文はアジア賞に向けて、テーマを考え、構成を練ります。前回のアジア賞応募原稿を読み、到達目標を把握します。				アジア賞の応募原稿の下書きを書く(2時間)				
7	読解:速読 作文:アジア賞応募原稿作成	読解は速読のストラテジーを学びます。作文は、作文評価の観点の説明を受けたのち、アジア賞応募原稿の下書きを学生同士、チェックします				アジア賞応募原稿の清書をする(2時間)				
8	読解:「速読」復習 作文:アジア賞応募原稿完成、合評会	読解は速読の復習、作文はアジア賞原稿の合評会を行い、学生同士、互いの考え方を理解します。				アジア賞応募原稿校正をする(2時間)				
9	読解:話題を見抜く 作文:調査をしてレポートを書く	読解は文章の話題を見抜くストラテジーを身につけます。作文は社会問題もとにしたレポートの作成をします。テーマ決定のためのブレインストーミングを行います。				インターネット、図書館などを利用して、レポートのテーマを考える(2時間)				
10	読解:「文章の話題を見抜く」復習 作文:仮アウトライン	読解は「文章の話題を見抜く」ストラテジーの復習をします。作文はレポートのテーマ、構成を決め、仮アウトラインを作成します。				小テストのための復習をする。レポートのテーマについて調べる(2時間)				
11	小テスト 読解:ストーリーを読む	小テストをします。読解はストーリーを読むためのストラテジーを学びます。作文は仮アウトラインにのって、下書きをします。				レポートの下書きを完成させる(2時間)				
12	読解:「ストーリーを読む」復習 作文:賀状の書き方	読解は「ストーリーを読む」の復習をします。作文は賀状の書き方について学びます。				レポートの下書きを完成させる(2時間)				
13	読解:読み間違いを見つける 作文:下書きチェック	読解は読み間違いを見つけるストラテジーを学びます。作文はレポートの下書きを学生同士観点に沿って、チェックし、フィードバックを得ます。				フィードバックをもとにレポートの校正、清書をする(2時間)				
14	読解「読み間違いを見つける」復習 作文:レポート合評会	読解は「読み間違いを見つける」ストラテジーの復習をします。作文はレポート合評会を行い、学生同士、互いの考え方を理解し、ディスカッションを行います。				定期試験に備え、復習をする(2時間)				
15	総復習 作文:合評会	定期試験に備え、総復習をします。作文はレポートの合評会の続きを行い、学生同士、考え方を理解し、ディスカッションを行います。				定期試験に備え、復習をする(2時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「留学生のための読解トレーニング」石黒圭著(凡人社) ISBN:978-4-89358-780-0(別途、指示します。)日本語入門と同じ教科書です。				受講態度:15% 小テスト:20% 課題:45% 定期試験:20% 受講態度(合評会などでの発言回数と内容)S:場面に合わせた文章を適切、かつ正確に作成できる。自分の意見を適切かつ正確に表明できる。A:場面に合わせた文章を適切に作成できる。自分の意見を適切に表明できる。B:場面に合わせた文章をほぼ適切に作成できる。自分の意見をほぼ適切に表明できる。C:場面に合わせた文章を作成できる。自分の意見を表明できる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「日本語Eメールの書き方」築晶子他著(ジャパンタイムズ) ISBN:4-7890-1184-4				留学生の物の見方、考え方を表明する場でもありますので日頃より見聞を広げてほしいと思います。質問はオフィスアワーで対応します。						

科目名	日本事情（異文化理解基礎）		学年学期	2年前期	単位数	2	ナパリング	UL22303	研究室	E-15
担当者	中村 純子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日1限		
関連資格					履修条件	留学生限定科目				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
この授業は日本人学生と留学生が共に学び合い、異文化コミュニケーションを実践する授業です。地域のグローバル化に伴って、異文化の人との円滑なコミュニケーション力の養成は重要な課題となっています。この授業では、理論として異文化コミュニケーションの特徴、異文化コミュニケーションに対する態度を学び、さらにトレーニング、実際の異文化交流を通して、異文化に対する意識の変革を目指します。										
学修到達目標										
この授業では、異文化コミュニケーションの特徴、異文化コミュニケーションに対する態度を学び、実際に異文化の人との円滑なコミュニケーションをとれるようになることが目的です。さらに留学生と日本人がテーマに沿ってディスカッションをし、互いの意識改革を行い、多文化共生社会の礎を築くことが目標です。										
授業の進め方										
講義形式で異文化コミュニケーションに関する理論を説明します。その理論をもとに様々な事例を取り上げ、日本人学生と留学生がディスカッションをし、互いの考え方、価値観、文化が理解できるようにします。また、国際交流活動に参加してもらいます。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス 異文化を理解する	授業の目的、概要、評価の仕方を説明します。異文化コミュニケーションとは何かを考えます。				身近にあった異文化コミュニケーションの経験をレポートにまとめる(2時間)				
2	異文化体験発表 新しい常識の発見	異文化体験を発表し、異文化が身近であることを理解します。異文化の人と常識が違うことを様々な例を用いて説明します。自分の価値観を絶対正しいと思わない態度を身につけます。				自分の体験で、異文化でなくても、常識の通じなかった経験をレポートにまとめる(2時間)				
3	常識が通じなかった体験発表 ステレオタイプ	常識の通じないというのは異文化だけではないことを理解します。ステレオタイプの定義、要因、そして自らのステレオタイプを考えます。さらに自分、自分の国がどう見られているかを考えます。				世界の様々な国のステレオタイプを調べて、レポートにまとめる(2時間)				
4	「ステレオタイプ」発表 文化とコミュニケーション	ステレオタイプについて発表を行い、ステレオタイプの弊害について考えます。文化とコミュニケーションについて考え、誤解を受けるメカニズムを考えます。				誤解を受けた経験を客観的に振り返り、その要因を分析し、レポートにまとめる(2時間)				
5	「誤解」レポート発表 コミュニケーションスタイル - 誘い方と断り方	人間がコミュニケーションをとるとき、異文化ならずとも誤解がおこることをメカニズム的に理解します。さらに、コミュニケーションスタイルの違う文化では誤解が起こりやすいことを学びます。				誘い方と断り方の自分のコミュニケーションスタイルについて、分析的に考え、まとめる(2時間)				
6	「誘い方と断り方」発表 コミュニケーションスタイル - 謝罪と感謝	自分の誘い方と断り方のコミュニケーションスタイルを客観的に知る。謝罪と感謝のコミュニケーションスタイルの文化による相違について考える。				スタイルが異なるとどんな摩擦が起きやすいかをレポートにまとめる(2時間)				
7	松本国際ふるさと祭り 「こいこい松本」への参加準備	「こいこい松本」の目的、概要を説明します。松本の外国籍住民についての理解を深め、自分なりのスタッフ参加の目的を決めます。				スタッフ会議も含め当日スタッフとして参加する。参加後、レポートを書く(16時間)				
8	「こいこい松本」に参加して学んだことを発表	「こいこい松本」に参加しての自分の目的に合わせた成果を発表します。発表の後、ディスカッションをします。				ディスカッションの内容も含め、レポートをまとめ直す(4時間)				
9	非言語コミュニケーション - タッチング・空間距離	非言語コミュニケーションとは何か。非言語の文化的影響を説明します。本授業ではタッチング、空間距離の文化的差異を取り上げます。				他者を観察し、非言語を使ったコミュニケーションの実例をレポートにまとめる(4時間)				
10	非言語コミュニケーション - 表情・アイコンタクト・ジェスチャー	非言語コミュニケーションの表情、アイコンタクト、ジェスチャーを取り上げ、文化的差異について説明します。最後に非言語コミュニケーションが摩擦を生む例について考えていきます。				非言語コミュニケーションを分類し、摩擦の多いタイプは何かをレポートにまとめる(4時間)				
11	多文化共生の意義と課題	多文化共生の意義、課題を考えます。まず、カナダ、日本の実例について紹介します。課題についてディスカッションをします。				多文化共生の意義と課題について調べてレポートにまとめる(4時間)				
12	多文化共生の意義と課題 - 発表	多文化共生の意義、課題について調べてきたことを発表します。お互いの発表を聞いて、ディスカッションをします。				外国人(異文化の出身者)にインタビューする。テーマを考える(4時間)				
13	外国人にインタビュー	学習してきたことをもとに自分でテーマを決めて、外国人にインタビューします。本授業ではテーマについて理解を深め、調査項目を決定します。				仮調査票を完成させる(4時間)				
14	外国人にインタビュー - パイロット調査	調査項目をもとにパイロット調査を行います。学生同士質問をし合い、調査項目を見直します。				調査票を完成させ、調査を行い、PPTでスライドを作る(4時間)				
15	発表原稿チェック 発表シミュレーション	お互いに発表原稿のチェックをします。よい発表の観点を説明し、シミュレーションを行います。				シミュレーションでのフィードバックをもとに発表原稿を完成させ、発表練習をする(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「異文化コミュニケーション・ワークブック」矢代京子他著(三修社) ISBN:978-4-384-01851-6(講義にて配布します。)				受講態度:30% レポート:40% 発表30% 受講態度(ディスカッションでの発言回数と内容)S:異文化コミュニケーションの特徴を深く理解し、円滑なコミュニケーションがとれる。A:異文化コミュニケーションの特徴を理解し、円滑なコミュニケーションがとれる。B:異文化コミュニケーションの特徴をほぼ理解し、のコミュニケーションがとれる。C:異文化コミュニケーションの特徴をある程度理解し、コミュニケーションができる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「異文化理解入門」原沢伊都夫著(研究社) ISBN:978-4-327-37734-2				異文化の人と交流をして互いの価値観を知り、理解できるようにしてください。質問はオフィスアワーで対応します。						

科目名	日本事情（異文化理解応用）		学年学期	2年後期	単位数	2	ナパリング	UL22304	研究室	E-15
担当者	中村 純子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日1限		
関連資格					履修条件	留学生限定科目				
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）				
			A	B	C					
授業概要										
地域のグローバル化にともない、日本の事情を客観的に知ること、さらにそれを他に伝えることが必要となっています。この授業はまず日本を大きく3つの地域に分け、その文化、歴史、宗教等を学んでいきます。そして、地域ごとに自分が興味を持ったテーマを見つけ、発表します。発表は3回行います。留学生と日本人学生がともに日本事情について学ぶことにより、互いの文化、歴史、宗教等を比較し、日本事情の特徴に対する理解を深めます。										
学修到達目標										
日本の事情を知り、さらにそれを他に伝えられるようになることを目標とします。また、留学生の母国との比較により、それぞれの文化に対する理解を深めることも目標とします。また、発表のスキルを学ぶことも目標です。										
授業の進め方										
授業の前半は講義形式で、地域ごとの文化、歴史、宗教等を学びます。後半は学生がテーマを選び、発表します。その内容について学生同士質問したり、話し合ったりしてもらいます。最後に発表のコメントを書き、提出します。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス 日本の地理 北部（北海道）について	授業の目的、授業概要、授業評価について説明を受けます。日本の地理の概要をつかんだ後に、北海道について学びます。北海道は主にアイヌの歴史について学びます。				復習及び発表準備（2時間）				
2	北部（岩手県）について	柳田國男の「遠野物語」を中心に学びます。日本の民俗学について理解を深めます。方言についても考えます。				復習及び発表準備（4時間）				
3	北部（仙台、奥の細道）について	東北の3大祭りについて学びます。さらに俳句について学び、「奥の細道」について理解を深めます。また句会の準備をします。				俳句を実際に作る。 復習及び発表準備（4時間）				
4	句会 北部（福島・茨城）について	句会を体験します。さらに東日本大震災について学びます。また、白虎隊、日光東照宮についてそれぞれの歴史についても理解を深めます。				発表準備まとめ。北部小テスト準備（6時間）				
5	中部（東京・富士山）について 学生発表 小テスト（北部）	東京、下町文化、富士山とそこから生まれた芸術について、学びます。東北地方に関する小テストを受け、知識を定着させます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。				発表準備（2時間）				
6	中部（信州）について 学生発表	桜と日本人の美意識について学びます。また、江戸時代の人々の暮らしについて絵島事件を通して学びます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。				日本人の美意識に対する本を読み、レポートを書く（4時間）				
7	中部（奈良、京都） 学生発表	奈良時代、平安時代を中心に学びます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。				復習及び発表準備（4時間）				
8	中部（滋賀、大阪） 学生発表	戦国時代を中心に学びます。また、茶道の概要、精神についても学びます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。				発表準備 茶道の歴史と茶掛けを調べる。（4時間）				
9	茶道体験	茶道を体験します。その際茶道の精神がどのように実際に活かされているかを探ります。				茶道体験をレポートにまとめる。 発表準備 小テスト準備（6時間）				
10	南部（島根県出雲・松江）について 小テスト（中部）	神話、怪談などを中心に学びます。また、中部地方について知識定着のための小テストを行います。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。				神話、怪談の中から、好きなものを選び、あらすじをまとめる。（4時間）				
11	南部（岡山・広島）について 学生発表	日本の城、および安芸の宮島を中心に学びます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。				復習及び発表準備（4時間）				
12	南部（四国）について 学生発表	坂本竜馬、正岡子規を中心に学びます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。				復習及び発表準備（4時間）				
13	南部（福岡・長崎・大分）について 学生発表	原爆、鎖国、温泉を中心に学びます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。				復習及び発表準備（4時間）				
14	南部（熊本・鹿児島）について 学生発表	熊本、鹿児島の自然、歴史を中心に学びます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。				復習及び発表準備（4時間）				
15	沖縄について 学生発表	戦争、自然、歴史を中心に学びます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。				小テスト（南部）準備及び発表準備（4時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準						
(講義にて配布します。) パワーポイントによる資料を配布				受講態度：10% レポート：20% 小テスト：20% 発表50% S:授業内容の高度な理解の上に立ち、自らテーマを発見、探求し、他に伝えることに優れている。A:授業内容を理解し、自らテーマを発見、探求し、他に伝えることができる。B:授業内容をほぼ理解し、テーマにそって探求し、他に伝えることができる。C:授業内容の60%程度を理解し、テーマについて他に伝えることができる。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
「日本人と日本文化」司馬遼太郎 ドナルド・キーン著（中公新書 285） ISBN：4-12-100285-7				日本人学生、留学生が互いの国の事情を積極的にし合うことが必要です。質問はオフィスアワーで対応します。						

科目名	子どもの育ちと教育			学年学期	1年前期	単位数	2	ナパリング	UL13101	研究室	A-02
担当者	大蔵 真由美			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日4限、水曜日4限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
子どもの成長発達には連続しています。そのことの理解が十分でないと、子どもの育ちが円滑に進まないことがあります。そこで本授業では、小学校へつながる幼児期に着目し、その成長発達の特徴及びその時期の子どもの成長発達のために重要である教育の基本を理解することを目的とします。具体的には、映像資料を活用して3歳から5歳までの子どもの成長発達の特徴を考えます。さらに、幼児教育の基本を、映像資料や幼稚園教育要領等を資料として考えます。											
学修到達目標											
1. 幼児期の子どもの成長発達の特徴を理解し、説明できる。 2. 幼児期の子どもの育ちのために重要な教育の基本を理解し、説明できる。 3. 子どもの育ちをめぐる今日の課題に興味関心を持ち、その一つについて自分の意見を表明できる。											
授業の進め方											
講義形式を主として進め、適宜、グループワーク等を行います。必要に応じて資料を配布しますが、資料は授業内容の理解を助け、さらに発展的内容を示していますので、該当する授業前に必ず読み、持参して授業に臨んで下さい。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	授業内容や進め方を説明します。					シラバスを読む、幼稚園教育要領解説を読む。(4時間)				
2	子どもの育ち1	三歳前半の成長の様子とその特徴を説明します。					第1回授業で配布した資料の該当箇所を読む、授業時に指示した内容を行う。(4時間)				
3	子どもの育ち2	三歳後半の成長の様子とその特徴を説明します。					前時の復習、第1回授業で配布した資料の該当箇所を読む(2時間)。ワークを完成する。(2時間)				
4	子どもの育ち3	四歳児の成長の様子を映像を通して確認します。					前時の復習、第3回授業で配布した資料の該当箇所を読む。(2時間)ワークを完成する。(2時間)				
5	子どもの育ち4	四歳児の成長とその特徴を説明します。					前時の復習、第3回授業で配布した資料の該当箇所を読む。(2時間)ワークを完成する。(2時間)				
6	子どもの育ち5	五歳児の成長の様子を映像を通して確認します。					前時の復習、第5回授業で配布した資料の該当箇所を読む。(2時間)ワークを完成する。(2時間)				
7	子どもの育ち6	五歳児の成長の特徴を説明します。					前時の復習、第5回授業で配布した資料の該当箇所を読む。(2時間)ワークを完成する。(2時間)				
8	ここまでの授業のまとめ	第7回までの授業内容を振り返り、総括します。					第7回までの授業内容を復習する、幼稚園教育要領解説を再読する。(4時間)				
9	子どもの育ちのために1	子どもの今と子どもの最善の利益について考えます。					第8回授業で配布した資料を読む、授業時に指示した内容を行う。(4時間)				
10	子どもの育ちのために2	養護と教育について説明します。					前時の復習、第9回授業で配布した資料を読む、授業時に指示した内容を行う。(4時間)				
11	子どもの育ちのために3	環境を通して行う教育について説明します。					前時の復習、第10回授業で配布した資料を読む、幼稚園教育要領解説の指定箇所を読む。(4時間)				
12	子どもの育ちのために4	遊びを通して行う教育について説明します。					前時の復習、第11回授業で配布した資料を読む、幼稚園教育要領解説の指定箇所を読む。(4時間)				
13	子どもの育ちのために5	主体的活動の展開について説明します。					前時の復習、第12回授業で配布した資料を読む、授業時に指示した内容を行う。(4時間)				
14	子どもの育ちのために6	子どもの育ちをめぐる今日の課題について説明します。					前時の復習、第13回授業で配布した資料を読む、授業時に指示した内容を行う。(4時間)				
15	まとめ	第9回から第14回の授業を振り返り、総括します。また、授業全体のまとめを行います。					これまでの授業の復習をする。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
使用しません。必要に応じて資料を配布します。				受講態度：30% レポート：35% 定期試験：35% 受講態度(授業への意欲、毎時間後の感想・質問)、レポート(授業内容の理解度や考察の深まりを知る為の授業内小レポートやワーク)、定期試験を総合して評価します。 <評価基準> S:正しく理解された授業内容に加え、資料やデータを活用しつつ、論理的に自分の考え、意見を述べている。A:授業内容を正しく理解し論理的に説明できる。B:授業で取り上げた事柄を理解し説明できる。C:授業で取り上げた事柄を理解している。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「小学校学習指導要領」文部科学省編(東京書籍) 「幼稚園教育要領解説」文部科学省編(フレーベル館) その他は授業の進捗状況に合わせて紹介します。				家族や家庭、その中で子どもに対して行われる教育的営みは身近な事柄です。自分の経験と比較しながら聴講して下さい。また、積極的な授業参加を期待しています。受講者数により参加型の授業を取り入れていきます。							

科目名	心理学概論		学年学期	1年前期	単位数	2	ナパリング	UL13102	研究室	A-18
担当者	川島 一夫		必修選択	選択	科目種別	講義	ホワイト	木曜日3限、木曜日4限、木曜日5限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	~2016年度 心理学				
授業概要										
心理学は科学であることを中心テーマに、心理学全般について学びます。心理学についてのビデオをみて、その領域についての説明を行います。また、授業の途中での小テストや、課題の本を読みテーマを決めての討論を行います。一般に考えられている心理学に対する誤解を解くことが授業の目的です。なお、締め切り日をすぎたレポートは一切受け取りません。レポートを期日どおりに出すこともこの授業の目的です。										
学修到達目標										
心理学について、幅広い知識を習得し、一般に考えられている心理学に対する誤解を解くことができる。また、人間関係を含めた社会的な事象について客観的なデータをもとに解釈することができる。										
授業の進め方										
ビデオ心理学への招待(DISCOVERING PSYCHOLOGY)を視聴し、その中で出てくる内容についての講義を行います。また、小テスト、討論も行います。さらに質問に回答すること。レポートは、それぞれ2000文字以上です。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	研究を理解する	研究を理解する Understanding Researchを資料による説明とDVD視聴				資料を参照して心理学の研究についてのレポート(4時間)				
2	反応する脳	反応する脳 The Responsive Brainを資料による説明とDVD視聴				宿題の小テストを資料を見て回答(4時間)				
3	子供の発達	子供の発達 The Developing Childを資料による説明とDVD視聴を行います				宿題の小テストを資料を見て回答(4時間)				
4	感覚と知覚	感覚と知覚 Sensation and Perceptionを資料による説明とDVD視聴を行います				「面白いほどよくわかる」前半を読んでレポート 2000文字(4時間)				
5	学習理論	学習 Learningを資料による説明とDVD視聴を行います				「面白いほどよくわかる」後半を読んでレポート 2000文字(4時間)				
6	討論と質問回答 「心理学ってどんなもの」	「面白いほどよくわかる!」心理学の本について討論と質問回答を行います				「面白いほどよくわかる!」心理学の本 討論の感想文(4時間)				
7	記憶と忘却	記憶と忘却 Remembering and Forgettingを資料による説明とDVD視聴を行います				宿題の小テストを資料を見て回答(4時間)				
8	判断と意思決定	判断と意思決定 Judgment and Decision Makingを資料による説明とDVD視聴を行います				「アサーション入門」前半を読んでレポート(4時間)				
9	動機づけと情動	動機づけと情動 Motivation and Emotionを資料による説明とDVD視聴を行います				「アサーション入門」後半を読んでレポート(4時間)				
10	討論と質問回答 「アサーション入門」	「アサーション入門」について討論と質問回答を行います				「アサーション入門」討論の感想文(4時間)				
11	認知過程	認知過程 Cognitiveを資料による説明とDVD視聴を行います				宿題の小テストを資料を見て回答(4時間)				
12	成熟と老化	成熟と老化 Maturing and Agingを資料による説明とDVD視聴を行います				「スタンフォードの自分を変える教室」前半を読んでレポート(4時間)				
13	状況の力	状況の力 The Power of the Situationを資料による説明とDVD視聴を行います				「スタンフォードの自分を変える教室」後半までを読んでレポート(4時間)				
14	討論と質問回答 「スタンフォードの自分を変える教室」	「スタンフォードの自分を変える教室」の討論と質問回答を行います。				「脳はなにかと語り訳する」討論の感想文(4時間)				
15	心理療法	心理療法 Psychotherapyを資料による説明とDVD視聴				宿題の小テストを資料を見て回答(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「面白いほどよくわかる不思議な心理学」ライフ・エキスパート著(KAWADE夢文庫) ISBN:978-4309498300(生協で購入してください)。「アサーション入門」平木 典子著(講談社現代新書)。「スタンフォードの自分を変える教室」ケリー・マクゴニガル著(だいわ文庫)レポート課題対象となる新書・文庫3冊は別途指示する。				小テスト:70% レポート:30% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもってレポートに取り組み、小テストでは、全問題に正解できる。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもってレポートに取り組み、殆どの小テストが正解できる。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられたレポートに誠実に取り組み、小テストが解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられたレポートに誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの小テストが解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
参考図書は、授業時に紹介します。また、領域ごとの講義の区切り時に、トピックや心理学最新情報も含めて紹介していきます。				本を読んだレポートと討論があります。締め切り日をすぎたレポートは一切受け取りません。大変ですが楽しみにしてください。						

科目名	健康管理論		学年学期	1年前期	単位数	2	ナパ'リング	UL13103	研究室	S-16
担当者	江原 孝史		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	火曜日2限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
生活習慣病や高齢化などを背景に、健康志向の考え方が社会に広まっています。このような時代背景にいったいどんな健康を害する要素が潜んでいるのか?、本科目では講義を行います。「健康ではない状態」を回避するため、または、改善するために何をすべきなのか?についても情報を提供します。										
学修到達目標										
「健康」の概念を理解し、「健康」を害する要因と「健康」を維持するための方法について基礎知識を習得することが目標です。										
授業の進め方										
指定のテキストを用いて進めますが、テキストには掲載されていない内容も講義内容には含まれます。必要に応じてプリントなどを配布したり、スライドを使って説明します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	社会と健康	健康の定義、概念を理解する。生活習慣と健康の関係、環境が健康に及ぼす影響について説明し、公衆衛生とその歴史について学びます。				テキストの第1章を読んでくる。テキストの練習問題を解く。(4時間)				
2	疫学	疫学の定義と疫学のさまざまな指標、疫学的研究方法について学びます。				テキストの第2章を読んでくる。練習問題を解く。(4時間)				
3	人口統計	統計の基本事項について学び、人口統計、国勢調査、平均寿命、健康寿命について学びます。				テキストの第3,4,5章を読んでくる。健康寿命延伸について調べる。(4時間)				
4	健康づくり	日本の健康づくり施策(第一次健康づくり対策からの歴史的変遷、運動指針)食生活関連施策、運動関連施策について学びます。				テキストの第6章を読んでくる。食生活関連施策の特徴とその変遷について調べる。(4時間)				
5	健康管理	健康管理の原則と考え方、健康教育定義と方法、その計画と実施、事例について学びます。				テキストの第7章を読んでくる。健康教育の事例を調べる。(4時間)				
6	生活習慣と健康	生活習慣病、メタボリックシンドロームについて学び、特定健診、保険指導についても学びます。				テキストの第8章を読んでくる。生活習慣病のどれか1つについて調べる。(4時間)				
7	生活習慣病の疫学、予防、健康管理1	循環器疾患、糖尿病、脂質異常、がんとその予防、運動による予防効果と運動を始める前のメディカルチェックの重要性と検査項目、基準値について学びます。				テキストの第9章を読んでくる。血液検査の脂質異常の項目について調べる。(4時間)				
8	生活習慣病の疫学、予防、健康管理2	骨粗鬆症、慢性閉塞性肺疾患、ロコモティブシンドロームについて学び、運動による予防効果と運動を始める前のメディカルチェックの重要性と検査項目、基準値について学びます。				テキストの第9章を読んでくる。骨粗鬆症の治療について調べる。(4時間)				
9	地域の保健予防システム	保健所の歴史とその役割、保健師の役割、災害・危機管理対策、感染症法について学びます。				テキストの第10章を読んでくる。感染症法の疾患について調べる。(4時間)				
10	社会保障制度	社会保障の概念、医療制度、福祉制度について学びます。				テキストの第11章を読んでくる。世界の国の社会保障制度について調べる。(4時間)				
11	高齢者の健康管理	高齢者の医療確保に関する法律、健康増進事業、介護保険法と制度、認知症、サルコペニアについて学びます。				テキストの第12章を読んでくる。フレイルの予防について調べる。(4時間)				
12	母子の健康管理	母子保健事業、保健指導、児童虐待、子供子育て支援制度について学びます。				テキストの第13章を読んでくる。児童虐待、いじめについて調べる。(4時間)				
13	学校の健康管理	健康診断と保健指導、学校給食、児童生徒の問題行動について学びます。				テキストの第14章を読んでくる。発達障害について調べる。(4時間)				
14	職場の健康管理	一般健康診断、職業病と特殊健康診断、メンタルヘルスについて学びます。				テキストの第15章を読んでくる。職業病の歴史について調べる。(4時間)				
15	国際保健	地球規模の健康問題、世界の人口問題について学びます。				テキストの第1章を読んでくる。世界と自分が住む地域の人口問題について調べる。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「基礎から学ぶ 健康管理概論」柳川 洋編(南江堂) ISBN:978-4-524-25475-0 (生協で購入してください。)				定期試験:80% レポート:20% S:授業内容を高度に理解し、実習に積極的に取り組みかつ質問し、実習課題の内容が特に優れ、定期試験も90点以上。A:授業内容をよく理解し、実習に積極的に取り組みかつ質問し、実習課題の内容が優れ、定期試験が80点以上。B:授業内容を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、実習課題の評価が良く定期試験が70点以上。C:授業の内容を理解し、与えられた課題に取り組み、実習課題の評価が可定期試験が60点以上。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「生活習慣病と健康管理」斉藤征夫、柏原征子、鈴木康夫、谷口いつか著(診断と治療社)				社会人になると、自分の健康は自分で管理しなければなりません。皆さんを取り巻く環境や自分のライフスタイルを客観的に評価してみよう、という気持ちで講義を聞いてください。						

科目名	生涯スポーツ（集团的スポーツ）齊藤クラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL13104	研究室	S-20	
担当者	齊藤 茂	必修選択	選択	科目種別	実技	オイスアワ	水曜日2限			
関連資格	栄教一			履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度（読替科目）								
	A B C	2017年度～								
授業概要										
本講義では、バスケットボールを中心とした集団で行うスポーツを通して、身体活動の面白さを体験し、生涯にわたってスポーツを楽しむことができるような下地をつくります。具体的には、バスケットボール等の基本スキルを習得した上で、チームの仲間と協力してゲーム自体を楽しみ、高い運動量を確保します。										
学修到達目標										
生涯を通じてスポーツを楽しむ習慣を身に付けることを目標とします。また、チームになってゲームを行うため、チーム内でコミュニケーションをとりながら競技を行うことも目標です。										
授業の進め方										
講義の前半はグループ単位で技術練習を行ない、後半はゲーム形式の講義が中心となります。ゲームを通じての実践的な技術向上を目指し、早い段階からゲームを行っていきます。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	オリエンテーション	授業参加に際しての注意事項、授業の進め方等について説明を行う。					シラバスを熟読し、講義内容について理解する。（1時間）			
2	ボールハンドリング練習	バスケットボールに慣れるために、ハンドリングを学習します。授業の後半では、ゲーム形式の練習の中で学んだことを確認します。					実技の不十分なところについて自主練習等を行う。（1時間）			
3	シュート練習	バスケットボールの基本スキルであるシュートを学習します。授業の後半では、ゲーム形式の練習の中で学んだことを確認します。					実技の不十分なところについて自主練習等を行う。（1時間）			
4	パス練習	バスケットボールの基本スキルであるパスを学習します。授業の後半では、ゲーム形式の練習の中で学んだことを確認します。					実技の不十分なところについて自主練習等を行う。（1時間）			
5	ドリブル練習	バスケットボールの基本スキルであるドリブルを学習します。授業の後半では、ゲーム形式の練習の中で学んだことを確認します。					実技の不十分なところについて自主練習等を行う。（1時間）			
6	ピボット、ドリブルターンの練習	バスケットボールの基本動作であるピボット、ドリブルターンを学習します。授業の後半では、ゲーム形式の練習の中で学んだことを確認します。					実技の不十分なところについて自主練習等を行う。（1時間）			
7	ディフェンス練習	バスケットボールのディフェンスの仕方を学習します。授業の後半では、ゲーム形式の練習の中で学んだことを確認します。					実技の不十分なところについて自主練習等を行う。（1時間）。			
8	1対1、2対2の練習	バスケットボールの1対1、2対2のオフェンス・ディフェンスの仕方を学習します。授業の後半では、ゲーム形式の練習の中で学んだことを確認します。					実技の不十分なところについて自主練習等を行う。（1時間）			
9	総合練習(1)	バスケットボールの1対1のディフェンスを班ごとに練習した後、ゲームで応用することを学習します。授業の後半では、ゲーム形式の練習の中で学んだことを確認します。					実技の不十分なところについて自主練習等を行う。（1時間）			
10	総合練習(2)	バスケットボールの2対1のディフェンスを班ごとに練習した後、ゲームで応用することを学習します。					実技の不十分なところについて自主練習等を行う。（1時間）			
11	総合練習(3)	バスケットボールの1対1のオフェンスを班ごとに練習した後、ゲームで応用することを学習します。					実技の不十分なところについて自主練習等を行う。（1時間）			
12	総合練習(4)	バスケットボールの2対1のオフェンスを班ごとに練習した後、ゲームで応用することを学習します。					実技の不十分なところについて自主練習等を行う。（1時間）			
13	総合練習(5)	バスケットボールのセットプレイを班ごとに練習した後、ゲームで応用することを学習します。					実技の不十分なところについて自主練習等を行う。（1時間）			
14	総合練習(6)	バスケットボールの応用スキルとして実践ゲームを班ごとに練習した後、ゲームで応用することを学習します。					実技の不十分なところについて自主練習等を行う。（1時間）			
15	総合練習(7)	これまで学んだことを生かして、まとめのゲームを行います。					課題レポートの作成を行う。（2時間）			
テキスト		成績評価の方法・基準								
必要に応じてプリントを配布します。		レポート：20% 受講態度：80% S：強い向上心をもって積極的に授業に参加をし、授業内でリーダーシップを發揮した。A：強い向上心をもって積極的に授業に参加をした。B：向上心を持って授業に参加をした。C：おおそ積極的に授業に参加をした。								
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）								
なし		運動するために適した服装（スポーツウェアやシューズ等）を各自で用意してください。また、生涯を通じてスポーツを楽しむ習慣を身に付けることを目標としていますので、積極的な姿勢で授業に参加してください。								

科目名	生涯スポーツ（集团的スポーツ）寺平クラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL13104	研究室	非常勤	
担当者	寺平 美樹	必修選択	選択	科目種別	実技	オイスア-				
関連資格	栄教一			履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度（読替科目）								
	A B C	2017年度～								
授業概要										
本講義は、有酸素運動であるエアロビクスダンスと、格闘技系の動きを体験します。これらの体験を通して、正しい姿勢で身体を動かすことにより、負担を軽減し効果ある運動が可能であることを知ると共に、楽しく身体を動かせ、身体を動かすことで爽快な気分になることを味わってもらうことを目的とします。また、専門の講師による世界のいろいろなジャンルの音楽に合わせて踊る「ズンバ」を取り入れていきます。										
学修到達目標										
運動を行うために必要なストレッチを行うことができる。 柔軟性を高め、十分な体力をつけることを目的とします。										
授業の進め方										
音楽に合わせて、基本動作に強度変換要素を加え、スムーズに身体を動かしていきます。特殊な形のウェーブストレッチリングを使い、身体をほぐし、引き伸ばし、ポティリメイクの効果を体験します。履修者数に伴い、講義計画が変更になる場合があります。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	オリエンテーション	授業時の注意点、講義への向き合い方、進め方の説明を行います。真剣に授業に向き合うための準備をします。					シラバスの確認をし、次週に向け心構えを持つ（1時間）。			
2	ウォーミングアップの重要性	普段行っているストレッチが自己流になっていないか、正しいストレッチの方法を習得します。フラフープ、三角コーンを使って身体遊びをします。					準備運動はなぜ大切なのか調べてくる（1時間）。			
3	レクリエーション、体力レベルを知ろう	自己の体力レベルを知り、向き合って今後につなげます。ペアで、グループで、身体遊びをし、個人の体力レベルを知り、体力別に運動強度を考えてみます。					基礎体力がつく運動にはどのようなものがあるのか調べてくる（1時間）。			
4	ウェーブストレッチ	ウェーブストレッチリングを使い、かたくなっている身体をほぐしていきます。柔軟性を向上させます。					授業で行ったストレッチを復習する（1時間）。			
5	エアロビクスダンス実践基本動作の習得、ズンバウェーブストレッチ	エアロビクスダンス、ズンバの楽しさを体感します。					授業で行ったストレッチを復習する（1時間）。			
6	エアロビクスダンス実践基本動作の習得、ズンバウェーブストレッチ	エアロビクスダンス、ズンバの楽しさを体感します。					授業で行ったストレッチを復習する（1時間）。			
7	エアロビクスダンス実践レイヤリングを楽しもうズンバウェーブストレッチ	エアロビクスダンス、ズンバの動きに慣れ、可動域を広げます。					授業で行ったストレッチを復習する（1時間）。			
8	エアロビクスダンス実践レイヤリングを楽しもうズンバウェーブストレッチ	エアロビクスダンス、ズンバの動きに慣れ、可動域を広げます。					授業で行ったストレッチを復習する（1時間）。			
9	エアロビクスダンス、ズンバまとめ	音楽の速度を変える等、難易度や強度の高い構成にチャレンジします。					実践～で動いてきたことを復習し、高度な構成につなげるよう準備する（1時間）。			
10	格闘技系エクササイズ実践ズンバ、ウェーブストレッチ	ジャブ、ストレート等、ボクシングの基本動作を正しく行い、習得します。身体の動きを良くするため、ズンバを入れます。					授業で行ったストレッチを復習する（1時間）。			
11	格闘技系エクササイズ実践ズンバ、ウェーブストレッチ	ガード、キック等、ボクシングの基本動作を習得し、音楽に合わせて動きます。身体の動きを良くするため、ズンバを入れます。					授業で行ったストレッチを復習する（1時間）。			
12	格闘技系エクササイズ実践ズンバ、ウェーブストレッチ	空手の基本の型を習得し、キレ良く、格好良く動きます。身体の動きを良くするため、ズンバを入れます。					授業で行ったストレッチを復習する（1時間）。			
13	格闘技系エクササイズ実践ズンバ、ウェーブストレッチ	空手の蹴り動作を習得し、音楽に合わせて動きます。身体の動きを良くするため、ズンバを入れます。					授業で行ったストレッチを復習する（1時間）。			
14	格闘技系エクササイズ、ズンバまとめ	ボクシング、空手の動作を音楽に合わせ、8×8の構成で動いてみます。高度な動きにチャレンジします。身体の動きを良くするため、ズンバを入れます。					実践～で動いてきたことを復習し、高度な構成につなげるよう準備する（1時間）。			
15	まとめ	エアロビクスダンスか、格闘技系エクササイズの動きを取り入れ、プログラムを構成し、音楽に合わせて動きます。身体の動きを良くするため、ズンバを入れます。					選択した動きに必要なストレッチを復習し、プログラムについて準備する（1時間）。			
テキスト		成績評価の方法・基準								
なし		受講態度：100% 理由のない遅刻、私語、授業の向き合い方等で総合的に判断します。 S：遅刻・早退・欠席がなく、私語を慎み前向きに受講する。A：遅刻・早退・欠席がなく、欠席が1回のみで、私語をを慎み前向きに受講する。B：遅刻・早退・欠席がなく、欠席が2回以内で、私語をを慎み前向きに受講する。C：遅刻・早退・欠席がなく、欠席が3回以内で、私語をを慎み前向きに受講する。								
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）								
必要に応じて紹介します。		スポーツウェア(上・下)、スポーツシューズは必ず着用してください。エアロビクスダンスに使えるような動きを事前に考えてみましょう。								

科目名	生涯スポーツ（個人的スポーツ）新井クラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL13105	研究室	S-18	
担当者	新井 喜代加	必修選択	選択	科目種別	実技	アイスア-	火曜日5限			
関連資格	栄教一			履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度（読替科目）								
	A B C	2017年度～								
授業概要										
本授業では、バドミントンを通じてスポーツに親しむ資質を身につけることを目的とします。スポーツに親しむには、なによりスポーツの楽しさを体験することが重要であると考えられます。本授業では、ペア・チームごとに「楽しい」という気持ち、感覚、雰囲気、表情等と向き合いながら、「楽しいバドミントン」を探索します。										
学修到達目標										
(1)バドミントンの基本的技術を習得し、ゲームに活かすことができる (2)ペア・チームで協力して、ゲームを展開することができる (3)楽しくゲームを進行するために工夫することができる										
授業の進め方										
基本的に本授業は、ペア・チーム単位で「課題の設定 課題解決のための練習方法の決定と実施 ミニゲームの実施 ミニゲームの振り返り 課題の見直しと再設定」というサイクルで進めていきます。（アクティブラーニングの実施）										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	オリエンテーション	授業のねらい、授業内容、評価方法、留意事項等について解説し、チーム分けをします					事前：シラバスを読む/事後：バドミントンのルールを確認する（1時間）			
2	攻守の基本的技術の習得1	グループごとにストロークの技術の習得方法を考え、それを実践します					事前：ストロークについて調べる/事後：ストロークをする際の注意点を復習する（1時間）			
3	攻守の基本的技術の習得2	グループごとにサービスの技術の習得方法を考え、それを実践します					事前：サービスについて調べる/事後：サービスをする際の注意点を復習する（1時間）			
4	攻守の基本的技術の習得3	グループごとにショット（スマッシュ）の技術の習得方法を考え、それを実践します					事前：スマッシュについて調べる/事後：スマッシュをする際の注意点を復習する（1時間）			
5	攻守の基本的技術の習得4	グループごとにショット（クリアー）の技術の習得方法を考え、それを実践します					事前：クリアーについて調べる/事後：クリアーをする際の注意点を復習する（1時間）			
6	攻守の基本的技術の習得5	グループごとにショット（ドロップ）の技術の習得方法を考え、それを実践します					事前：ドロップについて調べる/事後：ドロップをする際の注意点を復習する（1時間）			
7	基本的なルールの理解と審判技術の習得	ルールと審判技術の基本を確認し、簡易ゲームで実践します					事前：ルールと審判について調べる/事後：審判をする際の注意点を復習する（1時間）			
8	リーグ戦1-1	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します					事前：チームごとにアピールポイントを考える/事後：チームごとにゲーム分析をする（1時間）			
9	リーグ戦1-2	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します					事前：チームごとにアピールポイントを考える/事後：チームごとにゲーム分析をする（1時間）			
10	リーグ戦1-3	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します					事前：チームごとにアピールポイントを考える/事後：チームごとにゲーム分析をする（1時間）			
11	基本的な技術と戦術の確認	チームごとにリーグ戦1を振り返り、基本的な技術と戦術をミニゲームを通して再確認します					事前：チームごとに課題を整理する/事後：チーム戦術を再確認する（1時間）			
12	リーグ戦2-1	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術とリーグ戦1から得た知見を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します					事前：チームごとアピールポイントを考える/事後：チームごとにゲーム分析をする（1時間）			
13	リーグ戦2-2	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術とリーグ戦1から得た知見を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します					事前：チームごとアピールポイントを考える/事後：チームごとにゲーム分析をする（1時間）			
14	リーグ戦2-3	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術とリーグ戦1から得た知見を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します					事前：チームごとアピールポイントを考える/事後：チームごとにゲーム分析をする（1時間）			
15	レクリエーション	討議により設定した特別ルールのもと試合を実施します					事前：楽しくゲームができる特別ルールを考える/事後：本授業のレポートを作成する（1時間）			
テキスト		成績評価の方法・基準								
特に指定せず、必要に応じて資料を配布します。		出席レポート：60% 実技：20% レポート：20% 評価基準は次の通りです。S:批判的思考に基づく探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、習得した基本的技術を用いて、チームメイトと楽しくゲームを展開することができる/A:探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、習得した基本的技術を用いて、チームメイトとゲームを展開することができる/B:与えられた課題に誠実に取り組み、習得した基本的技術をゲームに活かすことができる/C:与えられた課題に誠実に取り組み、習得した基本的技術を実践することができる								
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）								
特に指定しません。		履修者数を抽選により調整する場合があります。								

科目名	生涯スポーツ（個人的スポーツ）古屋クラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL13105	研究室	非常勤	
担当者	古屋 顯一	必修選択	選択	科目種別	実技	アイスワ-				
関連資格	栄教一			履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度（読替科目）								
	A B C	2017年度～								
授業概要										
本授業では、バドミントンを通じてスポーツに親しむ資質を身につけることを目的とします。スポーツに親しむには、なによりスポーツの楽しさを体験することが重要であると考えられます。本授業では、ペア・チームごとに「楽しい」という気持ち、感覚、雰囲気、表情等と向き合いながら、「楽しいバドミントン」を探求します。										
学修到達目標										
(1)バドミントンの基本的技術を習得し、ゲームに活かすことができる (2)ペア・チームで協力して、ゲームを展開することができる (3)楽しくゲームを進行するために工夫することができる										
授業の進め方										
基本的に本授業は、ペア・チーム単位で「課題の設定 課題解決のための練習方法の決定と実施 ミニゲームの実施 ミニゲームの振り返り 課題の見直しと再設定」というサイクルで進めていきます。（アクティブラーニングの実施）										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	オリエンテーション	授業のねらい、授業内容、評価方法、留意事項等について解説し、チーム分けをします					事前：シラバスを読む/事後：バドミントンのルールを確認する（1時間）			
2	攻守の基本的技術の習得1	グループごとにストロークの技術の習得方法を考え、それを実践します					事前：ストロークについて調べる/事後：ストロークをする際の注意点を復習する（1時間）			
3	攻守の基本的技術の習得2	グループごとにサービスの技術の習得方法を考え、それを実践します					事前：サービスについて調べる/事後：サービスをする際の注意点を復習する（1時間）			
4	攻守の基本的技術の習得3	グループごとにショット（スマッシュ）の技術の習得方法を考え、それを実践します					事前：スマッシュについて調べる/事後：スマッシュをする際の注意点を復習する（1時間）			
5	攻守の基本的技術の習得4	グループごとにショット（クリアー）の技術の習得方法を考え、それを実践します					事前：クリアーについて調べる/事後：クリアーをする際の注意点を復習する（1時間）			
6	攻守の基本的技術の習得5	グループごとにショット（ドロップ）の技術の習得方法を考え、それを実践します					事前：ドロップについて調べる/事後：ドロップをする際の注意点を復習する（1時間）			
7	基本的なルールの理解と審判技術の習得	ルールと審判技術の基本を確認し、簡易ゲームで実践します					事前：ルールと審判について調べる/事後：審判をする際の注意点を復習する（1時間）			
8	リーグ戦1-1	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します					事前：チームごとにアピールポイントを考える/事後：チームごとにゲーム分析をする（1時間）			
9	リーグ戦1-2	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します					事前：チームごとにアピールポイントを考える/事後：チームごとにゲーム分析をする（1時間）			
10	リーグ戦1-3	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します					事前：チームごとにアピールポイントを考える/事後：チームごとにゲーム分析をする（1時間）			
11	基本的な技術と戦術の確認	チームごとにリーグ戦1を振り返り、基本的な技術と戦術をミニゲームを通して再確認します					事前：チームごとに課題を整理する/事後：チーム戦術を再確認する（1時間）			
12	リーグ戦2-1	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術とリーグ戦1から得た知見を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します					事前：チームごとアピールポイントを考える/事後：チームごとにゲーム分析をする（1時間）			
13	リーグ戦2-2	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術とリーグ戦1から得た知見を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します					事前：チームごとアピールポイントを考える/事後：チームごとにゲーム分析をする（1時間）			
14	リーグ戦2-3	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術とリーグ戦1から得た知見を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します					事前：チームごとアピールポイントを考える/事後：チームごとにゲーム分析をする（1時間）			
15	レクリエーション	討議により設定した特別ルールのもと試合を実施します					事前：楽しくゲームができる特別ルールを考える/事後：本授業のレポートを作成する（1時間）			
テキスト		成績評価の方法・基準								
特に指定せず、必要に応じて資料を配布します。		出席レポート：60% 実技：20% レポート：20% 評価基準は次の通りです。S:批判的思考に基づく探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、習得した基本的技術を用いて、チームメイトと楽しくゲームを展開することができる/A:探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、習得した基本的技術を用いて、チームメイトとゲームを展開することができる/B:与えられた課題に誠実に取り組み、習得した基本的技術をゲームに活かすことができる/C:与えられた課題に誠実に取り組み、習得した基本的技術を実践することができる								
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）								
特に指定しません。		履修者数を抽選により調整する場合があります。								

科目名	こころと体の健康		学年学期	1年後期	単位数	2	ナパリング	UL13104 UL13106	研究室	S-03
担当者	進藤 政臣・廣田 直子・中島 節子		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ	月曜日1限、金曜日1限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C	2017年度～					
授業概要										
<p>大学生生活を送る上で、また卒業後の社会生活を送る上で、学生自身が自分の心や体について十分な知識を持ち、健康で安全な日常生活を営むことが必要です。そのため、健康日本21の標語にもなっている「1に運動、2に食事、しっかり禁煙、5にクスリ」のそれぞれに対応して、専門的な視点からその基礎的知識を学び、自らの生活に結びつけて実践し、健康で安全な学生生活が送れることを目的とします。</p>										
学修到達目標										
<ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活を送るために必要な運動、栄養、休養の必要性について理解し、実践できる。 ・生活習慣病の発症について理解し、予防策を説明することができる。 ・安全な生活を送るために必要な知識と技術を説明することができる。 										
授業の進め方										
各専門分野の教員がオムニバス形式で進めます。講義、演習を含めて実施します。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション 健康とは	講義の進め方のオリエンテーションを行います。健康の概念について学びます。健康日本21の取り組みや課題を学びます。				健康の概念について予習復習する。（4時間）				
2	飲酒、喫煙について がんの発症と予防	飲酒、喫煙のからだへの影響について学び、がんなどの病気との関連について学びます。				飲酒、喫煙、がんについて予習復習する。（4時間）				
3	生活習慣に関連する病気	生活習慣と関連の深い高血圧、高脂血症について、疾病の症状や要因、予防方法、治療方法について学びます。				生活習慣病について予習復習する。（4時間）				
4	生活習慣に関連する病気	生活習慣と関連の深い疾病について学びます。糖尿病、肥満など異常の早期発見のための健康診断の必要性や項目について学びます。				健康診断や検査について予習復習する。（4時間）				
5	メンタルヘルス	代表的な精神疾患の特徴について学び、それらの対応について学びます。				精神疾患について予習復習する。（4時間）				
6	メンタルヘルス	現代社会の精神的な課題やストレスへの対応などを学び、予防と相談方法について学びます。				メンタルヘルスについて予習復習する。（4時間）				
7	栄養・食生活	栄養についての基礎知識を学び、健康的な食生活について考えます。				栄養・食生活について予習復習する。（4時間）				
8	健康と食生活	食生活と疾病との関連を学び、食事についての現代的な課題について解決策を考えます。				食生活と疾病についてレポートを作成する。（4時間）				
9	健康と食生活 休養	健康的な食生活について考えます。健康づくりのための休養指針について学び、健康づくりのための休養について考えます。				休養について予習、復習する。（4時間）				
10	健康づくりのためのレクリエーション	積極的な休養の方法を学び、レクリエーション活動を行います。				レクリエーションについて予習復習する。（4時間）				
11	健康づくりと運動	運動と健康の関連について学びます。				運動と健康との関連について予習復習する。（4時間）				
12	健康づくりと運動の実際	運動についての課題と対応策を考えます。健康づくりのための運動を行います。				運動と健康についてのレポートを作成する。（4時間）				
13	安全と救急法について	けがの予防と応急手当について学びます。救命救急法について学び、演習を行います。				けがの予防と応急手当、救急法について予習復習をする。（4時間）				
14	生と性について	生と性について考えます。性の多様性LGBT、妊娠、出産について学びます。				生と性について予習復習する。（4時間）				
15	感染症と予防について	感染症と感染予防について学びます。				感染症について予習復習する。（4時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準						
必要な資料はその都度配布します。				<p>定期試験：100%</p> <p>S：授業内容を高度に理解し、自己の健康課題を解決する方法に応用することができる。A：授業内容を理解し、自己の健康課題を明確にし、解決する方法を見出すことができる。B：授業内容のおおよそを理解し、自己の健康課題を明確にすることができる。C：授業内容の60%は理解でき、健康の重要性を説明できる。</p>						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
「大学生の健康ナビ キャンパスライフの健康管理 2016」山本真由美著（岐阜新聞社） ISBN：978-4877972240				大学生生活を健康で安全に送る基礎を学び、実践に結びつけられるように努力してください。						

科目名	哲学			学年学期	2年前期	単位数	2	ナバリング	UL23105 UL23108	研究室	非常勤
担当者	護山 真也			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
私たちの常識的な世界の見方に対して、一歩ひいたところから、その価値を疑い、批判的な考察をくわえることで、その真価を見極めていくことが「哲学」の実践です。そのような哲学は、古今東西、さまざまな場所、さまざまな時代で行われてきました。この授業では、西洋哲学のみならず、東洋哲学にも目を配り、それらに共通するテーマを設定し、それに対する異なるアプローチの仕方を学んでいきます。											
学修到達目標											
哲学・倫理学・宗教学で問われる諸問題を理解し、それらに対して批判的に考えることのできる力を身につけている。											
授業の進め方											
プリントを用いて講義形式で進めます。映像資料を利用する回もあります。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	哲学への招待	授業全体の見取り図を示し、授業のガイダンスを行います。					授業で配付するプリントの読み直しをしてください。(4時間)				
2	プラトンの愛	プラトンの『饗宴』を素材として、ギリシア哲学の特質について学びます。					授業で配付するプリントの読み直しをしてください。(4時間)				
3	キリスト教の愛	ユダヤ教・キリスト教の基本的な考え方を学びます。					授業で配付するプリントの読み直しをしてください。(4時間)				
4	仏教の慈悲	ブッダの思想と大乘仏教の菩薩道を中心に、仏教の慈悲の考え方について学びます。					授業で配付するプリントの読み直しをしてください。(4時間)				
5	愛を哲学する	フロムの『愛するということ』を通して、現代における愛の問題について考えます。					授業で配付するプリントの読み直しをしてください。(4時間)				
6	自己をめぐる哲学	わたしとは何か、それがなぜ哲学の問題になるのか、ということをも 鷲田清一『じぶん・この不思議な問題』を参照しながら、学習します。					授業で配付するプリントの読み直しをしてください。(4時間)				
7	デカルトと近代的自我	デカルトの『省察』を素材として、西洋近代思想の誕生の背景について学びます。					授業で配付するプリントの読み直しをしてください。(4時間)				
8	反デカルト主義の哲学	デカルト以降の哲学、特にニーチェが展開した反デカルト主義の議論を学びます。					授業で配付するプリントの読み直しをしてください。(4時間)				
9	人格の同一性について	パーフィットの『理由と人格』を参照しながら、人格の同一性の問題について学びます。					授業で配付するプリントの読み直しをしてください。(4時間)				
10	日本哲学の可能性	西田幾多郎の思想について学びます。また、この回で、自己をめぐる哲学の問題をまとめます。					授業で配付するプリントの読み直しをしてください。(4時間)				
11	心と世界(1)	『マトリックス』的世界について学びます。					授業で配付するプリントの読み直しをしてください。(4時間)				
12	心と世界(2)	カントの認識論とその背景について学びます					授業で配付するプリントの読み直しをしてください。(4時間)				
13	心世界(3)	インド仏教の唯識思想について学びます。					授業で配付するプリントの読み直しをしてください。(4時間)				
14	心と世界(4)	観念論を批判する議論について学びます。					授業で配付するプリントの読み直しをしてください。(4時間)				
15	哲学の再構築	授業のまとめを行います。					授業で配付するプリントの読み直しをしてください。(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
授業中にプリントを配布します。					小テスト：50%。レポート：50% 方法については初回に指示。(1)与えられた哲学的問題を正しく理解し、(2)自らの考えを、(3)論理的に、(4)独自の考察を加えて、表現することができる。(1)のみはC、(2)まででB、(3)まででA、すべて満たせばS評価とする。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「愛するということ」エーリッヒ・フロム著(紀伊国屋書店) 「じぶん・この不思議な存在」鷲田清一著(講談社) 「観念論の教室」富田泰彦著(筑摩書房)					今学期は休講とそれに伴う補講が3~4回予定されています。初回に日程を伝えます。						

科目名	生活習慣病と予防		学年学期	2年前期	単位数	2	ナバ'リング	UA23106 UA23107	研究室	S-16
担当者	江原 孝史		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	火曜日2限		
関連資格	養教一				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>食事をはじめとする生活習慣はさまざまな病気の発症に深くかかわっている。遺伝が原因の病気においてもこれは同様である。生活習慣を見直すことで病気の発症を防ぎ健康長寿を達成することができます。</p> <p>本講義では、生活習慣が関係して発症するさまざまな疾患について学び、生活習慣病を防ぐための食事、運動について知ることを目的とします。実習では自分の体の状態(体重、腹囲、血圧、ヘモグロビン、体脂肪量、動脈血酸素飽和度)をチェックします。</p>										
学修到達目標										
自分の生活習慣と健康状態を知り、自らの生活習慣病のリスクを把握することによって、より健康的な学生生活を送ることができ、かつ、生活習慣病とそれを予防するための知識を教えることができるようになること。										
授業の進め方										
スライドを使いながらレポートと実習で進めます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	生活習慣病とは? 成人病から生活習慣病へ 生活習慣病の低年齢化について学びます。				教科書13-36ページを読んでくる。自分の生活習慣を調べてくる。(4時間)				
2	肥満、肥満症	なぜヒトは太るのか(痩せることができないか)肥満の定義とBMIの計算方法について学びます。自分の体重を測定し、体脂肪、内臓脂肪をチェックし、BMIを計算する。				教科書37-72ページを読んでくる。小児肥満の問題について調べる。(4時間)				
3	糖尿病(1)	糖尿病の定義、分類(1型、2型)、血糖値とHbA1c測定の意義について学びます。グルコーススパイクとその意義について学びます。				教科書73-87ページを読んでくる。糖尿病と遺伝の関係を調べる。(4時間)				
4	糖尿病(2)	糖尿病の合併症、運動療法、食事療法について学びます。				教科書88-102ページを読んでくる。糖尿病の合併症の特徴を調べる。(4時間)				
5	脂質異常	脂質異常症の種類と原因、動脈硬化との関係、脂質異常の予防法について学びます。				教科書125-130ページを読んでくる。1日に摂取する脂質の種類と特徴について調べる。(4時間)				
6	メタボリックシンドローム	メタボリックシンドロームの定義とその意義について学びます。				事前に腹囲を測定する。メタボリックシンドロームの体への影響を調べる。(4時間)				
7	高血圧	高血圧の定義、本態性高血圧と二次性高血圧、家庭血圧と診察室血圧の違いについて学びます。血圧の正しい測定方法を学び、自分の血圧を測定します。				教科書103-124ページを読んでくる。高血圧の影響について調べる。(4時間)				
8	虚血性心疾患	虚血性心疾患の分類(狭心症、心筋梗塞)、運動療法について学びます。				教科書133-158ページを読んでくる。心臓リハビリについて調べる。(4時間)				
9	脳卒中	脳出血、脳梗塞の分類、脳卒中のサインと危険因子について学びます。				脳梗塞の治療法、特に薬物治療について調べる。(4時間)				
10	消化器の生活習慣病	逆流性食道炎、胃潰瘍、胆石、脂肪肝、慢性膵炎、大腸憩室などについて学びます。				生活習慣とさまざまな消化器疾患との関係を調べる。(4時間)				
11	呼吸器疾患	慢性閉塞性肺疾患(COPD)の種類とSpO2測定の意義、COPDに対する運動療法の有用性、運動誘発性ぜんそくについて学びます。パルスオキシメーターでSpO2を測定します。				スパイロメーターで自分の肺活量、1秒率、肺年齢を調べる。(4時間)				
12	がん	がんの定義、がんの男女別死亡率、がんの生物学、がん検診と一次予防について学びます。				日本人がかかるがんの特徴とがん検診の問題について調べる。(4時間)				
13	運動器疾患	変形性関節症、変形性脊椎症、骨粗鬆症についてとその予防と運動について学びます。骨密度の測定方法の種類とその特徴を学ぶ。				教科書233-256ページを読んでくる。自分の骨密度を測定する。(4時間)				
14	ロコモティブシンドローム	ロコモティブシンドロームの構成概念、サルコペニアやフレイルの定義、高齢者の運動障害の特徴について学びます。				事後にロコチェックとロコトレを行う。サルコペニアのメカニズムを調べる。(4時間)				
15	認知障害、認知症	認知症の病態、認知症症状と症状に対する運動療法(コグニサイズ)について学びます。				教科書211-232ページを読んでくる。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「Q & A 生活習慣病の科学 Neo」中尾 一和編(京都大学学術出版会) ISBN:978-4-8140-0050-0(生協で購入してください。)授業とレポートに必要なので必ず購入してください				定期試験:80% レポート:20% 評価の基準 S:授業内容を高度に理解し、実習に積極的に取り組みかつ質問し、実習課題の内容が特に優れ、定期試験も90点以上。A:授業内容をよく理解し、実習に積極的に取り組みかつ質問し、実習課題の内容が優れ、定期試験が80点以上。B:授業内容を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、実習課題の評価が良く定期試験が70点以上。C:授業の内容を理解し、与えられた課題に組み、実習課題の評価が可で定期試験が60点以上。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「健康運動指導士養成講習会テキスト95頁~253頁」(財団法人健康・体力づくり事業団) 「世界一長寿な都市はどこにある?」家森幸男著(岩波書店)				毎日の生活習慣(食事を含め)が病気の発症に影響することを知ろう。とくに栄養と運動とが大きな要素であることを学ぼう。						

科目名	生命倫理		学年学期	2年後期	単位数	2	ナパリング	UL23107 UL23109	研究室	W-03	
担当者	福島 智子		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ	月曜日3限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C	2017年度～					
授業概要											
生命をめぐる倫理(道徳・規範)的諸問題をさまざまな視点から考察し、医療領域における今日的かつ具体的問題に対処できる思考力を養います。生命倫理学の歴史的背景と今日の課題について理解し、具体的な倫理的問題を包括的な観点から把握することを目標とします。1960年代以降、医療領域において生じた倫理的諸問題を個別に取り上げ考察します。											
学修到達目標											
生命科学、医療領域における具体的な倫理的問題に、一個人として対峙し、個別の倫理的判断を導き出すことができる。											
授業の進め方											
授業内容に応じてグループ報告、グループ討論を実施します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	生命倫理学の成立背景	生命倫理学の歴史と現状について概説します。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)				
2	健康と病気	健康と病気、正常と異常、それぞれの概念について学びます。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)				
3	治療と人体実験	医療の目的と人体実験の歴史について学びます。					事前配布資料を読んで下調べをする。(4時間)				
4	Quality of LifeとSanctity of Life	Quality of Life(生命の質)とSanctity of Life(生命の神聖性)について学びます。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)				
5	生殖技術	生殖技術の発展とそれに伴う倫理的問題について学びます。					授業中に配布する課題プリントをする。(4時間)				
6	脳死と臓器移植	脳死と臓器移植の関係について、現状と課題について学びます。					授業中に配布する課題プリントをする。(4時間)				
7	安楽死と尊厳死	安楽死・尊厳死と治療停止の現状と課題について学びます。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)				
8	ケアの倫理	医療福祉分野におけるケアの倫理について学びます。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)				
9	医師 患者関係	医師-患者関係の変容と今日的課題について学びます。					授業中に配布する課題プリントをする。(4時間)				
10	インフォームド・コンセントと情報開示	インフォームド・コンセントの歴史と医療領域における情報開示について概説します。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)				
11	医療資源の配分	医療資源の配分における公正さと正義について考えます。					事前配布資料を読み、下調べをする。(4時間)				
12	パーソン論	パーソン(人格)とは何かについて学びます。					配布資料の要点をまとめる。(4時間)				
13	老人介護と世代間倫理	少子高齢化と介護問題について概説します。					授業中に配布する課題プリントをする。(4時間)				
14	生命倫理学の比較考察	諸外国と日本における生命倫理学の比較をします。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)				
15	まとめ	講義全体のまとめ。					総復習。(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準								
学生が選択するグループ討論のテーマによって、使用テキストは異なりますので個別に指定します。			受講態度:20% 出席レポート:20% レポート:30% 受講態度にはグループ討論への参加状況が含まれます。また、上記以外にグループ報告30%で評価します。 S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考能力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組むことができる。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組むことができる。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組むことができる。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組むことができる。								
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「生命倫理とは何か」市野川容孝編(平凡社) 「生命倫理学を学ぶ人のために」加藤尚武・加茂直樹編(世界思想社)			ひとつひとつの事例について、学生自身考えることが要求されます。毎回の講義終了前に、次回講義の概要について説明します。予習の指示がある場合は、必ず予習をしてから講義に臨んでください。								

科目名	スポーツとノーマライゼーション		学年学期	2年後期	単位数	1	ナパリング	UL23110	研究室	A-10
担当者	小林 敏枝		必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスア-	火曜日5限、木曜日4限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	2017年度～				
授業概要										
<p>スポーツは誰もが享受することのできる権利です。その上で、誰もが参加できるユニバーサルスポーツについて学修し、スポーツがノーマライゼーション社会の実現にどのように貢献するか考えます。さらに身近なユニバーサルデザインを調査し、「障がい者は人に帰属するのではなく、人と環境の間に存在する」ことの意味について理解を深めます。ボランティアを含めた「支えるスポーツ」について学修し、「我々にできること・行動するための要因」について考えます。</p>										
学修到達目標										
<p>障がい者スポーツ(アダプテッドスポーツ)の実際について理解し、ノーマライゼーション社会の実現とスポーツについて説明できる。さらに「共にスポーツを楽しむこと」への理解を深め、「我々にできること・行動するための要因」について柔軟で幅の広い考え方を身につけている。</p>										
授業の進め方										
<p>基本的にはテキスト・配布資料を基に授業を展開します。また、パラリンピックなどの視聴覚教材を使用し、障がいのある方々のスポーツへの理解を深めます。その上で、ノーマライゼーション社会の実現とスポーツについて考えを深めていきます。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス 障がい者スポーツ(アダプテッドスポーツ)とは何か。	授業概要・学修目標・授業の進め方・評価の仕方などについて説明します。「障がい者スポーツ」ではなく「アダプテッドスポーツ」の意味を学びます。				アダプテッドスポーツ関連の書籍・記事を読み事前学習する。授業の内容を復習する。(1時間)				
2	アダプテッドスポーツの基本理念	アダプテッドスポーツの基本理念を学習します。基本的な「障がい者スポーツ(アダプテッドスポーツ)」に関連する言葉を解説します。				アダプテッドスポーツの基本理念について予習する。関連語句を復習する。(1時間)				
3	パラリンピックの歴史・変遷と発展の背景	視聴覚教材を使用し、パラリンピックについて学びます。その開催意義や発展を支えた社会的背景について理解し、人間とスポーツについての考えを深めます。				パラリンピックについて事前学習する。パラリンピックの歴史について復習する。(1時間)				
4	障がいとは	WHOの障害分類を学習し、人間が心身共に健康で、生きがいをも豊かに暮らす上での各因子の相互作用について考えます。				障害分類について事前学習する。WHOの障害分類について復習する。(1時間)				
5	ノーマライゼーションについて	ノーマライゼーションの概念について学びます。さらに、現在の福祉政策についての理解を深めます。				共生社会についての基礎知識を事前に学習する。共生社会の考え方について復習する。(1時間)				
6	障がいのある人を取り巻く障壁について	障がいのある人々が地域で暮らす上での障壁について考えます。その上で、誰もが豊かに暮らせる環境について考えを深めます。				身近な環境のバリアについて事前学習する。障がい者にとっての障壁とは何か復習する。(1時間)				
7	アダプテッドスポーツを支える人々について	アダプテッドスポーツに関わっている人々を紹介します。アダプテッドスポーツにおけるボランティアの意味を考え、私たちにできることを見つけて、行動計画をたてます。				支援の内容について事前学習する。スポーツを支える人々について復習する。(1時間)				
8	障がい者スポーツ(アダプテッドスポーツ)の魅力について	アダプテッドスポーツの目的は多岐にわたります。地域でスポーツを楽しむ障がいのある方々について学び、スポーツを行うことの魅力について考えます。				アダプテッドスポーツ選手について事前学習する。スポーツの魅力について復習する。(1時間)				
9	視覚障害とスポーツについて	視覚障害者のサポートの方法、スポーツの実際、ルールや用具の工夫について学びます。その上で、共に楽しむための工夫を考え理解を深めます。				視覚障害者の困難性を事前学習する。視覚障害者のスポーツのルール等復習する。(1時間)				
10	ユニバーサルスポーツルール用具の工夫	現在行われているユニバーサルスポーツについて学びます。その理念、実施方法などについて理解を深め、共にスポーツを楽しむ要因について考えます。				アダプテッドスポーツ種目の事前学習を行う。ユニバーサルスポーツについて復習する。(1時間)				
11	重症心身障害児・者のスポーツの意義について	重度の障がいのある方にとってのスポーツとは何か考える。またどのようなことができるのか、その可能性について理解を深めます。				重度障がいの方のスポーツ種目を調べる。重症心身障害者のスポーツについて復習する。(1時間)				
12	インクルーシブ教育とアダプテッドスポーツについて	ノーマライゼーションの思想を背景に行われる教育「インクルージョン」について学びます。学校におけるアダプテッドスポーツについての理解を深めます。				スポーツと共生社会について事前学習を行う。インクルージョン教育の復習をする。(1時間)				
13	障がい者スポーツ(アダプテッドスポーツ)とボランティアについて	アダプテッドスポーツは支援者によって競技が成立する要素が高いことから、ボランティアの在り方について理解を深めます。				自分が行ったボランティアをまとめる。スポーツとボランティアについて復習する。(1時間)				
14	事例研究	実際の事例に対して、自分だったらどのように行動するか考え、私たちにできる支援について理解を深めます。				今までに体験した障がい者とのかわりを事前にまとめておく。事例の復習をする。(1時間)				
15	スポーツとノーマライゼーション社会の実現について	現代社会の問題点を明らかにし、ノーマライゼーション社会実現のための行動計画をたてよう。				共生社会における課題を事前学習する。共生社会とスポーツの関わりについて復習する。(1時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
随時資料を配布します。			<p>レポート：70% 出席レポート：30%</p> <p>S：基本的な概念や理論を正確に把握し説明できる。探求姿勢を持ち課題に取り組み、高い意欲を示している。A：授業内容を理解し、基本的な概念を正確に把握している。B：授業内容をおよそ理解し、与えられた課題に誠実に取り組みほぼ説明できる。C：授業内容の60%を理解し説明できる。与えられた課題をすべて行っている。</p>							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「障害者とスポーツ」高橋 明著(岩波新書) ISBN: ISBN4-00-430896-8			体験を通じて学ぶことが沢山あります。積極的にボランティアなどに参加しながら学習を進めてください。							

科目名	対人関係の心理学		学年学期	3年前期	単位数	2	ナバリノ	UL33109 UL33111	研究室	A-17
担当者	岸田 幸弘		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	木曜日1限、木曜日2限		
関連資格					履修条件	2018年度開講せず				
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	2016年度～				
授業概要										
対人行動や集団とのかかわりかたなどを、個人の特性や環境の面から考察し、人との関係で悩んだり、喜びを感じたりする心理的なメカニズムや、人の行動の生成について学びます。講義を中心に進めますが、グループワークやグループラーニングを取り入れ、演習形式での学びも体験します。										
学習到達目標										
対人行動を心理学的に理解し、知識として自己と他者およびその関係性を理解します。実際に討論や演習なども行いながら、自己理解や他者理解の促進、人との関係のあり方の理解がどれほど促進されたかを、客観的に理解できるようにします。併せて自分の人との付き合い方やその傾向について新たな気づきが生まれることを目標とします。										
授業の進め方										
1回から9回までは講義を中心に対人関係を心理学的に理解します。10回以降は実生活や人生で出会うであろう問題に対処するために、スキルを身につけることを目標にして、体験的な演習や討論を取り入れます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	自己と対人行動(授業ガイドダンスを含む)	人は人の中に生まれ、人の中で育ち成長します。多くの人間関係の中で心理や行動に影響を与えているのが対人行動です。また自分の対人行動のあり方が人間関係を築いていることを事例を通して理解します。				シラバスを熟読し、自分の対人行動についての特徴を整理する。(4時間)				
2	自己開示とコミュニケーション	自分を語る事が得意な人と苦手な人がいる。自己開示の方法や心理学実験などを通して自己開示の理論を学び、自己開示(自己紹介)の演習を通して、自分の対人行動の特徴を理解します。				配布の資料を熟読しまとめるとともに、時間内で自己紹介する訓練を行う。(4時間)				
3	自己評価と対人行動	他者への評価や他者からの評価も含め、自己評価の高低は対人行動に大きな影響をもたらすことを、実験事例をとおして学びます。また自己評価のコントロールが人付き合いを変えてしまうことを学びます。				配布資料を熟読しまとめるとともに、質問項目を考える。前回の自己紹介の練習をする。(4時間)				
4	対人魅力と好意	好意の感じ方によって人との付き合い方は変わります。外見の魅力なども含めて互いの好意の持ち方と対人行動の関係を学びます。				配布の資料を熟読しまとめるとともに、課題「魅力的な人」をレポートする。(4時間)				
5	援助の心理と対人行動	援助行動は個人的特性だけではなく、周囲の人の様子や状況によって変化します。また自分に利益をもたらすという理由から、自己犠牲を払うという援助行動もあることを学びます。				配布の資料を熟読しまとめるとともに、対人援助の体験をレポートする。(4時間)				
6	攻撃的な対人行動	いじめや暴力、体罰などは大きな社会問題になっています。しかし世の中からなくなることはありません。人はなぜ攻撃するのかを、4つの心理的メカニズムから学びます。				配布の資料を熟読しまとめるとともに、自分や人の攻撃行動を観察しレポートする。(4時間)				
7	同調的な対人行動	自分の考え(認知)と行動が不協和状態のとき、あるいは自分の行動と周囲の人の行動とが違つときに、その矛盾を解消しようとして起こる心理的メカニズムを学びます。				配布の資料を熟読しまとめるとともに、自分(他者)の同調行動をレポートする。(4時間)				
8	リーダーシップと対人行動	PM理論を中心にリーダーのあり方を理解し、効果的なリーダーシップの発揮の仕方と集団の特性について、具体的な事例をもとに学びます。				配布資料を熟読しまとめるとともに、自分のリーダーシップについて分析しレポートする。(4時間)				
9	社会的ジレンマ	人との関わりの中でジレンマに陥ることはよくある。個人の利益追求が全体の不利益になるような事例では、どのように行動すればよいのだろうか。対人行動を円滑にするための方法を学びます。				配布の資料を熟読しまとめるとともに、ジレンマに陥った体験を考察しレポートする。(4時間)				
10	本音で交流できる対人関係づくり	安心できる不安のない集団に属したいと願いつつも、集団の中では様々な葛藤や困難が起きる。構成的グループエンカウンター(SGE)を体験してよりよい対人関係の築き方を学ぶ。				SGEの配布資料を熟読する。事後はエンカウンター体験をレポートする。(4時間)				
11	本音で交流できる対人関係づくり	構成的グループエンカウンター理論と方法を学び、実際に体験と照らし合わせて自己理解の促進と、本音の交流のあり方を学びます。				理論的背景を実際の体験と照らし合わせて考察し、レポートする。(4時間)				
12	不安や緊張のない集団づくり	不安や緊張を感じない、安心できる集団を築くための理論と方法を対人関係ゲーム(SIG)を、実際に体験しながら学びます。				SIGの配布資料を熟読する。事後は体験したことをレポートする。(4時間)				
13	不安や緊張のない集団づくり	対人関係ゲームの「交流」「協力」「折り合い」のゲームを中心に実際に行い、自己を振り返りながら、人との付き合い方を学びます。				第12回と第13回をまとめて体験したことをレポートする。(4時間)				
14	さわやかな自己主張	相手を尊重しながら、自分の言いたいことをしっかりと主張できる「アサーション」の理論と方法を学び、対人関係の中での自分の特性を理解します。				アサーションの配布資料を熟読し、自分のアサーションの特性を分析する。(4時間)				
15	さわやかな自己主張	アサーショントレーニングの方法を身につけ、実際に体験することで相手も自分も大切に自己表現の大切さを学びます。				アサーショントレーニングの体験をレポートする。(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
授業中に適宜配布する。			定期試験:50% 課題:30% 受講態度:20% S:知識的理解に優れ、体験から教育分析(自己分析)ができる。 A:知識的理解がおおむね可能で、積極的に体験参加ができ、レポートが充実している。 B:知識的理解がおおむね可能で、体験内容をレポートできる。 C:学んだ知識をもとにして、積極的にSGEやSIGに参加できる。							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「徹底図解 心理学 生活と社会に役立つ心理学の知識」青木紀久代・神宮英夫 編著(新星出版社) ISBN:978-4-405-10675-8 「性格は変えられない、それでも人生は変えられる」アルバート・エリス著			講義のみならず、参加体験型のグループワークを含んだ内容です。人と関わること(対人関係)を知識と体験から学びます。							

科目名	地域企業特論		学年学期	1年前期	単位数	2	ナパ'リング	UL13201	研究室	W-32
担当者	小林 俊一		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	水曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	2016年度～					
授業概要										
本講義は国際ロータリー第2600地区(松本地域)と松本大学の教育連携協定に基づく講座であり、長野県を代表する企業から毎回招く講師の講義内容は、実践や実務の中から獲得された「経験知」です。論理的に構築される大学での学びがバーチャルの世界の「知」とあるとするならば、まさしくリアリティのある「知」とも言え、新たな自己発見につながる講義です。										
学修到達目標										
企業の歴史的背景や現状を踏まえた現在の活動ならびに、将来構想などについて企業家自身から講義を受けることで、「自己」、「社会」、「企業」といった視点から、大学での学びや自らの進路、生き方について考えていきます。さらに、社会人として必要な実践的知識や環境対応力といった社会人基礎力と言われる社会的知識を獲得することが最終的な目標となります。										
授業の進め方										
各回のテーマに沿った企業人を講師に招いて講義形式の講演を聴きます。講義の最後には講師の出題するテーマや講演を聴いた感想をレポートにまとめて提出します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス・ロータリークラブの役割	地域社会のリーダーという立場から、国際的組織でもあるロータリークラブの目的と社会的役割について解説します。				事前にシラバスを読んでおく。ロータリークラブについて整理しておく。(4時間)				
2	プロフェSSIONALとは	社会人として身につけなければならないプロ意識について、企業人の実際の活動から学び取り、働くことの意義を再認識します。				事前に関係する内容について考えておく。提出した小論の内容を復習する。(4時間)				
3	企業イノベーション	これからの企業経営の課題であるイノベーションとは、技術だけでなく幅広い意味での「革新」です。アイデアやひらめきが生み出される背景を探り、発想力豊かな社会人について考えます。				事前に関係する内容について考えておく。提出した小論の内容を復習する。(4時間)				
4	企業活動と地域社会	企業活動が経済、文化など、様々な形で地域社会に及ぼしている影響について展望し、社会人なることの意味を考えます。				事前に関係する内容について考えておく。提出した小論の内容を復習する。(4時間)				
5	グローバルとローカル	グローバル化が叫ばれる現在において、その対称に位置すると考えられているローカルの思考が重要であるとされる理由を実際の企業活動を通して考察していきます。				事前に関係する内容について考えておく。提出した小論の内容を復習する。(4時間)				
6	リーガルマインドと企業活動	法的な解釈を基本とした論理的思考とバランス感覚に基づく企業活動の実際を例に、社会人に求められるリーガルマインドとは何かを考えていきます。				事前に関係する内容について考えておく。提出した小論の内容を復習する。(4時間)				
7	社会問題に挑む企業活動	高齢化や環境など現代社会に存在する様々な社会問題の解決に取り組む企業活動を通して、社会を形成する仕事の在り方について考えていきます。				事前に関係する内容について考えておく。提出した小論の内容を復習する。(4時間)				
8	企業の専門性	企業における専門性とは何か、企業規模とは全く違う視点から企業の価値について考え、働くということの意味を再考します。				事前に関係する内容について考えておく。提出した小論の内容を復習する。(4時間)				
9	企業がおこなう地域貢献	企業はどのような理念に基づき地域貢献をおこない、それがどのような社会的意義を持つのかを考えることで、企業と地域の関係を見直します。				事前に関係する内容について考えておく。提出した小論の内容を復習する。(4時間)				
10	経済情勢と企業経営	現在の経済情勢を踏まえた企業経営とはどのようなものかを学び、経済動向に応じた柔軟な企業活動と今後の見通しについて考えます。				事前に関係する内容について考えておく。提出した小論の内容を復習する。(4時間)				
11	企業のグローバル戦略	経済の激しいグローバル化が進む中で、地方の企業がどのような戦略に基づき経営しているか実例から学び、国際的視野の重要性を考えます。				事前に関係する内容について考えておく。提出した小論の内容を復習する。(4時間)				
12	企業のコンプライアンスとモラル	コンプライアンスやモラルを企業価値を高めるものとしてとらえ、積極的に取り組んでいる企業の実例から、信頼され尊敬される企業や従業員とは何かを考えていきます。				事前に関係する内容について考えておく。提出した小論の内容を復習する。(4時間)				
13	ブラック企業と何か	社会問題化しているブラック企業とはどのような企業のことを指しているのか、その実態を捉えつつ、労働者としての権利と義務について考えていきます。				事前に関係する内容について考えておく。提出した小論の内容を復習する。(4時間)				
14	起業するための条件	起業するとはどういうことか、ビジネスチャンスのつかみ方やリスクについて学び、起業家として成功するための条件について考えていきます。				事前に関係する内容について考えておく。提出した小論の内容を復習する。(4時間)				
15	意味のある働き方とは	企業が求める人材とはどのような人材なのかについて経営者の立場から話を聞き、人間にとって働くということがどのような意味を持っているのか、今何をすべきか考えていきます。				事前に関係する内容について考えておく。提出した小論の内容を復習する。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
テキストはありませんが、毎回講義用の参考資料を配付しますので、全ての資料をファイルしておいてください。				レポート：90% 受講態度：10% 毎回、講義の最後に授業内容に関する小論を書きそれを講師が評価します。15回の講義の小論の評価の合計点に、授業中のメモを取るなどの聴講態度を加えた総合評価とします。小論は各回の講義の狙いによって多少の違いはありますが、講義内容のまとめ、自分の考えや主張、文章量などが評価されます。Sは9割以上、Aは8割以上、Bは7割以上、Cは6割以上の得点を必要とします。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
できれば2紙以上の新聞を読むようにして下さい。				自分の就職や生き方など、将来を真剣に考えている人にとっては有益な講義です。外部から毎回招聘する講師が違います。それだけに学生諸君には積極的な傾聴姿勢を求めます。						

科目名	日本国憲法		学年学期	1年後期	単位数	2	ナパ'リング	UL13202	研究室	非常勤
担当者	松田 清		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	第一種衛生、中一(保体)、高一(保体)、養教一、栄教一、中一(保健)、高一(保健)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	~2016年度 法学(含日本国憲法)					
授業概要										
全15回の講義ですが、初めて法律を学ぶ学生が、大多数ですから、最初の5回で、法学入門的な授業を行います。その際に、日々の生活に 関係の深い民法と、3.4年次で労働関係の法律を学ぶ際の基礎になるように、労働法についても、学んでいきます。6回目からは、憲法の 入門書を使って、日本国憲法の基本的人権・統治機構について学んでいきます。その際も、労働基本権を含む社会権については、しっかり 学んでいくことになります。										
学修到達目標										
細かい知識の丸暗記ではなく、法律の基本的な考え方(リーガルマインド)を、身に着ける。日本国憲法の体系・骨組みをつかむ。										
授業の進め方										
テキストに沿って授業を進めますが、必要に応じてプリントを配付します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	法律を学ぼう	法律とは 法律の目的 法と道徳について講義します。				事後学修として講義の際に指定したテキストの該当部分を読み込むこと。				
2	法律の適用	法的三段論法 法の分類(公法と私法等)について講義します。				事後学修として講義の際に指定したテキストの該当部分読み込むこと。				
3	民法とは何か	民法の役割 民法の考え方 財産法の仕組み 物権と債権について講義します。				事後学修として講義の際に指定したテキストの該当部分読み込むこと。				
4	物権法と債権法の概略	具体例を使って(売買契約) 民法の全体図について講義します。				事後学修として講義の際に指定したテキストの該当部分読み込むこと。				
5	労働法の全体像	労働法と憲法の関係、労働法の体系を学びます。				事後学修として講義の際に指定したテキストの該当部分読み込むこと。				
6	憲法とは何か	憲法とは 憲法の特質等について講義します。				事後学修として講義の際に指定したテキストの該当部分読み込むこと。				
7	国民主権	主権とは 間接民主制 直接民主制等について講義します。				事後学修として講義の際に指定したテキストの該当部分読み込むこと。				
8	基本的人権	基本的人権の原理と限界について講義します。				事後学修として講義の際に指定したテキストの該当部分読み込むこと。				
9	法の下での平等	平等の意味 最近の判例等について講義します。				事後学修として講義の際に指定したテキストの該当部分読み込むこと。				
10	精神的自由権	思想・良心自由 表現の自由等について講義します。				事後学修として講義の際に指定したテキストの該当部分読み込むこと。				
11	経済的自由権	職業選択の自由 財産権等について講義します。				事後学修として講義の際に指定したテキストの該当部分読み込むこと。				
12	社会権	労働基本権を中心に講義します。				事後学修として講義の際に指定したテキストの該当部分読み込むこと。				
13	総復習	法律の勉強は、繰り返しが大事です。重要事項について復習します。				事後学修として講義の際に指定したテキストの該当部分読み込むこと。				
14	統治機構	権力分立 国会 内閣 裁判所について講義します。				事後学修として講義の際に指定したテキストの該当部分読み込むこと。				
15	総復習	重要部分を中心に全体を総復習します。				事後学修として講義の際に指定したテキストの該当部分読み込むこと。				
テキスト		成績評価の方法・基準								
「伊藤真の憲法入門」伊藤 真著 ISBN:978-4-535-52040-0 (生協で購入してください。)		定期試験：80% レポート：20% S 課題に意欲的に取り組み、授業内容をすべて理解して、正しく文章で表現することができる。A 授業で学んだことを理解し、正しく文章で表現することができる。B 授業で学んだことを概ね理解し、文章で表現することができる。C 最低限押さえてほしい事項(授業で指示します)について、理解し表現できる。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
六法は各自持参すること。		原則として、事前学修は必要ありませんが、事後学修に努めてください。								

科目名	経済入門		学年学期	1年後期	単位数	2	ナパ`リング	UL13203	研究室	E-10
担当者	糸井 重夫		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	火曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	2017年度~					
授業概要										
本授業では、主としてマクロ経済学の基礎について講義します。特に、マクロ経済学の大きなテーマは、失業問題、通貨価値の問題、経済成長の問題、外国貿易の問題などですが、本授業では、失業問題と通貨価値の問題について学修します。授業は講義形態ですが、できるだけ双方向の授業にしたいと考えています。また、毎回の授業内容を整理したレポート(出席レポート)を提出することで、授業の理解を深めます。この科目は2年後期の「国際経済」の基礎となります。										
学修到達目標										
「出席レポート」の提出を通して、文章力や理解力、そして論理的思考を高め、テレビや新聞などでの経済問題について、各自で考え、自分の意見を持ち、これを表現することができる。										
授業の進め方										
授業内容は下記の計画に従って展開されますが、授業内容は相互に関連性があり、積み重ねながら全体が理解できるようになっています。したがって、一方方向の授業に加えて、必要に応じて質疑応答やテーマについての議論も行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	資本主義的生産様式の生成	人類の歴史における生産体制を概観するとともに、資本主義的な生産体制の特徴について理解します。特に、資本の三要素の生成について整理します。				ルネサンス以降の欧州の歴史について、特に宗教改革と資本の蓄積について学ぶ。(4時間)				
2	資本の蓄積と銀行制度	資本主義的生産体制の下では、資本の蓄積手段として銀行制度と株式会社制度が生まれ出されました。授業では、銀行制度について説明します。				宗教改革以後の欧州における資本主義の発展について復習し、授業を整理して提出する。(4時間)				
3	資本蓄積と株式会社制度	株式会社制度の仕組みについて整理する。また、所有と経営の分離についても説明し、今日の経営統合や企業合併等についても講義する。				「出席レポート」で資本の蓄積制度を整理します。事前のプリントを読み、予習する。(4時間)				
4	マクロ経済学の基礎概念	マクロ経済学の理論を理解するために、基礎的な概念について理解する。具体的には、ストックとフロー、三面等価の原則などの概念を説明する。				「出席レポート」に授業内容を整理します。ICTを活用して三面等価について調べる。(4時間)				
5	労働市場分析	労働市場における屈折供給曲線について説明し、自発的失業と自発的失業の概念を整理します。また、労働組合の役割や非自発的失業対策としての財政金融政策の役割についても説明します。				ICTを用いて非自発的失業を調べ「出席レポート」に整理する。(4時間)				
6	有効需要の原理と消費関数	有効需要の原理とセイ法則について説明します。また、ケインズの絶対消費関数について解説し、限界消費性向や限界貯蓄性向の役割について整理します。				ICTを用いて、消費関数について調べます。「出席レポート」で45度線分析を整理する。(4時間)				
7	投資関数と財政政策の効果	ケインズの乗数理論について説明します。また、財政政策の波及メカニズムや、限界消費性向の差異による財政政策の効果の違いについて整理します。				ICTを活用して乗数理論について調べます。財政政策の有効性について整理する。(4時間)				
8	租税乗数と貿易乗数	租税政策の効果について、また貿易依存度の違いによる財政政策の効果について整理します。				ICT等により乗数理論について調べ「出席レポート」に財政政策の効果を整理する。(4時間)				
9	貨幣の役割	貨幣の機能と貨幣数量説について説明します。また、貨幣需要理論としての貨幣数量説についても整理し、ケンプリッジ現金残高数量説を説明します。				ICTを用いて貨幣数量説を調べます。「出席レポート」に貨幣数量説について整理する。(4時間)				
10	流動性選好利子論	貨幣需要動機について整理し、確定利付債券について説明します。そして、ケインズの流動性選好利子論について説明します。				「出席レポート」で貨幣需要理論としての貨幣数量説について整理する。(4時間)				
11	信用創造論	預金準備制度について整理し、信用創造について説明します。また、預金準備率が通貨供給量に与える影響や、金融政策が実体経済に波及するメカニズムについて説明します。				「出席レポート」で信用創造について整理し、ICTを活用して金融政策について調べる。(4時間)				
12	財市場の均衡(IS曲線)	財市場の均衡を示すIS曲線を導出します。また、なぜIS曲線上で均衡するのかについて、財市場の自動調整メカニズムについても整理します。				IS曲線について調べ、「出席レポート」に整理する。(4時間)				
13	貨幣市場の均衡(LM曲線)	貨幣市場の均衡を示すLM曲線導出します。また、なぜLM曲線上で均衡するのかについて、貨幣市場の自動調整メカニズムについても整理します。				LM曲線について調べ、「出席レポート」に整理する。(4時間)				
14	IS-LM曲線分析	財政金融政策の有効性について、IS-LM曲線を用いて説明します。また、貨幣数量説の意味や流動性の罫についても整理し、今日の「アベノミクス」の有効性についても考えていきます。				「アベノミクス」について調べ、レポートに整理する。(4時間)				
15	財政金融政策の有効性	財政政策と金融政策の波及メカニズムの違いについて整理し、その有効性が経済状況の違いにより異なることを理解します。また、一国の財政金融政策が、外国為替相場に与える影響についても説明します。				わが国の金融政策について調べ、レポートに整理する。(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
開講時に指示します。			出席レポート：30% 小テスト：20% 定期試験：50% 評価は、出席レポート、小テスト、定期試験での総合評価を基本としますが、定期試験が特に優れている場合には、定期試験の得点を重視して評価します。また、評価の目安は、「S」：授業内容を良く理解し、授業内容を他者に説明できる、「A」：授業内容を理解し、自分の考えを表明できる、「B」：授業内容を理解し、「出席レポート」などで整理できる、「C」：授業内容を重要な点を理解し、重要な点については「出席レポート」などで整理できる。							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
開講時に指示します。			授業外学修の「出席レポート」は、文章力や表現力などのコンピテンスを育成し、「論理的思考力」も高めますので、積極的に取り組んでください。							

科目名	新聞に見る社会の動き		学年学期	2年前期	単位数	2	ナパリング	UL23204	研究室	非常勤
担当者	江成 康明		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	2016年度～				
授業概要										
新聞を使って社会の動きを考えていきます。インターネットの普及により活字離れが目立ち、読書や手書きの習慣が薄れてきました。一番身近なはずの新聞も無読層の増加によって、読まれなくなっています。新聞には政治、経済、外交や社会の動向などが凝縮されており、情報の収集だけでなく、どう読みこなすかが必要になってきます。記事の内容を読み、理解したうえで自分の考えをまとめるという習慣をつけるための授業です。乱れ始めた日本語の良さや文章の作り方も授業の中で実施していきます。										
学修到達目標										
4年間の大学生活中に就職活動という社会人への第一歩が始まります。社会の動きを知っていることは企業側へ有利な評価を与えるとともに、面接でも自信を持って臨むことができます。情報収集、読解力、理解力、筆記力を高め、最終的には学生自らがひとつのテーマを選んで「私の考察」をまとめられることができる。										
授業の進め方										
主に新聞のコピーを資料とします。新聞にはニュースの情報発信のほか解説、コラムなども掲載されており、一つの出来事に対して幅広い知識が得られます。グループ討論や特別講師招へい、新聞社見学なども行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	総論 新聞の価値と役割	新聞には多くの情報が詰まっています。1面から最終面までにどのようなものが載っているかなど新聞の全体像を紹介しながら、トップ記事の意味やベタ記事、焦点、解説、コラム記事とは、などを説明します				この1週間の新聞の中から興味があったニュースを取り上げ、感想を書く。(4時間)				
2	新聞を読む必要性	ネット社会の中で、新聞は不要という若者が多くいます。しかし、ネット情報だけだと偏りがちで、幅広い知識は得られません。社会を知る意味では新聞を読み、「なぜ」「どうして」を考えることが必要です。				疑問の沸いたニュースを選び、疑問を持ちながらまとめてみる。(4時間)				
3	各論 硬派記事についての考察	政治、経済、国際外交などは硬派記事と呼ばれます。授業のころに起きている問題を取り上げ、硬派面を騒がしているニュースを検証します。				この日取り扱った記事の感想や意見を書く。(4時間)				
4	各論 軟派記事についての考察	社会の動きやスポーツ、暮らしなどを軟派記事と呼びます。社会ではいったい何が起きているのかを新聞をもとに検証します。				この日の話題に対して、どう思ったかをまとめる。(4時間)				
5	グループ討論	ひとつのテーマについての新聞記事を読み、そのあとのグループ討論でその話題について話し合ってみましょう。自分の気付かなかったことを知るはずです。				グループ討論を経験して、という内容でレポートを提出する。(4時間)				
6	グループ討論	5回目と違ったテーマで、同様に進めます。考えながらしっかり読むことは、書くことが上達に必ずつながります。				読んだ記事に対してどう感じたかをレポートに書き、提出する。(4時間)				
7	新聞社見学	地元紙で伝統のある信濃毎日新聞社(予定)を訪ね、編集局などを見学。政治(県政担当)、社会部記者などの話を聞き、新聞作りに携わる人たちの意識などを学びます。				見学の感想や意見を書く。(4時間)				
8	日本語の美しさ	最近は日本語が乱れている、と言われます。若者が普段使っている言葉が正反対の場合もあります。正しい日本語の意味を考えてみましょう。				テキストにある例と普段の自分の言葉が適切かどうか考える。(4時間)				
9	文章の書き方	新聞は中学生にも理解できるような平易な言葉で書いてあります。文章を書くときには難しい言葉はいりません。相手が読みやすいような文章を書くにはどうしたらいいかを学びます。				気に入ったコラムを探してみる。(4時間)				
10	特別講演	2012年、年間ただ一人に送られる「日本記者クラブ大賞」に輝いた毎日新聞・萩尾信也氏を招き、講演していただく。記者として頂点に立った取材力、執筆力に興味をわくはずです。				事前配布の萩尾氏の記事を読み、質問を考えておく。(4時間)				
11	社会現象の自由研究	過去1年間の政治、経済、国際、社会問題などの動きの中で、自身が最も注目すべき課題をひとつ決めて下さい。どうしてそれを選んだのかをグループ討論で意見発表しましょう。				自分の選んだテーマの記事を集める。(4時間)				
12	社会現象の自由研究	新聞に書いてあることを鵜呑みにするのではなく、疑問や幅広い考え方を持って問題点を探して下さい。いくつもの新聞や新聞コピーを読んでまとめる力をつけましょう。				800字にまとめられるように準備と整理をする。(4時間)				
13	社会現象の自由研究	自分のテーマについて、800字にまとめてみましょう。問題を深く掘り下げて書く習慣を身につけるだけでなく、しっかりとした言葉遣いも重要なポイントです。				自分の書いた文章を思い出し、再考してみる。(4時間)				
14	自由研究の成果と課題	受講生がまとめた内容についての考察をします。同じテーマで臨んだ人々たちによるグループ討論も行い、足りなかった点などさらにテーマを深めることに努めて下さい。				この科目に対する感想を書く。(4時間)				
15	まとめ	新聞の役割や機能と必要性をもう一度再確認します。ネット社会に慣れていても、「新聞を読む習慣」を持ち続けてほしいものです。				15回目のまとめのテキストを熟読する。(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
毎回、テキストを配布します。			受講態度：20% 定期試験：50% 課題：30% S:授業内容の理解度、考察力、文章の読解力、書力が秀でている。A:積極的に授業に臨み、課題に対しても自分の意見をしっかりと書ける。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に対しても自らの主張ができる。C:授業内容を60%ほど理解でき、与えられた課題にも誠実に取り組んでいる。							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
毎回、テキストを配布します。			毎回の授業で感じるものが必ずあるはずですが、受講票には名前だけでなく、感想や意見を書いて下さい。書き慣れることが頭の整理につながります。図書館などで普段から新聞に接するようにしましょう。							

科目名	食の社会学		学年学期	2年前期	単位数	2	ナバリング	UL23205	研究室	W-03
担当者	福島 智子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
身体的な経験は社会的に生みだされ、食べ物と食べる行動にも社会的な関係が深くかかっています。本講義では「食(食べ物や食べること)」についての意味や信念、社会構造について社会学の観点から考察します。扱うテーマは 1) 社会のマクドナルド化、2) 食と文化、3) フード・ポリティクス、4) 食と身体とします。										
学修到達目標										
本講義の目的は、人間が普段何気なく行っている「食べる」という行為を相対化し、「食」に関する様々な見方、考え方に慣れ、自分自身に対する理解を深めることです。										
授業の進め方										
講義形式とします。異なる4つのテーマについて、3~4回の講義を行います。テーマ毎に小レポートを課す予定です。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	社会のマクドナルド化	マクドナルド化とは何かについて概説します。				配布プリントの要点をまとめる(4時間)。				
2	社会のマクドナルド化	ファストフードとスローフードについて概説します。				配布資料を読み、下調べをする(4時間)。				
3	社会のマクドナルド化	事例研究としてドキュメンタリー映像を鑑賞します。				授業中に配布する課題プリントをする(4時間)。				
4	食と文化	フードとノン・フードについて学びます。				配布資料の読み、下調べをする(4時間)。				
5	食と文化	宗教的戒律とノン・フードについて学びます。				英文の配布資料を読み、下調べをする(4時間)。				
6	食と文化	事例研究として反捕鯨運動を取り上げます。				ドキュメンタリー映像についての意見をレポートにまとめる(4時間)。				
7	フード・ポリティクス	食品偽装の歴史について学びます。				配布プリントの要点をまとめる(4時間)。				
8	フード・ポリティクス	食品の安全性と国による規制について概説します。				配布資料を読み、下調べをする(4時間)。				
9	フード・ポリティクス	機能性食品の政治学について概説します。				配布資料を読み、下調べをする(4時間)。				
10	フード・ポリティクス	階級と食行動の関係について概説します。				配布プリントの要点をまとめる(4時間)。				
11	食と身体	「食べない」という選択として断食(不食)を取り上げます。				ドキュメンタリー映像についての意見をレポートとしてまとめる(4時間)。				
12	食と身体	「食べない」という選択として「摂食障害」を取り上げます。				配布資料を読み、下調べをする(4時間)。				
13	食と身体	「食べない」という選択と胃ろうの功罪について考えます。				授業中に配布する課題プリントをする(4時間)。				
14	食と身体	食と身体 ~ のまとめをします。				小テストに向けて、これまでの講義の内容をまとめる(4時間)。				
15	まとめ	講義全体のまとめ				総復習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
日本語で読めるまとまったテキストは存在しないため、数冊の日本語文献と英語文献を組み合わせ使用します。その都度コピーを配布します。				出席レポート:15% 定期試験:60% 小テスト:25% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考能力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
A Sociology of Food & Nutrition, J. Germov & L. Williams(ed.), Oxford University Press.				普段の学習や既知の概念を相対化することが求められます。講義内容は一般教養に等しいですから、他学部他学科からの履修も歓迎します。英文資料の読解もありますので、事前の学習時間を確保できることが前提となります。						

科目名	日本地理		学年学期	2年後期	単位数	2	ナパリング	UL23206	研究室	非常勤
担当者	川上 浄明		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	2017年度～					
授業概要										
<p>くらしにみられる諸相を通して地域とは何か、地域らしさの背景は何かにせまり、ミクロからマクロへ、また、グローバルから地域へと視点を移すことで日本地理を捉えていくことを目的とします。現代社会における身近なくらしの中で目にするものや、これまでまで当たり前前に接していた事柄や常識の中から、「なぜ」、「どうして」と問い直すことで、地域の特性を追求し、日本地理の新たな見方が獲得できるよう展開します。</p>										
学修到達目標										
地域を地理的視点を持って見るができる。地域を調べる方法を理解できる。										
授業の進め方										
講義中心の時間が多くなりますが、その中に作業学習やグループ討議などアクティブ・ラーニングの時間も取り入れます。フィールドワーク・地域調査も行う予定です。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	日本という地域の概要をつかもう	日本の位置・領域・標準時・地域区分を理解します。					テキストの作業内容を確認して、理解を深める。(4時間)			
2	世界と日本の地形を学ぼう	プレートテクトニクス説などによる世界と日本の地形の特徴を学びます。					テキストによって学習を深める(4時間)			
3	世界と日本の気候を学ぼう	ケッペンなどの気候区分とそれに基づき気候区分の特徴を学び、自然災害とその対策についても理解します。					自分の選んだ地域のハイサ グラフを作成する。(4時間)			
4	日本の人口の特徴とその変化を学ぼう	日本の人口の変化・構成・移動などを人口ピラミッドを作成するなどして理解します。					自分の出身地域の人口の特徴を調べ理解する。(4時間)			
5	日本の第1次産業の特徴を学ぼう	日本の農業などの特徴を外国と比較しながら学習し、各地域の特徴も理解します。					自分の出身地域の農業の特徴を調べ理解する。(4時間)			
6	日本の第2次・第3次産業の特徴を学ぼう	日本の第2次・第3次産業の特徴を世界とのかかわりの中で理解します。					自分の出身都道府県の第2次・第3次産業の特徴を調べ理解する。(4時間)			
7	地域を見る目を「プラタモリ」を視聴することによって養おう	「プラタモリ」を視聴して、地表面の現象から地域を理解する方法を学びます。					「プラタモリ」の視聴メモをまとめる。(4時間)			
8	地形図の読み方を学ぼう	2万5千分の一地形図「松本」「波田」およびテキストの作業を通じて、地形図読図の基本を学びます。					指示された地形図作業を行う。(4時間)			
9	大学周辺の地域の特徴を地形図と資料から学ぼう	地形図作業と資料から大学周辺の地域の特徴を学び、次の時間の巡検の課題を明らかにします。					巡検の視点を明らかにする。(4時間)			
10	大学周辺を巡検し、地域を見る目を養おう	地形図を持って大学周辺を巡検し、地域の実情を学びます。					巡検レポートを作成する。(4時間)			
11	大学周辺の地域的特色を巡検を経た視点で理解しよう	グループ討議によって、地域の特徴を理解します。					討議を経て、巡検レポートを完成させる。(4時間)			
12	地域調査のテーマを考えよう	地域調査の方法を学びます。それらをもとに地域調査のテーマを決定します。					地域調査の方法を考え、資料収集を開始する。(4時間)			
13	地域調査を開始しよう	地域調査の調査方法を決定し、調査を開始します。					冬休みも使って地域調査を実施する。(4時間)			
14	地域調査レポート完成させよう	地域調査レポートを完成させ提出します。					地域調査レポートをまとめる。(4時間)			
15	日本の地域的特色を考えよう	提出された地域調査レポートなどをもとに、日本の地域的特色を考えてみます。					日本の地域的特色をまとめる。(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
<p>「新編地理資料2018」内山美彦他編(東京法令出版(株)) ISBN:978-4-8090-7838-5(生協で購入してください。)</p> <p>「グラフィックワイド地理日本2018」東京法令出版教育事業推進部編(東京法令出版)(別途、指示します。)</p> <p>「今がわかる時代がわかる 日本地図 2018年版」(成美堂出版) ISBN:978-4415112725(生協で購入してください。)</p> <p>「2万5千分の1地形図「松本」・「波田」」(国土地理院)(生協で購入してください。)</p>					<p>受講態度:30% レポート:30% 定期試験:40%</p> <p>S:授業内容を高度に理解し積極的にグループ討議に参加した。非常に詳細な地域調査レポートを作成し、特に高い地理的思考力を身につけた。A:授業内容を理解しグループ討議に参加した。詳細な地域調査レポートを作成し、高い地理的思考力を身につけた。B:授業内容をおおよそ理解しグループ討議に参加した。地域調査レポートを作成し、地理的思考力をおおよそ身につけた。C:授業内容の60%程度理解し、地域調査レポートを作成した。</p>					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
<p>「東京学芸大学地理学会シリーズ 日本を学ぶ」(古今書院)</p> <p>「地理を学ぼう 地理エクスカーション」立正大学地理学教室編(朝倉書店)</p>					<p>中学高校生用の副教材や地形図をテキストとしますが、作業学習や資料を見るためのものです。授業中にその作業学習を行うことがあります。12色程度の色鉛筆を持参してください。</p>					

科目名	国際経済		学年学期	2年後期	単位数	2	ナバ`リング	UL23207	研究室	E-10
担当者	糸井 重夫		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	火曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	2017年度~					
授業概要										
今日の国際経済は様々な分野で相互依存関係が深化し、一国経済が他国に強い影響を与える経済に変質してきています。本授業では、経済のグローバル化の背景やその方向性について講義します。また、授業は「経済入門」を受講していることを前提としますが、必要に応じて「経済入門」の内容を復習しながら進めます。また、「出席レポート」の提出により様々なコンピテンスを育成するとともに、「論理的思考力」についても高めていきますので、新聞等で積極的に実社会を確認してください。										
学修到達目標										
授業内容の理解を通して実社会に興味を持ち、特に国家間の経済的な結びつきを理解することを通して、国際経済の構造を自分なりに理解する。特に、長野県は海外拠点を持つ企業が多く、外国為替市場の動向に企業収益が左右される企業が多いため、外国為替市場の動向と地域経済との関係が理解できるようになる。										
授業の進め方										
授業は講義形式で実施しますが、「出席レポート」等を通して受講者の理解を確認しながら授業を進めます。また、人数が少ない場合、双方向型のアクティブ・ラーニング授業を行い、その場で理解を確認しながら進めます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	国際経済と国際通貨制度	国際通貨制度について、19世紀に確立した金本位制度について説明します。また、貨幣の機能についても整理します。				ICT等を活用して金本位制について調べ、「出席レポート」に整理する。(4時間)				
2	戦後の国際通貨制度	戦後の「ブレトン・ウッズ体制(通称「IMF・GATT体制」)」について説明します。また、固定相場制と変動相場制についても説明します。				ICT等を活用して「ブレトン・ウッズ体制」などを調べ、整理する。(4時間)				
3	国際通貨制度の矛盾とニクソン・ショック	外国為替制度について説明します。また、今日の国際通貨制度の矛盾についても説明します。				ICT等を活用して「ニクソンショック」などを調べ、整理する。(4時間)				
4	金融経済の進展と要因	拡張的な財政金融政策の功罪について説明し、金融経済の進展が意味することを説明します。				ICT等を活用して「財政金融政策」の手法などを調べ、整理する。(4時間)				
5	プラザ合意と国際的政策協調体制の成立	グローバルな国際経済における「インバランス」の問題と、それに対する国際的な協調体制成立の背景等について説明します。				ICT等を活用して「プラザ合意」などを調べ、整理する。(4時間)				
6	アジア通貨危機	1990年代のアジア通貨危機の背景や、この危機に対する各国の対応、さらにはIMFの対応等について説明します。				ICT等を活用して「アジア通貨危機」などを調べ、整理する。(4時間)				
7	各国の財政金融政策と世界経済	今日の世界経済は、外国為替市場の変動を通して各国の経済に強い影響を与える経済に変質してきていますが、その影響について説明します。				ICT等を活用して「欧州信用不安」などを調べ、整理する。(4時間)				
8	後期金融経済と金融機関規制	今日、金融機関の破綻の影響を最小限に抑えるため、金融機関行動を国際的に規制するBIS規制が導入されていた。ここでは、この規制について説明します。				ICT等を活用して「BIS規制」などを調べ、整理する。(4時間)				
9	日本企業の海外進出	戦後の高度経済成長期以後の日本企業の海外進出について、外国為替市場の変動の側面を中心に説明します。				ICT等を活用して円高・円安の進行に伴う日本企業の行動変化について調べ、整理する。(4時間)				
10	企業活動のグローバル化と国際分業	今日の各国企業のグローバル化と、ビジネスモデルの変化について説明します。				ICT等を活用して、1990年以降の日本企業の行動変化について調べ、整理する。(4時間)				
11	企業活動のグローバル化と労働	企業活動のグローバル化に伴って労働力も国境を越えて移動しますが、その状況について説明します。				ICT等を活用してわが国の労働力受入等について調べ、整理する。(4時間)				
12	多文化共生社会と企業経営	外国人労働者の増加など、多様化する社会において求められる「ダイバシティ・マネジメント」について説明します。				ICT等を活用して「ダイバシティ・マネジメント」について調べ、整理する。(4時間)				
13	自由主義と保護主義	貿易自由化と保護貿易主義の歴史について説明し、今日の世界経済における貿易の方向性について説明します。				ICT等を活用して「貿易戦争」について調べ、整理する。(4時間)				
14	世界経済の拡大と日本経済	世界経済の動向が日本経済にどのような影響を与えるのかについて説明します。				ICT等を活用して世界経済について調べ、整理する。(4時間)				
15	全体のまとめ	14回の授業のまとめをします。また、まとめを通して、今後の国際経済の動向や課題についても説明します。				各自で国際経済の方向性について整理する。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
プリントや資料を配布します。				出席レポート:30% 課題:10% 小テスト:20% 定期試験:40% 評価の目安は、「S」:事前事後学修の成果を含めて授業内容を理解し、その内容を文章等を含めて他者に分かりやすく説明できる、「A」:事前事後学修の成果を含めて授業内容を理解し、その内容を文章等で明確に整理できる、「B」:事前事後学修の成果を含めて授業内容の要点を理解し、文章等で整理できる、「C」:授業内容を理解し、その内容を文章等で整理できる、です。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
国際経済、国際金融関係の図書を開講時に指示します。				本授業は、経済学関係の基礎科目を履修しているという前提で展開されます。授業中に経済学に関する復習等も行いますので、受講者は、経済学関係の基礎科目のノートを持って出席してください。						

科目名	死と死につつあることの社会学			学年学期	2年後期	単位数	2	ナパリング	UL23208	研究室	W-03
担当者	福島 智子			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日3限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
現在、いわゆる「先進国」では病院で死を迎える人びとが大半を占めています。18世紀末の臨床医学の誕生から、近代医学が人間のライフサイクルに関する機会を増加したといわれています(たとえば出産や死)。本講義では、近代医学が人間の死にいかに関わってきたのか、その歴史を概観し、その関わり方の変容および持続について解説します。											
学修到達目標											
現代社会における「死」の様々な側面を学び、自らの問題として捉えることを目標とします。											
授業の進め方											
講義形式で行います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	現代社会における死	現代社会における死の諸相を紹介します。					配布プリントの要点をまとめる(4時間)。				
2	近代医学の成立	近代医学の成立についての歴史を学びます。					配布プリントの要点をまとめる(4時間)。				
3	臨床医学と監視医学	臨床医学の誕生から監視医学の興隆までを概観します。					配布プリントの要点をまとめる(4時間)。				
4	医療政策	先進国における医療政策の変化について解説します。					配布資料を読み、下調べをする(4時間)。				
5	ホスピス緩和ケア	死にゆく人びとを支えるケアの誕生について学びます。					小テストを実施するのでこれまでの授業内容を復習する(4時間)。				
6	ホスピス運動	ホスピス運動とは何かを学びます。					小テストでできなかった問題の復習をする(4時間)。				
7	死ぬ権利を求める運動	死ぬ権利を求める運動とホスピス運動の共通点を考えます。					配布プリントの要点をまとめる(4時間)。				
8	自己決定権	医療における自己決定権について、死ぬ権利を含めて考えます。					配布プリントの要点をまとめる(4時間)。				
9	告知の現状	病名と予後に関する告知の各国の現状を紹介します。					授業中に配布する課題プリントをする(4時間)。				
10	医療制度(1)	医療制度の英米・伊・日本の比較をします。					授業中に配布する課題プリントをする(4時間)。				
11	医療制度(2)	英米・伊・日本の比較をします。					配布プリントの要点をまとめる(4時間)。				
12	ホスピス緩和ケアの実際	ホスピス緩和ケアの実際を質的調査の結果とともに紹介します。					授業中に配布する課題プリントをする(4時間)。				
13	ホスピス緩和ケアの実際	ホスピス緩和ケアの実際を質的調査の結果とともに紹介します。					授業中に配布する課題プリントをする(4時間)。				
14	現代社会における死と文化	文化と死の関係について考えます。					授業中に配布する課題プリントをする(4時間)。				
15	まとめ	講義全体のまとめ					総復習(4時間)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
1冊にまとまったテキストは存在しないため、いくつかの文献から論文を選んで提示します。						定期試験：60% 課題：40% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考能力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「先端医療の社会学」黒田浩一郎編(世界思想社) 「現代医療の社会学」黒田浩一郎編(世界思想社)						生あるものは必ず死を迎えます。あなたにとって大切な他者の死を看取することもあろう。現代社会における「死」について知り、真摯に向き合う姿勢をもって講義に臨んでください。					

科目名	近代日本の歴史			学年学期	3年前期	単位数	2	ナバリング	UL33209	研究室	非常勤
担当者	小松 芳郎			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
本講義では、地域にのこる身近な歴史に触れながら、それぞれの時代の日本の歴史を見ていきます。いつ、どこで、何が起きたかといった網羅的な日本史ではなく、日本の歴史事象をいくつか選び、当時の人物、記録、時代をとらえていきます。											
学修到達目標											
歴史をみる眼、歴史観を新たに構築できる。											
授業の進め方											
今も残る歴史資料などを紹介しながら、毎回10頁のレジメをもとに講義を進めます。講義は教室で行います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	歴史像と歴史理論	日本史の時代区分、歴史を学ぶにあたって(小さな歴史から大きな歴史へ)					シラバスを熟読したうえで講義にのぞむこと。(4時間)				
2	旧石器・原始時代	旧石器時代・縄文時代・弥生時代の日本					身近にある遺跡等を調べておくこと。(4時間)				
3	古墳時代	東日本最古の弘法山古墳の文化と日本					身近にある古墳を事前に調べておくこと。(4時間)				
4	中世の人びとの暮らし	「物くさ太郎」を読み解きながら、都の暮らしと地方の暮らしを考える					大学の近くにある「物くさ太郎」関連の史跡をみておくこと。(4時間)				
5	戦国時代	川中島の戦い、真田氏三代と小笠原氏三代					これまで学んだことのある左記テーマについて整理してくること。(4時間)				
6	江戸時代の暮らし(武家)	幕藩体制の時代を、信濃の諸藩から、武家の暮らしをみていく。藩主の変遷、動向をさぐる。					これまで学んだことのある左記テーマについて整理してくること。(4時間)				
7	江戸時代の暮らし(村びと)	江戸時代の村びとの暮らし、立ち上がる農民たち(加助騒動)					これまで学んだことのある左記テーマについて整理してくること。(4時間)				
8	幕末から明治へ	ペリー来航から維新期への激動、藩から県へ(「信濃の国」)					これまで学んだことのある左記テーマについて整理してくること。(4時間)				
9	地域の近代化	自由民権運動と秩父事件、普通選挙運動発祥の地松本					これまで学んだことのある左記テーマについて整理してくること。(4時間)				
10	明治・大正期の日本	人物をとおして、日清・日露戦争期の日本をみる。松本平から大逆事件を考える。					「大逆事件」について調べてくること。(4時間)				
11	養蚕・製糸業の発展	日本一の蚕糸王国長野県の製糸業と工女の生活					なぜ製糸業が長野県で栄えたのかを事前に調べてくること。(4時間)				
12	戦時下の日本	満洲事変から15年間の戦時下の日本を、さまざまな角度からみていく(歩兵第五十聯隊・満洲移民・工場と児童の疎開)					戦争の時代の話を書いてくること(4時間)				
13	変わる生活	高度経済成長期の前と後の変容を日記から読み解く					身近な生活の変化を整理しておくこと。(4時間)				
14	戦後72年の日本	昭和20年以降の日本の首相の動きから、戦後の日本をふりかえる					記憶に残る日本の首相を整理しておくこと。(4時間)				
15	歴史的文化財の保護	文化財の保護・保存、歴史文書の保存・利用、および講義全体のまとめ					地元にどのような文化財があるか、事前に調べて来ること。(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
担当者が作成したレジメを、講義ごとに出席者に配布します。					出席レポート:30% 定期試験:50% 講義後のコメント:20% S:出席レポートを全回提出し、講義後のコメントの密度が非常に高く、講義の内容のほぼすべてを修得している。A:出席レポートを全回提出し、講義後のコメント内容が充実しており、講義内容を深化させて修得している。B:出席した回すべての出席レポートを提出し、講義後のコメントが記入され、講義内容を理解し、自分なりの史観を表現できる。C:出席した回すべての出席レポートを提出し、講義後のコメントが記入され、講義内容をある程度理解している。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
なし					講義ごとに感想を受講票に記入して提出してください。質問があればあわせて記入してください。次回の講義で答えます。						

科目名	地域の歴史		学年学期	1年前期	単位数	2	ナパリング	UL13301	研究室	非常勤
担当者	小松 芳郎		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	2017年度～				
			健 ス							
授業概要										
政治・教育・文化・諸産業・交通運輸等々にわたる。長野県の歴史上の人物の生き様や業績をとおして、その生きた時代を、日本の歴史上に位置付けながら検証していきます。古代・中世・近世・近代・現代と、それぞれの時代の群像を取り上げます。その中で、地域の歴史の学び方を、歴史資料の所在・調査・研究などの面から、自分なりにどのように取り組んでいくのかを考えていきます。										
学修到達目標										
地域で、何をどのように学び、それを様々な教育等の場でいかに生かしていけたらよいのか、自分なりに課題をみつけ、具体的に調べ、伝えていくことができる。										
授業の進め方										
具体的にいくつかの資料を紹介しながら、レジュメをもとに講義をすすめます。講義は教室で行いません。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	県歌制定50年	長野県歌「信濃の国」を読み解き、その時代背景をみる。				何番まで歌えるか、歌詞の意味を考えておくこと。(4時間)				
2	旧石器・縄文の時代	野尻湖人、縄文時代の人びとなどをとおして、その時代の生活をみていく。				地元の遺跡や遺物を調べておくこと。(4時間)				
3	物くさ太郎	御伽草子「物くさ太郎」を読み解きながら、中世の人びとの暮らしを考える。				大学近くにある「物くさ太郎」の碑を事前に見ておくこと。(4時間)				
4	真田氏・小笠原氏3代	真田氏三代と小笠原氏三代をとおして、戦国時代をみる。				これまで学んだことのある左記テーマについて整理しておくこと。(4時間)				
5	江戸時代の領主たち	松本の領主をもとに、代表的な人物をもとに、その時代背景をみる。				これまで学んだことのある左記テーマについて整理しておくこと。(4時間)				
6	江戸時代の村びとたち	百姓一揆の多田加助、堰を開発した百瀬三七を調べる。				加助騒動の身近な史跡を調べておくこと。(4時間)				
7	明治の群像	佐久間象山、赤松小三郎、松尾多勢子、近藤茂左衛門らをとおして、幕末維新期の日本をみる。				これらの人物について調べておくこと。(4時間)				
8	自由民権運動と秩父事件	松本の自由民権運動、佐久での秩父事件を主導した人物をとおしてその全体像にせまる。				これまで学んだことのある左記テーマについて整理しておくこと。(4時間)				
9	普選の父、中村太八郎	日本の普通選挙運動発祥の地は松本。中村太八郎・木下尚江らの活動をさぐる。				普通選挙運動について調べておくこと。(4時間)				
10	製糸王国長野県	製糸王今井五介をとおして、養蚕製糸業の発展をみる。私鉄の敷設、木曾川の電力開発についても考える。				養蚕・製糸業について調べておくこと。(4時間)				
11	松本からみた「大逆事件」	事件の発端は松本平から。幸徳秋水らと信州の関わりをみながら「大逆事件」と日本を考える。				これまで学んだことのある左記テーマについて整理しておくこと。(4時間)				
12	大正期の教育	川井清一郎訓導が関わった学校での事件から信州教育を考え、鳩山春子と沢柳政太郎をとおして日本の教育をみる。				「信州教育」とは何かを考えておくこと。(4時間)				
13	戦争の時代(1)	福島安正と河原操子をとおして、日清・日露戦争をみる。				ふたりの人物について調べておくこと。(4時間)				
14	戦争の時代(2)	川島芳子と川島浪速などをおいながら、「満洲事変」からの「15年戦争を」みていく。				川島芳子について調べておくこと。(4時間)				
15	戦後の日本	戦後73年間の日本の首相と米国の大統領をとおして、日本の政治史をみる。				記憶にのこる日本の首相を整理しておくこと。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
講義ごとに担当者が作成したレジュメを、出席者に配布します。				出席レポート:30% 定期試験:50% 講義後のコメント:20% S:出席レポートを全回提出し、講義後のコメントの密度が非常に高く、講義の内容のほぼすべてを修得している。A:出席レポートを全回提出し、講義後のコメント内容が充実しており、講義内容を深化させて修得している。B:出席した回すべての出席レポートを提出し、講義後のコメントが記入され、講義内容を理解し、自分なりの史観を表現できる。C:出席した回すべての出席レポートを提出し、講義後のコメントが記入され、講義内容をある程度理解している。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
なし				講義ごとに感想や質問を受講票に記入して提出してください。質問については、次の講義で答えます。						

科目名	地域と文学		学年学期	1年後期	単位数	2	ナパリング	UL13302	研究室	A-07
担当者	國府田 祐子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日4限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	~2016年度 文学					
		健 ス								
授業概要										
信州にゆかりのある文学者や研究者を取り上げ、出身地や略歴、代表作等を紹介し、地域の昔話も含みます。担当者が代表作の紹介を行い、描写の読み取り方や味わい方を学びます。分担した箇所について調べ学習を行いながら、自分の読みを確立するための力を身につけていきます。その後学生自身が自分の興味・関心に沿って他の作品を調査し、各自が調べた結果を最後に発表します。発表された内容について全体で検討し討議し、共有します。										
学修到達目標										
1 信州の主たる代表作を知り、その実際を広く理解する。 2 文学作品に対する知見を深め、文学に関する考察力や研究力を身につける。 3 作品に対する自分の考察を持ち、わかりやすく発表、論述することができる。										
授業の進め方										
講義、発表、演習です。教員が文学作品の読み方講義をします。その後作品を自分の力で読み進めプリントを作成し発表します。最後に各自が自分の興味・関心に応じて調べ学習をし発表します。週末にアトキヤパスに出かける予定です。(日程は初回に提示)										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス 文学の読み方	文学作品の読み方について基本的な観点を講義します。発表分担を決めます。				シラバスから全体を概括する。読み方の基本の視点をまとめ、担当箇所を調査する。(4時間)				
2	信州の作家(1)	島崎藤村『夜明け前』を読み作品の背景を学びます。各自が読んだ内容を発表し合います。互いに読み合うことによって深め、各自が考察を持ちます。				授業内容を考察しまとめる。分担箇所について発表準備をする。(4時間)				
3	信州の作家(2)	『夜明け前』を読み進め読み深めます。各自が読んだ内容を発表し合い、互いの読みを交流し、各自が考察を持ちます。				授業内容を考察しまとめる。分担箇所について発表準備をする。(4時間)				
4	信州の作家(3)	島崎藤村『夜明け前』を読み、作品の背景や読み進め方を学びます。互いの意見交流をします。				授業内容を考察しまとめる。分担箇所について発表準備をする。(4時間)				
5	信州の作家(4)	『千曲川のスケッチ』を読み進め、互いの読みを共有し、自分の読みの確立を目指します。各自で考察を持ちます。				授業内容を考察しまとめる。分担箇所について発表準備をする。(4時間)				
6	信州の作家(5)	『千曲川のスケッチ』を読み進め、互いの読みを共有し、自分の読みの確立を目指します。各自で考察を持ちます。				授業内容を考察しまとめる。分担箇所について発表準備をする。(4時間)				
7	信州の作家(6)	『千曲川のスケッチ』を読み進め、互いの読みを共有し、自分の読みの確立を目指します。各自で考察を持ちます。				授業内容を考察しまとめる。分担箇所について発表準備をする。(4時間)				
8	信州の詩歌(1)	島崎藤村の詩から複数取り上げ、読み味わい方や解釈の仕方を学びます。				授業内容をまとめる。分担箇所について発表準備をする。『夜明け前』を読破し提出する。(4時間)				
9	信州の詩歌(2)	『若菜集』等から複数の作品を取り上げ、読み味わい方や解釈の仕方の筋道を学びます。				『藤村詩抄』を読破しレポートを書く。発表準備をする。(4時間)				
10	信州の研究者・歌人(1)	窪田空穂の業績を知り、いくつかの作品を取り上げ読み味わいます。(アトキヤパスを予定。詳細は別途)				授業内容を考察しまとめる。アトキヤパスの準備とまとめを行う。(4時間)				
11	信州の研究者・歌人(2)	窪田空穂の業績を知り、いくつかの作品を取り上げ読み味わいます。(アトキヤパスを予定。詳細は別途)				授業内容を考察しまとめる。アトキヤパスをまとめ、レポートを書く。(4時間)				
12	信州の童話・昔話	信州を代表する昔話に触れ、これまで学んだ読み方を生かして解釈し、考察を持ちます。				各自が発表資料を作成し、発表の準備をする。(4時間)				
13	信州の作品(1)	各自が自分の興味・関心に応じて調べ、調べた内容や作品解釈、作品研究を発表します。				各自が発表資料を作成し、発表の準備をする。(4時間)				
14	信州の作品(2)	各自が自分の興味・関心に応じて調べ、調べた内容や作品解釈、作品研究を発表します。				各自が発表資料を作成し、発表の準備をする。(4時間)				
15	信州の作品(3) 総括	各自が自分の興味・関心に応じて調べ、調べた内容や作品解釈、作品研究を発表します。				15回を総括する。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「夜明け前 第1部(上)」島崎藤村著(角川ソフィア文庫) ISBN:9784101055084(生協で購入してください。) 「千曲川のスケッチ」島崎藤村著(岩波文庫 緑23-6) ISBN:4003102363(生協で購入してください。) 「藤村詩抄」島崎藤村著(岩波文庫) ISBN:4003102312(生協で購入してください。) 「天造しいさんとガン」椋鳩十著(偕成社文庫) ISBN:978-4-03650620-0(生協で購入してください。)				受講態度:20% 課題:60% レポート:20% S:基本的な概念や理論を正確に説明でき適切に表現し、高い意欲を示している A:基本的な概念や理論をほぼ正確に説明でき適切に表現している。B:基本的な概念や理論を一部説明できるものがあり表現している。課題を全て行っている。C:基本的な概念や理論を説明できるものがあり表現している。課題を全て行っている。受講態度には毎回出すシートの出来映え、発表等を含む。欠席4回で単位を認定しません。欠席・遅刻2回で1回の欠席とし、30分以上の遅刻・早退は欠席1とみなします。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「島崎藤村 吉田精一著作集6」吉田精一著(桜楓社) 「新しい国語表記ハンドブック 第7版」三省堂編修所編(三省堂) 「漢字筆順ハンドブック 第3版」江森賢治著(三省堂)				その他参考書は講義で適宜紹介します。座席指定です。レポートや課題は手書きによる提出が主です。用具等は第1回授業で指示します。アトキヤパスが企画できた際は必ず出席してください。						

科目名	地域の伝統行事		学年学期	2年前期	単位数	2	ナパ'リング	UL23303	研究室	非常勤
担当者	小松 芳郎		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	2017年度～				
			健 ス							
授業概要										
日頃から体験している年中行事から始まり、各地に伝わる伝統行事について学びます。長野県内の代表的な行事を、それぞれの地域ごとに扱い、地域に残る歴史と民俗事象を掘り下げていきます。さらに、身の回りの暮らしの中での伝統行事を、今日までの変容を追いながら、どのように調べて記録としてのこしていくのか、それを後世にどのように伝えていったらよいのかを、具体的な事例を挙げながら探り考えていきます。										
学修到達目標										
地域で、何をどのように学び、それを様々な教育等の場でいかに生かしていったらよいのか、自分なりに課題をみつけ、具体的に調べ、伝えていくことができるようになる。										
授業の進め方										
いくつかの資料を紹介しながら、レジメをもとに講義をすすめます。講義は教室で行ないます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	変わる生活	昭和30年代からの高度経済成長期を境にして変わる生活のなかでの年中行事を、日記をもとにみます。				三世代の話聞いて、暮らしの変容の一部を調べておくこと。(4時間)				
2	年中行事(1)	信州の春のさまざまな年中行事をみます。				自分の住む地域の左記テーマについて調べておくこと。(4時間)				
3	年中行事(2)	信州の夏のいろいろな年中行事・祭りをみます。				自分の住む地域の左記テーマについて調べておくこと。(4時間)				
4	年中行事(3)	信州の秋の各地の年中行事・祭りをみます。				自分の住む地域の左記テーマについて調べておくこと。(4時間)				
5	年中行事(4)	信州の冬のいくつかの年中行事をみます。				自分の住む地域の左記テーマについて調べておくこと。(4時間)				
6	人の一生(1)	誕生から成人までの儀礼などをみていきます。				誕生から今日までの自分の儀礼を調べておくこと。(4時間)				
7	人の一生(2)	成人からの人の一生をみます。				親の世代などの儀礼の例を聞いておくこと。(4時間)				
8	人の一生(3)	一生を終える儀式とその変容を、時代とともにみていきます。				葬儀の変容について調べておくこと。(4時間)				
9	善光寺	善光寺仏の流転、善光寺信仰、御開帳などを調べます。				左記のテーマについて調べておくこと。(4時間)				
10	御柱	信州各地の御柱のようす、歴史などを調べます。				自分の住む地域の左記テーマについて調べておくこと。(4時間)				
11	石仏を調べる	石仏、道祖神などを調べます。				自分の住む地域の左記テーマについて調べておくこと。(4時間)				
12	地域の文化財(1)	北信の文化財には、どのようなものがあるか調べます。				左記のテーマについて調べておくこと。(4時間)				
13	地域の文化財(2)	東信の文化財には、どのようなものがあるか調べます。				左記のテーマについて調べておくこと。(4時間)				
14	地域の文化財(3)	中信の文化財には、どのようなものがあるか調べます。				左記のテーマについて調べておくこと。(4時間)				
15	地域の文化財(4)	南信の文化財には、どのようなものがあるか調べます。				左記のテーマについて調べておくこと。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
担当者が作成したレジメを、講義ごとに出席者に配布します。				出席レポート:30% 定期試験:50% 講義後のコメント:20% S:出席レポートを全回提出し、講義後のコメントの密度が非常に高く、講義の内容のほぼすべてを修得している。A:出席レポートを全回提出し、講義後のコメント内容が充実しており、講義内容を深化させて修得している。B:出席した回すべての出席レポートを提出し、講義後のコメントが記入され、講義内容を理解し、自分なりの史観を表現できる。C:出席した回すべての出席レポートを提出し、講義後のコメントが記入され、講義内容をある程度理解している。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
なし				講義ごとに感想や質問を受講票に記入して提出してください。質問については、次回の講義で答えます。						

科目名	地域社会と学校教育		学年学期	3年前期	単位数	2	ナパ [®] リング	UL33304	研究室	A-01
担当者	征矢野 達彦		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日4限、金曜日4限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
			健 ス							
授業概要										
学校教育では、新学習指導要領で「生きる力」を育成するという基本理念が継承され、「確かな学力」や「豊かな人間性」などを育むことが求められています。知識・技能を実生活で活用する力や、異なる文化や背景を持つ人々との関係を構築する力が、今後必要とされています。それらの力を育成するには、外部の力を有効に活用していく必要があります。地域社会における学校の意味を問い直し、「信州型コミュニティスクール」の取り組みを研究すると共に、地域社会に根ざした学校づくりを追究していきます。										
学修到達目標										
地域社会における教育計画の理念や背景を学び、地域社会に支えられた学校や教師のあり方の理解を深め、豊かな人間観、教育観、教師観を形成する。地域社会と学校との関わり方について学び、教員としての資質を身につける。										
授業の進め方										
学校と地域との関わりについての歴史や変容、展望を講義で学び、小・中学校の実際の教育現場でのアウトキャンパスを通して、地域と共にある学校づくりを学びます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンス	学校と地域社会との関わりについての学び方を理解します。					地域社会の概念の理解をする(4時間)			
2	近代学校の成立	学校の成立と学校統合、通学区の再編について学びます。					本時の学習内容の整理をする(4時間)			
3	開かれた学校	地域社会に「開かれた学校」の動向と展望について理解します。					本時の学習内容の整理をする(4時間)			
4	学校と家庭	少子化社会における家庭の教育機能の変容について理解します。					本時の学習内容の整理をする(4時間)			
5	国・県の教育計画	国及び県の教育計画、長野県の求める教師像について理解します。					本時の学習内容の整理をする(4時間)			
6	信州型コミュニティスクールの取り組み	信州型コミュニティスクールの理念と取り組みについて学びます。					本時の学習内容の整理をする(4時間)			
7	松本市の教育行政	松本市の教育行政と学校の教育計画について学びます。					本時の学習内容の整理をする(4時間)			
8	アウトキャンパス	信州型コミュニティスクールの取り組みを小学校で参観します。					参観観点別評価表に記入する(4時間)			
9	アウトキャンパス	信州型コミュニティスクールの取り組みを中学校で参観します。					参観観点別評価表(4時間)			
10	参観報告会	小・中学校の地域と共にある学校づくりの成果と課題を話し合い、共有します。					本時の学習内容の整理をする(4時間)			
11	アウトキャンパス	地域社会の特性を生かした特別支援学校の取り組みの様子を参観します。					参観観点別評価表に記入する(4時間)			
12	参観報告会	地域社会と特別支援学校との関わり方の成果と課題を話し合い、共有します。					本時の学習内容の整理をする(4時間)			
13	教師像	保護者や地域社会が求める学校と教師像を学びます。					本時の学習内容の整理をする(4時間)			
14	まとめ	地域社会と学校との関わり方をみんなでシェアします。					本時の学習内容の整理をする(4時間)			
15	まとめ	これまでの総括として、地域社会と学校教育の将来像を明らかにします。					総合レポートをまとめる(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
使用しません。					受講態度：30% レポート：70% S:到達目標達成のために探求姿勢をもって課題に意欲的に取り組み、授業内容をすべて理解して、正しく文章で表現することができる。A:到達目標達成のために探求姿勢をもって課題に取り組み、授業で学んだことを理解し、正しく文章で表現することができる。B:到達目標達成のために探求姿勢をもって課題に取り組み、授業で学んだことについて概ね理解し、文章で表現することができる。C:到達目標達成を理解して、課題に取り組み、授業で学んだことを表現できる。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
必要に応じて提示します。					外部での授業があるので、学校現場に入るときに諸注意を遵守してください。					

科目名	地域経済史		学年学期	3年前期	単位数	2	ナバリノ	UL33305	研究室	W-22
担当者	木村 晴壽		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-	月曜日4限、金曜日2限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
わが国が工業化される過程で発展あるいは衰退した地域(地場)産業の全体像を踏まえた上で、地域経済の形成に大きな影響を与えた地域産業を取り上げ、それらの歴史的展開について講義します。特に、本学が立地する信州の地域産業については、工場形態での発展によりわが国最大の外貨獲得産業となった器械製糸業、および、一時期は地域経済に大きな比重を占めながらも戦後の経済発展のなかで産業としての影響力を失い、伝統工芸としての業態で存続した他の絹関係品生産を対比しながら、地域産業の動きを理解します。										
学修到達目標										
明治以降の日本がたどった歴史を、地域産業を通じて理解し、最終的には地域産業の持つ強さ・弱さ、そしてその将来像を把握している。地域に展開した産業(特に長野県では製糸業)がどのような発展の仕方をしてきたか、そしてそれがいま地域で展開する産業とどのような関係にあるかを理解する。										
授業の進め方										
基本的には教員からの説明を主体とした講義形式で進めます。アウトキャンパス等は計画していません。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	ガイダンスと講義に向けての基礎知識について説明します。				テキスト1~5頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べること(2時間)。				
2	繊維産業と日本経済	繊維産業、特に製糸業が日本経済にどのように位置づけられるかを詳述します。				テキスト6~13頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べること(2時間)。				
3	地主制と製糸業	器械製糸の中心地は長野県であることを踏まえ、地主制との関連を詳述します。				テキスト13~18頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べること(2時間)。				
4	器械製糸業	長野県が器械製糸の中心になった背景と要因について詳述します。				テキスト20~23頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べること(2時間)。				
5	田中組の金融活動	長野県にも大きな政商が(小野組と田中組)関わっていたことを詳述します。				テキスト23~26頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べること(2時間)。				
6	洋銀取引との関係	「金の国」日本(小判とドル銀貨)と銀貨の関係について述べます。				テキスト26~29頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べること(2時間)。				
7	外国為替相場の出現	日本初の相場師が長野県出身の商人である事実と長野県の機械製糸業との関係を詳述します。				テキスト29~32頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べること(2時間)。				
8	片倉製糸	日本最大の生糸メーカー、片倉製糸の成長過程について詳述します。				テキスト34~35頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べること(2時間)。				
9	蚕網の生産	重要な養蚕具として江戸期から信州で使われていた蚕網が全国に普及してゆく過程を詳述します。				テキスト35~39頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べること(2時間)。				
10	戦時下の製糸業	戦時下で切り捨てられる製糸業の姿を詳述します。				テキスト40~42頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べること(2時間)。				
11	戦時下の地域経済	戦争直後の混乱のなか日本経済がどう変わったかを基礎に、地域産業の変貌について詳述します。				テキスト48~53頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べること(2時間)。				
12	戦後の農地改革	戦争直後の混乱を経て日本の農業はどう変わったかを詳述します。				テキスト55~58頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べること(2時間)。				
13	戦後の軽工業と重工業	戦後、地域産業として何が製糸業に取って替わったかについて詳述します。				テキスト58~60頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べること(2時間)。				
14	地域経済の転換	戦前と比較して大変貌を遂げた信州の経済構造について詳述します。				テキスト60~61頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べること(2時間)。				
15	総括	信州の地域産業が軽工業から精密工業へと転換するまでの流れを詳述します。				テキスト全体を通読のこと(3時間)。事後、授業での総括を復習すること(3時間)。				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「地域経済史」木村晴壽著松本大学総合経営学部編(松本大学)(生協で購入してください。)				レポート:30% 定期試験:70% S:授業内容を十分に理解し、地域産業について解説ができる。A:授業内容を理解している。B:授業内容をおおよそ理解している。C:授業内容を6割程度理解している。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「長野県史(各巻)」長野県編(長野県)				期末の試験は、難易度がかなり高く設定されているので、普通の講義で集中して理解しようとする姿勢が必要です。						

科目名	地域課題研究Aクラス		学年学期	1年通年	単位数	2	ナパリング	UL13306	研究室	W-34
担当者	白戸 洋		必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー	前期：火曜日3限 後期：火曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
		健 ス								
授業概要										
学生が地域の直面する課題について、その現状を学ぶとともに、実践活動を通じて具体的に課題解決を図ることを目的とします。										
学修到達目標										
地域課題について理解をするとともに、実践活動の成果を分析・評価し、その成果を踏まえて具体的な解決にむけたアクションを自ら計画し実施する技術及び能力を身に付ける 活動を通じコミュニケーション能力や課題解決能力、社会的課題に対する関心、地域に向き合う意識などを身に付ける										
授業の進め方										
子育ての問題や買い物弱者問題、地域の居場所づくり、子どもの育ち、まちづくりなど地域が直面する課題についての講義、課題の実態を把握するための調査、その解決を図るための実践活動によって構成されます。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	オリエンテーション	講義の内容及び進め方を説明し履修者シートの作成を行う（学修達成目標等）					小レポートを含む事後学習を1時間を行う			
2	地域課題に関する講義	高齢者の抱える問題（買い物弱者問題など）について講義する					小レポートを含む事後学習を1時間を行う			
3	地域課題に関する講義	まちづくりをめぐる地域課題について講義する					小レポートを含む事後学習を1時間を行う			
4	地域課題に関する講義	子育てをめぐる問題について講義する					小レポートを含む事後学習を1時間を行う			
5	地域課題に関する講義	子どもをめぐる問題について講義する					小レポートを含む事後学習を1時間を行う			
6	地域課題に関する講義	その他の地域課題について講義する					小レポートを含む事後学習を1時間を行う			
7	地域課題解決事業の実施準備	対象地区等での実態の把握（現地踏査）を行う					小レポートを含む事後学習を1時間を行う			
8	地域課題解決事業の実施	対象地区において地域課題の解決を図る事業を実施する					小レポートを含む事後学習を時間を行う			
9	地域課題解決事業の実施	対象地区において事業を実施する					小レポートを含む事後学習を1時間を行う			
10	地域課題解決事業の実施	対象地区において事業を実施する					小レポートを含む事後学習を1時間を行う			
11	地域課題解決事業の実施	対象地区において事業を実施する					小レポートを含む事後学習を1時間を行う			
12	地域課題解決事業の実施	対象地区において事業を実施する					小レポートを含む事後学習を1時間を行う			
13	地域づくりに関する講義	まちづくりについて講義する					小レポートを含む事後学習を1時間を行う			
14	地域づくりに関する講義	居場所づくりについて講義する					小レポートを含む事後学習を1時間を行う			
15	地域づくりに関する講義	人づくりについて講義する					小レポートを含む事後学習を1時間を行う			
16	地域づくりに関する講義	子ども・子育てについて講義する					小レポートを含む事後学習を1時間を行う			
17	地域づくりに関する講義	高齢者について講義する					小レポートを含む事後学習を1時間を行う			
18	地域づくりに関する講義	対象地区における課題を考える					小レポートを含む事後学習を1時間を行う			

授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。			
回	テーマ	内容	事前事後学修
19	地域課題解決事業の実施	対象地区において事業を実施する	小レポートを含む事後学習を1時間を行う
20	地域課題解決事業の実施	対象地区において事業を実施する	小レポートを含む事後学習を1時間を行う
21	地域課題解決事業の実施	対象地区において事業を実施する	小レポートを含む事後学習を1時間を行う
22	地域課題解決事業の実施	対象地区において事業を実施する	小レポートを含む事後学習を1時間を行う
23	調査手法	社会調査について講義する	小レポートを含む事後学習を1時間を行う
24	調査手法	分析・評価手法について講義する	小レポートを含む事後学習を1時間を行う
25	調査手法	アンケート等調査に必要な資料の作成を行う	小レポートを含む事後学習を1時間を行う
26	事業の成果分析	対象地区等での成果と課題の把握（アンケート調査）を行う	小レポートを含む事後学習を1時間を行う
27	事業の成果分析	対象地区等での成果と課題の把握（ヒアリング調査）を行う	小レポートを含む事後学習を1時間を行う
28	事業の成果分析	対象地域における事業の効果の検証を行う	小レポートを含む事後学習を1時間を行う
29	今後の事業計画の策定	次年度以降の事業の計画策定を行う	小レポートを含む事後学習を1時間を行う
30	まとめ	個人別学修達成目標の評価を行う	小レポートを含む事後学習を1時間を行う
テキスト		成績評価の方法・基準	
「買い物難民を救え!移動スーパーとくし丸の挑戦」村上 稔著（緑風出版） ISBN:978-4-8461-1411-4（生協で購入してください。）		レポート：60% S:講義の成果を活かして持続的に課題解決のために具体的な活動を行うことができる。A:実践活動を通じて地域課題を把握し有効な解決策を提言し解決を試みた。B:実践活動を通じて地域課題を把握し有効な解決策を提言。C:実践活動を通じて地域課題を把握し概ね具体的な解決策を提言	
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）	
「買い物難民 もうひとつの高齢者問題」杉田 聡著（大月書店）		PBL（問題解決）型の授業として、みなさんの身近な社会問題に対して実践的にアプローチし、解決方法を学びます。積極的に参加してください。	

科目名	地域課題研究Bクラス			学年学期	1年通年	単位数	2	ナパリング	UL13306	研究室	S-02
担当者	廣田 直子			必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスア-	前期：水曜日3限 後期：水曜日3限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
		健 ス									
授業概要											
この授業では地域全体を学びの場とし、フィールド活動により地域課題を見出し、その解決に向けて皆でディスカッションし、提案という形にまとめます。Bクラスでは人の一生を「健康」の視点で概観し、まずは、乳幼児期、学童・青年期、壮年期、高齢期といったライフステージごとの特徴をとらえます。その上で、地域活動に参画して生活者である地域の人々が直面する健康課題を発見し、グループ討議を経て解決に向けて考え合い、提案をまとめます。											
学修到達目標											
能力：フィールド活動での観察力を修得する。課題について積極的にディスカッションできる。 具体的到達目標：健康を栄養と運動、社会生活の視点からとらえ、近隣社会の現状を踏まえて地域が抱える健康問題・課題への認識を深め、自分たちの提案をまとめる。											
授業の進め方											
前半はオムニバス形式で、講義を中心に進めます。後半は、周辺地域で行なわれている「健康」への取り組みを、実習体験を通じて学び、グループで地域課題に向けた解決法を探り、提案をまとめます。(履修者数を制限することがあります。)											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	授業の進め方と、後半に行う実習参加について実習先や実習内容の説明をします。決定している範囲で参加実習の情報を提示します。					各自で、予定されている実習に参加するための日程を調整し、参加意欲を高める。(1時間)				
2	社会生活と健康	4~5人のグループをつくります。自己紹介に加え、自身の健康観について自由に語ることで互いの考えを知り、その後「社会生活と健康」を考える次回以降の講義の意味について学びます。					健康観について、自身の健康に対する受け止め方や考え方をまとめて記述する。(1時間)				
3	ライフステージと健康 乳幼児期	乳幼児期の発育発達の大枠を捉え、生涯にわたり健康な生活を送るための基盤となる育ちの環境について、栄養・運動の両面から学びます。					身近に暮らす乳幼児に関心を寄せ、乳幼児期に重要な育ちの環境についてまとめる。(2時間)				
4	ライフステージと健康 学童・青年期	長野県内の児童の生活習慣の実態について学びます。生活習慣が子どもの発育発達に及ぼす影響について県内の実態からとらえ、改善に向けた栄養と運動両面からの支援の可能性を探ります。					学童期の生活時間、生活習慣の実態を知り、問題の所在について考えレポートを作成する。(2時間)				
5	ライフステージと健康 壮年期	体力をはじめ諸機能の衰えを感じ始めるのが壮年期です。健康上の様々な問題を感じるようになるこの年代は、健康への関心が高まる時期でもあります。栄養・運動の両面から指導や支援の表情を学びます。					身近な大人との会話から、働き盛り世代の健康への意識・関心を取り取ってまとめる。(2時間)				
6	ライフステージと健康 高齢期	元気な高齢者、支援が必要な高齢者など、「高齢期」とひとくくりにしてもその幅は広く、人生における喜・哀のイベントが健康に影響を及ぼす年代でもあります。様々な観点から健康維持について学びます。					高齢期に生じる体の生理的衰えを知り、健康であることの価値について考え、まとめる。(2時間)				
7	地域課題 (健康と栄養)	これまでの学習で得た知識を基に、地域に目を向けます。実際に行われている栄養指導の場面やその内容、また対象に関する地域の実情を知り、アウトキャンパスでの学習目標に向けて考えます。					これまでの学習内容を振り返り、生活実態に合った「食」のあり方を考え、まとめる。(2時間)				
8	地域課題 (健康と運動)	これまでの学習で得た知識を基に、地域に目を向けます。実際に行われている運動指導の場面やその内容、また対象に関する地域の実情を知り、アウトキャンパスでの学習目標に向けて考えます。					これまでの学習内容を振り返り、生活実態に合った「運動」の必要性を考え、まとめる。(2時間)				
9	松本市の健康づくりの取り組み	健康寿命延伸都市松本の制度や健康づくりに関する様々な取り組みについて知り、若者(学生)の視点からの行政への要望・提案についてディスカッションし、その中から自分たちで対応可能な課題を発見します。					市の活動内容をまとめ、行政が取り組みにくい課題に関するレポート執筆の準備をする。(3時間)				
10	市民運動としての健康づくりの取り組み	NPOや地域の自主運営による健康の取り組みについての実態を学びます。熟年体育大学(JTRC)の取り組みや、本学地域健康支援ステーションの事業例を参考に、健康に関する地域課題について考えます。					前回に続き、地域の健康課題を、実際の事例から捉えてレポートを完成させる。(3時間)				
11	情報収集の方法	これまでに学習した健康に関する様々な情報を、さらに幅広く収集するための方法とその活用方法について学びます。その際、今後の活動で必要とされるルール、マナーについても学修します。					以後の報告や発表資料に役立てるための健康情報、地域情報などの情報を収集する。(3時間)				
12	プレゼンテーションの方法	本講義後半では、グループで「地域における健康課題(仮)」を発表するので、収集した資料や実習での体験をまとめる際に必要となるプレゼンテーションの方法として、パワーポイントの作成技法を学びます。					パソコンの操作に慣れ、パワーポイントを活用し、プレゼンファイル作成の練習をする。(3時間)				
13	地域課題を探る	3~4人のグループになり、健康観について話し合いを持ちます。初回講義でそれぞれが感じていた健康観を振り返り、あらためて地域の健康課題について考え、メンバーと共有します。					グループで共有した問題について地方紙などから情報を収集し、次回講義時に持ち寄ります。(2時間)				
14	地域課題を提起1	前回授業に続き、KJ法やブレインストーミングなどで情報を出しあい、グループの関心事をまとめて発表します。グループで収集した地域課題について問題の所在を探ります。					グループで決めたテーマを咀嚼し、実習の際のモチベーションの向上を図る。(1時間)				
15	地域課題を提起2	グループで決めた地域課題(テーマ)を再確認します。何が問題で、どうしていくことが求められるか、自分たちにはできることは何かなど具体化させ、グループの意思決定を図ります。					後期に行う実習を意味あるものにするため、積極的に必要な準備を整える。(3時間)				
16	オリエンテーション(後期)	グループで進めます。前半の学習やグループの課題・目標を再確認します。今後実施する実習参加について説明を受けます。実習記録ノートを配布します。					実習記録ノートを確認し、実習参加の準備と心構えを確固としたものにする。(1時間)				
17	実習事前指導	実習の事前指導を受けます。実習に臨む姿勢、記録の取り方、事後報告について理解するとともに、実習先や対象者によって参加時の配慮や参加姿勢が異なることを理解します。					実習先について事前に情報収集し(1時間)、実習ごとの目標を定めて臨みます。(1時間)				
18	実習(栄養指導場面1)	アウトキャンパスでの見学体験や、地域健康支援ステーションの活動に参加します。対象者について理解し、事業目的と評価について学んで、グループでの討議やまとめに生かします。					実習記録ノートをまとめる。(3時間)				

授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。			
回	テーマ	内容	事前事後学修
19	実習（栄養指導場面1-2）	アウトキャンパスでの見学体験や、地域健康支援ステーションの活動に参加します。対象者について理解し、事業目的と評価について学んで、グループでの討議やまとめに生かします。	実習記録ノートをまとめる。（3時間）
20	実習（栄養指導場面1-3）	アウトキャンパスでの見学体験や、地域健康支援ステーションの活動に参加します。対象者について理解し、事業目的と評価について学んで、グループでの討議やまとめに生かします。	実習記録ノートをまとめる。（3時間）
21	実習を振り返る（栄養）	グループ毎、体験から得た学びを共有します。互いの実習記録を振り返り、それぞれの場面での気付きを話題提供し、地域社会に求められている健康づくりの課題を探ります。	実習での振り返りや気づきを次回実習に生かすために、自身の課題目標を明確にする。（1時間）
22	実習（運動指導場面1）	アウトキャンパスでの見学体験や、地域健康支援ステーションの活動に参加します。対象者について理解し、事業目的と評価について学んで、グループでの討議やまとめに生かします。	実習記録ノートをまとめる。（3時間）
23	実習（運動指導場面1-2）	アウトキャンパスでの見学体験や、地域健康支援ステーションの活動に参加します。対象者について理解し、事業目的と評価について学んで、グループでの討議やまとめに生かします。	実習記録ノートをまとめる。（3時間）
24	実習（運動指導場面1-3）	アウトキャンパスでの見学体験や、地域健康支援ステーションの活動に参加します。対象者について理解し、事業目的と評価について学んで、グループでの討議やまとめに生かします。	実習での振り返りや気づきを報告会に生かすため、自分の考えや意見をまとめる。（2時間）
25	実習を振り返る	前期講義で得た学びや地域活動での実習体験をふまえ、グループで話し合い、報告会での発表を前提にした討議をします。地域社会に求められている健康づくりの課題と解決方法を探ります。	自分の考えや意見を、体験と理論の両面から語れるように準備を進める。（2時間）
26	報告会の準備	グループで互いの実習記録を振り返り、それぞれの場面での気付きについて話題提供し、地域社会に求められる健康づくりの課題とその解決方法に向けた提案をまとめ、報告会での発表資料を作成します。	発表の準備・練習（2時間）、自分の考えや意見を体験と理論の両面から語れるようにする。
27	実習報告会1	互いの報告・発表を聞き、自分の実習体験と重ね、他のグループの発表に対して質問や感想を述べるなど、関心を持って聞き、互いに学び合います。	「健康問題」を、個人の問題としてではなく、地域が抱える課題として再考する。（2時間）
28	実習報告会2	互いの報告・発表を聞き、自分の実習体験と重ね、他のグループの発表に対して質問や感想を述べるなど、関心を持って聞き、互いに学び合います。	「健康問題」を、個人の問題としてではなく、地域が抱える課題として再考する。（2時間）
29	実習報告会のまとめ	報告会での発表を受けて、地域課題解決に向けた方途についてグループディスカッションをします。	ディスカッションを踏まえて地域課題解決のための方途についてまとめる。（3時間）
30	地域課題 まとめ	一人ひとりが本講義の学びをまとめ、それをお互いに聴取し合い多様な考えがあることを知ります。それを通して個々の学生が大学生活及び将来の健康課題について、地域という視点で考え続ける姿勢を培います。	記録ノートや発表から、地域社会における健康課題解決の方途に関するレポートを作成する。（3時間）
テキスト		成績評価の方法・基準	
(別途、指示します。) 配布資料(プリント)で進めます。		出席レポート：50% 課題：50% S:積極的な地域活動参加を通し、多角的な観察による気づきや提案を的確に文章表現できる。集団討議ではリーダーシップを発揮できる。A:積極的な地域活動での観察から、気づきや提案を文章表現できる。集団討議での確かな意見を述べるができる。B: 地域活動での観察による気づきを文章表現できる。集団討議で自分の意見を述べるができる。C: 地域活動に参加して学修した内容を文章表現できる。グループワークで自分の意見を述べるができる。	
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）	
配布資料で進めます。		学生だから体験できる地域社会との交流を通じ、誰もが大切にしたい「健康」への認識を深め、自身の健康についても考えください。また、学修を通して社会の健康課題と向き合い、その解決方法を考え地域に目を向けましょう。	

科目名	地域課題研究Cクラス		学年学期	1年通年	単位数	2	ナパリング	UL13306	研究室	W-19
担当者	矢崎 久		必修選択	選択	科目種別	演習	オイスカー	前期：火曜日2限、火曜日3限、木曜日2限、木曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
		健 ス								
授業概要										
買い物難民、老老介護、孤独死など高齢化社会に共通した課題に加えて、豪雨や地震など近時増加する自然災害への対処など地域が抱える課題は少なくありません。これら諸課題から今年度は「防災」に焦点をあてて、地域における防災の現状と課題について学ぶとともに、具体的な活動を通じた課題解決能力の獲得を図ります。										
学修到達目標										
地域における「防災」をテーマに、課題の発見、解決目標の設定、目標達成にむけた実践計画の立案と実行、評価までを自らが主体となり、かつ創造的におこなえる。										
授業の進め方										
火災、地震、豪雨などの災害や防災初動組織と地域連携のありかたについての座学、グループワーク、減災や防災と社会資源の活用、災害支援ボランティア体験、さらに自治防災組織に関わることで「防災士」としての実践力を涵養します。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	地域課題とはなにか	地域社会における課題の存在を知る				事前：プリント予習（0.5時間） 事後：講義計画理解（0.5時間）				
2	地域と防災	地域防災の現状と課題を知る				事前：プリント予習（0.5時間） 事後：課題作成（0.5時間）				
3	地域と防災	地域防災についての課題を抽出する				事前：課題作成（0.5時間） 事後：ワーク準備（0.5時間）				
4	地域課題としての防災	課題の発見と解決目標の検討				事前：解決目標の絞り込み（0.5時間） 事後：解決にむけた計画検討（0.5時間）				
5	地域課題としての防災	課題の決定と解決にむけた実践計画作成				事前：課題シート作成（0.5時間） 事後：実践計画案作成（0.5時間）				
6	防災と社会資源	防災に活かせる社会資源を知る				事前：社会資源マップ準備（0.5時間） 事後：マップ作成（0.5時間）				
7	防災と社会資源	災害想定と社会資源活用の実践				事前：社会資源確認（0.5時間） 事後：実践振り返り（0.5時間）				
8	災害と危機管理	危機管理とはなにか。管理すべきポイントを知る				事前：危機管理について調べる（0.5時間） 事後：管理ポイントの整理（0.5時間）				
9	災害と危機管理	災害予防、状況把握、対策検討、実施計画策定、実施、評価の実際（図上訓練の準備）				事前：訓練手順を調べる（0.5時間） 事後：手順修正・整（0.5時間）				
10	災害と危機管理	災害の想定と図上訓練の実施				事前：訓練手順確認（0.5時間） 事後：訓練実施後の課題まとめ（0.5時間）				
11	地域住民の防災意識	地域住民の防災意識を知る（調査準備）				事前：防災意識調査表案作成（0.5時間） 事後：ワーク準備（0.5時間）				
12	地域住民の防災意識	地域住民の防災意識を知る（調査実施）				事前：調査表作成（0.5時間） 事後：結果集計（0.5時間）				
13	地域住民の防災意識	地域住民の防災意識調査の結果集計と発表資料作成				事前：発表準備（0.5時間） 事後：発表資料作成（0.5時間）				
14	地域防災組織との交流	地域防災組織（消防団等）の役割、体制、訓練について学ぶ				事前：消防団について（調査）（0.5時間） 事後：報告書作成（0.5時間）				
15	地域防災組織との交流	訓練の実際を知る（見学）				事前：作成準備（0.5時間） 事後：報告書作成（0.5時間）				
16	地域防災組織との交流	地域防災組織から学ぶ自治防災				事前：報告書作成（0.5時間） 事後：報告書修正（0.5時間）				
17	防災訓練	地域防災組織の指導による防災訓練の企画				事前：計画案作成（0.5時間） 事後：計画作成（グループワーク）（0.5時間）				
18	防災訓練	防災訓練計画立案と関係部門間調整				事前：計画書作成（0.5時間） 事後：調整実施（0.5時間）				

授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。			
回	テーマ	内容	事前事後学修
19	防災訓練	地域防災組織と所属機関協働による防災訓練を実施する	事前：事前調整（0.5時間） 事後：報告書作成（0.5時間）
20	災害とボランティア	災害支援ボランティア活動の実際（東日本大震災ボランティア活動）	事前：プリント予習（0.5時間） 事後：報告書作成（0.5時間）
21	災害支援とボランティア	被災地のニーズを知り災害支援ボランティアとして行動する	事前：ニーズ調査（0.5時間） 事後：支援準備（0.5時間）
22	災害支援とボランティア	被災地支援をおこなう	事前：ニーズ絞込み（0.5時間） 事後：実施評価（0.5時間）
23	災害支援とボランティア	支援体験を発表する	事前：支援・行動・評価表作成（0.5時間） 事後：報告書作成（0.5時間）
24	災害と自治防災組織	地域防災における防災士の役割、地域防災組織との協働による自治防災をありがたさを調べる	事前：自治防災組織調査（0.5時間） 事後：報告書作成（0.5時間）
25	災害と自治防災組織	組織の設立を準備する	事前：組織案作成（0.5時間） 事後：設立企画書案作成（0.5時間）
26	自治防災組織の設立	設立企画書の作成と開始準備	事前：設立企画案作成（0.5時間） 事後：準備計画作成（0.5時間）
27	自治防災組織の設立	地域防災組織と連携した自治防災組織をつくる	事前：役割の確認（0.5時間） 事後：報告書作成準備（0.5時間）
28	自治防災組織の設立	地域防災組織との協働訓練と情報共有	事前：役割の確認（0.5時間） 事後：報告書作成（0.5時間）
29	実践の検証	地域課題の解決にむけた実践を検証する	事前：実践報告書作成（0.5時間） 事後：発表資料作成（0.5時間）
30	実践の検証	地域課題研究における成果をまとめる	事前：報告書作成準備（0.5時間） 事後：報告書作成（0.5時間）
テキスト		成績評価の方法・基準	
適宜配布します。		出席レポート：30% 実技：30% 定期試験：40% 「防災士」資格の理念である自助・共助・協働の姿勢があるか、演習および訓練に求められる知識と技能を發揮しているかを総合的に判定します。 成績評価基準「S」レポート、演習と実技、定期試験のすべてが95%以上 「A」 " 80%以上 「B」 " 70%以上 「C」 " 60%以上	
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）	
適宜プリントを配布します。		履修は「防災士養成講座」を受講し認証試験に合格している者、あるいは地域防災に関心があり「防災士」の取得を目指している者に限定します。	

科目名	日本文化		学年学期	1年前期	単位数	2	ナパリング	UL13401	研究室	W-26	
担当者	山根 宏文		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	水曜日1限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C	2017年度～					
授業概要											
本授業では、日本で培われてきた芸能・文化芸術・自然観・食生活・住生活・建築・武道・宗教・習俗等々の文化を全般にわたって学び、日本文化の基礎知識を総合的に養います。ジャポニズムからディスカバージャパン、クール・ジャパンなど日本文化ブームになっています。一過性の日本文化ではなく、総合的に日本文化の豊かさ、真の魅力の理解を深めていきます。											
学修到達目標											
日本の文化、美意識を学び、暮らしの中に息づいている多くの文化に気付き、それを享受でき、説明することができる。さらに、日本人としての誇りを感じ、外国人にも伝えることができる。											
授業の進め方											
市販のテキストは用いず、独自のプリント教材を中心に講義を進めます。必要に応じて、スライド、ビデオなどの視聴覚教材を利用します。教室での講義になります。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価について案内します。					日本文化で魅力を感じるものとその要因について考える。(4時間)				
2	日本の美	後世に残したい日本の美について扱います。(自然・建築・伝統文化・工芸など)					後世に残したい日本の美について考える。(4時間)				
3	日本の美	後世に残したい日本の美について扱います。(自然・建築・伝統文化・工芸など)					後世に残したい日本の美について考える。(4時間)				
4	日本の伝統文化 華道	いけばなと日本人の自然観について述べます。					日本の伝統芸能についてどのようなものがあるか考える。(4時間)				
5	日本の伝統文化 茶道	「茶の文化 利休の心・42の教え」とホスピタリティについて述べます。					茶道から学ぶおもてなしの心について考える。(4時間)				
6	日本の伝統工芸と民藝	日本の工芸品と柳宗悦によって提唱された民藝運動について述べます。					身の周りにおける生活雑器を探し、魅力を考える。(4時間)				
7	和食「和食の魅力とは」	古代から現在までの食文化と食生活を解説します。					食生活についての課題について考える。(4時間)				
8	日本の宗教 仏教と神道	仏教と神道についての考え方や日々の暮らしにある宗教行事について解説します。					各家庭の宗教と教えについて考える。(4時間)				
9	江戸文化と武士道	武士道と城下町・国宝の城について講義します。武士道では、今も息づいている日本人の精神性についてあるいは、ビジネスに活かせる宮本武蔵の思考を説明します。					武士道と言われ思いつくものを考える。(4時間)				
10	浮世絵とジャポニズム	なぜ、西洋画家が浮世絵を愛したのか 日本の美と文化について、モネやゴッホやエミール・ガレの作品をみながら解説します。					モネ・ゴッホについて調べる。(4時間)				
11	現代の日本文化 大衆文化	大衆文化として漫画文化について歴史から読み解きます。					漫画の魅力を考える。(4時間)				
12	現代の日本文化 農村文化	現代日本の生活文化 農村文化の魅力 について理解を深めます。					日々の生活文化について考える。農村文化の魅力について考える。(4時間)				
13	現代の日本文化 芸術振興	文化の活かし方、楽しみ方について解説をし、暮らしの中で文化芸術が活きる為の施策について解説します。					自分自身の暮らしの中に活きている文化芸術についてあるものを考える。(4時間)				
14	現代の日本文化 芸術振興	文化の活かし方、楽しみ方について解説をし、暮らしの中で文化芸術が活きる為の施策について解説します。					自分自身の暮らしの中に活きている文化芸術についてあるものを考える。(4時間)				
15	まとめ	日本文化の魅力についてのまとめをします。					全講義の復習をする。(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準								
特になし。			定期試験：70% 課題：30% S：授業内容を高度に理解し、提案力が特に優れている。 A：授業内容を高度に理解し、探究心・提案力が優れている。 B：授業内容をおおよそ理解し、探究心・提案力がある。 C：授業内容をおおよそ理解し、探究心・提案力が60%程度である								
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)								
特になし。			あたりまえのような暮らしの中に、日本人の美意識が宿っています。この講義でそれらの多くからいくつかを選択して日本人としての美しい心と伝統芸能、伝統工芸について講義します。皆さんも日本の魅力を探してください。								

科目名	異文化理解		学年学期	1年前期	単位数	2	ナバリング	UL13402	研究室	A-08
担当者	和田 順一		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日2限、水曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	2017年度～				
授業概要										
<p>本授業では、自分自身の文化と他者の文化を比べ、それらを意識することによって、どのように文化間において差が見られるか、英文等を通して理解していきます。その際に、それらの異文化間での違いについての事象を分類化して理解したり、その事象を具体化して自分自身のケースと比較したりすることで理解していきます。これらにより、自身の文化をさらに意識していくと共に、他の文化に対し自文化の観点からのみ理解していくことを避けていく考え方を身につけます。授業は全て英語で行われます。</p>										
学修到達目標										
異なる文化においてお互いを理解しあうために、英語で様々なことが理解できる。また文化を理解するために、自分自身の文化を考えながら、それとは異なる文化を知り、その価値観等を理解できる。										
授業の進め方										
学習内容に応じ、グループワークや講義形式、英語による発表など様々な形態で行います。また授業は英語で行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス・文化とは	授業の進め方、異文化理解の考え方について。				授業中にわからない英語に関して調べ、理解を深める。テーマについて理解を深める。(4時間)				
2	文化とは 1	英文を読み、文化におけるMaterial CultureとNon-Material Cultureを理解します。				授業中にわからない英語に関して調べ、理解を深める。テーマについて理解を深める。(4時間)				
3	文化とは 2	英文を読み、文化におけるMaterial CultureとNon-Material Cultureを理解し、まとめます。				授業中にわからない英語に関して調べ、理解を深める。テーマについて理解を深める。(4時間)				
4	文化のルールと許容される行動 1	文化におけるnormsの考え方とその変化について例を取り上げ理解します。				授業中にわからない英語に関して調べ、理解を深める。テーマについて理解を深める。(4時間)				
5	文化のルールと許容される行動 2	文化におけるnormsの考え方とその変化について例を取り上げ理解し、まとめます。また調べたものについて発表します。				授業中にわからない英語に関して調べ、理解を深める。テーマについて理解を深める。(4時間)				
6	ステレオタイプ 1	ステレオタイプとはどのようなものであるかを例等から理解します。				授業中にわからない英語に関して調べ、理解を深める。テーマについて理解を深める。(4時間)				
7	ステレオタイプ 2	ステレオタイプとはどのようなものであるかを例等から理解し、まとめます。				授業中にわからない英語に関して調べ、理解を深める。テーマについて理解を深める。(4時間)				
8	メディアと文化 1	メディアによる考え方への影響について理解します。				授業中にわからない英語に関して調べ、理解を深める。テーマについて理解を深める。(4時間)				
9	メディアと文化 2	メディアによる考え方への影響について理解し、まとめます。				授業中にわからない英語に関して調べ、理解を深める。テーマについて理解を深める。(4時間)				
10	非言語コミュニケーション 1	非言語によるコミュニケーションの例を取り上げ、その影響等について理解をします。				授業中にわからない英語に関して調べ、理解を深める。テーマについて理解を深める。(4時間)				
11	非言語コミュニケーション 2	非言語によるコミュニケーションの例を取り上げ、その影響等について理解をし、内容をまとめます。				授業中にわからない英語に関して調べ、理解を深める。テーマについて理解を深める。(4時間)				
12	時間の考え方 1	文化において時間に対する考え方が違うということについて例を取り上げ理解します。				授業中にわからない英語に関して調べ、理解を深める。テーマについて理解を深める。(4時間)				
13	時間の考え方 2	文化において時間に対する考え方が違うということについて例を取り上げ理解し、内容をまとめます。				授業中にわからない英語に関して調べ、理解を深める。テーマについて理解を深める。(4時間)				
14	接触と空間 1	文化における空間と取り方や身体的接触について例を考え理解します。				授業中にわからない英語に関して調べ、理解を深める。テーマについて理解を深める。(4時間)				
15	接触と空間 2	文化における空間と取り方や身体的接触について例を考え理解し、まとめます。				授業中にわからない英語に関して調べ、理解を深める。テーマについて理解を深める。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「This Is Culture」梶浦麻子・Gregory Goodmacher著TA/YK編(南雲堂) ISBN:978-4-5231-7489-9(生協で購入してください。)				<p>受講態度:10% 課題:20% 小テスト:20% 定期試験:50%</p> <p>S:授業を高度に理解し、テーマに関し探究し課題に取り組み、教科書より難しい英語とテーマが理解できる。A:授業をよく理解し、テーマに関し探求し課題に取り組み、教科書よりやや難しい英語とテーマが理解できる。B:授業を概ね理解し、課題を誠実にやり、教科書レベルの英語やテーマが理解できる。C:授業が理解でき、課題を誠実にやり、教科書の英語とテーマが理解できる。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
特になし。				授業は全て英語で行われます。しっかりと復習とまとめ課題をして下さい。また異文化の例等に対し偏見を持たないようにして下さい。原則、欠席は2回までです。授業では自分の意見を英語で言うなど積極的に取り組んでください。						

科目名	比較文化		学年学期	1年後期	単位数	2	ナパリング	UL13403	研究室	E-18
担当者	松原 健二		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	火曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	2017年度～				
授業概要										
アメリカ文化を代表とする欧米文化と日本文化を比較することによって、欧米的な考え方や欧米文化への理解を深めると共に、我々が親しんでいる日本文化を客観的に見直していくことをめざします。題材として、贈答・挨拶・食事・住居・買物など、日常生活上の身近なものを取り上げて進めて行きます。										
学修到達目標										
自分たちが慣れ親しんでいる日本文化が、唯一絶対のものではないことを理解できる。また、言葉と文化の密接なつながりや、言葉の探求によって人々の生活様式や文化を類推できる。										
授業の進め方										
まず、「日米異文化間適応訓練」のクイズに取り組みます。その後、プリント教材を用いて講義を進めて行きます。学習内容の理解を助けるために、スライドやビデオなどの視聴覚教材も利用します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	文化とは/贈答習慣	人々の暮らしの中で、贈答というものが人間関係の潤滑油として機能している実態を学びます。そして日本人に多く見られる旅行土産について、その歴史的な成立過程を踏まえて考えます。				Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)				
2	おごりと食事習慣	「おごる」行為の背後にある人間関係について考えます。また日常生活の中で非常にありふれた食事習慣の中に、異文化が潜んでいる事実を検証します。食器とプライバシーについても、考察します。				Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)				
3	挨拶	挨拶というものが、文化により、性別により、また時代により違いが認められるものであることを学びます。日本語と英語の挨拶言葉の違いから、その背後にある、社会における人間関係の違いを考えます。				Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)				
4	客/人格構造の比較	社会における人間関係や、家族間の人間関係を、「人間関係のベクトル」の観点から考えます。そして三重の同心円のモデルを使って、日本人とアメリカ人の人格構造の違いを比較します。				Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)				
5	家と住まいの文化論	アメリカ開拓史についてその概要を学び、17世紀初頭に開拓者たちがどのようにして住宅建築をしたのかを学びます。そして、伝統的な日本の住宅とどのような違いがあるのかを、検証して行きます。				Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)				
6	家と住まいの文化論	建築工法や建築材料によって、窓の造形に違いが生まれることを学びます。石造りの建築においてアーチ様式が生まれた理由や、ドームへの発展、気候風土と建築様式の関連性についても考えます。				Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)				
7	エチケット/羞恥心	羞恥心の感じ方は、文化の影響を受けていることを学びます。そしてその違いがエチケットという社会規範に影響していることを検証して行きます。中国に生まれた纏足という珍しい文化についても考えます。				Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)				
8	事故と謝罪(1)	謝罪言葉と責任の所在という問題について、日米を比較しながら考えます。題材として「えひめ丸事故」を取り上げ、米側からの謝罪がなぜ長い期間行われなかったのかという問題を、文化的視点から考えます。				えひめ丸事故について調べる/授業プリントの復習(4時間)				
9	事故と謝罪(2)	謝罪行動の日米での違いを、「ファイアストンタイヤ破裂事故」を題材にして考えます。フォード社とプリヂストン社の対応の違いは、深い文化的な問題に根ざすものであることを学びます。				「ファイアストンタイヤ破裂事故」について調べる/授業プリントの復習(4時間)				
10	結婚と離婚の国際比較	初婚年齢や婚姻率の国際比較から、結婚というものを取り巻く諸文化を学びます。また日本における結婚は伝統的に「家と家」の結びつきである歴史が長かった実態も検証します。また離婚についても考えます。				Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)				
11	おつりの比較文化論	日本では、おつりは引き算で渡されますが、欧米では足し算で渡されていることを学びます。そしてこの社会習慣の違いの背景には、売り手と買い手の間の信用関係が深く関係していることを検証して行きます。				Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)				
12	決済方法の比較文化論	決済方法の選択にも、売り手と買い手の間の信用関係が深く関係していることを学びます。そして、この問題が小切手や口座振替の普及率と密接に関連していることを検証して行きます。				Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)				
13	広告の比較文化論	同じメーカーの洗顔クリームを題材にして、日米の広告を比較します。広告の仕方やキャッチフレーズの違いの背景には、売り手側の会社と買い手側の消費者との人間関係の捉え方の違いがあることを学びます。				Culture Assimilatorの予習/同一商品の広告を、日米で比較する。(4時間)				
14	仕事と職場の文化論	会社と従業員の関係が、日米の経営スタイルにも影響していることを学びます。題材として、日本の自動車メーカーが米国に進出した際の事例を取り上げ、個人と会社の関係、仕事と職場の文化について考えます。				Culture Assimilatorの予習/映画『Gung Ho』について調べる。(4時間)				
15	個人と集団の関係	童話「アリとキリギリス」を題材に、日本では従来、異文化的改変が施された翻訳が広く読まれていた実態を検証します。そして、社会における個人と集団の関係が、日本と欧米では大きく異なることを学びます。				家にあるイソップ童話を調べる/意図的な改変が施された翻訳事例を調べる。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
独自のプリント教材を作成し、毎回の授業で配布します。				受講態度：30% 定期試験：70% S：探求心を持って授業に参加し、各回の講義で学んだことを正しく理解し、課題に対して自分なりの解決方法を見つけ出すことができる。A：探求心を持って授業に参加し、各回の講義で学んだことを正しく理解し、課題に対して解決方法を見つけ出すことができる。B：授業に参加し、各回の講義で学んだことを理解し、課題に対して解決方法を考えることができる。C：授業に参加し、講義で学んだことを理解し、課題に対して解決方法を探ることができる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
なし				この講義では、異文化衝突の場面において、どのような問題があり、いかなる解決方法があるかを考えてもらいます。「課題解決能力」						

科目名	文化人類学	学年学期	3年前期	単位数	2	ナパリング	UL33404	研究室	W-03
担当者	福島 智子	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日3限		
関連資格				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)						
	A	B	C						
授業概要									
異文化を知ることで自らを確認し、その上で両者を相対化しうる感受性を多少でも身につけること。これが本講義のめざすところです。あたりまえの世界を疑い、文化とは何かを考えます。文化人類学は難しい学問ではありません。抽象度の高い理論についても触れますが、基本的には身近にある(「理由はわからないけど、そうなっている」)事例を捉えなおして試みるのが重要です。内容については講義計画を参考にしてください。									
学修到達目標									
自身が属する集団(地域社会、日本)の文化を理解し、異文化を学ぶことで自文化を相対化できる。									
授業の進め方									
講義形式で行います。講義で学んだ視点から各自の生活を振り返ってもらうため、講義後に小レポートを課す場合があります。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	文化人類学とは	文化人類学とは何か概説します。				配布プリントの要点をまとめる。(4時間)			
2	文化相対主義と自文化中心主義	文化の捉え方である文化相対主義と自文化中心主義について概説します。				事例研究として各自リサーチする。(4時間)			
3	文化相対主義とFGM	事例研究としてFGM(Female Genital Mutilation)を取り上げます。				ドキュメンタリー映像に対する意見をまとめる。(4時間)			
4	神話(1)	神がこの世を作る話である神話(物語)の構造について学びます。				具体的な神話を取り上げ、調べる。(4時間)			
5	神話(2)	神話の具体的な事例を紹介します。				配布プリントの要点をまとめる。(4時間)			
6	信仰と世界観(1)	世界宗教と民族宗教、一神教と多神教など、宗教の分類について学びます。				配布資料を読み、下調べをする。(4時間)			
7	信仰と世界観(2)	呪術とは何か、その定義、分類、目的を学びます。				配布資料を読み、下調べをする。(4時間)			
8	信仰と世界観(3)	妖術とは何か、その定義、分類、目的を学びます。				配布プリントの要点をまとめる(4時間)			
9	信仰と世界観(4)	日本人の宗教観の特徴について概説します。				配布資料の要点をまとめる。(4時間)			
10	通過儀礼	人が一生のうちに経験する通過儀礼とは何かを学びます。				授業中に配布する課題プリントをする。(4時間)			
11	文化と身体(1)	葬送儀礼について学びます。				配布プリントの要点をまとめる。(4時間)			
12	文化と身体(2)	事例研究として特定の地域の葬送儀礼を取り上げます。				配布プリントの要点をまとめる。(4時間)			
13	病気と治療の文化人類学：総論	病気と治療をテーマとした文化人類学について概説します。				授業中に配布する課題プリントをする。(4時間)			
14	病気と治療の文化人類学：各論	特定の地域の治療実践を、文化人類学の観点から紹介します。				授業中に配布する課題プリントをする。(4時間)			
15	まとめ	講義全体のまとめ				総復習(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
さまざまな具体的事例を通して考えるという科目の特性からテキストは指定せず、プリントと資料を配布します。		定期試験：60% 課題：40% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考能力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「文化人類学」波平恵美子編(医学書院)		同一テーマで講義が続いている場合は欠席しないように心がけてください。毎回の講義終了前に、次回講義の概要について説明します。予習の指示がある場合は、必ず予習をしてから講義に臨んでください。							

科目名	音楽の歴史と鑑賞			学年学期	3年前期	単位数	2	ナパリング	UL33405	研究室	A-19
担当者	安藤 江里			必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ	火曜日4限、木曜日2限、金曜日4限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A B C									
授業概要											
西洋音楽史や日本の伝統音楽の歴史をたどりながら、西洋から影響を受けた日本の音楽の現状についても触れ、邦楽と洋楽の音律の違いや楽器の違いなどを通じて、様々な文化を理解し音楽の多様性を感じ取り、学んでいく授業です。											
学修到達目標											
それぞれの時代や地域を代表する楽曲をCDまたはDVDで鑑賞しながら、時代の流れと共に音楽がどのように発展してきたのか、また人間の生活との関わりについて捉え、レポートすることができること。											
授業の進め方											
西洋音楽史と日本の伝統文化を中心に、それぞれの時代を代表する楽曲をCDまたはDVDで鑑賞します。毎回テーマに沿って聴く観点を説明し特徴を捉えやすくし、ワークにまとめたり実際歌ったり楽器に触れたりもし能動的な活動を取り入れます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス 音楽の始まり	授業の進め方についての説明とアンケート、音楽の始まりとして古代ギリシャから中世、ルネッサンスの音楽を紹介します。グレゴリア聖歌を歌います。					自分の生活における音楽の意味について考えてくる。(4時間)				
2	バロックの音楽	楽器の発達や作曲技法について学び、ピバルディ、バッハ、ヘンデルの楽曲を鑑賞します。					課題ワークを完成させ、感想をまとめる。(4時間)				
3	古典派の音楽(1)	ハイドン、モーツァルトの器楽曲からソナタ形式について学びます。またオペラにも触れます。					課題ワークを完成させ、感想をまとめる。(4時間)				
4	古典派の音楽(2)	ベートーベンの交響曲を鑑賞し、第九を歌います。					課題ワークを完成させ、感想をまとめる。(4時間)				
5	ロマン派の音楽(1)	シューベルト、シューマン等の歌曲を中心に鑑賞します。					課題ワークを完成させ、感想をまとめる。(4時間)				
6	ロマン派の音楽(2)	ブラームス、ショパン等の器楽曲を中心に鑑賞します。					課題ワークを完成させ、感想をまとめる。(4時間)				
7	オペラ	イタリアオペラからワーグナーの楽劇までを概観します。					課題ワークを完成させ、感想をまとめる。(4時間)				
8	バレエ音楽	チャイコフスキーの3大バレエ曲を中心に鑑賞します。					課題ワークを完成させ、感想をまとめる。(4時間)				
9	国民楽派その他	様々な国を代表する作曲家と代表作を紹介します。標題音楽にも触れます。					課題ワークを完成させ、感想をまとめる。(4時間)				
10	印象派 フランス音楽	ドビュッシーを中心に、フォーレ、ラベルの楽曲を絵画や文学と関連させて鑑賞します。					課題ワークを完成させ、感想をまとめる。(4時間)				
11	20世紀の音楽 無調音楽	新ウィーン学派やストラヴィンスキーなどから調性の崩壊と12音技法の音楽を紹介します。					課題ワークを完成させ、感想をまとめる。(4時間)				
12	アメリカ音楽	ジャズ、ポップ、ロック、ラテン音楽を鑑賞し体験します。					課題ワークを完成させ、感想をまとめる。(4時間)				
13	日本の伝統文化について(1)	雅楽、宗教や政治との関わり、能等について概観します。様々な楽器も体験します。					課題ワークを完成させ、感想をまとめる。(4時間)				
14	日本の伝統文化について(2)	琴、尺八などの楽器、歌舞伎について鑑賞します。					課題ワークを完成させ、感想をまとめる。(4時間)				
15	現代の音楽	明治以降の西洋音楽の影響を受けた日本の現代曲を鑑賞し、総括します。					課題ワークを完成させ、感想をまとめる。(4時間)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
適宜プリントを配布します。						受講態度：50% レポート：50% S:意欲的に課題に取り組み、学習内容をすべて理解し文章表現できる。A:意欲的に課題に取り組み、学習内容を概ね理解し文章表現できる。B:意欲的に課題に取り組み、学習内容をまとめることができる。C:課題に取り組み学習内容をまとめることができる。					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「はじめての音楽史 増補改訂版」久保田慶一 他著(音楽之友社) 「もう一度学みたいクラシック」西村理 監修著(西東社)						CDやDVDを鑑賞しながら、実際歌ったり演奏もします。私語を慎み、意欲的に望んでください。毎回プリントを配布しますので自己管理してください。					

科目名	海外研修	学年学期	1・2・3・4年通年	単位数	2	ナバリング	UL13406	研究室	E-10
担当者	糸井 重夫	必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー	前期：火曜日3限 後期：火曜日3限		
関連資格				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C					
授業概要									
本授業は、事前学修、現地研修、事後学修から構成されています。事前学修では、シャイネスを克服するプログラム、研修先について発表するプログラム、英会話プログラムで構成されています。単位取得には現地研修に参加する必要があります。現地研修先は、オーストラリア、台湾などでのグループ語学研修、イタリア栄養学研修、アメリカ東海岸大学訪問研修、韓国やカナダ、イギリスなどでの個人語学研修（語学が初級終了程度以上）を予定しています。事後学修では、現地研修の成果について発表し、報告書を作成します。									
学修到達目標									
授業は、異文化対応力を向上させることを教育目的としています。本授業では、2～4週間、現地の家庭や大学寮に滞在して学修しますが、この異文化体験を通して生きた外国語力の向上と異文化理解を深めます。したがって、本授業の到達目標は、「異文化について学び、異文化の相手を尊重しつつ自分の考えを明確に相手に伝えることができる」です。									
授業の進め方									
事前学修と事後学修は、座学による授業と双方向型授業を組み合わせで行われます。また、授業日時は不規則で、外部講師による土曜日等にも開講されます。現地研修のプログラムや費用等は開講時に提示しますが、人数制限をする場合があります。									
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容					事前事後学修		
1	グローバル社会	グローバル化する現代社会について理解し、そこで求められる能力について考える。					渡航先の政治・経済・社会について調べ、報告の準備をする。（1時間）		
2	渡航先の政治・経済・社会	各自が調べた渡航先の政治・経済・社会について、パワーポイントを用いて発表する。また、相互に評価を行い発表の改善をする。					発表した内容をレポートに整理する。現地研修の課題・目的についての報告を準備する。（1時間）		
3	現地研修に対する抱負	現地研修での各自の課題・目的について、パワーポイントを用いて発表する。また、発表について、相互に評価を行う。					発表した内容をレポートに整理する。（1時間）		
4	シャイネス克服	外部講師によるプログラム。役者になりきり、大きな声、動作で自分を表現し、コミュニケーションを図る。					グループで役割を決め、発表の準備をする（創作漫才、寸劇等）。（1時間）		
5	シャイネス克服	グループで役割を決め、発表の準備をする（創作漫才、寸劇等）。					グループでの発表を英語で発表出来るように準備をする。（1時間）		
6	サバイバルイングリッシュ	英語でのグループ発表（漫才、寸劇等）。相互に評価を行います。旅行等で必要な最低限の英語学習をグループでのアクティブ・ラーニングで行う。					決まった英語フレーズを暗唱し、旅行等をテーマにしたグループでの寸劇を準備する。（1時間）		
7	サバイバルイングリッシュ	英語でのグループ発表（漫才、寸劇等）。相互に評価を行います。買い物等で必要な最低限の英語学習をグループでのアクティブ・ラーニングで行う。					決まった英語フレーズを暗唱し、買い物等をテーマにしたグループでの寸劇を準備する。（1時間）		
8	渡航準備と研修目的の明確化	英語でのグループ発表。危機管理等、海外の状況や現地の状況について理解するとともに、再度各自の課題や目的意識を明確化する。					外務省等の渡航情報等により、危険な場所等を把握する。各自の研修目的を再確認する。（1時間）		
9	現地研修	クラス分け試験等。ホームステイ先ファミリーとの顔合わせ、学生寮での入寮プログラム。（1日～2日目）					授業準備と宿題対応。日誌を作成する。（6時間）		
10	現地研修	午前中は通常の語学授業。午後は各種アクティビティ参加。小旅行にも出かけます。（3日～4日目）					授業準備と宿題対応。日誌を作成する。（6時間）		
11	現地研修	午前中は通常の語学授業。午後は世界遺産、地域社会等見学。（5日～6日目）					授業準備と宿題対応。日誌を作成する（4時間）		
12	現地研修	午前中は通常の語学授業。午後は伝統文化の見学、体験、並びに自然観察等。（7日～8日目）					授業準備と宿題対応。日誌を作成する。（6時間）		
13	現地研修	午前中は通常の英語授業。午後は買い物等で外国語の実践。（9日～10日目）					授業準備と宿題対応。日誌を作成する。報告書の準備をする。（6時間）		
14	体験報告	日誌、報告書の提出と、それに基づく各自の課題・研修目的、成果についてのパワーポイントでの発表。相互に評価をおこない、発表力の向上を図ります。					日誌、報告書の提出準備と発表準備。体験報告を英語で準備する。（1時間）		
15	体験報告	前回の体験報告を改善し、研修先の外国語で発表する。また、ビデオ、DVDで保存するとともに、記念誌を作成する。					外国語原稿の準備。振り返りによる自己肯定感を涵養する。（1時間）		
テキスト		成績評価の方法・基準							
開講時に指示されます。また、適宜、プリント等の資料が配布されます。		受講態度：30% 定期試験：20% レポート：20% 実技：30% 「受講態度」には発表等、「定期試験」には小テスト、「レポート」には事前・事後学修のレポート、「実技」には現地研修の評価が含まれます。また、評価「S」は、外国語と日本語で円滑なコミュニケーションや発表ができる。評価「A」は、外国語と日本語で伝えたいことを明確に伝えることができる。評価「B」は、外国語と日本語で伝えたいことを伝えることができる。評価「C」は、外国語と日本語で簡単な内容を伝えることができる。以上が目安です。							
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）							
現地の教室で配付されるプリント、各種案内パンフレット		本授業では、海外での研修も行われることから多くのリスク（危険）が想定されます。そこで、現地研修の参加の可否については、受講状況に加えて、必要に応じてゼミ担当教員や語学教員等の意見を参考に決定します。							

科目名	海外研修		学年学期	1・2・3・4年通年	単位数	2	ナパリング	UL13407	研究室	E-10
担当者	糸井 重夫		必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー	前期：火曜日3限 後期：火曜日3限		
関連資格					履修条件	海外研修				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
本授業は、「海外研修」同様、事前学修、現地研修、事後学修の3つの部分で構成されています。詳細は「海外研修」を参照してください。また、本授業は「海外研修」に参加した者が再度「海外研修」とは異なる現地研修先に参加したい場合に履修することができます。したがって、「海外研修」と同一の現地研修はできません。研修先は「海外研修」を参考にしてください。また、現地研修では2～5週間程度現地の家庭や大学寮に滞在し、語学力の向上と異文化理解を深めます。										
学修到達目標										
本授業は異文化対応力を向上させることを教育目的とし、学修到達目標は、「異文化について学修し、異文化の相手を尊重しながら自分の考えを明確に伝えることができる」です。さらに、本授業では、外国人との交流を通して「コミュニケーション力」の向上も教育目標とし、企業が求めるグローバル・コンピテンスの育成を視野に入れています。										
授業の進め方										
事前事後学修は座学による授業と双方向型授業を組み合わせで行われます。また、授業回数・日時は不規則で、外部講師による土曜日等にも開講されます。現地研修の場所、内容、費用等は開講時に提示しますが、人数制限をする場合があります。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	グローバル社会	グローバル化する現代社会について理解し、そこで求められる能力について考える。				渡航先の政治・経済・社会について調べ、報告の準備をする。（1時間）				
2	渡航先の政治・経済・社会	各自が調べた渡航先の政治・経済・社会について、パワーポイントを用いて発表する。また、相互に評価を行い発表の改善をする。				発表した内容をレポートに整理する。現地研修の課題・目的についての報告を準備する。（1時間）				
3	現地研修に対する抱負	現地研修での各自の課題・目的について、パワーポイントを用いて発表する。また、発表について、相互に評価を行う。				発表した内容をレポートに整理する。（1時間）				
4	シャイネス克服	外部講師によるプログラム。役者になりきり、大きな声、動作で自分を表現し、コミュニケーションを図る。				グループで役割を決め、発表の準備をする（創作漫才、寸劇等）。（1時間）				
5	シャイネス克服	グループで役割を決め、発表の準備をする（創作漫才、寸劇等）。				グループでの発表を英語で発表出来るように準備する。（1時間）				
6	サバイバルイングリッシュ	英語でのグループ発表（漫才、寸劇等）。相互に評価を行います。旅行等で必要な最低限の英語学習をグループでのアクティブ・ラーニングで行う。				決まった英語フレーズを暗唱し、旅行等をテーマにしたグループでの寸劇を準備する。（1時間）				
7	サバイバルイングリッシュ	英語でのグループ発表（漫才、寸劇等）。相互に評価を行います。買い物等で必要な最低限の英語学習をグループでのアクティブ・ラーニングで行う。				決まった英語フレーズを暗唱し、買い物等をテーマにしたグループでの寸劇を準備する。（1時間）				
8	渡航準備と研修目的の明確化	英語でのグループ発表。危機管理等、海外の状況や現地の状況について理解するとともに、再度各自の課題や目的意識を明確化する。				外務省等の渡航情報等により、危険な場所等を把握する。各自の研修目的を再確認する。（1時間）				
9	現地研修	クラス分け試験等。ホームステイ先ファミリーとの顔合わせ、学生寮での入寮プログラム。（1日～2日目）				授業準備と宿題対応。日誌を作成する。（6時間）				
10	現地研修	午前中は通常の語学授業。午後は各種アクティビティ参加。小旅行にも出かけます。（3日～4日目）				授業準備と宿題対応。日誌を作成する。（6時間）				
11	現地研修	午前中は通常の語学授業。午後は世界遺産、地域社会等見学。（5日～6日目）				授業準備と宿題対応。日誌を作成する。（6時間）				
12	現地研修	午前中は通常の語学授業。午後は伝統文化の見学、体験、並びに自然観察等。（7日～8日目）				授業準備と宿題対応。日誌を作成する。（6時間）				
13	現地研修	午前中は通常の英語授業。午後は買い物等で外国語の実践。（9日～10日目）				授業準備と宿題対応。日誌の作成。報告書を準備する。（6時間）				
14	体験報告	日誌、報告書の提出と、それに基づく各自の課題・研修目的、成果についてのパワーポイントでの発表。相互に評価をおこない、発表力の向上を図ります。				日誌、報告書の提出準備と発表準備。体験報告を英語で準備する。（1時間）				
15	体験報告	前回の体験報告を改善し、研修先の外国語で発表する。また、ビデオ、DVDで保存するとともに、記念誌を作成する。				外国語原稿の準備。振り返りによる自己肯定感を涵養する。（1時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準						
上記の授業計画は参考です。現地研修先等の情報は随時提供します。また、適宜、プリント等の資料が配布されます。				受講態度：30% 定期試験：20% レポート：20% 実技：30% 評価は、発表等の受講態度、現地研修で発行される成績証明書等の定期試験、事前事後学修での課題とレポート、現地研修の実技の5つの面から総合的に評価します。また、評価の目安は、「S」：特定の話題について、相手を尊重しながら意見交換ができる、「A」：相手を尊重しながら自分の意見を伝え、良好なコミュニケーションがとれる、「B」：簡単な話題について意見交換ができる、「C」：日常生活に困らない程度のコミュニケーションができるです。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
現地の教室で配付されるプリント、各種案内パンフレット				本授業では、海外での研修も行われることから多くのリスク（危険）が想定されます。そこで、現地研修の参加の可否については、受講態度に加えて、ゼミ担当教員等の所見と語学教員等の意見を参考に決定します。						

科目名	海外事情	学年学期	1・2・3・4年前期	単位数	2	ナバリング	UL13408	研究室	E-10
担当者	糸井 重夫	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日3限		
関連資格				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
		A	B	C	2017年度～				
授業概要									
本授業は、海外の協定校等の教員が、自国の政治・経済・社会・文化などについて講義する授業です。今年度は、中山大学(中華人民共和国)の先生と、東新大学(大韓民国)の先生が講義する予定です。現代社会は、他国との相互依存関係が政治的にも経済的にも、また文化的にも深化してきています。授業内容の詳細は開講時に提示します。									
学修到達目標									
本授業の到達目標は、「国際社会に目を向け、国際社会の一員としての日本の立場について学ぶとともに、特に中国や韓国などのアジア地域における日本の立場について自分の意見を説明できる」ことです。授業では、毎回簡単なレポートを提出しますので、文章力や表現力、「論理的思考」や「コミュニケーション力」の育成も図ります。									
授業の進め方									
授業は日本語による集中講義形式で行われます。また、時期は夏休みの1週間程度を予定しています。授業は、授業計画に従って進められますが、担当者や内容、順番等については変更になる可能性があります。変更等については随時連絡します。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容					事前事後学修		
1	授業の概要	授業の概要説明と講師紹介、中国の中山大学、協定校の嶺南師範学院と韓国の協定校の東新大学の紹介等を行います。					ICTを活用し、指示されたプリントで講義内容を予習すること。(4時間)		
2	中国の社会(歴史)	前半の7回は「中国の事情」を講義します。ここでは、中国の社会の現状を歴史的な視点を含めて解説します。					配布プリント等を参考に中国近代史について把握する。(4時間)		
3	中国の社会(現状)	ここでは、中国の社会の現状を説明します。特に、生活、流行、等、文化的な面を取りあげます。					配布プリントやインターネット等により授業内容の理解を深め、発表の準備する。(4時間)		
4	中国の経済(現状)	中国の経済状況について説明します。中国の経済は成長著しい状況にありますが、格差の問題等、様々な経済的な問題を抱えています。これらについて説明します。					配布プリントやインターネット等により授業内容を確認し、日本の状況も整理する。(4時間)		
5	中国の経済(将来)	中国の人口は今後減少に転じ、日本以上の少子高齢化社会になることが懸念されています。ここでは、中国の経済の将来について考えていきます。					現存する日中間の課題について調べ、レポートとして整理する。(4時間)		
6	中国の教育(制度)	中国の教育制度について解説します。また、中国の高等教育改革の現状について説明します。					わが国の高等教育についてその課題を調べ、レポートとして整理する。(4時間)		
7	日中の教育比較	中国と日本の教育制度や教育内容の比較を通して、高等教育の在り方を考えます。また、受講者にも学生時代に何をしておくべきかを考えてもらいます。					受講者各自が、学生生活に関するレポートを作成する。(4時間)		
8	まとめ	これまでの講義のまとめを行います。また、質疑応答を通して中国の実情の理解を深めます。					中国について理解したこと、考えたことについてレポートにまとめる。(4時間)		
9	戦後の韓国社会(民主化)	戦後の韓国社会の民主化の過程について講義します。また、これを通して韓国社会についての理解を深めます。					配布プリント等で授業内容を確認し、理解を深める。(4時間)		
10	民主化と韓国社会	韓国の民主化に関するビデオを鑑賞し、韓国の民主化について理解を深めるとともに、民主化の意味を考えます。					韓国社会の歴史について調べ、レポートとして整理する。(4時間)		
11	韓国社会の現状と将来	韓国における民主化の現状と将来について考えていきます。また、日本の民主化や国際社会における民主化についても考えていきます。					世界の民主化運動について調べ、レポートとして整理する。(4時間)		
12	戦後の韓国経済	1990年代までの韓国経済の軌跡について解説すると共に、韓国の財閥が韓国の社会や経済に与える影響等について説明します。					世界の民主化問題についての報告の準備する。(4時間)		
13	韓国経済の現況	1997年のアジア通貨危機以降の韓国経済の状況に焦点を絞って説明します。					アジア通貨危機について調べ、レポートとして整理する。(4時間)		
14	韓国の高等教育	韓国の教育制度について説明するとともに、大学等の高等教育の現状について解説します。また、韓国の学生の就職についても言及します。					わが国の高等教育の状況について調べ、レポートとして整理する。(4時間)		
15	日中韓の諸問題	これまでの授業内容を参考にして、中国、韓国、日本の教員と学生諸君がいくつかのテーマを出し合い、議論をします。					議論内容をレポートとして提出する。(4時間)		
テキスト		成績評価の方法・基準							
プリント等を配布します。		出席レポート：40% レポート：30% 受講態度：30% 本授業での受講態度は、留学生等との積極的な意見交換や、自分の意見の発表を含みます。評価の目安は次のようになっています。「S」は、授業内容を理解し、データや資料に基づいて論理的に整理した内容で意見交換ができる。「A」は、授業内容を理解し、データや資料に基づいて意見交換ができる。「B」は、授業内容を理解し、自分の意見を述べる事ができる。「C」は、授業内容をある程度理解して、自分の意見を述べる事ができる。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
プリント等を配布します。		本授業は海外の大学の教員との連携授業です。従って、本務校の事情や本学の学生の事情により、お願する講師の変更や開校日の日程が変更になることもあります。日程変更等は掲示等で随時連絡します。							

科目名	海外事情		学年学期	1・2・3・4年後期	単位数	2	ナバリング	UL13409	研究室	E-10
担当者	糸井 重夫		必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー	火曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	2017年度～				
授業概要										
<p>本授業は、本学の教員と海外の協定校等の教員が、自国の政治・経済・社会・文化などについて講義する授業です。今年度は、本学の教員以外に、アジア諸国の教員や、欧米の教員にお願いする予定です。現代社会は、他国との相互依存関係が政治的にも経済的にも、また文化的にも深化してきています。本授業では、政治・経済・社会の変化を中心に講義しますが、授業内容の詳細は開講時に提示します。</p>										
学修到達目標										
<p>本授業の到達目標は、「国際社会に目を向け、国際社会の一員としての日本の立場について学ぶとともに、日本と国際社会の関係について自分の意見を持ち、これを表現できること」です。また、米国や欧州に対しての知識を深め、興味を持つことも目標としています。授業では、毎回簡単なレポートを提出しますので、文章力や表現力、「論理的思考」の育成も図ります。</p>										
授業の進め方										
<p>授業は日本語や英語による集中講義形式で行われます。また、時期は冬休みの1週間程度を予定しています。授業は、授業計画に従って進められますが、担当者や内容、順番等については変更になる可能性があります。変更等については随時連絡します。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業の概要	授業の概要説明と講師紹介。				講師が所属する国や大学等について調べ、整理する。(4時間)				
2	アジア・欧米の政治史	アジアや欧米の政治史について講義します。				事前に欧米の政治史について整理する。(4時間)				
3	アジア・欧米の経済史	アジア・欧米の経済史について講義します。				アジア、欧米の経済史について事前に整理する。(4時間)				
4	アジア、欧米の社会史	アジア、欧米の社会史について講義します。				アジア、欧米の社会史について事前に整理する。(4時間)				
5	アジア、欧米の文化史	アジア、欧米の文化について講義します。				欧米の文化史について事前に整理する。(4時間)				
6	アジア、欧米の学校制度	アジア、欧米の学校教育の歴史や制度について講義します。				ICT等を活用して欧米の学校制度について調べ、整理する。(4時間)				
7	アジア、欧米の高等教育制度	アジア、欧米の高等教育制度と教育改革について講義します。				ICT等を活用して欧米の高等教育制度について調べ、整理する。(4時間)				
8	アジア、欧米の高等教育改革	アジア、欧米の高等教育改革について、教育手法と評価手法の観点から講義します。				ICT等を活用してパフォーマンス評価等について調べ、整理する。(4時間)				
9	欧州の政治情勢()	欧州における難民問題について、現状を講義します。				ICT等を活用して難民問題、シリア問題等を調べ、整理する。(4時間)				
10	欧州の政治情勢()	英国のEU離脱問題とその影響について講義します。				ICT等を活用して、英国のEU離脱問題について調べ、整理する。(4時間)				
11	欧州の経済情勢	EU域内のインバランス問題とEU経済の現状について講義します。				インバランスについて調べ、整理する。(4時間)				
12	北米の政治情勢()	米国のトランプ政権下の政治情勢について講義します。				ICT等を活用してトランプ政権誕生による社会の変化について調べ、整理する。(4時間)				
13	北米の政治情勢()	米国とカナダ、メキシコの関係の変化について講義します。				ICT等を活用して北米での自由貿易圏について調べ、整理する。(4時間)				
14	欧米の政治・経済と日本	欧米の政治、経済的变化が日本経済、社会に与える影響について講義します。				これまで整理したレポートを参考に各自で日本への影響について整理する。(4時間)				
15	まとめ	これからの欧米社会の方向性と日本社会の今後について、受講者全員で議論します。				議論内容についてレポートに整理する。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
プリント等を配布します。				<p>出席レポート：40% レポート：30% 受講態度：30%</p> <p>本授業での受講態度は、パワーポイント等による発表を含みます。評価の目安は次のようになっています。「S」は、授業内容を理解し、データや資料に基づいて論理的に整理した内容で意見交換ができる。「A」は、授業内容を理解し、データや資料に基づいて意見交換ができる。「B」は、授業内容を理解し、自分の意見を述べるができる。「C」は、授業内容をある程度理解して、自分の意見を述べるができる。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
プリント等を配布します。				<p>本授業は、本学の教員とアジアと欧米を中心に外国の教員等が連携して実施する授業です。海外の大学の多くは9月新学期ですので、担当する教員、授業の日程が確定するのは9月以降です。また、英語による授業の場合もあります。</p>						

科目名	数学の基礎		学年学期	1年前期	単位数	2	ナパ'リング	UL13501	研究室	S-12
担当者	木藤 伸夫・丸山 文男		必修選択	選択	科目種別	講義	ワイズア-	水曜日2限、水曜日3限		
関連資格					履修条件	履修者上限数を80名とします。				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
どちらかという数学は苦手だったという学生を対象に、数学に興味を持てるような、論理的にものを考える習慣を身に付けられるような講義にしたいと考えています。管理栄養士として必要とされる数学力は、濃度計算やモル計算など基本的な数と式の計算、データを分析する力、そして統計学とされています。例題の解説と演習形式の授業を通して、実践的な計算力やデータの解析力を身につけるとともに、後期に開講される基礎統計学の基礎となる数学力を身につけます。										
学修到達目標										
数学に対する苦手意識の克服と、数学に興味を持ち、論理的に考える習慣を身に付けることを講義の目的、到達目標とします。また、演習問題として、SPIの非言語分野の問題や、就職時に課せられる数理系の試験問題を選んでるので、これらの問題を解くことによって就職試験に対応できる力も身につけましょう。										
授業の進め方										
紙に書いて考える、問題を解く、得意な問題は他の人に教えるなど、学生が能動的に関与する演習型講義です。配布するプリントの問題を解きながら、論理的思考に慣れ、あわてずに完全に理解、納得してから先に進むようにします。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	数と式(1)	基本的な計算問題を解きます(平方根、累乗根、指数、対数の計算など)。				授業プリントを復習し、課題を行います。(4時間)				
2	数と式(2)	基本的な計算問題を解きます(式の計算と展開、因数分解、分式・無理式の計算など)。				授業プリントを復習し、課題を行います。(4時間)				
3	方程式と不等式	基礎的な1次、2次方程式、不等式を解きます。				授業プリントを復習し、課題を行います。(4時間)				
4	計算力を身につける(1)	身近な問題・課題を自分の言葉で言い換えて数式にする。実際にSPI問題(割合と比の計算、濃度計算)を解いてみよう。				授業プリントを復習し、課題を行います。(4時間)				
5	計算力を身につける(2)	身近な問題・課題を自分の言葉で言い換えて数式にする。実際にSPI問題(損益計算、分割払い、料金割引など)を解いてみよう。				授業プリントを復習し、課題を行います。(4時間)				
6	計算力を身につける(3)	身近な問題・課題を自分の言葉で言い換えて数式にする。実際にSPI問題(仕事算、水槽問題、表の読み取り問題など)を解いてみよう。				授業プリントを復習し、課題を行います。(4時間)				
7	計算力を身につける(4)	身近な問題・課題を自分の言葉で言い換えて数式にする。実際にSPI問題(速さの計算、旅人算、流水算、通過算など)を解いてみよう。				授業プリントを復習し、課題を行います。(4時間)				
8	集合と論理的な考え方	集合の考え方を復習し必要条件、十分条件、命題の真偽など、集合を使った論理的な考え方に対するアレルギーを克服しましょう。				数学の教科書や参考書で関連するところを復習しておく。配布プリントの添削と見直し(4時間)				
9	データの分析	データの散らばりやデータの相関など、データ分析の基本を学び、統計処理に必要な基礎力を身につけます。				数学の教科書や参考書で関連するところを復習しておく。配布プリントの添削と見直し(4時間)				
10	場合の数	数え上げの基本、樹形図を使えるようになりましょう。また、集合を使った数え上げにも慣れてもらいます。SPIに出題される問題を解き、苦手意識をなくしましょう。				数学の教科書や参考書で関連するところを復習しておく。配布プリントの添削と見直し(4時間)				
11	順列・組合せ	順列の公式、組合せの公式の使い方を習得します。また、順列・組合せを応用した、様々な問題の解法に取り組みます。SPIに出題される問題も解いてみます。				数学の教科書や参考書で関連するところを復習しておく。配布プリントの添削と見直し(4時間)				
12	確率の基本	確率とは何か、確率の意味や考え方とその基本的な法則を復習し、実際に問題を解いてみます。				数学の教科書や参考書で関連するところを復習しておく。配布プリントの添削と見直し(4時間)				
13	確率	SPIに出題される問題を例に、確率問題の解法に慣れます。				数学の教科書や参考書で関連するところを復習しておく。配布プリントの添削と見直し(4時間)				
14	確率と統計	確率分布や確率変数に慣れ、統計学の基礎を身につけます。				数学の教科書や参考書で関連するところを復習しておく。配布プリントの添削と見直し(4時間)				
15	推論・資料解釈の実際	SPIで出題される推論、資料解釈の問題を解き、これら問題の実践的な解法を身につけます。				数学の教科書や参考書で関連するところを復習しておく。配布プリントの添削と見直し(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
必要な資料等は授業時間に配布します。		定期試験:100% 基礎的な計算力が身につけており、シンプルな計算問題がすらすら解ければC、文章問題を理解し、数式を立てて問題が解ければB、集合の考え方を理解し、確率計算まで展開できればA、実験や実習などで必要となる溶液や試薬の調製に必要な計算、実験データの統計学的処理ができるようになればS。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「Ability大学生の数学リテラシー」(共立出版株式会社) 「SPI3能力テスト対応必出問題完全攻略」伊坂孝史著(学研メディコン) 3年生はキャリアセンターから配布されます。		大学までに、数学をあまりやってこなかった学生を前提とした授業です。積極的に授業に参加することを期待しています。誰でも得手、不得手な分野があります。得意なところは伸ばし、苦手なところを減らしましょう。								

科目名	生物学の基礎		学年学期	1年前期	単位数	2	ナパ`リング	UL13502	研究室	S-12
担当者	木藤 伸夫		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-	水曜日2限、水曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	~2016年度 基礎生物学					
授業概要										
現代を生きるには、生物学の知識は必須です。生物学の進歩は急激で、マスコミなどで報道される健康や病気に関わるニュース、さらには環境問題などの内容を正しく理解するために、生物学に関する知識の重要性は増しています。特に本学科で学ぶ学生は、生物としての人間を理解することが求められます。本講義ではヒト(生物として人間を扱うときはカタカナで表す)の生物学に重点を置き、食品、医療、環境といった複数の視点から、「ヒトの生物学」を学修します。										
学修到達目標										
生物の基本単位である細胞の構造や、細胞の中で起こる様々な化学反応を、私たち自身の体や私達の日常生活に関わる食品を通じて理解します。さらに、医療に関する諸問題を通じて、感染症、免疫、生殖について学び、ゲノム情報の活用と倫理面での課題についての理解を深めます。また、環境汚染とその対策について学び、私達を取り巻く環境問題についての考え方を身につけます。										
授業の進め方										
教科書と配布資料を使って講義を行います。また、毎回小テストを行い理解度を確認します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	微生物と食品生産	微生物を利用した食品を紹介し、それに関わる微生物を材料に、細胞の基本的な構造と、細胞を構成する分子や小器官について学習します。				教科書の第1章の1を予習するとともに、高校教科書の細胞の構造を復習する(2時間)				
2	食品生産における発酵技術	発酵食品を通じて、発酵とは何か、それに関わる代謝について学びます。				教科書の第1章の2を予習するとともに、解糖系を復習する(2時間)				
3	遺伝子組換え食品	遺伝子組換え食品とは何か、どのような遺伝子が「組換え」られているのか、私達や身の回りの生態系にどのような影響を与えるのか考える。				教科書の第1章の3を予習するとともに、遺伝子について復習し要点をまとめる(4時間)				
4	抗生物質	感染症の治療薬である抗生物質とはどのような物質か学ぶ。また、抗生物質を使うことで細菌は退治できるのに、どうして私達の体は平気なのかを理解するために、いくつかの細胞構造を比較する。				教科書の第2章、29-40ページを予習し、細胞の構造を復習する(4時間)				
5	ワクチンと臓器移植	ワクチン接種でどうして病気を予防することができるのか学び、私達の体を守る免疫に関する知識を身につける。また、体を守る免疫が作用することで起こる拒絶反応やアレルギーについても学ぶ。				教科書の第2章、40-54ページと85-89ページを予習する(4時間)				
6	第5回目までのまとめと確認テスト	第5回目までに学習した内容のまとめと、内容をどの程度理解しているか確認するために、確認テストを行います。さらに、解答例の説明を通して、学習内容の要点を確認します。				教科書54ページまでのまとめと、確認テスト対策(6時間)				
7	遺伝子の構造と突然変異	全ての生物がもつ遺伝子の構造について学び、遺伝子のどのような変化が、がんや遺伝病などの原因となる突然変異となるか理解する。				高校の教科書などで遺伝子の構造、DNA二重らせんなどを復習しておく(4時間)				
8	遺伝子の発現とタンパク質合成	遺伝情報の流れ、いわゆるセントラルドグマについて学び、遺伝子に記録された情報がどのようにして機能分子となるか学修する。				高校の教科書などで、遺伝子の転写、タンパク質の合成について復習しておく(4時間)				
9	遺伝病の検査と治療	遺伝子の発現や遺伝の法則について学び、遺伝子の変異が病気の原因となることについて学ぶ。また、遺伝病の検査技術や、治療法の最前線についても学ぶ。				教科書第2章の3、4を予習し、高校の教科書などで遺伝の法則を復習しておく(4時間)				
10	生物の生殖、発生、成長、老化	ヒトの受精から誕生について学習します。さらに、生物の成長と老化について学習し、生命の連続性について考えます。また、先端技術を応用した生殖補助医療に関する課題について考えます。				教科書第2章の5を予習しておく(4時間)				
11	第7回~第10回までのまとめと、学習内容の整理	第7回~第10回で学習した内容のまとめと、内容をどの程度理解しているか確認するために、確認テストを行います。さらに、解答例の説明を通して、学習内容の要点を確認します。				教科書54-90ページまでのまとめと、確認テスト対策(6時間)				
12	生態系と外来種の侵入	生態系とは何か、また外来種によって生態系がどのように変化するのかを学ぶ。また、地球における炭素循環、窒素循環についても学習する。				教科書第3章の1を予習するとともに、高校の教科書で生態系を復習しておく(4時間)				
13	環境汚染物質	いくつかの環境汚染物質と、それらが引き起こした環境問題、公害について学習し、これ以上環境破壊を行わないためにはどのような対策が必要か考える。				教科書第3章の2を予習する(4時間)				
14	地球温暖化とバイオ燃料	地球温暖化の原因と地球の表面温度を決めているメカニズムに対する理解を深め、対策としてどのようなことが考えられ、実行されているか学修する				教科書第3章の3を予習する(4時間)				
15	学修のまとめ	これまで学習した14回の内容について、理解が不十分なところを各自で補います。また、自信のある分野については、受講者の前で説明して、さらに理解を深めます。				これまでの学修内容を復習し、理解できた所、できなかった所を明らかにして講義に臨む(6時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「高校で教わりたかった生物」趙大衛(編著)松田良一(監訳、編著)著(日本評論社) ISBN:978-4-535-60033-1(生協で購入してください。)				定期試験:100% 生物の基本単位である細胞の構造と各細胞小器官の機能を説明できればC、細胞を構成する各種物質の基本構造、機能、特徴を説明できればB、それらの基礎知識をもとに、生物によるエネルギー産生や多細胞生物の恒常性維持など、複雑な生命現象が説明できればA、マスコミなどで話題となった生物に関わるトピックを正確に説明できればS。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「ヒューマンバイオロジー、人体と生命」坂井建雄、岡田隆夫 監訳著(医学書院) ISBN:978-4-260-00156-4 坂井建雄ほか監訳				高等学校で生物学を履修していない人や苦手だった人は、必ず受講してください。						

科目名	力学の基礎		学年学期	1年後期	単位数	2	ナパ'リング	UA13503 UA13504	研究室	N-05
担当者	丸山 文男		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ-	火曜日3限		
関連資格					履修条件	「運動と物理学」を受講する学生は履修してください。				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
健康運動指導士や健康運動実践指導者のバイオメカニクス(運動の力学的な視点からの研究)分野(2年前期開講の「運動と物理学」)を理解するために必要な力学の基本的な知識を学ぶ科目です。運動の表し方(等速度直線運動、等加速度直線運動)、力のつりあい、運動の法則を学び、繰り返し問題を解くことで、基本的な力学の考え方を理解できるようにします。										
学修到達目標										
基本的な力学の知識を習得し、関連する問題を解くことによって理解を深めることです。特に、等速度直線運動、等加速度直線運動、力のつりあいなどの基本的な問題を解けるようになることです。										
授業の進め方										
テキストにそって力学の基本的な知識と、基本的な例題を説明した後、実際に関連する問題を解きます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	速さと速度	「速さ」と「速度」の違いを理解して計算します。				テキストを復習し、課題を行います。(4時間)				
2	等速直線運動	グラフを書きながら理解を深めます。				テキストを復習し、課題を行います。(4時間)				
3	速度の合成と分解	ベクトルである速度の合成、分解を作図をしながら理解を深めます。				テキストを復習し、課題を行います。(4時間)				
4	等加速度直線運動	加速度とは何かをしっかりと理解し、計算ができるようにします。				テキストを復習し、課題を行います。(4時間)				
5	等加速度直線運動	グラフを書きながら理解を深めます。				テキストを復習し、課題を行います。(4時間)				
6	自由落下運動	自由落下運動を図を書きながら理解を深めます。				テキストを復習し、課題を行います。(4時間)				
7	鉛直投げ下ろし運動等	鉛直投げ下ろし運動、鉛直投げ上げ運動を図を書きながら理解を深めます。				テキストを復習し、課題を行います。(4時間)				
8	水平投射	水平投射を図を書きながら理解を深めます。				テキストを復習し、課題を行います。(4時間)				
9	斜方投射	斜方投射を図をかきながら理解を深めます。				テキストを復習し、課題を行います。(4時間)				
10	力の表し方	力の表し方を学びます。				テキストを復習し、課題を行います。(4時間)				
11	力のつりあい	力のつりあいについて学びます。				テキストを復習し、課題を行います。(4時間)				
12	作用反作用の法則	作用反作用を力のつりあいとのちがいに注意しながら学びます。				テキストを復習し、課題を行います。(4時間)				
13	運動の法則	物体に力がはたらいた場合の速度の変化を考えます。				テキストを復習し、課題を行います。(4時間)				
14	運動方程式	運動方程式を導き使ってみます。				テキストを復習し、課題を行います。(4時間)				
15	いろいろな力	摩擦力、圧力、浮力について学びます。				テキストを復習し、課題を行います。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「総合物理1-力と運動・熱」 国友正和著(数研出版) ISBN:978-4-410-81203-3(生協で購入してください。) 「フォローアップドリル物理基礎 運動の表し方・力・運動方程式」数研出版編集部編(数研出版) ISBN:978-4-410-26522-8(生協で購入してください。) その他必要に応じプリントを配布します。				定期試験:100% S:授業内容を深く理解し、複雑な応用問題を解くことができる A:授業内容をよく理解し、応用問題を解くことができる。 B:授業内容を理解し、簡単な問題を解くことができる。 C:授業内容をほぼ理解し、例題を解くことができる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「新しい高校物理の教科書」山本明利 左巻健男編(講談社) ISBN:4-06-257509-4				授業では、三角関数や連立方程式の知識が必要になります。数学や物理をあまり学んでいない人は、自ら問題を解き理解することが必要です。質問はいつでも受け付けますので、積極的に学んでください。						

科目名	基礎統計学		学年学期	2年前期	単位数	2	ナパ [®] リング	UL23504	研究室	N-04
担当者	弘田 量二		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日4限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
現代社会において、様々なデータを用いて分析、図表の作成、結果等をまとめることは必須の能力です。それは栄養学分野にかかわる方にとっても同様です。無料統計ソフトEZRを使って実際に様々なデータの分析、考察していくことを目的とします。										
学修到達目標										
統計解析の基本的な概念を深く理解し、統計解析を実施していく上で必要な基礎的なことから学習します。記述統計や仮説検定、疫学のデザイン2群の比較、3群以上の比較、相関リスク比オッズ比、線形回帰、多変量解析等基本的な知識について説明と演習を行います。										
授業の進め方										
毎回の講義時に説明を行いますので、各自がコンピュータで統計解析ソフトEZRを使って実際にデータ処理(演習)を行いながら講義を展開します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	オリエンテーション・倫理審査・同意書・研究計画書	演習方法の概要と評価方法、人を対象にした研究には、倫理審査・同意書・研究計画書を作成し、研究機関の倫理審査委員会の承認を得る必要があります。その手続きの流れや概念を学習します。					配布資料を熟読してください。(4時間)			
2	記述統計	記述統計量の表し方(平均値や中央値、パーセント、最頻値)について学習します。統計計算を理解する前の重要な知識を習得します。					テキスト1日目を熟読してください。(4時間)			
3	仮説検定(1)	有意差を表すP値の意味や「統計的な差」と「臨床的(実際に意味のある)差」の違いについて学習します。					テキスト2日目を熟読してください。(4時間)			
4	仮説検定(2)	ハザード比、信頼区間、標準誤差などについて学習します。					テキスト2日目を熟読してください。(4時間)			
5	疫学研究のデザイン(1)	P(参加者)E(研究)C(何と比較するか)O(アウトカム)の理解、観察研究・ケースコントロール研究を学習します。					テキスト3日目を熟読してください。(4時間)			
6	疫学研究のデザイン(2)	P(参加者)E(研究)C(何と比較するか)O(アウトカム)の理解、介入研究、ランダム化比較研究などを学習します。					テキスト3日目を熟読してください。(4時間)			
7	統計テストの選び方(1)	変数の種類が連続変数の場合の統計テストの選び方を学習します。					テキスト4日目を熟読してください。(4時間)			
8	統計テストの選び方(2)	変数の種類が、2値のカテゴリー変数、順序のあるカテゴリー変数、順序のないカテゴリー変数の場合の統計テストの選び方を学習します。					テキスト4日目を熟読してください。(4時間)			
9	T検定、U検定(1)	サンプルが正規分布している場合の学生T検定を学びます。2群を比較する代表的な手法を学修します。					テキスト5日目を熟読してください。(4時間)			
10	T検定、U検定(2)	サンプルが正規分布でなくても使えるマンホイットニーのU検定を学びます。2群を比較する代表的な手法を独力で解析できるようになります。					テキスト5日目を熟読してください。(4時間)			
11	対応ありのT検定、符号付き順位和検定(1)	対応ありの場合のT検定について学びます。2群を比較する代表的な手法を学修します。					テキスト6日目を熟読してください。(4時間)			
12	対応ありのT検定、符号付き順位和検定(2)	ウィルコクソン符号付き順位和検定について学びます。2群を比較する代表的な手法を独力で解析できるようになります。					テキスト6日目を熟読してください。(4時間)			
13	3群以上の比較(1)	3つ以上のグループ間に差があるかどうかを知りたい時に用いる母集団が正規分布(パラメトリック)な手法の検定である、一元配置分散分析を学びます。					テキスト7日目を熟読してください。(4時間)			
14	3群以上の比較(2)	3つ以上のグループ間に差があるかどうかを知りたい時に用いるノンパラメトリックな手法の検定である、Kruskal-Wallis(クラスカル・ウォリス)検定を学びます。					テキスト7日目を熟読してください。(4時間)			
15	線形回帰と相関係数	単回帰、重回帰、ピアソンの相関係数、スピアマンの相関について学習します。					テキスト8日目を熟読してください。(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「みんなの医療統計-12日間で基礎理論とEZRを完全マスター」新谷歩著(講談社) ISBN:978-4-06-156314-8(生協で購入してください。)講義で使用しますので、必ず購入して下さい。					定期試験:90% 課題:10% 研究の立案や取得データの評価の際に必須のスキルとなる基本的な統計学を学びます。概念や得られる成果の習得をめざし、謙虚で積極的な学習態度で臨んでください。S:実習・課題に積極的に取り組む自主的に取り組み高度な内容を理解し定期試験で9割以上解ける。A:実習・課題に積極的に取り組み応用的な内容を理解し定期試験で8割程度解ける。B:実習・課題に積極的に取り組み、授業内容のおおよそを理解し定期試験で7割程度解ける。C:マニュアル等を参照し基本操作を完了し定期試験で6割程度解ける。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「公衆栄養学実習」金田雅代・郡俊之・酒井徹・山本茂著(講談社サイエンティフィック) ISBN:978-4-06-155355-2 その他、講義の中で随時紹介します。					毎回パソコン教室で演習を行います。特に、復習に力を注いで下さい。					

科目名	地球環境と人間生活			学年学期	2年後期	単位数	2	ナパ'リング	UL23505 UL23506	研究室	学生セク -
担当者	住吉 廣行			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格				履修条件							
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C	2017年度-						
授業概要											
ビッグバン宇宙、地球の生成、生命の誕生と進化のおおよその流れを把握します。その中でオゾン層の出現やその破壊と克服の過程について学びます。次に地球温暖化のメカニズムを学び、産業革命以降人類の生活の進歩・発展とその裏側で進んでいた二酸化炭素の大量発生に伴う地球温暖化現象を概観します。エネルギー源の変遷(木炭・石炭・石油・原子力)を理解し、それぞれの長所・短所を調べながら、生活水準を維持できるだけの自然エネルギーの可能性があるかについても検討していきます。											
学修到達目標											
環境問題、エネルギー問題についての新聞報道、TV報道に接して自分なりの視点でそれらを解釈でき、求められれば見解を述べるができる。											
授業の進め方											
配布したプリントに基づく講義、ビデオ鑑賞、グループに分かれてのディスカッションなどを交えることで、各学生が自分の意見を纏めていけるようなプロセスを予定しています。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	宇宙・元素合成、地球形成の道筋	授業の狙いを説明する。ビッグバン宇宙論、元素合成、地球の形成など、自分達が住む地球について大まかな道筋を理解する。受講票は環境問題に関するクイズ付き。					事前：シラバスを読む(1時間) 事後：クイズに解答、疑問・質問を受講票に記入(2時間)				
2	生命の進化、オゾン層の形成	生命の誕生・進化と植物の発生、酸素、オゾン層の形成を考える。オゾン層がどれくらいの時間を掛けて、どの様に出来たのか、破壊の原因は何かについて考える。					事前：前回の講義の復習(2時間) 事後：クイズに答える。疑問・質問をまとめる(2時間)				
3	オゾン層破壊とそれへの対応	オゾン層が果たす役割と、その破壊のメカニズムとフロンガスへの配慮の必要性を理解する。オゾン層の破壊による影響を知る。モントリオール議定書について知る。					事後：前回クイズの解答を配布するのでそれを読み理解を深める(4時間)				
4	温暖化機構理解とCO2増加の原因	温室効果の機構を理解し、温室効果ガスの種類を把握する。産業革命で文明の発達が加速化し、その結果大気中のCO2が急激に増加していることを理解する。					事前：前回配布のプリント(温暖化のメカニズム)を読む(2時間) 事後：疑問点を整理(2時間)				
5	COPなど人類の温暖化への取組	地球温暖化対応の国際的な動きを把握する。リオデジャネイロでの地球サミット、京都議定書、パリ協定などIPCCやCOPのその後の動きについて知る。グループディスカッションを取り入れる。					事前：IPCCをネットで調査する(2時間) 事後：COPのこれまでの流れをネットで調べる(2時間)				
6	フィードバックシステムとしての地球	循環系としての地球の特徴を理解する。可逆、不可逆の意味と地球温暖化についてIPCCからの警告の意味を理解する。臨界点という考え方を提示する。					事後：IPCCの活動を再度調査し、理解を深める(4時間)				
7	大量生産・消費・廃棄の生活の実態	大量生産、大量消費、大量廃棄の生活スタイルがいかに現代人の生活に浸透しているかを実感してみる。グループワークによるアクティブラーニング形式を採用する。					事後：自分の生活を振り返り、是正できる点をまとめレポート提出する(4時間)				
8	地球温暖化の影響を考える	地球温暖化が人類や地球上の生命に与える影響を考える。絶滅危惧種の存在、熱帯生物の北上、海水面の上昇、砂漠化などなどについて考える。新聞記事の読み合わせを実施。					事前：前回配布のプリントを読む(2時間) 事後：温暖化の実情をネットでも調査する(2時間)				
9	ビデオ鑑賞	地球温暖化の影響を被っている世界で見られる実態を、映像によって、視覚にも訴えながら理解する。					事後：鑑賞した感想を受講票に記入する。仲間と話し合う。(4時間)				
10	日本の発電量の現状をつかむ	火力、原子力、水力、風力など多様な発電様式があるが、その原理を理解する。ファラデーの電磁誘導などにも簡単に触れ、発電様式による違いはどこにあるかを知る。					事後：電力の節約について考えておく(4時間)				
11	石油の使用量と埋蔵量	全て石油で火力発電を行った場合の必要量を、百万トンタンカーを単位として考える。化学製品にも利用しており、その量の膨大さを知り地球の有限性を認識する。					事前：プラスチック製品の投棄とそこから生じる問題点をネットで調査(4時間)				
12	太陽エネルギーの利用を考える	太陽から地球上に降り注ぐ太陽エネルギーの膨大さを考え、再生可能エネルギー、自然エネルギーの在り方をみんなで考える。アクティブラーニング方式とする。					事後：世界的に見た自然エネルギーの利用状況を調査する(4時間)				
13	原子力発電と原爆の違いを知る	原子力発電のメカニズムを知る。アインシュタインのE=mc ² の有名な式の意味を説明し、実際の発電様式について説明する。					事前：事前配布のプリントを読む(2時間) 事後：原子と原子核のサイズの違いを認識(2時間)				
14	原子力発電の利点と問題点を知る	温室効果ガスを出さないが、放射性廃棄物の処理について問題があること、地震やテロからどう護るかなど考えられる課題を取り上げる。					事前：配布している新聞記事を読む(2時間) 事後：家族・友人等と話し合う(2時間)				
15	日本のエネルギー政策を考える	これまでの学びを通じて得た知識を基に、日本のこれからのエネルギー政策の在り方についてグループディスカッションで深める。					事前：グループディスカッションの準備(2時間) 事後：試験に備えた学習(2時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
講義用プリントが配布されます。				定期試験：100% S:Aの中でも特に優秀な結果を出した者。 A:定期試験において80点以上。 B:定期試験において70点以上、80点未満。 C:定期試験において60点以上、70点未満。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「グリーン経済最前線」井田徹治・末吉竹二郎著(岩波新書) 「低炭素経済への道」諸富徹・浅岡美恵著(岩波新書)				講義をよく聞き、自分の見解も述べつつ、多くの学生と意見交換の中で、環境問題の本質を掴めるようにして欲しい。そのためにも、配布したプリント、新聞記事等に目を通し、自分なりの意見を纏めるように努力して下さい。							

科目名	地域環境と生態		学年学期	3年前期	単位数	2	ナパリング	UL33506 UL33507	研究室	S-12	
担当者	木藤 伸夫・丸山 文男		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日2限、水曜日3限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
			A	B	C						
授業概要											
この講義の前半では、環境を構成する要素など環境問題を考えるうえで必要な基礎知識や、環境問題を取り扱う際の方法論などを解説します。後半では、地球上のあらゆる環境で生活している微生物に焦点を当て、微生物の種類や性質などの基礎的なことから、地球環境と微生物の関わり、微生物を利用した環境改善など応用的な面まで分かりやすく概説します。											
学修到達目標											
前半では、天気や気候の変化における大気と海洋の役割を理解し、人間の活動と地球環境の変化の関係を理解することが目的です。後半では、地球全体の物質循環とそれに関わる微生物によって地球環境が維持されていることを理解することが目的です。											
授業の進め方											
配布資料に基づいて講義形式で授業を行います。講義内容を理解するには物理学、化学、生物学、地学などの理系基礎科目の知識が必要です。毎回小テストを行い、授業の理解度を確認します。											
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	太陽系の中の地球	地球大気の起源と進化について学びます。					配布資料を復習します。課題を課し提出を求める場合があります。（第1回～7回まで）（4時間）				
2	大気の鉛直構造	対流圏、成層圏とオゾン層、中間圏、熱圏について学びます。					配布資料を復習します。（4時間）				
3	地球のエネルギー収支	地球のエネルギー収支を理解し温室効果について学びます。					配布資料を復習します。（4時間）				
4	地球をめぐる大気の流れ	風の吹き方を理解し大気の大循環を学びます。					配布資料を復習します。（4時間）				
5	海水の循環	海水の流れを理解し海洋と気候について学びます。					配布資料を復習します。（4時間）				
6	気候変動	エルニーニョ、異常気象について学びます。					配布資料を復習します。（4時間）				
7	地球環境	都市気候、酸性雨、地球温暖化について学びます。					配布資料を復習します。（4時間）				
8	確認テスト	第1回～7回までの内容の理解度を筆記試験で確認します。					これまでに配布された資料などに基づき、講義内容を振り返っておきます（6時間）				
9	環境微生物の進化と環境形成	46億年前に誕生した地球の環境がどのように変化して現在の環境になったかを解説します。「地球と生命の共進化」ともよばれる、地球環境の変化と生物進化の密接な関係を理解することが目的です。					配布資料を復習します。（4時間）				
10	環境微生物が行う各種物質変換の実際	地球レベルでの物質循環を知るために、炭素循環と窒素循環を取り上げて解説します。物質循環には生物が関与しない無機的な循環と、生物が関与するものがあります。違いを明確に理解する事が目的です。					配布資料を復習します。（4時間）				
11	極限環境微生物	微生物は地球上の様々な環境に生息していますが、特に変わった環境（高温、強酸・強アルカリなど）で生きている微生物がいること、私達の日常生活でこれらの微生物がどのように利用されているかを学びます。					配布資料を復習します。（4時間）				
12	地球環境の激変と環境微生物のかかわり	近年問題になっている地球環境の変化、すなわち地球温暖化や、水質、大気、土壌などの環境汚染の原因物質は何か、汚染はどのようにして起こるのかを学びます。					配布資料を復習します。（4時間）				
13	微生物による有害物質除去・分解の原理	微生物を使った環境浄化の方法、特に排水処理法、悪臭処理法、重金属汚染や有機塩素化合物などの除去、分解法などを理解することが目的です。					配布資料を復習します。（4時間）				
14	バイオレメディエーション	微生物による環境浄化（バイオレメディエーション）について学習します。原油や界面活性剤の汚染除去への応用、土壌や地下水の汚染除が実際どのように行われているかを学びます。					配布資料を復習します。（4時間）				
15	食糧生産への微生物利用とバイオエネルギー	人工的な肥料の代わりに微生物を使った農法の有用性を学びます。また、化石資源の代替エネルギーとして注目されているバイオエネルギーについて、メリット、デメリットを学習します。					配布資料を復習します。（4時間）				
テキスト			成績評価の方法・基準								
なし			定期試験：100% 地球環境を決める複数の要因をあげることができればC、それらが地球環境にどのような影響を与えるか説明できればB、地球における物質循環やエネルギー収支について説明できればA、現代起こっている様々な環境問題や環境保全、環境改善などについて、自分の考えを述べることであればS。								
参考書			履修上の注意（学生へのメッセージ）								
「地球環境46億年の大変動史」田近英一著（化学同人） ISBN：978-4-7598-1324-1 「一般気象学」小倉義光著（東京大学出版会） ISBN：978-4-13-062725-2			物理、化学、生物学、地学のどれか1科目でも良いので、高校で学んだ理系科目を復習しておいて下さい。								

科目名	ごみ処理と循環型社会			学年学期	3年後期	単位数	2	ナパ'リング	UL33508	研究室	非常勤
担当者	水橋 文雄			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A B C									
授業概要											
一番身近な環境問題がごみ問題です。快適なライフスタイルが、大量生産・大量消費・大量廃棄の悪循環の中で、ごみを増やし、地球を汚して来ました。地球のあらゆる資源は有限です。人々はその資源を惜しみなく使い、ごみとして捨てることで経済成長して来ました。今、まさに「成長の限界」(1972.ローマクラブ)が示すとおり社会になっています。そこで、松本市のごみ行政の取り組み状況を参考にして、将来に向かってこのごみ問題とどう向き合うべきかを考えます。											
学修到達目標											
各地で、廃棄物の中間・最終処分場が不足し、廃棄物の安全・安定な処理に支障をきたし、しかも、放射性廃棄物の処理も新たな大きな社会問題となっている中で、廃棄物問題に対する取組みと、その対策を考え、実践し、その成果を検証する能力(PDCAサイクル)を身につける。											
授業の進め方											
パワーポイントやDVD(BR)を利用して講義を進めます。資料はパワーポイントの主な内容をプリントして配ります。また、アウトキャンパスとして、「ごみ焼却場、最終処分場」の見学を予定します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ごみとは	廃棄物の処理及び清掃に関する法律で規定する「ごみ」について説明します。					法律で規定される「ごみ」について調査する。(4時間)				
2	ごみの分別について	ごみの分別(松本市を例に)の必要性と方法について説明します。					各自の出身自治体のごみの分別方法を調査する。(レポート1の提出)。(4時間)				
3	ごみの出し方について	ごみの出し方(ごみ袋・ごみステーション等松本市を例に)について説明します。					各自の出身自治体のごみの出し方を調査する。(4時間)				
4	ごみ処理施設について	一般廃棄物のごみ処理施設の種類と機能と問題点について説明します。					各自の出身自治体のごみ処理施設の種類と規模等について調査する。(4時間)				
5	施設見学(1)	松本市の一般廃棄物の最終処分場(エコトピア山田)を見学します。					見学後に最終処分施設の設置の目的と現状を整理する。(4時間)				
6	施設見学(2)	松本市の一般廃棄物の中間処理施設(松本クリーンセンター)を見学します。					見学後に中間処理施設の設置の目的と現状を整理する。(4時間)				
7	ごみ処理施設整備の課題について	ごみ処理施設整備の問題と課題(松本市を例に)について説明します。					ごみ処理施設整備に対する住民感情について調査する。(レポート2の提出)(4時間)				
8	循環型社会の構築について(1)	持続可能な社会の主要な要素である、循環型社会を構築するために必要な制度について説明します。					持続可能な社会を構築するために何が必要とされるのかを調査する。(4時間)				
9	循環型社会の構築について(2)	ごみ減量(リデュース)施策(松本市を例に)について説明します。					各自の出身自治体のごみ減量施策を調査する。(4時間)				
10	循環型社会の構築について(3)	ごみにしないように物を繰り返し使用(リユース)する施策(松本市を例に)について説明します。					日頃から「もったいない」と感じていることを整理する。(レポート3の提出)(4時間)				
11	循環型社会の構築について(4)	ゴミを減らす為、資源として再生利用(リサイクル)する制度(松本市を例に)について説明します。					日本のリサイクル法について内容と問題点を調査する。(4時間)				
12	廃プラスチック問題について	廃プラスチックが、世界の環境(マイクロプラスチックによる海洋汚染問題等)に与える影響について説明します。					廃プラスチックの回収の必要性と方法について調査する。(4時間)				
13	放射性廃棄物について	放射性廃棄物の処理と保管・埋立の問題点について説明します。					放射性廃棄物の現状と今後の処分方法について調査する。(4時間)				
14	不法投棄問題等について	ごみの不法投棄と有害廃棄物の放置等の状況と対策(松本市を例に)について説明します。					各自の出身自治体における、不法投棄の状況及びその対策について調査する。(4時間)				
15	ごみ処理と循環型社会について(整理)	ごみ処理の問題点(最終処分場等の施設の整備等)と循環型社会の構築(主にリサイクル法の問題点)について整理します。					循環型社会を構築するためには、何をすべきかを整理する。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
必要に応じて、パワーポイントを抜粋した資料を配布します。				受講態度:30% レポート:30% 定期試験:40% 受講態度は、講義毎に提出する受講票による講義への意見の内容を評価に加味します。レポートは3回以上の提出を予定します。提出期限を厳守して下さい。S評価は、成績評価の合計が100となり、レポート提出状況及び受講態度が優秀な場合です。A評価は、成績評価の合計が80以上の場合で、レポート提出状況及び受講態度が良好な場合です。B評価は、成績評価の合計が70以上80未満の場合で、C評価は、成績評価の合計が60以上70未満の場合です。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
特にありません。				国は、循環型社会を構築するために、様々なリサイクル法を制定していますが、その多くを地方公共団体の事務としています。そこで、各地方公共団体の取り組みに関心を持つことがリサイクルを実施する上で大切です。							

科目名	環境社会学		学年学期	3年後期	単位数	2	ナパ'リング	UL33508 UL33509	研究室	非常勤
担当者	江成 康明		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
人々が生きて行くうえで欠かせないのは周囲の環境です。一番身近な家族や仲間、そして自治体や日本、世界、宇宙と環境は広がっていきます。それらと関連しながら生活するには、世の中の動向を意識しなければなりません。今の社会に何が起きているのか、どう対応しなければならぬのかを考え、自分を高めていくことが求められています。殺伐とした事件の増加やネット社会にまつわる犯罪などを例に社会学を学び、多層的に研究、発表するのが目的です。										
学修到達目標										
社会を営む時代背景やその国の環境などに自分がどう対応したらいいのかを学び、その中で自らの立ち位置を心がける。みんなが心地よく生活し、生きていくためには一人一人の思いやりや気配りが必要なことを知ることで、社会構成員の一人であることを自覚する。										
授業の進め方										
講義は毎回配布するプリントを基に教室でのディスカッションを中心に進めます。グループ討論やクロスロード(分岐点)のほか、レポートの提出をしてもらいます。更にはフィールドワークや学外専門家を招いての講演会、討論会なども行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	環境社会学とは何か?	環境といっても、「地域」だけを考えるのではなく、それを支える「人間」や「自然」にまで興味を持って対応する必要があります。授業全体の基本となる環境社会学を幅広い視点で学びます。				あなたが思い浮かべる環境社会学のイメージを事前に考えて下さい。(4時間)				
2	地域環境と民度の関係性	第一回授業で提出したレポートから様々な意見や提案をピックアップし、学生自身が社会の一員として環境社会学をどう捉えているかを探ります。そのうえで、人間としての役割を考えていきます。				新聞のコピーを読んで、事後に感想を書いてもらいます。(4時間)				
3	ネット社会で変化する社会	日本人は思いやりや気配りのある人種と言われていました。しかし、ネット社会の到来で変化してきました。社会の動きに真剣に向き合わなければなりません。ネットで陥りやすい犯罪や危険性を学びます。				ネット関連の事件事故について、一番気になったものを考えてもらいます。(4時間)				
4	ネット社会の危険性についての研究	現状では、生活や仕事をするうえでネットは欠かせません。しかし、ネットを使った犯罪が増え、反面、人との直接対話が少なくなっています。過激派組織ISやネット犯罪の愚かさを研究します。				安易にネットを使ってないかを見直してもらいます。(4時間)				
5	それぞれ違う民度のあり方	グループに分かれ、クロスロード(分岐点)をそれぞれの班で討論します。それをもとに、全体でディスカッションします。				クロスロードでの自分の意見、考え方と人の意見の相違を改めて振り返ってください。(4時間)				
6	続クロスロード	社会は人それぞれの民度によって安全、安心な暮らしが保たれています。しかし、クロスロードで体験するように、考え方はまちまちです。幅広い民度の意識を持つために、前回に続き話し合いを継続します。				自分の考え方による民度が正しいのかどうかを推量してください。(4時間)				
7	学外専門家の特別講演	簡単で便利なネットには様々な落とし穴があります。著作権について詳しい学外専門家を招き、特別講演及び討論会を実施します。				事後に講演会の感想レポートを提出してもらいます。(4時間)				
8	(野外実習)場所は未定	地域全体が民度の高い場所を訪ね、地域環境を守るためにどのような戦略が図られているかを体験します。				事後にレポートを書く。9回目に提出。(4時間)				
9	新聞に見る社会の動き	社会で起きている出来事を新聞コピーを読んで考えます。その中から、環境社会学のあり方を自分なりに理解し、さらにグループ討論して仲間の意見も聞いていきます。				授業でのコピー以外のテーマに沿って、レポート提出。(4時間)				
10	ネット社会を生き抜くための10か条づくり	ネットが欠かせない現実の中で、自ら犯罪に巻き込まれたり、他人に迷惑をかけるためにはどうしたらいいのかをグループで話し合い、10か条を作成します。				授業終了と同時に、当日の担当はグループ10か条を書いて提出。(4時間)				
11	各グループの10か条発表	前回作ったグループ10か条を班の代表が発表。それをもとに、受講生全体の10か条を作り上げますので、各グループによるプレゼンが大事になってきます。				全員で作った10か条を自分なりに実践する意識を高めてください。(4時間)				
12	10か条の絞り込み	各グループから出てきた10か条は相当数に上ります。その中から、受講生による10か条を選択していきます。創作する難しさや楽しさを実感できるはずで。				10か条は常に心掛けておく必要があります。人にも言えるほど反復して覚えて下さい。(4時間)				
13	学外専門家の特別講義	受講生が作ったネット社会と民度10か条について、専門家の意見を聴きます。				感想をレポートにまとめて提出。(4時間)				
14	続々 クロスロード	地域環境と民度を学んできて、自分の考え方は変わったか、人とかわりながら生きていく中で何をなすべきかななどをグループ討論します。				これまで学んできた民度をもう一度復習しておき、自分の意見としてまとめてください。(4時間)				
15	講義全体のまとめ	講義全体を振り返って総括します。				社会の中で生きていくために必要なテーマを自分なりに見つけてください。(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
毎回プリントまたは資料を配布する。			受講態度：20% 定期試験：50% 課題：30% S:授業内容の理解度、考察力、文章の読解力、書力が秀でている。A:積極的に授業に臨み、課題に対しても自分の意見をしっかりと書ける。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に対しても自らの主張ができる。C:授業内容を60%ほど理解でき、与えられた課題にも誠実に取り組んでいる。							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
毎回プリントまたは資料を配布する。			講義ではグループ別に分けた学生の皆さんとのディスカッションを中心に進めますので積極的な参加を期待します。受講票には、名前だけでなくその日の感想や意見を必ず書いて下さい。							

科目名	バイオメディカル文章理解		学年学期	3年後期	単位数	2	ナパリング	UL33509 UL33510	研究室	S-01	
担当者	山田 一哉		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-	月曜日1限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C						
授業概要											
自然科学分野では、最新の情報は英文で報告されます。したがって、高い専門性を持った管理栄養士や健康運動指導士になるとすると、世界の最新情報に目を配り、必要な情報とそうでない情報を見極め、自己の知識をつねに更新していく必要があります。本講義では、専門分野の英文を輪読しながら、自然科学文献の読み方を学びます。											
学修到達目標											
本講義は、バイオメディカル系の文章を輪読していくことで、まずは専門用語・英文になれることを目的とします。											
授業の進め方											
少人数(10人以内)での輪読形式で行います。希望者が10人を超える場合は、大学院進学を考えている人・病院への就職を考えている人など優先順位の高いもの順に選抜します。毎回、英文を読んでもらいますので、徹底的な予習が必要です。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	本講義のガイダンス	本講義の進め方や達成目標を説明します。輪読する文献について意見を集約します。					シラバスをよく読んで内容を理解したうえで、受講すること。(1時間)				
2	バイオメディカル文献検索法	パソコンを用いて、PubMedからの文献検索等の方法について学びます。					いくつか自分が関心のある文献を検索してみることに。(4時間)				
3	自然科学論文の構成	自然科学論文は、要約・序論・材料と方法・結果・考察・引用文献など定型的な構成を持っています。それぞれの項目の内容について解説します。					レポートを課します。(4時間)				
4	バイオメディカル英文輪読：一般科学系	自然科学一般に関する文献を輪読します。					文献を読んでくること。事後は、内容を的確に反映した文章にまとめ直すこと。(4.5時間)				
5	バイオメディカル英文輪読：一般科学系	自然科学一般に関する文献を輪読します。					文献を読んでくること。事後は、内容を的確に反映した文章にまとめ直すこと。(4.5時間)				
6	バイオメディカル英文輪読：一般科学系	自然科学一般に関する文献を輪読します。					文献を読んでくること。事後は、内容を的確に反映した文章にまとめ直すこと。(4時間)				
7	バイオメディカル英文輪読：一般科学系	自然科学一般に関する文献を輪読します。					文献を読んでくること。事後は、内容を的確に反映した文章にまとめ直すこと。(4時間)				
8	バイオメディカル英文輪読：バイオ系	生命科学系の文献を輪読します。					文献を読んでくること。事後は、内容を的確に反映した文章にまとめ直すこと。(4時間)				
9	バイオメディカル英文輪読：バイオ系	生命科学系の文献を輪読します。					文献を読んでくること。事後は、内容を的確に反映した文章にまとめ直すこと。(4時間)				
10	バイオメディカル英文輪読：バイオ系	生命科学系の文献を輪読します。					文献を読んでくること。事後は、内容を的確に反映した文章にまとめ直すこと。(4時間)				
11	バイオメディカル英文輪読：バイオ系	生命科学系の文献を輪読します。					文献を読んでくること。事後は、内容を的確に反映した文章にまとめ直すこと。(4時間)				
12	バイオメディカル英文輪読：メディカル系	医学系の文献を輪読します。					文献を読んでくること。事後は、内容を的確に反映した文章にまとめ直すこと。(4.5時間)				
13	バイオメディカル英文輪読：メディカル系	医学系の文献を輪読します。					文献を読んでくること。事後は、内容を的確に反映した文章にまとめ直すこと。(4.5時間)				
14	バイオメディカル英文輪読：メディカル系	医学系の文献を輪読します。					文献を読んでくること。事後は、内容を的確に反映した文章にまとめ直すこと。(4.5時間)				
15	バイオメディカル英文輪読：メディカル系	医学系の文献を輪読します。					文献を読んでくること。事後は、内容を的確に反映した文章にまとめ直すこと。(4.5時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準								
課題とする文献を配付します。			受講態度：90% レポート：10% 受講態度とは、輪読時の準備状況・読み方や訳しかたの程度を指す。間違いながらも読めるとC。少ない間違いで読めるとB。正確に読めるとA。内容まで踏み込んで読めるとS。								
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)								
特になし。			かなりの努力が必要です。自分で自分を伸ばすための機会ととらえて、積極的に講義に臨んでください。将来必ず役に立ちます。大学院進学や専門分野で英文理解を必要とする就職先を考えている学生は、ぜひ受講して下さい。								

科目名	キャリア入門	学年学期	1年前期	単位数	2	ナバリング	UL14101	研究室	W-24
担当者	上野 隆幸	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	木曜日2限		
関連資格				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
		A	B	C					
授業概要									
本授業ではキャリア教育の初歩的段階として、自らのキャリアを考える上で必要となる情報を提供し、併せてこれらの情報を基に「考えてもらう」ことを目的としています。具体的には「自らのキャリアを考える上での情報提供」「実際に自らのキャリアを考える」「就職活動の基礎事項の情報提供」の3点に焦点を絞って展開します。									
学修到達目標									
現在の若年者の就職・労働に関する知識を修得し、大学生の就職活動の流れを理解した上で、自らの「働くこと」への初期ビジョンを形成できること。									
授業の進め方									
毎回の講義で配布するプリントに沿って、パワーポイントによるスライドにより講義を進めます。なお講義では、毎回ミニレポートを作成してもらいます。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	導入 - キャリアとは何か、そしてなぜ重要か -	キャリアという言葉の説明を行うとともに、本講義で扱う内容等について説明します。				「キャリア」とは何か調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
2	企業における人事管理の基盤 - 企業の社員区分制度の概要 -	人事管理の基盤システムの一つである社員区分制度について解説します。				社員区分制度とは何か調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
3	企業における人事管理の基盤 - 社員区分制度の詳細と学歴との関係 -	社員区分制度が学歴別管理とリンクしている点について説明します。				学歴別の賃金カーブについて調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
4	フリーターとしての働き方 - フリーターのタイプと所得の問題 -	フリーターの現状やタイプを説明した後、フリーターと正社員の生涯所得について説明します。				フリーターのデメリットについて調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
5	フリーターとしての働き方 - 雇用・能力開発・年金の問題 -	フリーターと正社員の違いについて、雇用の安定や老後など、所得以外の面から比較し、説明します。				国民年金と厚生年金の違いについて調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
6	産業研究 - どのような産業・業種があるのか -	社会にはどのような産業(業界)があるのかを紹介します。				自らが興味を抱く産業を理由とともに5つ考えて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
7	職種研究 - どのような職種・仕事があるのか -	社会にはどのような職種(仕事)があるのかを紹介します。				自らが興味を抱く職種を理由とともに5つ考えて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
8	転職のメリットとデメリット	転職した場合に有利になる点、不利になる点について解説します。				転職した場合に不利になる点について調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
9	ライフデザイン - 人生設計 -	人生の節目のイベントを経済的側面からみることで、生涯にどれだけのお金が必要かを解説します。				自らのライフデザインについて考えて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
10	働く上でのリスク	会社の倒産やリストラ、病気など、働く上でのリスクについて説明します。				企業の人員整理に関する事例を調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
11	大学生の就職活動 - 大学生の就職活動の流れ -	大学生の就職活動の大きな流れについて説明します。				就職活動に関する新聞記事を探し、読んで下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
12	大学生の就職活動 - データでみる大学生の就職活動 -	大学生の就職活動について、就職支援企業の調査結果を基に、その概要を説明します。				企業の採用活動に関する新聞記事を探し、読んで下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
13	松本大学生の就職活動	松本大学生の就職活動をデータを用いて説明します。				就職活動の流れを調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
14	先輩方たちから学ぶ就職活動	就職活動を終えた先輩方の経験談を聞きます。				先輩方に対する質問を考えて下さい。講義後、先輩方の就活成功の秘訣を考えて下さい。(4時間)			
15	講義全体のまとめ	これまでの講義内容を簡単にレビューします。				これまでの講義での不明点を確認して下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
プリントを配布します。		小テスト: 55% 出席レポート: 45% 小テストと出席レポートの合計点が100点の場合にS、80点以上の場合にA、70点以上の場合にB、60点以上の場合にC、59点以下の場合にDとなります。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「キャリアデザイン入門 1 基礎力編」大久保幸夫著(日経文庫)		皆さんの将来の働き方や就職活動を考える上で、必ず役に立つ授業です。なお、授業は就職活動前の学生に対する内容のため、4年生の受講は可能な限り避けて下さい。							

科目名	キャリアデザイン (栄養)	学年学期	2年後期	単位数	1	ナバリング	UL24103	研究室	S-06	
担当者	矢内 和博・道幸 俊也	必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	金曜日1限			
関連資格				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度(読替科目)								
	A B C	2017年度～								
授業概要										
この講義は、大学卒業後、社会の一員としてそれぞれのキャリアを積み上げていく際に土台となる基本的な考え方を学びます。ここで言うキャリアとは、単なる「経歴」や「仕事」ではなく、「自分らしい社会や仕事との関わり方」ということを意味しています。3年次以降、具体的な進路や就職先などを考えていく際に、自分なりの判断基準を持てるようになることが、この講義の最大の目的です。										
学修到達目標										
自分のキャリアの目標を設定します。社会の仕組み、働くことについて理解することができ、社会人となるために必要となる基礎知識(一般常識)を深めます。また、それを踏まえて、卒業研究に向け、各自で取り組みたい研究テーマをについて考えます。										
授業の進め方										
教室での講義を主とします。「セルフワーク」、「グループワーク」、「解説」、「ロールプレイング」を組み合わせながら進めます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	キャリアデザイン についてガイダンス	本科目の概要、趣旨を説明します。					前期の課題「キャリア面談」の実施レポート返却するのでしっかりと見直してください(1時間)。			
2	キャリアデザインとは	キャリアデザインの考え方、卒業後の進路選択や就職試験に向けた準備について学びます。					本日の講義で学んだ知識を講義資料をもとに復習してください(1時間)。			
3	自分史作成・自己成長チェック	子どもの頃から、大学生活までの振り返りを行います。取得単位、大学生活で何を学んだかを書き出し「自分史」を作成します。					講義で実施した演習の続きを行い「自分史」を完成させてください。(1時間)			
4	1年間の振り返り	ライフラインチャートを作成し、一年間を振り返ります。自分にとっての人生の価値観を見出します。					講義の演習の続きを行い「ライフラインチャート」からの気づきを書き出してください。(1時間)			
5	社会人基礎力とは	コミュニケーションスキルについて学びます。12の素養の社会人基礎力についての理解を深めます。					本日の講義で学んだ知識を講義資料をもとに復習してください。(1時間)			
6	自己分析	心理学タイプ論からの自己理解アプローチを行います。					本日の講義で学んだ知識を講義資料をもとに復習してください。(1時間)			
7	業界・業種・職種研究	社会を知り、自分のタイプと重ねて目指す進路について考えます。					社会人インタビューから発表の準備をします。(1時間)			
8	働くことの意味	本学科を卒業した先輩の話聞き、様々な職種や業界での仕事について考えます。					本日の講義で学んだ知識を講義資料をもとに復習してください。(1時間)			
9	社会人インタビューとまとめ	身の回りの社会人にインタビューし、レポートにまとめた内容をグループ内で発表しあい、価値観を広げます。					本日の講演で学び得たことをレポートにまとめ提出してください。(1時間)			
10	学生時代にとれる資格と実際の活用	学科でとれる資格が社会でどのように活用されているか具体例を含めて説明します。					講義内容を復習し、自分の興味ある内容をより具体的に調べます。(1時間)			
11	キャリア形成と卒業研究(1)	3、4年次の健康栄養演習と卒業研究に向け、各自で取り組む研究テーマについて考えます。各研究室の教員が、それぞれ行っているゼミ活動や研究について説明します。					講義内容を精査し、自分の進みたい将来像についてレポートを提出してください(1時間)			
12	キャリア形成と卒業研究(2)	3、4年次の健康栄養演習と卒業研究に向け、各自で取り組む研究テーマについて考えます。各研究室の教員が、それぞれ行っているゼミ活動や研究について説明します。					講義内容を精査し、自分の進みたい将来像についてレポートを提出してください(1時間)			
13	新聞の読み聞かせセミナー	社会に目を向け、新聞やニュースの読み方を理解します。新聞を実際に読解してみます。					本日の演習で実施した内容をレポートにして提出してください。(1時間)			
14	先輩学生の話	就職活動を終えた4年生から「職業選択」や「就職試験」に向けた準備について聞きます。					本日の講義で学んだことからレポートをまとめ提出してください。(1時間)			
15	収入や税金について学ぶ	労働から得られる収入や税金の仕組みについて正しく理解し、働くことについて考えます。					本日の講義で学んだ知識を講義資料とともに復習してください。(1時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
必要に応じて、資料・プリントを配布します。		課題：40% 出席レポート：60% 出席レポートは毎回講義終了時提出します。S：探求姿勢をもって意欲的に課題に取り組み、各回の授業内容を高度に理解し、文章で正しく表現することができる。A：意欲的に課題に取り組み、授業内容を理解し文章で正しく表現することができる。B：与えられた課題に誠実に取り組み、授業内容を概ね理解し文章で表現することができる。C：課題に取り組み、授業内容の60%程度を理解し、文章で表現することができる。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
なし		自分自身のこととして捉え主体的に参加することを心がけてください。考えてやってみることが重要です。								

科目名	キャリアデザイン			学年学期	3年前期	単位数	1	ナバリウグ	UL34104 UL34103	研究室	
担当者	各教員			必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスワ-			
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
本講義では、大学卒業後の自分のキャリアを主体的に考え、それを実現していくための手法を応用的に学んでいくことを目的としています。納得のできる進路を選択するには、自己理解を深めること、社会や職業に対する知識と自分なりの考えを持つこと、またそれらをわかりやすく他者に伝えるスキルを身に付けることなどが重要となります。本講義では、これらの知識やスキルを身に付けるために、これまでの大学生活での経験を振り返り、自己のキャリア形成のための具体的計画を行います。											
学修到達目標											
自己の将来のキャリア形成について向き合い、卒業後の進路選択や目標を実現するための計画を立て、実行に移すためのスキルを身に付けることを目標とします。特に、言語による自己表現、進路選択に伴う就職活動のための情報収集の仕方を学び得るものです。											
授業の進め方											
教室での講義を主とします。「セルフワーク」や「解説」、さらに「社会人による講演」や「ロールプレイ」などを組み合わせながら講義を進めていきます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ライフプランと就職活動	本講義の流れと個々の将来のキャリア形成への向き合い方。就職活動のスケジュールについて					キャリアデザイン で学んだことを見直し、卒業後の目標について考えてください(1時間)。				
2	適性検査(受検)	適性検査を受験します。					事前に、1年次に受験した検査結果シートを見直してください(1時間)。				
3	採用試験とは	一般的な採用試験(筆記・面接・書類)の種類やそのために必要な準備について、事例(企業・教職・行政・ほか)を交えて紹介します。					配布テキスト「就職活動ナビゲーション」第1章を読んで臨んでください(1時間)。				
4	SPI試験対策(受検)	SPI試験を模擬体験します。					配布テキスト「SPI3必出問題完全攻略」により個々に対策して臨んでください(1時間以上)。				
5	採用に関わる社会情勢と就職活動サイト活用法	当該年度の採用事情や社会情勢の解説、就職活動サイト利用法と登録					受講後、実際に就職活動サイトを閲覧してください。				
6	自己分析 初級編(適性検査の結果に見る自分)	適性検査の結果を見て自己振り返りを行います。進路選択のための自己分析法を解説し、実際にワークを行います。					配布テキスト「就職活動ナビゲーション」第2章を読んで臨んでください(1時間)。				
7	自己分析 初級編(自分の強み・弱み)	自己分析に基づき、自分の強みを言葉で表現し文章にしてみます。					前回のワークを復習し、引き続き自己ワークに取り組んでから臨んでください(1時間)。				
8	SPI試験対策(解説)	模擬試験の結果返却と問題の解説および演習					模試受験時に配布された回答冊子を読み、不明点を明らかにして臨んでください。(1~2時間)				
9	求める人材の理解(企業講演会)	企業の人事担当者から新卒社会人に求める能力や、大学時代に身に付けてもらいたいことなどを講演いただきます。					<課題>講演の感想を自分の言葉で400字でまとめてください。(1~2時間)				
10	企業研究会(業界・職種の理解)	業界・職種の種類や企業研究の仕方を解説。新聞を利用した企業研究法や読み方のコツをお伝えします。インターンシップに関する説明も行う予定です。					実際に就職サイトを閲覧し、企業検索やインターンシップ情報を閲覧してください(1時間)				
11	企業研究会(企業研究の仕方)	企業を調べる上で、確認する項目や比較する情報について、企業研究の仕方と注目するポイントについて解説します。					<課題>次週来学予定の卒業生の企業研究を行ってください。(1時間)				
12	企業研究会(卒業生の講演会)	本学の卒業生から、企業や仕事について、またその職を得るために工夫したことなど経験談を語って頂きます。					<課題>第14回講義に向けて、1社企業を選択し、企業研究をしてください(1~2時間)。				
13	履歴書作成法	就職活動に臨む際の履歴書の作成方法について解説します。これまでの講義で培った自己分析の結果を盛り込む内容を考えます。					<課題>作成法に基づき、履歴書を作成してください。用紙は講義中に配布します(1~2時間)。				
14	企業研究会(グループワーク)	個々に興味のある企業について調べた情報(課題)をグループ内で発表します。他者の発表から価値観を広げ、自分の興味の幅を広げます。					受講後、他者の調べた企業の中から選び、更に企業研究を深めてください(1時間)				
15	インターンシップの意義と夏季休業期間の過ごし方	講義全体のまとめと、職業観を養うためのインターンシップ参加方法について。また今後の就職活動準備に関わる注意点についても触れます。					受講後、配布資料(インターンシップ企業リスト)から企業研究をすすめてください(1時間)。				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「就職活動ナビゲーション(日経HR)」「ワークブック(1)(2)(松本大学キャリアセンター)」「SPI3能力テスト対策 必出問題完全攻略(株学研メディコン)」の3つのテキストを講義にて配布します。個人で購入する必要はありません。					受講態度:70% 課題:30% 課題点は提出期限を遵守(社会人マナーの実践)し、遅れた場合の評価は内容に問わず加点半分とします。 S:職業観を十分養い、自己分析が明確に伴い、他の学生への手本ともなる社会人マナーが身に付いている。 A:職業観を養い、自己分析が明確で社会人マナーを理解している。 B:職業観を理解し、自己分析がある程度進み社会人マナーを理解している。 C:職業観を理解し、社会人マナーを理解している。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「通るエントリーシートの法則」福沢恵子著日経HR編集部編(日経HR) ISBN:978-4-89112-141-9 「面接の質問『出た順』50」日経就職ナビ編集長 渡辺茂晃著日経HR編集部					社会に出るための準備をする講義です。主体的に取り組むことを心がけてください。またキャリアセンターが実施する就職合宿、就職対策講座などにも積極的に参加するようにしてください。						

科目名	ワークインフォメーション		学年学期	4年後期	単位数	2	ナパリング	UL44105 UL44104	研究室	非常勤
担当者	野村 尚		必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本講義では、これから「社会人として、そして労働者として働く」学生が、働く上での諸問題をきちんと克服し、より良い働き方を実現できるための授業です。大きく「働く上での中心的な法律の説明」、「仕事と生活のバランスの取り方」、「社会保険の説明」、「働くことで問題が生じた際の解決方法」、「万が一転職や失業した際の手続などを学びます。										
学修到達目標										
働くうえで知っておくべき法律の一般的知識について習得している。										
授業の進め方										
基本的には講義形式で進めますが、授業の内容によりグループワークの形態で行うこともあります。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	自己紹介、働く場面で生じるあらゆる問題を紹介し、労働法の基本的枠組みについて解説します。				話題となっている身近な法律問題を調べておく。(4時間)				
2	労働法の歴史	労働法の背景、歴史について学びます。				基本書の該当部分を事前に学習し、授業後は振り返りをする。(4時間)				
3	労働法総論	労働法の基本構造、労働法上の当事者、労働法の法源について学びます。				基本書の該当部分を事前に学習し、授業後は振り返りをする。(4時間)				
4	労働基本権	労働基本権の性格、内容について学びます。				基本書の該当部分を事前に学習し、授業後は振り返りをする。(4時間)				
5	労働関係の成立	募集、採用等労働関係の成立の際に発生する諸問題をとりあげます。				基本書の該当部分を事前に学習し、授業後は振り返りをする。(4時間)				
6	労使関係	労使関係の基本的枠組み、労働者、使用者と労働組合との集団的な関係を規律する法律について学びます。				労働基準法・労働組合法の条文を事前に学習し、授業後は振り返りをする。(4時間)				
7	雇用関係の展開	人事、職場規律と懲戒について学びます。				配付する就業規則等のサンプルを読む。授業後は振り返りをする。(4時間)				
8	雇用関係の終了	解雇、解雇以外の終了事由について学び、その際に発生する諸問題についてとりあげます。				配付する就業規則等のサンプルを読む。授業後は振り返りをする。(4時間)				
9	賃金	賃金の種類と体系、賃金の法規制について学びます。				基本書の該当部分を事前に学習し、授業後は振り返りをする。(4時間)				
10	労働時間	労働時間制度の基本的枠組み、特則について学びます。				労働基準法等の条文を事前に学習し、授業後は振り返りをする。(4時間)				
11	労働者の安全	労災補償制度の枠組み、内容について学びます。				基本書の該当部分を事前に学習し、授業後は振り返りをする。(4時間)				
12	労働組合	労働組合の組織と運営、その限界について学びます。				労働組合法の条文を事前に学習し、授業後は振り返りをする。(4時間)				
13	団体行動権、不当労働行為の禁止	労働者の団体行動についてその概念や法的枠組みを学ぶとともに、不当労働行為の救済について学びます。				労働者の権利についての条文を事前に学習し、授業後は振り返りをする。(4時間)				
14	雇用保険制度と失業給付	雇用保険制度の概要、失業給付の概要について学びます。				基本書の該当部分を事前に学習し、授業後は振り返りをする。(4時間)				
15	労働紛争の解決	労働審判、訴訟等労使関係における紛争解決手段について学びます。				該当法令を事前に学習し、授業後は振り返りをする。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「労働法入門(有斐閣双書)」外尾健一著(有斐閣)(生協で購入してください。)				受講態度:50% レポート:50% S:授業内容を高度に理解するとともに、授業では誠実に取り組み、批判的思考力に基づく探求姿勢をもってレポートを作成できている。A:授業内容を理解し、授業では誠実に取り組み、積極的な探求姿勢をもってレポート作成ができている。B:授業内容のおおよそを理解し、授業では誠実に取り組み、レポート作成ができている。C:授業の内容の60%程度を理解し、授業では誠実に取り組み、レポート作成ができている。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「労働法」水町勇一郎著(有斐閣) 本格的なものなので、深く知りたい人が参考書等として利用してもよい。				戦後労働者が権利を確立するまでの歴史を知り、それに基づき、正当な労働者の権利及び義務とは何かを知る手がかりとなれば幸いです。						